

第9回県民意識調査報告書

くらしについてのアンケート結果 (平成27年8月調査)



平成28年6月

沖縄県企画部

は し が き

「県民意識調査」（暮らしについてのアンケート）は、県民が日常生活を営むうえで、どのような事柄を重要と考え、それがどれだけ満たされていると考えているか、県民の意識や価値観及び行政に対する要望等を把握するために実施しております。

第1回目の調査は「県民選好度調査」として昭和54年に実施しております。それ以後は、県民意識の変化を時系列で把握するため、過去の実施分との連続性を考慮しながら、定期的に調査を行っており、今回は第9回目にあたります。

また、当調査では、県民を取り巻く社会環境等の変化を踏まえ、必要に応じて調査項目等の見直しも行っており、今回の調査では、東日本大震災以降の時勢を踏まえ、新たに「自然災害に対する取組」について調査項目を追加しました。

さらに、前回調査からは、「沖縄21世紀ビジョン基本計画（平成24年5月）」の施策体系に沿った調査項目も設定されており、本調査の結果が、今後の同計画の推進に資する指標としても活用されることとなっております。

本報告書が行政各面で活用され、かつ、広く一般の利用に供することができれば幸いに存じます。

結びに、ご多忙中にもかかわらず調査にご協力下さった県民の皆様に対し、厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも県政に対する御理解・御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成28年6月

沖縄県企画部長 下地 明和

目 次

I 概要

1. 第9回県民意識調査（平成27年8月調査）の概要 1
2. 第9回県民意識調査（平成27年8月調査）結果の要約 6
3. 過去における県民意識調査の実施状況 20
4. 留意事項と用語の解説 21

II 調査結果

- 第1章 県民の自己像 25
 1. 自己及び家族に対する意識（問1） 26
 2. 自己及び社会に対する意識（問1） 52

- 第2章 県民生活の重要度・充足度 69
 1. 生活の各側面に対する重要度（問3） 70
 2. 生活の各側面に対する充足度（問4） 82
 3. 施策達成度（「重要度－充足度」）の測定（問3、4） 94

- 第3章 生活領域の政策課題 101
 1. 生活領域別の政策優先度（問5） 101
 2. 生活価値観の選択（問6） 109
 3. 生活状態（くらしむき）の意識・変化・見通し（問9） 120
 4. 生活状態（くらしむき）の達成度と希望（問10） 133

- 第4章 日常の生活空間に対する認識 139
 1. 居住地に対する希望（問7） 139
 2. 県（民）の長所・短所（問8） 151
 3. 米軍基地に関する行政への要望（問13） 161

- 第5章 地域経済の認識 169
 1. 産業振興の優先度（問11） 169
 2. 重点施策の優先度（問12） 175

- 第6章 県民の「幸せ」感等 185
 1. 回答者の属性と「幸せ」感（回答者の属性×問1-4） 185
 2. 地域のつながりと「幸せ」感（問2×問1-4） 189
 3. 県民の自己像と「幸せ」感（問1-1～17×問1-4） 191

4. 生活価値観の選択と「幸せ」感（問 6×問 1-4）	199
5. 生活状態（くらしむき）と「幸せ」感（問 9×問 1-4）	203
6. 県民の自己像と「社会に対する満足」感（問 1 - 1～16×問 1-12）	205
第 7 章 自然災害に対する取組	215
1. 自然災害に対する取組（問 14）	216
第 8 章 施策達成度と施策改善度の計測と相関	223

Ⅲ 資料編

第 9 回県民意識調査票及び単純集計結果

I 概 要

I 概 要

1. 第9回県民意識調査(平成27年8月調査)の概要

(1) 調査の目的

「県民意識調査」は、社会の構造的変化の中で多様化する県民の意識や、価値観、ニーズの変化及び行政に対する要望等について把握して合理的な分析を行い、「沖縄21世紀ビジョン(平成22年3月)」で掲げた将来像の実現及び「沖縄21世紀ビジョン基本計画(平成24年5月)(以下「基本計画」という。)」の推進等に役立て、今後の県政運営に広く活用することを目的とする。

(2) 調査項目

- ① 本人の年齢、性別、職業などの属性
- ② 県民の自己像(問1)
- ③ 県民の「幸せ」感(問1-4)
- ④ 地域とのつながり(問2)
- ⑤ 生活各面の重要度及び充足度(問3、問4)
- ⑥ 県、国及び市町村の政策優先度(問5)
- ⑦ 県民の価値観(問6)
- ⑧ 居留意向(問7)
- ⑨ 県(民)の長所及び短所(問8)
- ⑩ 生活状態の意識、変化及び今後の見通し(問9)
- ⑪ 生活状態の達成度と希望(問10)
- ⑫ 産業の振興度(問11)
- ⑬ 重点施策(問12)
- ⑭ 米軍基地への対応(問13)
- ⑮ 自然災害に対する取組(問14)

(3) 前回調査(第8回調査)との変更点

県民意識調査は継続調査であり、時系列の変化を把握することが重要であることから、調査項目や内容について大きな変化はないが、毎回、その時々为社会事情等を考慮したオプション質問を後段に設けており、今回の調査では「自然災害に対する取組」の質問を設けている。

(4) 調査対象

- | | |
|-----------|-------------------------|
| ① 母 集 団 | 県内に居住する満15歳以上75歳未満の男女個人 |
| ② 調査地点数 | 200地点 |
| ③ 標 本 数 | 2,000人 |
| ④ 抽 出 方 法 | 層化二段無作為抽出法 |

(5) 調査方法

留置法（調査票の配布及び回収を調査員が直接個別訪問して行った。）

(6) 調査期間

平成 27 年 8 月 14 日～9 月 23 日

(7) 調査実施及び分析委託機関

一般社団法人 中央調査社

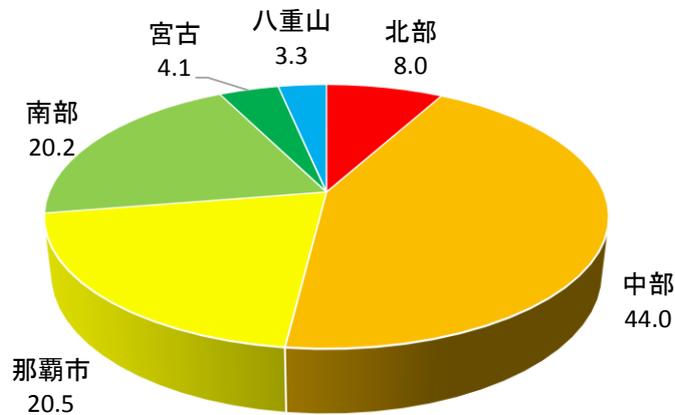
(8) 回収結果

有効回収数（率） 1,394 人（69.7%）

（注）調査にあたっては、県内の市町村を北部、中部、那覇市、南部、宮古、八重山の 6 地域に分類し、原則、地域別に合計 2,000 標本を人口により比例配分した。
この場合、地域間の標本数の差が大きくなり、地域別の精度も異なってくるため、人口数の少ない宮古、八重山地域に他の地域に比べ 2 倍の標本を割り当てるウェイト付きサンプリング及び集計を行った。

(9) 調査対象者のプロフィール

地域別回収数の構成比 (%)



県実態との比較 (%)

	全体	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
県実態	100.0	8.7	43.2	22.5	18.1	3.8	3.7
調査結果	100.0	8.0	44.0	20.5	20.2	4.1	3.3

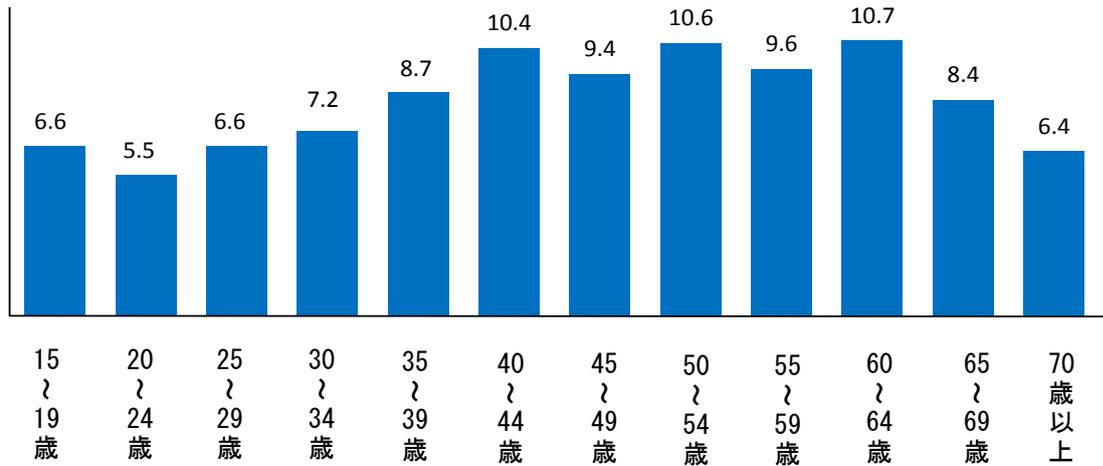
市町村の規模別回収数の構成比 (%)

	全体	10万以上の市	10万未満の市	町村
県実態	100.0	48.4	29.2	22.4
調査結果	100.0	45.8	31.0	23.1

性別回収数の構成比 (%)

	全体	男性	女性
県実態	100.0	50.2	49.8
調査結果	100.0	48.9	51.1

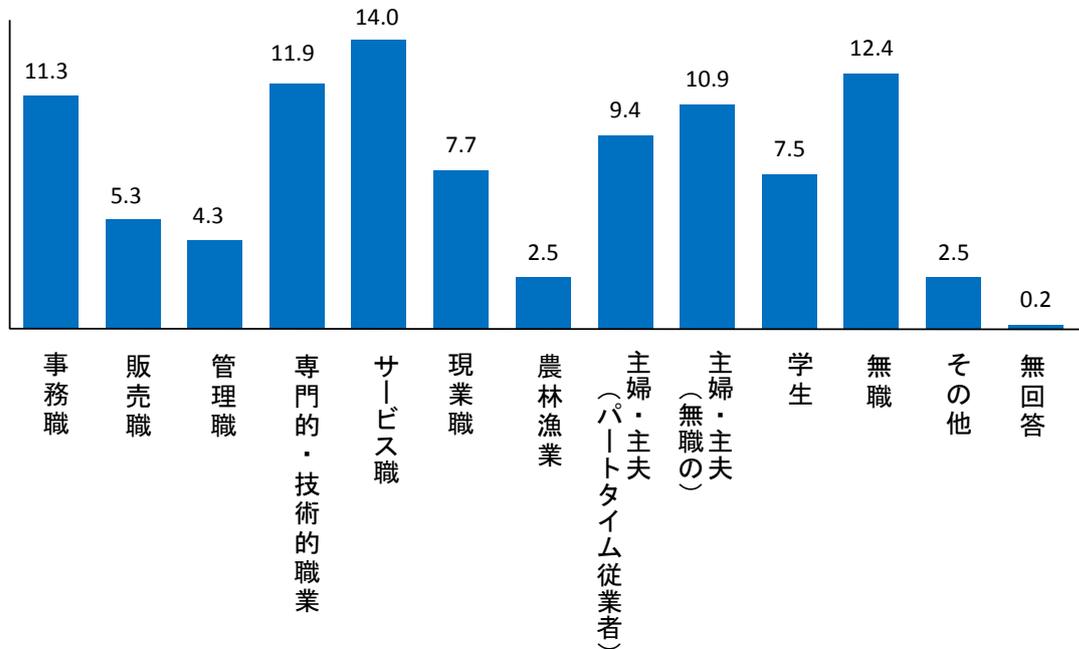
年代別回収数の構成比 (%)



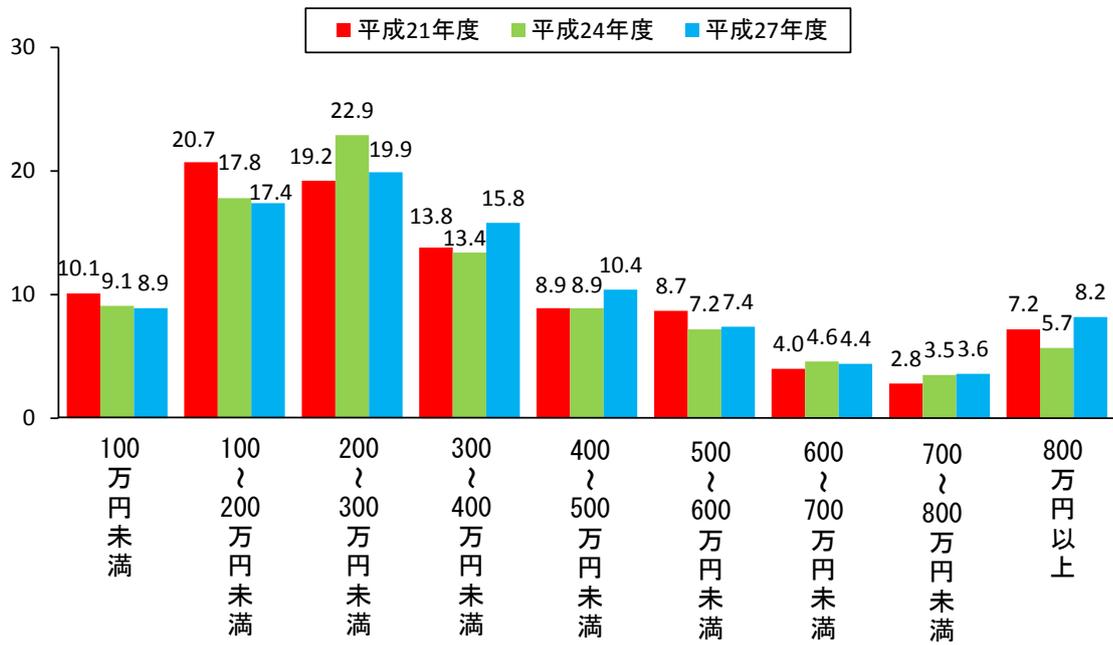
	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
県実態	100.0	8.1	15.6	18.7	18.5	17.7	15.7	5.8
調査結果	100.0	6.6	12.1	15.9	19.8	20.2	19.0	6.4

(四捨五入の関係で合計は100%にならない)

職業別回収数の構成比 (%)



世帯年収の構成比（％）



2. 第9回県民意識調査（平成27年8月調査）結果の要約

（問1）県民の自己像

調査結果から浮かび上がる沖縄県民の平均的な自己像を総括的に整理すると以下のようになる。

8割を超える人がおおむね健康であり、また、幸せだと感じている人も同程度いる。7割ほどの人が生きがいを持っていることを持っている。就労中の仕事について満足している人は4割台、満足していない人は2割台となっている。生活に困らない人は6割を超えるが、4割弱の人は世帯の経済状況に余裕がない。

住まいについては8割弱の人が満足し、2割強は不満を持っている。

家族との関係は9割近くの人が良好だと感じている。人とのつながりにおいて、家族といるときは8割の人が、仲間と一緒にいるときは6割近くが幸せを感じている。

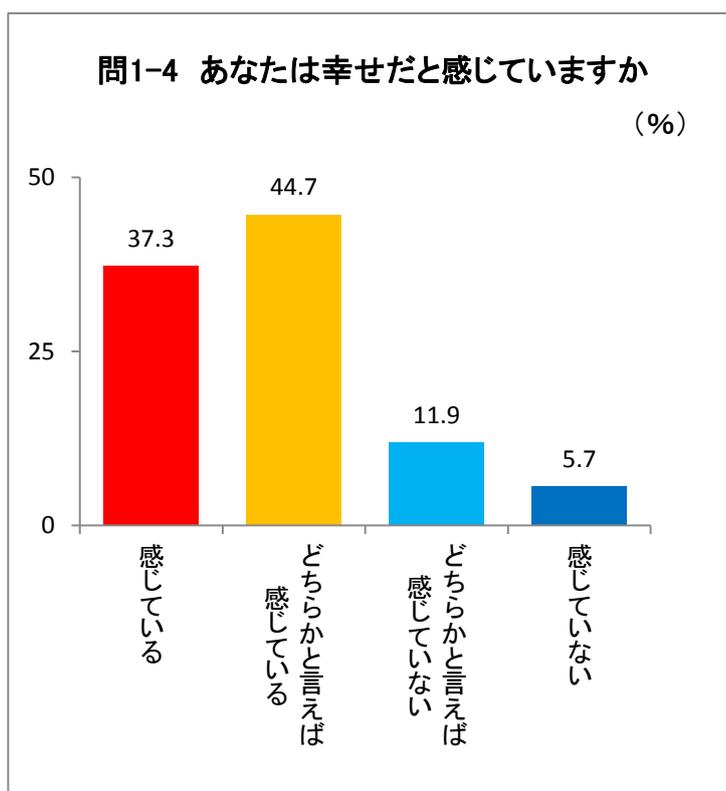
6割の人は地域のイベントや催し物・会合等にあまり参加していない。

ほとんどの人が、努力すれば人生は変わるという前向きな意識を持っている。また、20年先の沖縄について、発展しているかもしくは現状程度と思う人が6割いるものの、そうは思わない人や判断しかねるとする人が4割程度いる。

4割弱の人は、10年前の沖縄に比べて、人と人のつながりは弱まったと感じている。

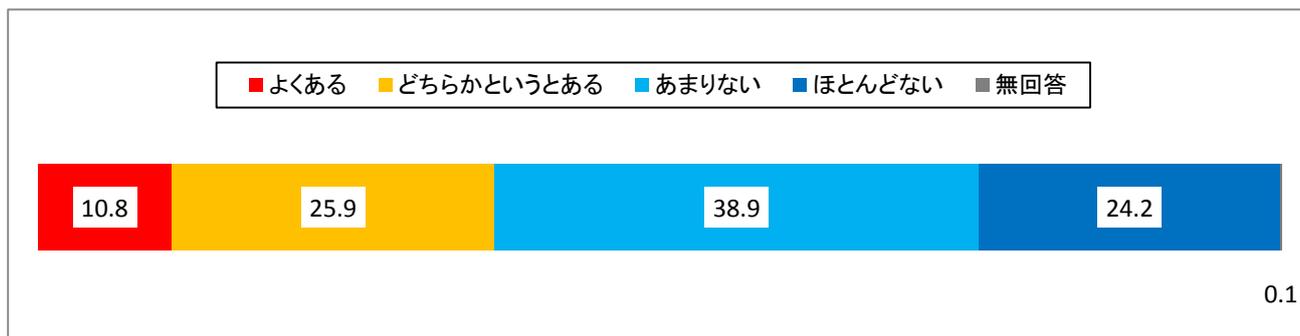
県民間の経済格差については、10年前と変わらないと思う人が4割弱、広がった、わからないがそれぞれ3割弱である。現在の社会に満足している人は3割弱であり、5割を超える人は満足していない。在日米軍専用施設が沖縄に偏在することについては、7割の人が差別的だと感じている。

8割を超える人が、沖縄に生まれ、または生活できていることを良かったと思っている。同様に、8割を超える人が沖縄に対する誇りを感じている。

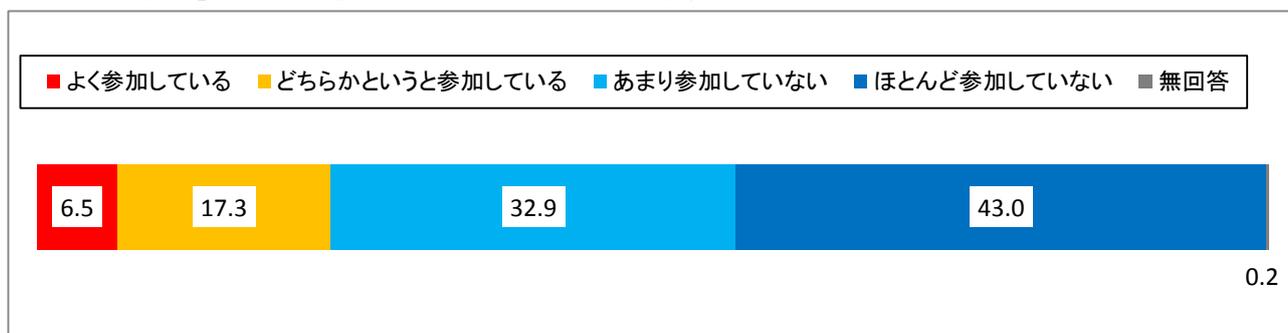


(問2) 地域とのつながり (%)

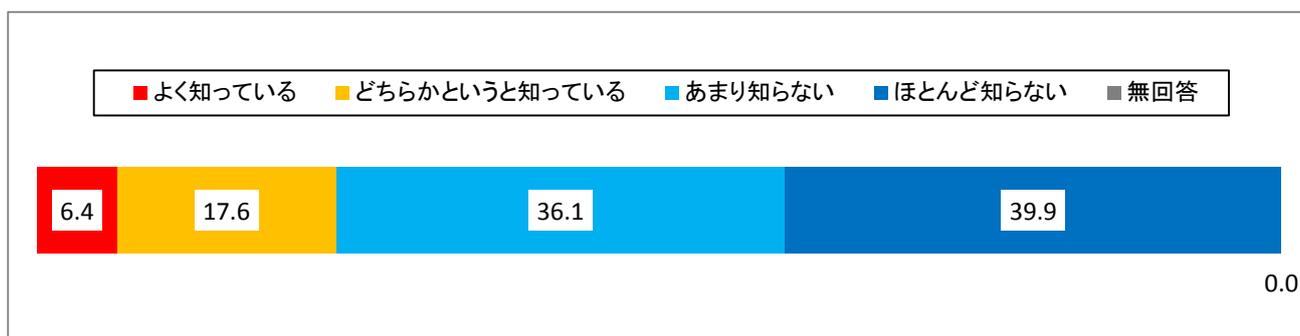
問 2-1-1 近隣に住んでいる方との交流の程度を「よくある」「どちらかというところ」と回答した人は 36.7%、「あまりない」「ほとんどない」と回答をした人は 63.2%である。



問 2-1-2 地域活動への参加に関して、「地域活動によく参加している」「どちらかというところと参加している」と回答をした人は 23.9%、「あまり参加していない」「ほとんど参加していない」と回答をした人は 75.9%である。

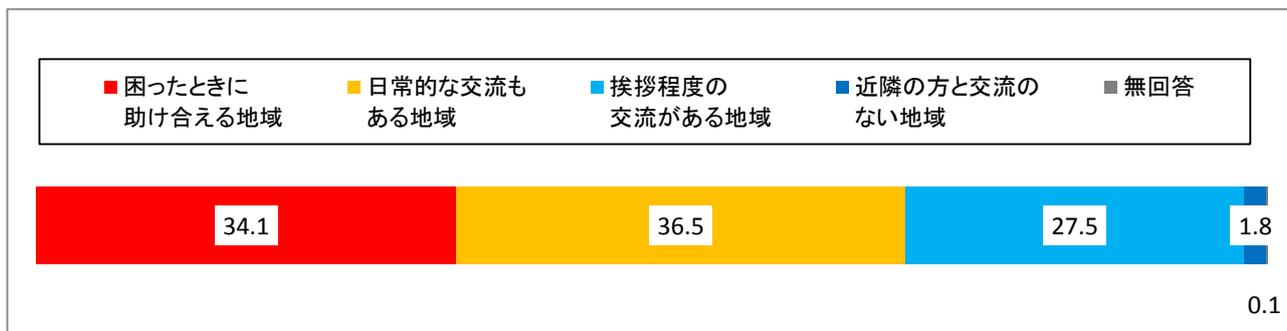


問 2-1-3 自分が困っている時に相談できる機関や人をどれくらい知っているか。「よく知っている」「どちらかというところ知っている」人の割合は 24.0%であり、「あまり知らない」「ほとんど知らない」人の割合は 76.0%である。



問 2-2 地域の交流のあり方についてどのように希望しているかを回答してもらった。

「困ったときに助け合うまではしなくても、近隣の方の名前や顔がわかり、日常的な交流もある地域」が最も多く 36.5%、次いで「近隣の方との間で困ったときに助け合えるような地域」が 34.1%、「困ったときに助け合うまではしなくても、近隣の方とあいさつ程度の交流がある地域」が 27.5%、「近隣の方と交流のない地域」が 1.8%となっている。



(問3) 生活の各側面についての重要度



県民が今の暮らしにとって、最も重要と考える項目（重要度平均得点の最も高い項目）は「安心して家庭で水が使える」（4.78）で、以下、「老後に不安のない年金が得られる」（4.77）、「犯罪がない安心なくらしの確保」（4.77）、「緊急患者が適切な治療を受けられる」（4.73）、「少年の非行や犯罪が少なくなる」（4.70）等が続いている。

重要度平均得点の高い項目については、前回調査からの順位の変化はあまり見られないが、「仕事と生活が両立しやすい環境」「防災対策が充実している」「健全育成、教育環境がつくられている」（共に4.63）の3項目は前回調査よりも順位が上昇し、今回は上位10位以内に入った。



重要度平均得点の最も低い項目は「若いうちに結婚して家庭を持つ」（3.38）で、以下、「盆踊り等地域行事が盛ん」（3.79）、「集会場や公民館が近くにあって利用しやすい」（3.81）、「快適にインターネットにつながる」（3.85）、「外国人が沖縄を訪れ、交流が活発」（3.90）等が続いている。

重要度平均得点の低い項目については、前回調査からの順位の変化はあまり見られない。

(問4) 生活の各側面についての充足度



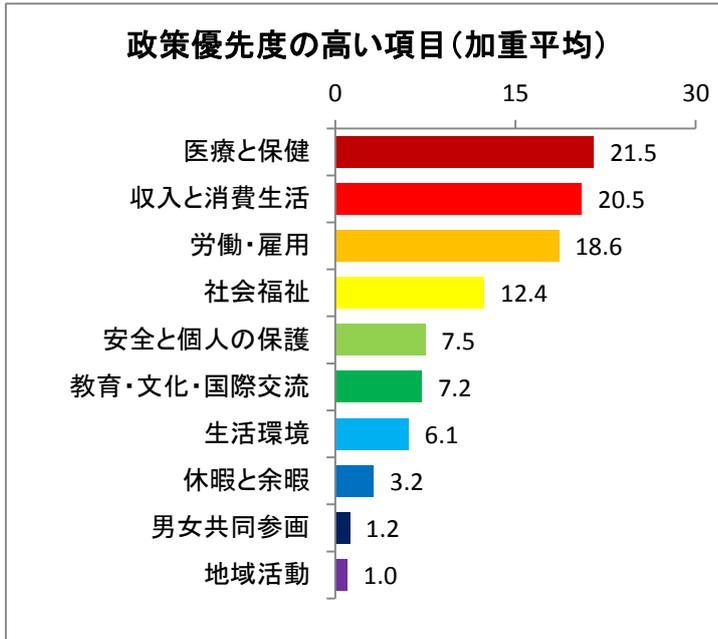
県民が日々の生活を営む上で、最も満たされていると考える項目(充足度平均得点の最も高い項目)は、「安心して家庭で水が使える」(4.14)で、以下「下水道が整備されている」(3.92)、「身近に生活に必要な施設がある」(3.54)、「住環境が良好」(3.48)、「県産食材を購入(消費)する機会が増えていること」(3.48)等が続いている。充足度平均得点の高い上位3項目については、前回の調査結果と共通している。



充足度平均得点の最も低い項目は、「収入が着実に増える」(2.42)、以下「老後に不安のない年金が得られる」(2.44)、「米軍基地の対策が適切に講じられている」(2.55)で、「物価が安定している」(2.68)、「失業の不安がなく働ける」(2.71)等が続いている。

「収入が着実に増える」は前回同様最下位となっている。「老後に不安のない年金が得られる」と「米軍基地の対策が適切に講じられている」は順位の入れ替わりはあるものの引き続き充足度の低い項目となっている。

(問5) 生活領域別の政策優先度



政策課題 10 項目から、県や国、市町村に力を入れてほしいものを順位をつけて3つ選んでもらった。各政策領域を加重平均で見ると、「医療と保健」(21.5)が最も高く、次いで「収入と消費生活」(20.5)、「労働・雇用」(18.6)、そして「社会福祉」(12.4)となった。

前回調査と同様に、上位3項目が特に大きな割合を占めている。

県民が1位に挙げた項目を比率で見ると、「医療と保健」が27.8%、「収入と消費生活」が23.7%、「労働・雇用」が20.8%という結果であった。

(問6) 生活価値観の選択 (%)

「いつでも仕事を優先させる」か、それとも「休みをつぶしてまで仕事をしようとは思わない」かについては、「いつでも仕事を優先させる」(A)と「どちらかといえばAに近い」を合わせると、50.0%であるのに対して、「休みをつぶしてまで仕事をしようとは思わない」(B)と「どちらかといえばBに近い」の合計は49.0%であった。

次に、「物質的豊かさより精神的豊かさがより大切である」(A)か、それとも、「精神的豊かさより物質的豊かさが大切である」(B)かについては、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」の合計が79.3%であり、それに対して、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」の合計が19.7%となっている。

「女性は家にいて家事や育児に専念した方がいい」(A)か、それとも、「女性も外に出てどんどん働いた方がいい」(B)かについての回答では、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」を合わせると25.7%であるのに対して、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」が72.9%となっている。

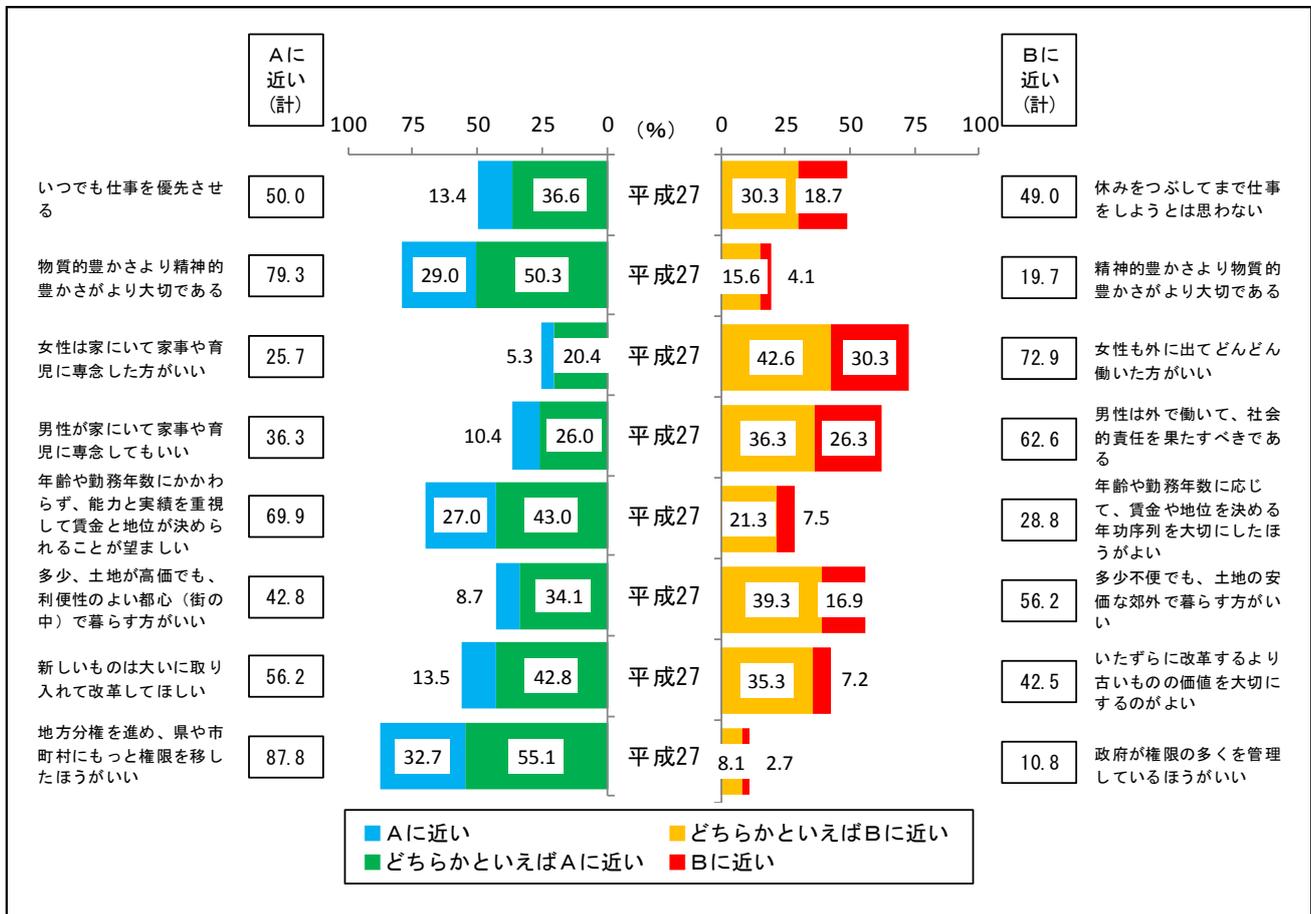
「男性が家にいて家事や育児に専念してもいい」(A)か、それとも、「男性は外で働いて、社会的責任を果たすべきである」(B)かについて聞いたところでは、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」が合計して36.3%であり、それに対して、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」の合計は62.6%であった。

「年齢や勤務年数にかかわらず、能力と実績を重視して賃金と地位が決められることが望ましい」(A)か「年齢や勤務年数に応じて、賃金や地位を決める年功序列を大切にしたいほうがよい」(B)かについては、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」の合計が69.9%であるのに対して、「Bに近い」(B)と「どちらかといえばBに近い」の合計は28.8%となっている。

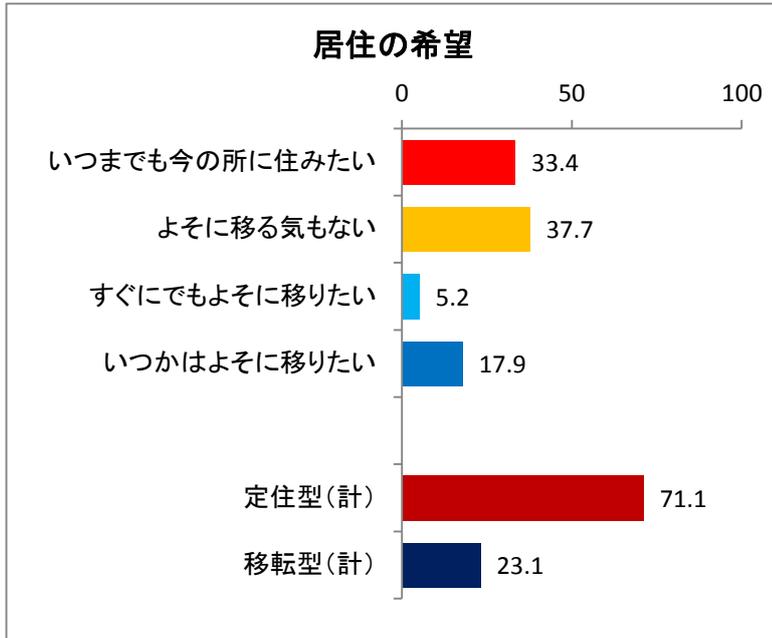
次に、生活の場についての選択で、「多少、土地が高価でも、利便性のよい都心（街の中）で暮らす方がいい」（A）か、それとも、「多少不便でも、土地の安価な郊外で暮らす方がいい」かについては、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」の合計が42.8%であり、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」の合計が56.2%であった。

「新しいものは大いに取り入れて改革してほしい」（A）か、それとも、「いたずらに改革するよりも古いものの価値を大切にすることがよい」（B）かについては、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」を合わせると、56.2%であり、それに対して、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」の合計は42.5%である。

最後に、地方分権に関して、「地方分権を進め、県や市町村にもっと権限を移したほうがよい」（A）か、それとも、「政府が権限の多くを管理しているほうがよい」（B）かについての回答では、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」の合計が87.8%であるのに対して、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」の合計が10.8%であった。



(問7) 居住の希望 (%)



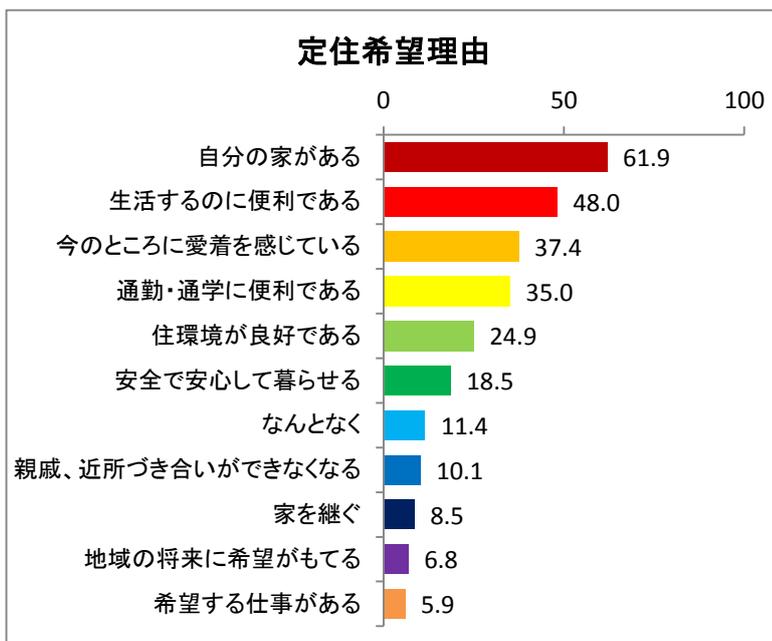
県民の定住と移転についての考え方を見るため、居住の意向を「いつまでも今住んでいる所に住みたい」、「特に住み続けたいというほどではないが、よそに移る気もない」、「すぐにでもよそに移りたい」、「いつかはよそに移りたい」の4つの選択肢から選んでもらった。

比率が高いのは「いつまでも今の所に住みたい」の33.4%と「よそに移る気もない」の37.7%で、「いつかはよそに移りたい」が17.9%、「すぐにでもよそに移りたい」が5.2%となっている。「いつ

までも今の所に住みたい」と「よそに移る気もない」を「定住型」、「すぐにでもよそに移りたい」と「いつかはよそに移りたい」を「移転型」として比較すると、「定住型」が71.1%、「移転型」が23.1%となり、県全体としては定住志向が強いことが示されている。

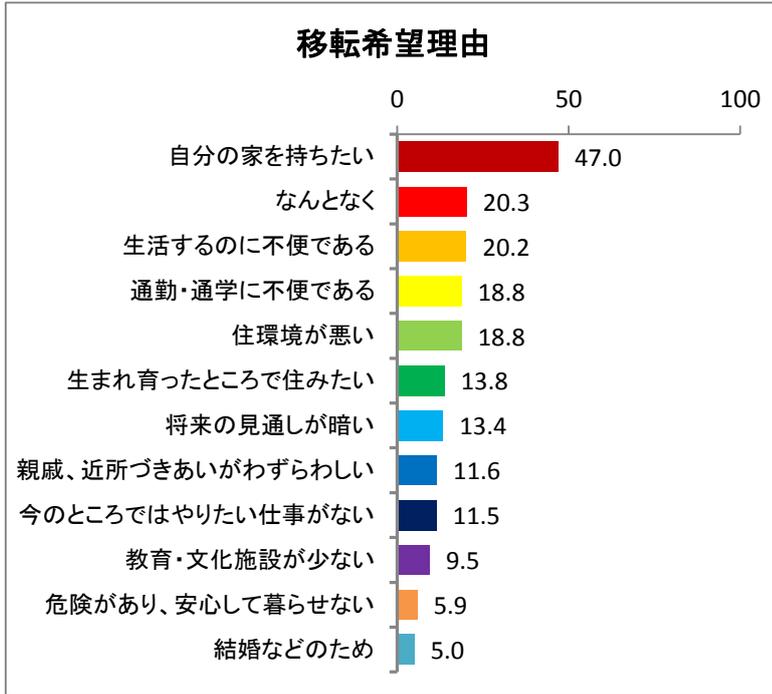
前回調査と比較すると、「定住型」では「いつまでも今の所に住みたい」が34.8%から33.4%へと減少し、「よそに移る気もない」が35.7%から37.7%へと増加している。「移転型」は「すぐにでもよそに移りたい」「いつかはよそに移りたい」ともほとんど変化はない。

(問7 - 1) 定住の希望理由 (%)



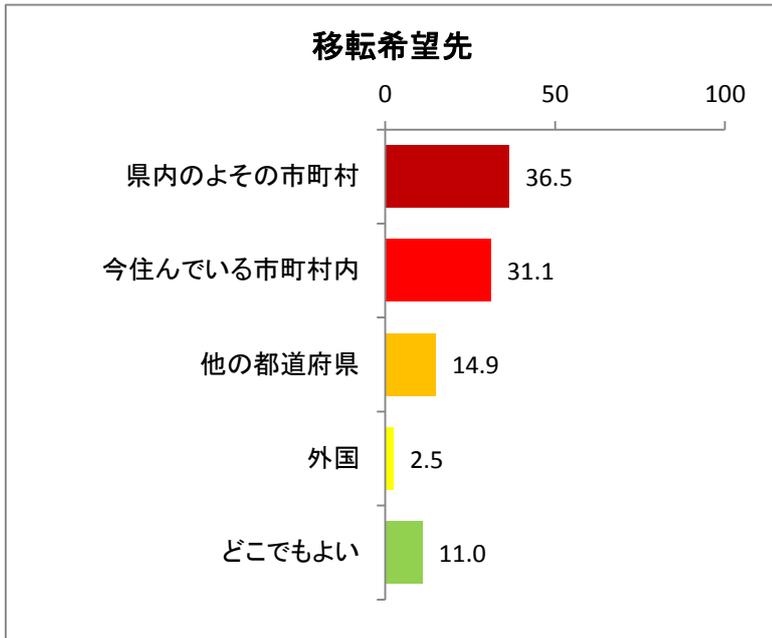
「定住型」の回答者に、定住を志向する理由を3つ選択してもらった結果は、「自分の家がある」、(61.9%)が最も高く、続いて「生活するのに便利である」(48.0%)、「今のところに愛着を感じている」(37.4%)、「通勤・通学に便利である」(35.0%)を理由とする人が多い。

(問7-2) 移転の希望理由 (%)



「移転型」の回答者に対して、移転を志向する理由を3つ選択してもらった結果は、「自分の家を持ちたい」(47.0%)、「なんとなく」(20.3%)、「生活するのに不便である」(20.2%)、「通勤・通学に不便である」(18.8%)、「住環境が悪い」(18.8%)が続く。

(問7-3) 移転の希望先 (%)



また、「移転型」の回答者に対して、移転先の希望を5つの選択肢から選んでももらった。

「県内のよその市町村」(36.5%)が最も高く、「今住んでいる市町村内」(31.1%)がこれに続いている。以下は「他の都道府県」(14.9%)、「どこでもよい」(11.0%)、「外国」(2.5%)の順になっている。

「県内のよその市町村」と「今住んでいる市町村内」を合わせた県内での移転は67.6%となっている。前回調査と比較すると、「県内

のよその市町村」は3.6ポイント、「今住んでいる市町村内」は1.7ポイント減少しているが、「他の都道府県」は6.7ポイントの増加となっている。

(問8-1) 県(民)の長所

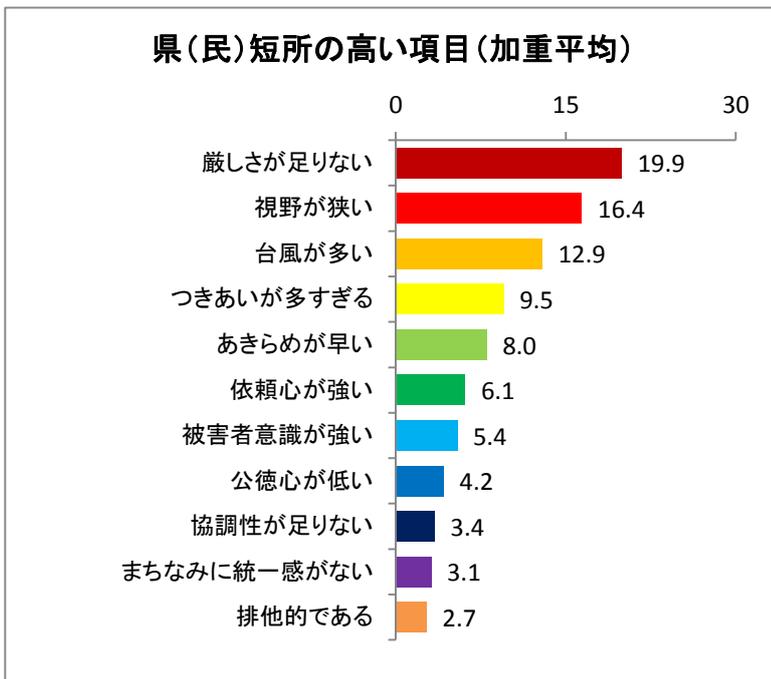


本県あるいは県民の「長所」について12の項目から、順位をつけて3つを選択してもらった。選択された長所を総合的に評価するため、1位に3点、2位に2点、3位に1点のウエイトづけをし、加重平均を求めた。

長所として最も高い数値を示したのは「人情が厚い」(20.4)で前回(20.3)と同様の結果となった。

以下、「助け合いの精神がつよい」(13.9)、「のんびりしている」(12.6)、「独特の文化がある」(11.9)「気候が温暖である」(11.5)となった。

(問8-2) 県(民)の短所

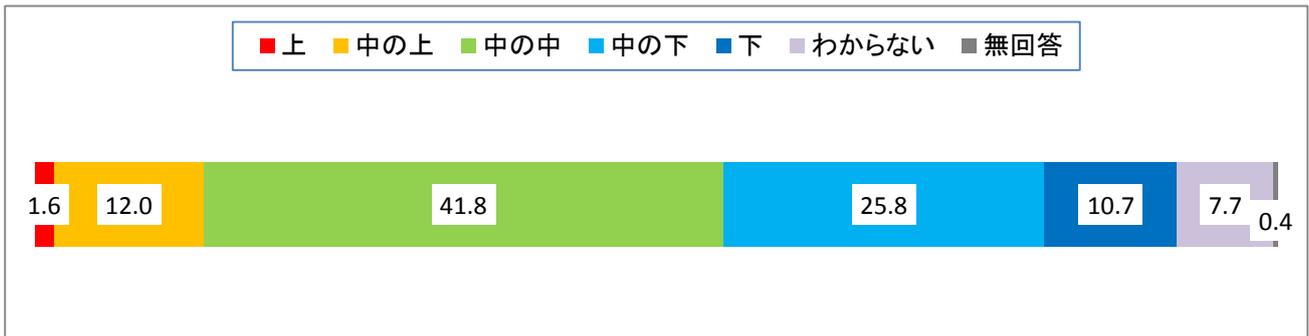


同じように、本県あるいは県民の「短所」について、順位をつけて選択された3項目にウエイトづけをして、加重平均を求めた。

短所として最も高い数値を示したのは「厳しさが足りない」(19.9)で、以下、「視野が狭い」(16.4)、「台風が多い」(12.9)、「つきあいが多すぎる」(9.5)が続いている。

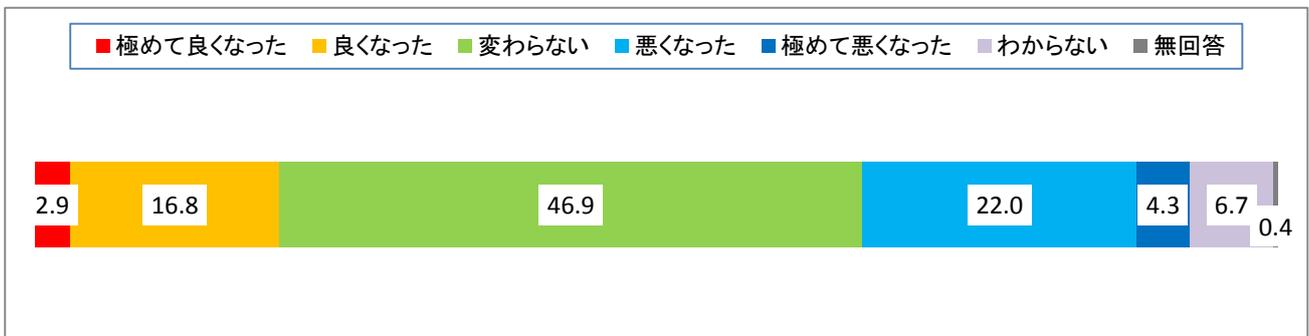
上位となった項目は、前回とほぼ同様となっている。

(問 9 - 1) 生活状態の意識 (%)



生活状態における本県の「中の上」、「中の中」、「中の下」の各意識の合計は 79.6% となっている。「下」の意識は 10.7% となっている。

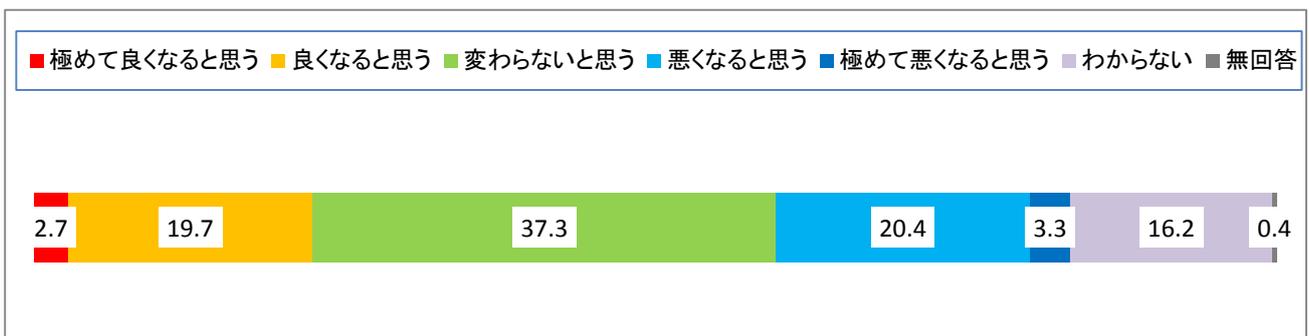
(問 9 - 2) 生活状態の変化 (%)



現在の暮らし向きについて、4、5年前と比べてどう変化しているかを聞いた。

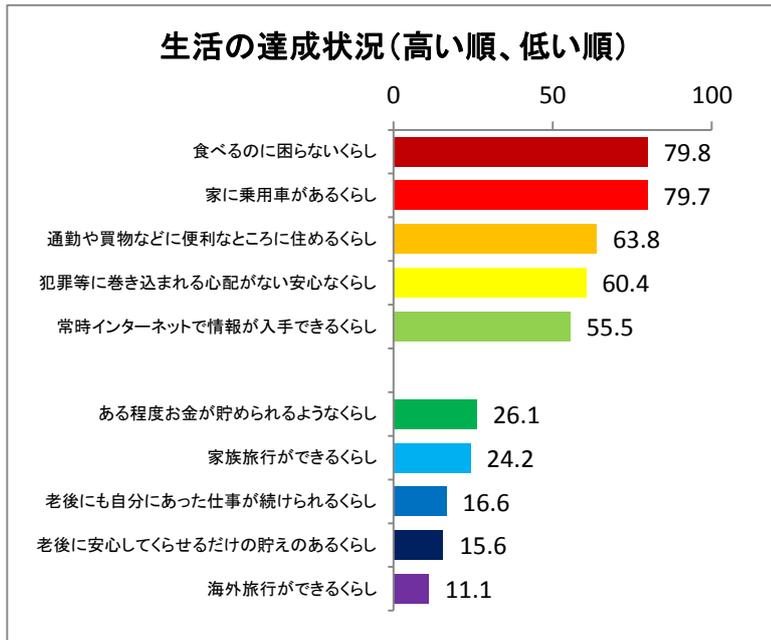
「変わらない」が 46.9% と最も多い。「改善 (極めて良くなった+良くなった)」は 19.7% であるのに対して「悪化 (極めて悪くなった+悪くなった)」の割合は 26.3% と「改善」を上回っている。前回調査の結果と比較すると、「改善」は 4.3 ポイント上昇、「悪化」は 4.3 ポイント減少している。

(問 9 - 3) 生活状態の見通し (%)



今後の暮らし向きについては、「変わらないと思う」が 37.3% で最も高い数値となっている。生活状態の見通しを「向上する (極めて良くなる+良くなる)」とみている割合は 22.3% で「低下する (極めて悪くなる+悪くなる)」の割合は、23.7% となった。

(問 10-1) 生活状態の達成度 (%)



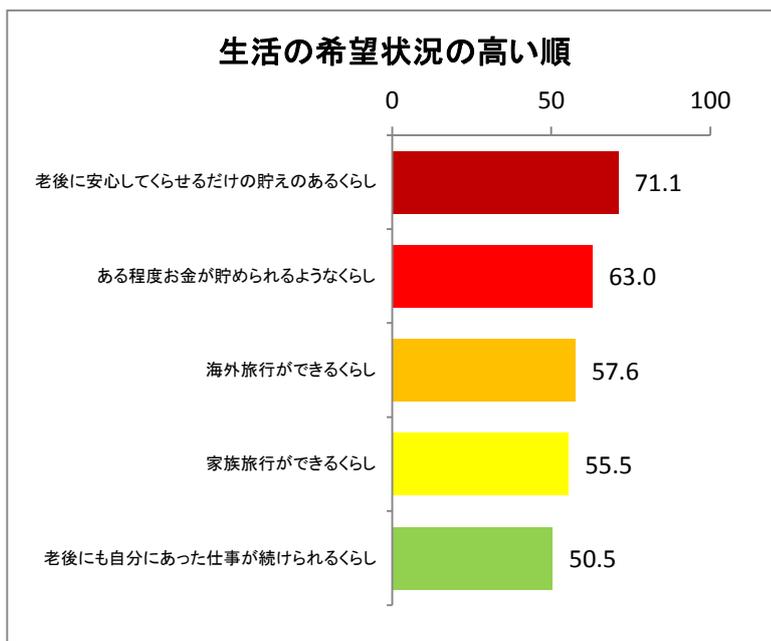
生活状態に係る18の項目について「だいたいかなえられている」と回答した比率を「達成度」とした。

「食べるのに困らない暮らし」(79.8%)、「家に乗用車がある暮らし」(79.7%)では8割近くに達している。以下「通勤や買物などに便利なところに住める暮らし」(63.8%)、「犯罪等に巻き込まれる心配がない安心な暮らし」(60.4%)、「常時インターネットで情報が入手できる暮らし」(55.5%)と続き、5割以上の達成度となっている。

達成度が最も低いのは「海外旅行ができる暮らし」(11.1%)となっている。続いて、「老後に安心してらせるだけの貯えのある暮らし」(15.6%)、「老後にも自分にあった仕事が続けられる暮らし」(16.6%)となっている。

今回、新たに項目に追加した「自然に親しめる機会のある暮らし」は43.8%の達成度となっている。

(問 10-2) 生活状態の希望 (%)



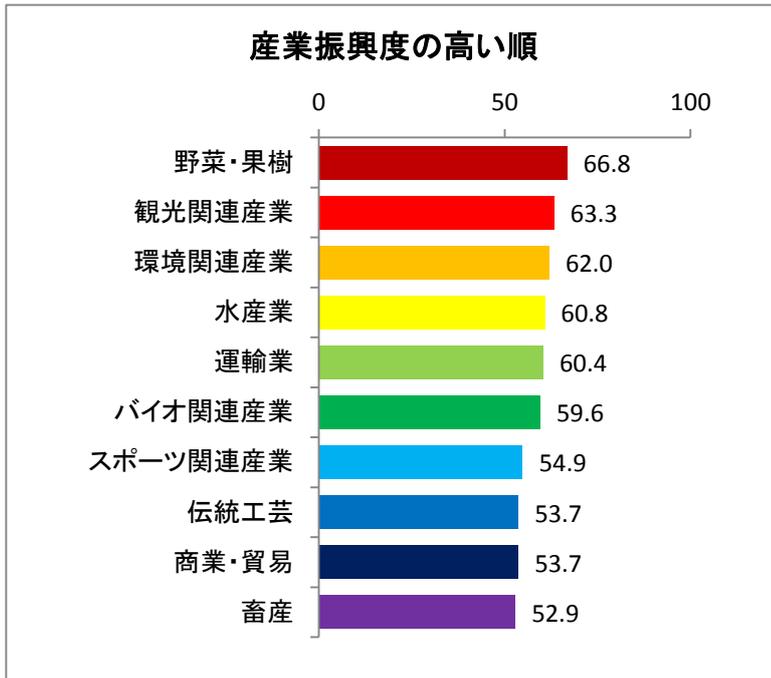
「希望しているがかなえられていない」と回答した比率を「希望の状況」とした。

「老後に安心してらせるだけの貯えのある暮らし」(71.1%)が最も高い。

次いで「ある程度お金が貯められるよう暮らし」(63.0%)、「海外旅行ができる暮らし」(57.6%)、「家族旅行ができる暮らし」(55.5%)、「老後にも自分に合った仕事が続けられる暮らし」(50.5%)となった。

上位5項目は、前回調査と同様の結果となった。

(問 11) 産業振興の優先度 (%)

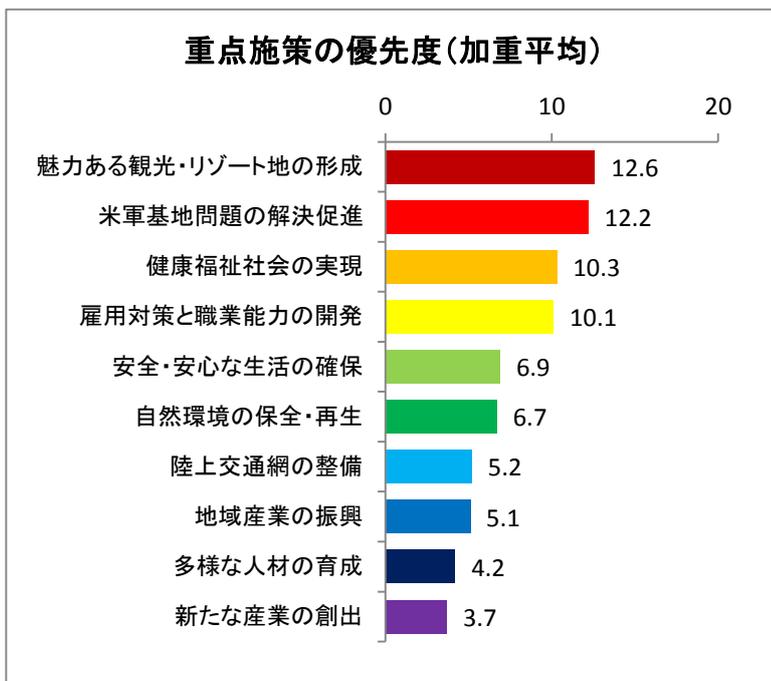


沖縄県の振興のため、各産業にどのくらい力を入れるべきかについて尋ねた。「特に力を入れる」と「もう少し力を入れる」の2つを合計し、合計数値が高いほど産業振興の優先順位が高いことを表す。

「特に力を入れる」と「もう少し力を入れる」の合計比率の高いものから上位 10 項目をあげると、野菜・果樹 66.8%、観光関連産業 63.3%、環境関連産業 62.0%、水産業 60.8%、運輸業 60.4%、バイオ関連産業 59.6%、スポーツ関連産業 54.9%、伝統工芸 53.7%、商業・貿易 53.7%、畜産 52.9%となった。

前回と比較すると、商業・貿易（前は商業という選択肢であったことに留意する必要がある）が前回（51.2%）の 12 位から 9 位に上昇し、前回 10 位に入った文化コンテンツ産業が上位 10 位に入らなかった。

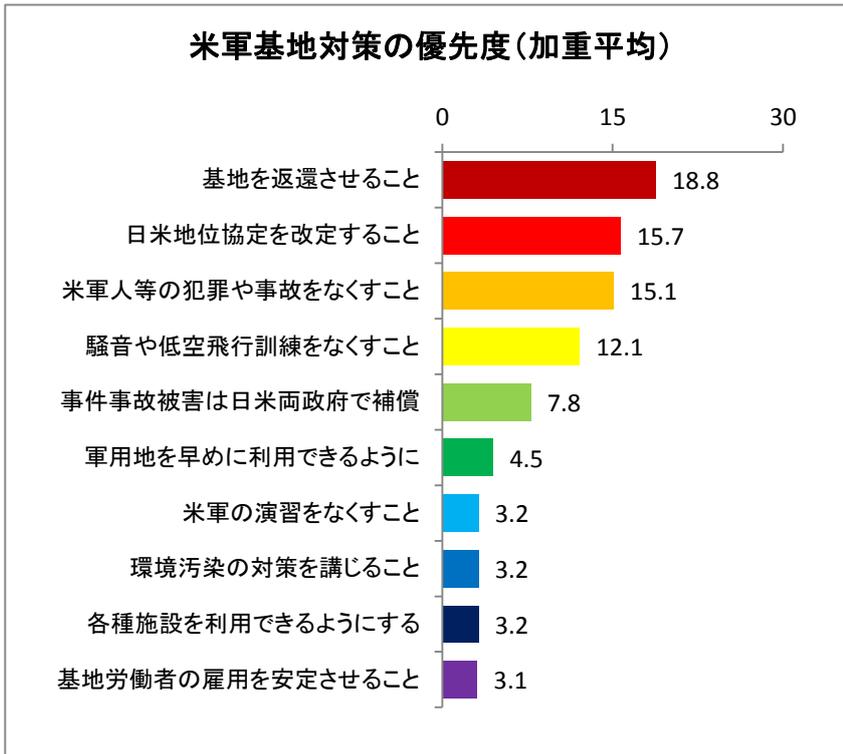
(問 12) 重点施策



特に重点を置いて取り組むべき施策について順位をつけて 3 つ選択してもらった。その結果、上位 10 位を見てみると、「魅力ある観光・リゾート地の形成」(12.6) が第 1 位、「米軍基地問題の解決促進」(12.2) が第 2 位、「健康福祉社会の実現」(10.3) が第 3 位、「雇用対策と職業能力の開発」(10.1) が第 4 位となっている。

前回と比較すると、上位 10 項目に変化はないが、「魅力ある観光・リゾート地の形成」は 3 位から 1 位に、「陸上交通網の整備」は 10 位から 7 位に上昇している。

(問 13) 米軍基地に対する要望

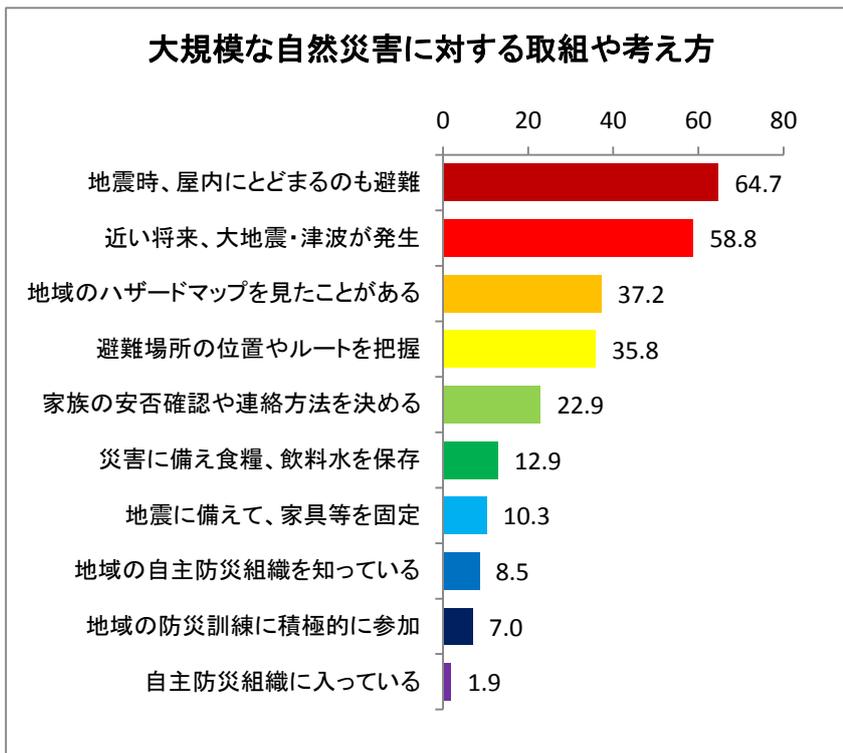


米軍基地から派生する様々な課題について、県や国に対して特に力を入れて対応してほしいことについて、順位をつけて3つ選択してもらった。

その結果、「基地を返還させる」(18.8)、「日米地位協定を改定する」(15.7)および「米軍人等の犯罪や事故をなくす」(15.1)で関心が高い結果となった。この上位3項目は前回調査でも同様で、順位の変化は見られないが、「日米地位協定を改定する」(15.7)が前回(19.5)より低下している。

年代別の比較では30代以下では「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」が相対的に高く、40代以上では「基地を返還させる」や「日米地位協定を改定する」といった項目の関心が相対的に高い。

(問 14) 大規模な自然災害に対する取組や考え方 (%)



地震・津波等の大規模な自然災害に対する取組や考え方について10項目を挙げ、「はい」「いいえ」で答えてもらった。

「はい」と答えた比率の高い順に、「地震時、屋内にとどまるのも避難」(64.7%)、「近い将来、大地震・津波が発生」(58.8%)が半数以上、次いで「地域のハザードマップを見たことがある」(37.2%)、「避難場所の位置やルートを把握」(35.8%)が3割台で続いた。

3. 過去における県民意識調査の実施状況

県民意識調査は、昭和 53 年 10 月に予備調査を実施し、昭和 54 年 12 月の第 1 回調査を皮切りに概ね 5 年度毎（第 8 回調査からは 3 年度毎）に実施されており、今回の調査は第 9 回目の調査となる。

これまでの調査の実施状況は以下の通りである。

なお、第 1 回から第 7 回調査までは「県民選好度調査」として実施し、第 8 回からは「県民意識調査」とその名称を改めて実施した。

- 第 1 回調査 調査期間：昭和 54 年 12 月 20 日～12 月 30 日
標 本 数：5,000 人（離島特別調査 500 人）
- 第 2 回調査 調査期間：昭和 59 年 1 月 10 日～1 月 20 日
標 本 数：3,000 人
- 第 3 回調査 調査期間：平成 2 年 1 月 10 日～1 月 20 日
標 本 数：3,000 人（離島特別調査 300 人）
- 第 4 回調査 調査期間：平成 7 年 1 月 10 日～2 月 5 日
標 本 数：2,000 人
- 第 5 回調査 調査期間：平成 11 年 11 月 1 日～11 月 30 日
標 本 数：2,000 人
- 第 6 回調査 調査期間：平成 16 年 10 月 1 日～10 月 31 日
標 本 数：2,000 人
- 第 7 回調査 調査期間：平成 21 年 10 月 16 日～11 月 15 日
標 本 数：2,000 人
- 第 8 回調査 調査期間：平成 24 年 10 月 6 日～11 月 5 日
標 本 数：2,000 人
- 第 9 回調査 調査期間：平成 27 年 8 月 14 日～9 月 23 日
標 本 数：2,000 人

(注) 標本数におけるカッコ書きの離島特別調査は、各離島の持つ特殊なニーズが反映されるように調査項目を別途設定し、離島を対象に実施した調査である。（本標本数は外数）

4. 留意事項と用語の解説

- (1) 今回の調査では、前回の調査項目や選択肢の一部削除、項目の追加・修正等を行っているため、前回までの調査結果と単純に比較することができない場合がある。

＜変更があった設問（選択肢変更を含む）＞

問1（県民の自己像）、問3（生活の各側面の重要度）、問4（生活の各側面の充足度）、問10 生活状態の達成度と希望、問11 産業振興の優先度、問12 重点施策への優先度

(2) 【平均得点】

問3の重要度の平均得点とは、各項目の回答について6つの選択肢を示し、「わからない」という回答以外の「非常に重要である」＝5点、「ある程度重要である」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、そして、「全く重要でない」＝1点というように得点（ウェイト）を与えて各項目の平均得点を算出し、重要度に関する指標としたものである。

例：問3の（1）「豊かな自然が保全されていること」のケース

$$\frac{(42.1 \times 5) + (44.3 \times 4) + (7.4 \times 3) + (2.0 \times 2) + (0.6 \times 1)}{42.1 + 44.3 + 7.4 + 2.0 + 0.6} \doteq 4.3$$

問4における充足度の平均得点についても、重要度の平均得点と同様な方法で算出したものである。

(3) 【加重平均】

個々の変数（回答数）を同等に扱うのではなく、一定のウェイト（重み）を付けて算出した平均値のことである。

例：問5の「医療と保健」のケース

- ・単純集計の結果 1位 27.8%、2位 15.1%、3位 15.2%
- ・ウェイト付け 1位＝3点、2位＝2点、3位＝1点
- ・加重平均 $\frac{(27.8 \times 3) + (15.1 \times 2) + (15.2 \times 1)}{6} \doteq 21.5$

(4) 【重要度と充足度】

重要度とは、ここでは、問3において掲げた各項目の一つ一つについて、「あなたの今の暮らしにとってどのくらい重要と思うか」を尋ねたうえで、「非常に重要である」、「ある程度重要である」と回答した人の比率の和のことをいう。

充足度とは、ここでは、問4において掲げた各項目の一つ一つについて、「今それぞれがどのくらい満たされているか」を尋ねたうえで、「非常に満たされている」、「ある程度満たされている」と回答した人の比率の和のことをいう。

(5) 【施策達成度と施策改善度】

施策達成度とは、ここでは、重要度と充足度の差のことをいう。重要度の値が十分に高い場合、施策達成度の値が小さくなればなるほど、県民の当該施策に対するニーズが満たされていることを示す。

施策改善度とは、ここでは、平成24年度調査に係る施策達成度と、平成27年度調査に係る施策達成度の差のことをいう。

施策改善度の値が大きくなればなるほど、平成24年度調査時点から平成27年度調査時点までの間に施策の取組状況が改善したと県民に認識されたことを示す。

施策改善度の値がプラスであれば改善、マイナスであれば悪化したことを示す。

施策達成度と施策改善度の算出方法は以下のとおり。

例1：平成27年度調査「豊かな自然が保全されていること」

重要度（非常に重要であると回答した人の割合 + ある程度重要であると回答した人の割合）= 42.1 + 44.3 = 86.4（%）

充足度（非常に満たされていると回答した人の割合 + ある程度満たされていると回答した人の割合）= 12.0 + 35.6 = 47.6（%）

$$\text{重要度 (86.4)} - \text{充足度 (47.6)} = 38.8 \quad (\text{a})$$

平成24年度調査「豊かな自然を保全すること」

重要度（非常に重要であると回答した人の割合 + かなり重要であると回答した人の割合）= 46.8 + 38.3 = 85.1（%）

充足度（非常に満たされていると回答した人の割合 + ある程度満たされていると回答した人の割合）= 7.8 + 31.2 = 39.0（%）

$$\text{重要度 (85.1)} - \text{充足度 (39.0)} = 46.1 \quad (\text{b})$$

$$(\text{b}) 46.1 - (\text{a}) 38.8 = 7.3 \quad (\text{c})$$

(a)、(b)：施策達成度 (c)：施策改善度

施策項目「豊かな自然が保全されていること」は3年前に比べて7.3ポイント改善されたことを意味する。

例2：平成27年度調査「県民が文化芸術にふれる機会が増加していること」

重要度（非常に重要であると回答した人の割合 + ある程度重要であると回答した人の割合） = $30.4 + 44.2 = 74.6$ （%）

充足度（非常に満たされていると回答した人の割合 + ある程度満たされていると回答した人の割合） = $6.7 + 27.1 = 33.8$ （%）

$$\text{重要度 (74.6) - 充足度 (33.8) = 40.8 (a)}$$

平成24年度調査「県民が文化芸術にふれる機会が増加していること」

重要度（非常に重要であると回答した人の割合+かなり重要であると回答した人の割合） = $31.5 + 40.8 = 72.3$

充足度（非常に満たされていると回答した人の割合 + ある程度満たされていると回答した人の割合） = $5.9 + 27.2 = 33.0$

$$\text{重要度 (72.3) - 充足度 (33.0) = 39.3 (b)}$$

$$(b) 39.3 - (a) 40.8 = \blacktriangle 1.5 (c)$$

県民が文化芸術にふれる機会が低下したと県民が感じている（マイナスに変化）いることを意味する。

Ⅱ 調査結果

第1章 県民の自己像

第1章 県民の自己像

前回調査から調査項目として加えた県民の自己像について、引き続き質問を行った。

本章では、家族や社会との関係を主な切り口として、自己と自己を取り巻く状況に対する等身大の県民意識を沖縄県民の自己像としてまとめた。また、前回調査結果との比較を行い、時系列での変化も探った。

「1 自己及び家族に対する意識」では、「人と人のつながりは強まったと思うか」、「20年先の沖縄は現在よりも発展していると思うか」、「努力すれば人生は変わると思うか」、「幸せだと感じているか」、「幸せを感じる時」、「世帯の経済状況」、「仕事への満足度」、「家族との関係」、「健康状態」、「住まいへの満足度」、「生きがい」の11項目について尋ねた。

「2 自己及び社会に対する意識」では、「社会に対する満足度」、「県民間の経済格差」、「沖縄県に誇りを感じるか」、「沖縄県に生まれて良かったと思うか」、「米軍施設への認識」、「イベント・催し物への参加」の6項目について尋ねた。

設問に対する回答は、それぞれ地域別、年代別、性別、年収別による集計を行った。

1. 自己及び家族に対する意識（問1）

(1) 人と人のつながり（問1-1）

10年前の沖縄に比べて、人と人のつながりは強まったと思うかについて、「弱まった」(37.0%)という回答が最も高く、以下「変わらない」(29.2%)、「強まった」(7.2%)となっている。「わからない」は26.2%となっている。

前回調査と比較すると、最も回答の多かった「弱まった」が前回43.5%から6.5ポイント減少している。一方で、「強まった」が前回5.7%から1.5ポイント、「変わらない」が前回23.7%から2.5ポイント増加している。

年代別に見ると、「強まった」と答えた人の割合は10代で、「変わらない」と答えた人の割合は40代、60代、70代以上で、「弱まった」と答えた人の割合は40代から60代で、「わからない」と答えた人の割合は10代から30代で、それぞれ相対的に高くなっている。

年収別に見ると、「弱まった」と答えた人の割合は年収600～700万円未満で特に高くなっている。

図1-1-1-1 問1-1 人と人のつながり

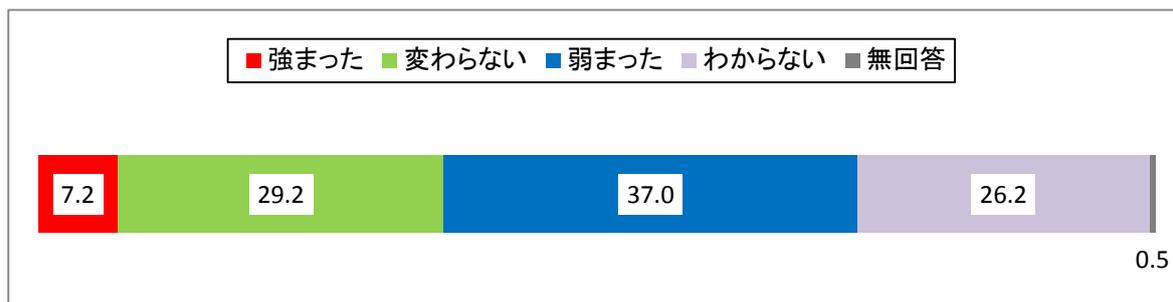


図1-1-1-2 地域別 問1-1

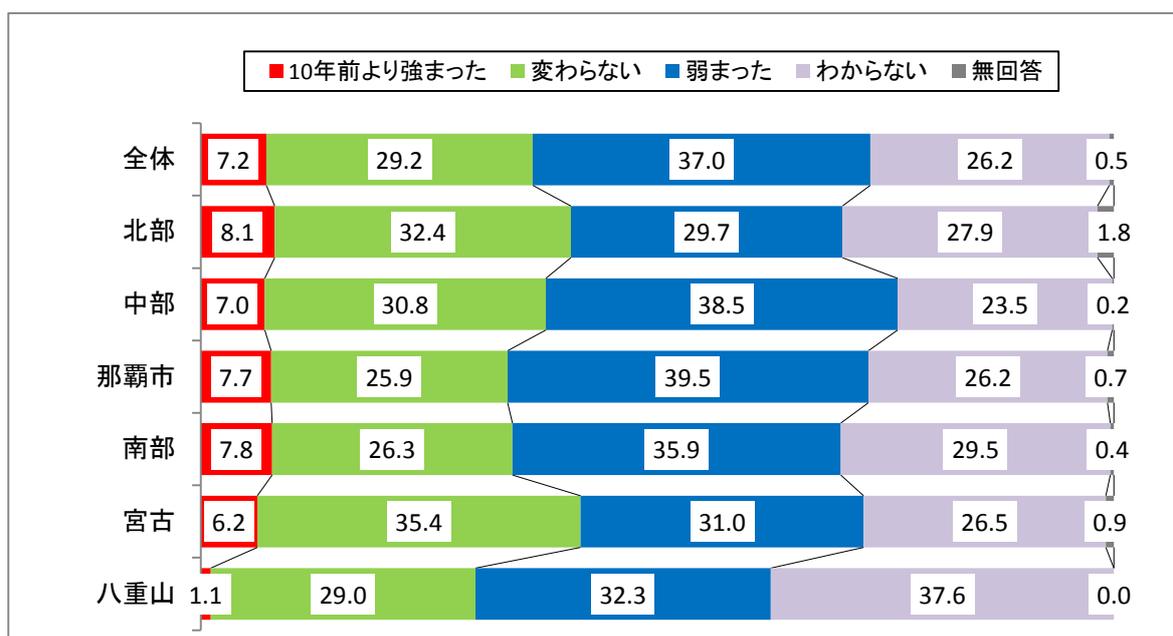


図 1-1-1-3 年代別 問 1-1

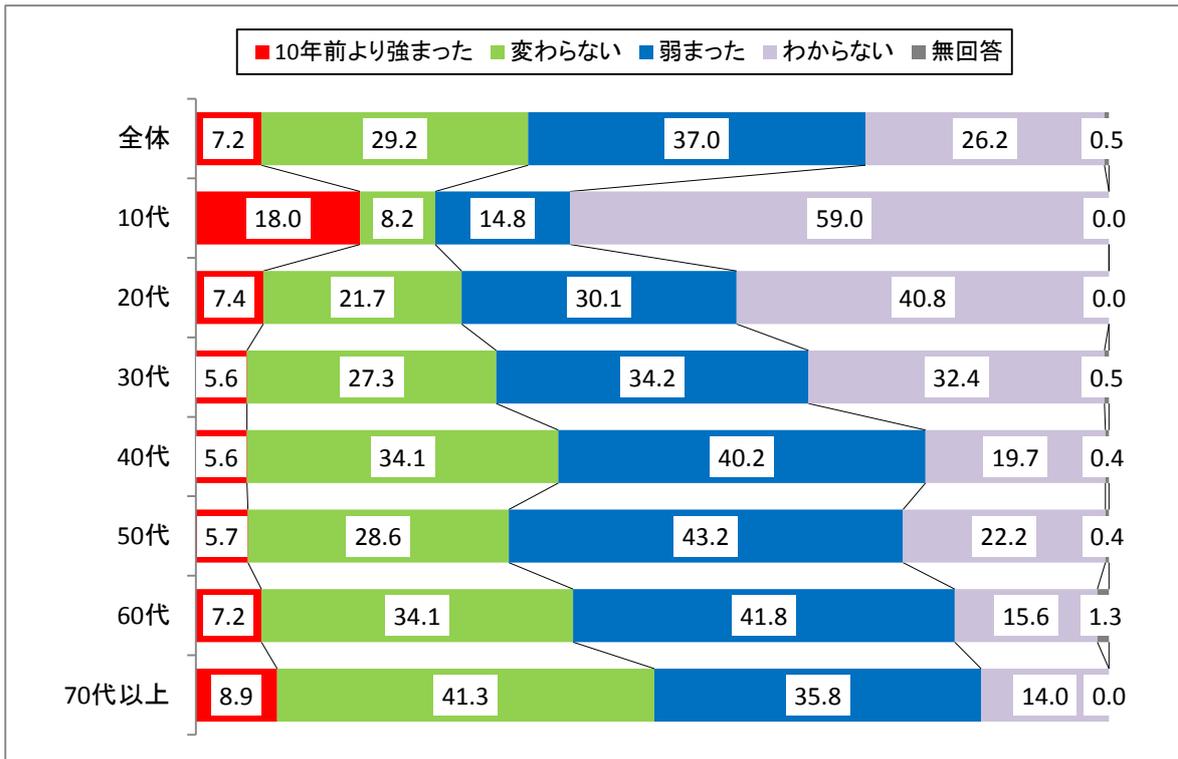


図 1-1-1-4 性別 問 1-1

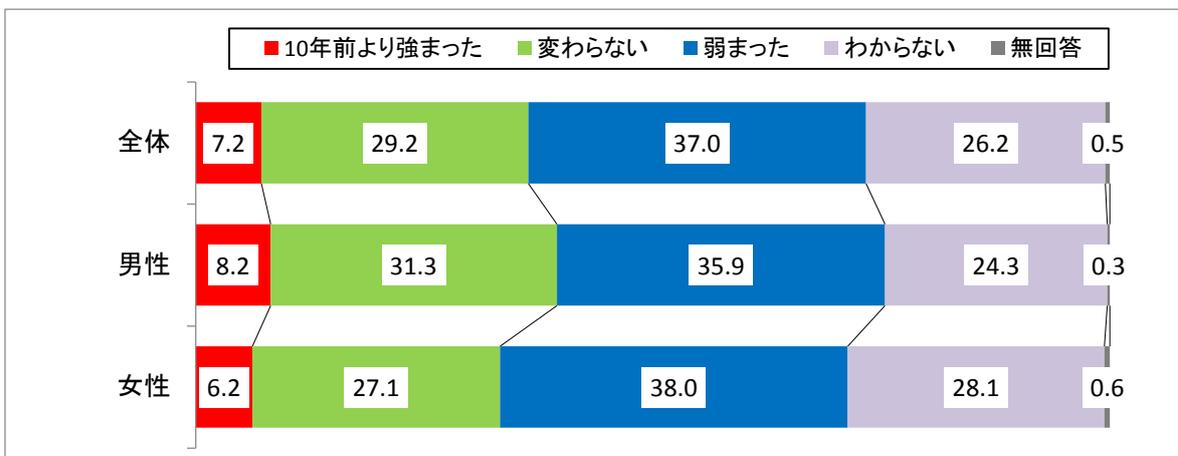
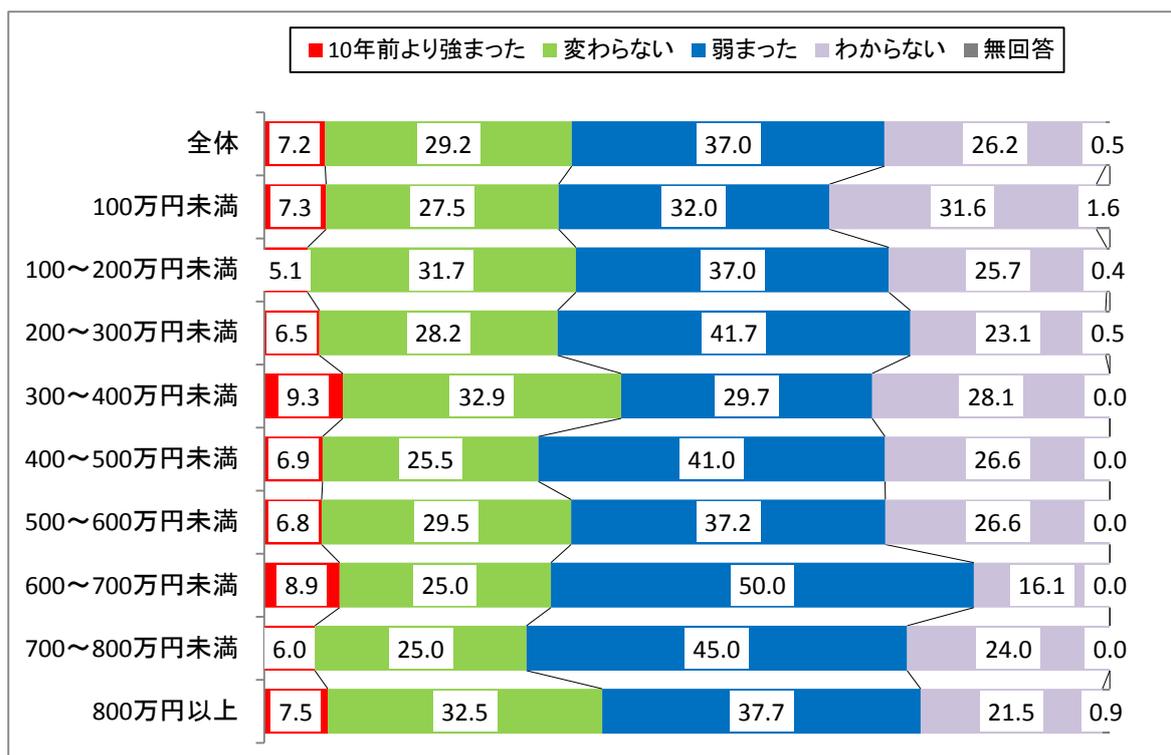


図 1-1-1-5 年収別 問 1-1



(2) 20年先の沖繩（問 1-2）

20年先の沖繩は現在より発展し輝いていると思うかについて、「そう思う」（34.7%）と答えた人の割合が最も高く、以下、「今とあまり変わらない」（24.9%）、「そうは思わない」（20.5%）となっている。なお、「わからない」と答えた人の割合は19.6%となっている。

前回調査と比較すると、「そう思う」が前回22.2%から12.5ポイント増加している。一方で、「今とあまり変わらない」が前回31.4%から6.5ポイント、「そうは思わない」が前回27.2%から6.7ポイント減少している。今回は未来への明るい展望を抱く回答が大きく増加している。

地域別では「そう思う」と答えた人の割合は宮古、八重山の離島に比べ本島で高くなっている。

年代別に見ると、「そう思う」と答えた人の割合は10代で5割を超えているのが目立つ。

性別に見ると、「わからない」と答えた人の割合は女性で高くなっている。

年収別に見ると、「そう思う」と答えた人の割合が年収800万円以上で5割となっているのを始め、600～800万円未満の各層でも4割台半ばと高くなっている。「そうは思わない」と答えた人の割合は500～600万円未満で高くなっている。

図 1-1-2-1 問 1-2 20 年先の沖縄

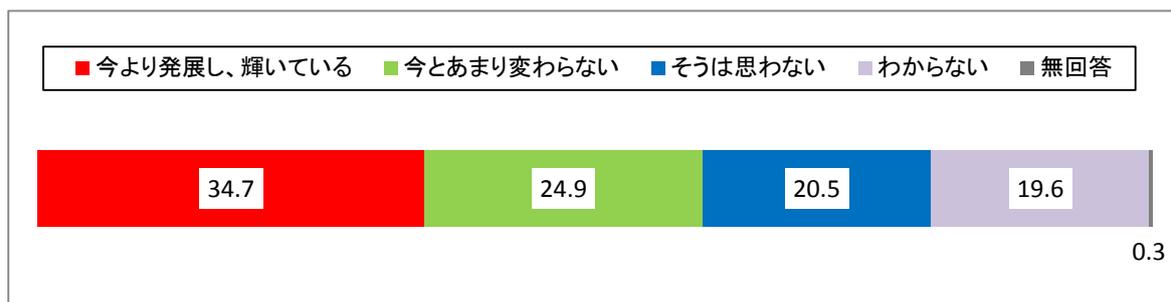


図 1-1-2-2 地域別 問 1-2

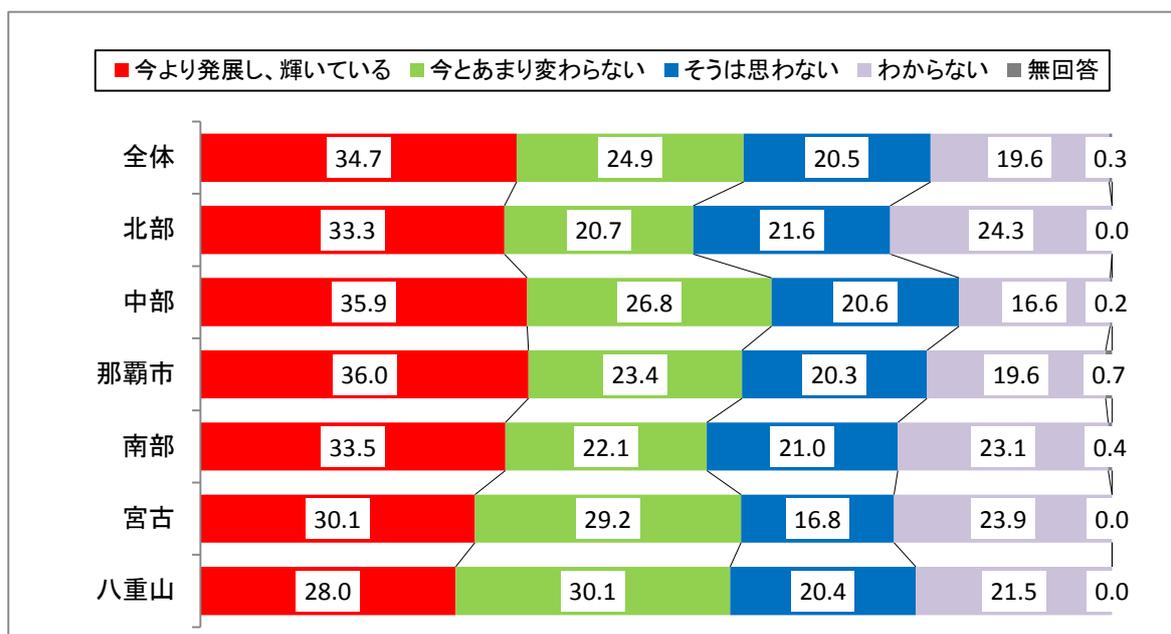


図 1-1-2-3 年代別 問 1-2

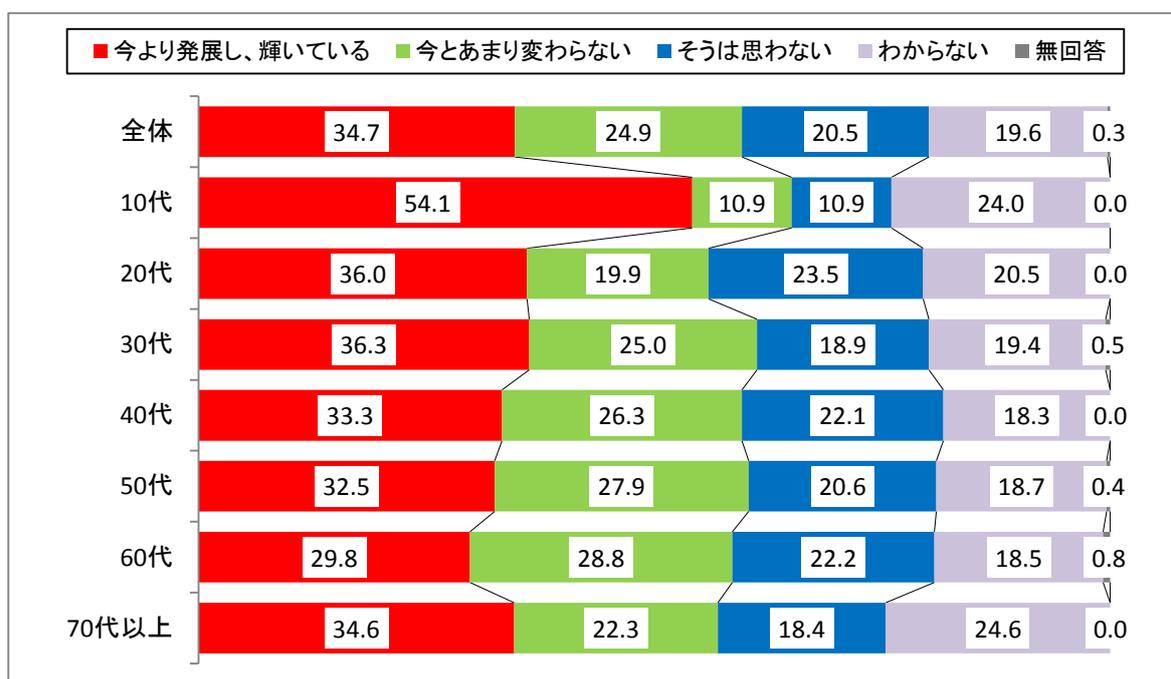


図 1-1-2-4 性別 問 1-2

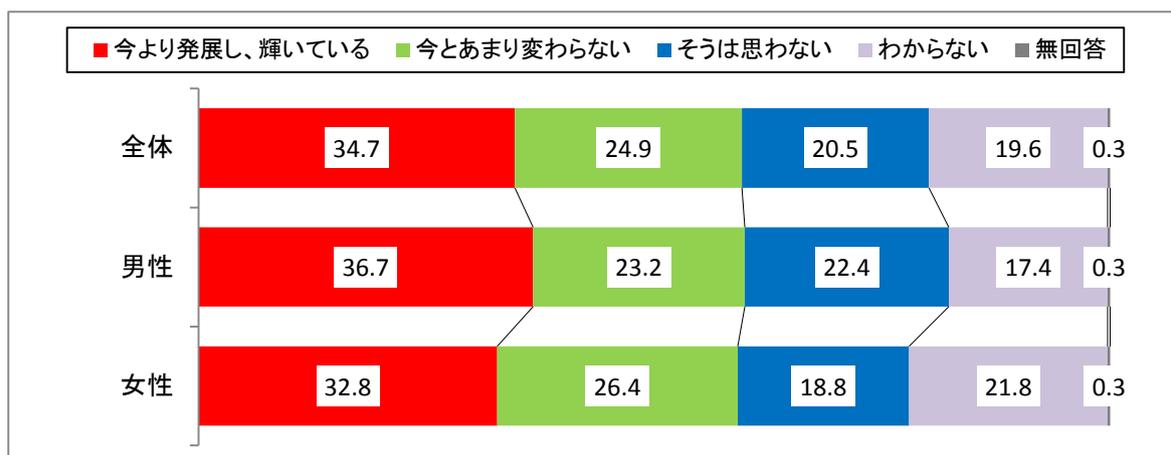
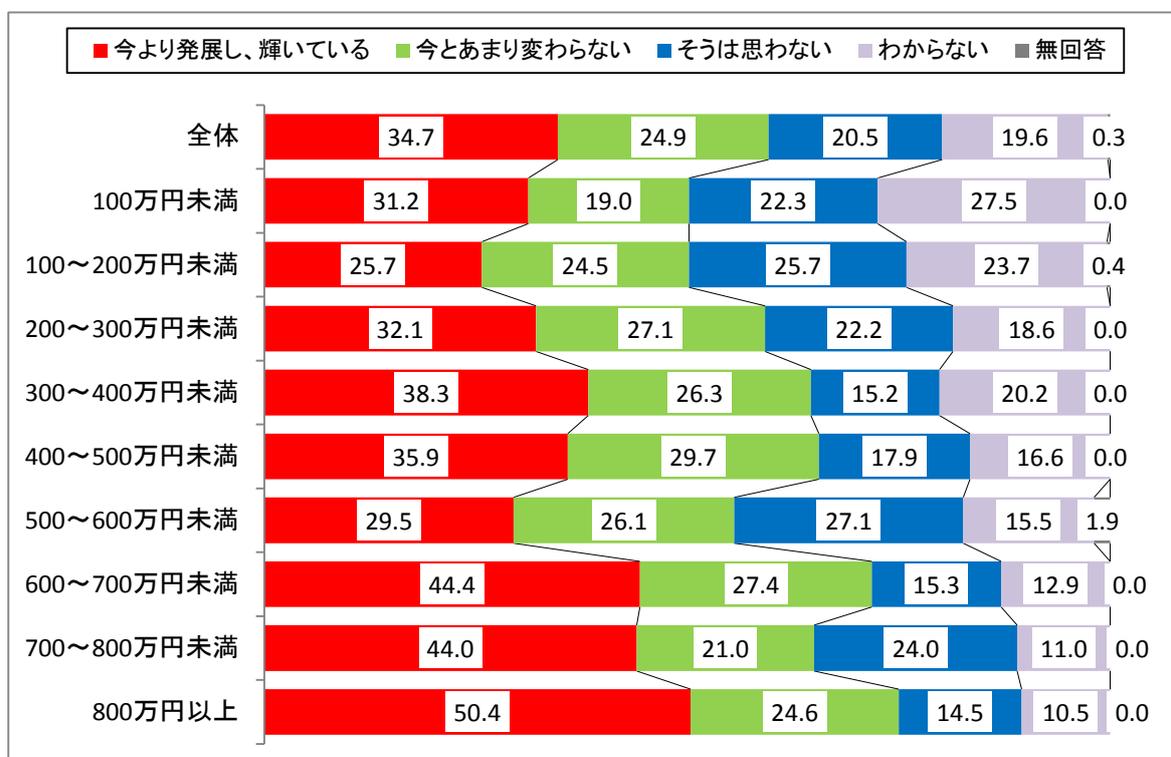


図 1-1-2-5 年収別 問 1-2



(3) 努力すれば人生は変わるか (問 1-3)

努力すれば人生は変わると思うかについて、「そう思う」(48.5%)「どちらかと言えばそう思う」(41.7%)と答えた人が約9割を占めており、県民の前向きな考え方が特徴的である。

前回調査と比較すると、ほとんど変化は見られない。

地域別では、「そう思う」と答えた人の割合は北部で55.9%と高くなっている。

年代別に見ると、「そう思う」と答えた人の割合は10代で68.3%と高くなっている。

年収別に見ると、「そう思う」と答えた人の割合は年収500万円以上の各層で5割後半と高くなっている。一方、「そうは思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合計した割合は、200万円未満の各層で2割前後と高くなっている。

図 1-1-3-1 問 1-3 努力すれば人生は変わるか

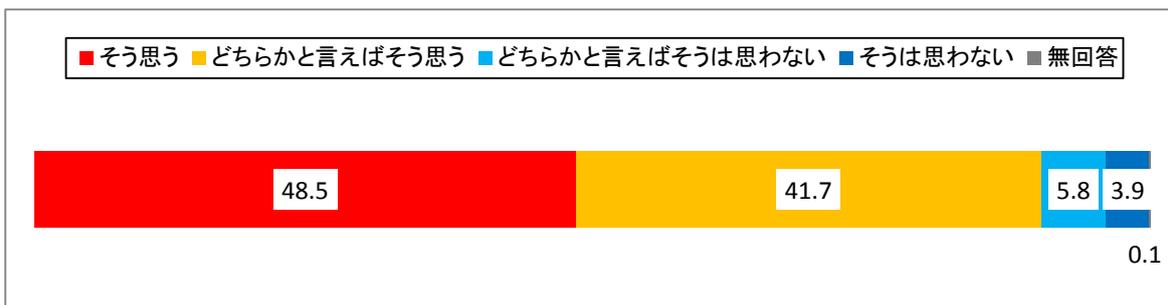


図 1-1-3-2 地域別 問 1-3

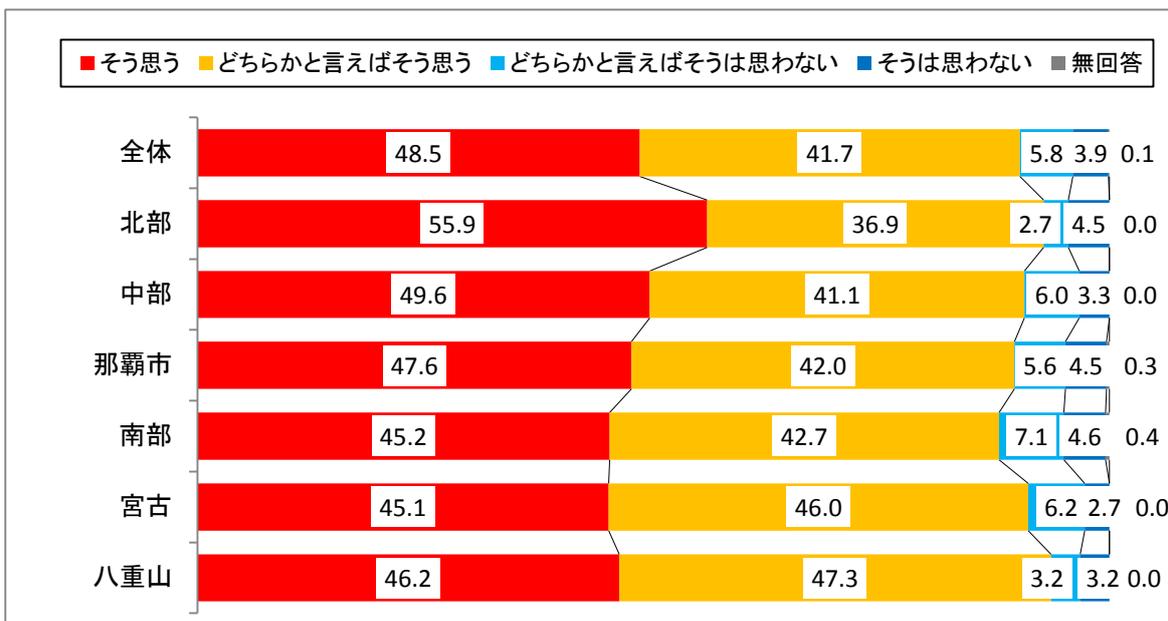


図 1-1-3-3 年代別 問 1-3

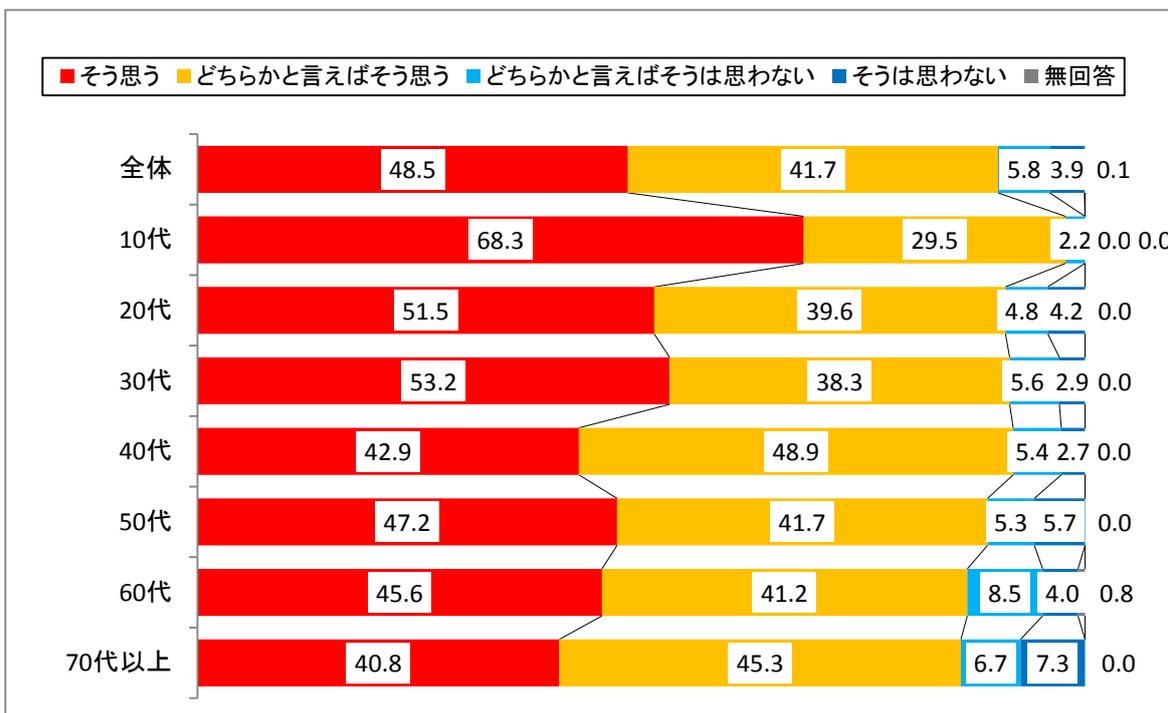


図 1-1-3-4 性別 問 1-3

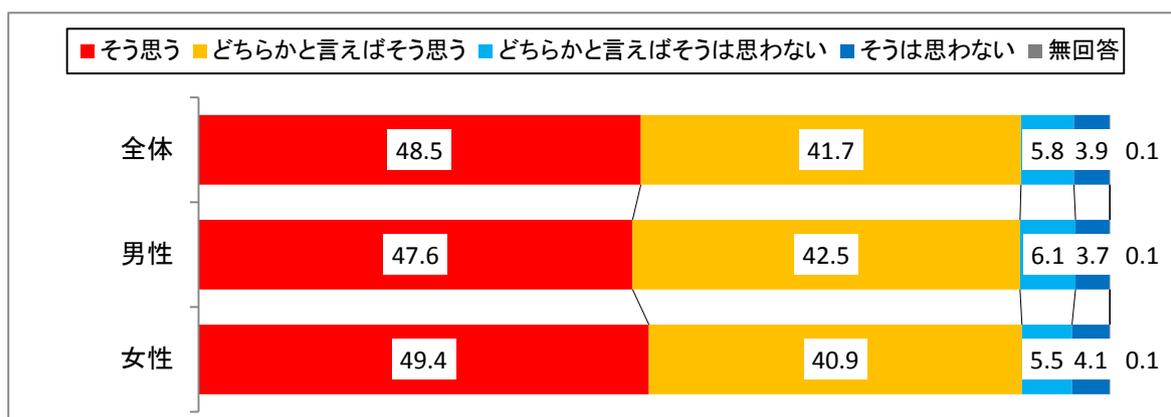
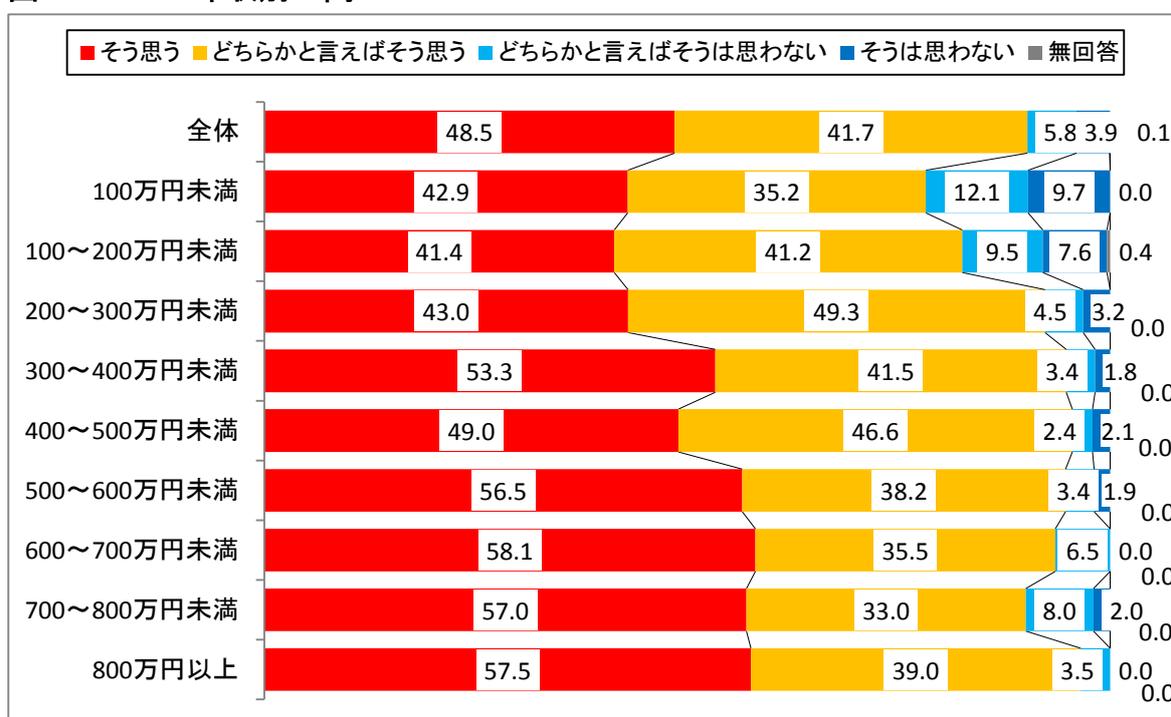


図 1-1-3-5 年収別 問 1-3



(4) 「幸せ」だと感じているか (問 1-4)

今、幸せだと感じているかについて、「幸せと感じている」(37.3%)と「どちらかと言えば感じている」(44.7%)の合計が約8割となっており、県民の幸せ感の高さが特徴的である。「どちらかと言えば感じていない」(11.9%)、「感じていない」(5.7%)を大きく上回っている。

前回調査と比較すると、ほとんど変化は見られない。

年代別に見ると、幸せを「感じている」「どちらかと言えば感じている」の合計は10代と70代以上で高く、「感じていない」「どちらかと言えば感じていない」の合計は60代で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、幸せを「感じている」「どちらかと言えば感じている」の合計は女性で高くなっている。

年収別に見ると、「感じている」と答えた人の割合はおおむね年収に比例する傾向がある。

図 1-1-4-1 問 1-4 「幸せ」だと感じているか

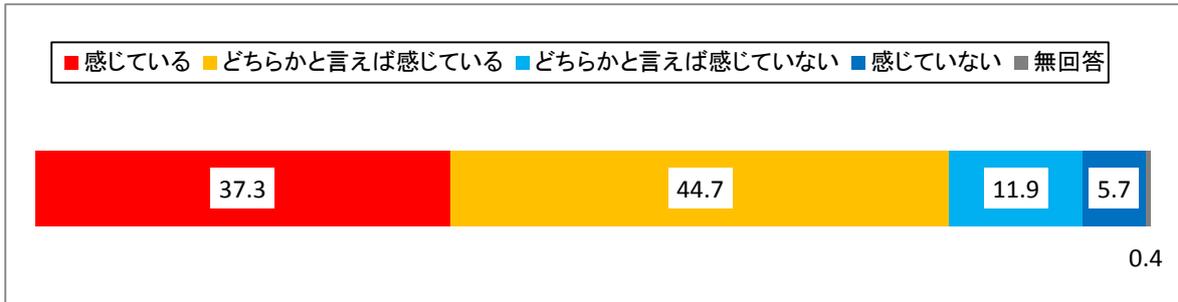


図 1-1-4-2 地域別 問 1-4

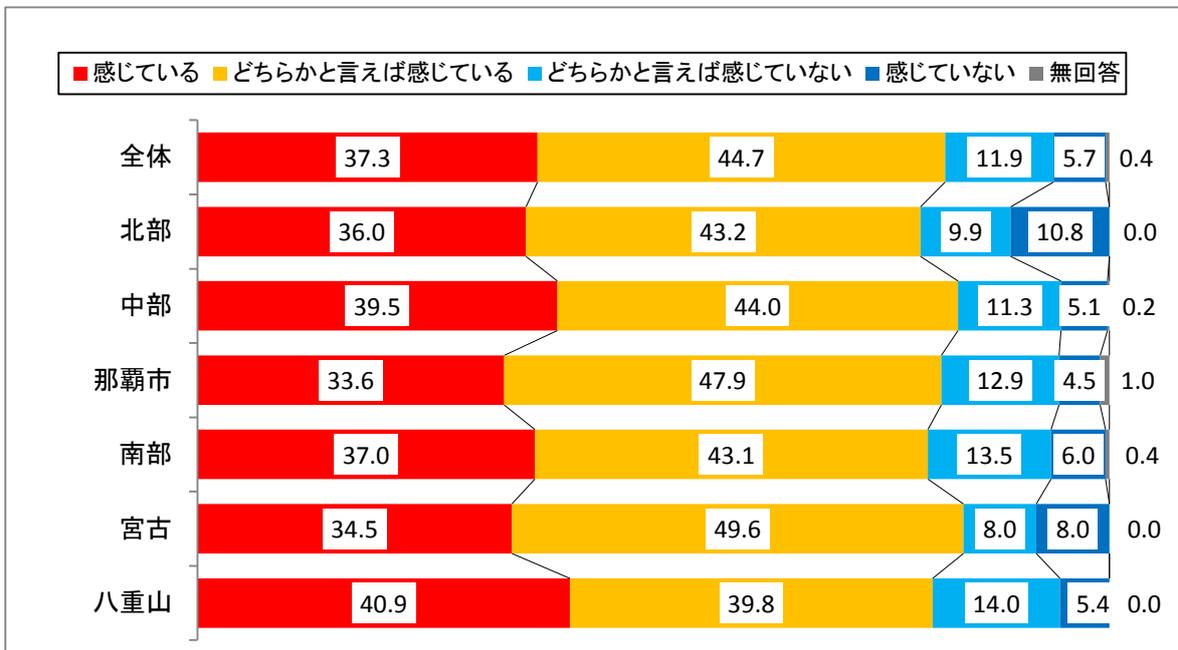


図 1-1-4-3 年代別 問 1-4

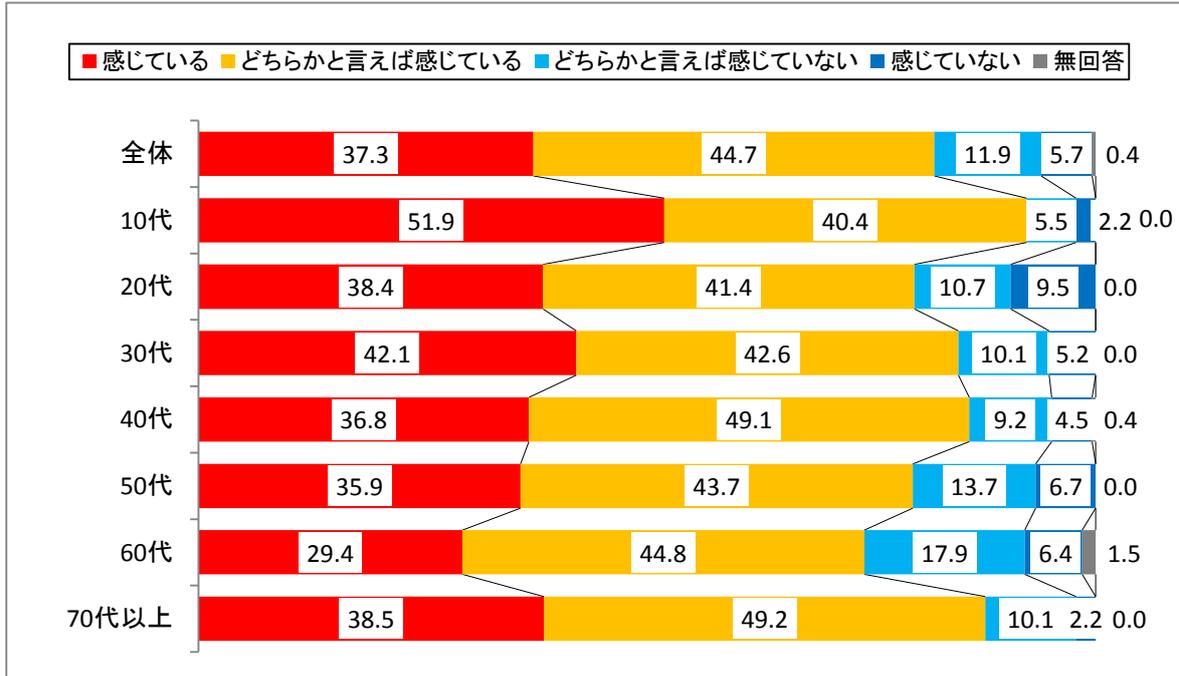


図 1-1-4-4 性別 問 1-4

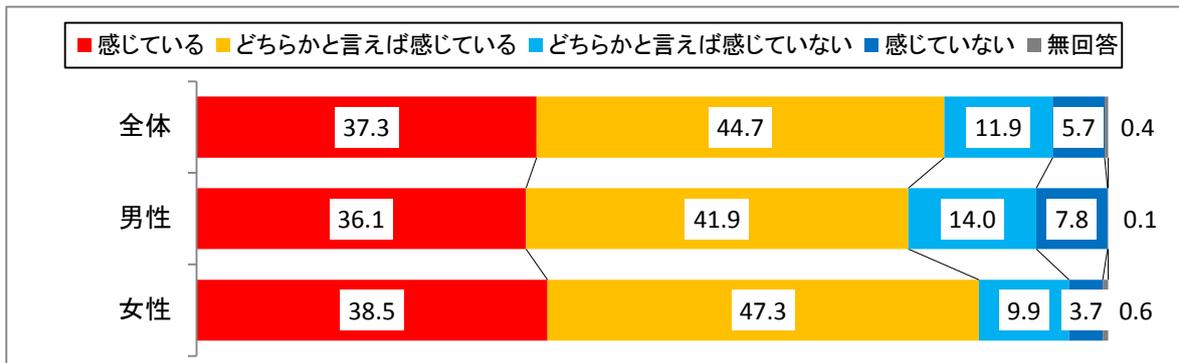
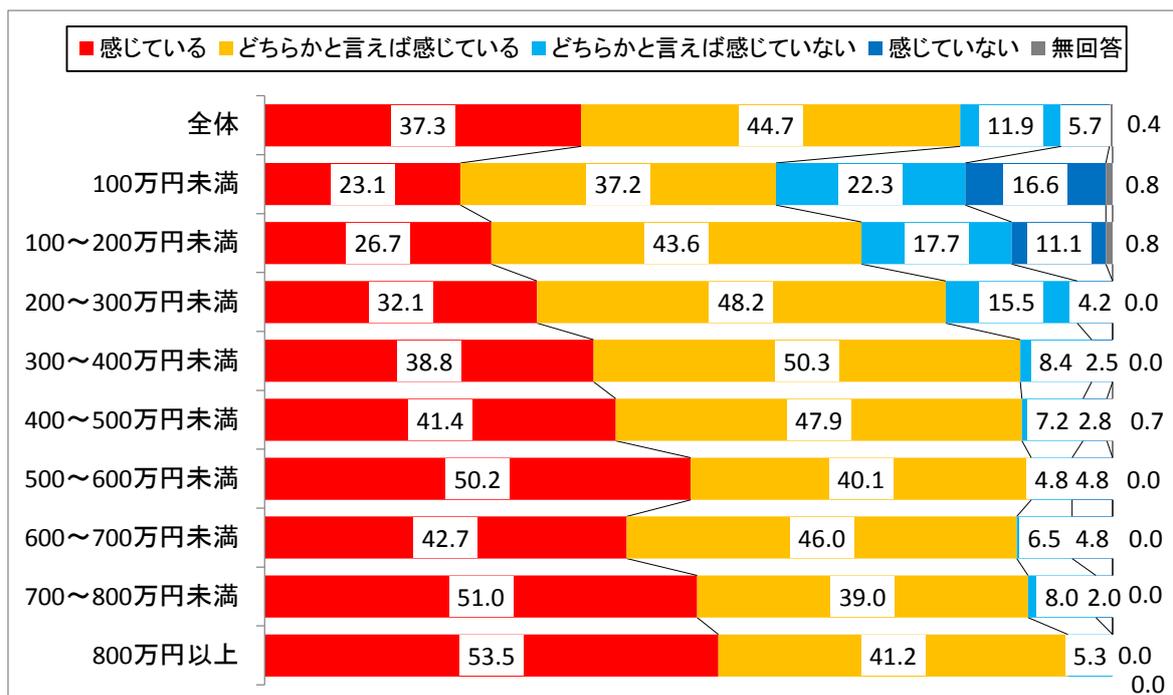


図 1-1-4-5 年収別 問 1-4



(5) 幸せを感じる時 (問 1-5)

人と人のつながりの中で、最も幸せだと感じる時を2つ選択してもらったところ、「家族と一緒にいるとき」(80.3%)と「仲間と一緒にいるとき」(57.3%)の回答が多かった。「自分一人になったとき」が9.7%、「職場の人と一緒にいるとき」が3.9%になっており、比較すると「家族」「仲間」の数値は際立っている。

前回調査と比較すると、「家族と一緒にいるとき」「仲間と一緒にいるとき」の回答が際立って高いことには変わりはないが、「仲間と一緒にいるとき」が前回 62.2%から 4.9ポイント減少している。

地域別に見ると、すべての地域で「家族と一緒にいるとき」「仲間と一緒にいるとき」に回答が集中しているが、「仲間と一緒にいるとき」をあげた人の割合は宮古と八重山で他の地域より低くなっている。

年代別に見ると、「家族と一緒にいるとき」をあげた人の割合は40代で9割弱と他の年代に比べ高くなっている。「仲間と一緒にいるとき」をあげた人の割合は10代で9割弱、20代で7割弱と他の年代より高くなっている。

性別に見ると、「家族と一緒にいるとき」をあげた人の割合は、女性のほうが男性より10ポイント以上高くなっている。

年収別に見ると、年収100万円未満では「家族と一緒にいるとき」「仲間と一緒にいるとき」をあげた人の割合が他の層に比べ低く、「人とのつながりで幸せを感じない」をあげた人の割合がやや高くなっている。

図 1-1-5-1 問 1-5 幸せを感じる時

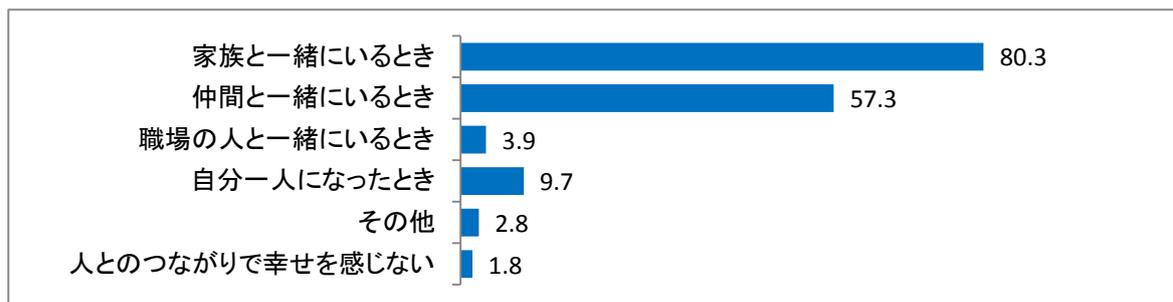


図 1-1-5-2 地域別 問 1-5

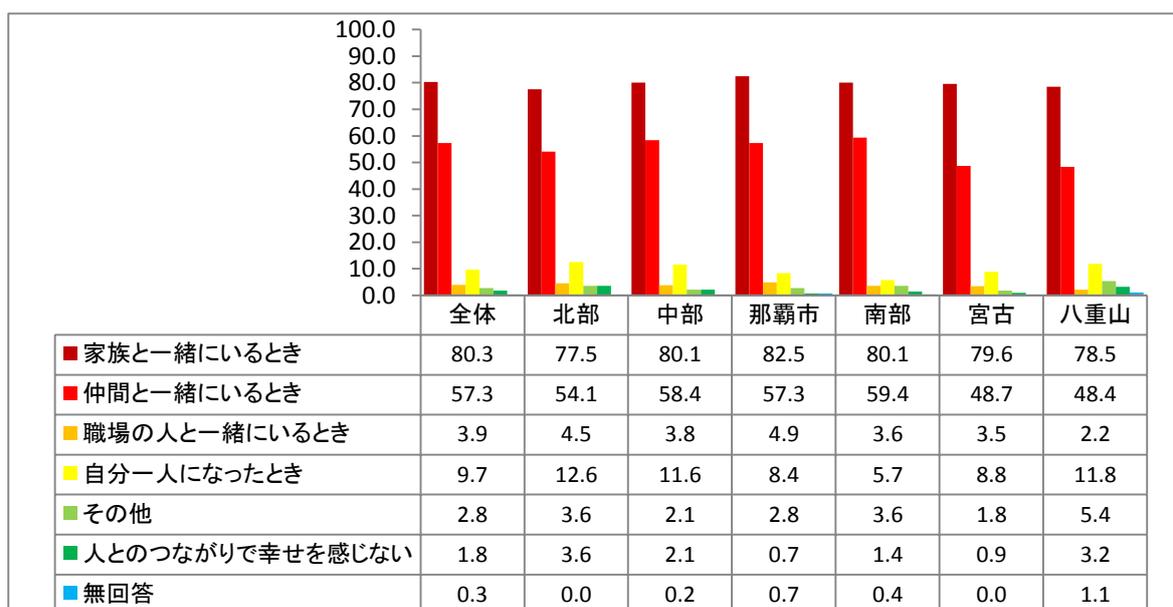


図 1-1-5-3 年代別 問 1-5

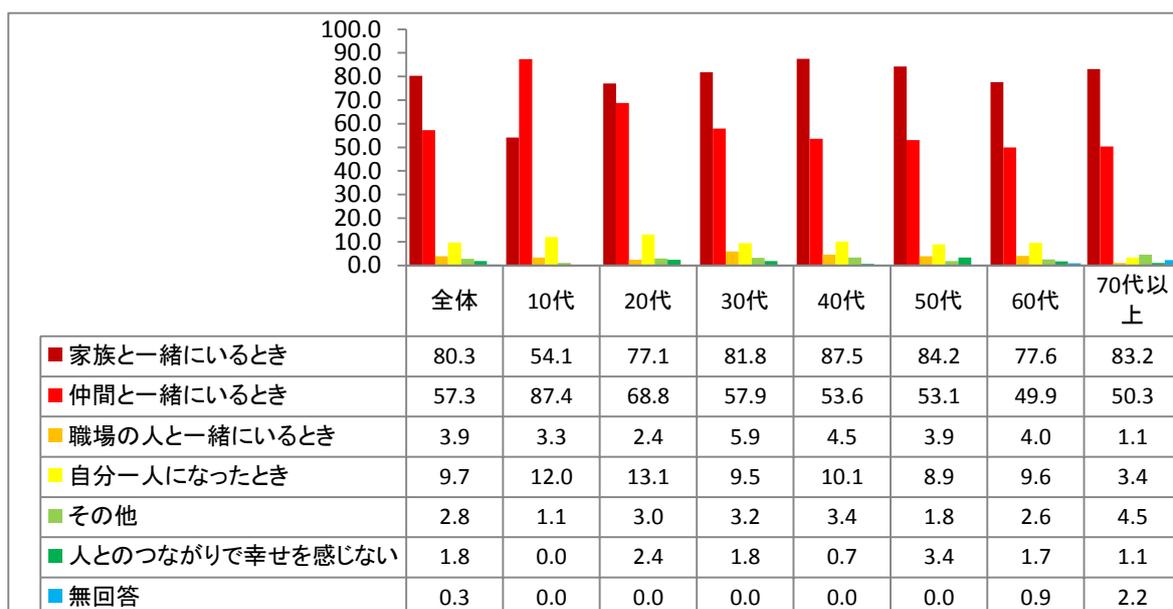


図 1-1-5-4 性別 問 1-5

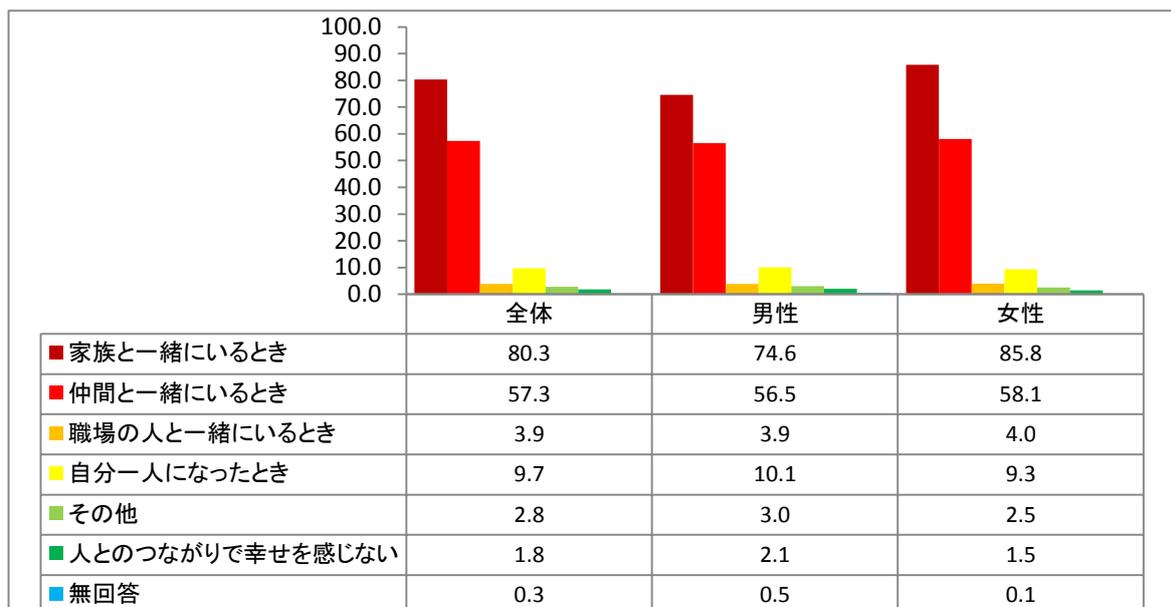
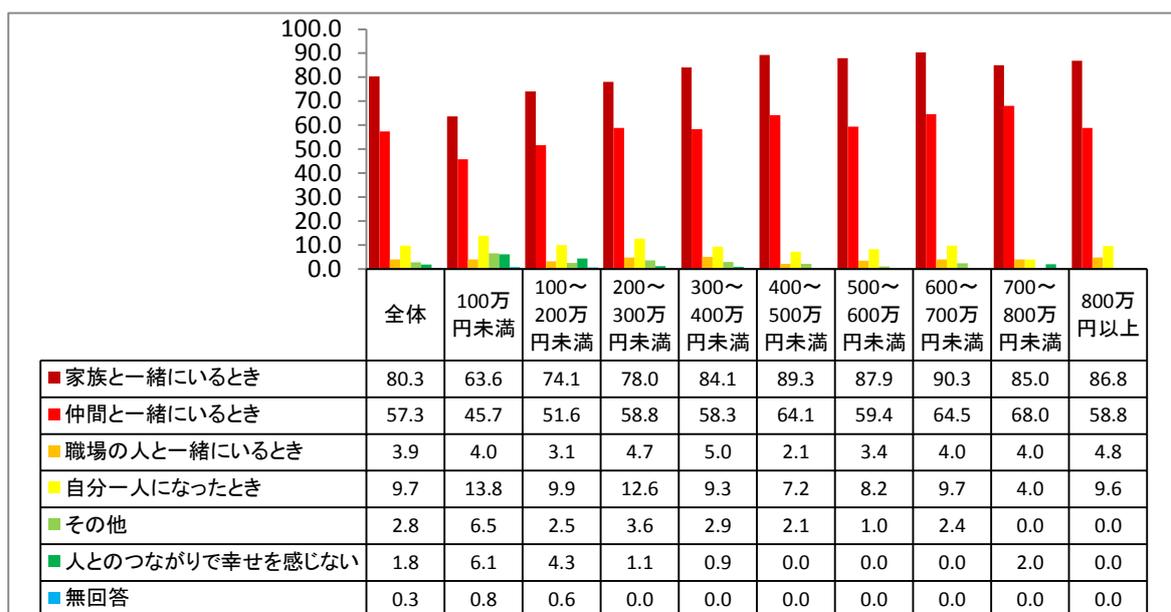


図 1-1-5-5 年収別 問 1-5



(6) 世帯の経済状況 (問 1-6)

今の経済状況について、「かなり余裕がある」と答えた人の割合は 1.1%、「やや余裕がある」は 12.9%、「余裕はないが、生活には困らない」は 48.9%、「やや苦しい」は 23.6%、「かなり苦しい」は 13.0%となっている。

前回調査と比較すると、あまり変化は見られないが、「やや余裕がある」が 11.4%から 1.5ポイントの増加、「やや苦しい」が 25.2%から 1.6ポイントの減少となっている。

地域別に見ると、「やや余裕がある」と答えた人の割合は那覇市と南部でやや高い。「やや苦しい」「かなり苦しい」と答えた人の合計は、八重山で4割強と他の地域に比べ高くなっている。

年代別に見ると、「やや余裕がある」と答えた人の割合は10代で、「かなり苦しい」と答えた人の割合は40代で、それぞれ高くなっている。

年収別に見ると、「かなり余裕がある」と答えた人の割合は年収700万円以上の各層で高くなり、「やや余裕がある」と答えた人の割合は概して年収が高いほど高くなる傾向が見られる。「余裕はないが、生活には困らない」と答えた人の割合は300～400万円未満、500～700万円未満の各層で6割近くを占めている。「やや苦しい」「かなり苦しい」と答えた人の合計はおおむね年収が低いほど割合が高くなり、200万円未満の各層では5割を超える。

図 1-1-6-1 問 1-6 世帯の経済状況

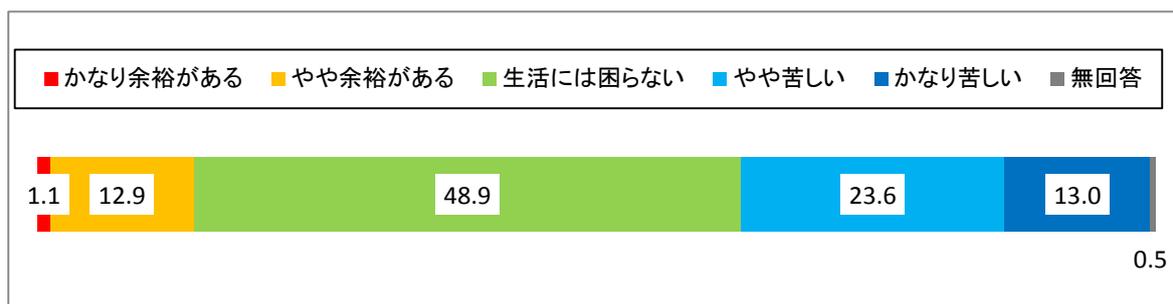


図 1-1-6-2 地域別 問 1-6

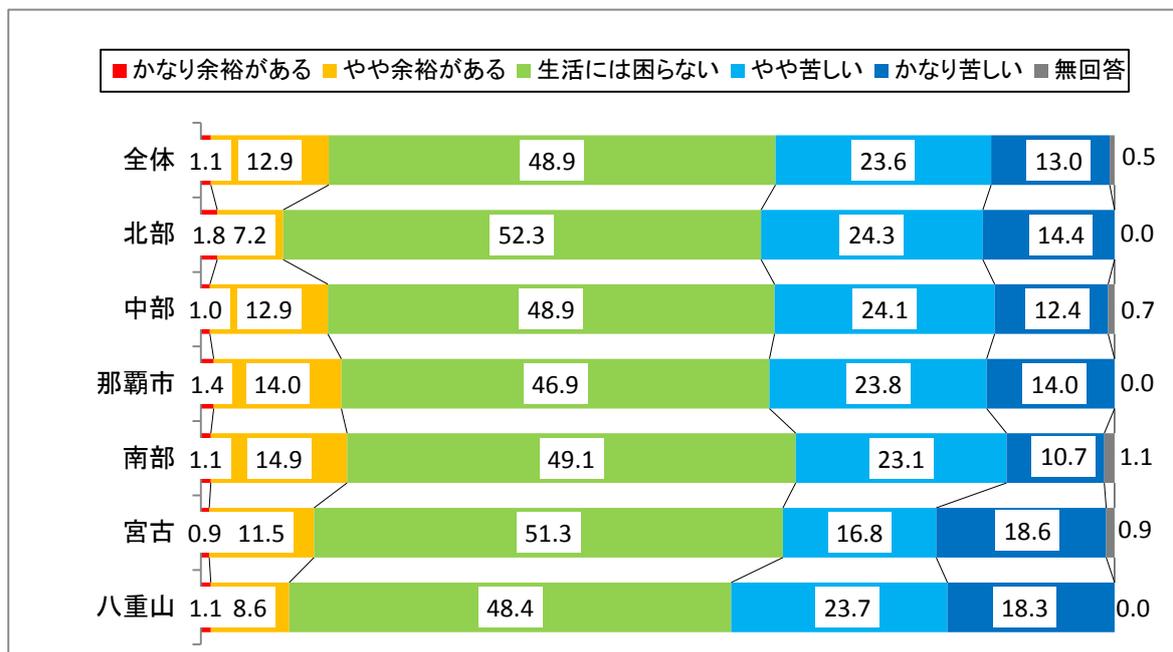


図 1-1-6-3 年代別 問 1-6

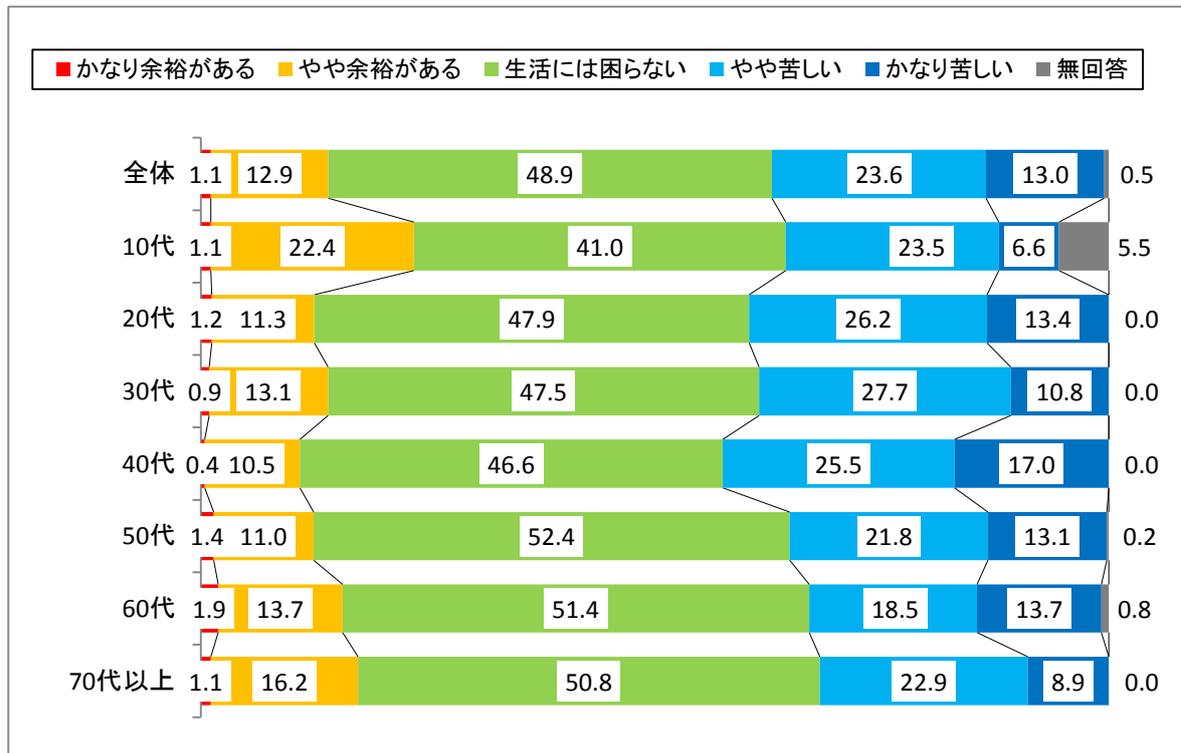


図 1-1-6-4 性別 問 1-6

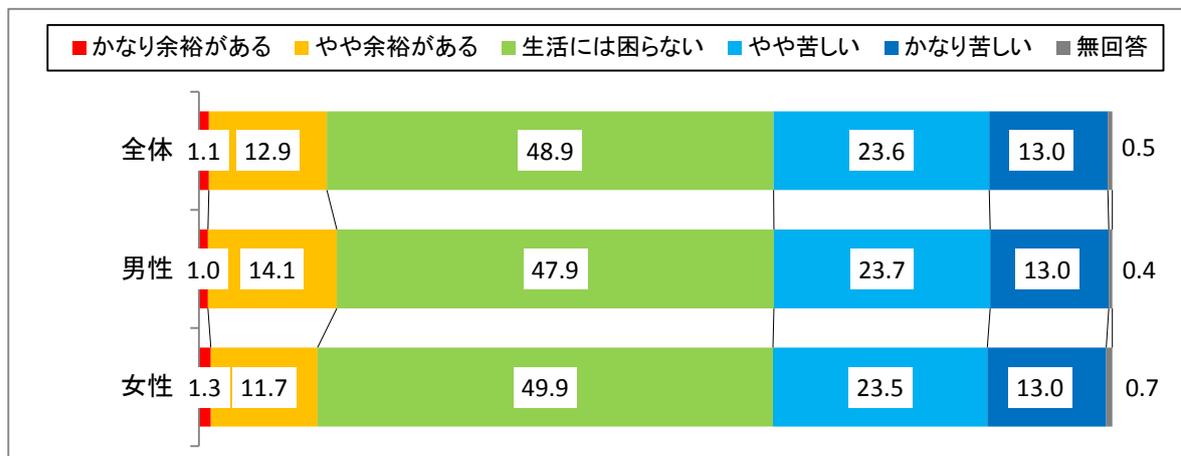
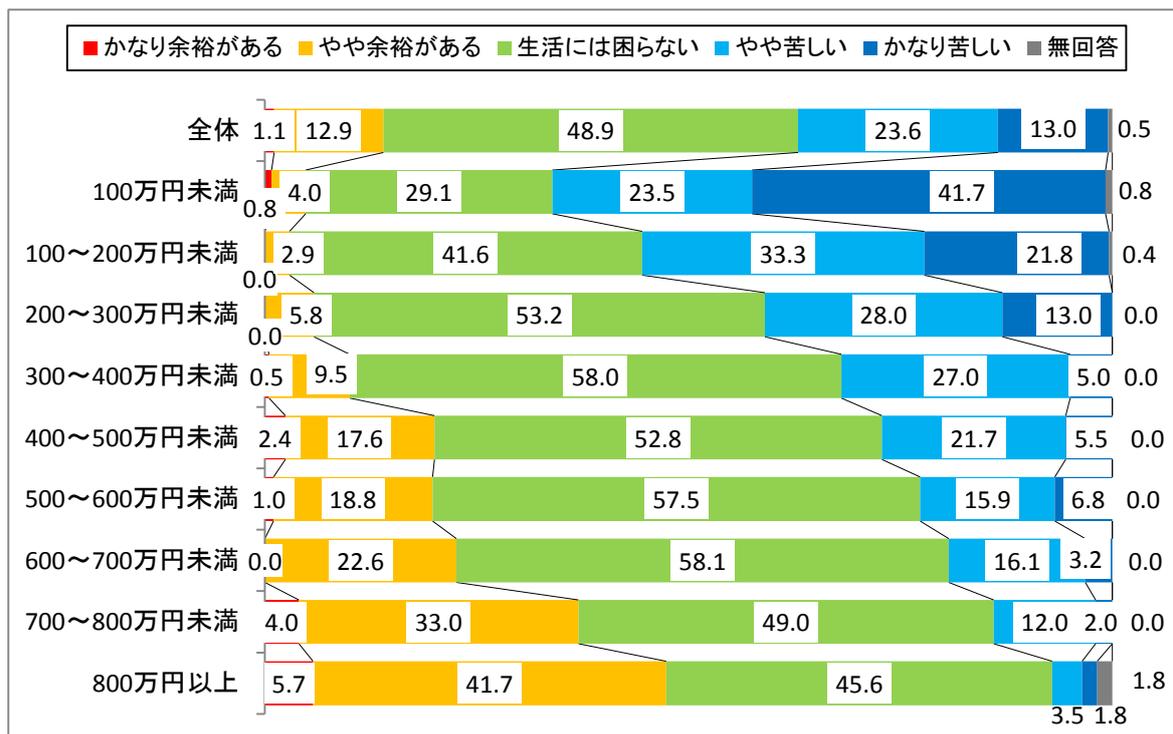


図 1-1-6-5 年収別 問 1-6



(7) 仕事への満足度 (問 1-7)

就労している今の仕事に満足しているかどうかについて、「満足している」(14.6%) 「どちらかと言えば満足している」(30.2%) と答えた人の合計が 44.7% に対し、「どちらかと言えば満足していない」(17.7%)、「満足していない」(6.9%) と答えた人の合計は 24.6% である。なお、「無回答」が 30.6% あるが、本質問は就労している人へのみ回答を求めているので、定年退職者、専業主婦(夫)、学生などが「無回答」に含まれる。

年代別に見ると、「満足している」とする人の割合は 30 代から 50 代で、「満足していない」とする人の割合は 20 代でそれぞれ高くなっている。

性別に見ると、「満足していない」とする人の割合は男性で高くなっている。

年収別に見ると、「満足している」とする人の割合は年収 600 万円以上の各層で、「満足していない」とする人の割合は 100～200 万円未満で、それぞれ高くなっている。

図 1-1-7-1 問 1-7 仕事への満足度

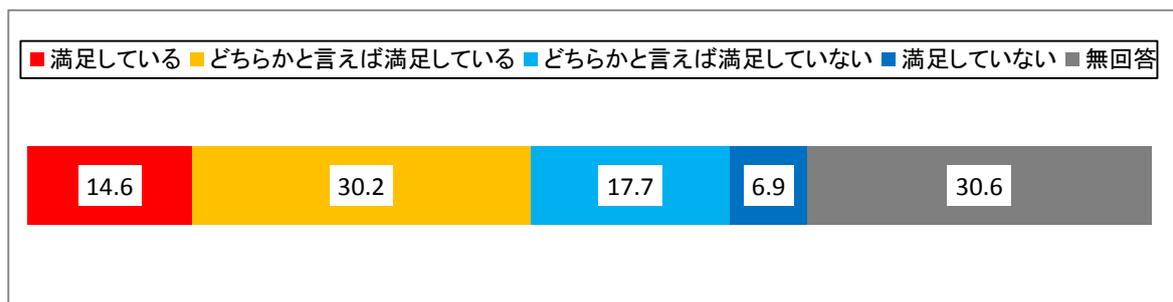


図 1-1-7-2 地域別 問 1-7

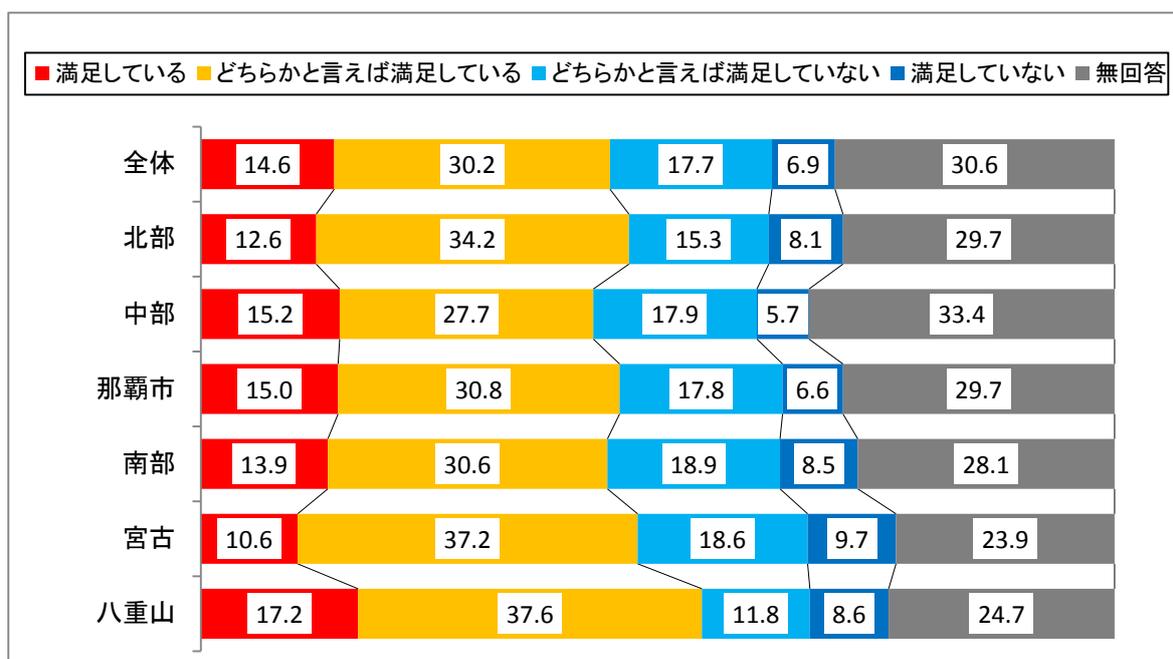


図 1-1-7-3 年代別 問 1-7

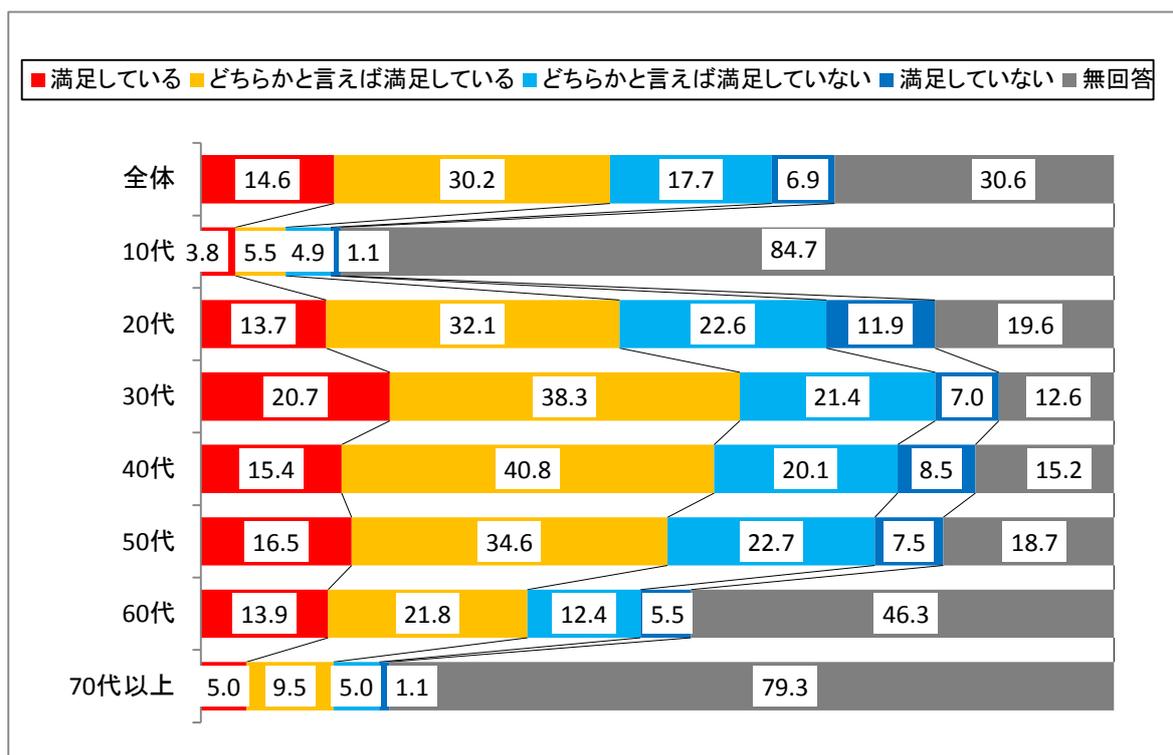


図 1-1-7-4 性別 問 1-7

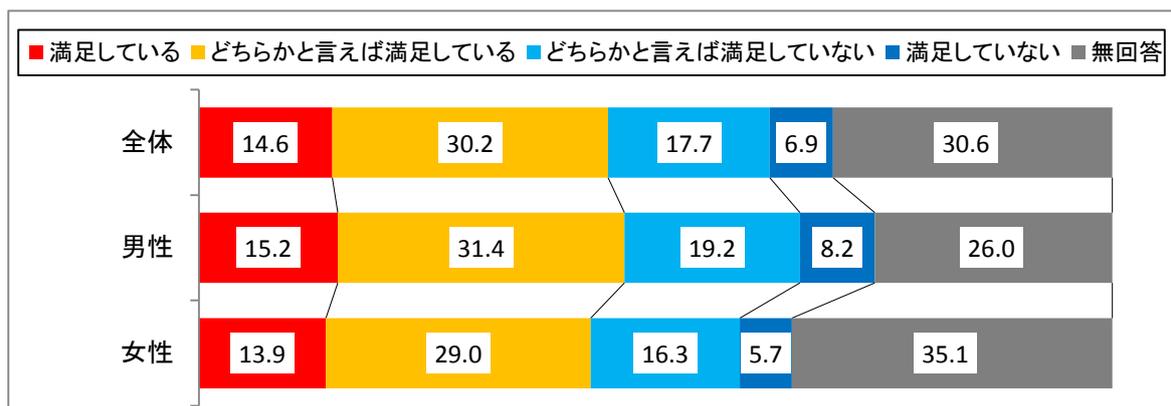
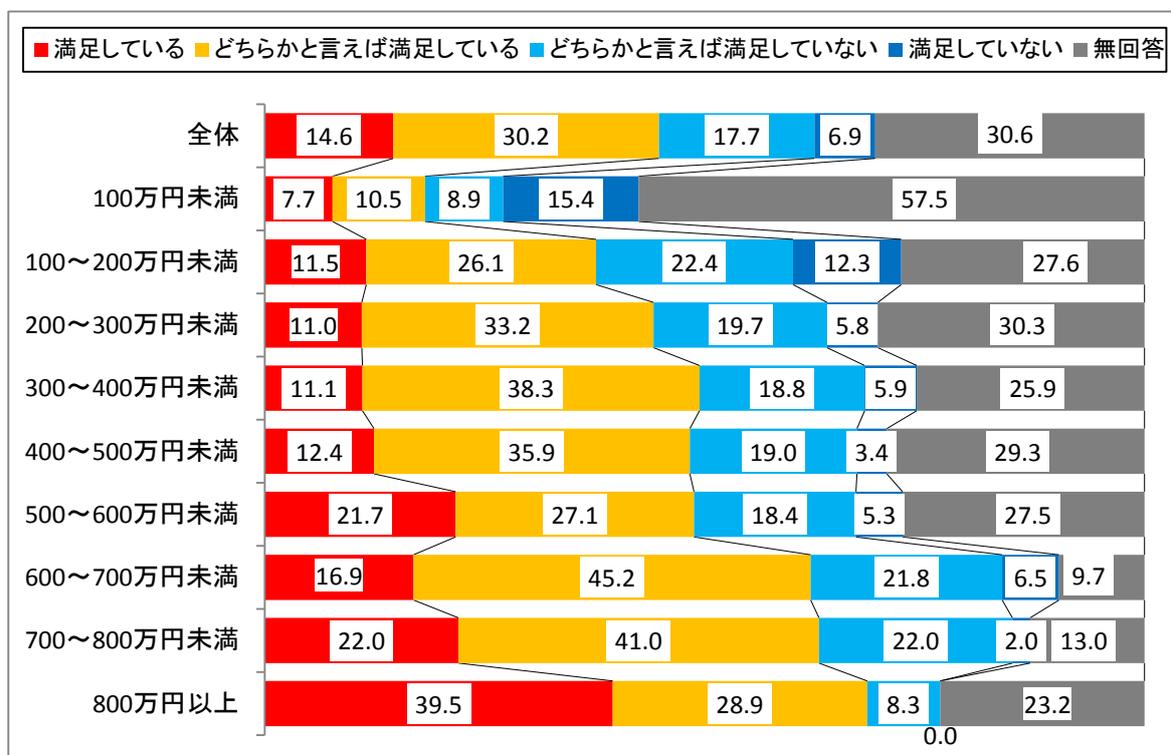


図 1-1-7-5 年収別 問 1-7



(8) 家族との関係 (問 1-8)

家族との関係は良好だと思うかについて、「非常に良好だと思う」(35.7%)と「どちらかと言えば良好だと思う」(54.9%)の合計は9割を超える。そうではないと感じている人は1割弱である。

前回調査と比較すると、約9割が良好だと思っていることに変わりはないが、そのうち、「非常に良好だと思う」は前回38.4%から2.7ポイント減少し、「どちらかと言えば良好だと思う」は前回51.3%から3.6ポイント増加している。

地域別に見ると、「非常に良好だと思う」人の割合は八重山で目立って高い。「どちらかと言えば良好ではない」「良好ではない」と答えた人の合計は北部で高くなっている。

年代別に見ると、「非常に良好だと思う」人の割合は40代以下に比べ50代以上の

年代で低くなり2割台にとどまっている。「どちらかと言えば良好ではない」「良好ではない」と答えた人の合計は60代で高くなっている。

性別に見ると、「非常に良好だと思う」と答えた人の割合は、女性のほうが男性より6.0ポイント高くなっている。

年収別に見ると、「どちらかと言えば良好ではない」「良好ではない」と答えた人の合計は100万円未満で高くなっている。

図 1-1-8-1 問 1-8 家族との関係

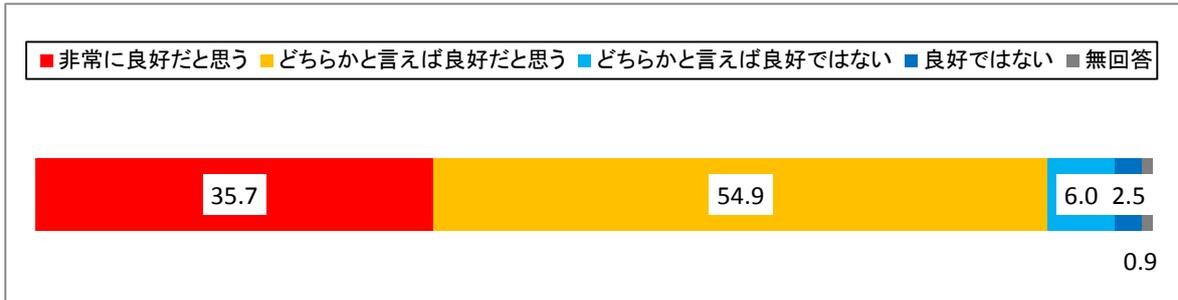


図 1-1-8-2 地域別 問 1-8

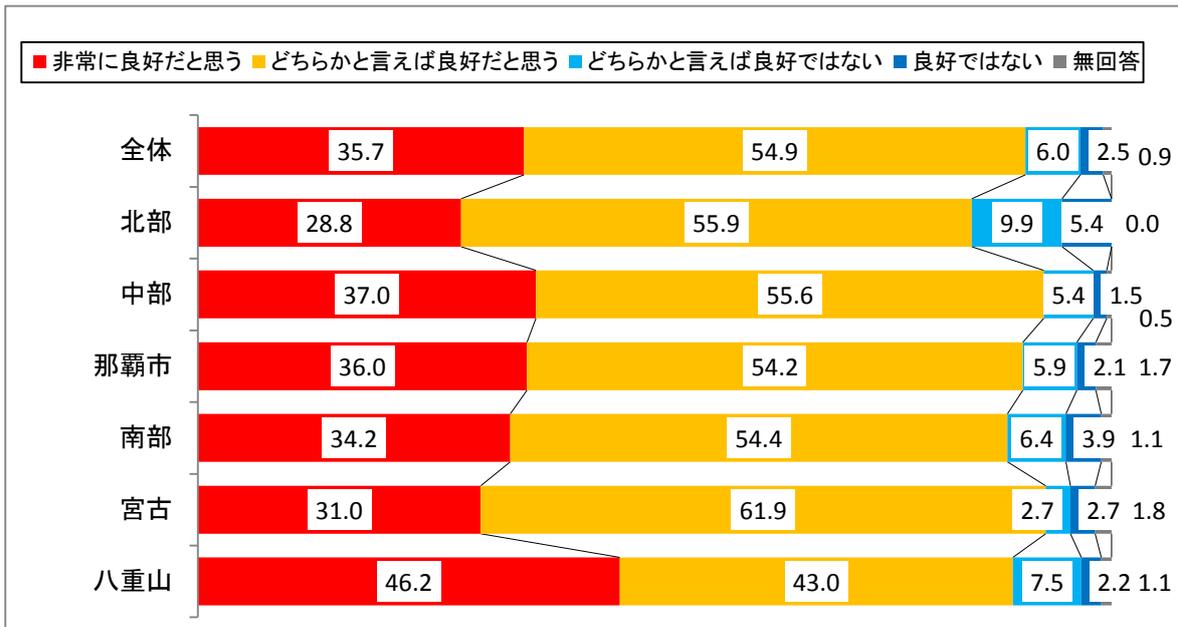


図 1-1-8-3 年代別 問 1-8

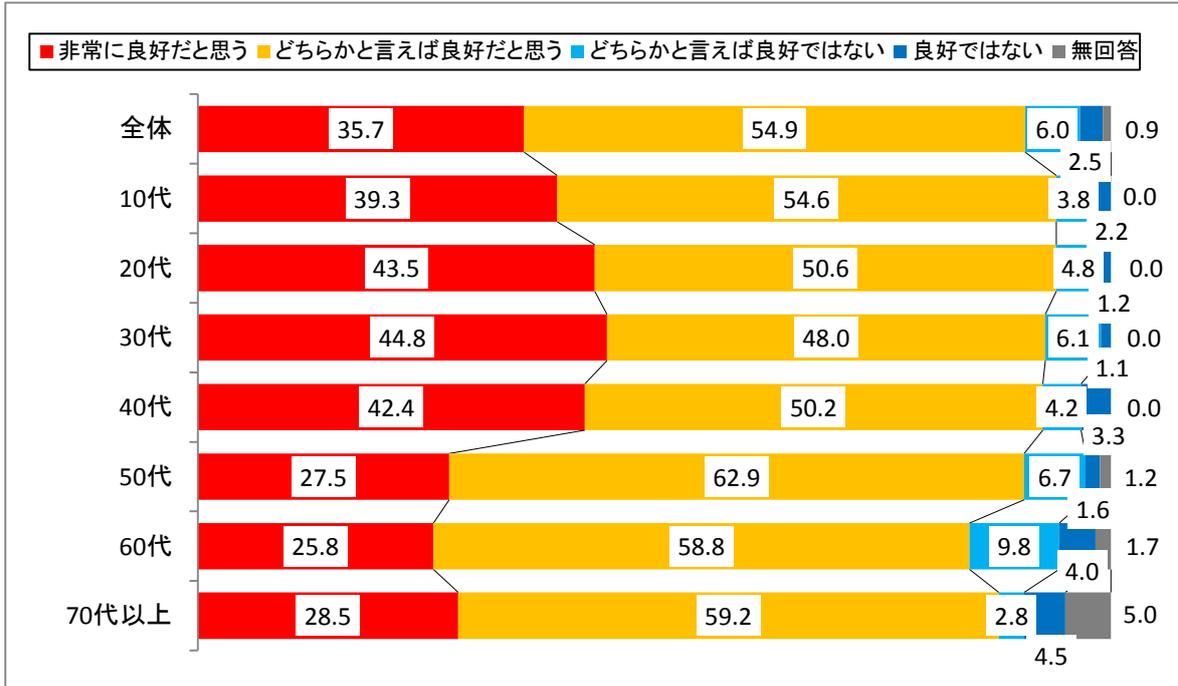


図 1-1-8-4 性別 問 1-8

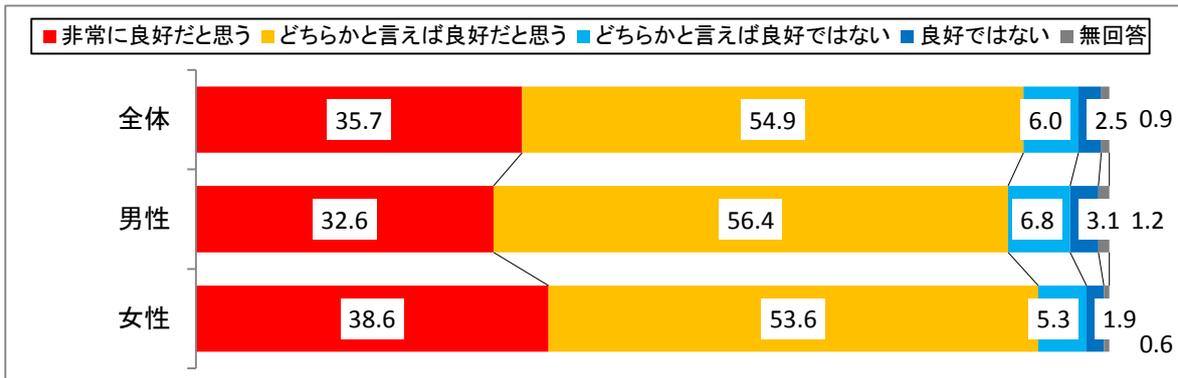
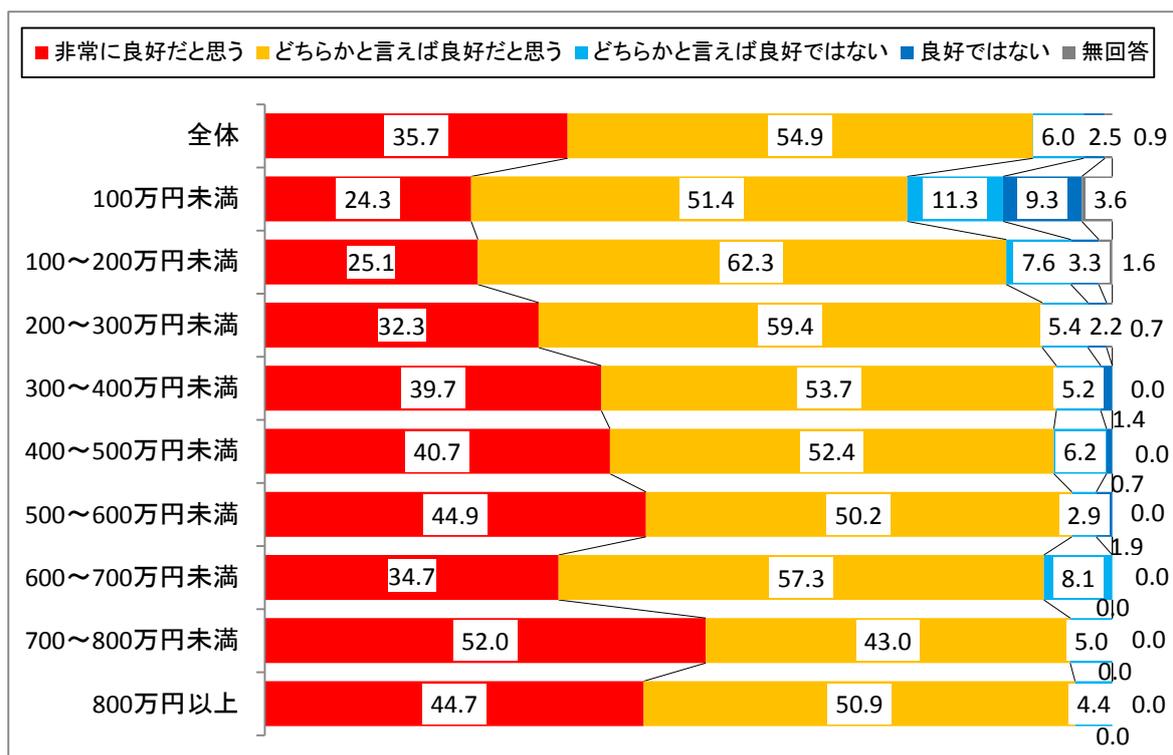


図 1-1-8-5 年収別 問 1-8



(9) 健康状態 (問 1-9)

健康と思うかについて、「大変健康である」(22.0%)、「まあまあ健康である」(61.3%)と答えた人の合計は8割を超えるのに対し、健康に不安をかかえている人の合計は約17%である。

前回調査と比較すると、「大変健康である」「まあまあ健康である」と答えた人の合計は変わらないが、そのうち、「大変健康である」が前回24.0%から2.0ポイント減少し、「まあまあ健康である」が前回58.9%から2.4ポイント増加している。

年代別に見ると、「大変健康である」「まあまあ健康である」と答えた人の合計は年代が低いほど高く、対して「あまり健康ではない」「健康ではない」と答えた人の合計は年代が上がるほど割合が高くなっている。

年収別に見ると、「あまり健康ではない」「健康ではない」と答えた人の合計は100万円未満で高くなっている。

図 1-1-9-1 問 1-9 健康状態



図 1-1-9-2 地域別 問 1-9

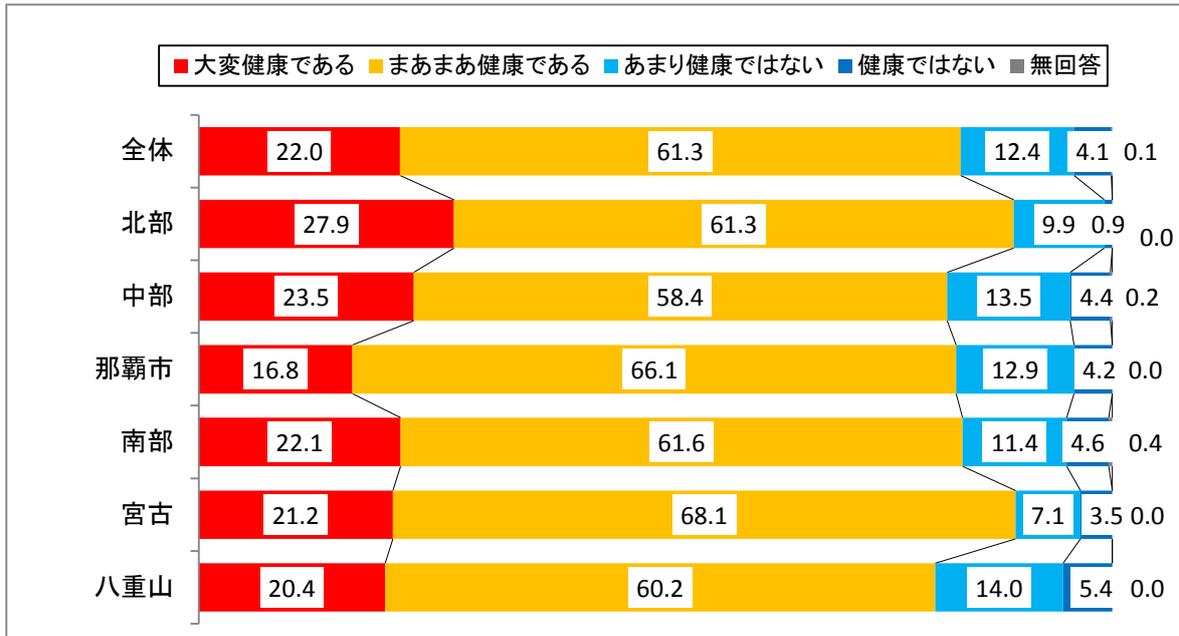


図 1-1-9-3 年代別 問 1-9

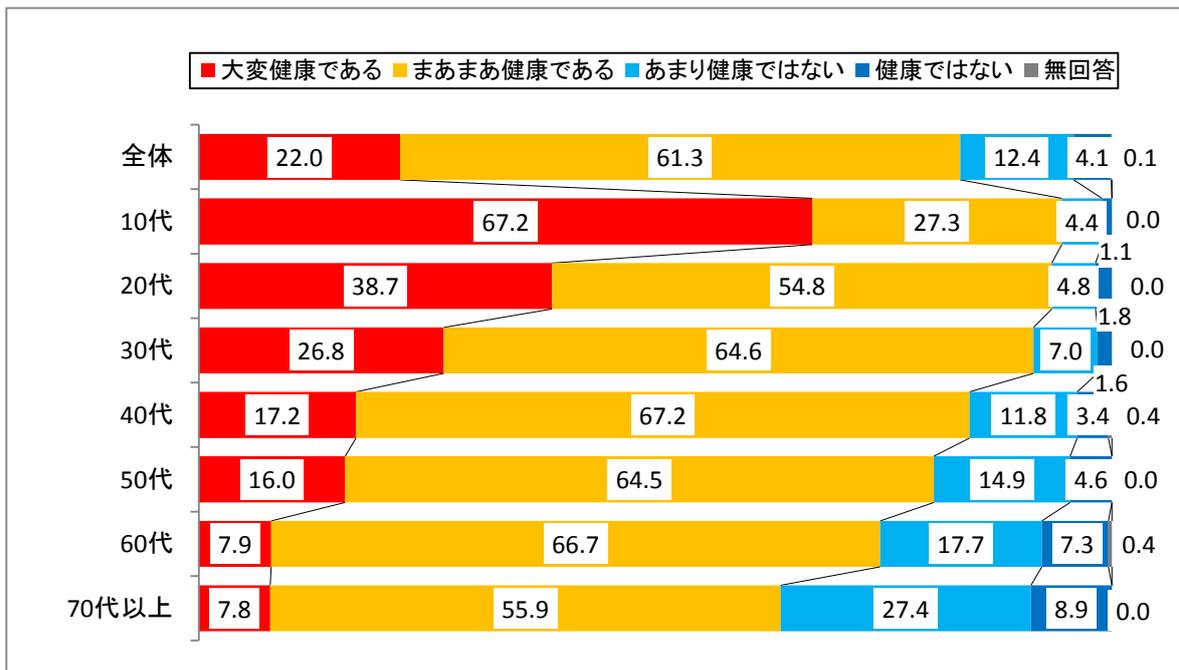


図 1-1-9-4 性別 問 1-9

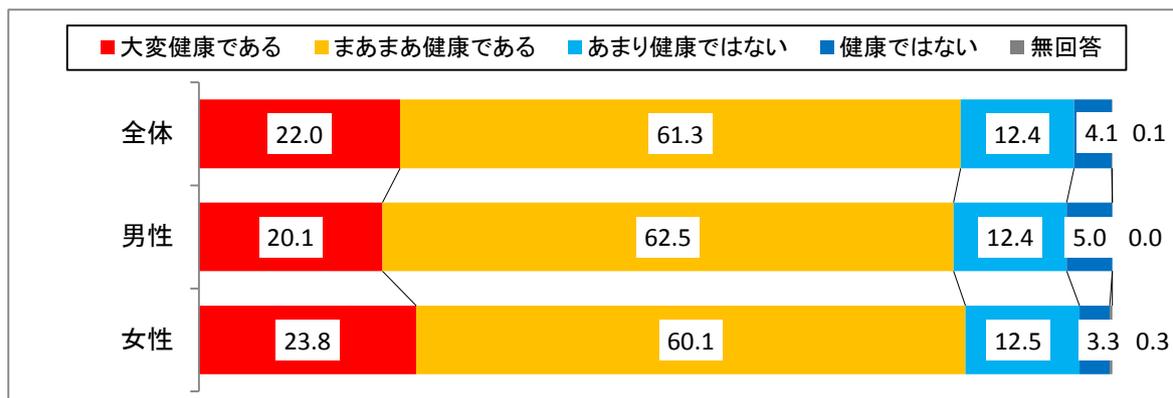
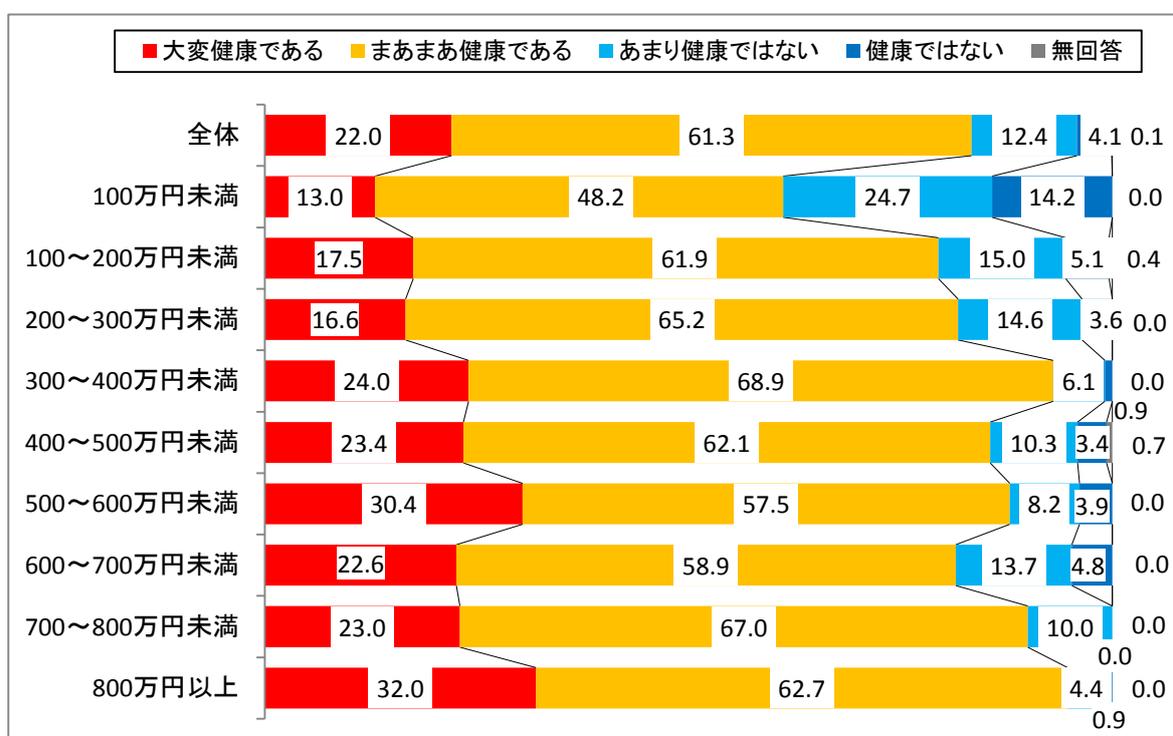


図 1-1-9-5 年収別 問 1-9



(10) 住まいへの満足度 (問 1-10)

現在の住まいは生活していくうえで十分だと思うかについて、「十分だと思う」(38.1%)「まあまあ十分だと思う」(38.8%)と答えた人の合計は7割を超えるのに対し、「やや不十分」「不十分」と思う人は約23%である。

前回調査と比較すると、あまり変化は見られない。

地域別に見ると、「十分だと思う」「まあまあ十分だと思う」人の合計は宮古と八重山で高く、中でも「十分だと思う」の割合は八重山で高い。「やや不十分」「不十分」と思う人の合計は那覇市で高くなっている。

年代別に見ると、「十分だと思う」と答えた人の割合は10代で6割強と突出している。

年収別に見ると、「十分だと思う」と答えた人の割合は年収に比例して高くなる傾向がある。

図 1-1-10-1 問 1-10 住まいへの満足度

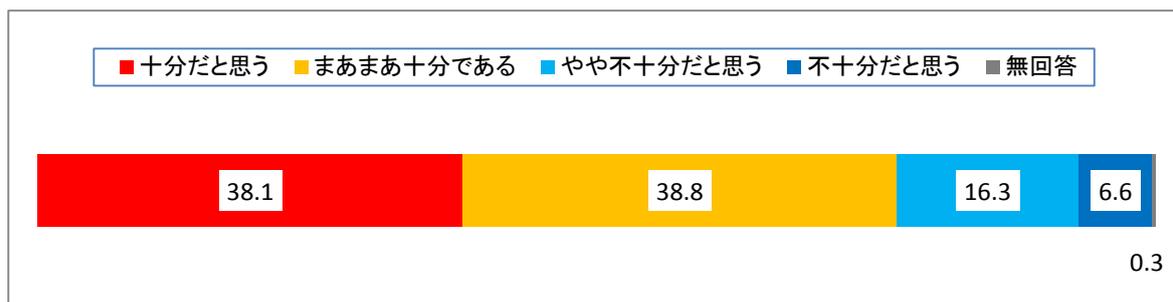


図 1-1-10-2 地域別 問 1-10

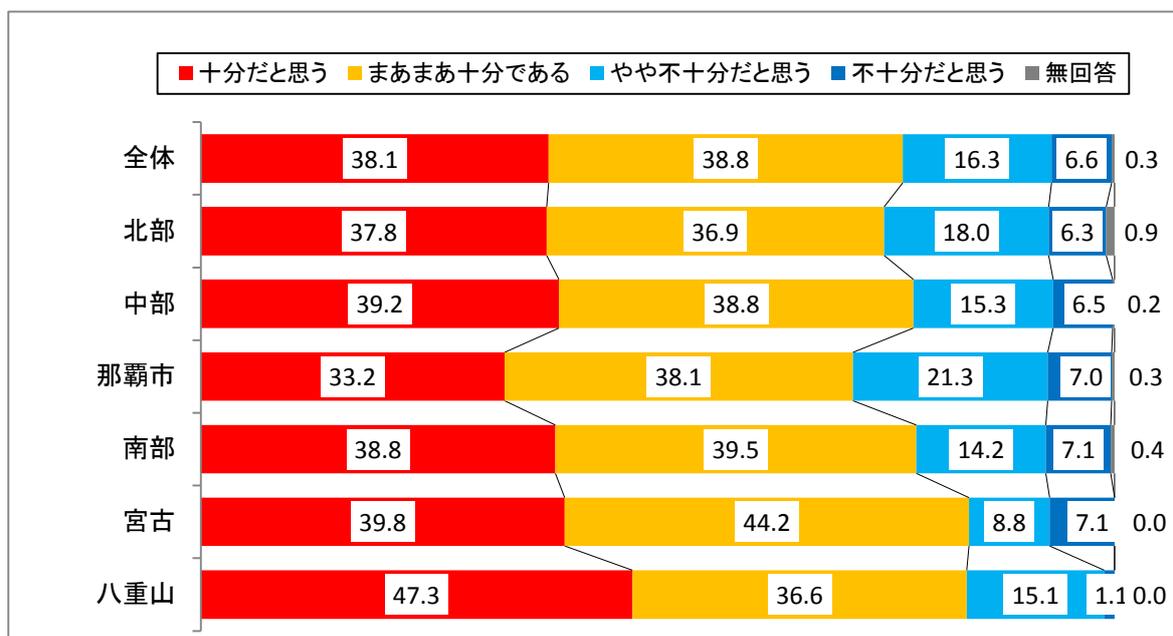


図 1-1-10-3 年代別 問 1-10

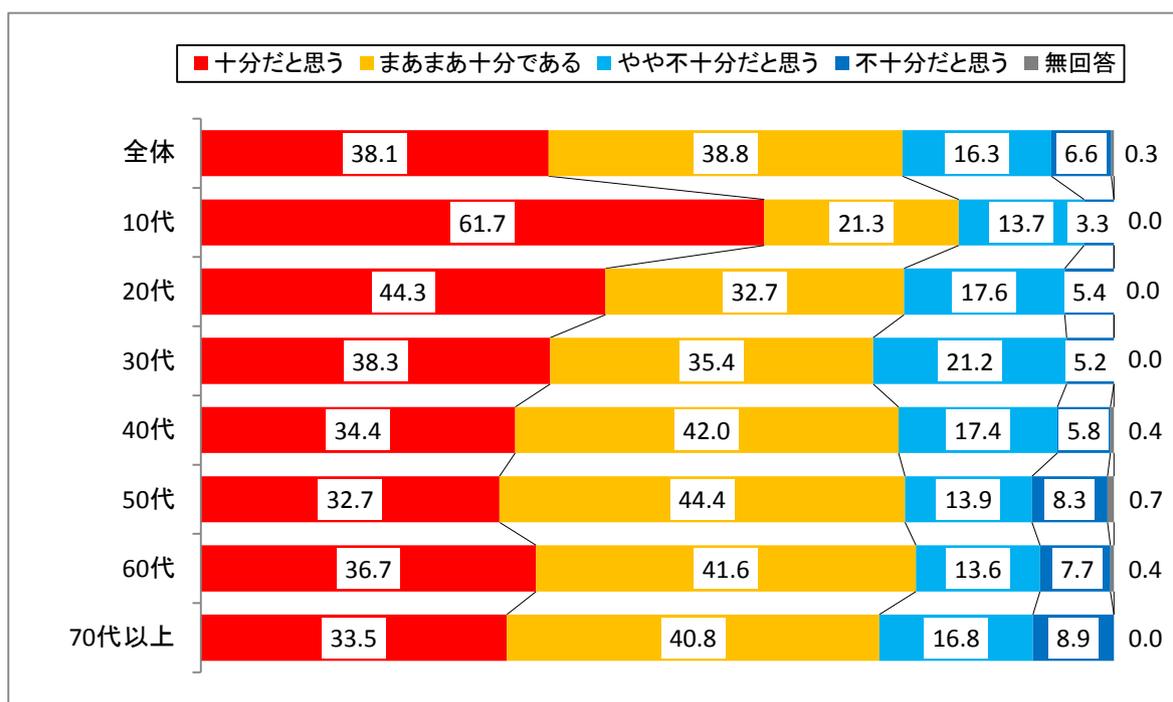


図 1-1-10-4 性別 問 1-10

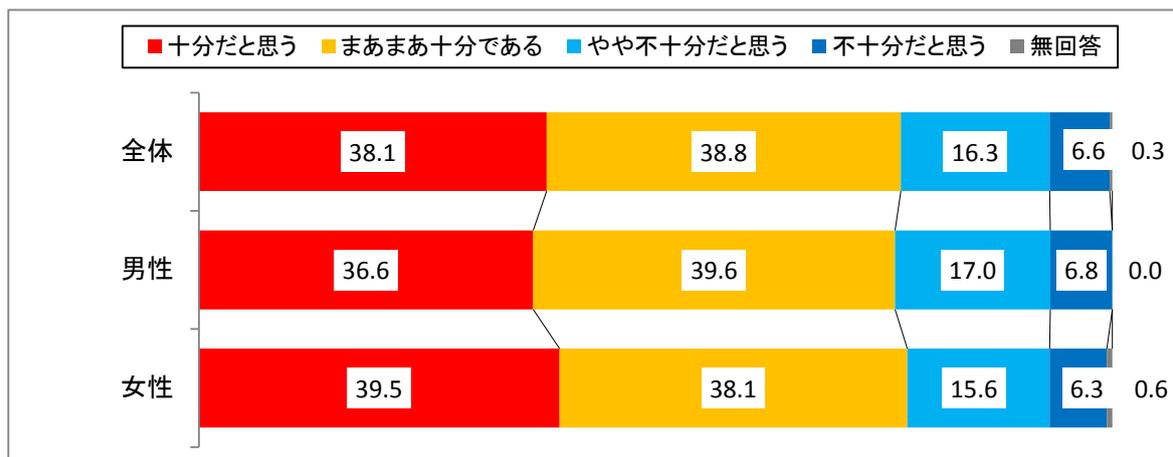
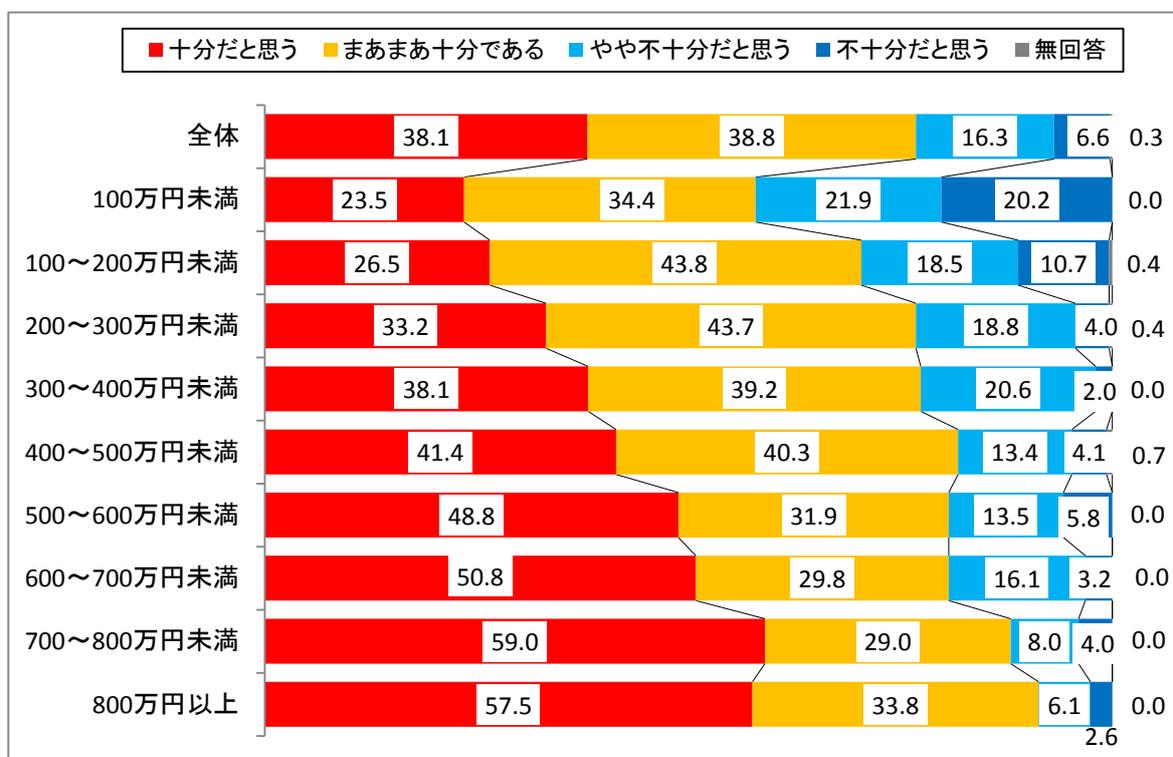


図 1-1-10-5 年収別 問 1-10



(11) 生きがい (問 1-11)

生きがいに行っていることがあるかについて、「大いにある」(30.7%)、「少しある」(40.3%)と答えた人の合計が約7割であるのに対し、「ほとんどない」(7.4%)、「まったくない」(2.7%)と答えた人の合計は約1割である。

前回調査と比較すると、「大いにある」が前回 28.8%から 1.9ポイント増加しているが、あまり変化は見られない。

年代別に見ると、「大いにある」人の割合は10代で高くなっている。

年収別に見ると、「大いにある」人の割合は年収 700 万円以上の各層で高くなっている。

図 1-1-11-1 問 1-11 生きがい

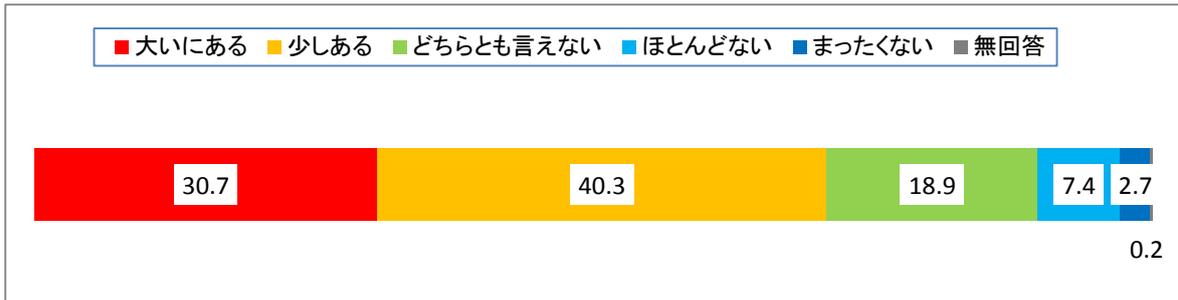


図 1-1-11-2 地域別 問 1-11

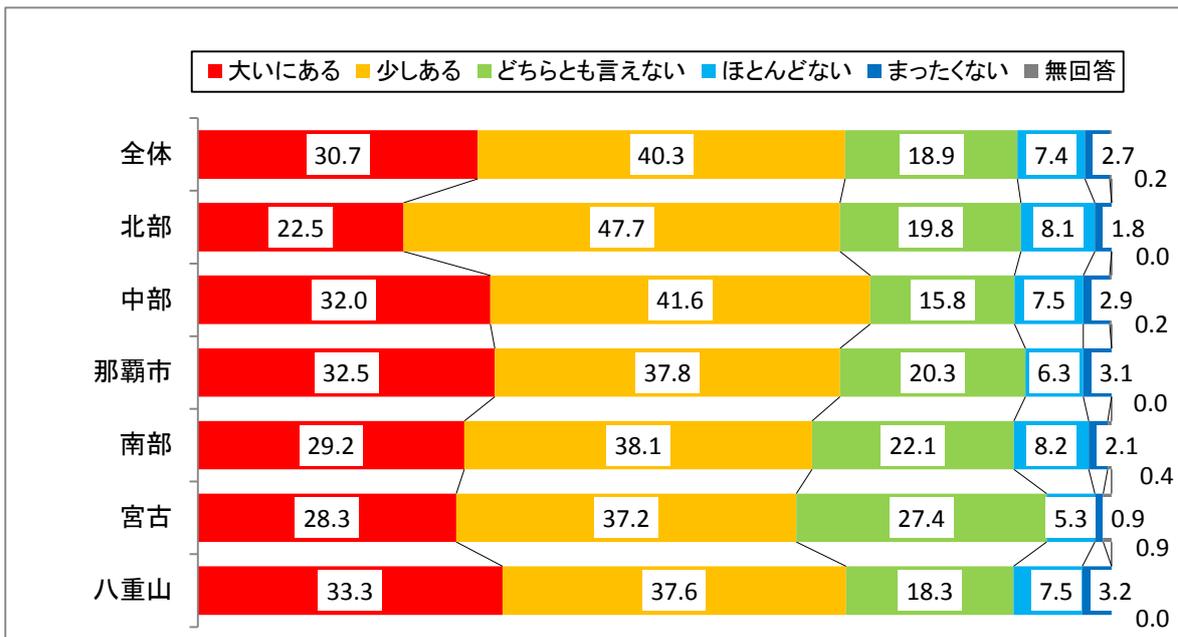


図 1-1-11-3 年代別 問 1-11

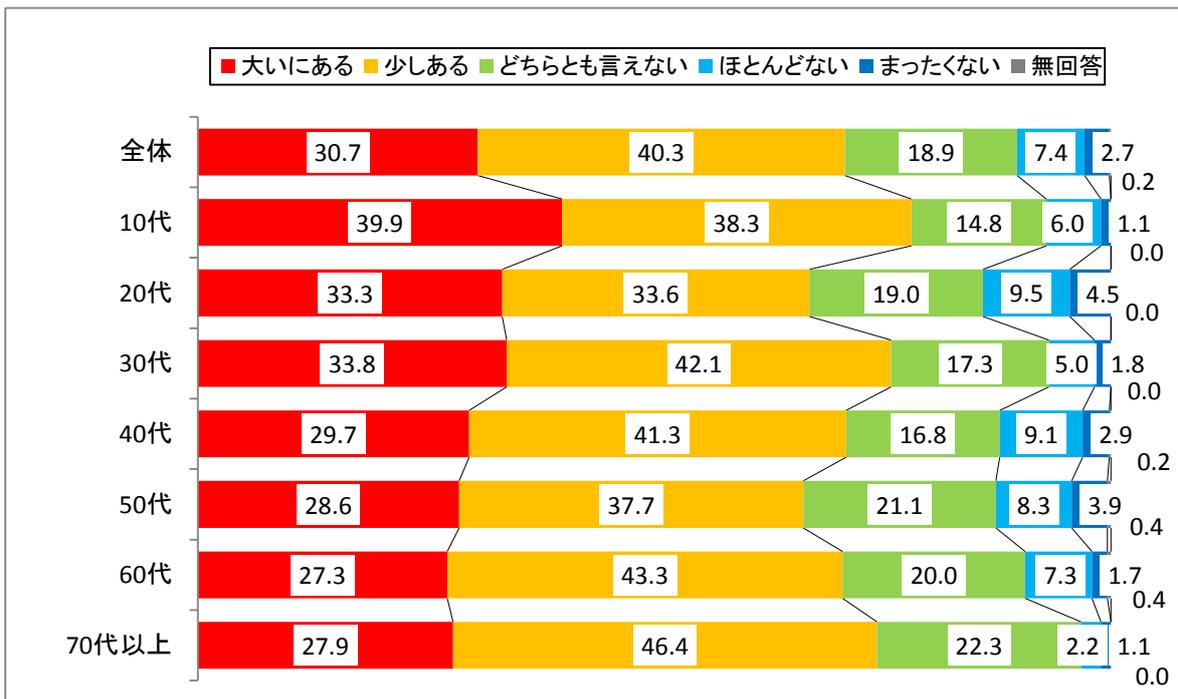


図 1-1-11-4 性別 問 1-11

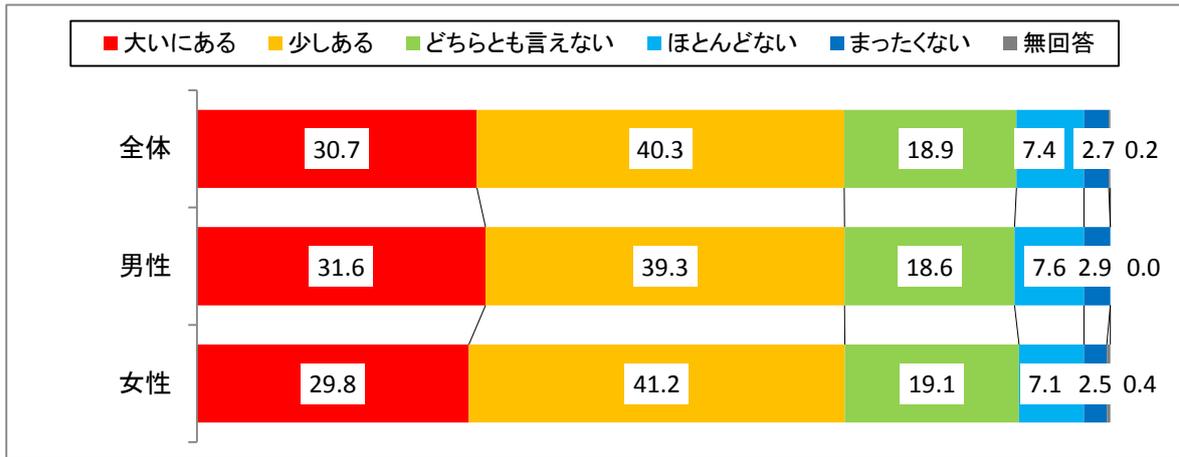
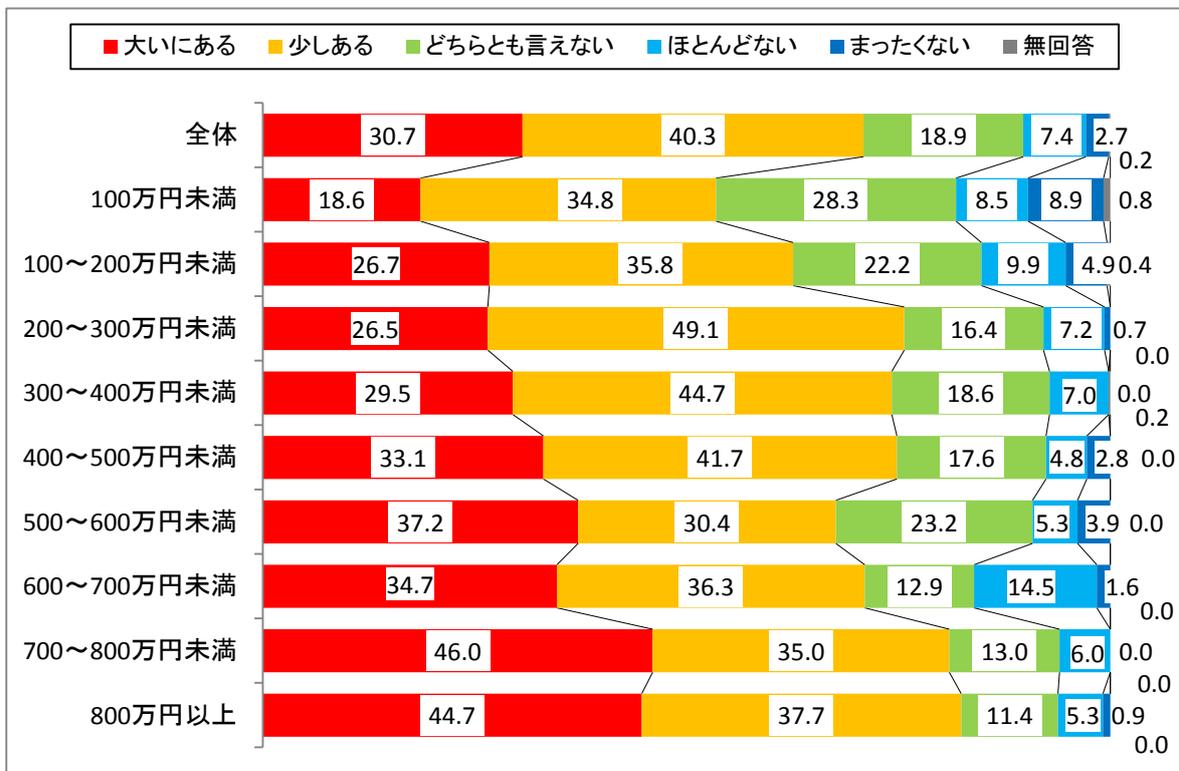


図 1-1-11-5 年収別 問 1-11



2. 自己及び社会に対する意識（問1）

(1) 社会に対する満足度（問1-12）

現在の社会に満足しているかについて、「満足している」（4.0%）と「どちらかと言えば満足している」（26.2%）の合計は約3割である。これに対し、「どちらかと言えば満足していない」（34.4%）、「満足していない」（19.7%）と答えた人が54.1%と5割を超える。

前回調査と比較すると、「満足している」が前回2.5%から1.5ポイント増、「どちらかと言えば満足している」が前回20.7%から5.5ポイント増となっている。一方、「どちらかと言えば満足していない」が前回39.7%から5.3ポイント減、「満足していない」が前回25.2%から5.5ポイント減となっている。前回調査から社会に対する満足度が高まっていることがわかる。

地域別に見ると、社会に対する満足度は北部で低くなっている。

年代別に見ると、社会に対する満足度は10代、20代の若年層で高くなっている。

年収別に見ると、社会に対する満足度は年収700万円以上の各層で高く、200万円未満の各層で低くなっている。

図1-2-1-1 問1-12 社会に対する満足度

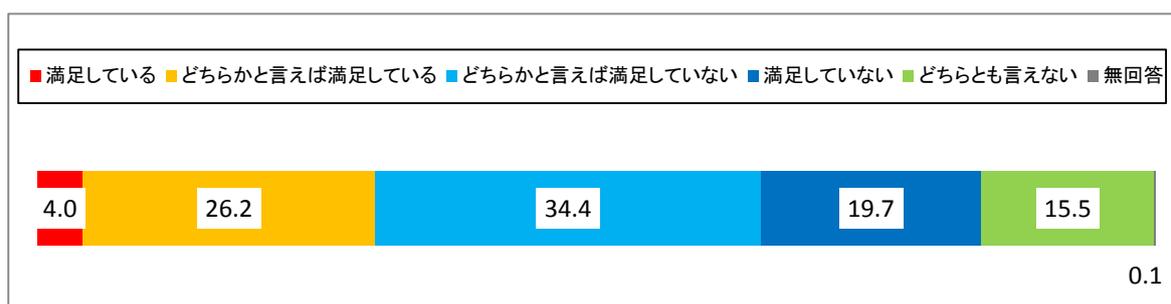


図1-2-1-2 地域別 問1-12

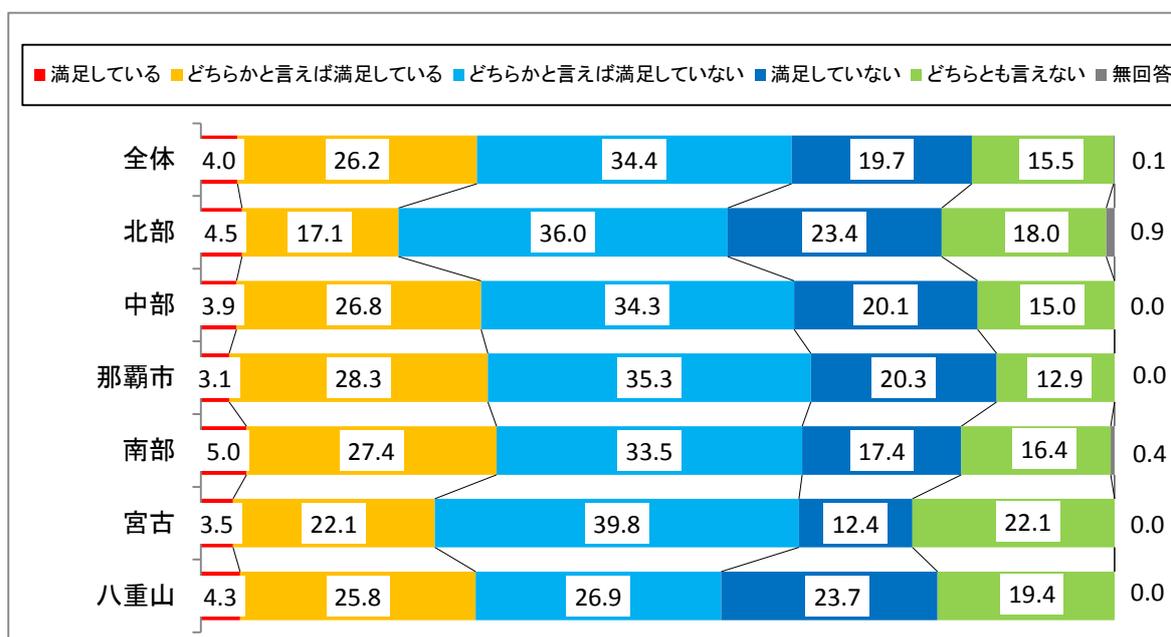


図 1-2-1-3 年代別 問 1-12

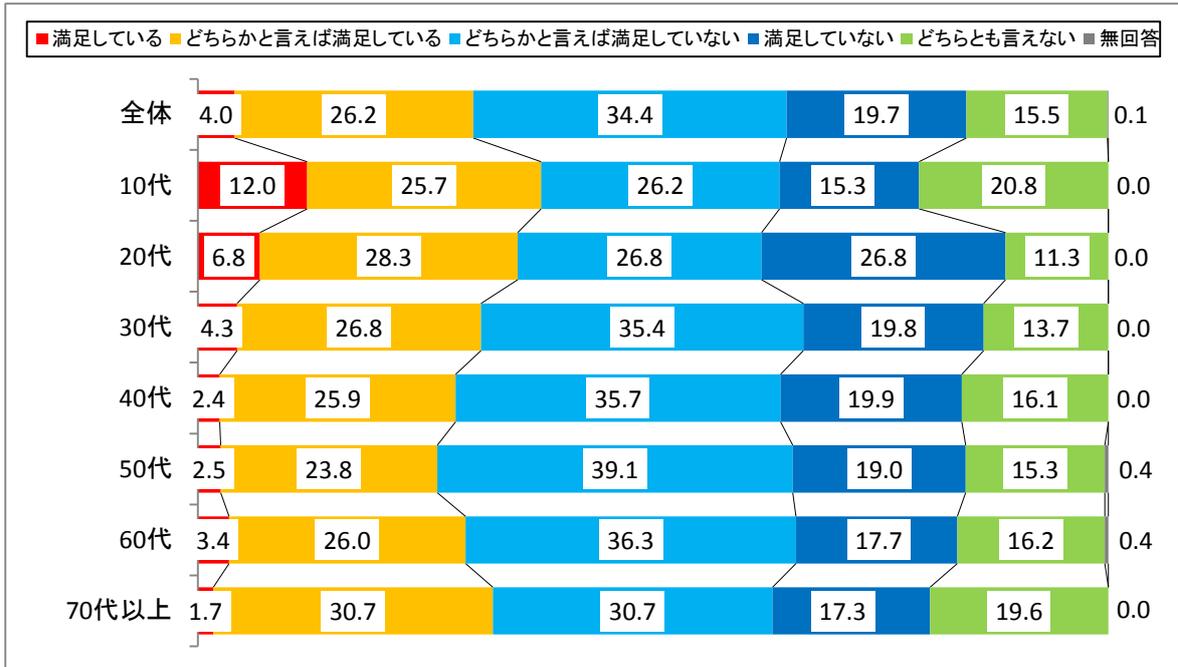


図 1-2-1-4 性別 問 1-12

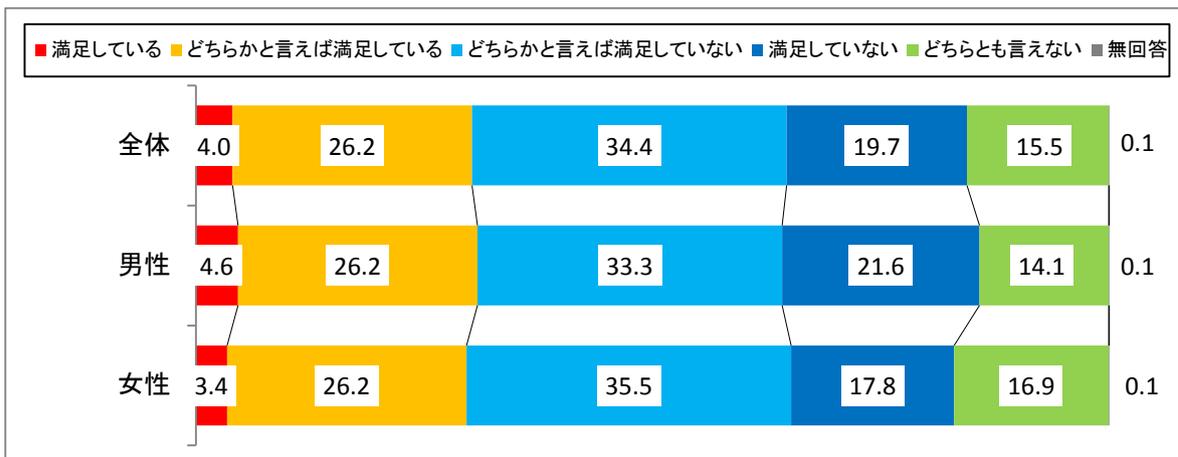
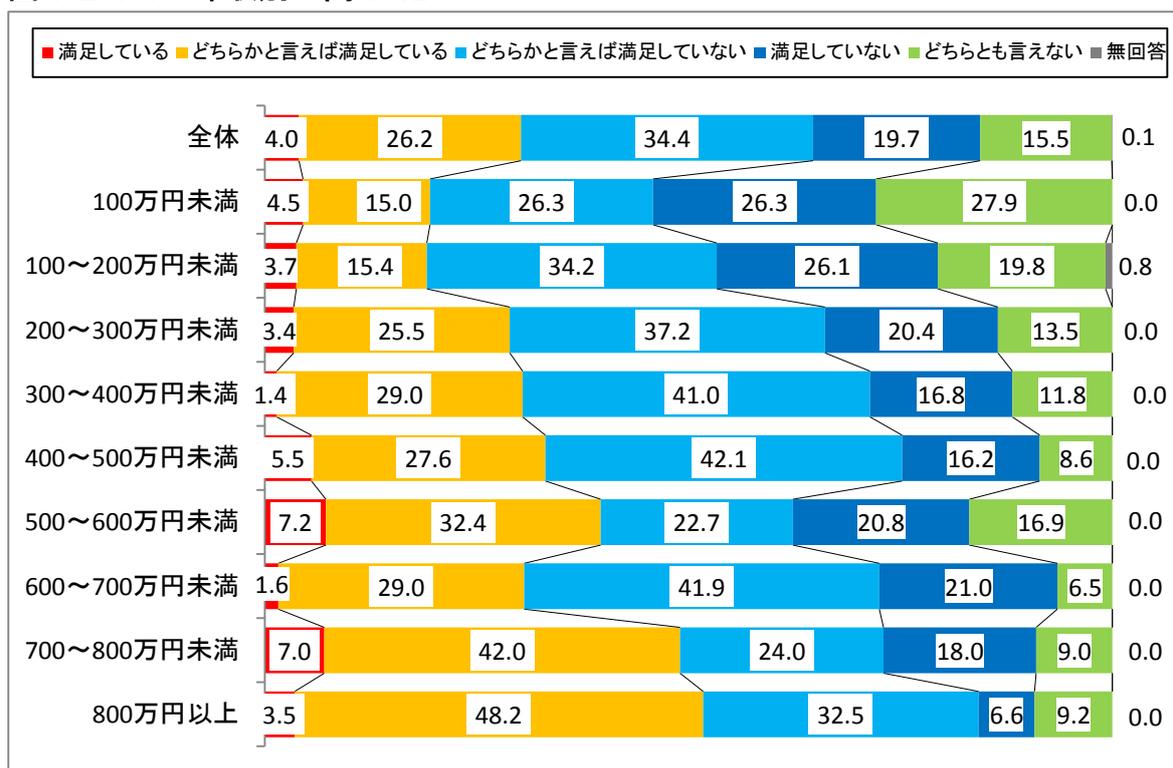


図 1-2-1-5 年収別 問 1-12



(2) 県民間の経済格差 (問 1-13)

10年前の沖縄に比べて県民間の経済格差は縮まったと思うかについて、「変わらないと思う」と答えた人の割合が37.6%、「広がったと思う」と答えた人の割合が27.9%となっている。「縮まったと思う」と答えた人の割合は6.6%と少なかった。なお、「わからない」と答えた人の割合は27.5%となっている。

前回調査と比較すると、最も回答の多かった「変わらないと思う」が前回32.8%から4.8ポイント増加し、「縮まったと思う」も前回4.9%から1.7ポイント増加している。一方、「広がったと思う」が前回33.4%から5.5ポイント減少している。

地域別に見ると、「広がったと思う」人の割合は那覇市と中部で3割強となっているのに対し、八重山と南部で2割前後となっている。

年代別に見ると、「縮まったと思う」人の割合は60代以上の年代で他の年代より高くなっているが、この年代では「広がったと思う」人の割合も高くなっている。「変わらないと思う」と答えた人の割合は50代で高くなっている。20代以下の若年層では「分からない」人の割合が高い。

性別に見ると、「広がったと思う」人の割合は男性で高くなっている

年収別に見ると、「縮まったと思う」人の割合は年収700~800万円未満で高くなっているが、この層では「広がったと思う」人の割合も高くなっている。「広がったと思う」人の割合はこのほか、500~600万円未満でも高くなっている。「変わらないと思う」人の割合は、800万円以上と600~700万円未満で高くなっている。

図 1-2-2-1 問 1-13 県民間の経済格差

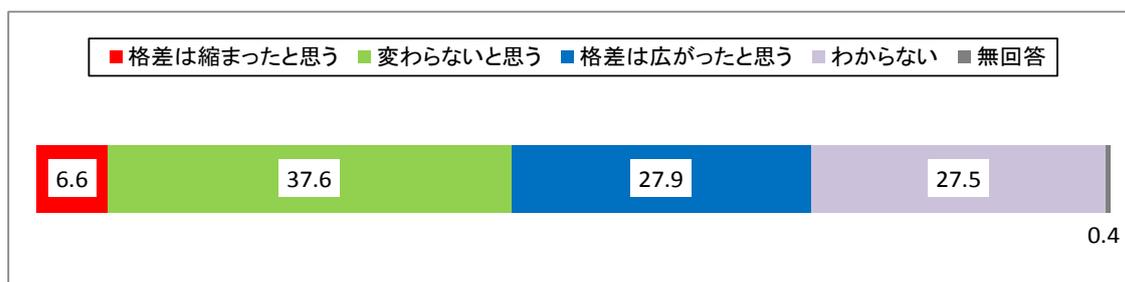


図 1-2-2-2 地域別 問 1-13

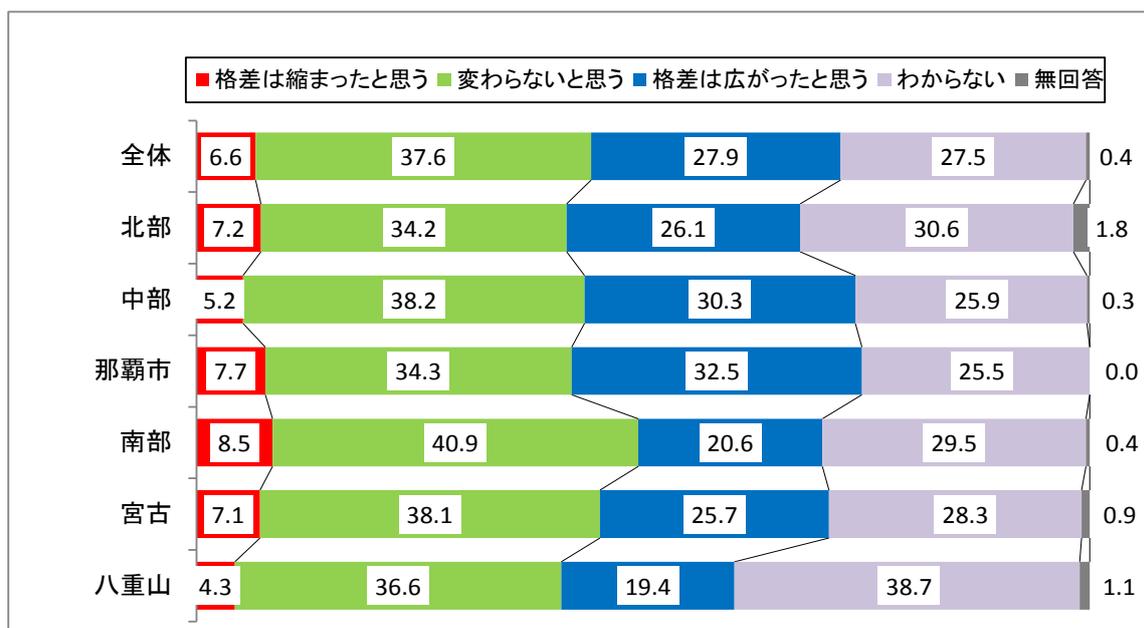


図 1-2-2-3 年代別 問 1-13

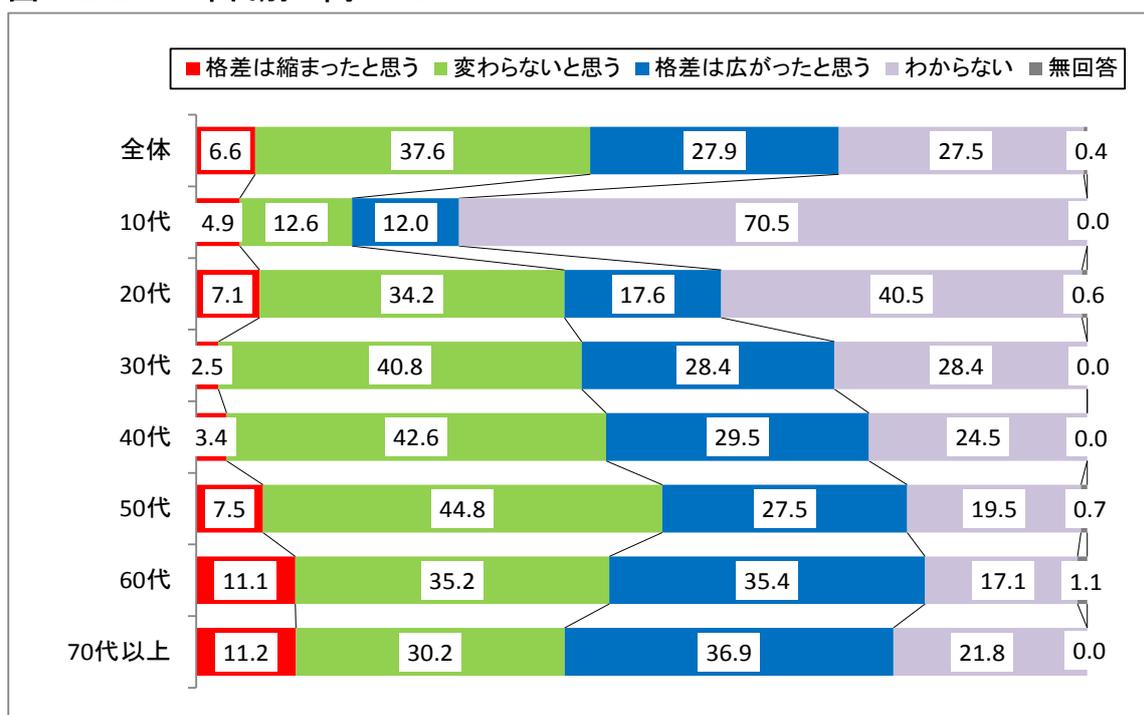


図 1-2-2-4 性別 問 1-13

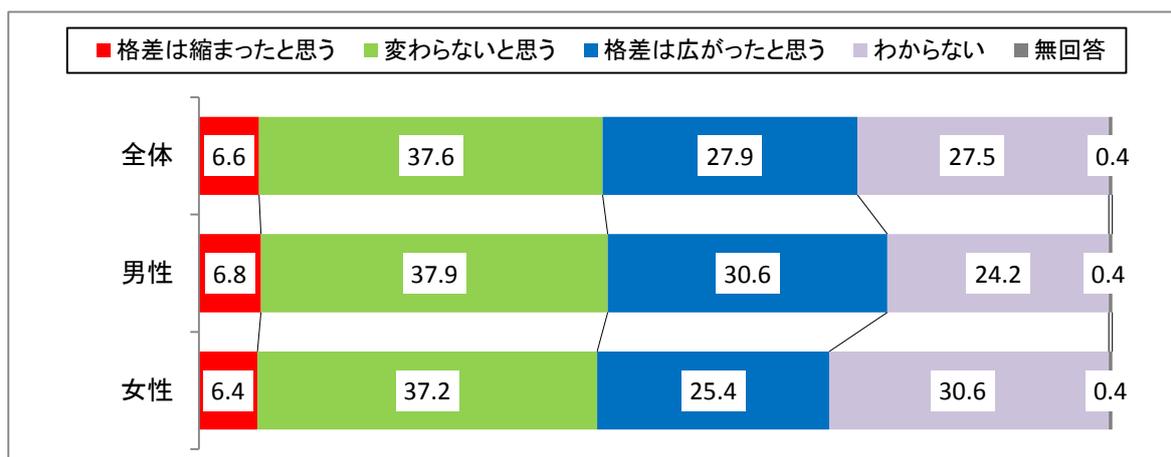
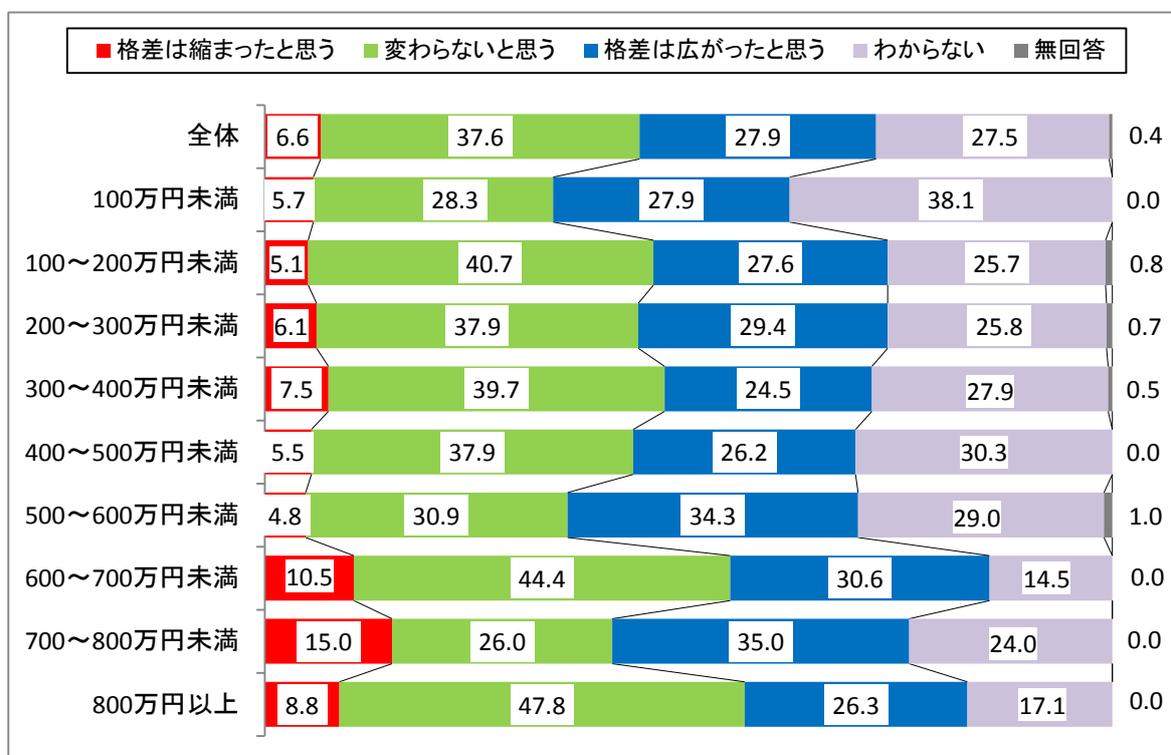


図 1-2-2-5 年収別 問 1-13



(3) 沖縄県に誇りを感じるか (問 1-14)

沖縄県に誇りを感じるかについて、「誇りを強く感じている」(27.4%)、「どちらかと言えば誇りを感じている」(56.7%)と答えた人が8割を超えている。「誇りを感じていない」(4.8%)と「どちらかと言えば誇りを感じていない」(10.8%)の合計は約15%である。

前回調査と比較すると、あまり変化は見られない。

地域別に見ると、「誇りを強く感じている」と答えた人の割合は宮古と八重山で低くなっている。

年代別に見ると、「誇りを強く感じている」と答えた人の割合は10代で高くなっている。

年収別に見ると、「誇りを強く感じている」と答えた人の割合は年収 800 万円以上で最も高くなっている。「誇りを感じていない」「どちらかと言えば誇りを感じていない」と答えた人の合計は 100 万円未満で高くなっている。

図 1-2-3-1 問 1-14 沖縄県に誇りを感じるか

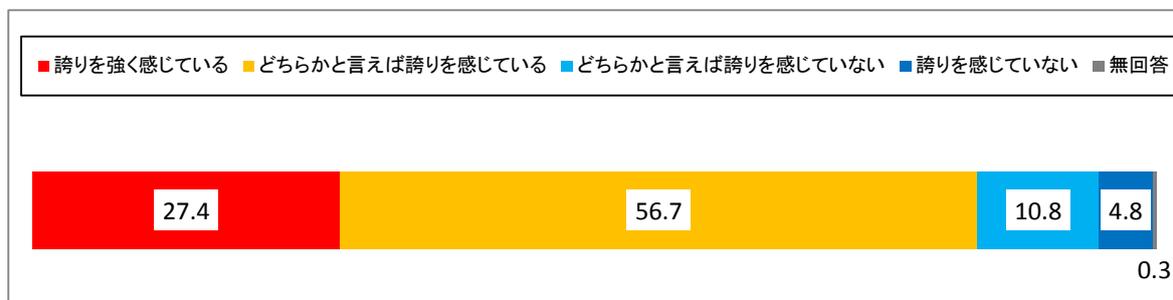


図 1-2-3-2 地域別 問 1-14

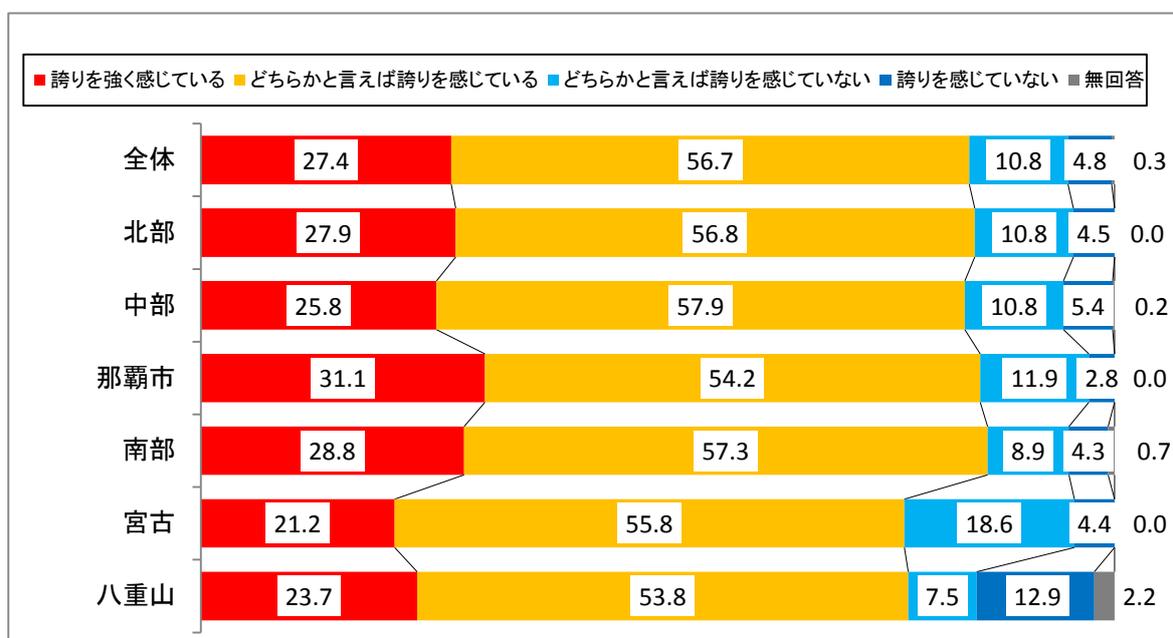


図 1-2-3-3 年代別 問 1-14

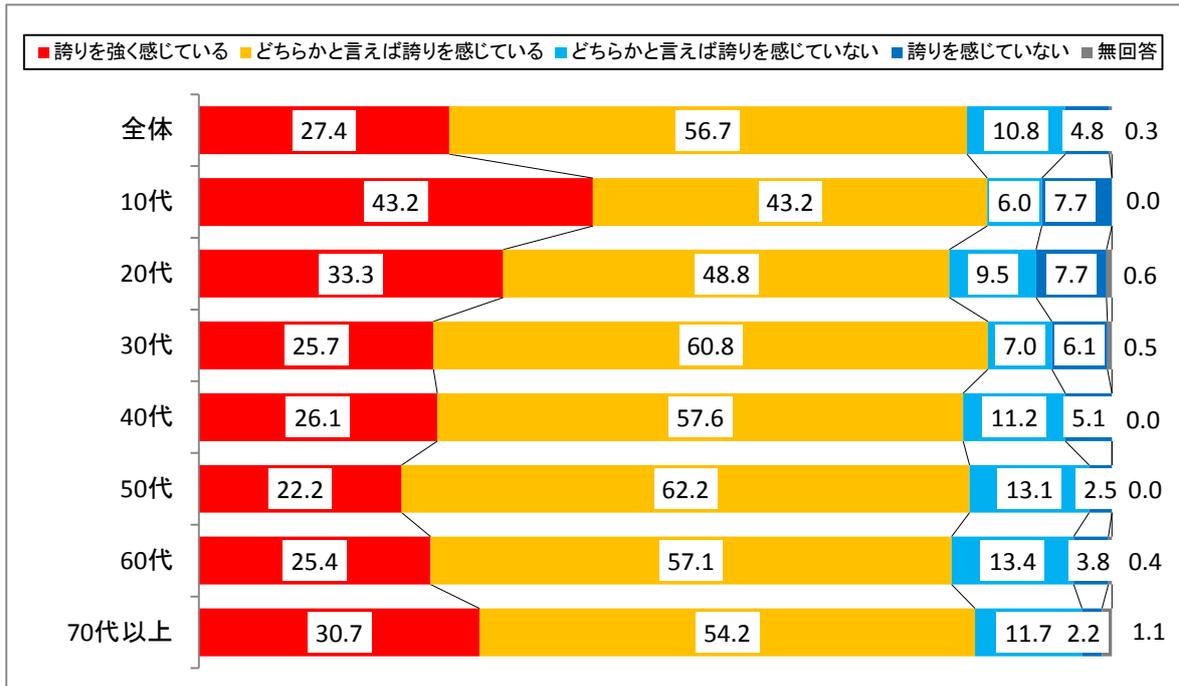


図 1-2-3-4 性別 問 1-14

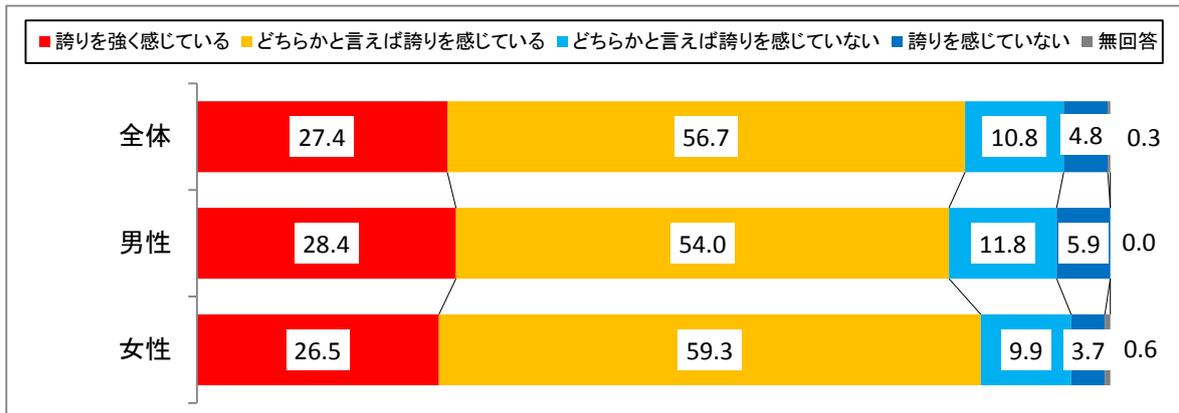
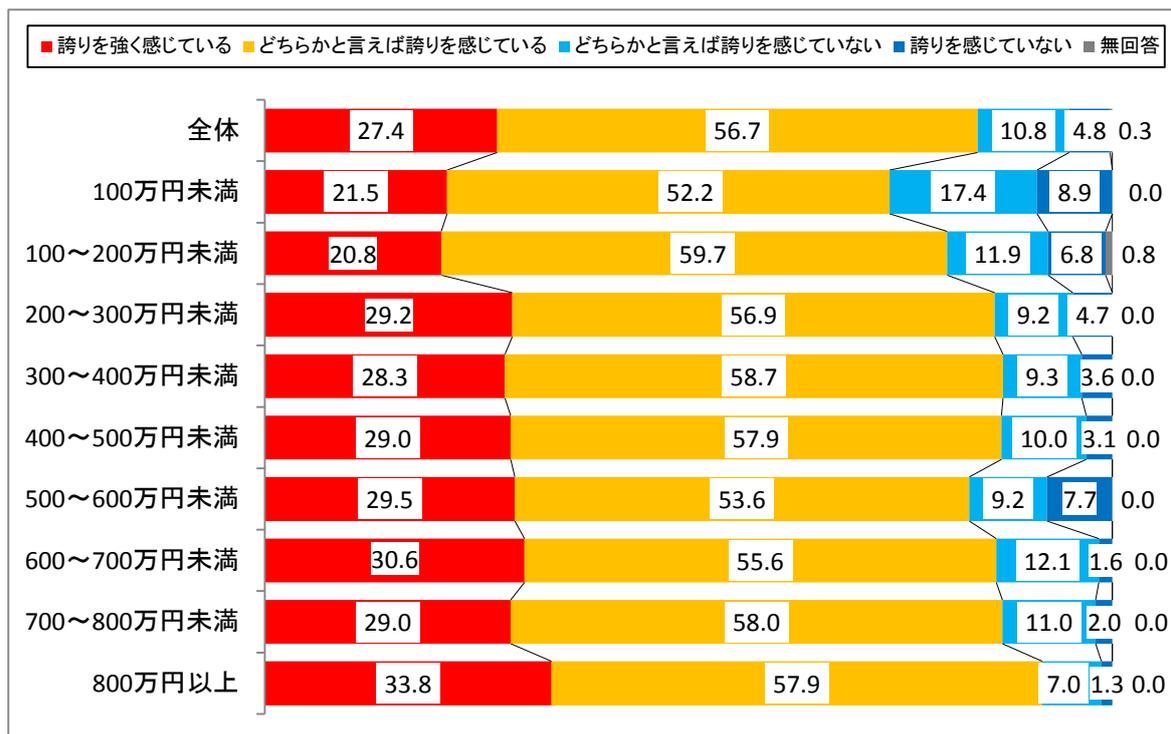


図 1-2-3-5 年収別 問 1-14



(4) 沖縄県に生まれて良かったと思うか (問 1-15)

沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったと思うかについて、「非常に良かったと思う」と答えた人は 45.8%であった。これに「まあまあ良かったと思う」(40.0%)を加えると、8割を超える人が沖縄に生まれ、あるいは生活していることに良かったと思っていることがわかる。逆に、「どちらとも言えない」(11.7%)「あまり良かったとは思わない」(1.4%)「良かったとは思わない」(0.9%)の合計は約 14%となっている。

前回調査と比較すると、ほとんど変化は見られない。

地域別に見ると、「非常に良かったと思う」と答えた人の割合は南部で最も高く 5割近く、宮古で最も低く 4割となっている。

年代別に見ると、「非常に良かったと思う」と答えた人の割合は 60代で最も低く 3割強にとどまるが、年代が下がるほど割合は高くなり 10代で 6割を超えている。

性別に見ると、「非常に良かったと思う」と答えた人の割合は男性より女性のほうが 4.2ポイント高くなっている。

年収別にみると、「非常に良かったと思う」「まあまあ良かったと思う」人の合計は 800万円以上で高くなっている。

図 1-2-4-1 問 1-15 沖縄県に生まれて良かったと思うか

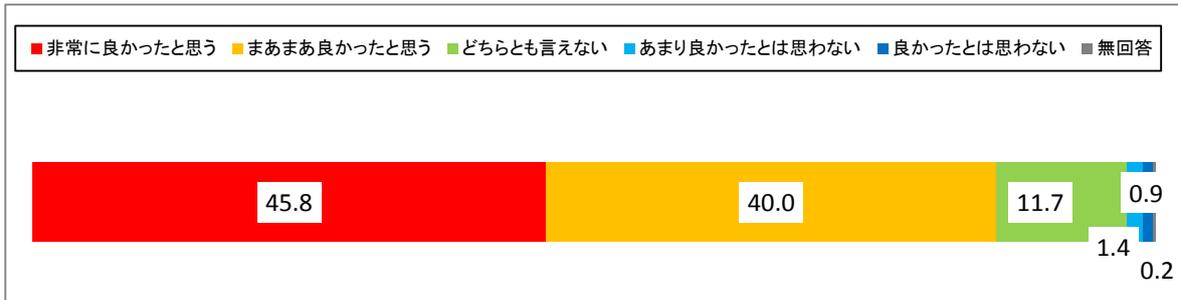


図 1-2-4-2 地域別 問 1-15

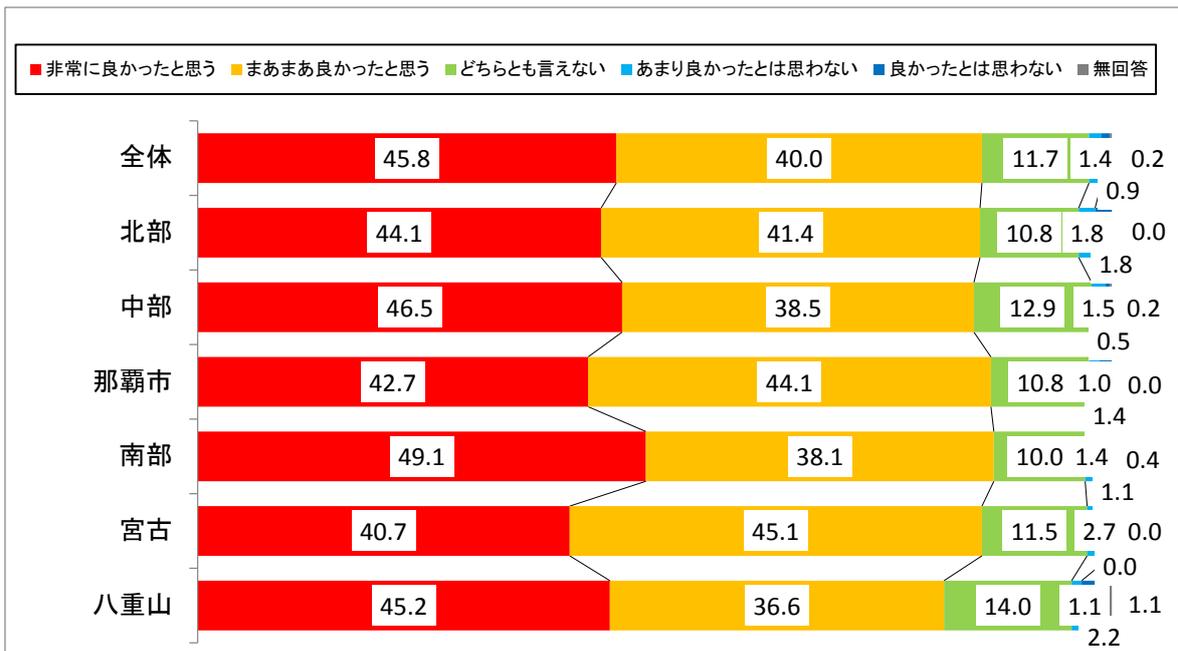


図 1-2-4-3 年代別 問 1-15

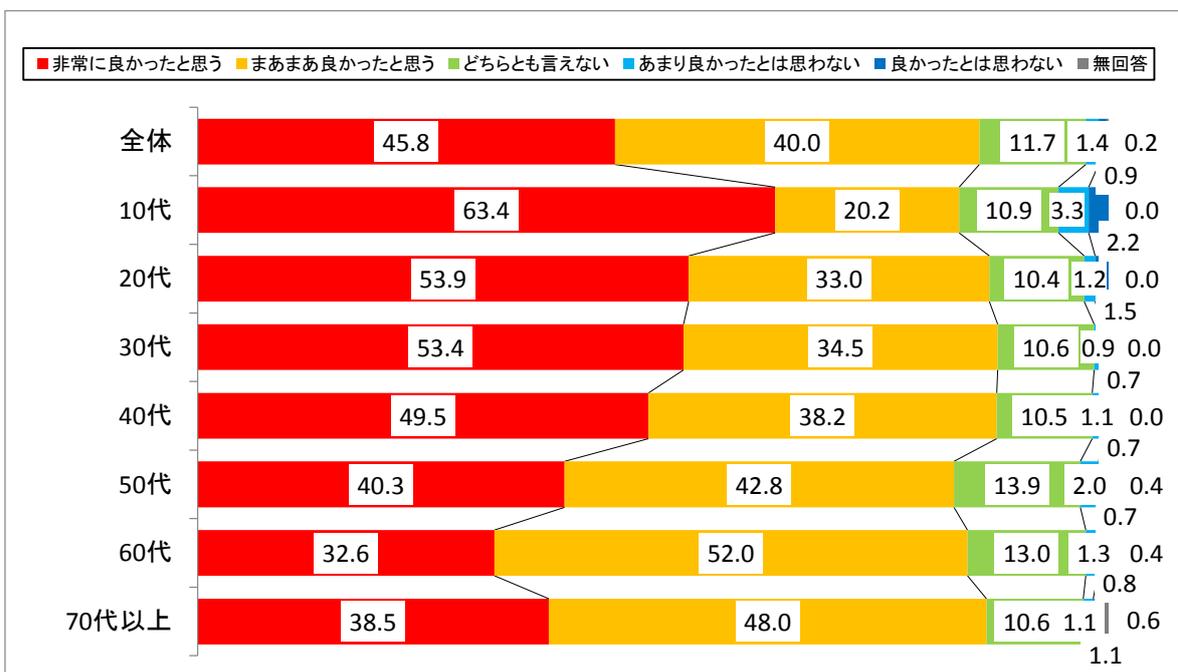


図 1-2-4-4 性別 問 1-15

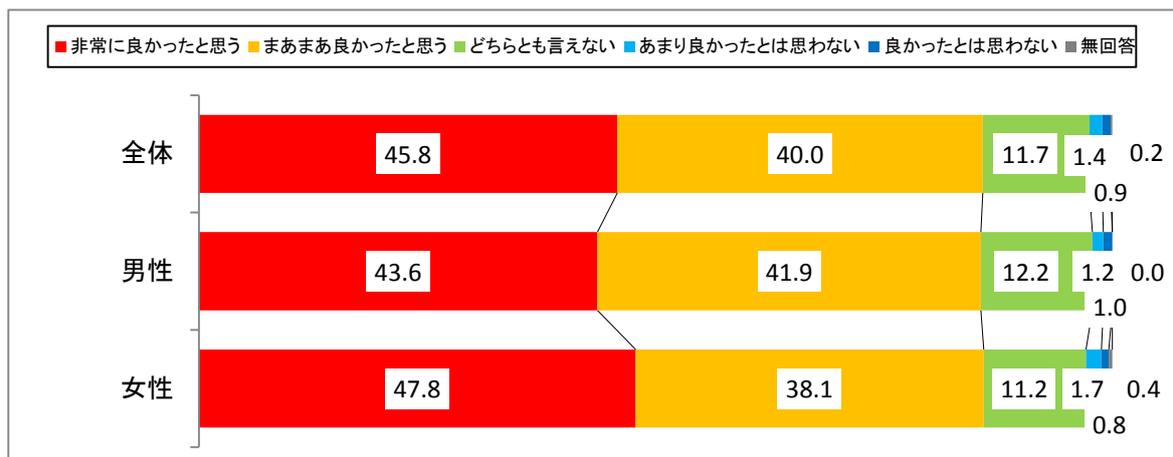
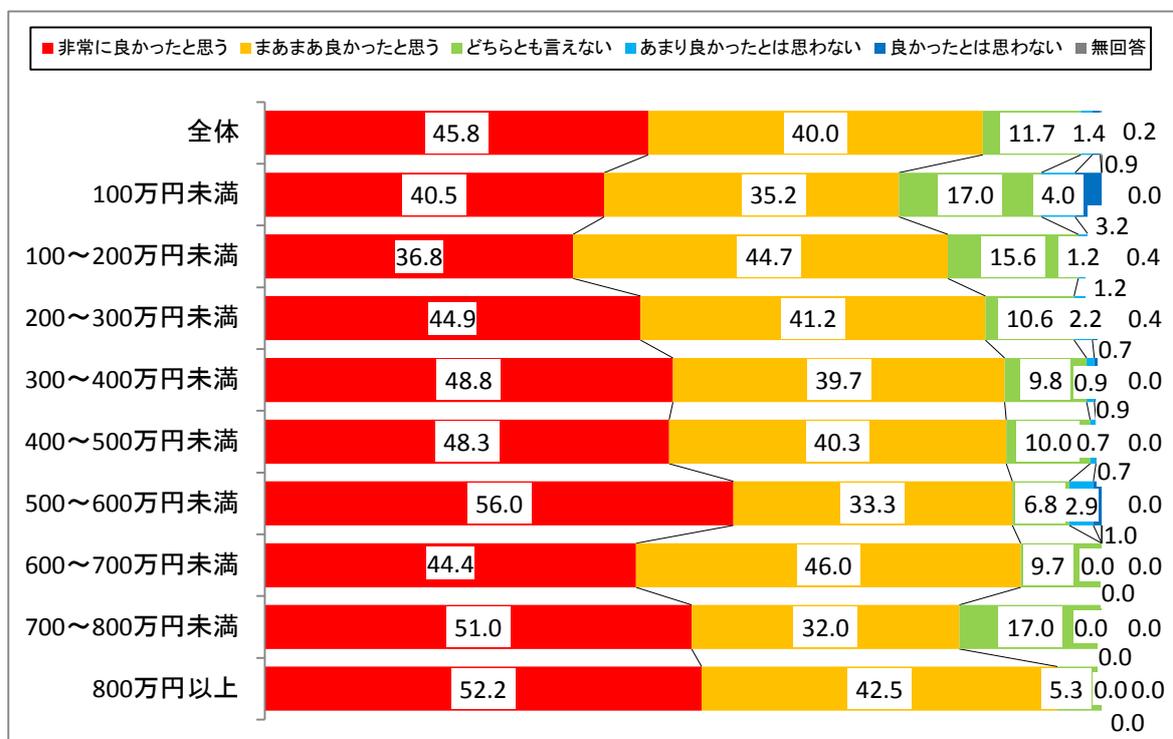


図 1-2-4-5 年収別 問 1-15



(5) 米軍施設への認識 (問 1-16)

沖縄県に米軍専用施設の約74%が存在していることについて、差別的な状況かどうかについて、「そう思う」(43.7%)と4割強の人が答えている。これに「どちらかと言えばそう思う」(25.4%)を加えると約7割の人が差別的状況だと思っている。逆に、「どちらかと言えばそう思わない」(10.4%)、「そうは思わない」(8.8%)の合計は約2割となっている。

前回調査と比較すると、「そう思う」が前回49.6%から5.9ポイント減少している。一方、「どちらかと言えばそう思わない」が前回6.7%から3.7ポイント増加している。

地域別に見ると、「そう思う」と答えた人の割合は宮古と八重山で他の地域より低くなっている。「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた人の合計は那覇市

で高くなっている。

年代別に見ると、「そう思う」人の割合は沖縄返還後に生まれた30代以下に比べ40代以上の年代で高くなっている。

性別に見ると、「そうは思わない」「どちらかと言えばそう思わない」と答えた人の割合は共に男性で高くなっている。

年収別に見ると、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた人の合計は年収400～500万円未満と600万円以上の各層で高くなっている。

図 1-2-5-1 問 1-16 米軍施設への認識

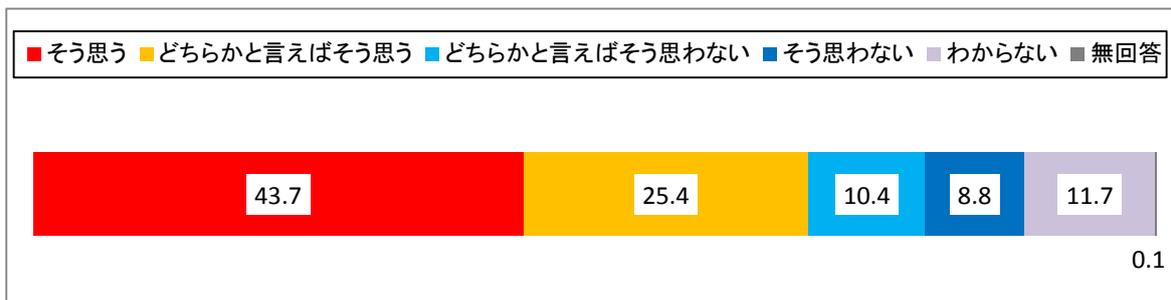


図 1-2-5-2 地域別 問 1-16

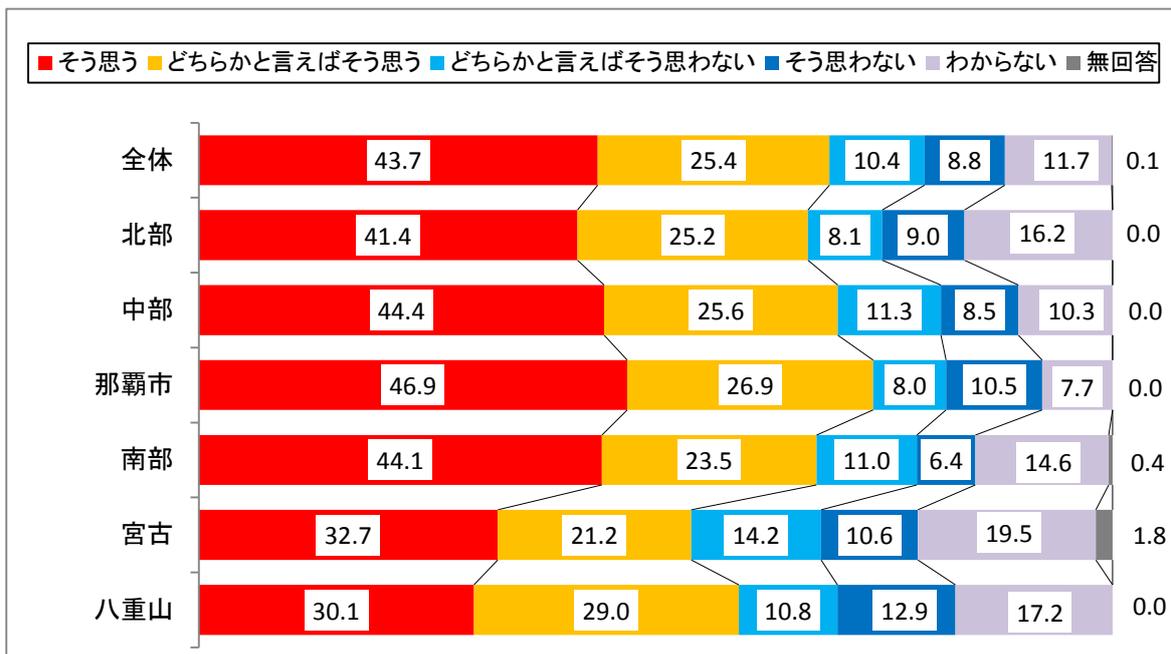


図 1-2-5-3 年代別 問 1-16

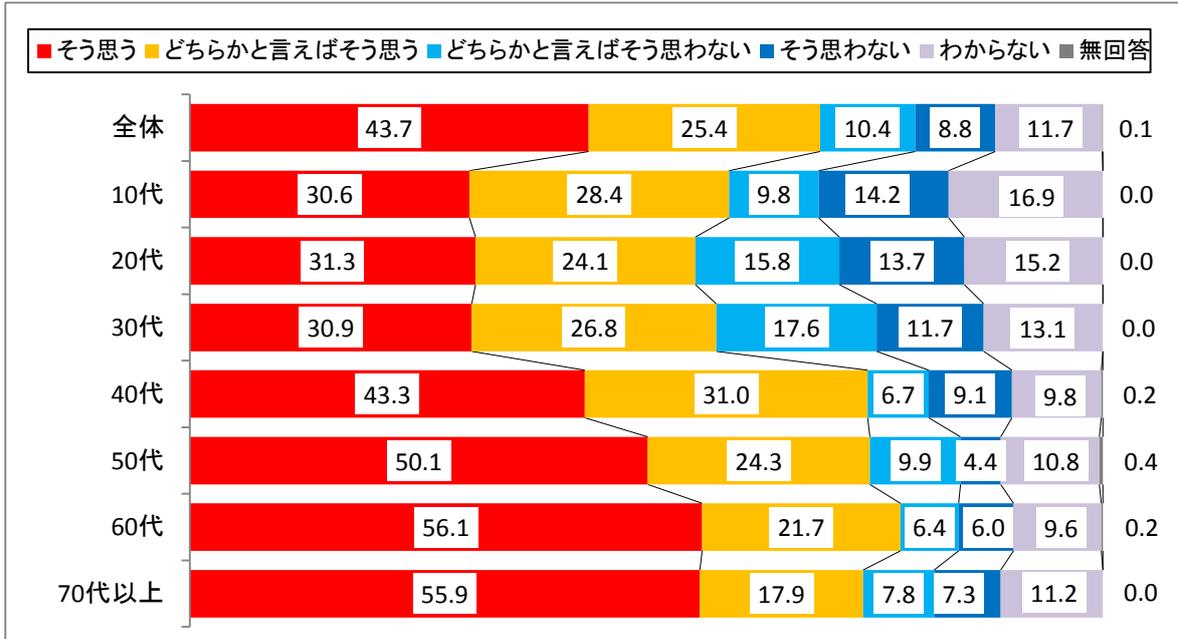


図 1-2-5-4 性別 問 1-16

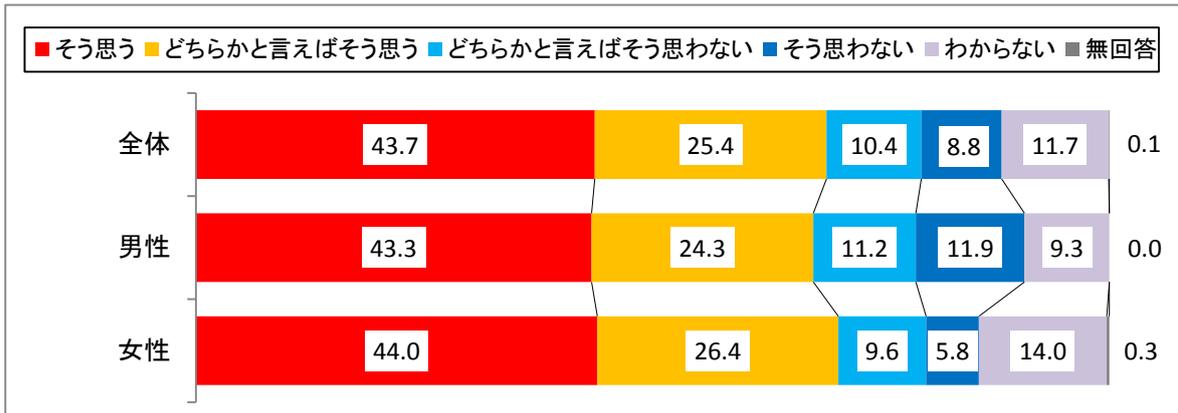
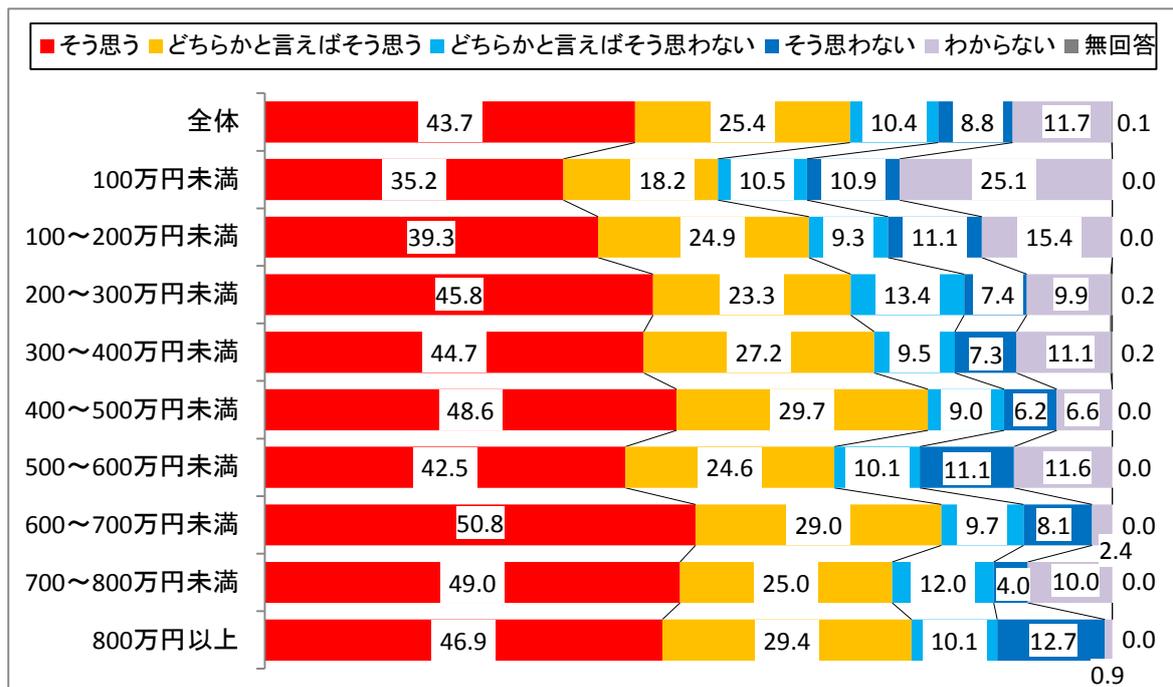


図 1-2-5-5 年収別 問 1-16



(6) イベント・催し物への参加 (問 1-17)

各種のイベントや催し物・会合等に参加しているか否かについて、「積極的に参加している」(8.7%)と「どちらかと言えば参加している」(30.2%)の合計は38.9%である。「どちらかと言えば参加していない」(28.6%)と「ほとんど参加していない」(32.4%)の合計は61.0%である。

前回調査と比較すると、あまり変化は見られない。

地域別に見ると、「積極的に参加している」「どちらかと言えば参加している」と答えた人の合計は南部と宮古で高いが、そのうち、「積極的に参加している」について見ると北部と八重山が他の地域より高い。

年代別に見ると、10代で参加は低く、不参加が高くなっている。

性別に見ると、男性のほうが女性より「積極的に参加している」「どちらかと言えば参加している」人の割合は共に高くなっている。

年収別に見ると、「積極的に参加している」「どちらかと言えば参加している」人の合計は年収400～600万円未満、800万円以上の各層で高くなっている。一方、「どちらかと言えば参加していない」「ほとんど参加していない」人の合計は200万円未満の各層で高くなっている。

図 1-2-6-1 問 1-17 イベント・催し物への参加

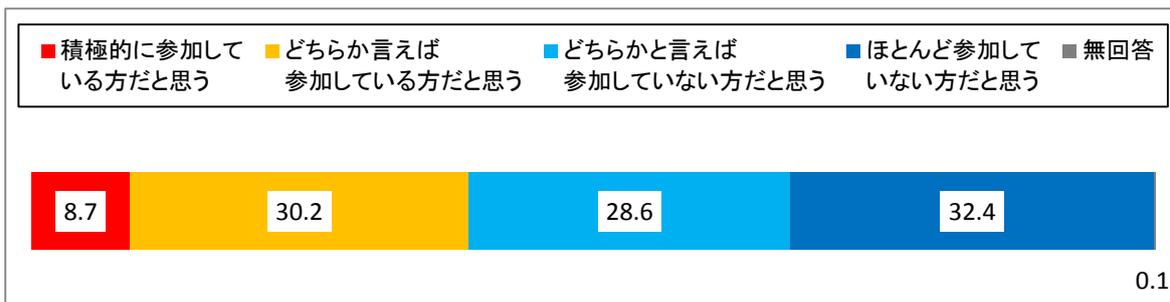


図 1-2-6-2 地域別 問 1-17

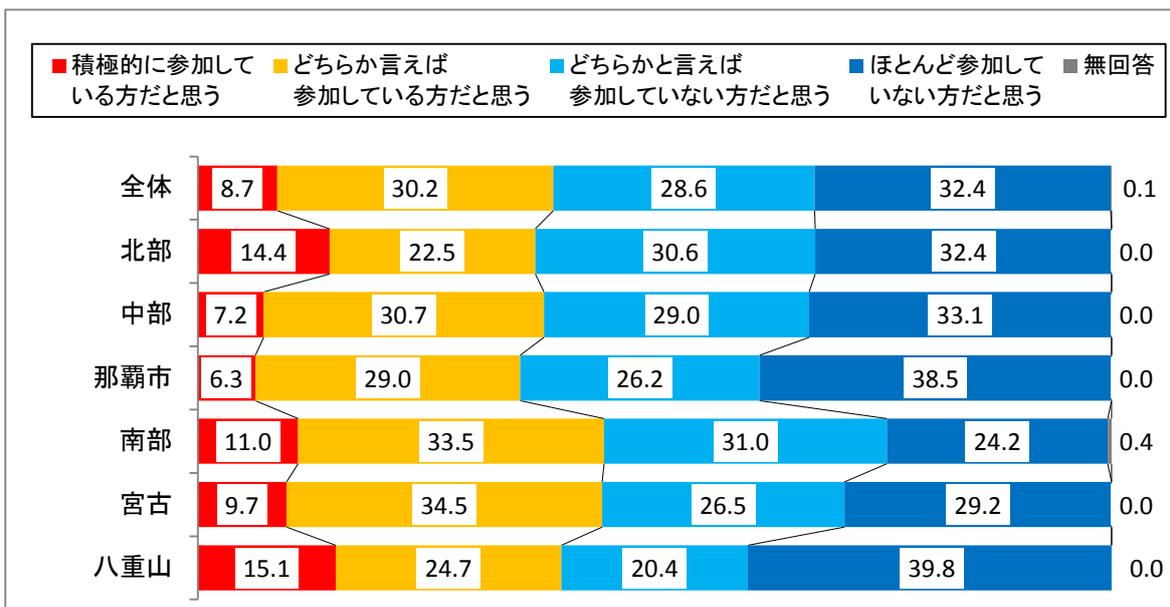


図 1-2-6-3 年代別 問 1-17

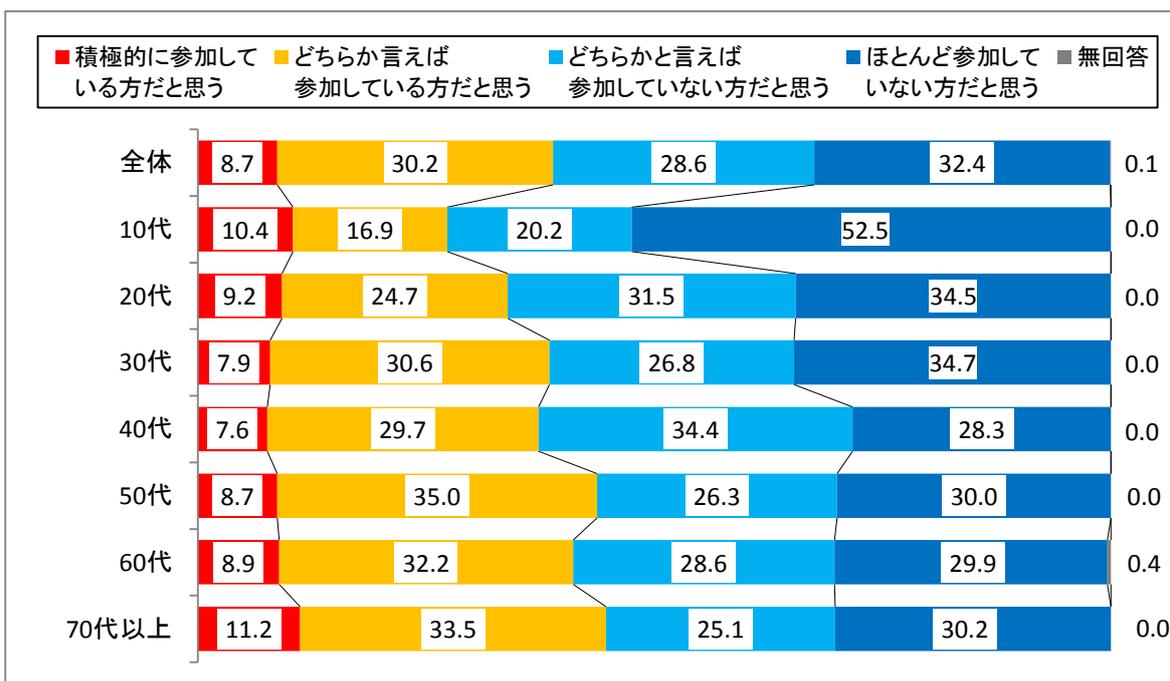


図 1-2-6-4 性別 問 1-17

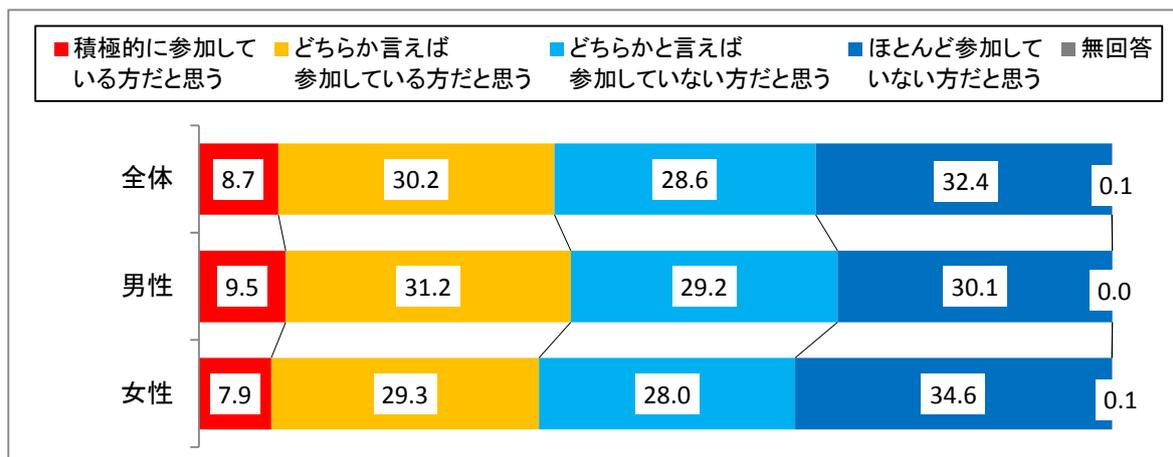
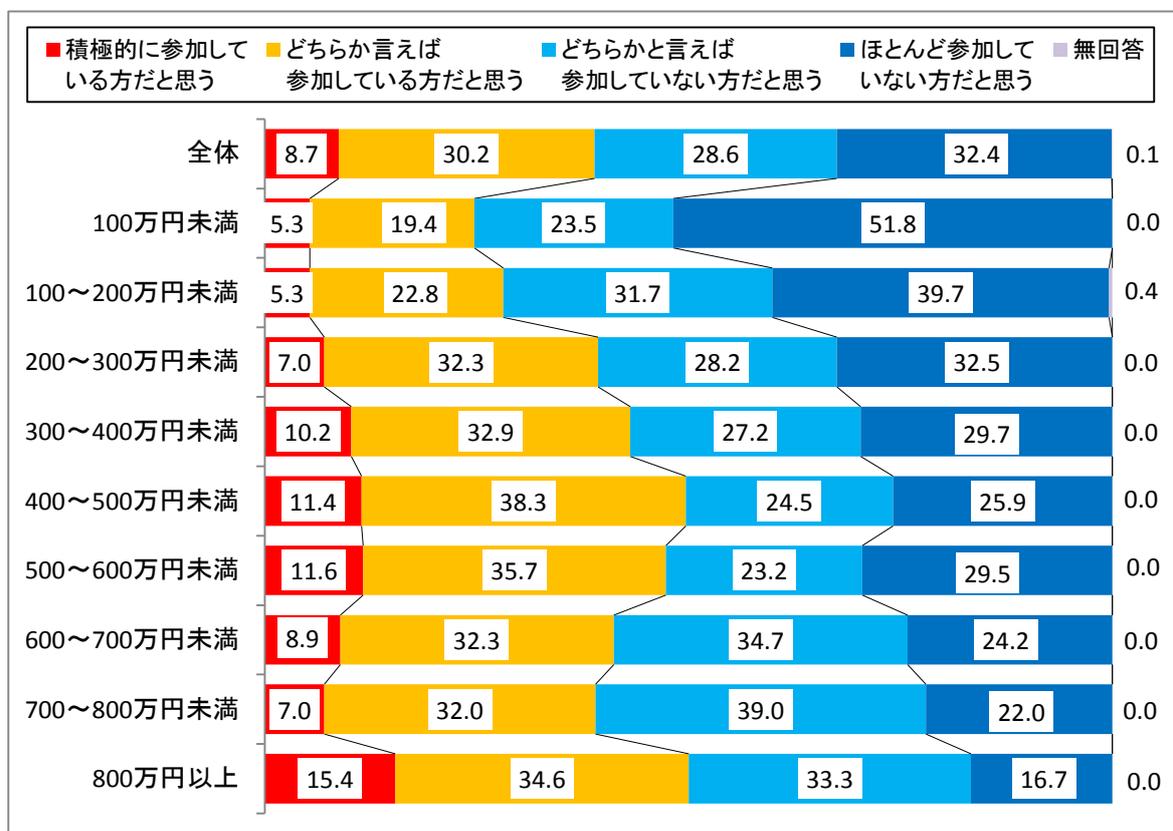


図 1-2-6-5 年収別 問 1-17



第2章 県民生活の重要度・充足度

第2章 県民生活の重要度・充足度

本章では、県民生活に関する74の項目について、それぞれ重要と考える程度及び満たされていると考える程度を調査し、県民生活の重要度と充足度を整理した。さらに、重要度と充足度が関連しあっていることに着目し、施策達成度を測定した。

なお、前回調査では、調査結果が沖縄21世紀ビジョン実施計画の進捗管理に資するものとなるよう、同計画の施策体系を踏まえて質問項目の大幅な見直しを行ったが、今回は前回の項目を可能な限り踏襲し、調査間の変化を比較できるように設定した。

問3および問4の変更一覧（前回からの削除項目はない）

質問項目の新規追加 2項目
(2) 自然環境の保全と利用のバランスが取れていること (15) 地域の商店街に活力があること
質問項目の変更 4項目
(4) 廃棄物の適正処理、減量化・リサイクルが活発に行われていること ⇒前回は「(3) 廃棄物の減量化・リサイクルが活発に行われていること」として聞いた
(12) 渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること ⇒前回は「(39) 目的地まで円滑に移動できること」として聞いた
(13) 離島と沖縄本島間の移動が気楽にできること ⇒前回は58番目の項目として聞いた
(20) 仕事と生活（子育て、介護など）が両立しやすい労働条件や職場環境が整っていること ⇒前回は「(16) 仕事と子育てが両立しやすい労働条件や職場環境が整っていること」として聞いた

1. 生活の各側面に対する重要度（問3）

(1) 重要度比率

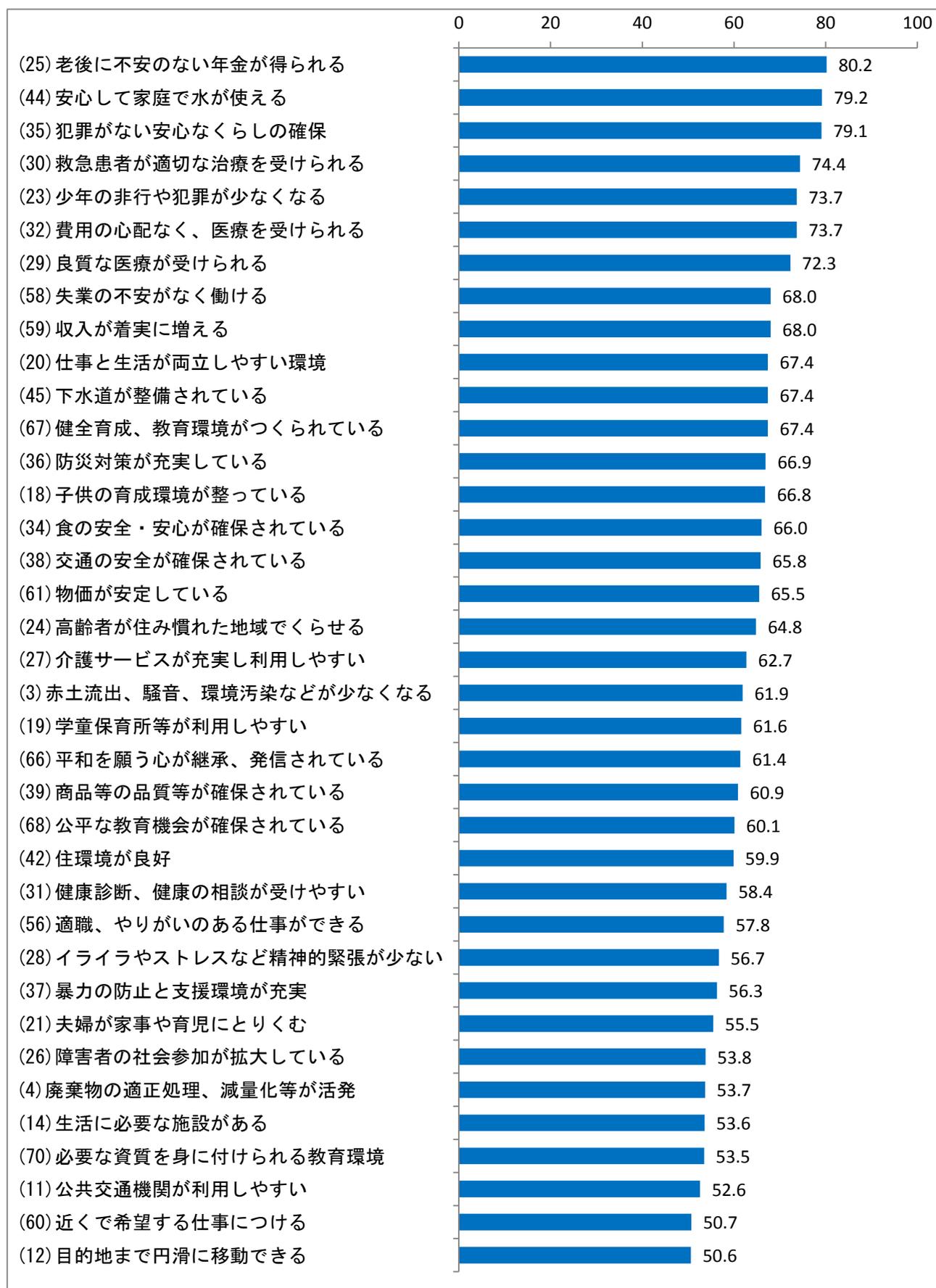
「非常に重要である」と回答した項目について見てみると、「(25) 老後に不安のない年金が得られる」(80.2%)が最も高く、次いで「(44) 安心して家庭で水が使える」(79.2%)、「(35) 犯罪がない安心なくらしの確保」(79.1%)、「(30) 救急患者が適切な治療を受けられる」(74.4%)、「(23) 少年の非行や犯罪が少なくなる」(73.7%)、「(32) 費用の心配なく、医療を受けられる」(73.7%)、「(29) 良質な医療が受けられる」(72.3%)が7割台であり、さらに、「(58) 失業の不安がなく働ける」(68.0%)、「(59) 収入が着実に増える」(68.0%)、「(20) 仕事と生活が両立しやすい環境」(67.4%)が続いている。以上が、県民が「非常に重要である」とした上位10項目である。

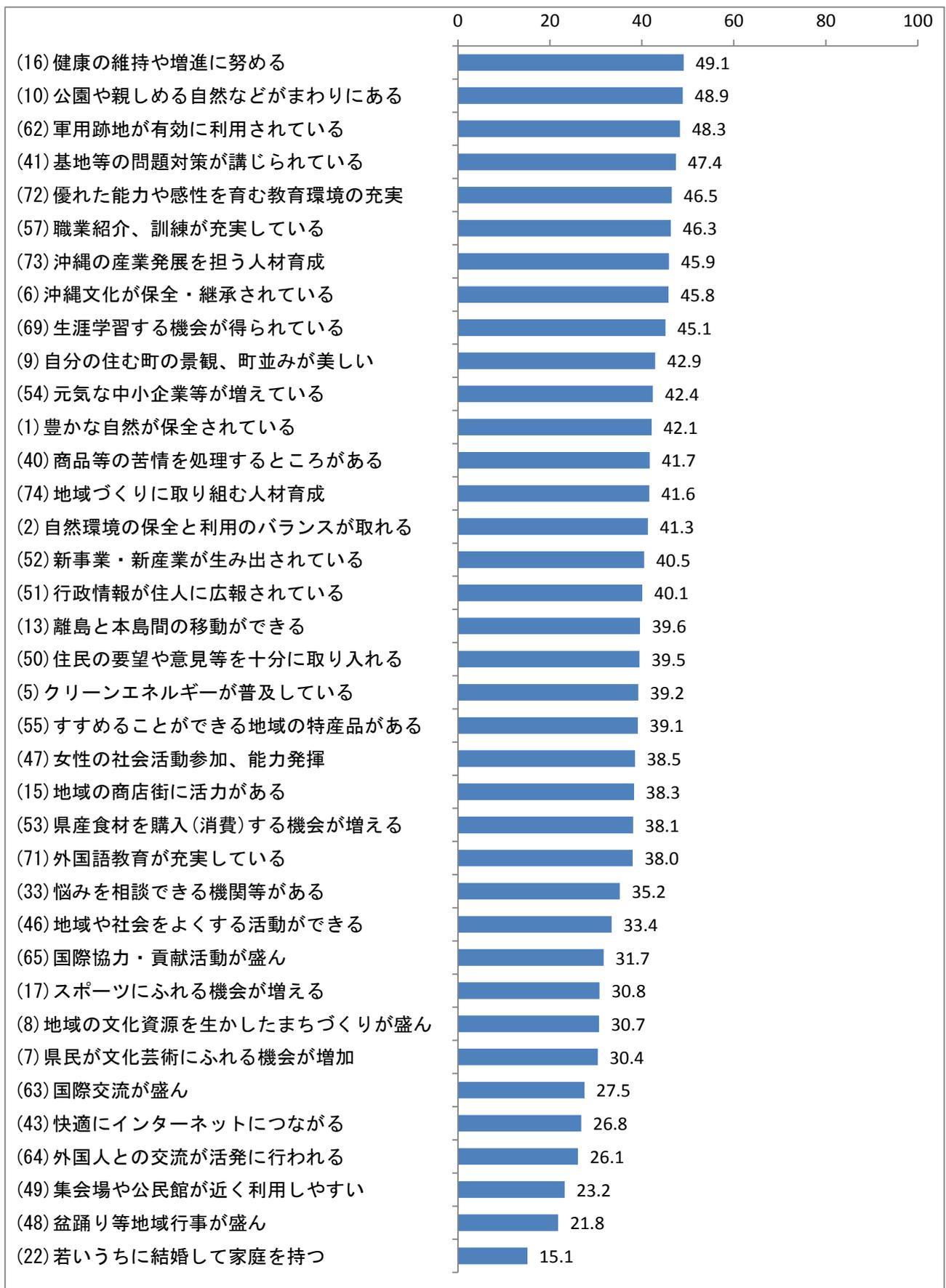
他方で、「非常に重要である」と回答した割合が低かった項目としては、「(22) 若いうちに結婚して家庭を持つ」(15.1%)が最も低く、次いで、「(48) 盆踊り等地域行事が盛ん」(21.8%)、「(49) 集会場や公民館が近く利用しやすい」(23.2%)、「(64) 外国人との交流が活発に行われる」(26.1%)、「(43) 快適にインターネットにつながる」(26.8%)、「(63) 国際交流が盛ん」(27.5%)、「(7) 県民が文化芸術にふれる機会が増加」(30.4%)、「(8) 地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん」(30.7%)、「(17) スポーツにふれる機会が増える」(30.8%)、「(65) 国際協力・貢献活動が盛ん」(31.7%)、等と続いている。以上が、「非常に重要である」という回答が少なかった10項目である。

重要度についての今回の調査は74項目について実施されたが、前回もほぼ同数の72項目について回答を求めた。「非常に重要である」と回答した人の割合は、前回の調査では、「安心して家庭で水が使える」(82.0%)と「老後に不安のない年金が得られる」(80.5%)が特に多く、以下、「犯罪がない安心なくらしの確保」(78.7%)、「少年の非行や犯罪が少なくなる」(76.4%)、「救急患者が適切な治療を受けられる」(75.8%)、「費用の心配なく、医療を受けられる」(73.3%)、「良質な医療が受けられる」(71.5%)、「失業の不安がなく働ける」(69.8%)、「住みなれた地域で暮らせる」(69.3%)、「下水道が整備されている」(68.2%)の順となっていた。

前回と今回の調査結果と比較してみると、上位はほぼ同じ項目があげられており、回答比率が若干変動している程度である。具体的にみると、今回上位3位内あげられた「(25) 老後に不安のない年金が得られる」「(44) 安心して家庭で水が使える」「(35) 犯罪がない安心なくらしの確保」は順位の入れ替わりはあるものの、前回と同じ項目である。ただし、「(44) 安心して家庭で水が使える」(79.2%)は前回(82.0%)からやや比率が下がった。4位以下の項目も同じ傾向であり、大きな変動はみられない。その中で「(20) 仕事と生活が両立しやすい環境」(67.4%)は、質問項目の表現を一部変更したため、前回の63.6%、18位から順位、比率共に大きく上昇した。

図 2-1-1 重要度比率（非常に重要である）（％）





(2) 重要度の平均得点

生活の各側面に対する重要度に関して、今回は個別具体的な74項目について、県民の暮らしの中でどの程度重要と考えているか「非常に重要である」「ある程度重要である」「どちらともいえない」「あまり重要でない」「全く重要でない」「わからない」という6つの選択肢を示して回答を求めた。その回答の集計に際しては、「非常に重要である」=5点、「ある程度重要である」=4点、「どちらともいえない」=3点、「あまり重要でない」=2点、そして、「全く重要でない」=1点というように、得点（ウエイト）を与えて項目ごとの平均得点を算出した。

重要度の平均得点を見ると、高いほうから、「(44) 安心して家庭で水が使える」(4.78)、「(25) 老後に不安のない年金が得られる」(4.77)、「(35) 犯罪がない安心な暮らしの確保」(4.77)、「(30) 救急患者が適切な治療を受けられる」(4.73)、「(23) 少年の非行や犯罪が少なくなる」(4.70)、「(29) 良質な医療を受けられる」(4.70)、「(32) 費用の心配なく医療を受けられる」(4.70)と続く。

他方で、重要度の平均得点が低いものとしては、「(22) 若いうちに結婚して家庭を持つ」(3.38)が最も低く、次いで、「(48) 盆踊り等地域行事が盛ん」(3.79)、「(49) 集会場や公民館が近く利用しやすい」(3.81)、「(43) 快適にインターネットにつながる」(3.85)、そして、「(64) 外国人との交流が活発に行われる」(3.90)、「(63) 国際交流が盛ん」(3.95)等と続く。

前回の調査では、「安心して家庭で水が使える」(4.81)、「老後に不安のない年金が得られる」(4.77)、「犯罪がない安心な暮らしの確保」(4.76)、「救急患者が適切な治療を受けられる」(4.74)、「少年の非行や犯罪が少なくなる」(4.72)が上位5項目で今回と全く同一である。得点もほとんど変化はない。それらに対して、「仕事と生活が両立しやすい環境」は前回の21位から今回は8位へ、「防犯対策が充実している」は前回の14位から今回は9位へそれぞれ順位を上げている。

他方、前回の調査で重要度の平均得点が低かったものは、「若いうちに結婚して家庭を持つ」(3.37)、「快適にインターネットにつながる」(3.67)、「盆踊り等の地域行事が盛ん」(3.78)、「集会場や公民館が近く利用しやすい」(3.79)、「外国人との交流が活発に行われる」(3.91)などとなり、下位5位までの項目は、若干順位の変動はあるが項目自体は同一である。得点については、「快適にインターネットにつながる」が前回の3.67から今回は3.85とやや上昇した。

図 2-1-2 重要度の平均得点

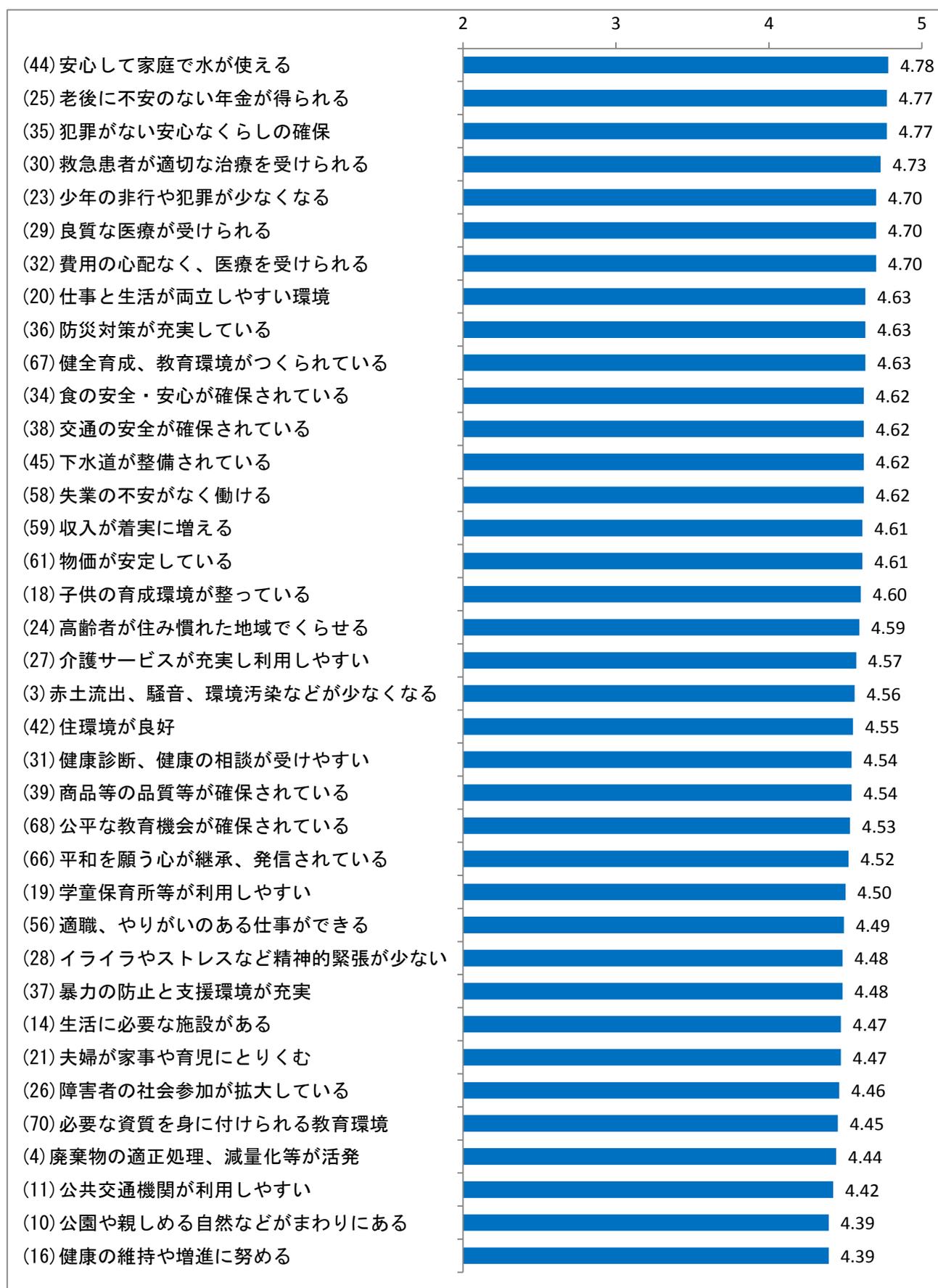




表 2-1-1 地域別 重要度比率 (%) 【北部】

【北部】	非常に重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	42.3	46.8	5.4	0.9	0.0	3.6	0.9
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	41.4	39.6	11.7	1.8	0.0	4.5	0.9
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	66.7	24.3	2.7	1.8	0.0	3.6	0.9
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	51.4	36.0	4.5	0.9	0.0	6.3	0.9
(5)クリーンエネルギーが普及している	35.1	40.5	14.4	1.8	0.0	7.2	0.9
(6)沖縄文化が保全・継承されている	44.1	40.5	10.8	2.7	0.0	1.8	0.0
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	27.9	46.8	17.1	3.6	0.9	1.8	1.8
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	32.4	38.7	20.7	3.6	0.0	2.7	1.8
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	43.2	46.8	5.4	1.8	0.0	1.8	0.9
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	51.4	34.2	10.8	0.0	0.0	2.7	0.9
(11)公共交通機関が利用しやすい	51.4	35.1	6.3	3.6	0.0	2.7	0.9
(12)目的地まで円滑に移動できる	46.8	45.9	2.7	2.7	0.0	1.8	0.0
(13)離島と本島間の移動ができる	27.9	52.3	12.6	4.5	0.0	2.7	0.0
(14)生活に必要な施設がある	48.6	42.3	5.4	0.9	0.0	2.7	0.0
(15)地域の商店街に活力がある	48.6	38.7	9.0	1.8	0.0	1.8	0.0
(16)健康の維持や増進に努める	50.5	40.5	4.5	0.9	0.0	2.7	0.9
(17)スポーツにふれる機会が増える	33.3	41.4	18.9	3.6	0.0	2.7	0.0
(18)子供の育成環境が整っている	67.6	21.6	5.4	1.8	0.0	3.6	0.0
(19)学童保育所等が利用しやすい	61.3	27.9	5.4	2.7	0.0	2.7	0.0
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	67.6	22.5	6.3	0.9	0.0	2.7	0.0
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	44.1	44.1	8.1	0.9	0.0	2.7	0.0
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	13.5	29.7	36.9	10.8	0.0	8.1	0.9
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	76.6	18.9	2.7	0.9	0.0	0.9	0.0
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらす	72.1	24.3	1.8	0.0	0.9	0.9	0.0
(25)老後に不安のない年金が得られる	78.4	19.8	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0
(26)障害者の社会参加が拡大している	54.1	35.1	5.4	0.0	0.9	3.6	0.9
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	59.5	32.4	5.4	0.0	0.0	1.8	0.9
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	53.2	36.9	7.2	0.9	0.0	1.8	0.0
(29)良質な医療が受けられる	67.6	28.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	72.1	24.3	2.7	0.0	0.0	0.9	0.0
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	55.9	36.9	5.4	0.0	0.9	0.9	0.0
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	69.4	27.0	1.8	0.0	0.0	0.9	0.9
(33)悩みを相談できる機関等がある	35.1	52.3	9.9	1.8	0.0	0.9	0.0
(34)食の安全・安心が確保されている	67.6	26.1	3.6	0.0	0.9	1.8	0.0
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	79.3	17.1	1.8	0.0	0.9	0.9	0.0
(36)防災対策が充実している	68.5	27.0	2.7	0.0	0.0	1.8	0.0
(37)暴力の防止と支援環境が充実	56.8	28.8	6.3	0.0	0.9	6.3	0.9
(38)交通の安全が確保されている	64.9	26.1	6.3	0.0	0.0	2.7	0.0
(39)商品等の品質等が確保されている	62.2	30.6	4.5	0.9	0.0	1.8	0.0
(40)商品等の苦情を処理するところがある	39.6	41.4	10.8	0.9	0.0	6.3	0.9
(41)基地等の問題対策が講じられている	48.6	36.0	8.1	0.9	0.0	4.5	1.8
(42)住環境が良好	65.8	27.9	2.7	0.0	0.0	1.8	1.8
(43)快適にインターネットにつながる	27.0	37.8	15.3	7.2	1.8	9.0	1.8
(44)安心して家庭で水が使える	81.1	16.2	0.0	0.0	0.0	1.8	0.9
(45)下水道が整備されている	68.5	24.3	3.6	0.0	0.0	1.8	1.8
(46)地域や社会をよくする活動ができる	37.8	42.3	11.7	0.9	0.0	5.4	1.8
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	37.8	48.6	9.0	0.9	0.0	2.7	0.9
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	27.0	37.8	27.0	2.7	0.9	3.6	0.9
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	28.8	41.4	20.7	4.5	0.0	3.6	0.9
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	46.8	37.8	9.9	0.0	0.0	4.5	0.9
(51)行政情報が住人に広報されている	38.7	40.5	14.4	0.0	0.0	5.4	0.9
(52)新事業・新産業が生み出されている	40.5	36.0	16.2	0.0	0.0	6.3	0.9
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	34.2	46.8	11.7	0.0	0.0	6.3	0.9
(54)元気な中小企業等が増えている	38.7	41.4	9.9	0.9	0.0	8.1	0.9
(55)すすめることができる地域の特産品がある	38.7	43.2	9.0	2.7	0.0	5.4	0.9
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	55.9	32.4	5.4	0.9	0.0	4.5	0.9
(57)職業紹介、訓練が充実している	40.5	38.7	9.9	0.9	0.0	8.1	1.8
(58)失業の不安がなくなる	64.9	25.2	4.5	0.9	0.0	3.6	0.9
(59)収入が着実に増える	65.8	27.0	4.5	0.0	0.9	0.9	0.9
(60)近くで希望する仕事につける	57.7	29.7	8.1	0.0	0.0	3.6	0.9
(61)物価が安定している	65.8	25.2	4.5	0.0	0.0	3.6	0.9
(62)軍用跡地が有効に利用されている	48.6	27.9	11.7	0.9	1.8	8.1	0.9
(63)国際交流が盛ん	28.8	37.8	21.6	2.7	0.0	8.1	0.9
(64)外国人との交流が活発に行われる	24.3	35.1	28.8	5.4	0.0	5.4	0.9
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	31.5	38.7	19.8	2.7	0.0	6.3	0.9
(66)平和を願う心が継承、発信されている	59.5	25.2	9.0	0.0	0.0	5.4	0.9
(67)健全育成、教育環境がとらわれている	64.0	25.2	5.4	0.0	0.0	4.5	0.9
(68)公平な教育機会が確保されている	59.5	26.1	7.2	0.0	0.9	5.4	0.9
(69)生涯学習する機会が得られている	45.0	35.1	9.9	0.0	0.0	8.1	1.8
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	53.2	35.1	4.5	0.0	0.9	5.4	0.9
(71)外国語教育が充実している	40.5	37.8	13.5	2.7	0.0	4.5	0.9
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	49.5	35.1	9.0	0.0	0.0	5.4	0.9
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	45.0	39.6	9.0	0.9	0.0	4.5	0.9
(74)地域づくりに取り組む人材育成	41.4	41.4	10.8	0.9	0.9	3.6	0.9

表 2-1-1 地域別 重要度比率 続き (%) 【中部】

【中部】	非常に重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	41.6	43.9	8.6	2.1	0.8	2.6	0.3
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	42.4	41.1	9.5	2.4	0.3	3.9	0.3
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	62.5	29.7	4.6	0.7	0.3	2.0	0.3
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	53.5	34.6	8.2	1.0	0.8	1.6	0.3
(5)クリーンエネルギーが普及している	38.8	37.7	13.2	2.8	1.1	6.2	0.2
(6)沖縄文化が保全・継承されている	45.2	38.7	9.5	2.1	1.1	3.1	0.3
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	31.2	42.4	18.1	2.4	1.1	4.6	0.2
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	30.0	43.7	16.0	3.1	1.0	5.5	0.7
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	42.1	41.4	10.9	2.3	0.2	2.8	0.3
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	48.5	39.2	8.2	2.0	0.2	2.0	0.2
(11)公共交通機関が利用しやすい	53.3	33.6	8.3	1.6	0.7	2.0	0.5
(12)目的地まで円滑に移動できる	52.9	33.4	9.0	2.3	0.2	2.0	0.3
(13)離島と本島間の移動ができる	36.7	38.2	14.7	5.5	0.8	3.9	0.2
(14)生活に必要な施設がある	52.0	39.2	5.5	1.1	0.0	1.8	0.3
(15)地域の商店街に活力がある	35.9	42.3	14.5	3.3	0.2	3.4	0.5
(16)健康の維持や増進に努める	48.3	39.2	7.7	1.3	0.5	2.6	0.5
(17)スポーツにふれる機会が増える	30.8	43.1	18.1	3.1	1.0	3.3	0.7
(18)子供の育成環境が整っている	64.8	23.2	6.2	1.0	0.8	3.9	0.2
(19)学童保育所等が利用しやすい	58.7	26.6	7.8	1.3	1.0	4.4	0.2
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	65.9	24.3	4.1	1.3	0.3	3.8	0.3
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	55.3	32.1	6.0	1.1	0.5	4.2	0.7
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	16.0	23.3	39.6	11.1	4.4	4.9	0.7
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	73.2	22.3	2.3	0.2	0.2	1.5	0.3
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらす	65.6	28.7	3.9	0.0	0.7	1.0	0.2
(25)老後に不安のない年金が得られる	80.6	15.0	2.3	0.3	0.2	1.3	0.3
(26)障害者の社会参加が拡大している	53.5	35.6	6.5	0.5	0.3	3.3	0.3
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	62.5	29.9	4.4	1.0	0.0	1.8	0.5
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	56.6	32.8	7.0	0.8	0.3	2.1	0.3
(29)良質な医療が受けられる	73.4	23.0	1.8	0.0	0.2	1.3	0.3
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	75.4	21.2	1.5	0.3	0.0	1.3	0.3
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	60.2	32.6	4.7	0.2	0.2	1.8	0.3
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	75.4	20.9	2.0	0.5	0.0	1.1	0.2
(33)悩みを相談できる機関等がある	34.6	41.9	16.8	3.4	0.5	2.6	0.2
(34)食の安全・安心が確保されている	64.1	29.5	4.2	0.5	0.0	1.3	0.3
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	79.1	17.6	1.8	0.0	0.3	1.0	0.2
(36)防災対策が充実している	65.7	27.7	4.2	0.5	0.2	1.5	0.2
(37)暴力の防止と支援環境が充実	56.6	29.7	7.7	0.7	0.8	4.4	0.2
(38)交通の安全が確保されている	64.3	29.0	4.2	0.3	0.2	1.8	0.2
(39)商品等の品質等が確保されている	58.7	31.6	6.0	1.1	0.2	2.1	0.2
(40)商品等の苦情を処理するところがある	42.3	39.3	11.1	2.9	0.3	3.8	0.3
(41)基地等の問題対策が講じられている	48.9	30.7	11.9	2.0	0.7	5.4	0.5
(42)住環境が良好	58.7	33.4	3.9	1.3	0.3	1.5	0.8
(43)快適にインターネットにつながる	25.6	36.2	20.2	8.3	2.6	6.5	0.5
(44)安心して家庭で水が使える	77.8	18.1	1.8	0.2	0.5	1.0	0.7
(45)下水道が整備されている	67.2	25.1	4.9	0.7	0.5	1.3	0.3
(46)地域や社会をよくする活動ができる	33.0	43.9	15.7	2.9	0.2	4.1	0.3
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	38.3	42.1	12.6	2.1	0.3	4.1	0.5
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	20.9	42.6	25.9	6.4	1.1	2.8	0.3
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	22.7	39.5	26.8	6.5	1.1	3.1	0.3
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	38.0	43.1	13.5	2.1	0.3	2.4	0.5
(51)行政情報が住人に広報されている	40.1	41.3	11.7	2.3	1.0	3.3	0.3
(52)新事業・新産業が生み出されている	39.6	38.2	13.9	2.3	0.8	4.6	0.7
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	39.2	41.8	13.2	2.3	0.3	2.8	0.5
(54)元気な中小企業等が増えている	42.9	38.7	12.2	0.8	0.2	4.9	0.3
(55)すすめることができる地域の特産品がある	39.2	39.2	13.1	3.9	0.3	3.9	0.5
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	57.6	29.7	7.7	1.3	0.3	3.1	0.3
(57)職業紹介、訓練が充実している	48.0	35.4	9.5	1.8	0.5	4.6	0.3
(58)失業の不安がなく働ける	68.0	22.3	5.2	0.5	0.8	2.8	0.3
(59)収入が着実に増える	66.9	24.0	5.1	1.1	0.5	2.1	0.3
(60)近くで希望する仕事につける	49.1	31.6	11.4	3.8	1.0	2.6	0.5
(61)物価が安定している	65.1	26.8	4.2	0.7	0.3	2.1	0.8
(62)軍用跡地が有効に利用されている	48.3	33.4	10.9	1.6	1.3	4.1	0.3
(63)国際交流が盛ん	26.9	40.5	19.9	5.7	1.3	5.4	0.3
(64)外国人との交流が活発に行われる	24.8	41.6	21.9	5.2	1.6	4.4	0.5
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	30.7	41.8	16.2	3.9	1.5	5.5	0.5
(66)平和を願う心が継承、発信されている	59.7	27.9	7.2	1.5	1.0	2.4	0.3
(67)健全育成、教育環境がとらわれている	66.2	26.9	3.6	0.7	0.5	1.8	0.3
(68)公平な教育機会が確保されている	60.4	29.2	5.4	0.7	0.5	3.6	0.3
(69)生涯学習する機会が得られている	45.2	39.0	9.6	1.5	0.2	4.1	0.5
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	52.9	35.6	6.4	1.3	0.3	3.3	0.3
(71)外国語教育が充実している	37.5	40.6	14.2	2.4	0.3	4.4	0.5
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	46.2	38.7	9.3	0.5	0.7	4.2	0.5
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	45.7	39.6	8.5	0.8	0.3	4.7	0.3
(74)地域づくりに取り組む人材育成	40.6	41.9	9.5	1.5	0.3	5.7	0.5

表 2-1-1 地域別 重要度比率 続き (%) 【那覇市】

【那覇市】	非常に重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	42.7	45.5	5.6	2.8	0.0	3.5	0.0
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	43.0	42.0	8.0	3.1	0.0	3.8	0.0
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	65.4	27.3	3.5	1.7	0.0	1.7	0.3
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	55.2	32.9	7.7	1.4	0.0	2.8	0.0
(5)クリーンエネルギーが普及している	42.0	37.8	9.8	3.8	0.7	5.2	0.7
(6)沖縄文化が保全・継承されている	45.8	39.5	8.0	3.8	0.0	2.8	0.0
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	31.8	44.1	19.2	1.7	0.3	2.8	0.0
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	31.5	47.6	16.8	1.7	0.0	2.4	0.0
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	45.1	43.4	8.4	1.7	0.0	1.4	0.0
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	50.3	43.0	4.9	0.3	0.0	1.4	0.0
(11)公共交通機関が利用しやすい	61.2	32.5	4.2	0.7	0.0	1.4	0.0
(12)目的地まで円滑に移動できる	57.0	33.9	5.9	1.4	0.0	1.7	0.0
(13)離島と本島間の移動ができる	37.1	41.3	13.6	5.6	1.0	1.4	0.0
(14)生活に必要な施設がある	57.3	36.7	3.1	1.4	0.3	1.0	0.0
(15)地域の商店街に活力がある	39.5	43.4	11.9	2.4	0.3	2.1	0.3
(16)健康の維持や増進に努める	53.1	35.0	8.4	1.4	0.0	1.7	0.3
(17)スポーツにふれる機会が増える	30.4	45.8	19.2	2.4	0.3	1.7	0.0
(18)子供の育成環境が整っている	68.2	25.5	3.5	0.3	0.7	1.7	0.0
(19)学童保育所等が利用しやすい	62.2	26.6	6.3	1.7	1.7	1.4	0.0
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	68.5	25.9	2.8	0.7	0.0	2.1	0.0
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	54.9	32.5	6.6	2.4	0.7	2.8	0.0
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	13.3	22.0	47.2	11.9	3.1	2.4	0.0
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	75.9	19.9	2.1	1.0	0.0	0.7	0.3
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらす	64.0	29.7	3.8	0.7	0.3	1.4	0.0
(25)老後に不安のない年金が得られる	78.0	16.4	3.1	1.0	0.0	1.4	0.0
(26)障害者の社会参加が拡大している	54.2	35.3	7.0	0.7	0.3	2.4	0.0
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	63.6	28.7	5.6	0.7	0.0	1.4	0.0
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	58.0	34.3	5.9	0.0	0.0	1.7	0.0
(29)良質な医療が受けられる	72.4	23.4	2.8	0.0	0.0	1.4	0.0
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	74.1	21.7	1.7	0.7	0.0	1.4	0.3
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	57.0	37.1	3.8	0.3	0.0	1.4	0.3
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	73.1	19.6	4.2	1.7	0.0	1.4	0.0
(33)悩みを相談できる機関等がある	36.0	40.9	15.7	3.8	1.0	2.1	0.3
(34)食の安全・安心が確保されている	70.3	25.5	2.4	0.0	0.0	1.7	0.0
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	80.8	16.8	1.4	0.0	0.0	1.0	0.0
(36)防災対策が充実している	66.8	27.6	4.2	0.0	0.0	1.4	0.0
(37)暴力の防止と支援環境が充実	54.9	32.2	8.0	1.0	0.3	3.1	0.3
(38)交通の安全が確保されている	69.9	24.1	4.5	0.0	0.0	1.4	0.0
(39)商品等の品質等が確保されている	63.6	28.0	5.2	1.0	0.0	2.1	0.0
(40)商品等の苦情を処理するところがある	44.4	40.6	8.4	3.8	0.0	2.4	0.3
(41)基地等の問題対策が講じられている	49.3	32.2	9.1	2.4	0.7	5.6	0.7
(42)住環境が良好	61.2	33.6	3.1	0.0	0.0	1.7	0.3
(43)快適にインターネットにつながる	27.6	37.4	19.6	8.0	1.4	4.5	1.4
(44)安心して家庭で水が使える	78.7	18.5	1.0	0.3	0.0	1.0	0.3
(45)下水道が整備されている	74.1	21.0	1.7	0.3	0.0	1.7	1.0
(46)地域や社会をよくする活動ができる	34.6	46.5	13.3	1.0	0.7	3.5	0.3
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	42.0	38.5	14.0	1.4	1.4	2.4	0.3
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	21.3	37.4	29.7	5.9	1.4	3.5	0.7
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	23.8	38.5	26.2	5.6	2.4	3.1	0.3
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	37.4	43.7	14.0	2.1	0.0	2.1	0.7
(51)行政情報が住人に広報されている	42.3	40.9	12.2	2.1	0.0	2.1	0.3
(52)新事業・新産業が生み出されている	44.8	37.1	10.5	3.5	0.0	3.5	0.7
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	39.5	43.0	12.2	3.1	0.0	1.7	0.3
(54)元気な中小企業等が増えている	44.8	36.7	10.8	1.4	0.3	4.9	1.0
(55)すすめることができる地域の特産品がある	40.2	41.6	11.2	3.5	0.0	3.1	0.3
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	59.8	29.7	6.6	0.7	0.7	2.1	0.3
(57)職業紹介、訓練が充実している	47.9	36.0	10.5	1.4	0.7	3.1	0.3
(58)失業の不安がなく働ける	70.3	22.7	3.5	0.7	0.3	2.1	0.3
(59)収入が着実に増える	69.2	23.8	3.5	1.4	0.3	1.4	0.3
(60)近くで希望する仕事につける	52.1	33.9	8.0	3.5	0.0	1.7	0.7
(61)物価が安定している	67.5	24.5	4.5	1.0	0.0	1.7	0.7
(62)軍用跡地が有効に利用されている	53.1	29.7	8.4	3.5	1.0	3.5	0.7
(63)国際交流が盛ん	30.4	40.9	16.4	6.6	0.3	4.9	0.3
(64)外国人との交流が活発に行われる	29.4	43.0	17.8	5.6	0.7	3.1	0.3
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	36.4	38.5	16.1	4.2	0.0	3.8	1.0
(66)平和を願う心が継承、発信されている	64.0	24.1	7.0	0.7	1.0	2.4	0.7
(67)健全育成、教育環境がつけられている	69.9	23.8	2.8	1.4	0.0	1.4	0.7
(68)公平な教育機会が確保されている	62.2	26.2	5.9	1.7	0.3	3.1	0.3
(69)生涯学習する機会が得られている	46.9	36.4	12.2	1.0	0.3	2.8	0.3
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	53.5	33.6	9.1	0.3	0.3	2.4	0.7
(71)外国語教育が充実している	40.9	37.1	13.6	3.1	1.4	3.5	0.3
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	47.6	38.1	9.1	0.7	1.0	3.1	0.3
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	46.9	38.1	9.1	1.7	0.3	3.1	0.7
(74)地域づくりに取り組む人材育成	45.5	37.4	10.8	2.1	0.3	3.1	0.7

表 2-1-1 地域別 重要度比率 続き (%) 【南部】

【南部】	非常に重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	40.9	45.6	6.4	1.4	1.1	4.6	0.0
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	36.7	47.0	8.2	0.7	0.4	6.8	0.4
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	56.6	33.1	5.7	0.7	0.0	3.6	0.4
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	54.1	34.5	7.1	1.1	0.0	3.2	0.0
(5)クリーンエネルギーが普及している	39.5	38.1	14.2	1.4	0.0	6.8	0.0
(6)沖縄文化が保全・継承されている	48.4	39.9	5.3	2.5	0.4	3.6	0.0
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	28.8	47.3	13.5	2.8	0.7	6.4	0.4
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	30.2	44.5	15.7	3.6	0.4	5.7	0.0
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	41.3	43.4	10.3	2.8	0.0	2.1	0.0
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	47.7	42.3	5.3	1.4	0.4	2.8	0.0
(11)公共交通機関が利用しやすい	47.7	41.3	6.8	2.1	0.0	1.8	0.4
(12)目的地まで円滑に移動できる	46.3	38.4	9.6	2.8	0.7	2.1	0.0
(13)離島と本島間の移動ができる	43.8	33.1	14.9	3.9	1.1	3.2	0.0
(14)生活に必要な施設がある	52.7	39.1	5.3	1.1	0.4	1.4	0.0
(15)地域の商店街に活力がある	35.9	43.4	13.5	3.2	0.7	3.2	0.0
(16)健康の維持や増進に努める	46.3	42.7	7.1	2.1	0.0	1.8	0.0
(17)スポーツにふれる機会が増える	31.3	42.0	19.6	4.6	0.4	2.1	0.0
(18)子供の育成環境が整っている	69.4	20.6	5.3	0.7	1.1	2.8	0.0
(19)学童保育所等が利用しやすい	66.5	22.1	5.3	1.1	1.8	3.2	0.0
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	71.9	21.0	4.6	0.4	0.4	1.8	0.0
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	62.6	26.0	6.4	0.4	0.4	4.3	0.0
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	15.7	23.5	43.1	12.1	2.1	3.6	0.0
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	71.9	20.3	3.6	1.1	0.7	2.1	0.4
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらす	61.2	32.4	2.8	1.1	0.7	1.8	0.0
(25)老後に不安のない年金が得られる	83.3	12.1	1.4	1.1	0.4	1.8	0.0
(26)障害者の社会参加が拡大している	55.5	33.1	5.7	1.8	0.4	3.2	0.4
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	61.9	28.5	5.3	0.7	1.1	2.5	0.0
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	58.4	29.5	8.5	2.1	0.0	1.4	0.0
(29)良質な医療が受けられる	70.1	26.0	2.1	0.7	0.0	1.1	0.0
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	71.5	24.9	1.8	0.7	0.0	1.1	0.0
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	54.8	38.4	3.6	1.4	0.0	1.8	0.0
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	71.5	22.1	3.2	1.1	0.0	2.1	0.0
(33)悩みを相談できる機関等がある	34.9	38.1	18.1	3.9	1.4	3.2	0.4
(34)食の安全・安心が確保されている	65.1	27.4	3.9	1.4	0.0	2.1	0.0
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	77.2	17.8	3.2	0.4	0.4	1.1	0.0
(36)防災対策が充実している	67.6	26.7	3.2	0.4	0.0	1.8	0.4
(37)暴力の防止と支援環境が充実	56.9	31.0	7.1	1.1	0.7	3.2	0.0
(38)交通の安全が確保されている	64.4	29.9	3.6	0.7	0.4	1.1	0.0
(39)商品等の品質等が確保されている	61.2	32.0	4.3	1.1	0.0	1.4	0.0
(40)商品等の苦情を処理するところがある	41.6	38.1	13.5	2.8	0.0	3.9	0.0
(41)基地等の問題対策が講じられている	45.2	28.5	16.0	2.1	0.4	7.8	0.0
(42)住環境が良好	59.8	32.0	4.3	1.1	0.4	2.5	0.0
(43)快適にインターネットにつながる	28.5	38.8	18.1	7.5	1.1	6.0	0.0
(44)安心して家庭で水が使える	81.1	14.6	2.1	1.1	0.0	1.1	0.0
(45)下水道が整備されている	62.6	27.8	5.7	1.4	0.0	2.5	0.0
(46)地域や社会をよくする活動ができる	31.7	43.4	17.4	2.5	0.7	4.3	0.0
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	35.6	47.3	11.7	1.8	0.0	3.6	0.0
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	20.6	44.1	24.2	7.1	1.4	2.5	0.0
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	20.6	45.2	23.1	6.4	1.8	2.8	0.0
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	40.2	44.1	11.7	2.1	0.0	1.8	0.0
(51)行政情報が住人に広報されている	38.4	42.0	13.2	2.1	0.0	4.3	0.0
(52)新事業・新産業が生み出されている	38.8	40.6	13.9	1.8	0.0	5.0	0.0
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	34.5	45.6	13.5	2.5	0.0	3.6	0.4
(54)元気な中小企業等が増えている	38.8	38.1	15.7	1.8	0.0	5.7	0.0
(55)すすめることができる地域の特産品がある	35.6	42.3	14.6	2.8	0.0	4.3	0.4
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	58.0	31.7	6.4	1.4	0.0	2.5	0.0
(57)職業紹介、訓練が充実している	44.5	38.1	11.0	2.5	0.4	3.6	0.0
(58)失業の不安がなく働ける	68.3	21.4	5.0	1.8	0.4	3.2	0.0
(59)収入が着実に増える	70.8	22.1	4.6	1.1	0.0	1.1	0.4
(60)近くで希望する仕事につける	50.2	35.2	8.5	3.6	0.4	1.8	0.4
(61)物価が安定している	63.0	28.8	4.6	0.7	0.0	2.8	0.0
(62)軍用跡地が有効に利用されている	45.6	31.7	11.7	3.9	0.0	7.1	0.0
(63)国際交流が盛ん	27.0	39.1	20.3	4.3	0.7	8.5	0.0
(64)外国人との交流が活発に行われる	26.7	40.9	19.2	5.7	0.4	7.1	0.0
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	31.0	39.1	18.9	3.6	0.4	7.1	0.0
(66)平和を願う心が継承、発信されている	64.1	25.3	6.4	0.7	0.0	3.6	0.0
(67)健全育成、教育環境がとらわれている	69.8	23.8	2.1	0.7	0.7	2.8	0.0
(68)公平な教育機会が確保されている	59.1	29.5	5.7	1.1	0.7	3.9	0.0
(69)生涯学習する機会が得られている	43.1	41.3	10.0	2.5	0.4	2.8	0.0
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	55.2	34.2	6.8	0.4	0.7	2.8	0.0
(71)外国語教育が充実している	35.6	38.8	17.8	2.5	0.4	5.0	0.0
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	45.9	37.7	10.7	0.7	0.7	4.3	0.0
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	45.9	37.0	10.3	1.8	0.4	4.6	0.0
(74)地域づくりに取り組む人材育成	39.1	41.3	13.2	1.8	0.4	4.3	0.0

表 2-1-1 地域別 重要度比率 続き (%)【宮古】

【宮古】	非常に重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	40.7	43.4	11.5	1.8	0.0	2.7	0.0
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	35.4	40.7	17.7	2.7	0.0	3.5	0.0
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	52.2	30.1	9.7	0.9	0.9	6.2	0.0
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	50.4	32.7	8.0	1.8	0.0	7.1	0.0
(5)クリーンエネルギーが普及している	34.5	36.3	15.9	3.5	0.0	8.8	0.9
(6)沖縄文化が保全・継承されている	37.2	45.1	11.5	1.8	1.8	2.7	0.0
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	23.9	45.1	21.2	5.3	0.0	4.4	0.0
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	23.9	47.8	23.0	1.8	0.9	2.7	0.0
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	41.6	43.4	9.7	1.8	0.0	3.5	0.0
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	40.7	44.2	9.7	2.7	0.9	1.8	0.0
(11)公共交通機関が利用しやすい	35.4	45.1	12.4	2.7	0.9	3.5	0.0
(12)目的地まで円滑に移動できる	32.7	40.7	15.0	6.2	1.8	3.5	0.0
(13)離島と本島間の移動ができる	57.5	31.9	7.1	0.0	0.9	2.7	0.0
(14)生活に必要な施設がある	61.9	31.0	4.4	0.9	0.0	1.8	0.0
(15)地域の商店街に活力がある	43.4	41.6	11.5	0.9	0.0	2.7	0.0
(16)健康の維持や増進に努める	50.4	40.7	6.2	0.0	0.9	1.8	0.0
(17)スポーツにふれる機会が増える	23.0	49.6	21.2	1.8	0.0	4.4	0.0
(18)子供の育成環境が整っている	69.9	23.0	3.5	0.9	0.0	2.7	0.0
(19)学童保育所等が利用しやすい	64.6	26.5	3.5	0.9	0.9	3.5	0.0
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	63.7	25.7	3.5	0.9	0.0	6.2	0.0
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	51.3	38.1	6.2	0.9	0.0	3.5	0.0
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	15.0	25.7	40.7	8.0	5.3	5.3	0.0
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	72.6	22.1	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらす	63.7	31.0	3.5	0.0	0.0	1.8	0.0
(25)老後に不安のない年金が得られる	78.8	15.9	2.7	0.0	0.9	1.8	0.0
(26)障害者の社会参加が拡大している	52.2	32.7	9.7	0.0	0.0	4.4	0.9
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	66.4	23.9	5.3	0.9	0.0	2.7	0.9
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	49.6	31.9	13.3	0.9	0.0	4.4	0.0
(29)良質な医療が受けられる	75.2	20.4	1.8	0.0	0.0	2.7	0.0
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	77.9	17.7	2.7	0.0	0.0	1.8	0.0
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	66.4	27.4	4.4	0.0	0.0	1.8	0.0
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	75.2	19.5	1.8	0.0	0.9	2.7	0.0
(33)悩みを相談できる機関等がある	41.6	40.7	11.5	0.9	0.9	4.4	0.0
(34)食の安全・安心が確保されている	66.4	26.5	3.5	0.0	0.0	3.5	0.0
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	79.6	15.9	1.8	0.0	0.0	2.7	0.0
(36)防災対策が充実している	66.4	25.7	5.3	0.0	0.0	2.7	0.0
(37)暴力の防止と支援環境が充実	60.2	30.1	4.4	0.0	0.0	4.4	0.9
(38)交通の安全が確保されている	67.3	29.2	0.0	0.0	0.0	2.7	0.9
(39)商品等の品質等が確保されている	62.8	29.2	3.5	0.9	0.9	2.7	0.0
(40)商品等の苦情を処理するところがある	31.9	50.4	10.6	4.4	0.9	1.8	0.0
(41)基地等の問題対策が講じられている	32.7	37.2	16.8	0.9	0.9	11.5	0.0
(42)住環境が良好	54.0	39.8	4.4	0.0	0.0	1.8	0.0
(43)快適にインターネットにつながる	23.9	35.4	22.1	8.0	1.8	8.8	0.0
(44)安心して家庭で水が使える	78.8	18.6	0.9	0.0	0.0	0.9	0.9
(45)下水道が整備されている	58.4	30.1	8.0	0.0	0.9	2.7	0.0
(46)地域や社会をよくする活動ができる	34.5	46.0	17.7	0.0	0.0	1.8	0.0
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	37.2	41.6	13.3	0.0	0.9	7.1	0.0
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	26.5	39.8	27.4	1.8	1.8	2.7	0.0
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	24.8	39.8	24.8	4.4	1.8	4.4	0.0
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	38.9	45.1	12.4	0.0	0.0	3.5	0.0
(51)行政情報が住人に広報されている	36.3	46.0	10.6	0.9	0.0	6.2	0.0
(52)新事業・新産業が生み出されている	34.5	39.8	14.2	3.5	0.0	8.0	0.0
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	37.2	42.5	10.6	1.8	0.9	7.1	0.0
(54)元気な中小企業等が増えている	38.9	31.9	16.8	2.7	0.0	9.7	0.0
(55)すすめることができる地域の特産品がある	38.1	41.6	12.4	0.0	0.9	7.1	0.0
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	51.3	29.2	10.6	0.0	0.9	6.2	1.8
(57)職業紹介、訓練が充実している	39.8	37.2	9.7	2.7	0.9	8.8	0.9
(58)失業の不安がなく働ける	65.5	23.0	6.2	2.7	0.0	2.7	0.0
(59)収入が着実に増える	69.0	23.9	4.4	0.0	0.9	1.8	0.0
(60)近くで希望する仕事につける	49.6	38.9	5.3	0.0	0.9	5.3	0.0
(61)物価が安定している	65.5	27.4	4.4	0.0	0.0	2.7	0.0
(62)軍用跡地が有効に利用されている	37.2	34.5	12.4	1.8	0.9	13.3	0.0
(63)国際交流が盛ん	22.1	38.1	21.2	2.7	0.9	15.0	0.0
(64)外国人との交流が活発に行われる	23.0	35.4	29.2	4.4	0.9	7.1	0.0
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	24.8	43.4	18.6	2.7	1.8	8.8	0.0
(66)平和を願う心が継承、発信されている	55.8	31.9	4.4	1.8	0.9	5.3	0.0
(67)健全育成、教育環境がとらわれている	63.7	29.2	2.7	0.9	0.0	3.5	0.0
(68)公平な教育機会が確保されている	54.0	34.5	6.2	0.0	0.9	4.4	0.0
(69)生涯学習する機会が得られている	39.8	36.3	15.9	0.9	0.9	6.2	0.0
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	47.8	38.9	6.2	0.9	0.0	6.2	0.0
(71)外国語教育が充実している	34.5	35.4	15.9	4.4	0.0	9.7	0.0
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	38.9	41.6	8.0	1.8	0.0	9.7	0.0
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	38.9	41.6	12.4	0.9	0.0	6.2	0.0
(74)地域づくりに取り組む人材育成	37.2	43.4	11.5	0.0	0.0	8.0	0.0

表 2-1-1 地域別 重要度比率 続き (%)【八重山】

【八重山】	非常に重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	53.8	30.1	7.5	3.2	0.0	5.4	0.0
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	51.6	32.3	7.5	2.2	0.0	5.4	1.1
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	65.6	25.8	5.4	1.1	0.0	2.2	0.0
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	54.8	32.3	7.5	3.2	0.0	2.2	0.0
(5)クリーンエネルギーが普及している	41.9	33.3	12.9	3.2	0.0	7.5	1.1
(6)沖縄文化が保全・継承されている	52.7	34.4	5.4	1.1	2.2	3.2	1.1
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	34.4	41.9	16.1	2.2	1.1	4.3	0.0
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	43.0	33.3	16.1	2.2	1.1	4.3	0.0
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	50.5	32.3	10.8	2.2	0.0	3.2	1.1
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	55.9	33.3	6.5	2.2	0.0	1.1	1.1
(11)公共交通機関が利用しやすい	44.1	38.7	7.5	7.5	0.0	2.2	0.0
(12)目的地まで円滑に移動できる	39.8	29.0	12.9	10.8	0.0	7.5	0.0
(13)離島と本島間の移動ができる	73.1	20.4	3.2	2.2	0.0	1.1	0.0
(14)生活に必要な施設がある	58.1	35.5	5.4	0.0	0.0	1.1	0.0
(15)地域の商店街に活力がある	46.2	41.9	6.5	4.3	0.0	1.1	0.0
(16)健康の維持や増進に努める	48.4	39.8	8.6	1.1	0.0	2.2	0.0
(17)スポーツにふれる機会が増える	34.4	38.7	16.1	4.3	1.1	4.3	1.1
(18)子供の育成環境が整っている	63.4	24.7	2.2	2.2	0.0	6.5	1.1
(19)学童保育所等が利用しやすい	63.4	23.7	2.2	4.3	0.0	6.5	0.0
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	58.1	31.2	6.5	1.1	0.0	3.2	0.0
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	51.6	33.3	5.4	2.2	1.1	6.5	0.0
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	14.0	25.8	43.0	7.5	2.2	7.5	0.0
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	71.0	21.5	5.4	1.1	0.0	1.1	0.0
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらす	64.5	28.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0
(25)老後に不安のない年金が得られる	76.3	18.3	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0
(26)障害者の社会参加が拡大している	47.3	41.9	8.6	0.0	0.0	2.2	0.0
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	67.7	25.8	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	57.0	31.2	7.5	1.1	0.0	3.2	0.0
(29)良質な医療が受けられる	79.6	17.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	81.7	14.0	2.2	0.0	0.0	2.2	0.0
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	61.3	34.4	3.2	1.1	0.0	0.0	0.0
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	77.4	19.4	2.2	0.0	0.0	1.1	0.0
(33)悩みを相談できる機関等がある	33.3	40.9	17.2	3.2	0.0	4.3	1.1
(34)食の安全・安心が確保されている	65.6	25.8	6.5	0.0	0.0	2.2	0.0
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	79.6	18.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
(36)防災対策が充実している	76.3	18.3	4.3	0.0	0.0	1.1	0.0
(37)暴力の防止と支援環境が充実	51.6	34.4	9.7	0.0	0.0	3.2	1.1
(38)交通の安全が確保されている	69.9	24.7	3.2	0.0	0.0	2.2	0.0
(39)商品等の品質等が確保されている	64.5	29.0	4.3	0.0	0.0	2.2	0.0
(40)商品等の苦情を処理するところがある	35.5	48.4	8.6	2.2	0.0	5.4	0.0
(41)基地等の問題対策が講じられている	43.0	32.3	10.8	1.1	1.1	10.8	1.1
(42)住環境が良好	62.4	31.2	3.2	0.0	0.0	2.2	1.1
(43)快適にインターネットにつながる	30.1	32.3	21.5	7.5	1.1	7.5	0.0
(44)安心して家庭で水が使える	84.9	10.8	2.2	0.0	0.0	1.1	1.1
(45)下水道が整備されている	66.7	24.7	5.4	0.0	0.0	2.2	1.1
(46)地域や社会をよくする活動ができる	31.2	46.2	12.9	0.0	1.1	8.6	0.0
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	40.9	37.6	11.8	1.1	2.2	6.5	0.0
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	25.8	39.8	22.6	5.4	2.2	4.3	0.0
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	25.8	37.6	20.4	6.5	2.2	6.5	1.1
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	51.6	32.3	9.7	3.2	2.2	1.1	0.0
(51)行政情報が住人に広報されている	44.1	40.9	6.5	2.2	2.2	4.3	0.0
(52)新事業・新産業が生み出されている	43.0	40.9	8.6	1.1	3.2	3.2	0.0
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	46.2	40.9	7.5	0.0	2.2	3.2	0.0
(54)元気な中小企業等が増えている	57.0	28.0	8.6	0.0	1.1	5.4	0.0
(55)すすめることができる地域の特産品がある	54.8	34.4	5.4	2.2	2.2	1.1	0.0
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	60.2	29.0	7.5	1.1	0.0	2.2	0.0
(57)職業紹介、訓練が充実している	48.4	34.4	11.8	1.1	0.0	4.3	0.0
(58)失業の不安がなく働ける	61.3	31.2	4.3	0.0	0.0	3.2	0.0
(59)収入が着実に増える	62.4	26.9	6.5	1.1	0.0	3.2	0.0
(60)近くで希望する仕事につける	51.6	30.1	12.9	1.1	0.0	4.3	0.0
(61)物価が安定している	74.2	19.4	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0
(62)軍用跡地が有効に利用されている	47.3	30.1	8.6	1.1	2.2	9.7	1.1
(63)国際交流が盛ん	24.7	40.9	17.2	4.3	3.2	9.7	0.0
(64)外国人との交流が活発に行われる	29.0	33.3	22.6	5.4	3.2	6.5	0.0
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	29.0	40.9	15.1	4.3	2.2	7.5	1.1
(66)平和を願う心が継承、発信されている	63.4	19.4	10.8	1.1	2.2	3.2	0.0
(67)健全育成、教育環境がつくられている	65.6	24.7	4.3	1.1	0.0	4.3	0.0
(68)公平な教育機会が確保されている	59.1	26.9	7.5	1.1	0.0	5.4	0.0
(69)生涯学習する機会が得られている	52.7	32.3	7.5	2.2	0.0	4.3	1.1
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	60.2	25.8	6.5	3.2	0.0	4.3	0.0
(71)外国語教育が充実している	38.7	38.7	10.8	5.4	1.1	5.4	0.0
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	49.5	33.3	11.8	0.0	1.1	4.3	0.0
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	53.8	28.0	9.7	1.1	1.1	5.4	1.1
(74)地域づくりに取り組む人材育成	51.6	30.1	11.8	1.1	1.1	4.3	0.0

2. 生活の各側面に対する充足度（問4）

(1) 充足度比率

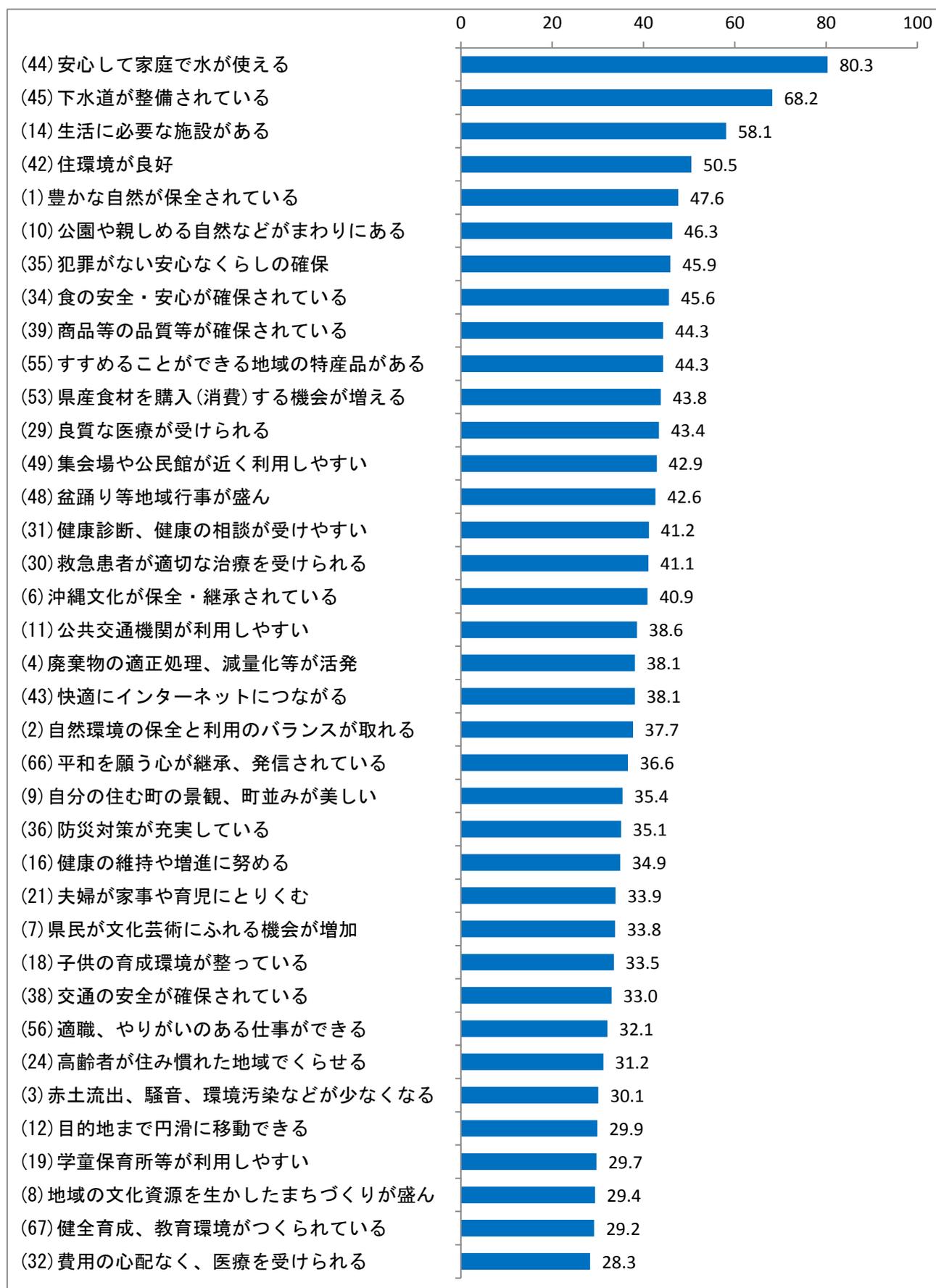
県民が日常生活に必要な事項が実際にどの程度満たされていると思っているのかを知ることは、今後の政策の指針として参考になる。

生活に必要な事項が「非常に満たされている」と「ある程度満たされている」という回答の合計で見ると、「(44) 安心して家庭で水が使える」(80.3%)が1位であり、次いで、「(45) 下水道が整備されている」(68.2%)、「(14) 身近に生活に必要な施設がある」(58.1%)、「(42) 住環境が良好」(50.5%)までが5割以上となっている。また、「(1) 豊かな自然が保全されている」(47.6%)、「(10) 公園や親しめる自然などがまわりにある」(46.3%)、「(35) 犯罪がない安心なくらしの確保」(45.9%)、「(34) 食の安全・安心が確保されている」(45.6%)、「(39) 商品等の品質等が確保されている」(44.3%)、「(55) すずめることができる地域の特産品がある」(44.3%)までが上位10項目となっている。これらに続くものとして、「(53) 県産食材を購入（消費）する機会が増える」(43.8%)、「(29) 良質な医療が受けられる」(43.4%)等がある。

他方で、同様にして、充足度の低い項目としては、まず、「(41) 基地等の問題対策が講じられている」(12.7%)が最も低い。それに次いで、「(59) 収入が着実に増える」(14.3%)、「(71) 外国語教育が充実している」(14.9%)、「(74) 地域づくりに取り組む人材育成」(15.4%)、「(73) 沖縄の産業発展を担う人材育成」(15.6%)、「(25) 老後に不安のない年金が得られる」(15.6%)、「(72) 優れた能力や感性を育む教育環境の充実」(16.2%)、「(54) 元気な中小企業等が増えている」(17.5%)、「(26) 障害者の社会参加が拡大している」(17.7%)、「(61) 物価が安定している」(18.1%)までが、充足度比率から見た下位の10項目となっている。

充足度について、前回と今回の調査結果を比較して、「非常に満たされている」と「ある程度満たされている」の合計の数値が項目ごとにどのくらい増加したか、あるいは、減少したかという観点から見てみる。上位にあげられた項目の中で充足度の増加幅が大きかったのは、「(4) 廃棄物の適正処理、減量化等が活発」(+9.9)、「(1) 豊かな自然が保全されている」(+8.6)、「(35) 犯罪がない安心なくらしの確保」(+7.3)、「(10) 公園や親しめる自然などがまわりにある」(+6.7)、「(53) 県産食材を購入（消費）する機会が増える」(+6.6)、「(29) 良質な医療が受けられる」(+6.2)などとなっている。充足度は上位だけでなく下位も含め、総じて前回から増加している項目が多い。

図 2-2-1 充足度比率（非常に満たされている+ある程度満たされている）（%）





(2) 充足度の平均得点

生活の各側面に対する充足度に関して、重要度と同じ 74 項目について、「非常に満たされている」「ある程度満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「全く満たされていない」、そして、「わからない」という 6 つの選択肢を提示して回答を求めた。集計に際して、重要度と同様に、「非常に満たされている」= 5 点、「ある程度満たされている」= 4 点、「どちらともいえない」= 3 点、「あまり満たされていない」= 2 点、「全く満たされていない」= 1 点、の得点（ウエイト）を与えて、項目ごとの平均得点を算出した。

充足度の平均得点が高いものとしては、「(44) 安心して家庭で水が使える」(4.14) が最も高く、次いで、「(45) 下水道が整備されている」(3.92)、「(14) 身近に生活に必要な施設がある」(3.54)、「(42) 住環境が良好」(3.48)、「(53) 県産食材を購入（消費）する機会が増える」(3.48)、「(34) 食の安全・安心が確保されている」(3.47)、「(39) 商品等の品質等が確保されている」(3.47) 等の順となっている。

他方で、充足度の平均得点が低いものとして、「(59) 収入が着実に増える」(2.42)、「(25) 老後に不安のない年金が得られる」(2.44)、「(41) 基地等の問題対策が講じられている」(2.55)、「(61) 物価が安定している」(2.68)、「(58) 失業の不安がなく働ける」(2.71)、「(71) 外国語教育が充実している」(2.75)、「(60) 近くで希望する仕事につける」(2.80) 等の順であった。

前回調査の充足度の平均得点をみると、「安心して家庭で水が使える」(4.12) が最も高く、次いで、「下水道が整備されている」(3.88)、「身近に生活に必要な施設がある」(3.53)、「盆踊り等地域行事が盛ん」(3.45)、「集会場や公民館が近く利用しやすい」(3.45) の順であった。上位 3 項目は今回と全く同一順で、得点もほとんど変化はない。

前回、充足度の平均得点が低かったものとしては、「収入が着実に増える」「基地等の問題対策が講じられている」（共に 2.21）、次いで、「老後に不安のない年金が得られる」(2.37)、「失業の不安がなく働ける」(2.39)、「近くで希望する仕事につける」(2.56)、「軍用跡地が有効に利用されている」(2.64)、「物価が安定している」(2.68) 等の順となっている。総じて経済的要因および基地問題に関わる事項の数値が低くなっており、今回も同様の傾向が見られる。

図 2-2-2 充足度の平均得点



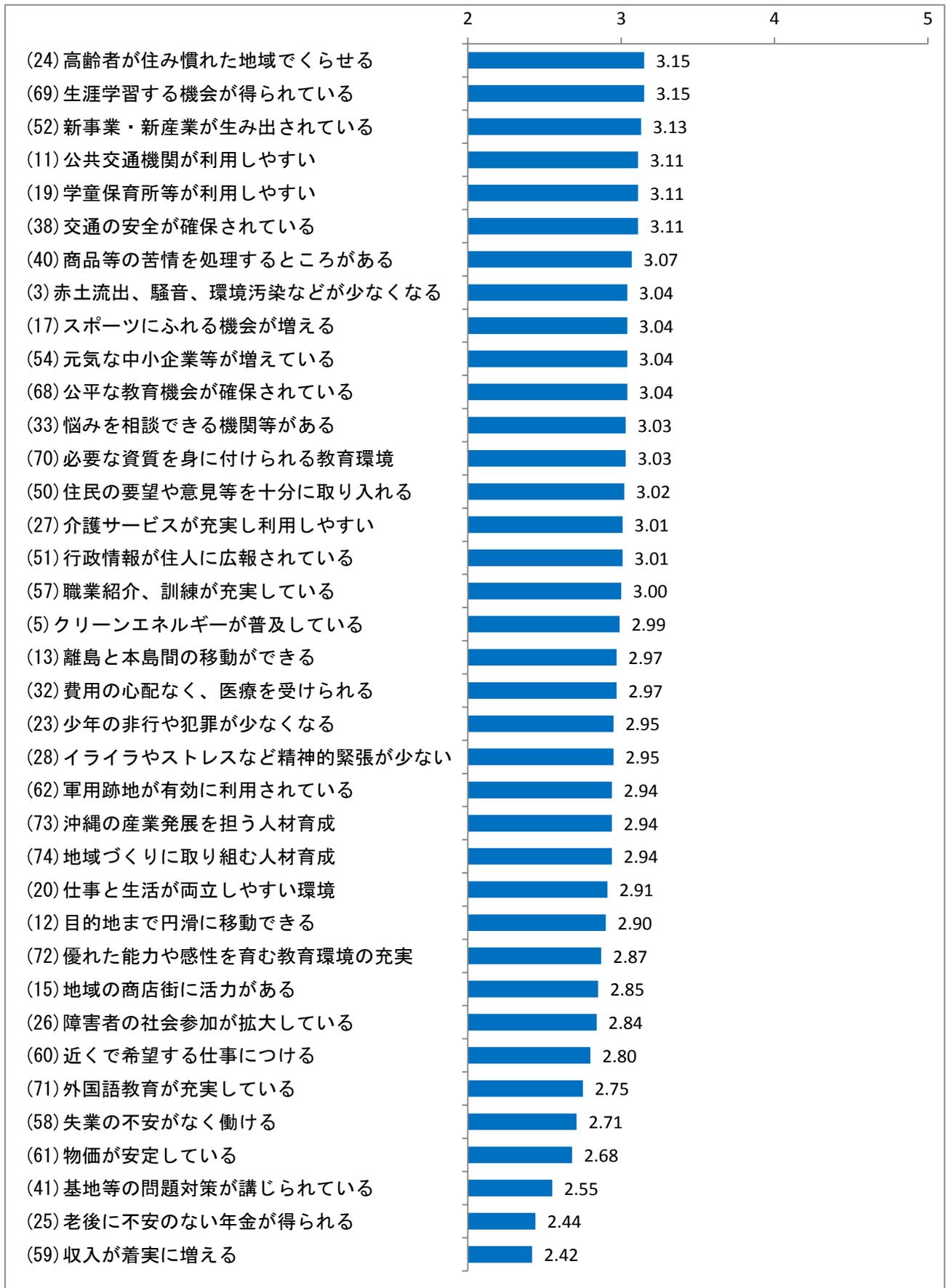


表 2-2-1 地域別 充足度比率 (%) 【北部】

【北部】	非常に満 たされている	ある程度満 たされている	どちらとも いえない	あまり満たさ れていない	全く満たさ れていない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	14.4	35.1	27.0	18.0	0.0	4.5	0.9
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	9.9	22.5	41.4	19.8	0.9	4.5	0.9
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	12.6	18.9	40.5	15.3	6.3	5.4	0.9
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	9.9	29.7	38.7	15.3	0.9	5.4	0.0
(5)クリーンエネルギーが普及している	6.3	18.9	41.4	20.7	3.6	9.0	0.0
(6)沖縄文化が保全・継承されている	9.0	34.2	36.0	11.7	2.7	6.3	0.0
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	7.2	23.4	48.6	10.8	1.8	8.1	0.0
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	7.2	20.7	43.2	16.2	1.8	9.9	0.9
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	7.2	31.5	43.2	14.4	0.9	2.7	0.0
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	9.9	32.4	32.4	19.8	2.7	2.7	0.0
(11)公共交通機関が利用しやすい	9.9	21.6	35.1	22.5	7.2	3.6	0.0
(12)目的地まで円滑に移動できる	9.0	28.8	34.2	23.4	2.7	1.8	0.0
(13)離島と本島間の移動ができる	7.2	19.8	38.7	20.7	4.5	9.0	0.0
(14)生活に必要な施設がある	12.6	30.6	27.9	18.0	6.3	4.5	0.0
(15)地域の商店街に活力がある	8.1	18.0	32.4	26.1	10.8	4.5	0.0
(16)健康の維持や増進に努める	11.7	25.2	42.3	11.7	3.6	4.5	0.9
(17)スポーツにふれる機会が増える	9.0	18.0	44.1	15.3	4.5	9.0	0.0
(18)子供の育成環境が整っている	10.8	24.3	37.8	17.1	0.9	9.0	0.0
(19)学童保育所等が利用しやすい	9.9	21.6	29.7	18.0	7.2	13.5	0.0
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	7.2	16.2	28.8	28.8	4.5	14.4	0.0
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	9.9	25.2	32.4	11.7	4.5	16.2	0.0
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	5.4	20.7	38.7	9.9	2.7	22.5	0.0
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	11.7	14.4	36.9	21.6	2.7	12.6	0.0
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらせる	9.9	26.1	30.6	18.0	2.7	12.6	0.0
(25)老後に不安のない年金が得られる	9.9	8.1	30.6	26.1	16.2	9.0	0.0
(26)障害者の社会参加が拡大している	4.5	16.2	35.1	21.6	8.1	14.4	0.0
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	8.1	16.2	34.2	16.2	6.3	18.9	0.0
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	8.1	15.3	39.6	16.2	8.1	12.6	0.0
(29)良質な医療が受けられる	8.1	27.9	28.8	19.8	7.2	8.1	0.0
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	10.8	25.2	32.4	12.6	7.2	11.7	0.0
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	10.8	30.6	32.4	14.4	3.6	8.1	0.0
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	9.9	17.1	36.9	19.8	10.8	5.4	0.0
(33)悩みを相談できる機関等がある	7.2	15.3	43.2	12.6	7.2	14.4	0.0
(34)食の安全・安心が確保されている	13.5	36.0	28.8	10.8	3.6	7.2	0.0
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	13.5	36.0	29.7	12.6	3.6	4.5	0.0
(36)防災対策が充実している	10.8	20.7	36.0	19.8	4.5	8.1	0.0
(37)暴力の防止と支援環境が充実	9.0	17.1	31.5	4.5	3.6	34.2	0.0
(38)交通の安全が確保されている	9.9	23.4	37.8	13.5	4.5	10.8	0.0
(39)商品等の品質等が確保されている	11.7	28.8	35.1	8.1	2.7	13.5	0.0
(40)商品等の苦情を処理するところがある	4.5	13.5	38.7	18.0	4.5	20.7	0.0
(41)基地等の問題対策が講じられている	7.2	8.1	33.3	19.8	15.3	16.2	0.0
(42)住環境が良好	9.0	37.8	36.0	10.8	0.9	5.4	0.0
(43)快適にインターネットにつながる	5.4	23.4	32.4	11.7	3.6	22.5	0.9
(44)安心して家庭で水が使える	29.7	46.8	16.2	3.6	0.9	2.7	0.0
(45)下水道が整備されている	27.9	37.8	20.7	6.3	0.9	6.3	0.0
(46)地域や社会をよくする活動ができる	12.6	20.7	44.1	6.3	0.9	15.3	0.0
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	10.8	24.3	42.3	8.1	1.8	12.6	0.0
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	14.4	42.3	31.5	1.8	0.0	9.0	0.9
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	16.2	43.2	29.7	4.5	0.9	5.4	0.0
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	9.0	20.7	43.2	8.1	4.5	14.4	0.0
(51)行政情報が住人に広報されている	7.2	21.6	39.6	10.8	7.2	13.5	0.0
(52)新事業・新産業が生み出されている	8.1	18.0	34.2	12.6	2.7	23.4	0.9
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	9.9	36.0	34.2	7.2	0.9	11.7	0.0
(54)元気な中小企業等が増えている	5.4	16.2	36.0	8.1	4.5	28.8	0.9
(55)すすめることができる地域の特産品がある	13.5	27.9	31.5	10.8	0.9	15.3	0.0
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	8.1	28.8	29.7	12.6	8.1	12.6	0.0
(57)職業紹介、訓練が充実している	8.1	13.5	34.2	18.0	7.2	18.9	0.0
(58)失業の不安がなく働ける	6.3	11.7	28.8	31.5	14.4	7.2	0.0
(59)収入が着実に増える	5.4	9.9	19.8	38.7	19.8	6.3	0.0
(60)近くで希望する仕事につける	4.5	15.3	26.1	30.6	13.5	9.0	0.9
(61)物価が安定している	6.3	11.7	29.7	30.6	13.5	8.1	0.0
(62)軍用跡地が有効に利用されている	6.3	11.7	26.1	23.4	8.1	24.3	0.0
(63)国際交流が盛ん	3.6	14.4	38.7	9.9	2.7	30.6	0.0
(64)外国人との交流が活発に行われる	3.6	18.9	37.8	9.0	2.7	27.9	0.0
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	3.6	14.4	40.5	8.1	1.8	31.5	0.0
(66)平和を願う心が継承、発信されている	8.1	22.5	38.7	13.5	2.7	14.4	0.0
(67)健全育成、教育環境がつけられている	5.4	21.6	41.4	12.6	0.9	18.0	0.0
(68)公平な教育機会が確保されている	5.4	18.9	36.0	17.1	5.4	17.1	0.0
(69)生涯学習する機会が得られている	4.5	18.0	37.8	17.1	2.7	19.8	0.0
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	5.4	18.0	36.9	18.9	4.5	16.2	0.0
(71)外国語教育が充実している	4.5	13.5	32.4	23.4	6.3	19.8	0.0
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	6.3	16.2	27.9	24.3	2.7	22.5	0.0
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	3.6	16.2	32.4	18.9	4.5	24.3	0.0
(74)地域づくりに取り組む人材育成	4.5	16.2	33.3	18.0	4.5	22.5	0.9

表 2-2-1 地域別 充足度比率 続き (%)【中部】

【中部】	非常に満た されている	ある程度満 たされている	どちらとも いえない	あまり満たさ れていない	全く満たさ れていない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	9.6	36.9	31.6	15.3	1.6	4.1	0.8
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	8.8	30.2	36.5	15.2	2.3	6.0	1.0
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	7.7	19.1	33.6	24.3	7.7	6.5	1.1
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	9.5	28.1	34.4	16.8	2.4	7.7	1.1
(5)クリーンエネルギーが普及している	5.9	19.9	35.7	20.1	4.2	13.2	1.0
(6)沖縄文化が保全・継承されている	9.5	32.8	32.8	14.7	1.1	8.0	1.1
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	6.4	29.7	37.0	13.5	1.6	10.9	0.8
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	6.2	25.3	40.9	12.1	2.9	11.4	1.1
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	7.0	28.7	40.9	15.0	3.4	3.8	1.1
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	10.8	37.5	28.2	17.1	2.4	2.4	1.5
(11)公共交通機関が利用しやすい	7.5	30.2	28.7	21.9	7.0	3.9	0.8
(12)目的地まで円滑に移動できる	7.2	18.1	31.0	26.4	14.0	2.1	1.1
(13)離島と本島間の移動ができる	5.9	21.5	34.4	19.2	8.0	10.0	1.0
(14)生活に必要な施設がある	12.4	47.6	24.0	10.6	2.6	2.0	0.8
(15)地域の商店街に活力がある	5.9	18.4	31.8	22.3	13.1	7.0	1.5
(16)健康の維持や増進に努める	8.2	28.9	38.7	15.2	3.1	4.7	1.3
(17)スポーツにふれる機会が増える	6.9	21.7	40.6	17.9	3.8	7.7	1.5
(18)子供の育成環境が整っている	7.0	26.8	35.4	14.5	3.9	10.9	1.5
(19)学童保育所等が利用しやすい	8.3	23.2	29.2	15.7	5.4	17.1	1.1
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	7.5	15.0	35.1	19.6	7.5	14.7	0.7
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	9.0	27.1	29.2	13.4	2.8	17.6	1.0
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	6.9	14.0	44.4	9.6	2.0	22.3	0.8
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	7.5	13.9	35.7	24.8	5.5	11.4	1.1
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらせる	7.8	23.7	33.3	20.1	2.3	11.7	1.1
(25)老後に不安のない年金が得られる	7.2	9.8	21.2	28.4	22.2	10.3	1.0
(26)障害者の社会参加が拡大している	6.7	11.9	30.8	23.7	5.5	20.6	0.8
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	7.7	16.8	28.1	21.0	4.2	20.9	1.3
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	7.0	19.9	38.2	19.6	7.0	7.0	1.3
(29)良質な医療が受けられる	10.3	38.3	32.3	10.4	2.4	5.5	0.7
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	9.6	34.4	29.4	9.1	1.6	14.8	1.0
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	10.3	33.8	33.0	10.4	1.3	10.4	0.8
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	8.5	22.5	32.8	22.7	7.3	5.5	0.7
(33)悩みを相談できる機関等がある	5.9	18.4	36.1	13.7	4.7	20.1	1.1
(34)食の安全・安心が確保されている	9.0	36.7	35.1	9.6	1.1	7.3	1.1
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	7.8	36.2	32.6	14.8	2.4	5.4	0.7
(36)防災対策が充実している	7.5	28.7	38.5	13.5	2.4	8.3	1.0
(37)暴力の防止と支援環境が充実	6.7	17.6	33.8	6.2	1.5	33.3	1.0
(38)交通の安全が確保されている	7.2	28.7	33.4	18.4	6.0	5.5	0.7
(39)商品等の品質等が確保されている	7.7	38.5	34.6	7.7	1.5	9.5	0.7
(40)商品等の苦情を処理するところがある	4.4	16.6	33.8	14.4	2.8	27.1	1.0
(41)基地等の問題対策が講じられている	2.8	10.8	30.8	21.9	16.5	16.3	1.0
(42)住環境が良好	8.8	43.9	31.2	9.3	2.1	3.4	1.3
(43)快適にインターネットにつながる	6.4	32.0	29.9	10.0	3.9	16.6	1.3
(44)安心して家庭で水が使える	35.6	45.8	10.6	3.3	1.3	2.1	1.3
(45)下水道が整備されている	28.1	43.2	14.0	4.6	2.3	6.2	1.6
(46)地域や社会をよくする活動ができる	6.5	23.3	42.7	6.2	1.1	18.9	1.1
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	6.5	22.5	40.3	9.1	1.3	19.4	0.8
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	7.0	36.5	37.2	5.7	1.3	11.3	1.0
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	10.4	33.0	36.7	6.7	1.6	10.6	1.0
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	4.7	17.0	43.2	12.2	4.2	17.1	1.5
(51)行政情報が住人に広報されている	4.6	17.6	35.9	13.5	5.7	21.9	0.8
(52)新事業・新産業が生み出されている	4.2	19.2	34.1	11.7	2.9	26.6	1.1
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	6.2	37.5	32.1	7.3	1.1	14.7	1.0
(54)元気な中小企業等が増えている	3.9	13.1	37.8	11.9	3.9	28.1	1.3
(55)すすめることができる地域の特産品がある	9.1	34.3	31.5	10.6	2.4	10.9	1.1
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	8.0	24.1	37.0	10.9	6.5	12.4	1.0
(57)職業紹介、訓練が充実している	5.1	15.7	37.5	13.2	4.2	23.5	0.8
(58)失業の不安がなく働ける	6.7	11.4	30.3	24.1	13.4	13.2	0.8
(59)収入が着実に増える	4.4	9.0	26.8	28.7	20.7	9.3	1.1
(60)近くで希望する仕事につける	5.9	16.0	28.7	22.5	12.4	13.5	1.0
(61)物価が安定している	5.1	14.0	33.0	27.2	12.7	6.5	1.5
(62)軍用跡地が有効に利用されている	4.1	19.2	30.5	16.2	7.5	21.5	1.0
(63)国際交流が盛ん	3.4	19.7	35.7	8.6	1.0	30.7	0.8
(64)外国人との交流が活発に行われる	5.4	21.5	34.9	9.0	1.5	26.6	1.1
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	4.6	17.3	37.0	7.8	1.8	30.5	1.0
(66)平和を願う心が継承、発信されている	8.8	29.5	33.6	10.1	3.3	13.9	0.8
(67)健全育成、教育環境がつけられている	7.0	23.2	39.0	11.9	2.8	15.2	1.0
(68)公平な教育機会が確保されている	5.4	21.2	34.6	14.5	4.2	19.2	0.8
(69)生涯学習する機会が得られている	5.7	24.6	35.7	12.7	2.9	17.0	1.3
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	5.7	19.9	37.4	17.0	3.4	15.8	0.8
(71)外国語教育が充実している	5.2	11.7	36.7	20.6	7.8	17.1	0.8
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	5.4	12.6	38.3	20.2	4.9	17.5	1.1
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	5.1	12.6	38.7	15.7	3.9	23.3	0.8
(74)地域づくりに取り組む人材育成	4.7	11.4	38.3	15.2	3.9	25.4	1.0

表 2-2-1 地域別 充足度比率 続き (%)【那覇市】

【那覇市】	非常に満た されている	ある程度満 たされている	どちらとも いえない	あまり満たさ れていない	全く満たさ れていない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	12.6	29.0	27.6	24.1	3.1	3.1	0.3
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	10.5	22.0	37.1	22.0	3.8	4.2	0.3
(3)赤土流出、騒音、騒音、環境汚染などが少なくなる	11.9	18.5	27.6	29.0	5.6	6.6	0.7
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	12.6	25.9	29.4	20.3	2.1	8.4	1.4
(5)クリーンエネルギーが普及している	8.0	11.9	35.7	23.4	6.6	13.3	1.0
(6)沖縄文化が保全・継承されている	10.8	25.5	35.3	16.4	3.5	7.0	1.4
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	8.4	23.1	38.8	16.4	3.5	8.7	1.0
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	9.1	15.4	42.3	16.8	4.9	10.5	1.0
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	8.4	26.6	38.5	16.8	5.9	3.1	0.7
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	11.9	35.7	24.8	18.9	6.3	1.7	0.7
(11)公共交通機関が利用しやすい	14.0	36.7	24.1	14.3	5.9	3.8	1.0
(12)目的地まで円滑に移動できる	9.8	15.0	28.3	26.6	15.4	3.5	1.4
(13)離島と本島間の移動ができる	9.4	18.5	33.9	20.6	9.8	6.6	1.0
(14)生活に必要な施設がある	19.2	45.1	17.8	12.2	2.4	1.7	1.4
(15)地域の商店街に活力がある	9.1	18.2	31.5	22.7	10.5	7.3	0.7
(16)健康の維持や増進に努める	9.4	27.3	36.4	15.4	5.6	4.5	1.4
(17)スポーツにふれる機会が増える	8.0	17.8	33.6	24.5	9.1	5.9	1.0
(18)子供の育成環境が整っている	11.2	21.3	33.9	18.2	4.9	9.4	1.0
(19)学童保育所等が利用しやすい	11.5	16.4	32.2	17.1	8.7	13.3	0.7
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	8.0	13.6	28.3	26.9	9.8	12.6	0.7
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	8.0	22.4	33.6	15.4	4.2	15.4	1.0
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	5.2	12.9	45.1	13.3	2.8	19.9	0.7
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	7.0	14.0	36.0	24.8	8.0	9.1	1.0
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらす	9.1	14.7	34.3	25.5	5.9	9.8	0.7
(25)老後に不安のない年金が得られる	7.7	5.6	19.9	28.0	24.1	14.0	0.7
(26)障害者の社会参加が拡大している	6.6	9.8	30.1	24.5	9.1	18.5	1.4
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	8.0	11.9	28.7	19.9	7.0	23.1	1.4
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	6.3	19.2	31.8	23.8	10.8	7.3	0.7
(29)良質な医療が受けられる	11.2	30.8	34.3	12.9	2.4	7.3	1.0
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	12.9	29.4	31.5	8.4	2.4	14.7	0.7
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	11.9	29.4	32.2	12.2	3.1	10.5	0.7
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	10.5	15.4	30.4	24.1	9.4	9.4	0.7
(33)悩みを相談できる機関等がある	8.0	14.0	34.6	14.0	7.7	21.0	0.7
(34)食の安全・安心が確保されている	10.5	33.9	36.7	8.0	2.1	8.0	0.7
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	10.5	35.3	33.2	8.4	4.9	6.6	1.0
(36)防災対策が充実している	8.4	26.6	40.2	12.9	1.7	9.4	0.7
(37)暴力の防止と支援環境が充実	8.0	15.0	38.8	8.7	2.1	25.5	1.7
(38)交通の安全が確保されている	8.4	21.0	31.5	23.8	8.7	5.6	1.0
(39)商品等の品質等が確保されている	8.4	36.0	37.1	5.9	2.8	8.7	1.0
(40)商品等の苦情を処理するところがある	4.9	22.0	34.6	10.1	5.2	21.7	1.4
(41)基地等の問題対策が講じられている	4.2	9.8	24.8	24.1	18.2	17.1	1.7
(42)住環境が良好	9.1	38.5	32.9	10.8	2.1	5.2	1.4
(43)快適にインターネットにつながる	7.0	35.7	26.6	12.2	4.5	12.2	1.7
(44)安心して家庭で水が使える	35.7	45.8	8.7	4.5	1.0	2.1	2.1
(45)下水道が整備されている	30.1	46.5	10.1	3.8	1.7	5.9	1.7
(46)地域や社会をよくする活動ができる	5.9	17.5	46.5	7.0	1.7	19.2	2.1
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	6.6	17.1	40.9	12.9	2.8	18.2	1.4
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	6.3	25.5	35.7	12.6	4.5	14.0	1.4
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	5.9	22.4	37.8	15.4	5.9	10.5	2.1
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	4.2	11.5	39.9	17.8	7.3	17.5	1.7
(51)行政情報が住人に広報されている	4.5	14.7	39.2	16.1	8.4	15.7	1.4
(52)新事業・新産業が生み出されている	4.5	16.8	38.8	13.6	4.2	20.6	1.4
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	9.1	33.6	35.3	8.0	1.0	11.2	1.7
(54)元気な中小企業等が増えている	6.3	11.2	39.5	14.7	3.5	23.4	1.4
(55)すすめることができる地域の特産品がある	9.1	35.7	29.7	13.3	1.4	9.4	1.4
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	8.4	20.3	35.7	17.5	6.3	10.1	1.7
(57)職業紹介、訓練が充実している	5.6	12.9	40.2	16.4	4.2	19.2	1.4
(58)失業の不安がなく働ける	8.0	12.6	27.3	25.2	16.4	9.1	1.4
(59)収入が着実に増える	5.2	9.4	24.1	27.6	24.5	7.0	2.1
(60)近くで希望する仕事につける	8.4	16.1	29.7	22.0	13.3	8.7	1.7
(61)物価が安定している	5.2	10.8	35.3	27.3	13.6	5.9	1.7
(62)軍用跡地が有効に利用されている	5.6	15.4	32.9	17.5	9.4	17.8	1.4
(63)国際交流が盛ん	7.3	17.1	41.3	6.3	1.7	24.8	1.4
(64)外国人との交流が活発に行われる	6.3	23.8	35.7	7.0	2.8	23.1	1.4
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	6.3	17.8	37.8	7.7	2.1	26.9	1.4
(66)平和を願う心が継承、発信されている	10.1	25.9	33.9	10.1	3.1	15.4	1.4
(67)健全育成、教育環境がつけられている	5.2	20.6	40.6	13.6	3.1	15.4	1.4
(68)公平な教育機会が確保されている	5.9	12.9	38.1	17.8	6.3	17.1	1.7
(69)生涯学習する機会が得られている	5.6	18.2	40.9	12.6	4.9	16.1	1.7
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	4.9	15.4	36.0	20.3	6.3	15.7	1.4
(71)外国語教育が充実している	3.8	8.7	33.9	23.8	11.5	16.8	1.4
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	4.5	9.1	36.4	20.3	9.1	19.2	1.4
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	5.2	8.4	41.3	14.3	6.6	22.7	1.4
(74)地域づくりに取り組む人材育成	5.9	9.1	38.8	15.4	5.9	23.4	1.4

表 2-2-1 地域別 充足度比率 続き (%)【南部】

【南部】	非常に満たされている	ある程度満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	全く満たされていない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	12.5	39.9	28.1	12.8	1.8	5.0	0.0
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	9.6	31.7	34.2	13.5	2.8	7.8	0.4
(3)赤土流出、騒音、騒音、環境汚染などが少なくなる	11.4	23.1	32.4	20.6	5.3	7.1	0.0
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	11.4	28.8	34.2	14.6	2.5	8.5	0.0
(5)クリーンエネルギーが普及している	5.7	19.2	38.1	19.9	5.0	11.7	0.4
(6)沖縄文化が保全・継承されている	7.1	34.9	32.7	13.5	2.1	9.6	0.0
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	5.7	27.8	38.4	12.8	1.4	13.9	0.0
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	7.1	24.2	39.9	14.9	1.4	12.1	0.4
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	7.8	26.0	41.3	17.8	3.6	3.6	0.0
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	10.0	31.3	32.7	18.9	3.2	3.9	0.0
(11)公共交通機関が利用しやすい	8.2	24.6	27.0	26.0	11.4	2.5	0.4
(12)目的地まで円滑に移動できる	7.5	20.6	28.8	27.4	11.0	4.6	0.0
(13)離島と本島間の移動ができる	6.0	19.2	36.3	18.9	10.0	9.6	0.0
(14)生活に必要な施設がある	12.5	43.1	22.1	14.2	5.3	2.8	0.0
(15)地域の商店街に活力がある	4.6	18.1	38.4	22.8	7.5	8.5	0.0
(16)健康の維持や増進に努める	6.8	21.0	45.2	16.4	3.2	6.8	0.7
(17)スポーツにふれる機会が増える	5.3	18.9	44.8	17.4	4.6	8.5	0.4
(18)子供の育成環境が整っている	7.1	24.9	42.3	13.5	3.2	8.9	0.0
(19)学童保育所等が利用しやすい	7.8	18.9	36.7	14.9	8.9	12.8	0.0
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	7.8	12.8	37.7	21.7	7.1	12.8	0.0
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	10.0	21.7	37.0	15.7	2.5	13.2	0.0
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	6.0	14.9	44.8	10.0	2.5	21.4	0.4
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	7.5	16.0	38.8	20.6	6.0	10.3	0.7
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらす	8.2	25.6	38.1	14.9	3.6	8.9	0.7
(25)老後に不安のない年金が得られる	5.7	7.8	24.2	29.2	22.1	11.0	0.0
(26)障害者の社会参加が拡大している	5.3	10.0	37.7	22.1	6.8	18.1	0.0
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	6.4	14.2	38.1	15.3	6.4	19.6	0.0
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	5.3	18.1	41.3	17.4	10.3	7.5	0.0
(29)良質な医療が受けられる	7.5	33.5	32.0	15.3	3.2	8.2	0.4
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	6.8	32.7	31.0	12.5	3.2	13.9	0.0
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	6.8	29.2	36.3	14.2	1.4	12.1	0.0
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	7.1	19.9	33.5	23.8	7.5	8.2	0.0
(33)悩みを相談できる機関がある	4.6	12.1	41.3	17.8	3.6	20.6	0.0
(34)食の安全・安心が確保されている	7.5	38.1	35.6	9.6	1.8	7.5	0.0
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	8.2	38.4	30.6	12.5	2.5	7.8	0.0
(36)防災対策が充実している	6.8	26.3	37.4	16.0	2.8	10.0	0.7
(37)暴力の防止と支援環境が充実	8.5	15.7	38.8	6.0	1.8	29.2	0.0
(38)交通の安全が確保されている	6.8	24.6	40.9	14.6	4.6	8.2	0.4
(39)商品等の品質等が確保されている	8.9	34.9	38.4	6.0	0.7	11.0	0.0
(40)商品等の苦情を処理するところがある	5.7	13.5	40.2	12.1	3.2	25.3	0.0
(41)基地等の問題対策が講じられている	3.9	5.3	31.3	19.2	15.3	24.9	0.0
(42)住環境が良好	8.2	40.2	31.0	12.1	1.8	6.4	0.4
(43)快適にインターネットにつながる	8.5	30.2	30.2	10.3	3.9	16.0	0.7
(44)安心して家庭で水が使える	34.5	43.4	13.5	3.2	0.7	4.3	0.4
(45)下水道が整備されている	24.6	34.9	21.4	5.7	5.0	8.2	0.4
(46)地域や社会をよくする活動ができる	5.7	18.9	48.4	4.6	1.4	21.0	0.0
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	5.3	22.4	40.2	8.9	0.7	22.4	0.0
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	7.8	38.8	35.2	4.6	0.7	12.1	0.7
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	8.2	41.6	34.9	3.6	1.8	10.0	0.0
(50)住民の要望や意見等が十分に取り入れる	5.3	14.2	42.0	14.2	3.2	21.0	0.0
(51)行政情報が住人に広報されている	6.0	18.1	39.1	12.5	3.6	20.6	0.0
(52)新事業・新産業が生み出されている	5.0	18.9	38.4	10.7	2.8	24.2	0.0
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	6.8	37.7	34.2	7.5	0.7	12.5	0.7
(54)元気な中小企業等が増えている	4.6	12.5	43.1	13.2	1.8	24.9	0.0
(55)すすめることができる地域の特産品がある	8.5	36.7	33.8	5.7	1.4	13.2	0.7
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	9.6	23.5	35.2	13.9	3.9	13.9	0.0
(57)職業紹介、訓練が充実している	5.3	11.7	40.6	15.3	5.0	22.1	0.0
(58)失業の不安がなく働ける	6.4	16.0	31.0	25.3	10.0	11.4	0.0
(59)収入が着実に増える	4.6	10.7	26.7	29.9	18.5	9.3	0.4
(60)近くで希望する仕事につける	5.3	18.1	31.7	24.6	8.5	11.4	0.4
(61)物価が安定している	4.6	13.9	36.7	26.7	10.0	7.8	0.4
(62)軍用跡地が有効に利用されている	5.0	14.9	35.6	13.2	5.0	26.3	0.0
(63)国際交流が盛ん	4.3	21.0	34.9	7.1	2.1	30.6	0.0
(64)外国人との交流が活発に行われる	3.9	20.6	39.1	6.8	0.7	28.5	0.4
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	4.6	16.0	40.2	7.5	0.7	31.0	0.0
(66)平和を願う心が継承、発信されている	7.5	29.9	36.3	10.3	0.7	14.2	1.1
(67)健全育成、教育環境がつくられている	7.1	26.0	38.4	10.3	2.1	15.7	0.4
(68)公平な教育機会が確保されている	4.6	16.7	40.2	15.7	2.8	19.9	0.0
(69)生涯学習する機会が得られている	5.0	20.6	40.9	12.5	3.2	17.4	0.4
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	5.0	18.9	39.5	18.1	2.1	16.4	0.0
(71)外国語教育が充実している	3.9	9.3	32.7	25.3	7.5	21.4	0.0
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	4.6	9.6	40.2	19.9	5.3	20.3	0.0
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	5.3	7.8	42.0	17.8	2.5	24.6	0.0
(74)地域づくりに取り組む人材育成	4.6	8.9	41.3	17.1	2.8	25.3	0.0

表 2-2-1 地域別 充足度比率 続き (%)【宮古】

【宮古】	非常に満た されている	ある程度満 たされている	どちらとも いえない	あまり満たさ れていない	全く満たさ れていない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	18.6	34.5	25.7	14.2	3.5	3.5	0.0
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	11.5	27.4	37.2	14.2	4.4	5.3	0.0
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	10.6	25.7	32.7	15.9	4.4	10.6	0.0
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	9.7	23.9	27.4	20.4	5.3	13.3	0.0
(5)クリーンエネルギーが普及している	8.0	15.0	31.9	19.5	6.2	19.5	0.0
(6)沖縄文化が保全・継承されている	4.4	28.3	38.9	13.3	2.7	12.4	0.0
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	3.5	23.0	38.9	18.6	2.7	13.3	0.0
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	5.3	19.5	38.1	20.4	2.7	13.3	0.9
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	4.4	23.9	38.1	20.4	8.8	4.4	0.0
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	8.0	33.6	27.4	20.4	8.0	2.7	0.0
(11)公共交通機関が利用しやすい	5.3	25.7	25.7	21.2	14.2	7.1	0.9
(12)目的地まで円滑に移動できる	23.0	49.6	12.4	8.0	1.8	5.3	0.0
(13)離島と本島間の移動ができる	8.8	32.7	17.7	24.8	12.4	3.5	0.0
(14)生活に必要な施設がある	11.5	43.4	23.0	15.0	3.5	3.5	0.0
(15)地域の商店街に活力がある	3.5	15.9	38.1	26.5	11.5	4.4	0.0
(16)健康の維持や増進に努める	7.1	25.7	38.1	15.9	7.1	4.4	1.8
(17)スポーツにふれる機会が増える	4.4	17.7	37.2	18.6	11.5	9.7	0.9
(18)子供の育成環境が整っている	3.5	29.2	33.6	13.3	4.4	15.9	0.0
(19)学童保育所等が利用しやすい	6.2	21.2	36.3	15.0	3.5	17.7	0.0
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	5.3	15.9	31.9	22.1	4.4	20.4	0.0
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	7.1	25.7	27.4	14.2	4.4	21.2	0.0
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	5.3	10.6	44.2	10.6	2.7	23.9	2.7
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	4.4	22.1	34.5	19.5	5.3	13.3	0.9
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらせる	7.1	31.0	33.6	15.9	4.4	8.0	0.0
(25)老後に不安のない年金が得られる	8.0	9.7	23.0	26.5	22.1	10.6	0.0
(26)障害者の社会参加が拡大している	5.3	15.0	28.3	17.7	6.2	27.4	0.0
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	5.3	24.8	24.8	19.5	4.4	21.2	0.0
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	6.2	20.4	34.5	19.5	8.0	10.6	0.9
(29)良質な医療が受けられる	7.1	25.7	34.5	17.7	7.1	6.2	1.8
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	6.2	26.5	30.1	15.9	6.2	15.0	0.0
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	5.3	30.1	31.0	15.0	6.2	12.4	0.0
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	10.6	15.0	32.7	23.9	9.7	8.0	0.0
(33)悩みを相談できる機関等がある	6.2	12.4	34.5	22.1	8.8	15.9	0.0
(34)食の安全・安心が確保されている	11.5	27.4	39.8	7.1	2.7	11.5	0.0
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	12.4	38.1	29.2	9.7	2.7	8.0	0.0
(36)防災対策が充実している	7.1	28.3	38.9	17.7	3.5	4.4	0.0
(37)暴力の防止と支援環境が充実	6.2	14.2	31.9	14.2	3.5	30.1	0.0
(38)交通の安全が確保されている	6.2	21.2	40.7	16.8	7.1	8.0	0.0
(39)商品等の品質等が確保されている	8.0	28.3	37.2	11.5	1.8	13.3	0.0
(40)商品等の苦情を処理するところがある	2.7	15.0	31.9	17.7	3.5	28.3	0.9
(41)基地等の問題対策が講じられている	0.9	7.1	34.5	11.5	6.2	38.9	0.9
(42)住環境が良好	6.2	38.9	35.4	7.1	1.8	8.8	1.8
(43)快適にインターネットにつながる	3.5	22.1	26.5	16.8	5.3	23.9	1.8
(44)安心して家庭で水が使える	30.1	47.8	12.4	3.5	1.8	3.5	0.9
(45)下水道が整備されている	17.7	38.1	23.0	6.2	4.4	9.7	0.9
(46)地域や社会をよくする活動ができる	5.3	18.6	48.7	6.2	2.7	17.7	0.9
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	2.7	19.5	40.7	8.8	4.4	23.0	0.9
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	6.2	32.7	36.3	4.4	6.2	14.2	0.0
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	6.2	38.9	33.6	6.2	4.4	10.6	0.0
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	1.8	14.2	42.5	16.8	9.7	15.0	0.0
(51)行政情報が住人に広報されている	2.7	20.4	31.9	19.5	9.7	14.2	1.8
(52)新事業・新産業が生み出されている	2.7	11.5	41.6	9.7	5.3	28.3	0.9
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	4.4	36.3	36.3	5.3	3.5	13.3	0.9
(54)元気な中小企業等が増えている	3.5	11.5	39.8	12.4	5.3	26.5	0.9
(55)すすめることができる地域の特産品がある	3.5	42.5	31.9	7.1	2.7	12.4	0.0
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	5.3	23.9	44.2	12.4	5.3	8.0	0.9
(57)職業紹介、訓練が充実している	3.5	15.0	33.6	18.6	6.2	22.1	0.9
(58)失業の不安がなく働ける	3.5	8.0	44.2	22.1	10.6	10.6	0.9
(59)収入が着実に増える	3.5	8.0	34.5	28.3	18.6	6.2	0.9
(60)近くで希望する仕事につける	5.3	13.3	39.8	20.4	11.5	8.8	0.9
(61)物価が安定している	3.5	12.4	33.6	26.5	14.2	8.8	0.9
(62)軍用跡地が有効に利用されている	3.5	9.7	23.0	10.6	4.4	47.8	0.9
(63)国際交流が盛ん	2.7	8.0	32.7	5.3	1.8	47.8	1.8
(64)外国人との交流が活発に行われる	3.5	11.5	32.7	5.3	1.8	44.2	0.9
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	3.5	11.5	32.7	7.1	3.5	40.7	0.9
(66)平和を願う心が継承、発信されている	4.4	22.1	31.0	12.4	1.8	27.4	0.9
(67)健全育成、教育環境がつくられている	4.4	18.6	43.4	8.8	2.7	21.2	0.9
(68)公平な教育機会が確保されている	3.5	12.4	37.2	13.3	4.4	28.3	0.9
(69)生涯学習する機会が得られている	2.7	15.9	35.4	10.6	5.3	29.2	0.9
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	4.4	10.6	35.4	15.9	6.2	25.7	1.8
(71)外国語教育が充実している	3.5	5.3	34.5	19.5	7.1	29.2	0.9
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	2.7	8.0	40.7	11.5	7.1	29.2	0.9
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	2.7	6.2	44.2	11.5	5.3	28.3	1.8
(74)地域づくりに取り組む人材育成	2.7	6.2	41.6	12.4	5.3	31.0	0.9

表 2-2-1 地域別 充足度比率 続き (%)【八重山】

【八重山】	非常に満た されている	ある程度満 たされている	どちらとも いえない	あまり満たさ れていない	全く満たさ れていない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されている	23.7	36.6	24.7	8.6	0.0	5.4	1.1
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	17.2	25.8	31.2	11.8	1.1	11.8	1.1
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	14.0	19.4	29.0	26.9	2.2	7.5	1.1
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	12.9	19.4	33.3	21.5	2.2	9.7	1.1
(5)クリーンエネルギーが普及している	7.5	8.6	37.6	22.6	7.5	15.1	1.1
(6)沖縄文化が保全・継承されている	14.0	35.5	26.9	11.8	0.0	10.8	1.1
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加	9.7	28.0	33.3	12.9	1.1	14.0	1.1
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛ん	9.7	19.4	34.4	16.1	2.2	16.1	2.2
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	10.8	33.3	30.1	14.0	4.3	6.5	1.1
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	21.5	37.6	19.4	10.8	4.3	4.3	2.2
(11)公共交通機関が利用しやすい	11.8	24.7	33.3	17.2	7.5	3.2	2.2
(12)目的地まで円滑に移動できる	28.0	34.4	26.9	5.4	1.1	3.2	1.1
(13)離島と本島間の移動ができる	10.8	18.3	24.7	31.2	10.8	3.2	1.1
(14)生活に必要な施設がある	15.1	35.5	23.7	11.8	7.5	4.3	2.2
(15)地域の商店街に活力がある	10.8	19.4	34.4	19.4	9.7	5.4	1.1
(16)健康の維持や増進に努める	10.8	26.9	33.3	15.1	1.1	10.8	2.2
(17)スポーツにふれる機会が増える	8.6	21.5	38.7	11.8	5.4	12.9	1.1
(18)子供の育成環境が整っている	10.8	30.1	35.5	7.5	4.3	10.8	1.1
(19)学童保育所等が利用しやすい	8.6	23.7	29.0	14.0	6.5	16.1	2.2
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	7.5	14.0	34.4	14.0	11.8	17.2	1.1
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	9.7	29.0	29.0	8.6	4.3	18.3	1.1
(22)若いうちに結婚して家庭を持つ	7.5	17.2	45.2	7.5	2.2	19.4	1.1
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	11.8	20.4	35.5	14.0	4.3	11.8	2.2
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらせる	11.8	24.7	32.3	17.2	3.2	9.7	1.1
(25)老後に不安のない年金が得られる	8.6	7.5	23.7	24.7	22.6	11.8	1.1
(26)障害者の社会参加が拡大している	6.5	10.8	38.7	18.3	3.2	21.5	1.1
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	8.6	14.0	32.3	19.4	4.3	19.4	2.2
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	9.7	20.4	37.6	21.5	3.2	6.5	1.1
(29)良質な医療が受けられる	7.5	20.4	24.7	30.1	6.5	9.7	1.1
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	6.5	20.4	21.5	23.7	6.5	20.4	1.1
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	10.8	30.1	28.0	11.8	5.4	12.9	1.1
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	7.5	15.1	26.9	22.6	12.9	14.0	1.1
(33)悩みを相談できる機関がある	7.5	18.3	24.7	19.4	5.4	23.7	1.1
(34)食の安全・安心が確保されている	14.0	37.6	31.2	6.5	0.0	9.7	1.1
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	18.3	34.4	34.4	8.6	0.0	3.2	1.1
(36)防災対策が充実している	7.5	33.3	33.3	17.2	3.2	4.3	1.1
(37)暴力の防止と支援環境が充実	8.6	8.6	37.6	9.7	1.1	33.3	1.1
(38)交通の安全が確保されている	11.8	21.5	32.3	19.4	6.5	7.5	1.1
(39)商品等の品質等が確保されている	9.7	31.2	35.5	7.5	1.1	14.0	1.1
(40)商品等の苦情を処理するところがある	6.5	8.6	35.5	14.0	5.4	29.0	1.1
(41)基地等の問題対策が講じられている	6.5	7.5	31.2	5.4	8.6	38.7	2.2
(42)住環境が良好	15.1	53.8	18.3	5.4	1.1	5.4	1.1
(43)快適にインターネットにつながる	11.8	29.0	19.4	18.3	4.3	16.1	1.1
(44)安心して家庭で水が使える	39.8	45.2	8.6	4.3	0.0	1.1	1.1
(45)下水道が整備されている	18.3	32.3	25.8	7.5	5.4	7.5	3.2
(46)地域や社会をよくする活動ができる	7.5	18.3	38.7	14.0	1.1	19.4	1.1
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	7.5	18.3	38.7	10.8	3.2	20.4	1.1
(48)盆踊り等地域行事が盛ん	12.9	31.2	33.3	5.4	3.2	12.9	1.1
(49)集会場や公民館が近く利用しやすい	10.8	30.1	34.4	8.6	3.2	11.8	1.1
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	8.6	8.6	38.7	19.4	5.4	18.3	1.1
(51)行政情報が住人に広報されている	7.5	11.8	33.3	20.4	8.6	17.2	1.1
(52)新事業・新産業が生み出されている	8.6	16.1	35.5	9.7	4.3	24.7	1.1
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	11.8	33.3	33.3	6.5	1.1	11.8	2.2
(54)元気な中小企業等が増えている	8.6	11.8	33.3	16.1	3.2	25.8	1.1
(55)すすめることができる地域の特産品がある	18.3	33.3	22.6	10.8	2.2	11.8	1.1
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	9.7	30.1	29.0	11.8	7.5	10.8	1.1
(57)職業紹介、訓練が充実している	6.5	14.0	33.3	16.1	9.7	19.4	1.1
(58)失業の不安がなく働ける	7.5	19.4	23.7	20.4	10.8	16.1	2.2
(59)収入が着実に増える	6.5	11.8	19.4	23.7	25.8	10.8	2.2
(60)近くで希望する仕事につける	10.8	17.2	32.3	9.7	14.0	14.0	2.2
(61)物価が安定している	8.6	10.8	34.4	20.4	15.1	9.7	1.1
(62)軍用跡地が有効に利用されている	6.5	7.5	28.0	10.8	1.1	45.2	1.1
(63)国際交流が盛ん	8.6	14.0	29.0	5.4	1.1	40.9	1.1
(64)外国人との交流が活発に行われる	7.5	19.4	30.1	4.3	0.0	37.6	1.1
(65)国際協力・貢献活動が盛ん	7.5	14.0	31.2	6.5	1.1	38.7	1.1
(66)平和を願う心が継承、発信されている	12.9	25.8	33.3	9.7	0.0	17.2	1.1
(67)健全育成、教育環境がつけられている	10.8	16.1	34.4	14.0	2.2	21.5	1.1
(68)公平な教育機会が確保されている	7.5	11.8	32.3	16.1	8.6	22.6	1.1
(69)生涯学習する機会が得られている	8.6	21.5	25.8	20.4	4.3	18.3	1.1
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	5.4	16.1	24.7	21.5	9.7	21.5	1.1
(71)外国語教育が充実している	5.4	6.5	24.7	24.7	12.9	24.7	1.1
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	6.5	7.5	31.2	23.7	8.6	21.5	1.1
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	6.5	7.5	32.3	17.2	8.6	26.9	1.1
(74)地域づくりに取り組む人材育成	7.5	5.4	30.1	17.2	9.7	29.0	1.1

3. 施策達成度（「重要度」－「充足度」）の測定（問3、問4）

重要度と充足度の差を比較・検討することによって、県民の要望の達成度ないし政策の達成度を捉え、将来に向けての政策の方向性を探ることができると考えられる。

同一の項目についての重要度と充足度の差は、日々の暮らしにおいて、重要であると思われていることがどの程度まで実現されているかを示し、その乖離度が小さいほど実現されている度合いが高いと考えられる。ここでは、今回の調査で重要度が80%以上の56項目を選び、「重要度」－「充足度」を算出した。なお、重要度については「非常に重要である」と「ある程度重要である」を合計した数値を、そして、充足度については「非常に満たされている」と「ある程度満たされている」の合計値を用いる。

(1) 重要度と充足度の差

重要度と充足度の差が大きい10項目は、「(25) 老後に不安のない年金が得られる」(79.8)、「(59) 収入が着実に増える」(77.6)、「(61) 物価が安定している」(73.8)、「(23) 少年の非行や犯罪が少なくなる」(72.1)、「(26) 障害者の社会参加が拡大している」(71.2)、「(58) 失業の不安がなく働ける」(71.2)、「(20) 仕事と生活が両立しやすい環境」(69.5)、「(27) 介護サービスが充実し利用しやすい」(69.0)、「(73) 沖縄の産業発展を担う人材育成」(68.8)、「(72) 優れた能力や感性を育む教育環境の充実」(68.3)の順となっている。

他方、重要度と充足度の差が小さい10項目は、「(44) 安心して家庭で水が使える」(16.0)、「(45) 下水道が整備されている」(24.2)、「(14) 生活に必要な施設がある」(33.9)、「(53) 県産食材を購入（消費）する機会が増える」(37.4)、「(1) 豊かな自然が保全されている」(38.8)、「(42) 住環境が良好」(42.4)、「(10) 公園や親しめる自然などがまわりにある」(42.8)、「(6) 沖縄文化が保全・継承されている」(44.3)、「(2) 自然環境の保全と利用のバランスが取れる」(45.7)、「(39) 商品等の品質等が確保されている」(47.3)の順となっている。

表 2-3-1 H27「重要度」－「充足度」(%)

	非常に重要 である	ある程度 重要である	重要度	非常に満た されている	ある程度満 たされている	充足度	差
(25)老後に不安のない年金が得られる	80.2	15.2	95.4	7.3	8.3	15.6	79.8
(59)収入が着実に増える	68.0	23.9	91.9	4.7	9.5	14.3	77.6
(61)物価が安定している	65.5	26.4	91.9	5.2	13.0	18.1	73.8
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	73.7	21.1	94.8	7.7	14.9	22.7	72.1
(26)障害者の社会参加が拡大している	53.8	35.1	88.9	6.2	11.5	17.7	71.2
(58)失業の不安がなく働ける	68.0	22.8	90.7	6.8	12.7	19.5	71.2
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	67.4	24.1	91.5	7.6	14.4	22.0	69.5
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	62.7	29.2	91.9	7.5	15.5	22.9	69.0
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	45.9	38.5	84.4	5.0	10.6	15.6	68.8
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	46.5	38.0	84.5	5.1	11.2	16.2	68.3
(74)地域づくりに取り組む人材育成	41.6	40.5	82.1	4.9	10.4	15.4	66.7
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	73.7	21.2	94.9	8.8	19.5	28.3	66.6
(68)公平な教育機会が確保されている	60.1	28.6	88.7	5.3	17.8	23.1	65.6
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	53.5	34.6	88.2	5.3	18.1	23.4	64.8
(67)健全育成、教育環境がつけられている	67.4	25.5	92.9	6.6	22.7	29.2	63.7
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	56.7	32.7	89.4	6.7	19.1	25.8	63.6
(57)職業紹介、訓練が充実している	46.3	36.4	82.7	5.5	14.1	19.5	63.2
(37)暴力の防止と支援環境が充実	56.3	30.6	86.9	7.6	16.2	23.8	63.1
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらせる	64.8	29.4	94.2	8.4	22.7	31.2	63.0
(54)元気な中小企業等が増えている	42.4	37.7	80.2	4.8	12.7	17.5	62.7
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	39.5	42.7	82.2	5.1	15.2	20.3	61.9
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	61.9	29.3	91.2	10.0	20.1	30.1	61.1
(60)近くで希望する仕事につける	50.7	32.9	83.6	6.3	16.3	22.6	61.0
(38)交通の安全が確保されている	65.8	27.8	93.7	7.7	25.3	33.0	60.7
(40)商品等の苦情を処理するところがある	41.7	40.2	82.0	4.8	16.5	21.3	60.7
(51)行政情報が住人に広報されている	40.1	41.5	81.6	5.1	17.4	22.5	59.1
(62)軍用跡地が有効に利用されている	48.3	31.8	80.1	4.8	16.2	21.0	59.1
(36)防災対策が充実している	66.9	27.0	94.0	7.8	27.3	35.1	58.9
(19)学童保育所等が利用しやすい	61.6	25.7	87.3	8.9	20.7	29.7	57.6
(69)生涯学習する機会が得られている	45.1	38.3	83.4	5.4	21.5	26.9	56.5
(12)目的地まで円滑に移動できる	50.6	35.7	86.3	9.3	20.7	29.9	56.4
(18)子供の育成環境が整っている	66.8	23.1	89.8	8.2	25.3	33.5	56.3
(15)地域の商店街に活力がある	38.3	42.4	80.7	6.5	18.2	24.7	56.0
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	57.8	30.3	88.1	8.4	23.8	32.1	56.0
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	74.4	21.9	96.3	9.6	31.5	41.1	55.2
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	55.5	32.2	87.7	9.0	24.9	33.9	53.8
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	38.5	42.8	81.3	6.5	21.3	27.8	53.5
(16)健康の維持や増進に努める	49.1	39.2	88.3	8.5	26.5	34.9	53.4
(29)良質な医療が受けられる	72.3	23.9	96.2	9.5	33.9	43.4	52.8
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	58.4	34.9	93.3	9.8	31.4	41.2	52.1
(66)平和を願う心が継承、発信されている	61.4	26.3	87.7	8.7	27.9	36.6	51.1
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	79.1	17.4	96.5	9.4	36.5	45.9	50.6
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	42.9	42.4	85.3	7.5	27.9	35.4	49.9
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	53.7	34.2	87.9	10.7	27.4	38.1	49.8
(11)公共交通機関が利用しやすい	52.6	35.7	88.3	9.2	29.3	38.6	49.7
(34)食の安全・安心が確保されている	66.0	27.8	93.8	9.6	36.0	45.6	48.2
(39)商品等の品質等が確保されている	60.9	30.7	91.6	8.5	35.8	44.3	47.3
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	41.3	42.0	83.4	9.8	27.9	37.7	45.7
(6)沖縄文化が保全・継承されている	45.8	39.3	85.2	9.2	31.7	40.9	44.3
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	48.9	40.2	89.1	11.0	35.3	46.3	42.8
(42)住環境が良好	59.9	32.9	92.9	8.9	41.7	50.5	42.4
(1)豊かな自然が保全されている	42.1	44.3	86.4	12.0	35.6	47.6	38.8
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	38.1	43.2	81.2	7.3	36.4	43.8	37.4
(14)生活に必要な施設がある	53.6	38.5	92.0	13.9	44.3	58.1	33.9
(45)下水道が整備されている	67.4	24.9	92.4	27.0	41.2	68.2	24.2
(44)安心して家庭で水が使える	79.2	17.1	96.3	34.8	45.5	80.3	16.0

(2) 重要度と充足度の差の変化

重要度と充足度の差を、今回の質問項目をベースにして前回の項目を対応させ、今回（H27）と前回（H24）の数値を比較してみる。重要度と充足度の差が小さくなっていれば、期待と現実との乖離が縮小していることを表し、その項目は改善されたと判断できる。したがって、前回は基準として今回との差がプラスであればその項目は改善され、マイナスであれば悪化したと解釈できる。また、変化の大きさは値の絶対値によって判断できる。

まず、前回と比較して、今回、重要度と充足度の差が縮小した項目、すなわち改善されたと考えられる項目を見てみる（設問の番号は今回調査に準拠している）。1位には「(1) 豊かな自然が保全されている」(+7.3)、以下、「(4) 廃棄物の適正処理、減量化等が活発」(+6.9)、「(36) 防災対策が充実している」(+6.5)、「(58) 失業の不安がなく働ける」(+6.0)、「(35) 犯罪がない安心なくらしの確保」(+5.8)、「(66) 平和を願う心が継承、発信されている」(+5.3)、「(10) 公園や親しめる自然などがまわりにある」(+5.1)、「(23) 少年の非行や犯罪が少なくなる」(+4.4)、「(38) 交通の安全が確保されている」(+4.4)の順となっている。総じて特定の分野に偏ることなく、広い分野の項目があげられている。なお、変化値自体は前回と比べ小さくなっているが、これは質問項目の変更が前回より少なかったためと考えられる。

次に、重要度と充足度の差が拡大した項目、すなわち悪化したと考えられる項目は「(12) 目的地まで円滑に移動できる」(-20.0)が突出して大きくなっている。この項目は今回、「渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること」として聞いており、前回にはなかった冒頭の「渋滞には巻き込まれずに」が付加されたことも大きく影響しているのであろう。以下、「(16) 健康の維持や増進に努める」(-4.4)、「(20) 仕事と生活が両立しやすい環境」(-3.3)、「(74) 地域づくりに取り組む人材育成」(-3.3)、「(11) 公共交通機関が利用しやすい」(-2.8)、「(73) 沖縄の産業発展を担う人材育成」(-1.5)、「(72) 優れた能力や感性を育む教育環境の充実」(-1.3)の順となっている。改善項目と同様、特定の分野に偏ることなく、広い分野の項目があげられている。

表 2-3-2 時系列 重要度比率・充足度比率 (%)

項目	年	平成27年度			平成24年度			差の変化 b-a
		重要度①	充足度②	①-②=a	重要度③	充足度④	③-④=b	
(1)豊かな自然が保全されている		86.4	47.6	38.8	85.1	39.0	46.1	7.3
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発		87.9	38.1	49.8	84.9	28.2	56.7	6.9
(36)防災対策が充実している		94.0	35.1	58.9	92.1	26.7	65.4	6.5
(58)失業の不安がなく働ける		90.7	19.5	71.2	90.2	13.0	77.2	6.0
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保		96.5	45.9	50.6	95.0	38.6	56.4	5.8
(66)平和を願う心が継承、発信されている		87.7	36.6	51.1	82.6	26.2	56.4	5.3
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある		89.1	46.3	42.8	87.5	39.6	47.9	5.1
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる		94.8	22.7	72.1	94.7	18.2	76.5	4.4
(38)交通の安全が確保されている		93.7	33.0	60.7	91.7	26.6	65.1	4.4
(29)良質な医療が受けられる		96.2	43.4	52.8	94.3	37.2	57.1	4.3
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる		91.2	30.1	61.1	89.5	24.2	65.3	4.2
(30)救急患者が適切な治療を受けられる		96.3	41.1	55.2	95.5	36.1	59.4	4.2
(56)適職、やりがいのある仕事ができる		88.1	32.1	56.0	85.9	25.8	60.1	4.1
(42)住環境が良好		92.9	50.5	42.4	91.5	45.3	46.2	3.8
(26)障害者の社会参加が拡大している		88.9	17.7	71.2	89.2	14.2	75.0	3.8
(32)費用の心配なく、医療を受けられる		94.9	28.3	66.6	93.8	23.7	70.1	3.5
(67)健全育成、教育環境がつけられている		92.9	29.2	63.7	89.8	23.0	66.8	3.1
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらす		94.2	31.2	63.0	93.9	28.1	65.8	2.8
(62)軍用跡地が有効に利用されている		80.1	21.0	59.1	75.2	13.3	61.9	2.8
(39)商品等の品質等が確保されている		91.6	44.3	47.3	89.2	39.1	50.1	2.8
(40)商品等の苦情を処理するところがある		82.0	21.3	60.7	83.7	20.3	63.4	2.7
(59)収入が着実に増える		91.9	14.3	77.6	90.1	10.0	80.1	2.5
(45)下水道が整備されている		92.4	68.2	24.2	92.0	65.3	26.7	2.5
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える		81.2	43.8	37.4	77.1	37.2	39.9	2.5
(60)近くで希望する仕事につける		83.6	22.6	61.0	81.2	17.9	63.3	2.3
(69)生涯学習する機会が得られている		83.4	26.9	56.5	80.3	21.5	58.8	2.3
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい		85.3	35.4	49.9	82.7	30.8	51.9	2.0
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない		89.4	25.8	63.6	88.1	22.5	65.6	2.0
(68)公平な教育機会が確保されている		88.7	23.1	65.6	85.3	18.0	67.3	1.7
(44)安心して家庭で水が使える		96.3	80.3	16.0	96.5	78.8	17.7	1.7
(34)食の安全・安心が確保されている		93.8	45.6	48.2	91.4	41.9	49.5	1.3
(25)老後に不安のない年金が得られる		95.4	15.6	79.8	94.7	13.6	81.1	1.3
(50)住民の要望や意見を十分に取り入れる		82.2	20.3	61.9	80.8	17.6	63.2	1.3
(61)物価が安定している		91.9	18.1	73.8	91.3	16.5	74.8	1.0
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境		88.2	23.4	64.8	84.5	18.7	65.8	1.0
(37)暴力の防止と支援環境が充実		86.9	23.8	63.1	84.0	19.9	64.1	1.0
(6)沖縄文化が保全・継承されている		85.2	40.9	44.3	82.7	37.8	44.9	0.6
(18)子供の育成環境が整っている		89.8	33.5	56.3	86.8	29.9	56.9	0.6
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい		93.3	41.2	52.1	91.2	38.6	52.6	0.5
(54)元気な中小企業等が増えている		80.2	17.5	62.7	77.7	14.7	63.0	0.3
(51)行政情報が住人に広報されている		81.6	22.5	59.1	77.7	18.4	59.3	0.2
(57)職業紹介、訓練が充実している		82.7	19.5	63.2	81.2	18.0	63.2	0.0
(14)生活に必要な施設がある		92.0	58.1	33.9	90.4	56.6	33.8	-0.1
(19)学童保育所等が利用しやすい		87.3	29.7	57.6	84.4	27.0	57.4	-0.2
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ		87.7	33.9	53.8	84.3	30.7	53.6	-0.2
(47)女性の社会活動参加、能力発揮		81.3	27.8	53.5	76.0	23.2	52.8	-0.7
(27)介護サービスが充実し利用しやすい		91.9	22.9	69.0	90.5	22.3	68.2	-0.8
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実		84.5	16.2	68.3	80.3	13.3	67.0	-1.3
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成		84.4	15.6	68.8	80.1	12.8	67.3	-1.5
(11)公共交通機関が利用しやすい		88.3	38.6	49.7	85.6	38.7	46.9	-2.8
(74)地域づくりに取り組む人材育成		82.1	15.4	66.7	77.4	14.0	63.4	-3.3
(20)仕事と生活が両立しやすい環境		91.5	22.0	69.5	85.1	18.9	66.2	-3.3
(16)健康の維持や増進に努める		88.3	34.9	53.4	86.2	37.2	49.0	-4.4
(12)目的地まで円滑に移動できる		86.3	29.9	56.4	84.8	48.4	36.4	-20.0
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる		83.4	37.7	45.7	*	*	*	*
(15)地域の商店街に活力がある		80.7	24.7	56.0	*	*	*	*

第3章 生活領域の政策課題

第3章 生活領域の政策課題

県民ニーズは、身近な生活に直接結びつく基礎的な生活環境の整備はもとより、より多様で高次な問題にも向けられている。

本章においては、生活領域別の政策優先度、生活価値観の選択及び生活状態（くらしむぎ）等に対する県民の意識について見ていく。

1. 生活領域別の政策優先度（問5）

本設問では、県や国、市町村に力を入れてほしい政策課題を10の選択肢として挙げ、順位を付けて3つ選んでもらった。

政策課題	内容
医療と保健	医療の確保や健康増進などを図ること
教育・文化・国際交流	教育文化施設の整備、教育内容の充実、文化遺産の保護、文化・国際交流の振興
労働・雇用	安定した雇用ややりがいのある職場などを確保すること
生活環境	住宅の確保と質的向上、ゴミ、下水処理、緑化など居住環境の向上、公害・災害の減少を図ること
男女共同参画	男女が性別にかかわらず互いに尊重しあい、ともに社会的利益を享受し、責任を分担すること
安全と個人の保護	犯罪、交通事故、災害などのない安全なくらしをめざすこと
収入と消費生活	収入の着実な増加、物価の安定、商品の安全性の確保を図ること
休暇と余暇	休暇制度の充実、余暇施設（公園、運動施設など）やサービスの整備・充実を図ること
社会福祉	高齢者や子供、体の不自由な人などが安心してくらしをさせること
地域活動	地域の人々のつながりを強めること

(1) 順位別に見た政策優先度

1番目に挙げられたものとしては、「医療と保健」（27.8%）が最も多く、次いで「収入と消費生活」（23.7%）、「労働・雇用」（20.8%）となっている。他の選択肢は一桁の数値であり、以上の3つで全体の72.2%と大きな割合を占めている。

2番目に挙げられたものとしては、「労働・雇用」（19.1%）が最も多く、次いで「収入と消費生活」（18.9%）、「医療と保健」（15.1%）、「社会福祉」（12.2%）、「安全と個人の保護」（10.9%）となっている。

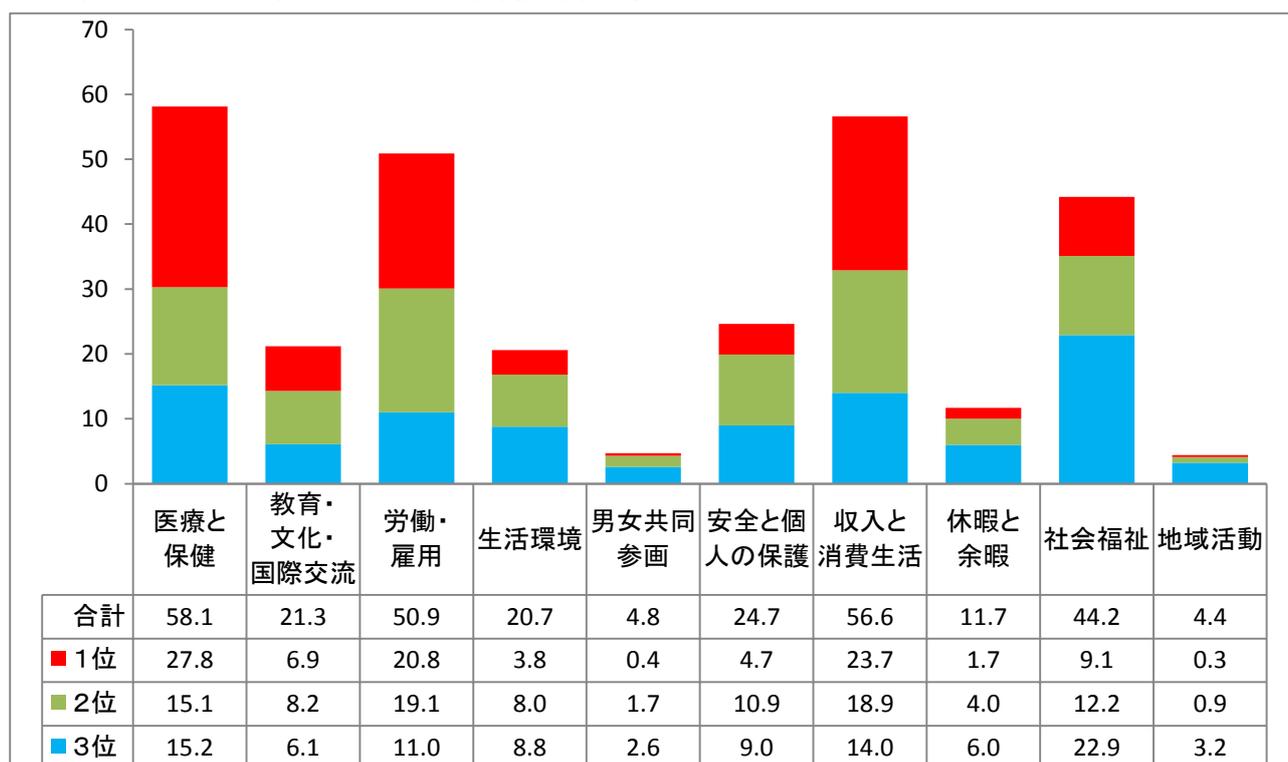
また、3番目に挙げられたものとしては、「社会福祉」（22.9%）が最も多く、次いで「医療と保健」（15.2%）、「収入と消費生活」（14.0%）、「労働・雇用」（11.0%）、「安全と個人の保護」（9.0%）となっている。

1番目から3番目までの比率の合計値で見ると、「医療と保健」（58.1%）が最も要望が高く、「収入と消費生活」（56.6%）がそれに次いでいる。以下、「労働・雇用」

(50.9%)、「社会福祉」(44.2%)となっている。「安全と個人の保護」(24.7%)、「教育・文化・国際交流」(21.3%)、「生活環境」(20.7%)も2割強の要望がある。

前回の調査結果と比較してみると、「医療と保健」「収入と消費生活」「労働・雇用」の3領域に要望が多く集まっている傾向に変わりはないが、「労働・雇用」への要望は1番目に挙げた人の比率及び合計値共に前回より低下している。また、これら上位3領域に続いて4位に「社会福祉」が挙げられているのも前回から変わらない。

図 3-1-1 生活領域別の政策優先度比率 (%)

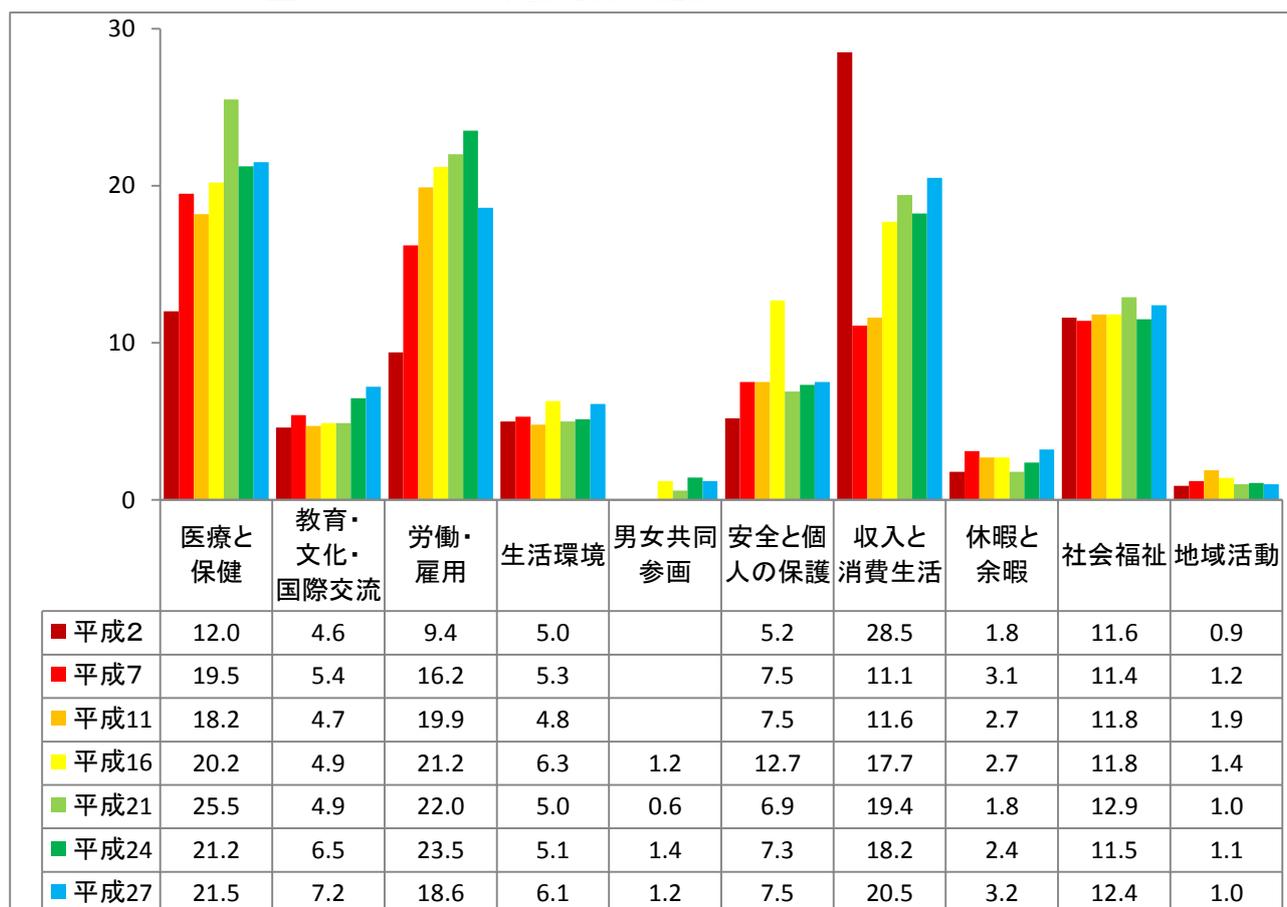


(2) 生活領域別の政策優先度の推移

1番目に3点、2番目に2点、3番目に1点の得点(ウエイト)を付け、各領域の加重平均を求めてみた。その結果、「医療と保健」(21.5)が最も高く、次いで「収入と消費生活」(20.5)、「労働・雇用」(18.6)、「社会福祉」(12.4)、「安全と個人の保護」(7.5)、「教育・文化・国際交流」(7.2)等の順であった。前回の調査と比較すると、前回は、上位から「労働・雇用」(23.5)、「医療と保健」(21.2)、「収入と消費生活」(18.2)、「社会福祉」(11.5)の順であった。前回1位の「労働・雇用」が、今回は18.6と加重平均の数値も4.9下がり、順位も3位に下げた。

平成2年以降の長期トレンドを見てみると、「医療と保健」では、平成2年の12.0から平成27年の21.5へ、「労働・雇用」では9.4から18.6へ、共に大きく上昇している。一方、「収入と消費生活」では28.5から20.5へと大幅に減少している。他の領域では、ほとんど変わっていない。

図 3-1-2 加重平均で見た政策優先度の推移



(3) 地域別で見た政策優先度

1位に3点、2位に2点、3位に1点というようにウエイト付けをして、地域ごとの加重平均を出してみると、「医療と保健」については、どの地域でも高いが、八重山（26.5）と宮古（24.5）の数値が他の地域より高くなっている。一方、「労働・雇用」では、八重山（12.7）と宮古（14.9）が他の地域より低くなっている。「収入と消費生活」については、全体として20.5であるが、地域による差はほとんど見られない。「社会福祉」では宮古の数値が高く、「生活環境」については八重山の数値が高くなっている。

次に、上位3位までの比率の合計値で見ると、宮古と八重山地域に特徴が表れた領域が目立った。まず、「医療と保健」（58.1%）については、宮古（66.7%）と八重山（74.5%）の比率が特に高く、加重平均と同様の結果となっている。「労働・雇用」（50.9%）については、北部（55.9%）、中部（52.4%）、那覇市（53.5%）で50%を超えるが、八重山（34.0%）、宮古（42.1%）で低くなっている。「生活環境」（20.7%）については宮古（28.1%）と八重山（36.2%）の数値が高くなっている。

この他では、「収入と消費生活」（56.6%）については八重山（63.8%）が、「社会福祉」（44.2%）については宮古（52.6%）が、「教育・文化・国際交流」（21.3%）については、那覇市（26.6%）が他の地域よりも高い状況である。

図 3-1-3 地域別 加重平均で見た政策優先度

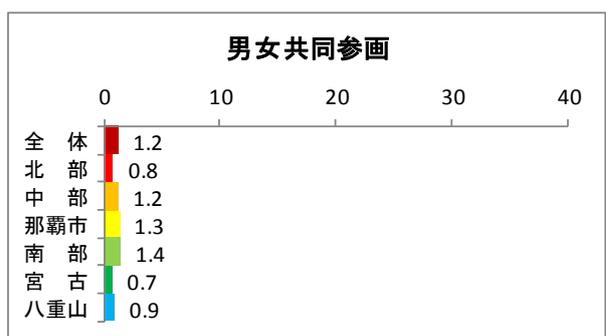
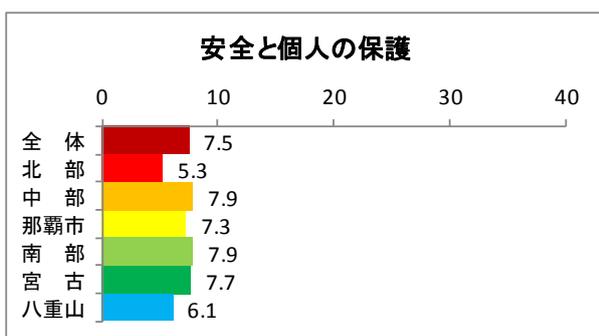
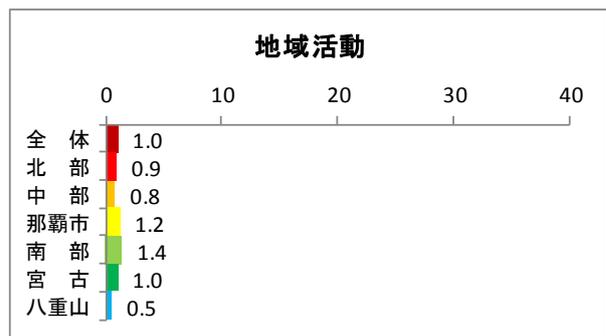
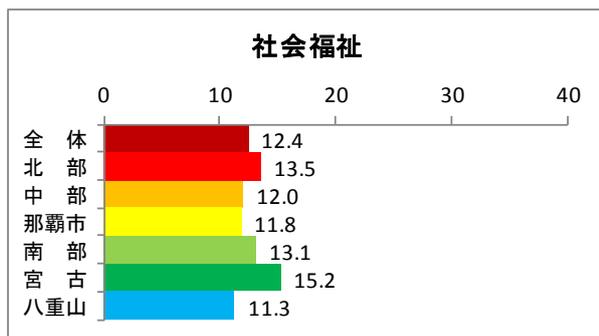
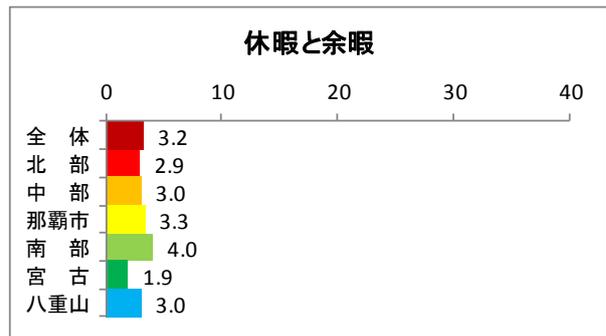
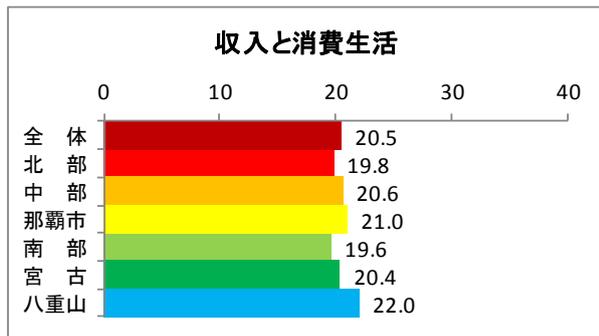
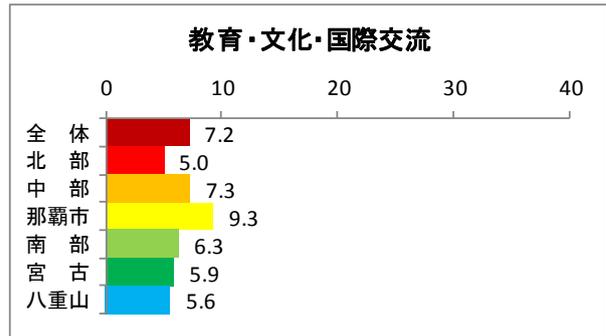
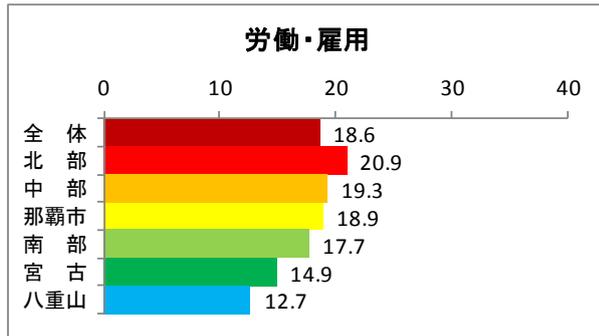
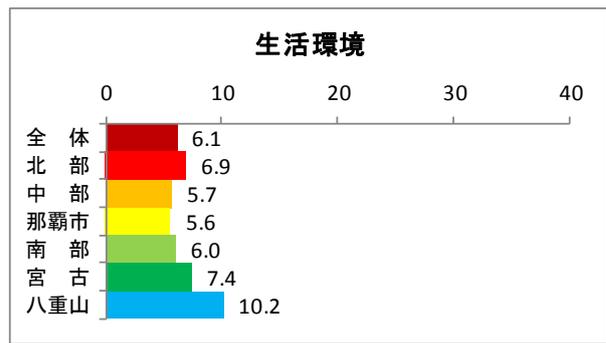
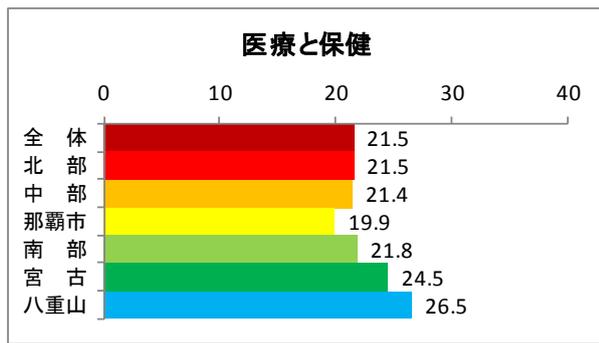


表 3-1-1 地域別 上位 3 位までの合計比率で見た政策優先度 (%)

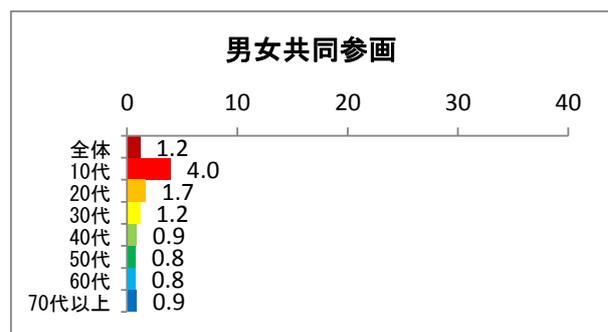
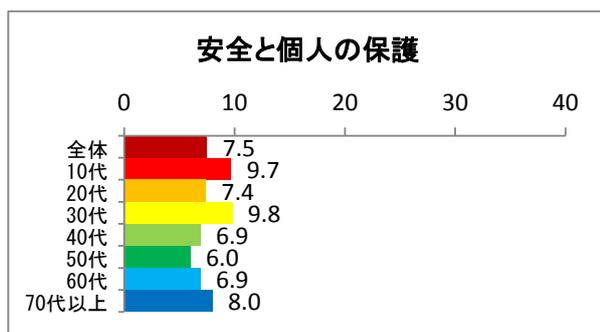
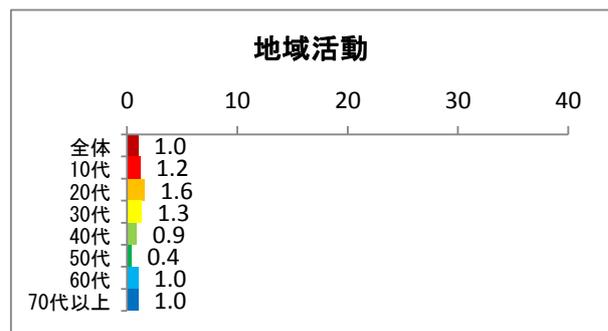
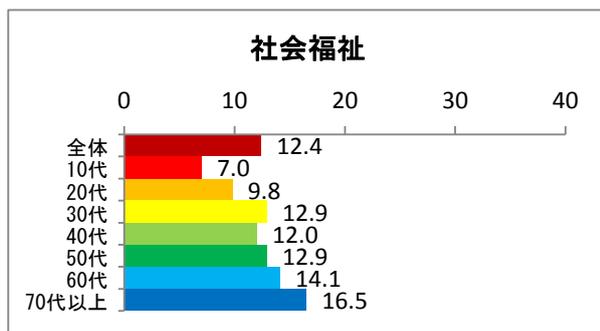
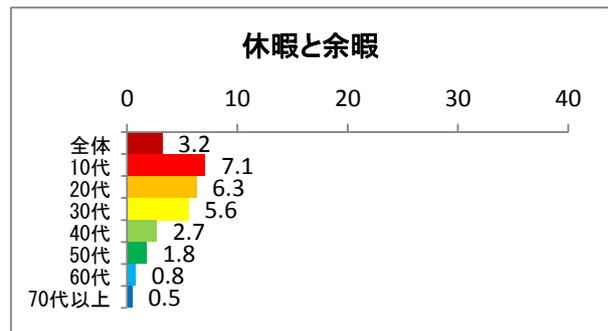
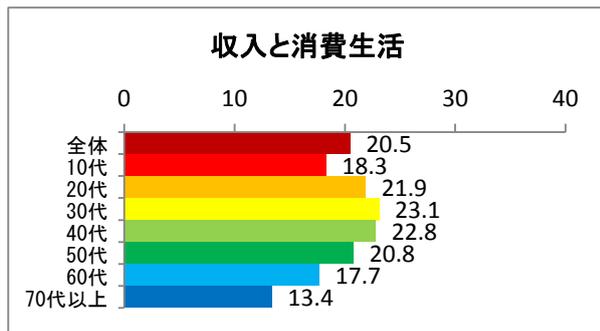
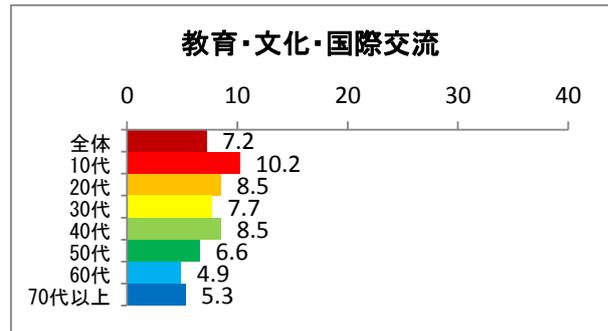
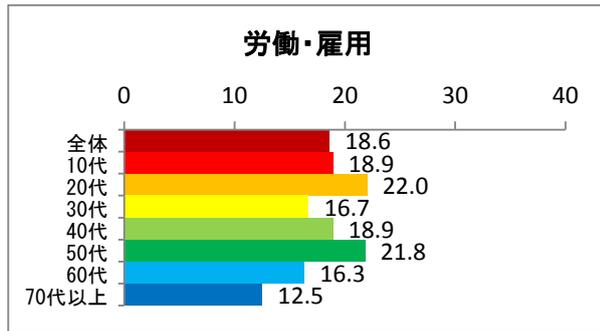
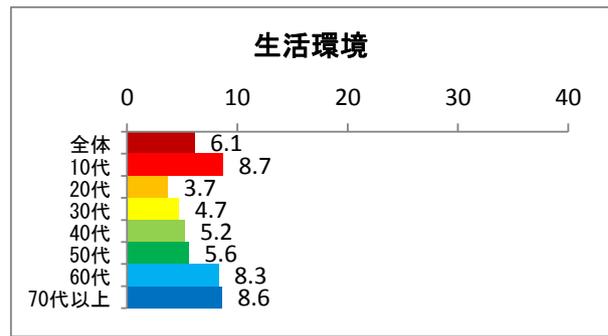
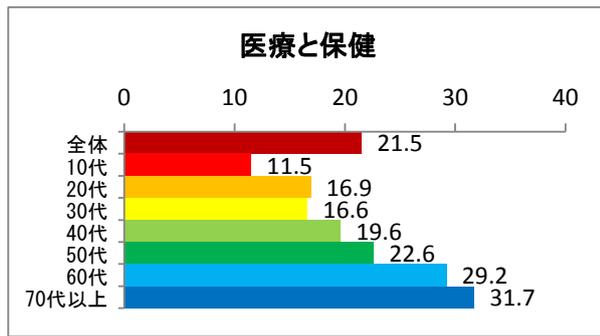
地 域	県や国、市町村に力をいれてほしいもの(上位3位までの比率の合計値)									
	医療と保健	教育・文化・国際交流	労働・雇用	生活環境	男女共同参画	安全と個人の保護	収入と消費生活	休暇と余暇	社会福祉	地域活動
全 体	58.1	21.3	50.9	20.7	4.8	24.7	56.6	11.7	44.2	4.4
北 部	57.7	16.2	55.9	21.6	2.7	17.1	56.8	11.7	48.6	3.6
中 部	58.7	21.4	52.4	19.6	4.9	26.1	56.6	10.9	43.4	3.4
那覇市	53.1	26.6	53.5	18.2	5.9	25.2	55.9	11.9	42.7	5.6
南 部	57.7	19.2	48.0	21.7	4.6	24.9	55.9	13.9	45.2	6.0
宮 古	66.7	19.3	42.1	28.1	3.5	26.3	56.1	8.8	52.6	5.3
八重山	74.5	17.0	34.0	36.2	6.4	21.3	63.8	12.8	38.3	4.3

(4) 年代別で見た政策優先度

年代別加重平均で政策優先度を見ると、「医療と保健」および「社会福祉」の領域では概して年代が上がるほど優先度が高くなっている。また、「労働・雇用」では、20代と50代で高く、「収入と消費生活」については、20代から50代までの数値が高くなっている。さらに、「教育・文化・国際交流」や「休暇と余暇」の領域では、若い世代のほうが数値が高い。

「医療と保健」については、10代(11.5)で最も低く、20代(16.9)、30代(16.6)、40代(19.6)、50代(22.6)、60代(29.2)、70代以上(31.7)と、年代が上がるほど増加する傾向にある。同様に「社会福祉」については、10代(7.0)で最も低く、20代(9.8)、30代(12.9)、40代(12.0)、50代(12.9)、60代(14.1)、70代以上(16.5)と、年代が上がるほど増加する傾向にある。次に、「収入と消費生活」については、30代(23.1)が最も高く、40代(22.8)、20代(21.9)、50代(20.8)と20代から50代で高くなっている。「労働・雇用」については、20代(22.0)が最も高く、次いで50代(21.8)が僅差で続く。以下、10代、40代(共に18.9)の順となっている。一方、30代(16.7)、60代(16.3)と70代以上(12.5)では数値が低い。また、「教育・文化・国際交流」については、50代以上が県全体(7.2)より低いのに対し、40代以下(7.7~10.2)で高くなっており、若い世代のほうがこの分野への期待が大きくなっている。「安全と個人の保護」は10代(9.7)と30代(9.8)で他の年代より高くなっている。「男女共同参画」は10代(4.0)が最も高くなっている。

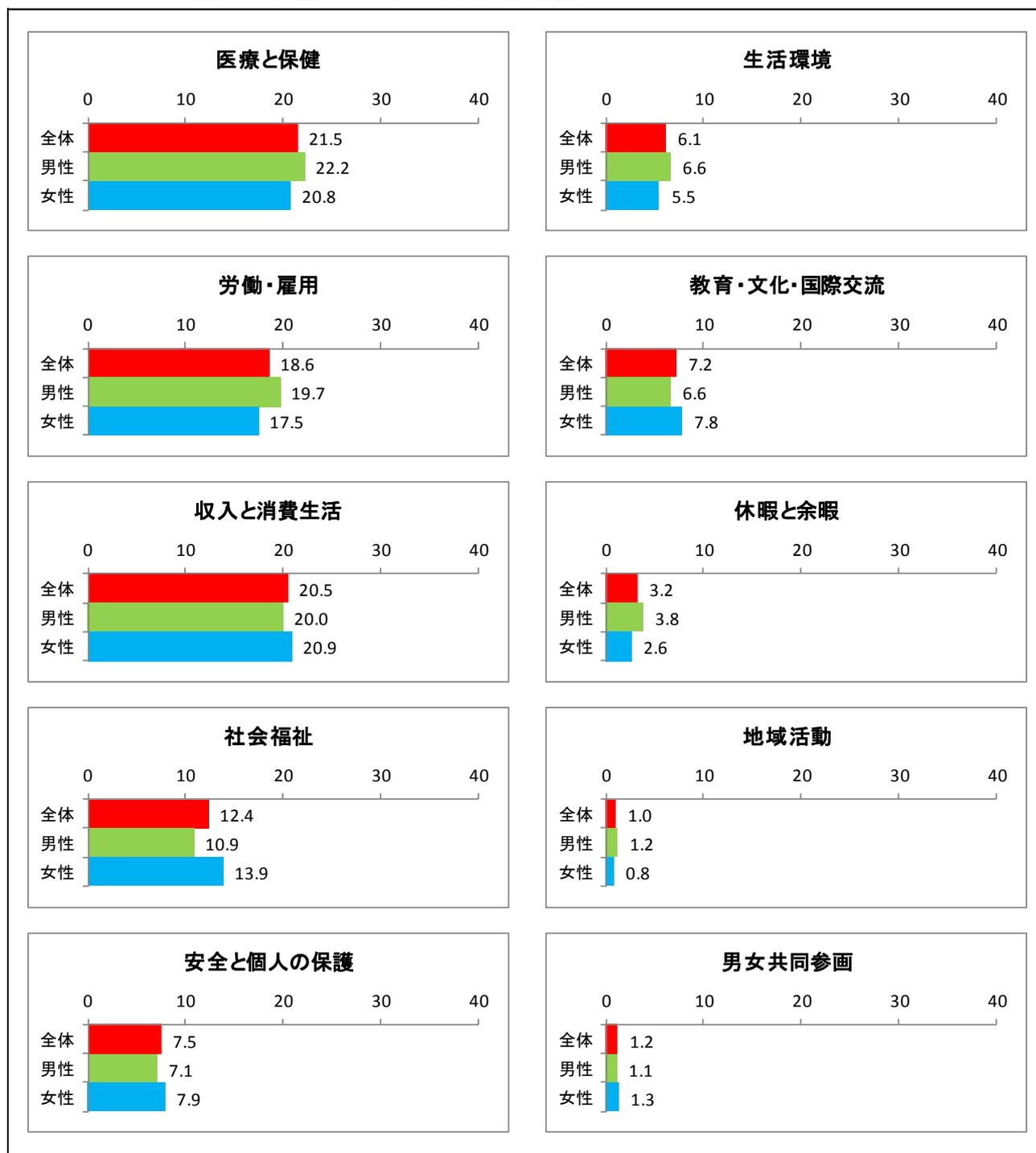
図 3-1-4 年代別 加重平均で見た政策優先度



(5) 性別で見た政策優先度

性別における加重平均で見てみると、政策優先度は「労働・雇用」については、男性（19.7）のほうが女性（17.5）よりも高くなっている。一方、「社会福祉」については、女性（13.9）のほうが男性（10.9）よりも高くなっている。その他の領域では、男女の差はあまり見られない。

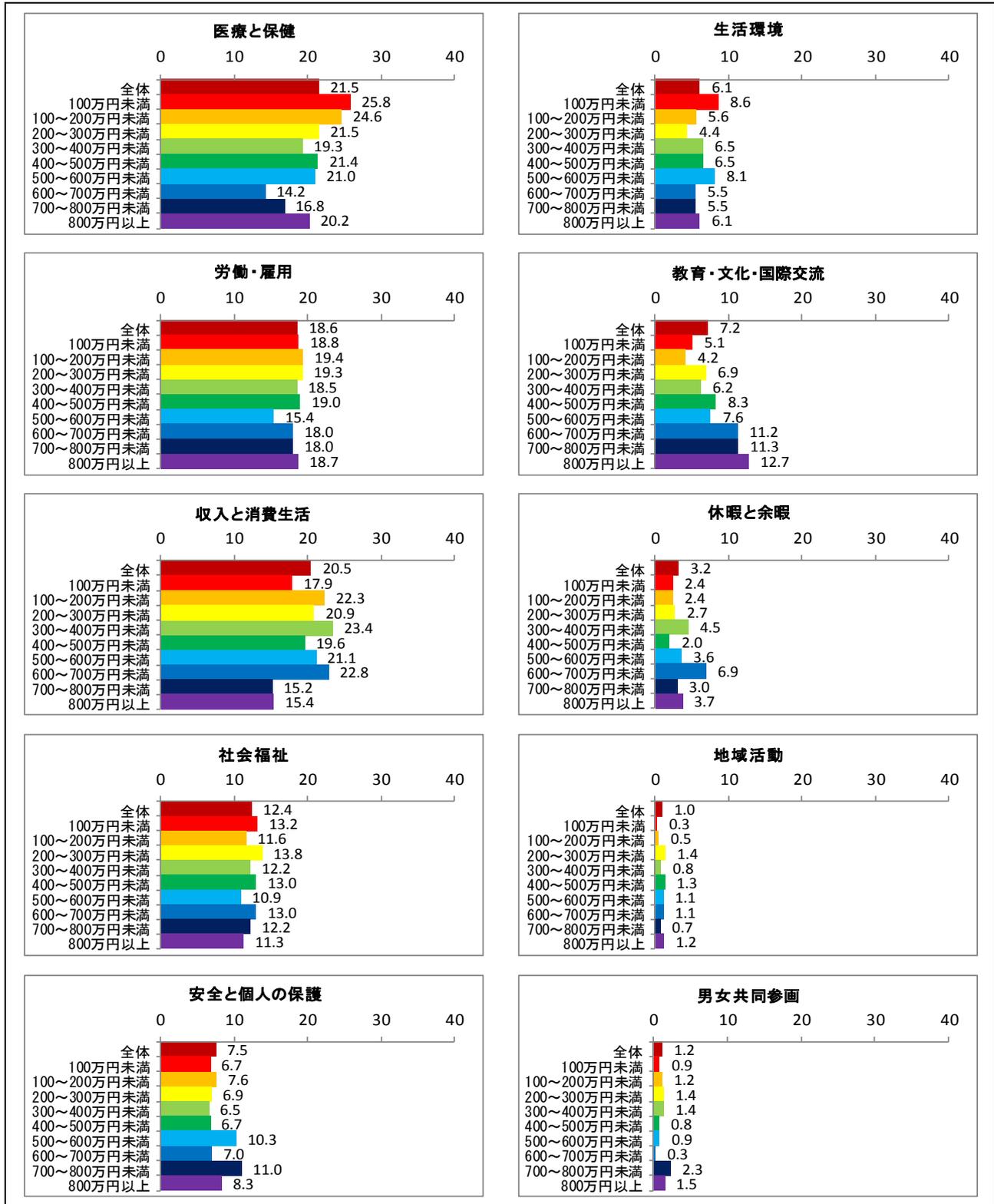
図 3-1-5 性別 加重平均で見た政策優先度



(6) 年収別加重平均で見た政策優先度

年収別加重平均で見ると、「医療と保健」については年収 200 万円未満で数値が高くなっている。「労働・雇用」では、年収による差はあまり見られない。「収入と消費生活」については、年収 700 万円以上では数値がかなり低下している。また、「教育・文化・国際交流」については、年収が高くなるほど政策優先度が高くなっている。

図 3-1-6 年収別 加重平均で見た政策優先度



2. 生活価値観の選択（問6）

本設問では、県民の生活に対する考え方（生活価値観）に関して、8つの項目について回答を求めた。

まず、「いつでも仕事を優先させる（A）」か、それとも、「休みをつぶしてまで仕事をしようとは思わない（B）」かについては、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」を合わせると、50.0%であるのに対して、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」の合計は49.0%であった。仕事を優先する人がやや多い。前回の調査では、前者が51.0%で後者が47.4%であったから、仕事優先派が1.0ポイント減り、余暇優先派が1.6ポイント増えている。

次に、「物質的豊かさより精神的豊かさがより大切である」（A）か、それとも、「精神的豊かさより物質的豊かさが大切である」（B）かについては、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」の合計が79.3%であり、それに対して、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」の合計が19.7%となっている。前回の調査結果では、前者が79.1%で後者が19.5%であった。今回と前回は比較すると、ほとんど変化がない。

「女性は家にいて家事や育児に専念した方がいい」（A）か、それとも、「女性も外に出てどんどん働いた方がいい」（B）かについての回答では、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」を合わせると25.7%であるのに対して、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」が72.9%となっている。前回は、前者が30.6%で後者が67.7%であった。家事・育児専念派が4.9ポイント減り、女性の社会進出派が5.2ポイント増えている。

「男性が家にいて家事や育児に専念してもいい」（A）か、それとも、「男性は外で働いて、社会的責任を果たすべきである」（B）かについて聞いたところでは、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」が合計して36.3%であり、それに対して、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」の合計は62.9%であった。前回は、前者が34.0%で後者が64.7%であった。男性の家事・育児専念派が2.3ポイント増え、社会活動派が1.8ポイント減っている。

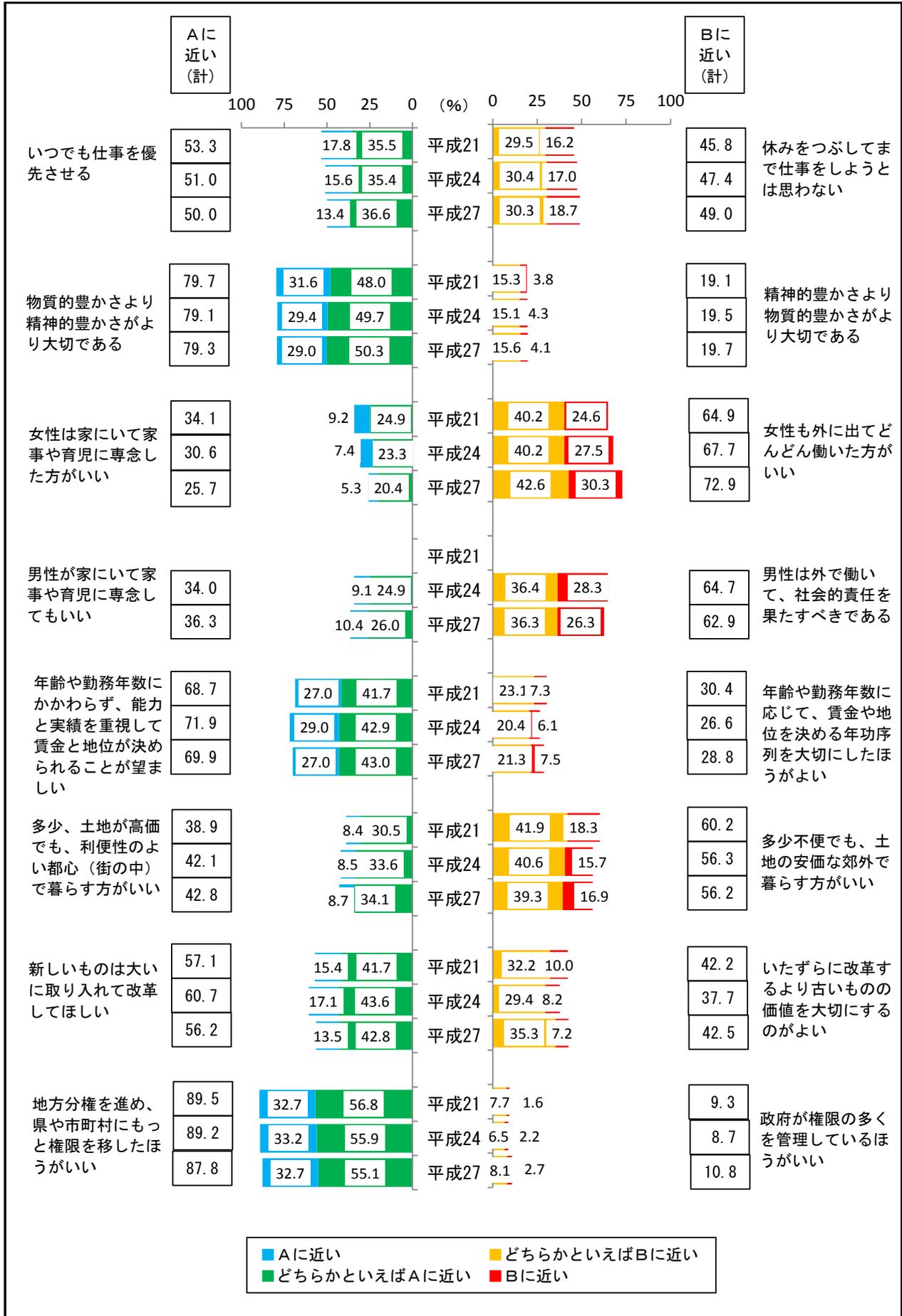
「年齢や勤務年数にかかわらず、能力と実績を重視して賃金と地位が決められることが望ましい」（A）か「年齢や勤務年数に応じて、賃金や地位を決める年功序列を大切にしたいほうがよい」（B）かについては、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」の合計が69.9%であるのに対して、「Bに近い」（B）と「どちらかといえばBに近い」の合計は28.8%となっている。前回の調査では、前者が71.9%で後者が26.6%であった。能力・実績重視派が2.0ポイント減り、年功序列重視派が2.2ポイント増えている。

生活の場についての選択で、「多少、土地が高価でも、利便性のよい都心（街の中）で暮らす方がいい」（A）か、それとも、「多少不便でも、土地の安価な郊外で暮らす方がいい」かについては、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」の合計が42.8%であり、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」の合計が56.2%であった。前回の調査では、前者が42.1%で後者が56.3%であった。今回と前回は比較すると、ほとんど変化がない。

「新しいものは大いに取り入れて改革してほしい」(A)か、それとも、「いたずらに改革するよりも古いものの価値を大切にするのがよい」(B)かについては、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」を合わせると、56.2%であり、それに対して、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」の合計は42.5%である。前回は、前者が60.7%であり、後者は37.7%であった。改革派が4.5ポイント減り、保守派が4.8ポイント増えている。

最後に、地方分権に関して、「地方分権を進め、県や市町村にもっと権限を移したほうがいい」(A)か、それとも、「政府が権限の多くを管理しているほうがいい」(B)かについての回答では、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」の合計が87.8%であるのに対して、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」の合計が10.8%であった。前回の調査では、前者が89.2%であり、後者は8.7%であった。

図 3-2-1 県民の価値観 (%)



(1) 仕事と余暇に関する価値観

全体としては、仕事優先派が50.0%で、余暇優先派が49.0%であった。

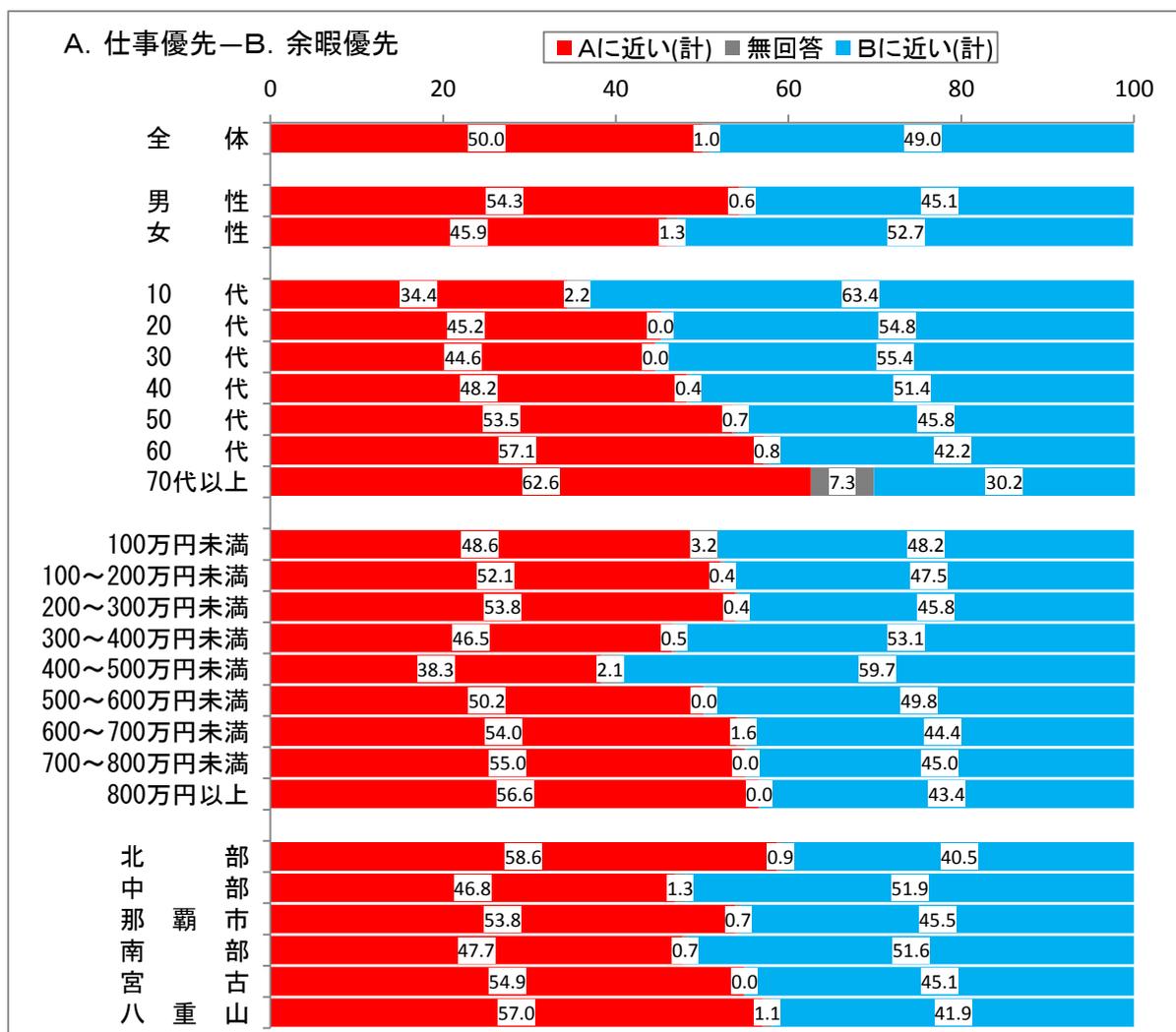
男性と女性との比較では、男性では仕事優先派（54.3%）が余暇優先派（45.1%）よりも多いのに対して、女性では余暇優先派（52.7%）が仕事優先派（45.9%）を少し上回っている。前回の調査では、仕事優先派が男性54.2%、女性47.7%であり、男性で0.1ポイント増、女性で1.8ポイント減と、変化は小さい。

年代別では、仕事優先派は70代以上（62.6%）が最も多く、次いで、60代（57.1%）、50代（53.5%）と年代の高い層で多くなっている。これに対して、余暇優先派は10代（63.4%）が最大で、30代（55.4%）、20代（54.8%）と若年層で多くなっている。

年収別では、仕事優先派は、年収400～500万円未満（38.3%）が目立って少なく、300～400万円未満（46.5%）、100万円未満（48.6%）で5割を下回る。一方、200～300万円未満（53.8%）、600万円以上（54.0%～56.6%）で5割台半ばとなっている。

地域別では、中部（51.9%）と南部（51.6%）の2地域で余暇優先派が仕事優先派を上回っている。他地域では仕事優先派が多く、特に北部（58.6%）でその割合が最も大きい。前回の調査に比較して、仕事優先派が中部（前回53.3%）で6.5ポイント減、南部（前回51.8%）で4.1ポイント減となったが、他の地域では増加している。

図3-2-2 「仕事と余暇」 (%)



(2) 精神的豊かさと物質的豊かさに関する価値観

全体としては、精神的豊かさ重視派が多く、79.3%であった。

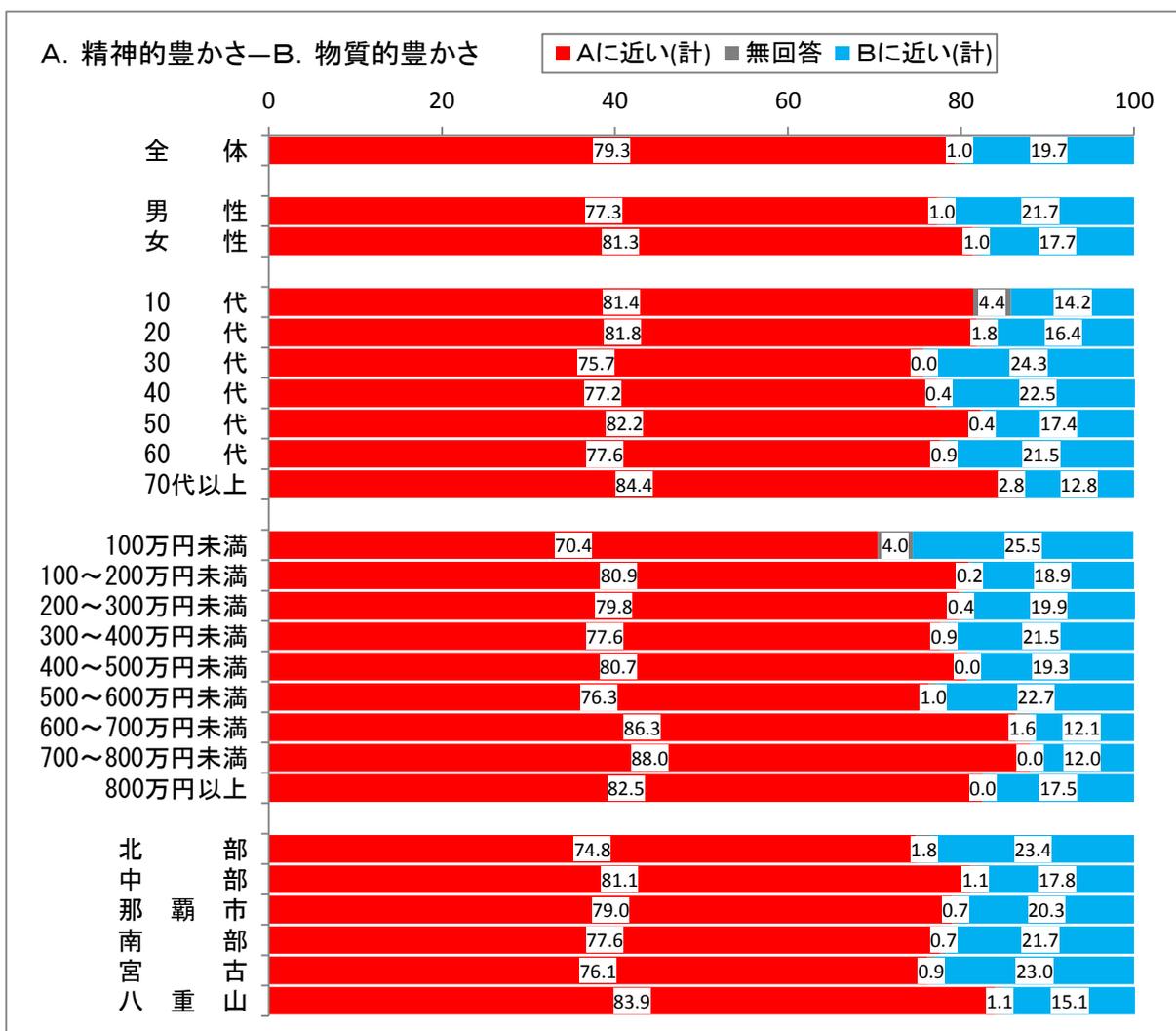
性別では、精神的豊かさ重視派は、男性（77.3%）に比べて女性（81.3%）の割合のほうが多い。前回の調査でも同様である。

年代別では、精神的豊かさ重視派が70代以上（84.4%）、50代（82.2%）、20代（81.8%）、10代（81.4%）の順で多く、30代（75.7%）が最も低い数値を示している。前回の調査と比べて、70代以上の数値が73.3%から84.4%へ大きく増加した。また、今回調査で精神的豊かさ重視派の割合が8割を超えた50代（前回75.8%）、20代（前回77.5%）、10代（前回78.3%）も前回調査より3.1～6.4ポイント増加している。

年収別では、精神的豊かさ重視派は、年収700～800万円未満（88.0%）で最も多く、次いで、600～700万円未満（86.3%）となっている。

地域別では、精神的豊かさ重視派が、八重山（83.9%）で最も多く、次いで中部（81.1%）が8割台となっている。北部（74.8%）が最も低い数値となっているが、前回調査の71.3%からは増加している。前回との比較では、精神的豊かさ重視派の割合は、八重山（前回76.8%）が7.1ポイント増と、増加が最も大きくなっている。

図3-2-3 「精神的豊かさと物質的豊かさ」 (%)



(3) 女性の家事専念と社会進出に関する価値観

全体としては、家事・育児専念派が 25.7% に対して、社会進出派が 72.9% であった。

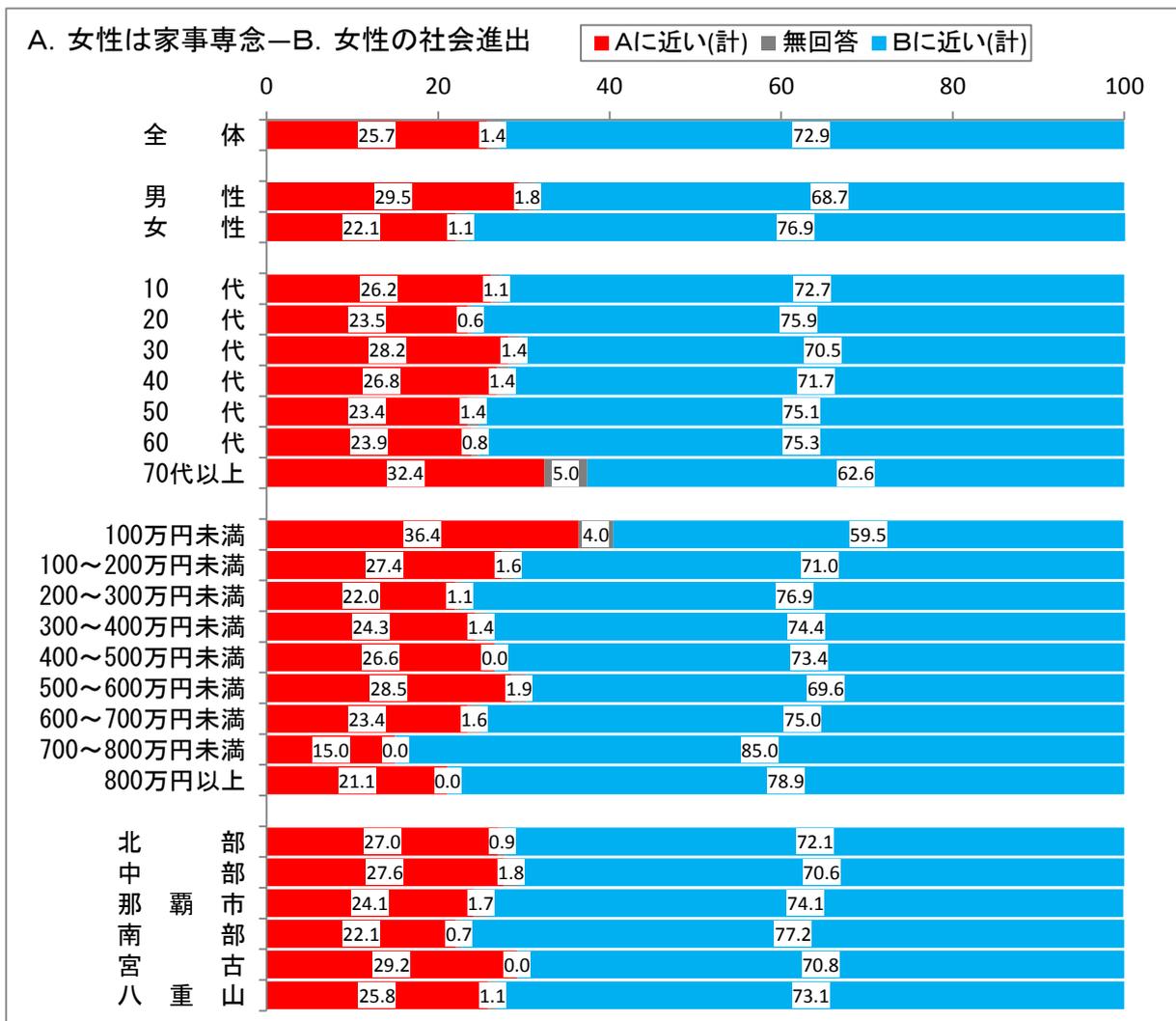
性別では、社会進出派の女性の割合（76.9%）が男性（68.7%）よりも大きくなっている。前回の調査では女性 71.9%、男性 68.7% であったので男女とも約 5 ポイント増加している。

年代別では、社会進出派が 20 代（75.9%）で最も多く、次いで、60 代（75.3%）、50 代（75.1%）の順となっている。前回の調査と比較すると、30 代と 70 代以上を除く年代で増加し、特に 60 代で前回の 64.7% から 75.3% へと大きく増加している。

年収別では、女性の社会進出支持は、年収 700～800 万円未満（85.0%）で最も高く、次いで 800 万円以上（78.9%）、200～300 万円未満（76.9%）、600～700 万円未満（75.0%）となっている。

地域別では、南部（77.2%）で社会進出派が最も多く、すべての地域で 7 割台となっている。前回の調査結果と比較すると、社会進出派の割合が宮古で 58.9% から 70.8% へ大幅増となったのをはじめ、全地域で増加した。

図 3-2-4 「女性の家事専念と社会進出」（%）



(4) 男性の家事専念と社会活動に関する価値観

全体としては、家事・育児専念派が36.3%に対して社会での活動派が62.6%であった。

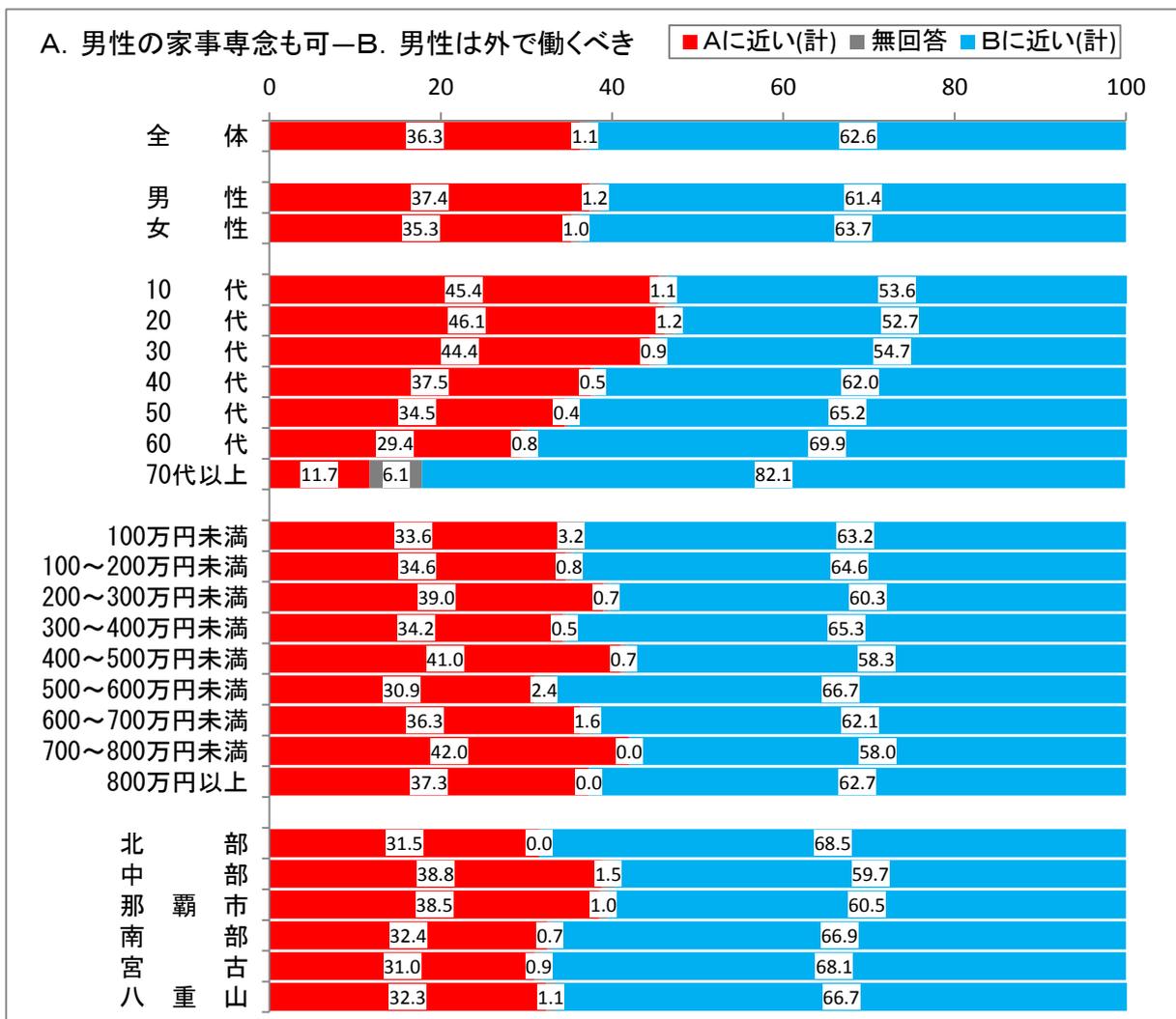
性別では、男女共に男性の社会活動派が多いが、男性の家事・育児への専念については、男性（37.4%）のほうが女性（35.3%）よりも支持する割合がやや多い。前回の調査では、家事・育児専念派が男性32.2%、女性35.9%であり、男性で5.2ポイント増加したが、女性は変化が見られない。

年代別では、70代以上（82.1%）、60代（69.9%）、50代（65.2%）と年代の高い層で社会活動派が多い。これに対して、家事・育児専念派は、20代（46.1%）、10代（45.4%）、30代（44.4%）で多く、若い世代ほど男性の家事・育児専念を支持する傾向がある。

年収別では、男性の家事・育児専念支持は、年収700～800万円未満（42.0%）で最も高く、次いで、400～500万円未満（41.0%）、200～300万円未満（39.0%）の順となっている。

地域別では、社会活動派が、北部（68.5%）、宮古（68.1%）、南部（66.9%）、八重山（66.7%）に比べ、中部（59.7%）と那覇市（60.5%）で少なくなっている。中部と那覇市では家事・育児専念派（38.5%～38.8%）が他の地域より多くなっている。

図3-2-5 「男性の家事専念と社会活動」（%）



(5) 能力・実績重視と年功序列に関する価値観

全体としては、能力・実績重視派が 69.9%であり、年功序列重視派は 28.8%であった。

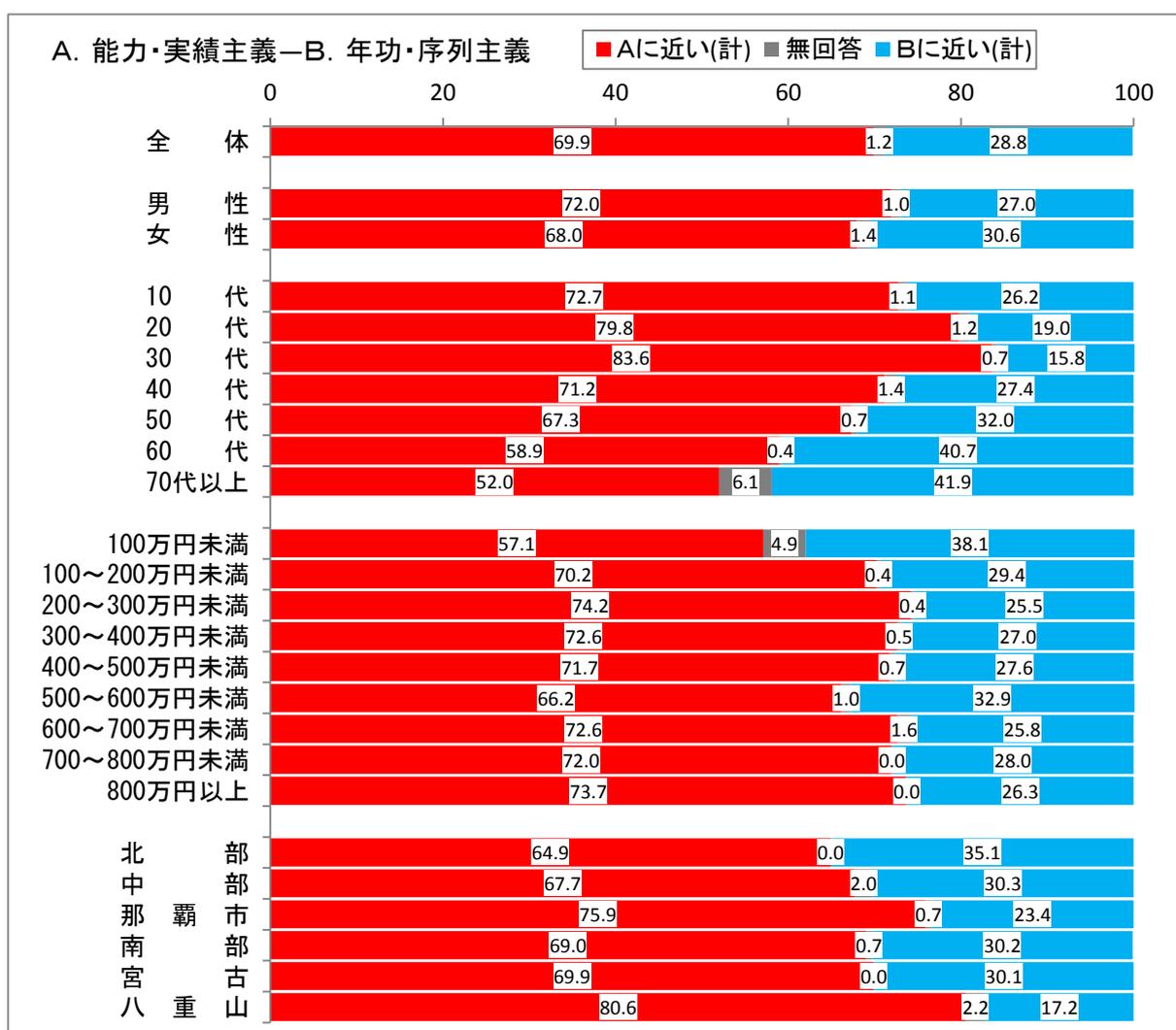
性別では、男性（72.0%）のほうが女性（68.0%）よりも能力・実績重視派が多くなっている。前回の調査では、能力・実績重視派が男性 70.7%、女性 73.1%であり、男性で 1.3 ポイント増、女性で 5.1 ポイント減となっている。

年代別では、30代（83.6%）、20代（79.8%）で能力・実績重視派が特に多くなっており、40代以降年代が上がるにつれて割合が少なくなっている。これは、前回の調査でも同様の傾向となっているが、今回のほうが能力・実績重視の数値の年代差が大きくなっている。

年収別では、能力・実績重視派は、年収 100 万円未満（57.1%）と 500～600 万円未満（66.2%）を除いて 7 割台となっている。

地域別では、能力・実績重視派が、八重山（80.6%）で最も多く、次いで那覇市（75.9%）で多くなっている。一方、北部（64.9%）で他の地域より少なくなっている。

図 3-2-6 「能力・実績重視と年功序列」（%）



(6) 都心での生活と郊外での生活に関する価値観

生活するのに利便性の良い都心の生活を望むか、それとも地価の安い郊外での生活を望むかについて、都心志向派が42.8%であるのに対して郊外志向派は56.2%であった。

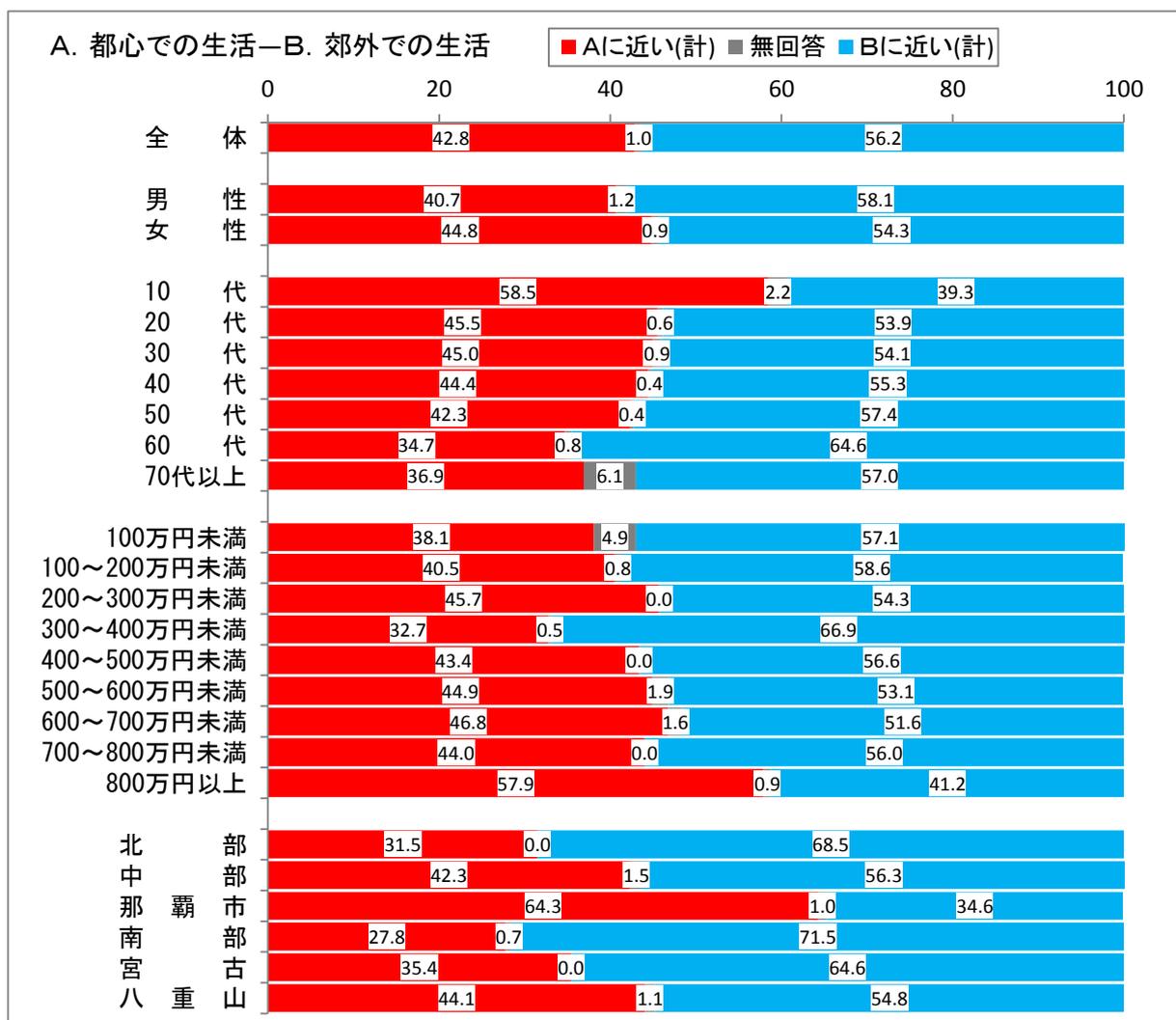
性別では、都心志向では、女性(44.8%)のほうが男性(40.7%)よりも多くなっている。前回調査でも都心志向派が男性39.7%、女性44.5%と同様の傾向が見られた。

年代別では、10代のみ都心志向派が郊外志向派を上回るが、20代以上の年代では郊外志向派が都心志向派を上回る。郊外志向派は60代(64.6%)で特に多い。都心志向派は10代(58.5%)で6割近く、20代から50代(42.3%~45.5%)で4割台60代以上(34.7%~36.9%)で3割台と年代の高い層で少なくなっている。前回調査と比べ、10代の都心志向派が43.8%から58.5%へ大きく増加している。

年収別では、年収800万円以上(57.9%)で都心志向派が多く、300~400万円未満(32.7%)で少なくなっている。

地域別では、郊外志向派は、南部(71.5%)で最も多く、次いで、北部(68.5%)と宮古(64.6%)が多い。都心志向派は、那覇市(64.3%)で目立って多くなっている。前回調査と比較して、北部、中部、那覇市では都心派が増加している。

図3-2-7 「都心での生活と郊外での生活」(%)



(7) 改革と保守に関する価値観

新しいものを積極的に取り入れて改革をすることと、従来の価値を大切にすること、どちらを尊重すべきかについては、改革派が56.2%で、保守派が42.5%であった。

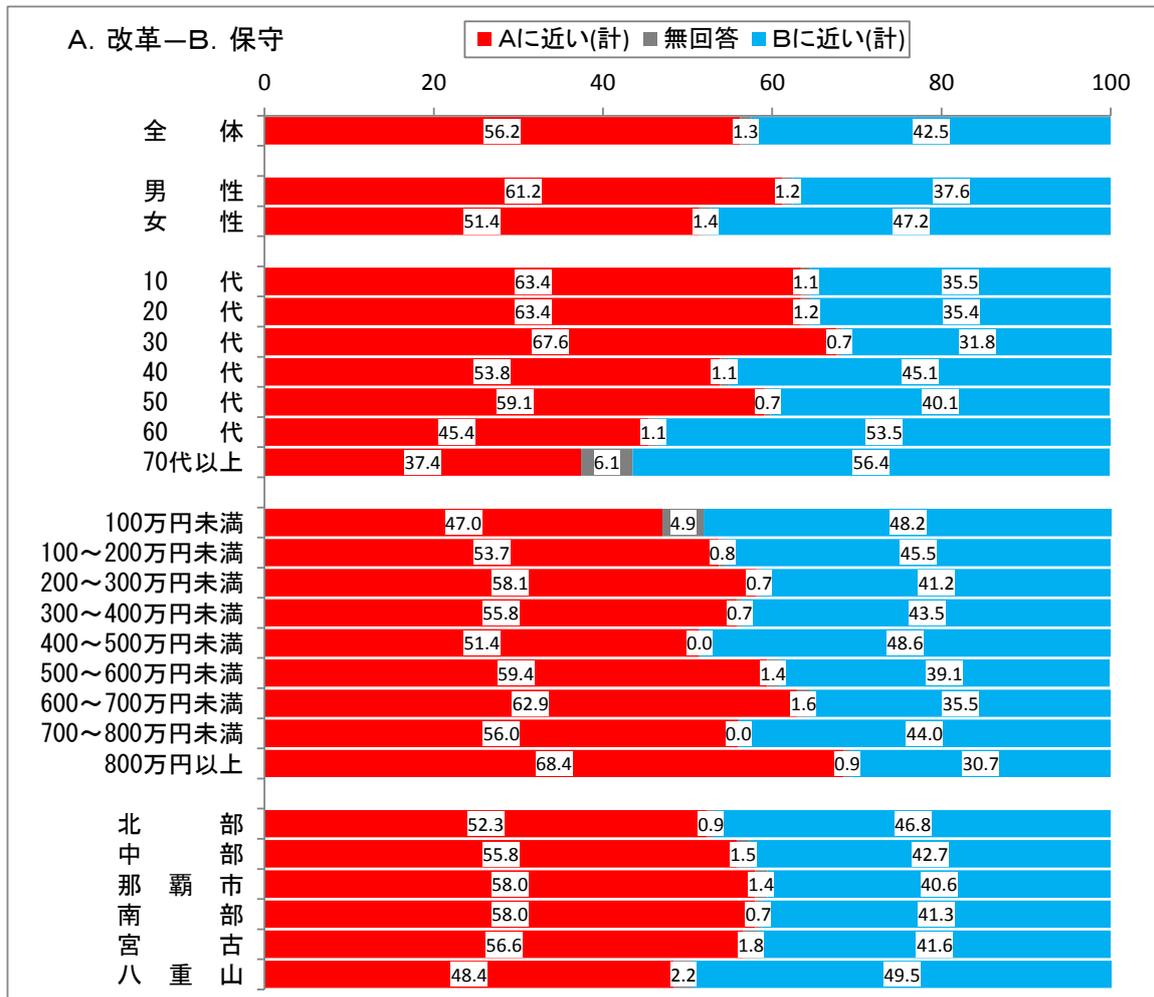
性別では、男性（61.2%）のほうが女性（51.4%）よりも改革派が多い。前回調査では、改革派が男性63.7%、女性57.6%であり、男性が2.5ポイント減、女性が6.2ポイント減となっている。

年代別では、改革派が30代（67.6%）、20代、10代（共に63.4%）で特に多くなっている。一方、保守派が70代以上（56.4%）、60代（53.5%）で多く、過半数を占める。年代の低い層で改革派が優勢、年代の高い層で保守派が優勢であり、前回の調査でも同様の傾向であった。

年収別では、改革派は、年収800万円以上（68.4%）で最も多く、次いで600～700万未満（62.9%）で6割台となっている。一方、年収100万円以下（47.0%）では5割を下回っている。

地域別では、改革派が那覇市と中部（共に58.0%）が多い。八重山（48.4%）のみ5割を下回っているが、他の地域でも、改革派は5割台となっている。前回の調査と比較して、改革派が八重山で57.1%から48.4%へ8.7ポイント、中部で63.8%から55.8%へ8.0ポイント、那覇市で64.4%から58.0%へ6.4ポイント減少している。

図 3-2-8 「改革と保守」 (%)



(8) 地方分権と中央集権に関する価値観

地方分権派が 87.8% で、中央集権派は 10.8% となっている。

性別では、地方分権派は男性で 87.8%、女性で 87.9% と差は見られない。前回の調査でも、男女（男性 88.7%、女性 89.6%）で差は見られなかった。

年代別では、地方分権派は、50 代（90.8%）、40 代（89.7%）、60 代（89.3%）で約 9 割となっている。10 代（80.9%）と 70 代以上（79.3%）で約 8 割と少ない。今回の調査でも、地方分権派は多数を占め、10 代と 70 代以上で他の年代より少ないなど、傾向は変わらない。

年収別では、地方分権派は、年収 100 万円未満（75.7%）が相対的に低いのを別とすれば、すべての層で 8 割台後半から 9 割台前半となっている。

地域別では、地方分権派は、すべての地域で 8 割台を占めている。前回の調査と比較して、地方分権派は八重山で 83.9% から 88.2% に 4.3 ポイント増加しているのが、最も大きい変動で、他は 3 ポイント以内の増減である。

図 3-2-9 「地方分権と中央集権」 (%)



3. 生活状態（くらしむき）の意識・変化・見通し（問9）

本設問では、家庭生活の状態が現在ではどのような状態にあるのか、4、5年前に比べてどうか、今後の見通しはどうかについてそれぞれ尋ねた。

(1) 生活状態の意識

図3-3-1は、県民が自らの生活状態をどう捉えているかを示している。

内閣府が「国民生活に関する世論調査」において使用している生活の程度を尋ねる選択肢に準じ、「上」「中の上」「中の中」「中の下」「下」の5段階で尋ねている。

「中の中」が41.8%で最も多く、次いで「中の下」が25.8%となっている。以下、「中の上」が12.0%、「下」が10.7%、「上」が1.6%となっている。

図3-3-1 生活状態の意識（%）

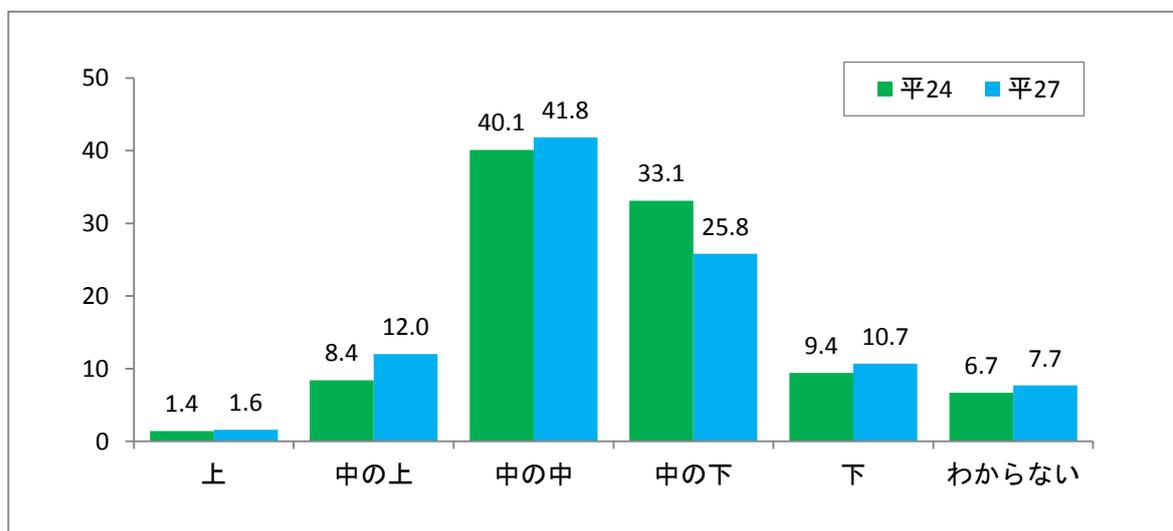
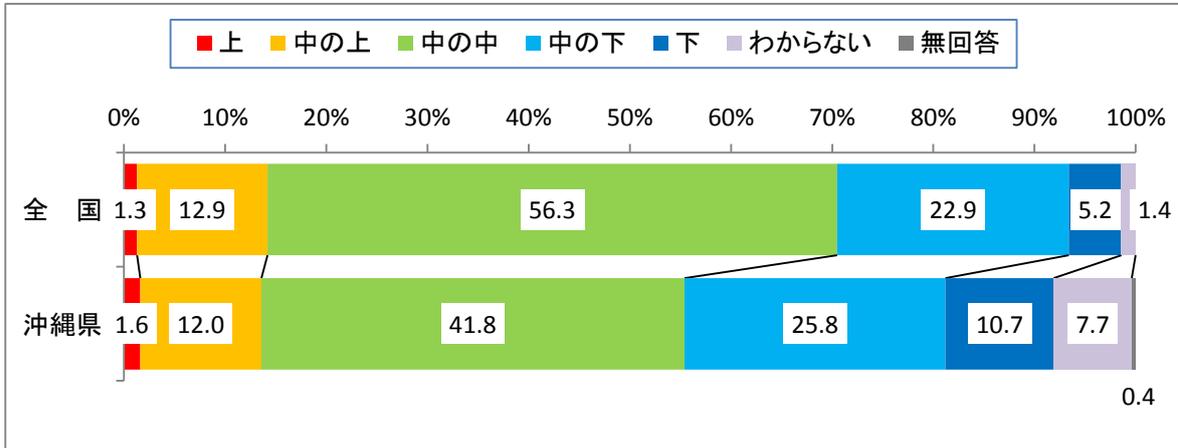


図 3-3-2 は、今回の調査結果と内閣府の調査「国民生活に関する世論調査（平成 27 年 6 月調査）」の結果とを比較したものである。本県では、「中の下」「下」の割合が全国平均より高く、階層意識の上では、本県と全国平均との間には開きがあることがわかる。

図 3-3-2 生活状態の意識 全国比較 (%)



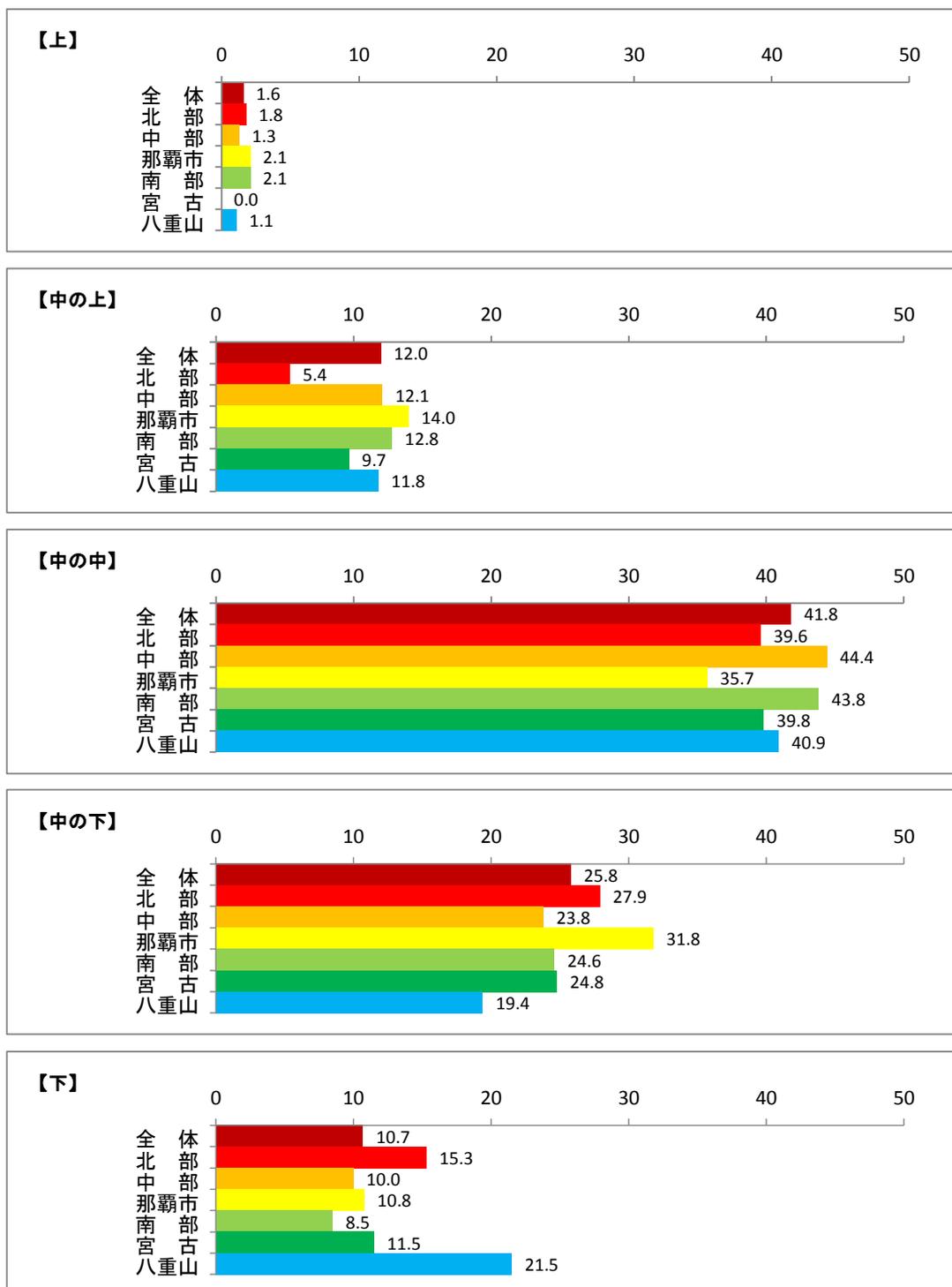
[注] 「全国」の出典

1. 実施主体: 内閣府
2. 調査実施機関: 一般社団法人新情報センター
3. 調査時期: 平成 27 年 6 月 18 日～7 月 5 日
4. 調査方法: 調査員による個別面談聴取法
5. 調査対象: ①母集団 全国 20 歳以上の日本国籍を有する者 ②標本数 10,000 人
③抽出方法 層化 2 段無作為抽出法
6. 回収結果: 有効回収 (率) 5,839 人 (58.4%)

生活状態の意識を地域別に見たのが図 3-3-3 である。いずれの地域でも「中の中」の比率が他の選択肢より多く 3 割台半ばから 4 割台半ばを占めている。地域差を見ると、北部では「中の上」が他の地域より少なく「下」が多くなっている。那覇市では「中の中」が他の地域より少なく「中の下」が多くなっている。中部と南部では「中の中」が他の地域より多くなっている。八重山では「中の下」が他の地域より少なく「下」が多くなっている。

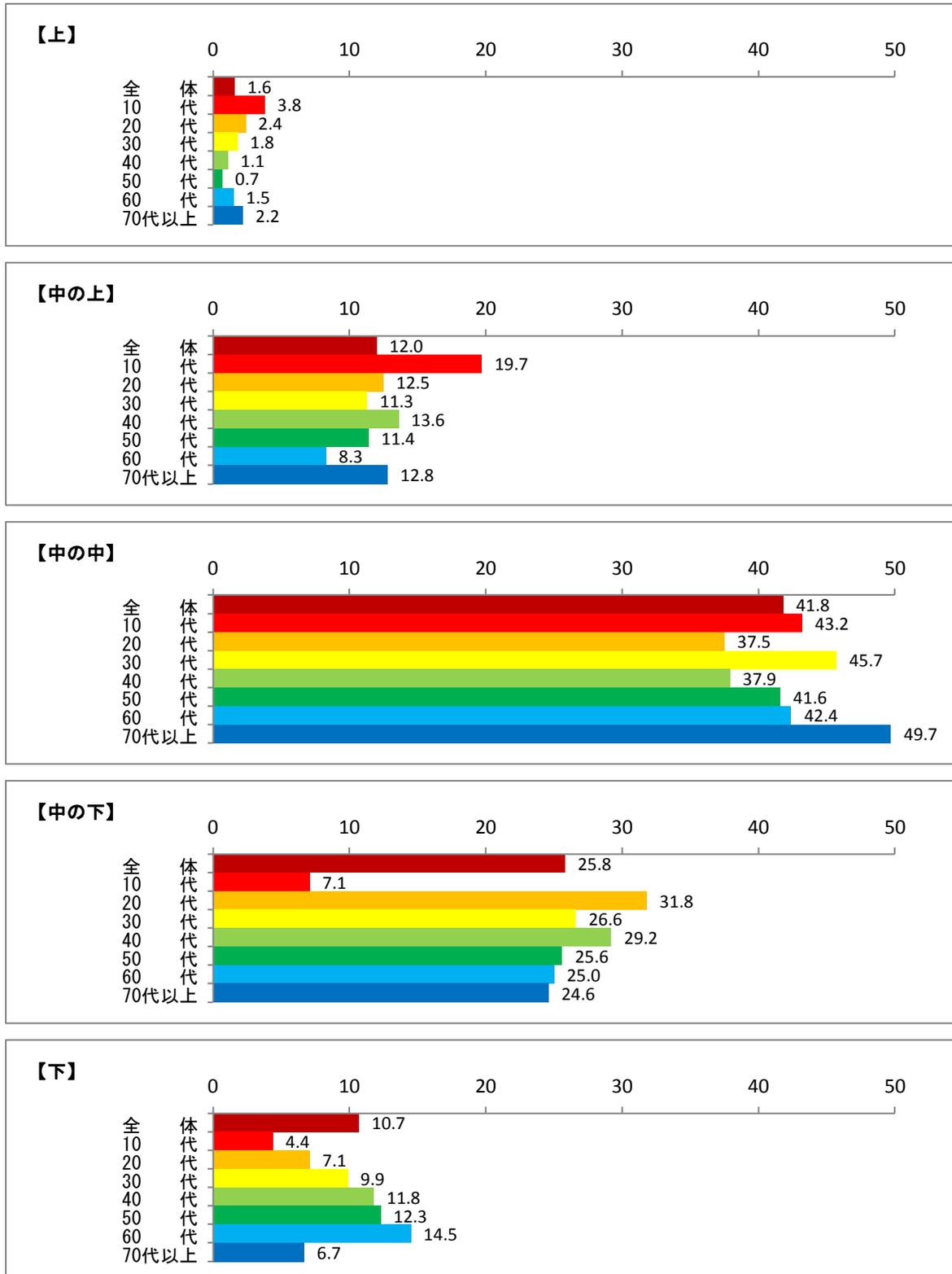
図 3-3-3 地域別 生活状態の意識 (%)

(以下の表ではすべて「わからない」及び「不明」を含まない比率である)



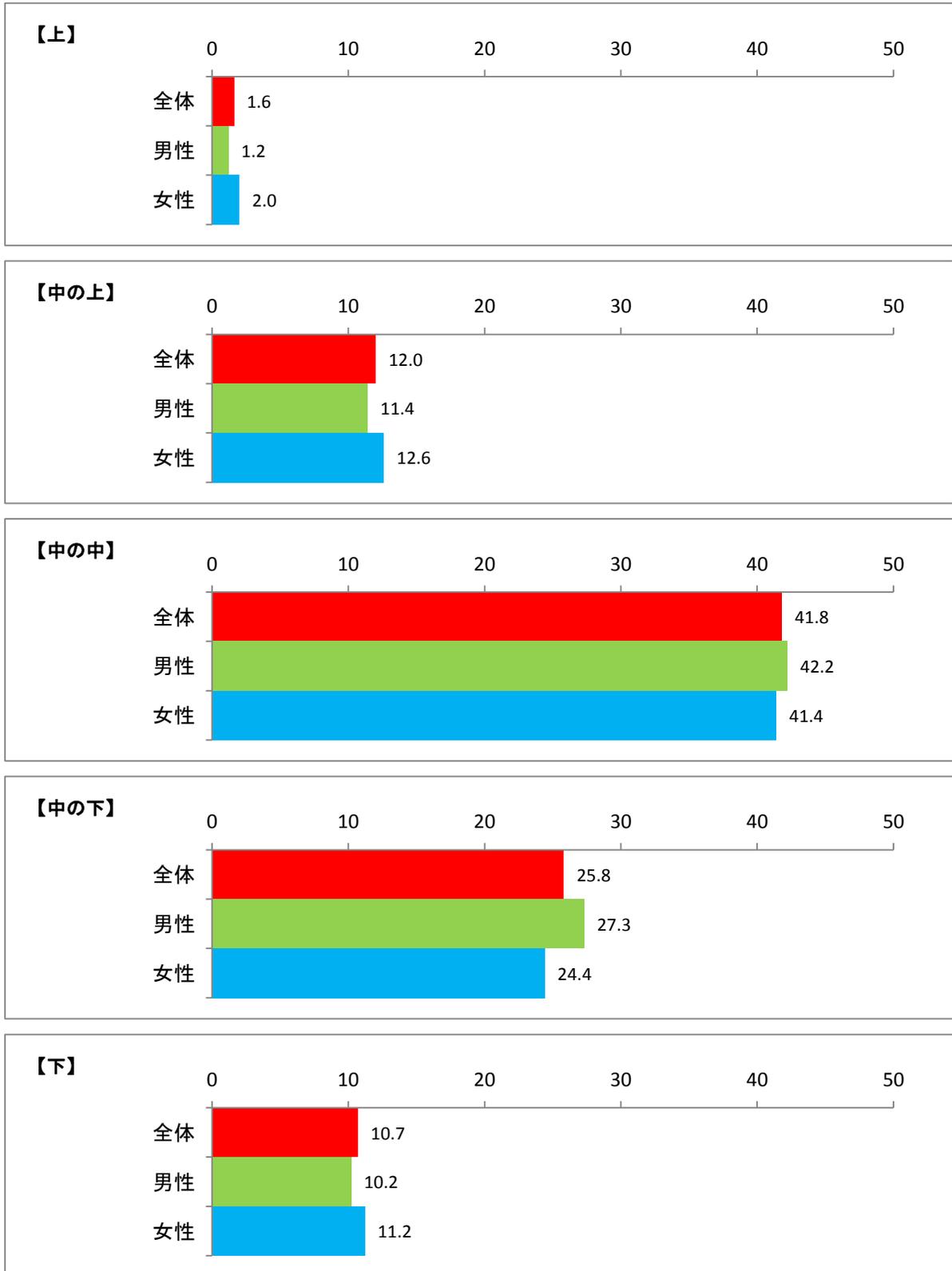
生活状態の意識を年代別で見たのが図 3-3-4 である。いずれの年代でも「中の中」の比率が他の選択肢より多く 3 割台後半から 5 割近くを占めている。「中の中」は 70 代以上の 49.7%、30 代の 45.7%が他の年代より多くなっている。「中の上」は 10 代で 19.7%と他の年代より多い。「中の下」は 20 代で 31.8%、40 代で 29.2%と多くなっている。「下」は 10 代から 60 代にかけて年代が上がるほど多くなっている。

図 3-3-4 年代別 生活状態の意識 (%)



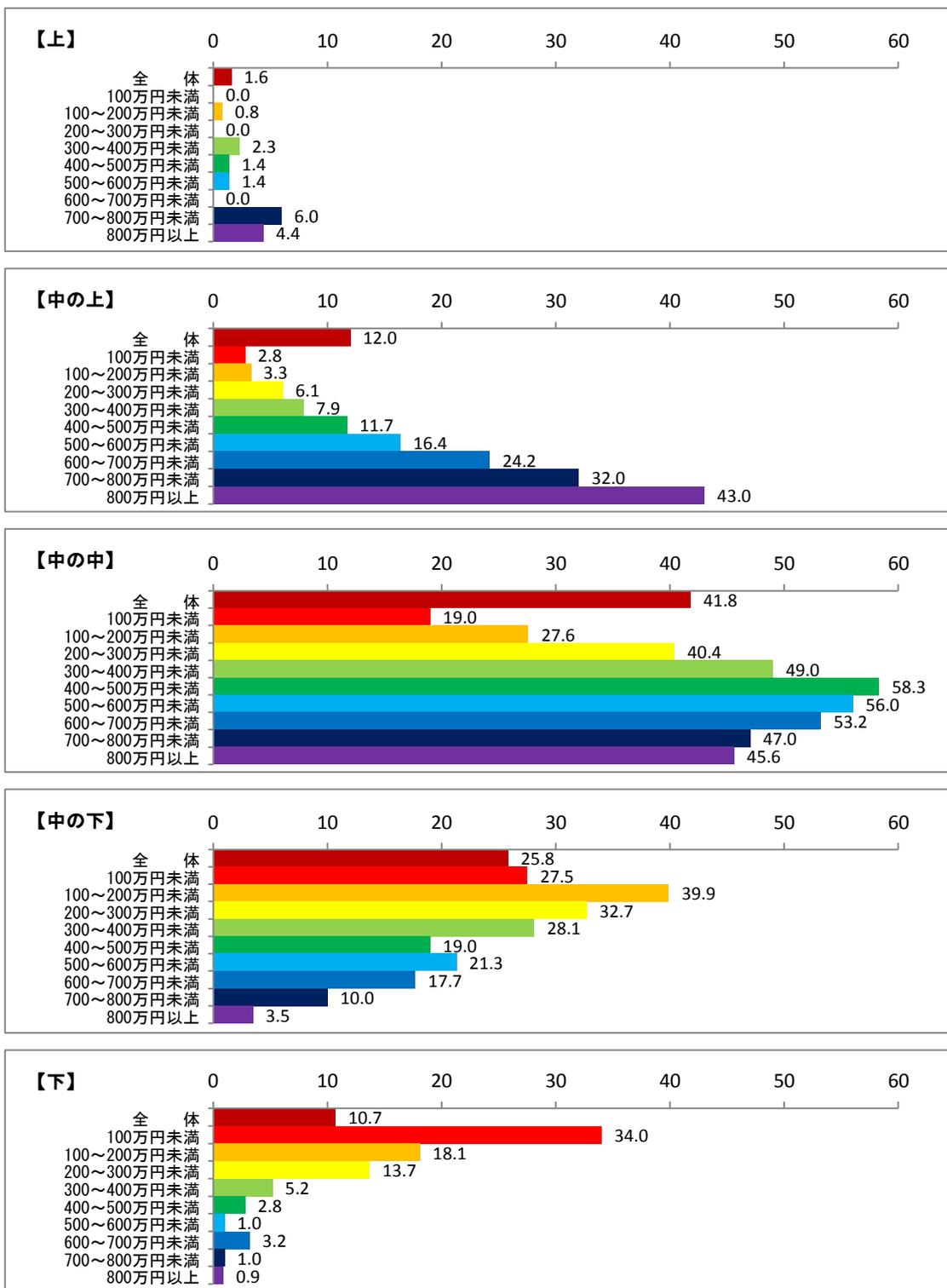
生活状態の意識を性別で見たのが図 3-3-5 である。男女差はほとんど見られない。

図 3-3-5 性別 生活状態の意識 (%)



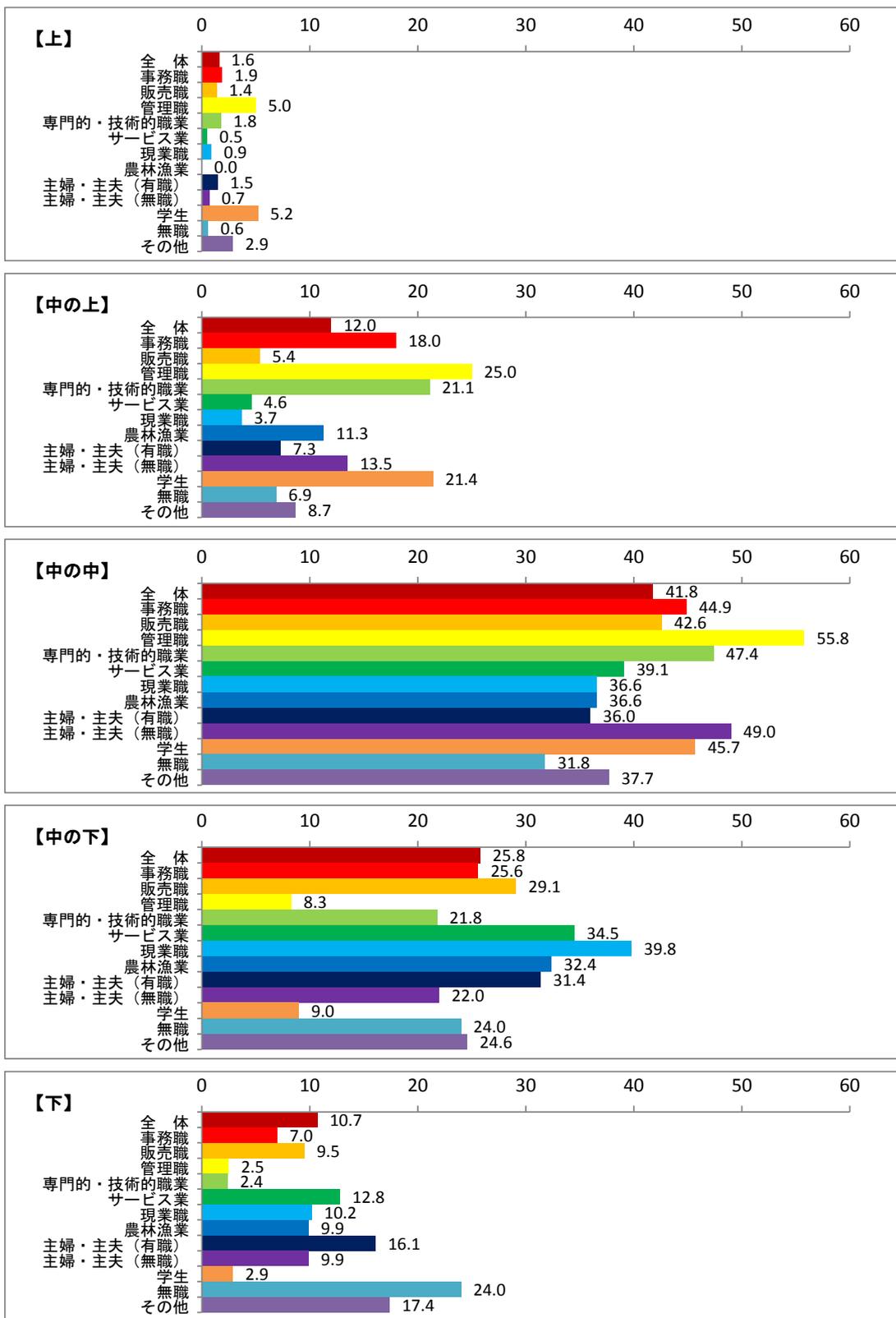
年収別に生活状態の意識を見たのが図 3-3-6 である。「上」では年収 700 万以上が他の年収より多くなっている。「中の上」においては年収が上昇するにつれて多くなっている。「中の中」は年収 400～500 万円未満が最も多く 100 万円未満、800 万円以上の両極にいくにしたがって少なくなっている。「中の下」(100 万円未満は例外)、「下」になると収入が低いほど「中の下」「下」の意識は高くなる傾向がある。

図 3-3-6 年収別 生活状態の意識 (%)



職業別に生活状態の意識を見たのが図 3-3-7 である。「上」は管理職と学生、「中の上」は管理職、学生、専門的・技術的職業、事務職で多くなっている。「中の中」は管理職が多くなっている。「中の下」は、現業職、サービス業、農林漁業、主婦・主夫（有職）が多くなっている。「下」は、無職（主婦・主夫を除く）が多くなっている。

図 3-3-7 職業別 生活状態の意識 (%)

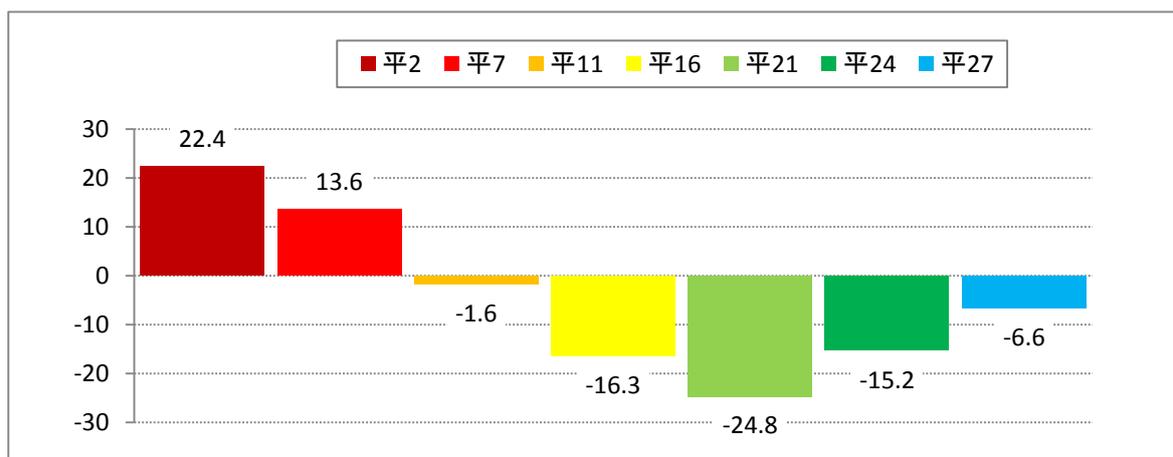


(2) 生活状態の変化

現在の暮らし向きを4、5年前に比べて「極めて良くなった」から「極めて悪くなった」までの5段階で回答してもらい、「改善（極めて良くなった+良くなった）」の割合から「悪化（極めて悪くなった+悪くなった）」の割合を引いた値を動向指数として、それがどう変化したのかを見たのが図 3-3-8 である。

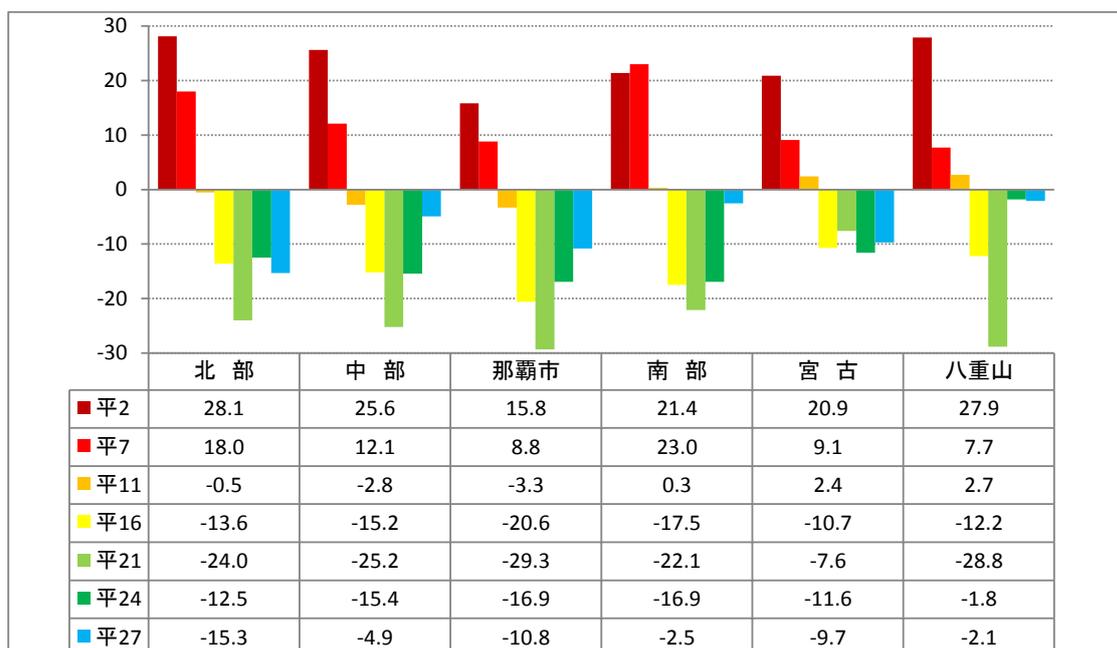
県全体の動向指数は平成2年の調査を頂点として減少傾向が続き、平成11年度にマイナスに転じた。平成21年度に-24.8と最低値を記録したが、前は-15.2と上昇に転じ、今回は-6.6に改善傾向が続いている。

図 3-3-8 時系列による生活状態の変化に関する動向指数



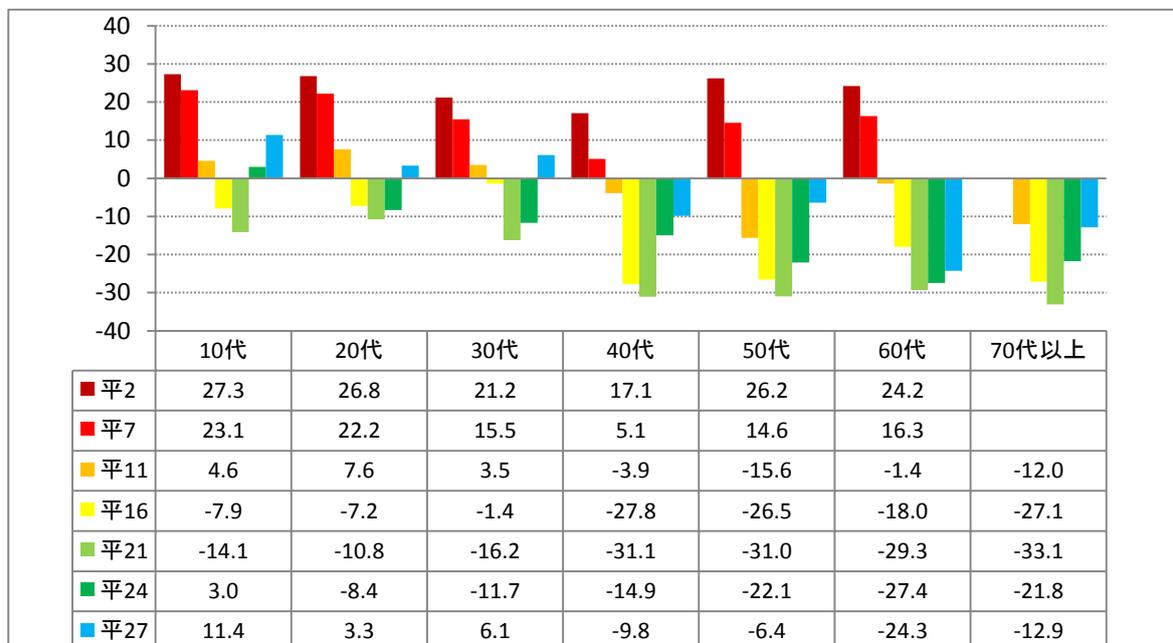
地域別に見てみると、動向指数は各地域ともマイナスとなっているが、中部、那覇市、南部は前回に続き改善が進んだ。北部はやや悪化し、宮古と八重山は前回から大きな変化はない。

図 3-3-9 地域別 時系列による生活状態の変化に関する動向指数



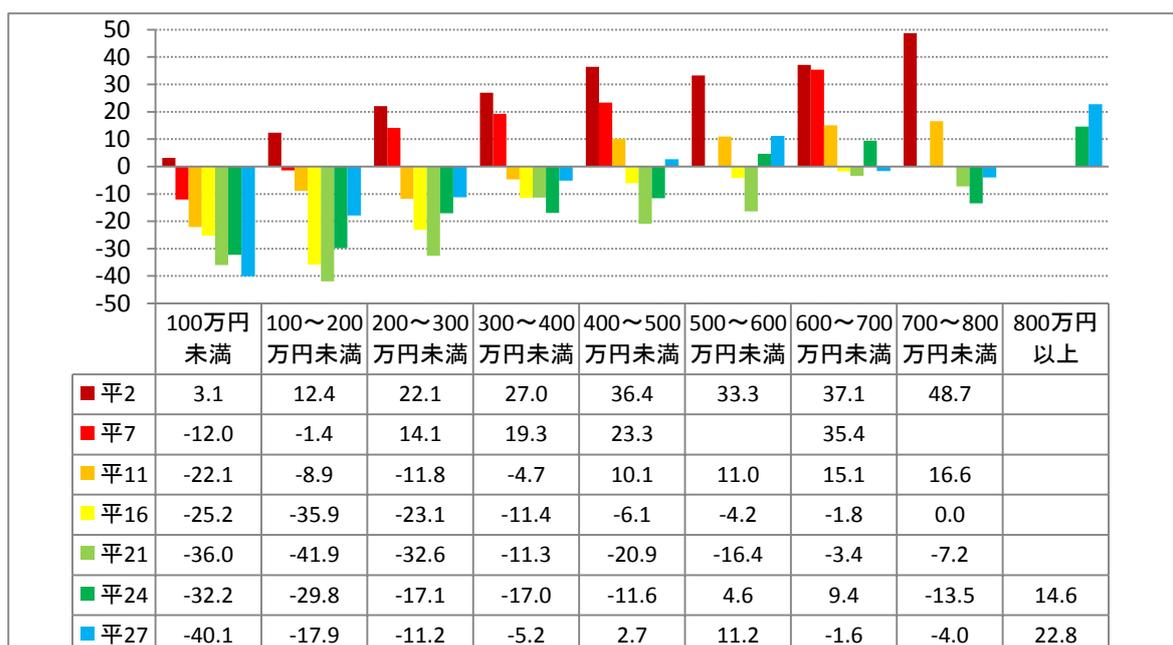
年代別に見ると、30代以下の年代では平成16年度調査から、40代以上の年代では平成11年度調査から、動向指数はマイナスに転じ、全年代で平成21年度に最低値となったが、前回に続き今回も改善が進んだ。今回は40代以上ではまだ悪化を示すマイナスの数値を示しているが、30代以下では改善を示すプラスの数値を示している。

図 3-3-10 年代別 時系列による生活状態の変化に関する動向指数



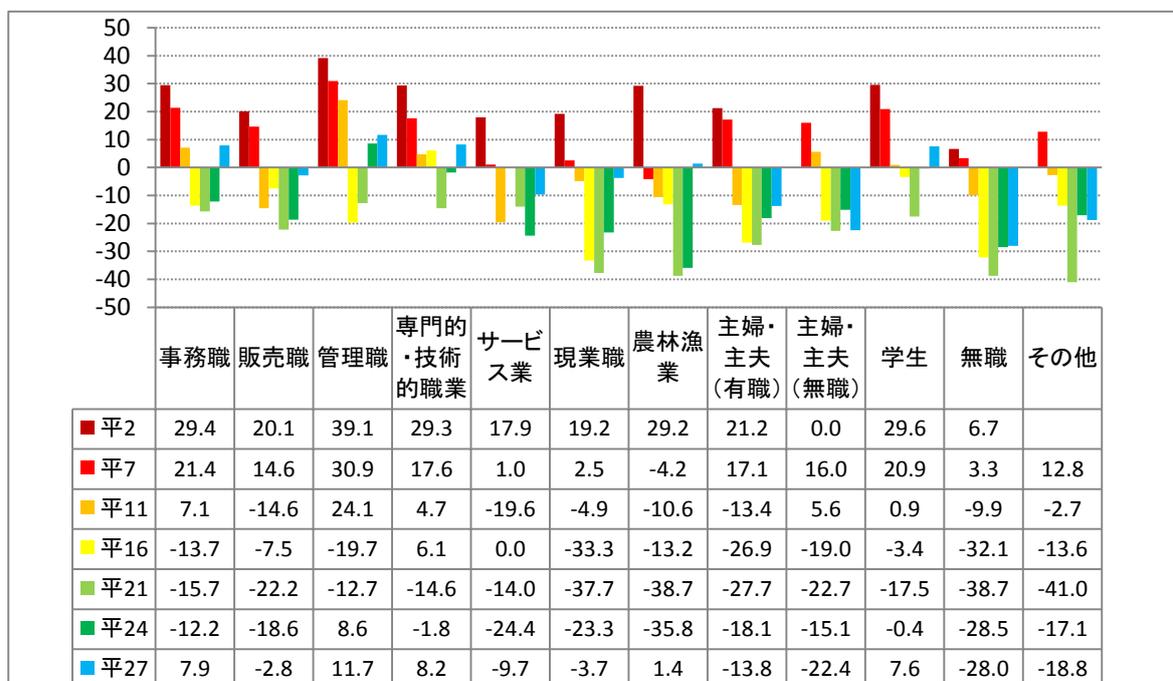
年収別に見ると、年収100万円未満と600～700万円未満を除き、平成24年度に比べ、動向指数はのきなみ改善している。年収100～200万円未満、300～400万円未満、400～500万円未満では10ポイント以上の上昇が見られる。

図 3-3-11 年収別 時系列による生活状態に関する動向指数



職業別で見ると、動向指数は管理職では前回に続きプラスの値となり、事務職、専門的・技術的職業、農林漁業、学生でプラスの値に転じている。特に農林漁業は37.2ポイント、事務職で20.1ポイントの上昇となっている。また、現業職、販売職、サービス業も動向指数はまだマイナスの値であるが、10ポイント以上の上昇となっている。

図 3-3-12 職業別 時系列による生活状態に関する動向指数

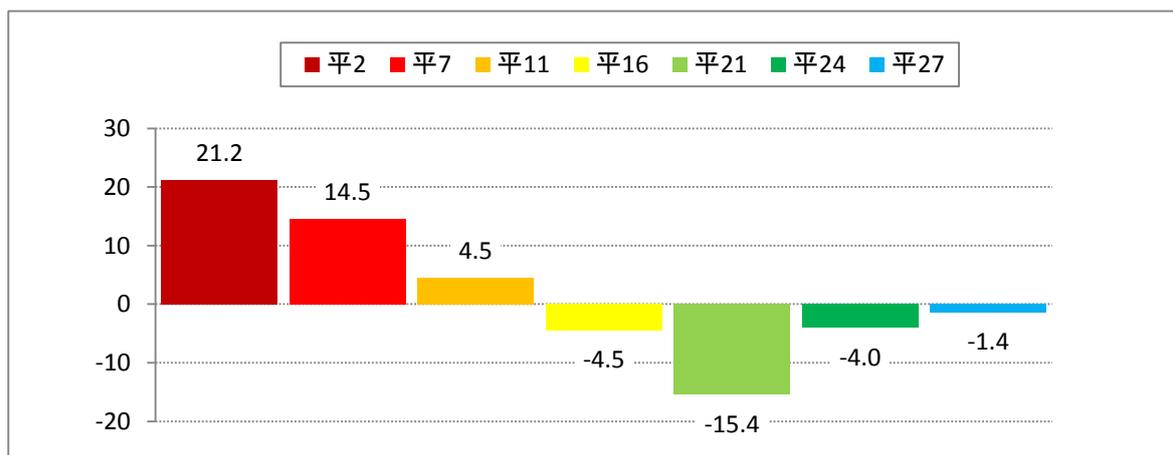


(3) 生活状態の見通し

今後のくらしむきは、現在の生活と比べてどのようになると思うかを「極めて良くなると思う」から「極めて悪くなると思う」までの5段階、および「わからない」の選択肢から回答してもらいその結果をまとめた。

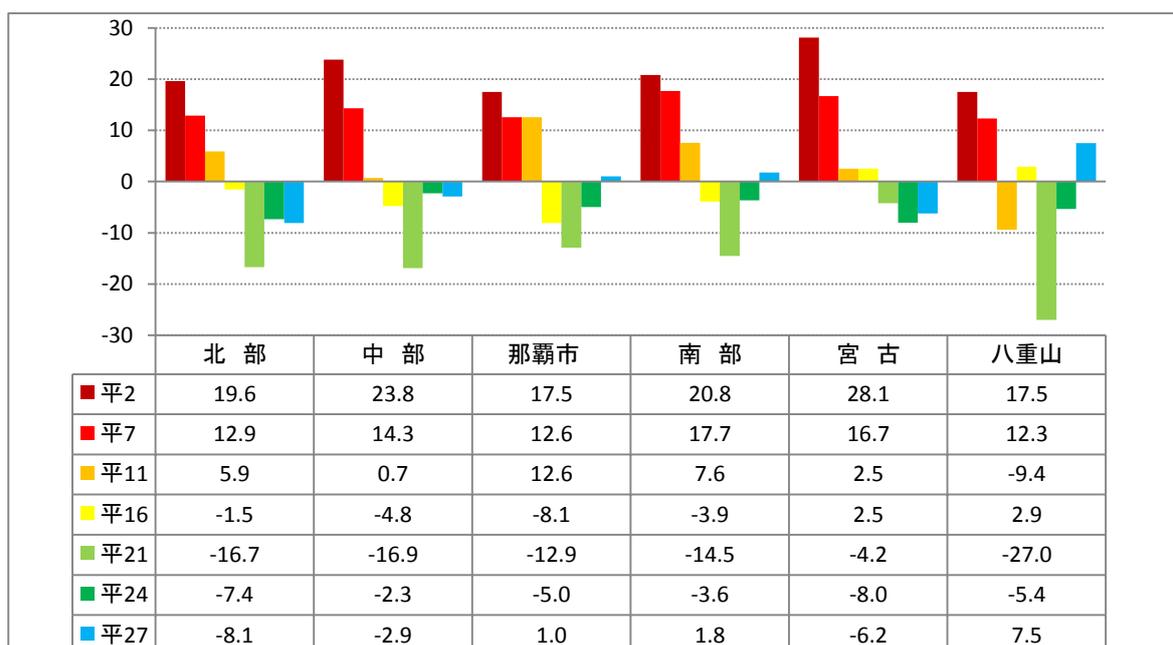
回答の中から「極めて良くなる+良くなる」の割合から「極めて悪くなる+悪くなる」の割合を引いた値を動向指数として評価した。図 3-3-13 は、過去の調査と比較して動向指数がどう変化したかを見たものである。動向指数は平成2年調査の21.2を頂点としてそれ以降減少傾向を示し、平成21年度調査では-15.4と最低値となった。前回調査では-4.0へと好転し、今回も-1.4とさらに上昇した。

図 3-3-13 時系列による生活状態の見通しに関する動向指数



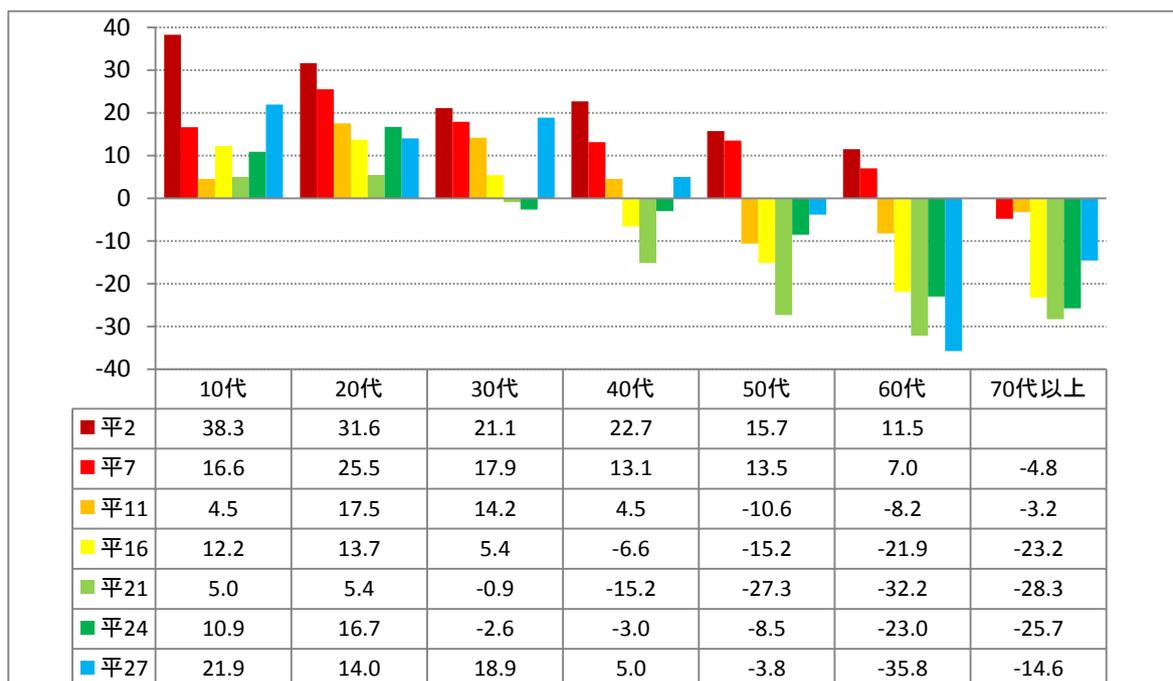
生活状態の見通しを地域別に見たのが図 3-3-14 である。那覇市、南部、八重山では前回より上昇しプラスの値となっている。特に八重山では 12.9 ポイントの大幅な上昇となり、那覇市、南部でも約 6 ポイント上昇している。マイナスの値となった北部、中部、宮古では変動が小さい。

図 3-3-14 地域別 時系列による生活状態の見通しに関する動向指数



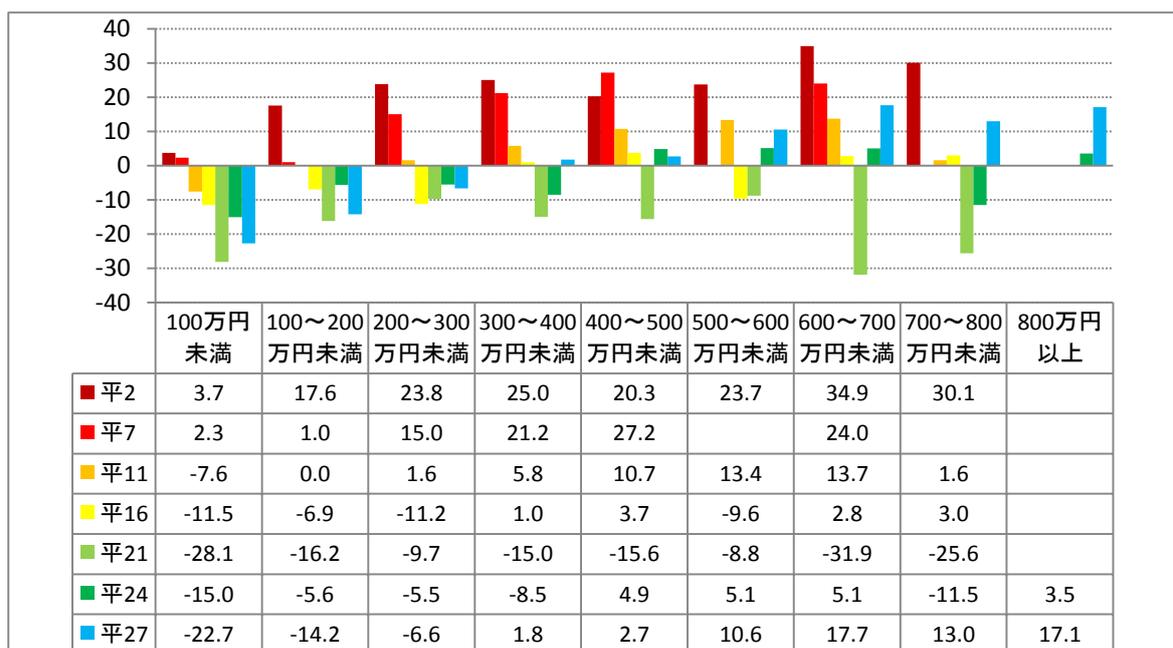
生活状態の見通しを年代別に見たのが図 3-3-15 である。40 代以下の年代ではプラスの値となっているのに対し、50 代以上の年代ではマイナスの値となっている。動向指数がマイナスとなった 50 代以上のうち、60 代では前回の -23.0 から -35.8 へ 12.8 ポイントの低下となっているが、50 代と 70 代以上では前回に続き上昇傾向となっている。一方、プラスの値となった 40 代以下のうち 30 代は 21.5 ポイント、10 代は 11.0 ポイント、40 代では 8.0 ポイントの上昇となっているが、20 代では 2.7 ポイントとわずかながら低下している。

図 3-3-15 年代別 時系列による生活状態の見通しに関する動向指数



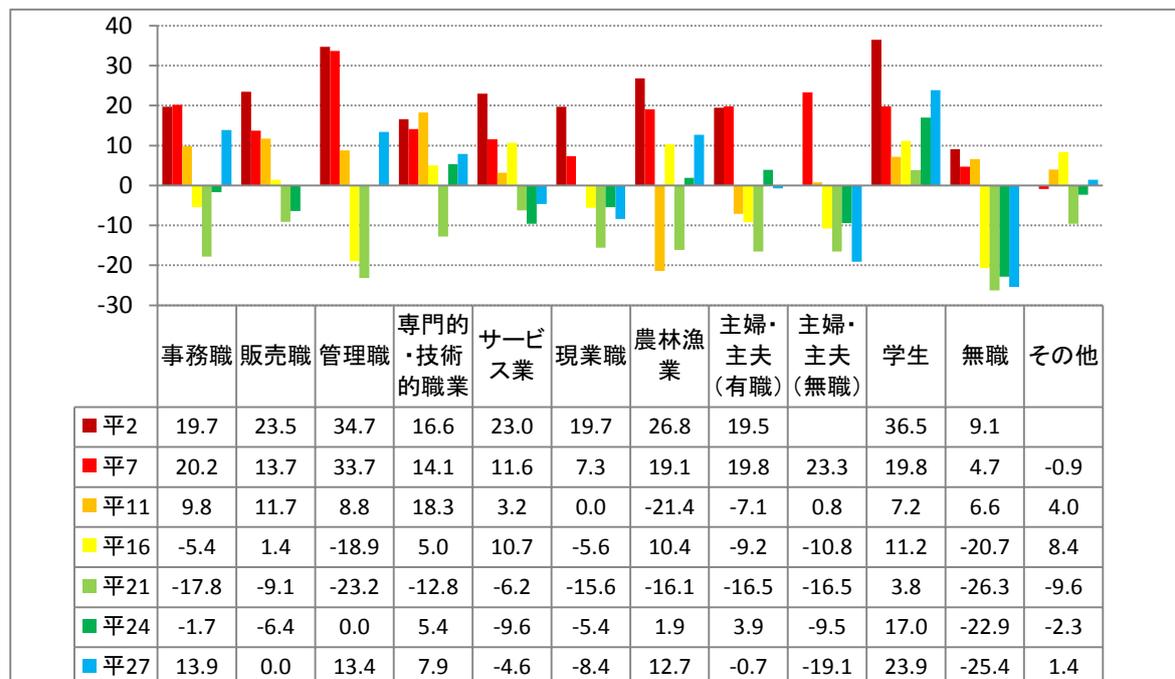
年収別で見ると、動向指数は年収 300 万円未満の層ではマイナスの値となり、300 万円以上の層ではプラスの値となっている。前回調査ではすべての年収で改善が見られたが、今回はマイナスの値を示した 300 万円未満の層ではいずれも動向指数は悪化した。一方、プラスの値となった 300 万円以上の層のうち、700～800 万円未満で 24.5 ポイントの上昇となったのをはじめ、300～400 万円未満、600～700 万円未満、800 万円以上では 10 ポイント以上の上昇となっている。

図 3-3-16 年収別 時系列による生活状態の見通しに関する動向指数



職業別で見ると、動向指数は学生の 23.9 を筆頭に事務職、管理職、専門的・技術的職業、農林漁業でプラスの値となっている。特に、事務職、管理職、農林漁業では前回より 10 ポイント以上の上昇となっている。一方、無職で-25.4 と最も低く、主婦・主夫（無職）、現業職、サービス業、主婦・主夫（有職）でマイナスの値となっている。主婦・主夫（無職）では前回より 9.6 ポイントと大きく低下している。

図 3-3-17 職業別 時系列による生活状態の見通しに関する動向指数



4. 生活状態（くらしむき）の達成度と希望（問 10）

(1) 生活状態 達成の状況

県民がどの程度の生活状況を希望し、またそれが達成できているか把握するため 18 項目にわたって「だいたいかなえられている」「かなえられていない」「特に必要がない」「わからない」を尋ねた。

問 10 の変更一覧

質問項目の新規追加
(18) 自然に親しめる機会のあるくらし

18 項目の生活状況それぞれについてその分布を示しているのが図 3-4-1 である。「だいたいかなえられている」の回答を「達成の状況」の指標として分析した。

図 3-4-1 達成度と希望の状況（％）

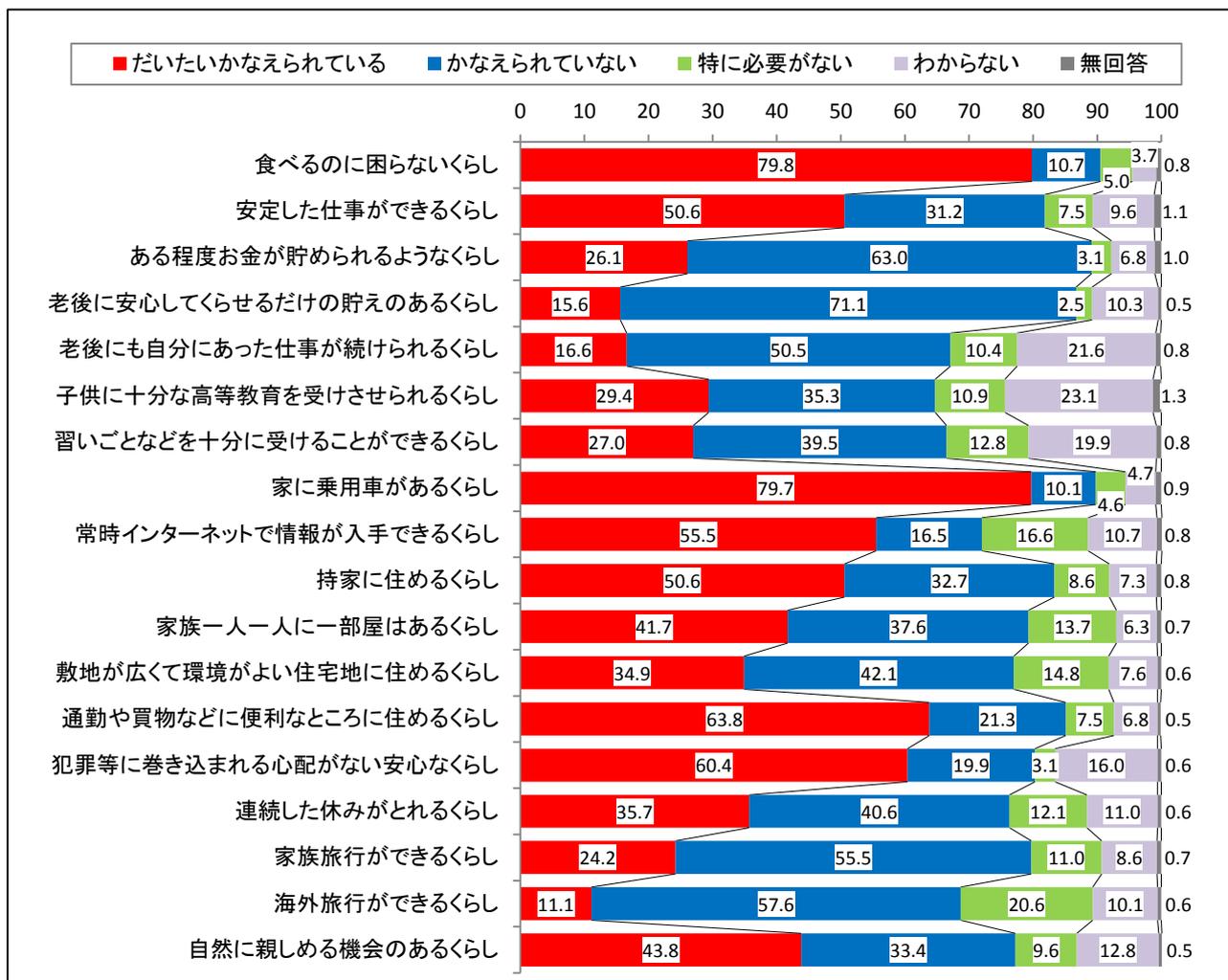


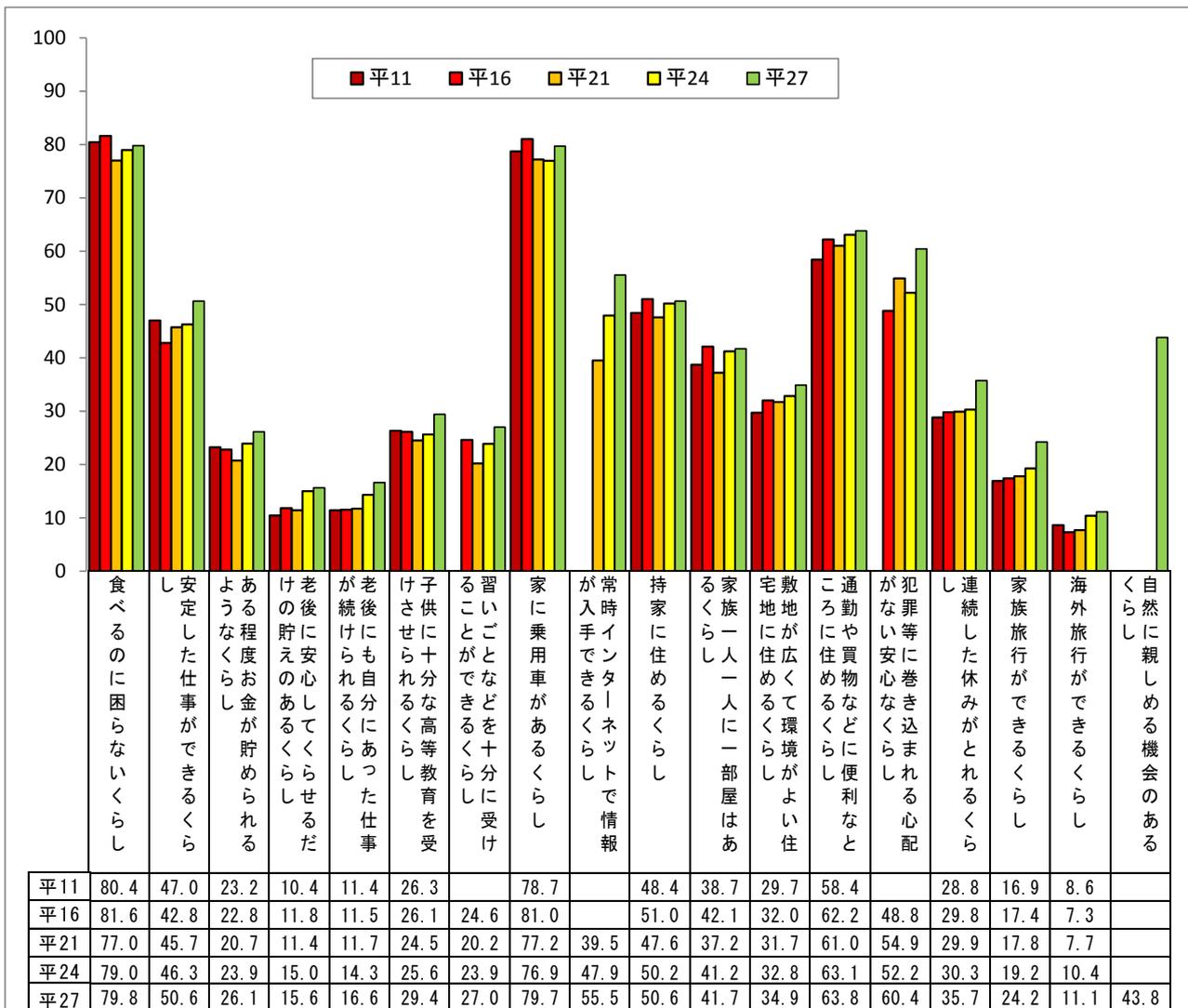
図 3-4-1 で県全体について見ると「だいたいかなえられている」とする「達成の状況」は「食べるのに困らないくらし」(79.8%)、「家に乗用車があるくらし」(79.7%)

が8割に近い数値に達していることがわかる。続いて、「通勤や通学、買物などに便利なところに住める暮らし」(63.8%)、「犯罪や事故に巻き込まれる心配がない安全・安心な暮らし」(60.4%)は6割台、「常時インターネットで外部の情報が手軽に入手できる暮らし」(55.5%)、「安定した仕事ができる暮らし」「持家に住める暮らし」(共に50.6%)が5割以上の達成度となっている。

生活状態の達成度を時系列で見たのが図3-4-2である。「食べるのに困らない暮らし」「家に乗用車がある暮らし」「通勤や通学、買物などに便利なところに住める暮らし」が前回同様上位3位に入り、それぞれ比率もわずかながら増加した。前回と同じく4位に入った「犯罪や事故に巻き込まれる心配がない安全・安心な暮らし」は8.2ポイントの増加となっている。また、前回6位の「常時インターネットで外部の情報が手軽に入手できる暮らし」は前回より7.6ポイント増加し、順位も5位に上がっている。

今回の調査結果で見るべきは、すべての項目で数値が前回より増加していることである。県民の生活状態の達成度は上がっているといえよう。

図3-4-2 生活状態の達成度(%)



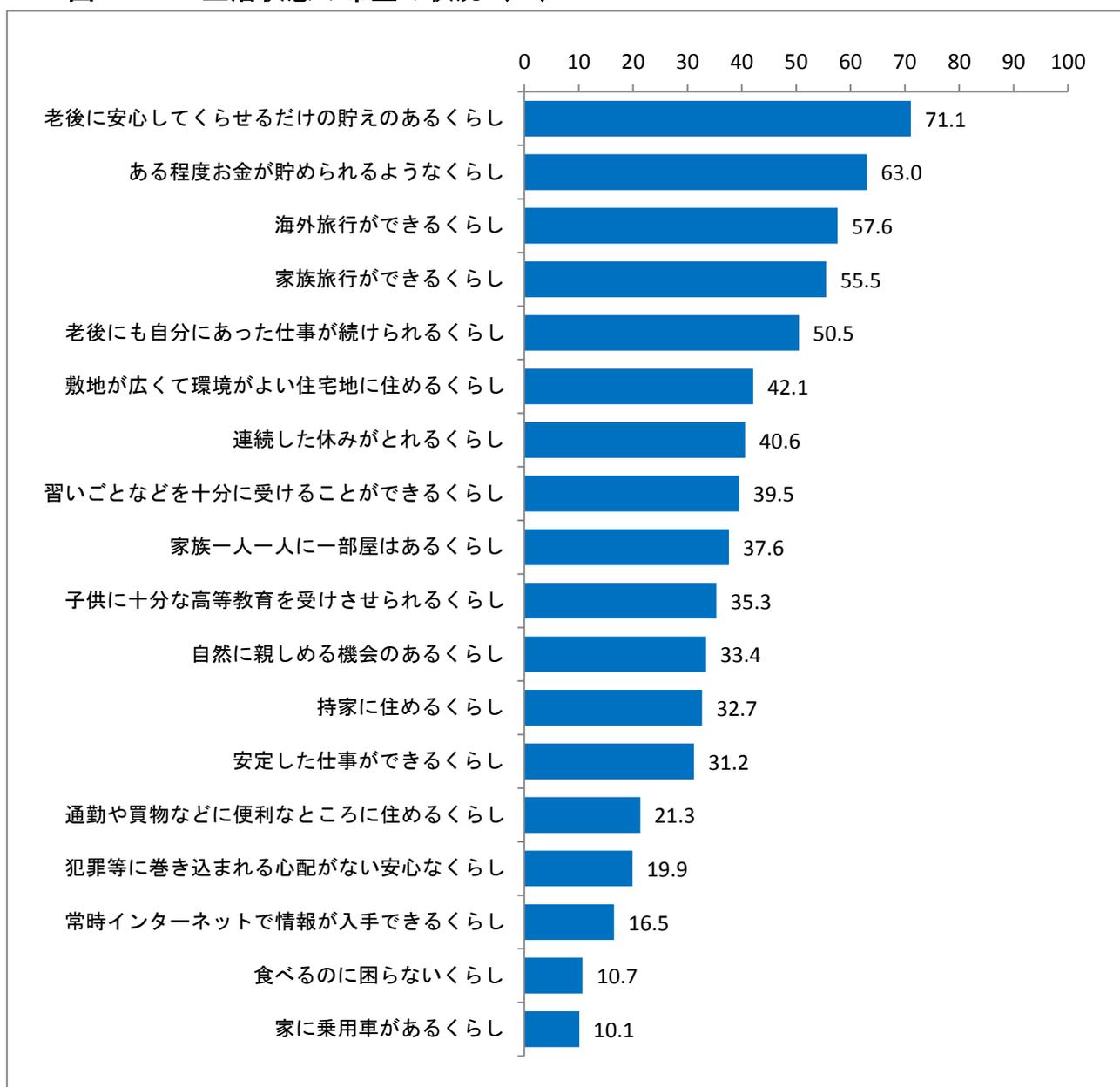
(2) 生活状態 希望の状況

生活状態について「希望しているがかなえられていない」とする「希望の状況」について見ていく。

図 3-4-3 で県全体について見ると、「希望しているがかなえられていない」とする比率、「希望の状況」は「老後に安心してくらせるだけの貯えのある暮らし」(71.1%)が最も高い。これに続いて「ある程度お金が貯められるよう暮らし」(63.0%)、「海外旅行ができる暮らし」(57.6%)、「家族旅行ができる暮らし」(55.5%)、「老後にも自分に合った仕事が続けられる暮らし」(50.5%)が5割以上となっている。

生活状態について県民は、貯蓄、旅行、老後の仕事に対する希望が高く、前回の調査とほぼ同じ傾向となっている。

図 3-4-3 生活状態の希望の状況 (%)



第4章 日常の生活空間に対する認識

第4章 日常の生活空間に対する認識

1. 居住地に対する希望（問7）

(1) 居住の意向（問7）

今住んでいるところに今後も住みたいと思うか、県民の居住に対する希望について、5つの選択肢から選んでもらった。

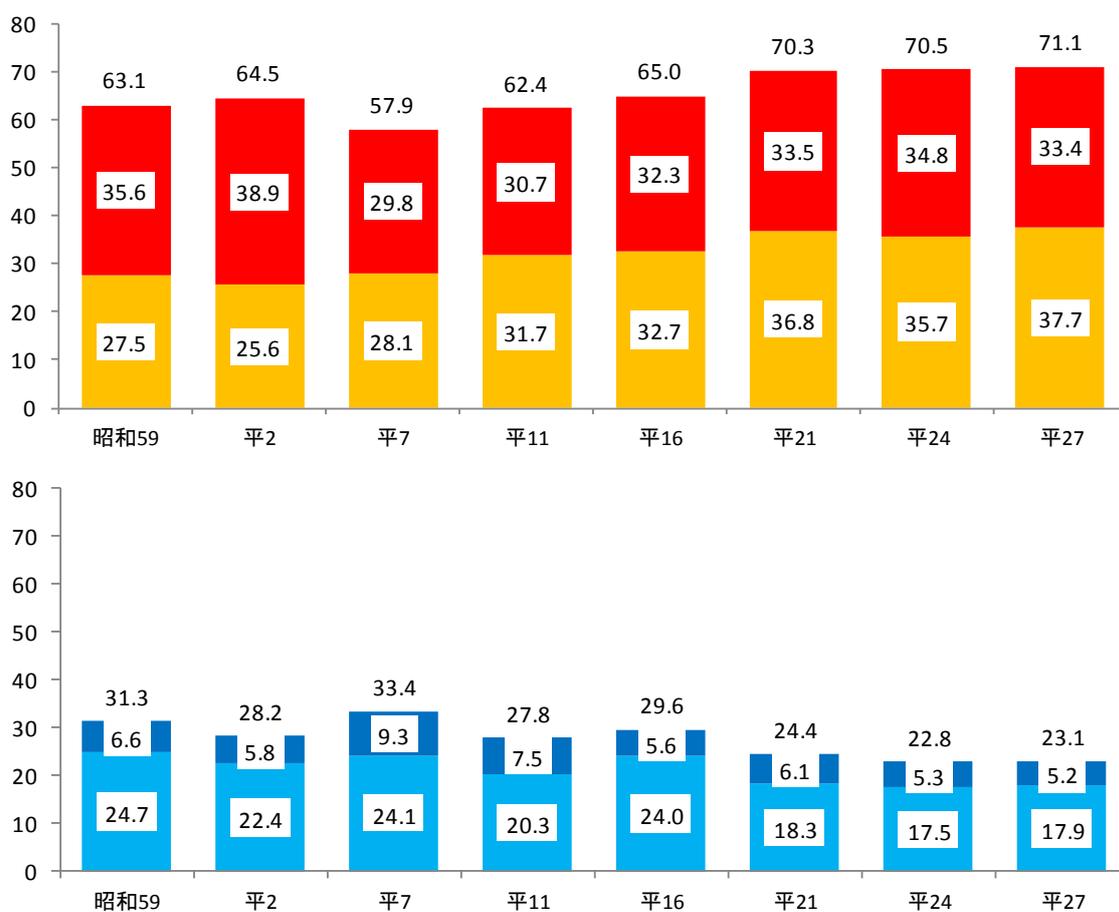
「いつまでも今住んでいるところに住みたい」と考えている「永住志向型」と「特に住み続けたいというほどではないがよそに移る気もない」と考えている「現住地居住志向型」の2つを「定住型」として、「できれば今すぐにでもよそへ移りたい」と考える「即移転志向型」と「いつかはよそへ移りたい」と考える「潜在的移転志向型」の2つを「移転型」に分類した。

また、そう考える理由や、よそに移りたいと回答した者についてはその移転希望先を5つの選択肢から選んでもらった。

「定住型」は前回と比較して0.6ポイント増の71.1%。「移転型」は前回と比較して0.3ポイント増の23.1%を示して県全体として今までと同様に移転意向より定住意向がより強いことを示している。

時系列で見ると、平成11年に「現住地居住志向型」は「永住志向型」と逆転して、「永住志向型」の比率を「現住地居住志向型」の比率が上回る傾向が今回まで継続している。

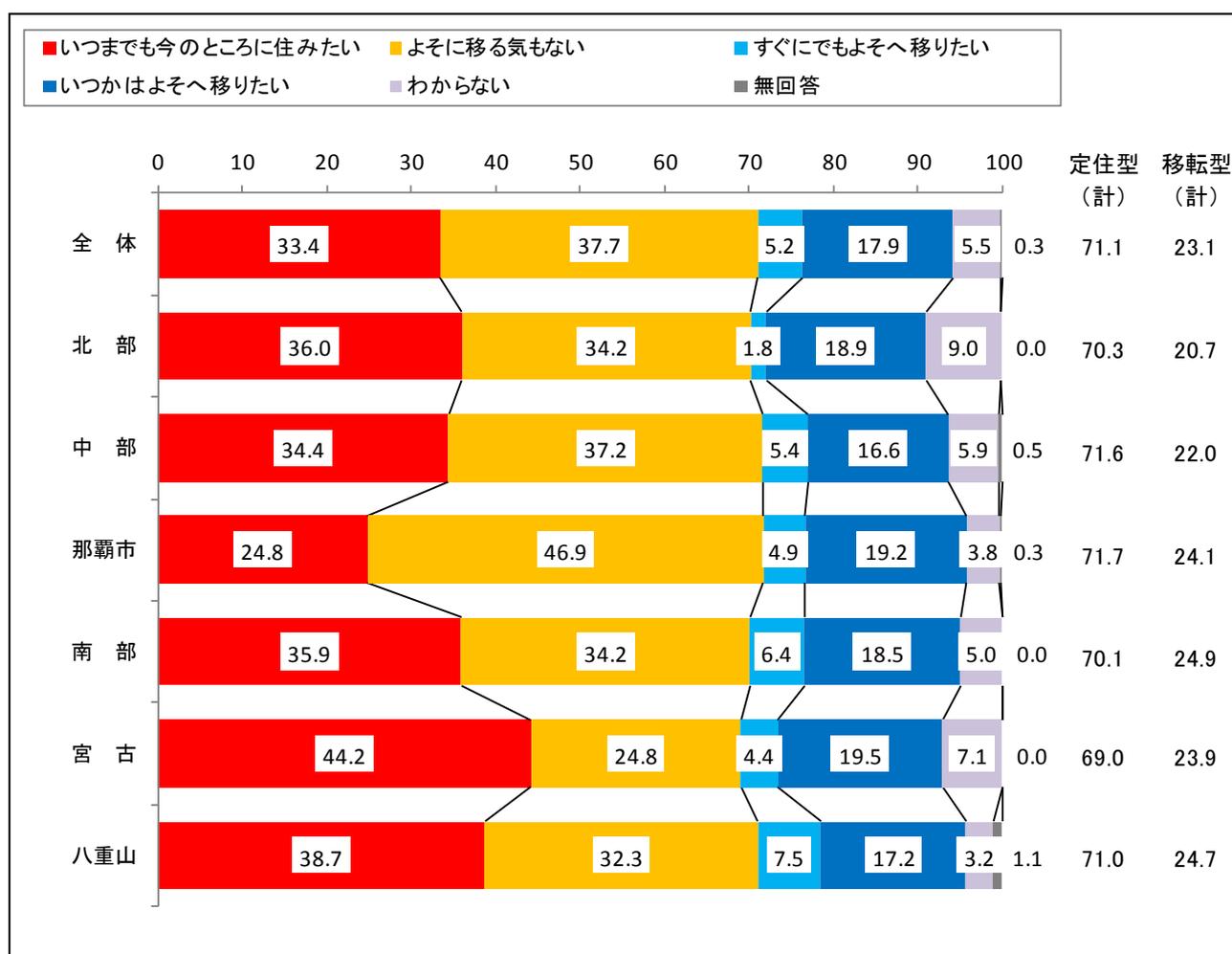
図 4-1-1 居住の意向 (%)



定住型	■ 永住志向型	いつまでも今住んでいるところに住みたい
	■ 現住地居住志向型	特に住み続けたいというほどではないがよそに移る気もない
移転型	■ 即移転志向型	できれば今すぐにでもよそへ移りたい
	■ 潜在的移転志向型	いつかはよそへ移りたい

居住の意向を地域別に見ると、すべての地域で「定住型」が7割前後、「移転型」が2割台前半とあまり差は見られない。「定住型」のうち、「いつまでも今のところに住みたい」は宮古で44.2%と最も高く、那覇市で24.8%と最も低くなっている。逆に「よそに移る気もない」は那覇市で46.9%と最も高く、宮古で24.8%と最も低くなっている。

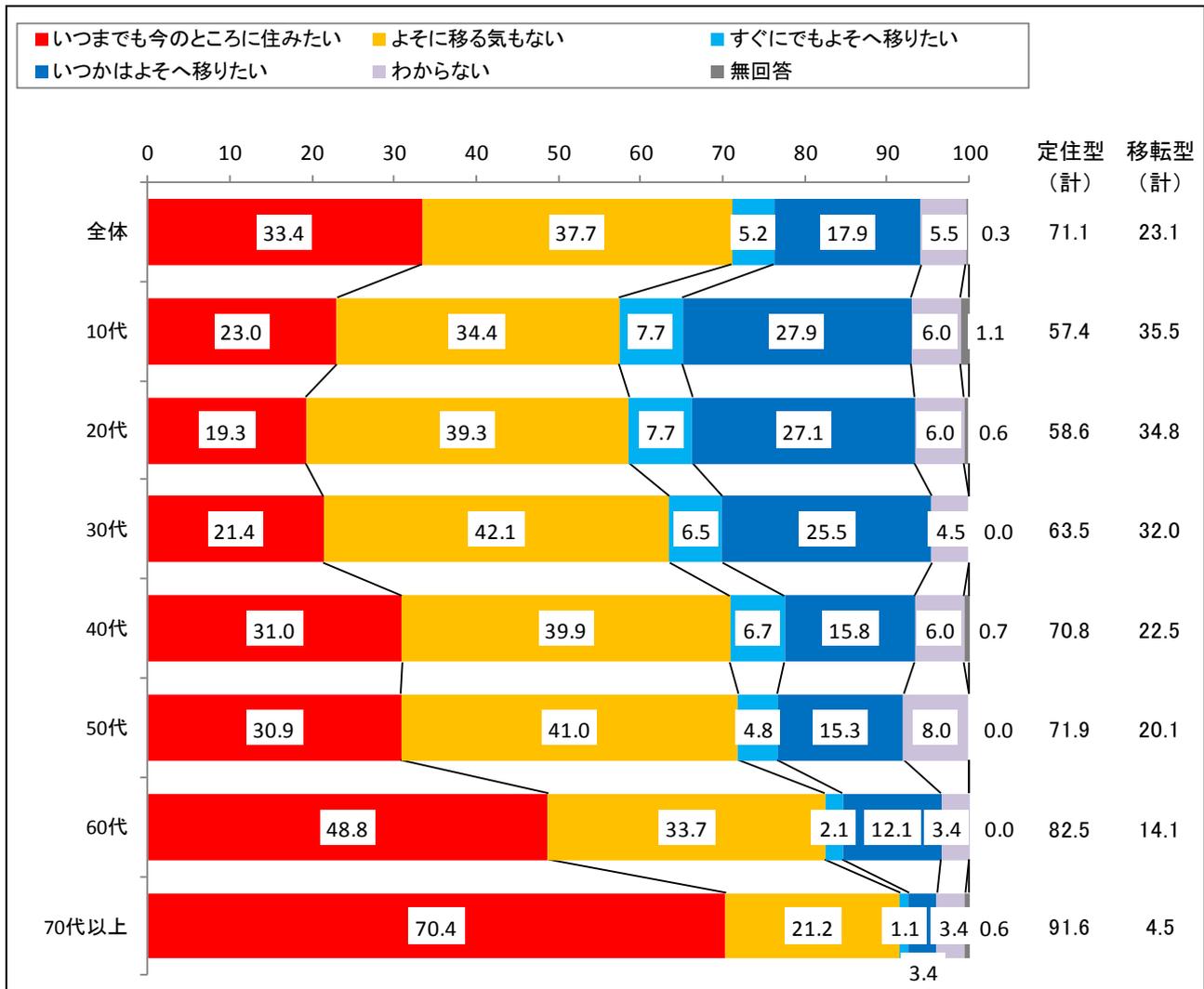
図 4-1-2 地域別 居住の意向 (%)



居住の意向を年代別に見ると、図4-1-3から明らかなように、年代が上がるほど、定住の意向が強くなる。「定住型」は10代で57.4%、20代で58.6%と最も低く、年代が上がるにつれて高くなり、30代(63.5%)で6割台、40代(70.8%)、50代(71.9%)で7割台、60代(82.5%)で8割台、70代以上(91.6%)で9割を超える。

これに対して、「いつかはよそへ移りたい」と考えている人は年代が下がるほど比率が高くなり、30代(25.5%)、20代(27.1%)、10代(27.9%)が2割を超えている。

図4-1-3 年代別 居住の意向 (%)

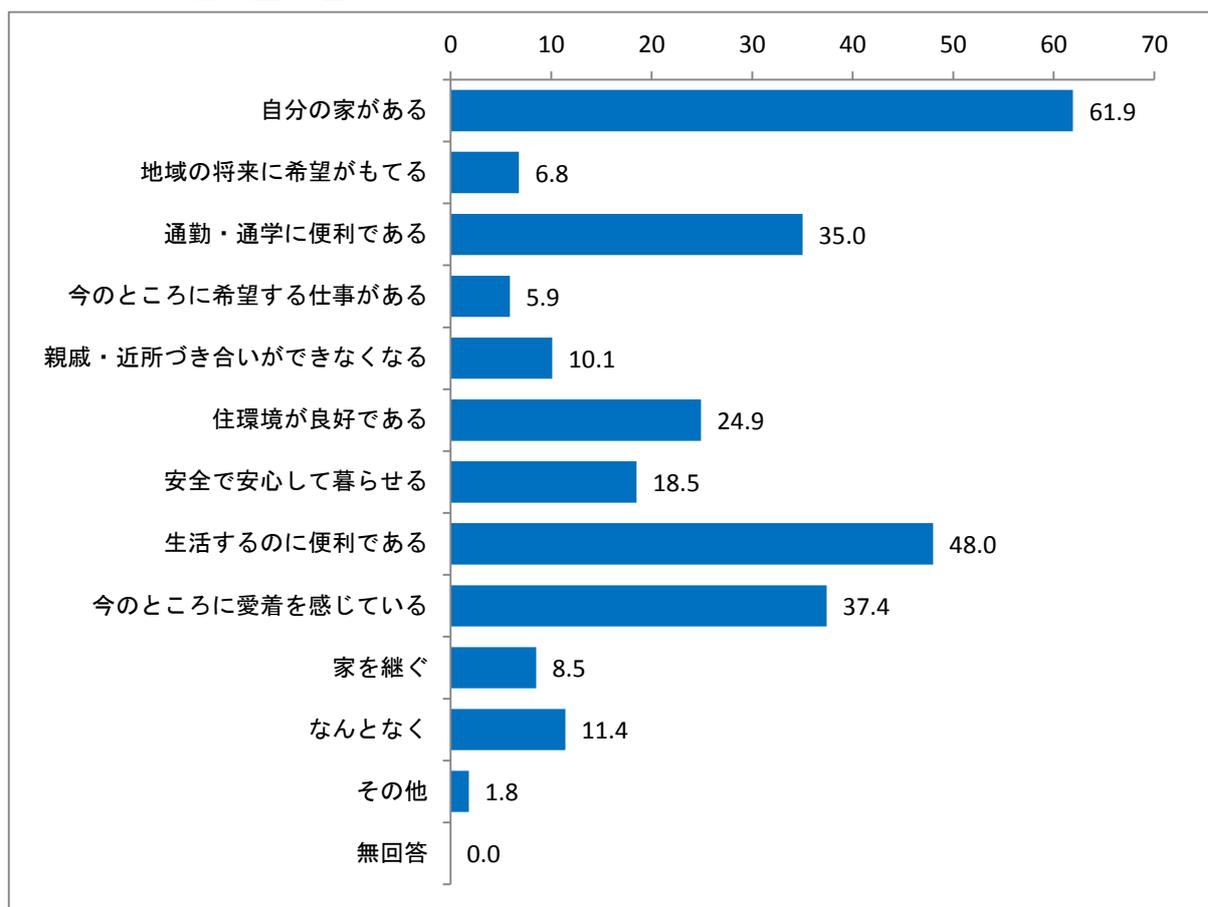


(2) 定住希望の理由 (問 7-1)

「定住型」の回答者に対して、定住を希望する理由を3つ選択してもらった。

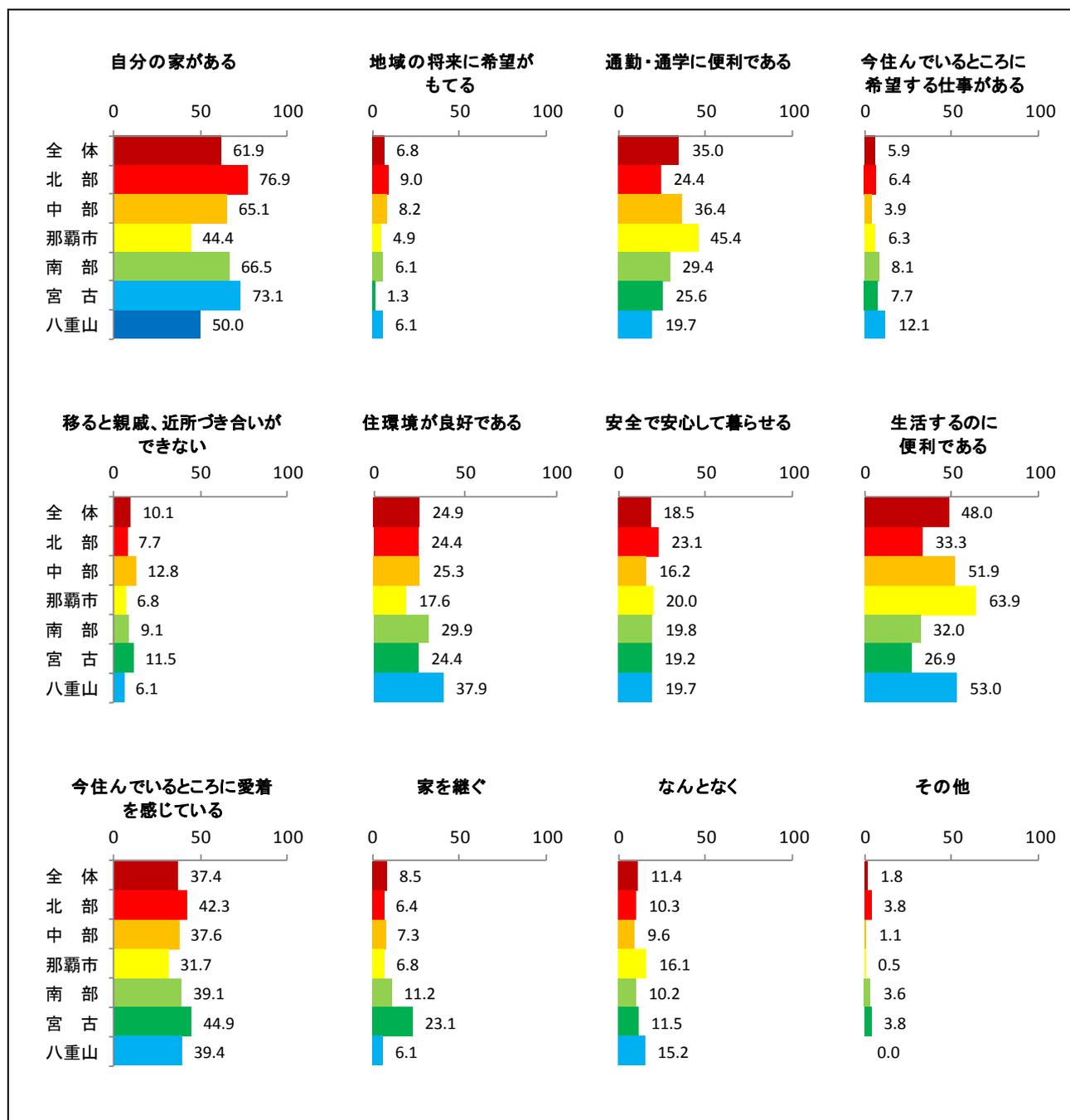
前回の結果と同じように「自分の家がある」(61.9%)が最も高く、続いて「生活するのに便利である」(48.0%)、「今住んでいるところに愛着を感じている」(37.4%)、「通勤・通学に便利である」(35.0%)が上位に挙げられている。この傾向は前回調査と同様であるが、3位の「今住んでいるところに愛着を感じている」の比率が前回調査の50.2%から今回は37.4%と12.8ポイントの低下となっている。

図 4-1-4 定住希望の理由 (%)



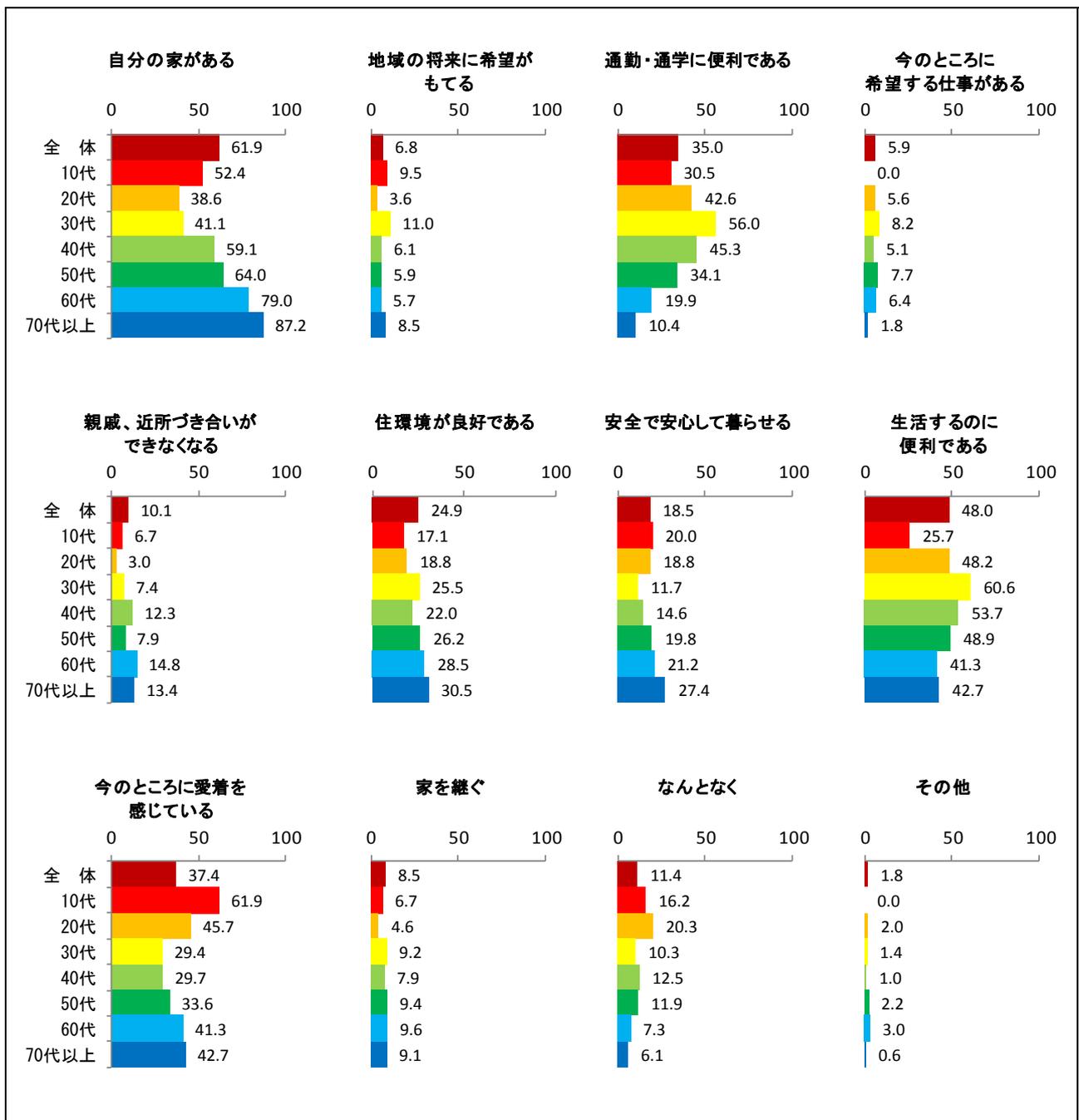
定住希望の理由を地域別に見たものが図4-1-5である。全体で最も高い数値を示した「自分の家がある」という理由は那覇市で44.4%、八重山で50.0%と他の地域より低くなっているが、北部で76.9%、宮古で73.1%と高く、地域差が大きい。「生活するのに便利である」「通勤・通学に便利である」は、那覇市でそれぞれ63.9%、45.4%と他の地域に比べ高く、那覇市では生活の利便性を挙げた人が多い。このほか、「住環境が良好である」は八重山で37.9%、「家を継ぐ」は宮古で23.1%と高いことが特徴的である。

図4-1-5 地域別 定住希望の理由 (%)



年代別で定住希望の理由を見たものが図 4-1-6 である。「自分の家がある」と回答したのは、20代で 38.6%と最も低く、それ以降年代が上がるにしたがって比率が高くなり、60代で 79.0%、70代以上で 87.2%と、年齢が高くなるほど自分の持家での定住意向が高まることを表している。「通勤・通学に便利である」と回答したのは、30代が 56.0%と最も高く、次いで 40代が 45.3%、20代が 42.6%と通勤・通学の当事者と考えられる年代で高くなっている。「生活するのに便利である」は、30代で 60.6%、40代で 53.7%と他の年代よりも高くなっている。「今住んでいるところに愛着を感じている」は、10代で 61.9%と最も高くなっている。

図 4-1-6 年代別 定住希望の理由 (%)

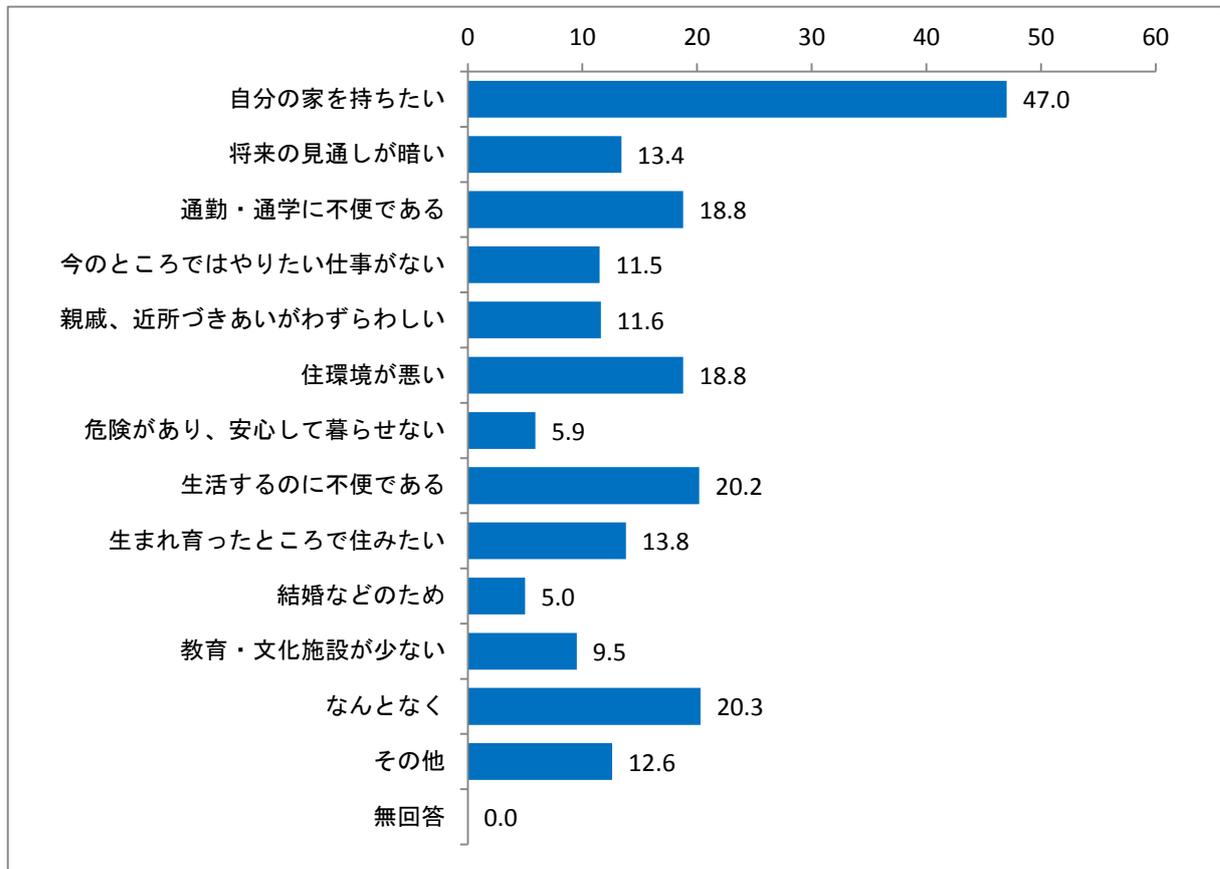


(3) 移転希望の理由 (問 7-2)

「移転型」の回答者に対して、移転を希望する理由を3つ選択してもらった。

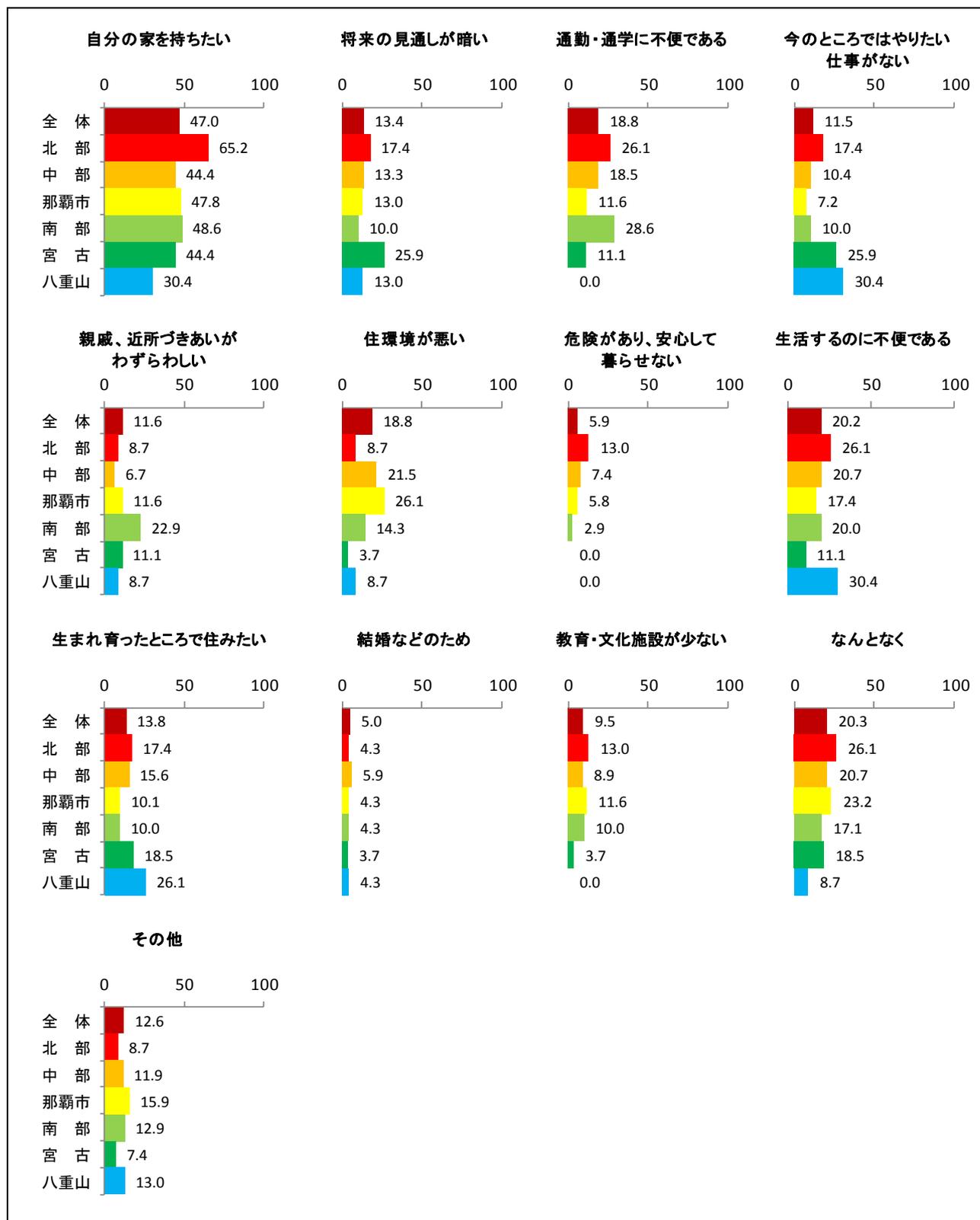
前回同様「自分の家を持ちたい」(47.0%)が最も高く、他の理由を大きく離している。「なんとなく」(20.3%)という回答を除くと、「生活するのに不便である」(20.2%)、「通勤・通学に不便である」「住環境が悪い」(共に18.8%)を理由とする人が多い。しかし、前回調査と比較すると、「自分の家を持ちたい」「住環境が悪い」「今住んでいる地域は将来の見通しが暗い」の比率は減少した。一方、「通勤・通学に不便である」「生活するのに不便である」「教育・文化施設が少ない」「結婚などのため」「親戚、近所づきあいがわずらわしい」の比率は増加した。

図 4-1-7 移転希望の理由 (%)



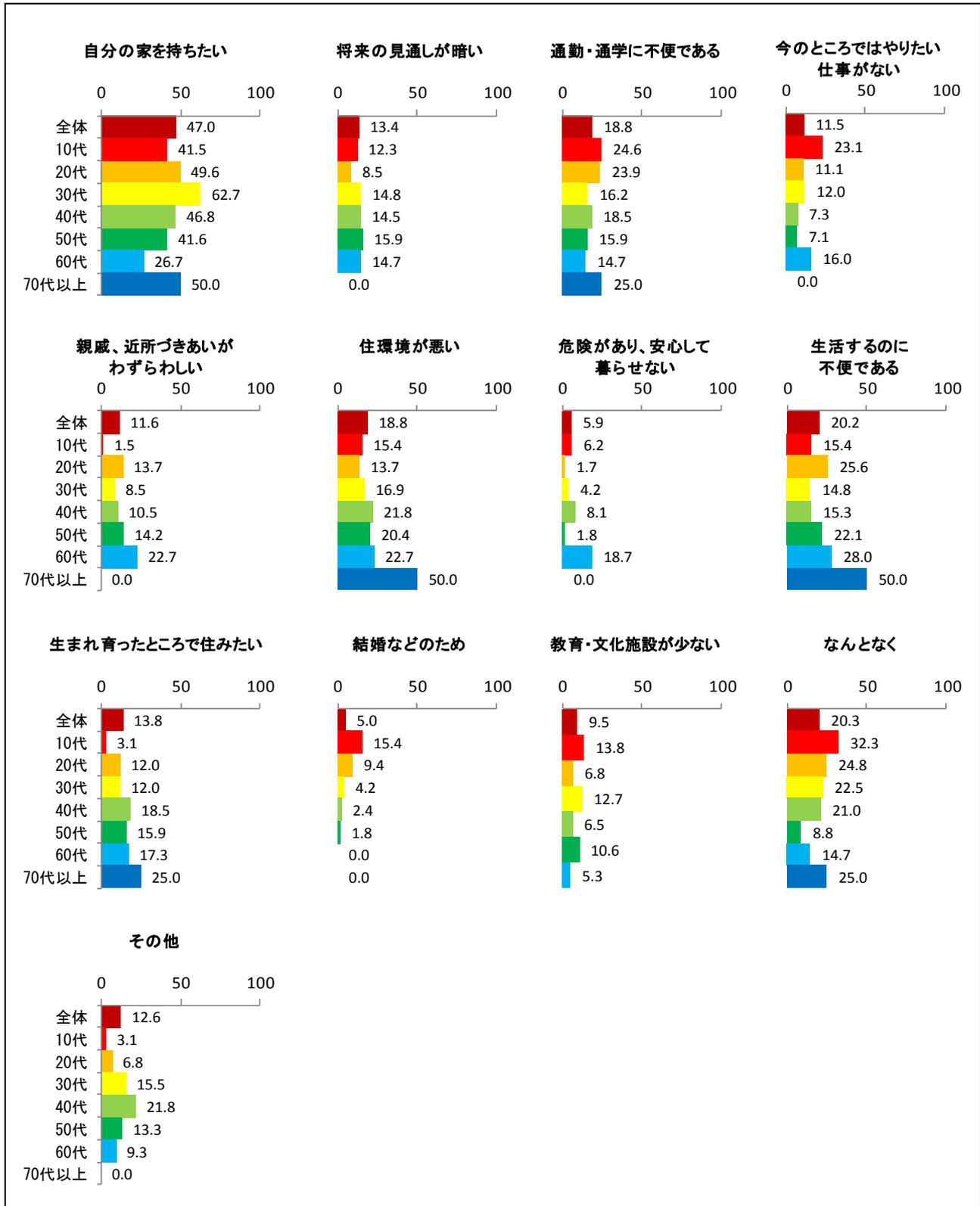
移転希望の理由を地域別で見たものが図 4-1-8 である。「自分の家を持ちたい」ことを理由に移転を希望するのは、北部で65.2%と高くなっている。「通勤・通学に不便である」は南部で28.6%、北部で26.1%、「生活するのに不便である」は八重山で30.4%、北部で26.1%と高い。「今のところではやりたい仕事がない」は八重山で30.4%、宮古で25.9%と高い。「将来の見通しが暗い」は宮古で25.9%、「親戚、近所づきあいがわずらわしい」は南部で22.9%とそれぞれ他の地域より高い。「住環境が悪い」は那覇市で26.1%、中部で21.5%と高い。

図4-1-8 地域別 移転希望の理由 (%)



移転希望の理由を年代別で見たものが図 4-1-9 である。「自分の家を持ちたい」を移転希望の理由として一番多く答えたのは30代であり 62.7%となっている。「通勤・通学に不便である」「今のところではやりたい仕事がない」は年代の低い層で高くなっている。「生活するのに不便である」は20代と50代以上で他の年代より高くなっている。

図 4-1-9 年代別 移転希望の理由 (%)

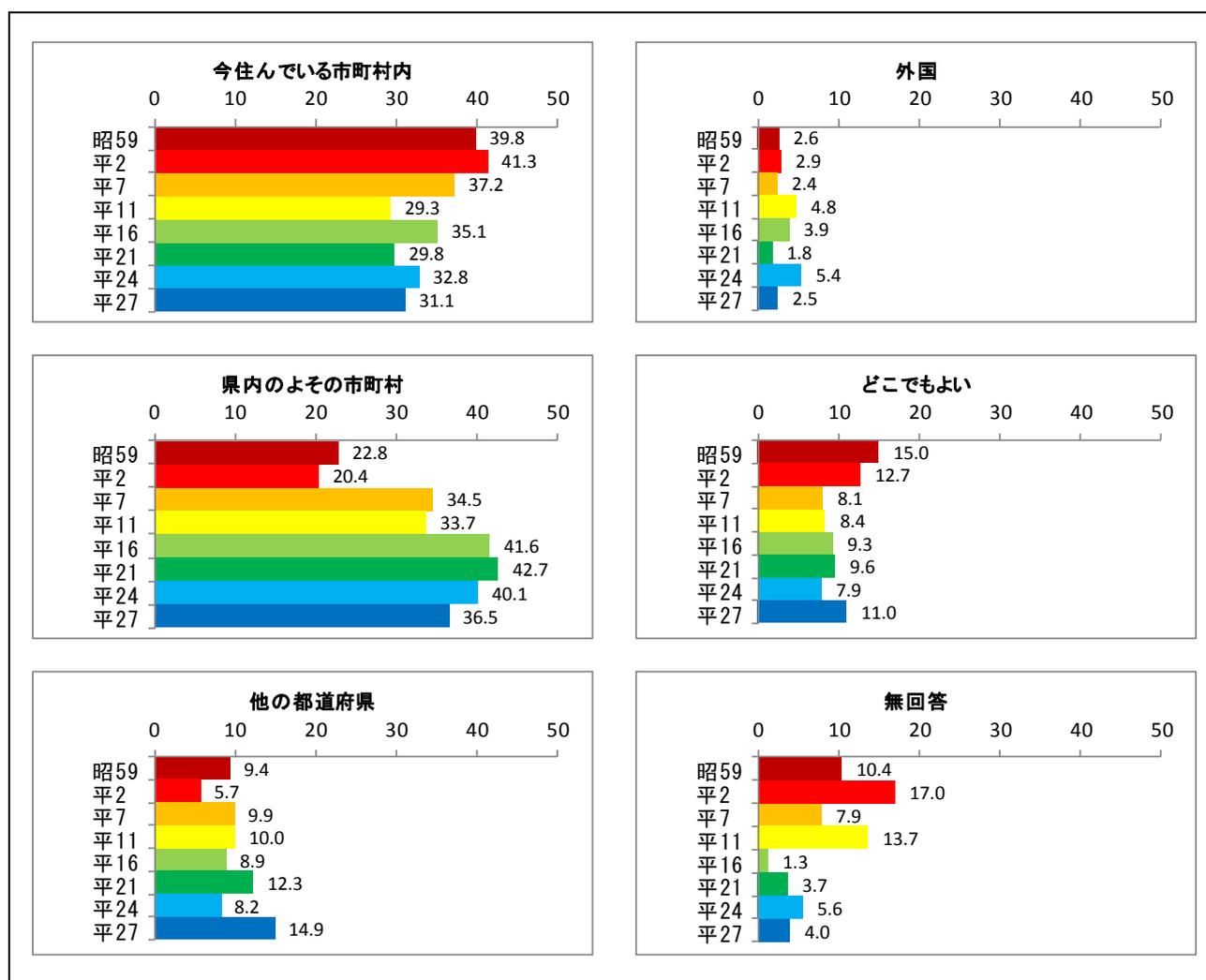


(4) 移転希望先（問7-3）

さらに「移転型」の回答者に対して移りたい場所を5つの選択肢から選んでもらった。移転希望先の1位は、「県内のよその市町村」（36.5%）で、2位は「今住んでいる市町村内」（31.1%）で前回とその順位は変わらないが、両者の差は年々縮まっている。

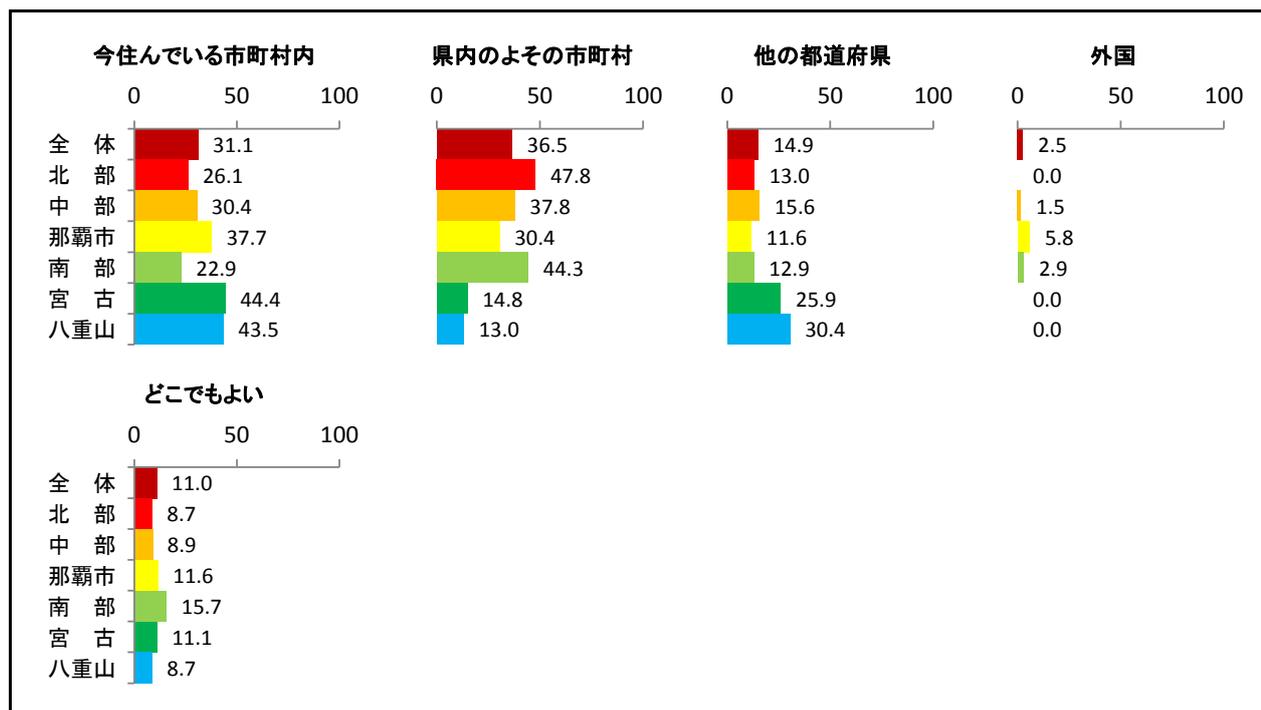
この両者をあわせた「県内移転希望」は67.7%と前回の72.9%から低下している。「ほかの都道府県」（14.9%）、「どこでもよい」（11.0%）とは大きな差が見られるが、前回調査からは「他の都道府県」が6.7ポイント、「どこでもよい」が3.1ポイント増加している。

図 4-1-10 時系列による移転希望先（%）



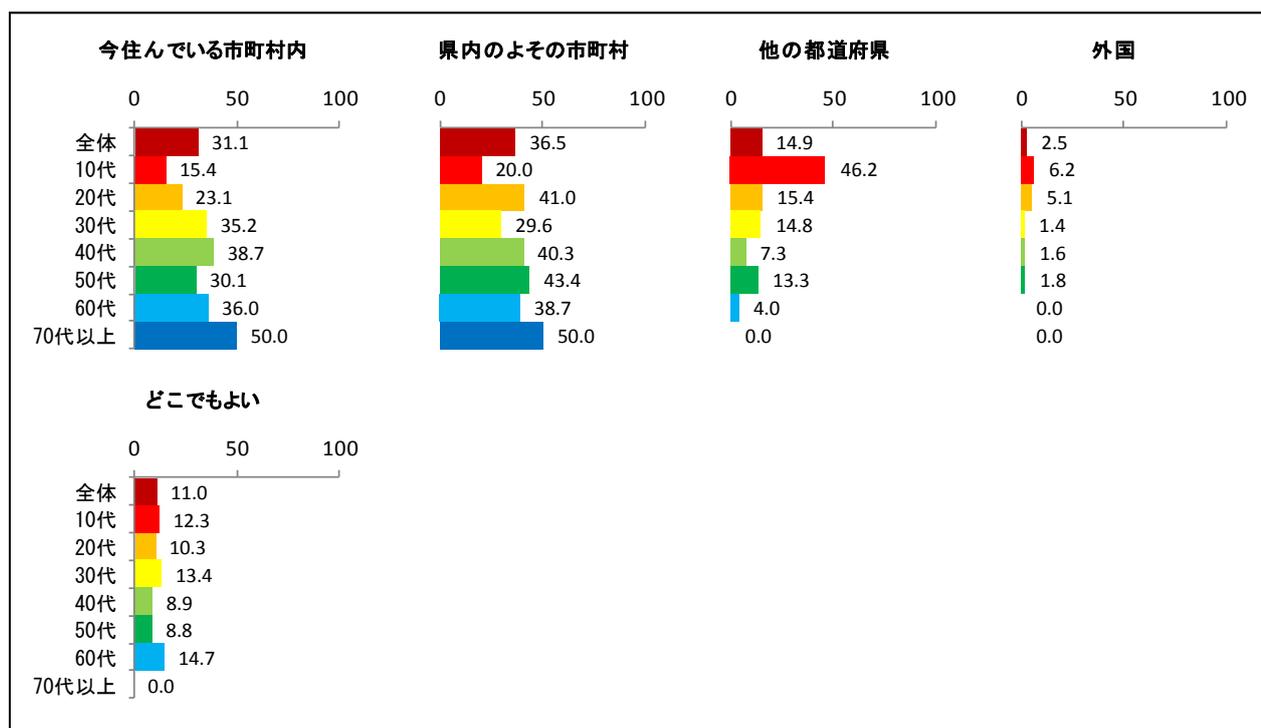
地域別に移転希望先を見たものが図 4-1-11 である。「県内のよその市町村」は北部（47.8%）、南部（44.3%）で高く、宮古（14.8%）、八重山（13.0%）で低い。宮古、八重山では「今住んでいる市町村内」が44.4%、43.5%を4割を超え、最も高い移転先の希望となっている。同じく那覇市でも「今住んでいる市町村内」が37.7%となり、「県内のよその市町村」の30.4%を上回る。また、「他の都道府県」は宮古（25.9%）、八重山（30.4%）で高くなっている。

図 4-1-11 地域別 移転希望先 (%)



移転先希望を年代別に見たものが図 4-1-12 である。「今住んでいる市町村内」は 30 代(35.2%)、40 代(38.7%)、60 代(36.0%)で、「県内のよその市町村」は 20 代(41.0%)、40 代(40.3%)、50 代(43.4%) で高くなっている。「他の都道府県」は 10 代で 46.2% と目立って高い。

図 4-1-12 年代別 移転希望先 (%)



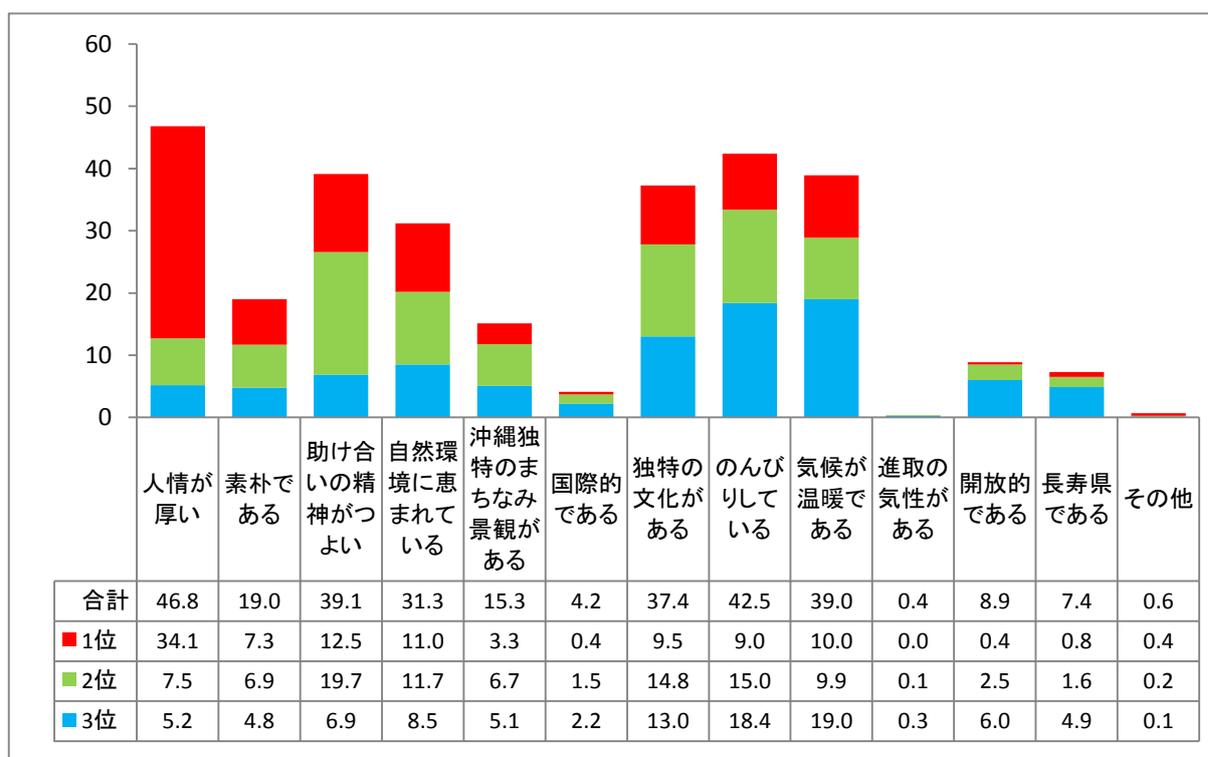
2. 県（民）の長所・短所（問8）

(1) 県（民）の長所（問8-1）

本県あるいは県民の「長所」についてどのように認識しているか、13の選択肢の中から1位、2位、3位と順位をつけて3つを選択してもらった。

県（民）の長所をどう意識しているか県全体で見てみたのが図4-2-1である。前回同様「人情が厚い」（46.8%）を長所ととらえている比率が最も高い。以下、「のんびりしている」（42.5%）、「助け合いの精神が強い」（39.1%）、「気候が温暖である」（39.0%）、「独特の文化がある」（37.4%）、「自然環境に恵まれている」（31.3%）などの項目が高くなっている。

図4-2-1 県（民）の長所（%）

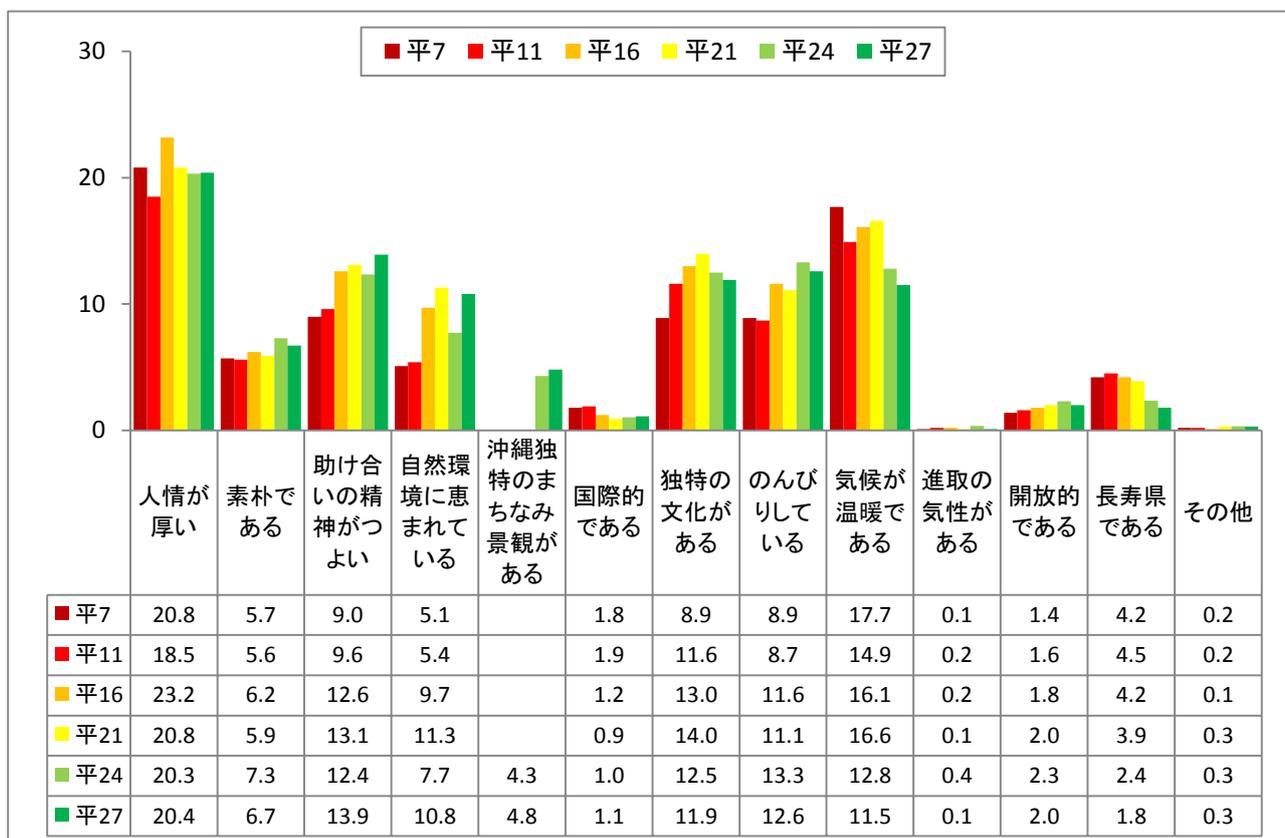


選択された長所を総合的に評価するため、1位に3点、2位に2点、3位に1点のウェイトづけをして、各長所の加重平均を求め県全体の評価を示し、さらにそれを時系列で見たものが図4-2-2である。

長所として最も高い数値を示している項目は「人情が厚い」(20.4)であり、前回調査の20.3とほぼ同水準となっている。次いで、「助け合いの精神がつよい」(13.9)、「のんびりしている」(12.6)、「独特の文化がある」(11.9)、「気候が温暖である」(11.5)、「自然環境に恵まれている」(10.8)が続いている。1位の「人情が厚い」のみ20を超え、他の項目は10台の数値となっている。

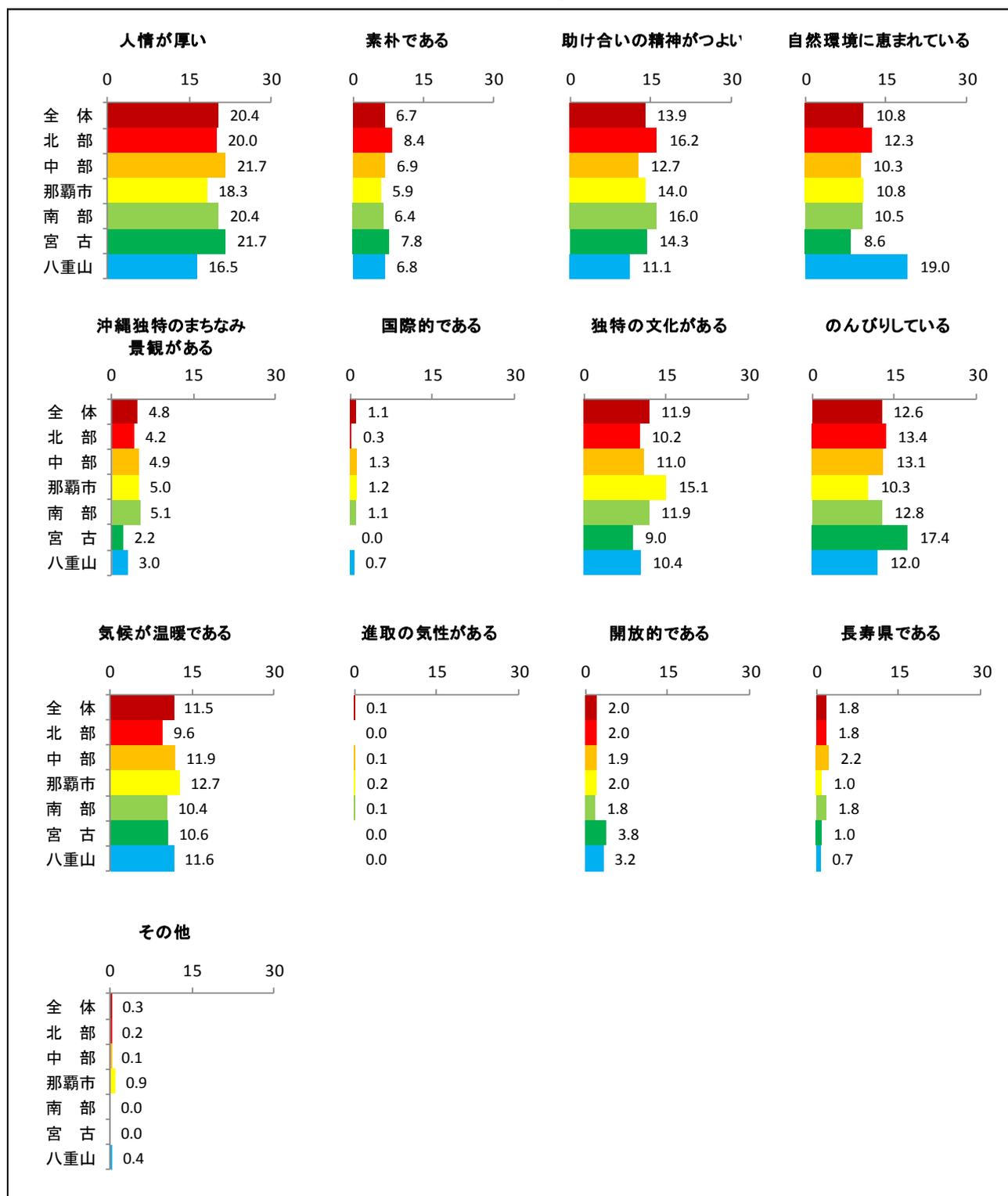
前回調査と比較すると、「自然環境に恵まれている」は、前回調査で11.3から7.7へ減少したが、今回調査で10.8へと増加した。そのほかでは「助け合いの精神がつよい」が12.4から13.9へとやや増加し、「気候が温暖である」が12.8から11.5へとやや減少した。

図4-2-2 県(民)の長所(加重平均)



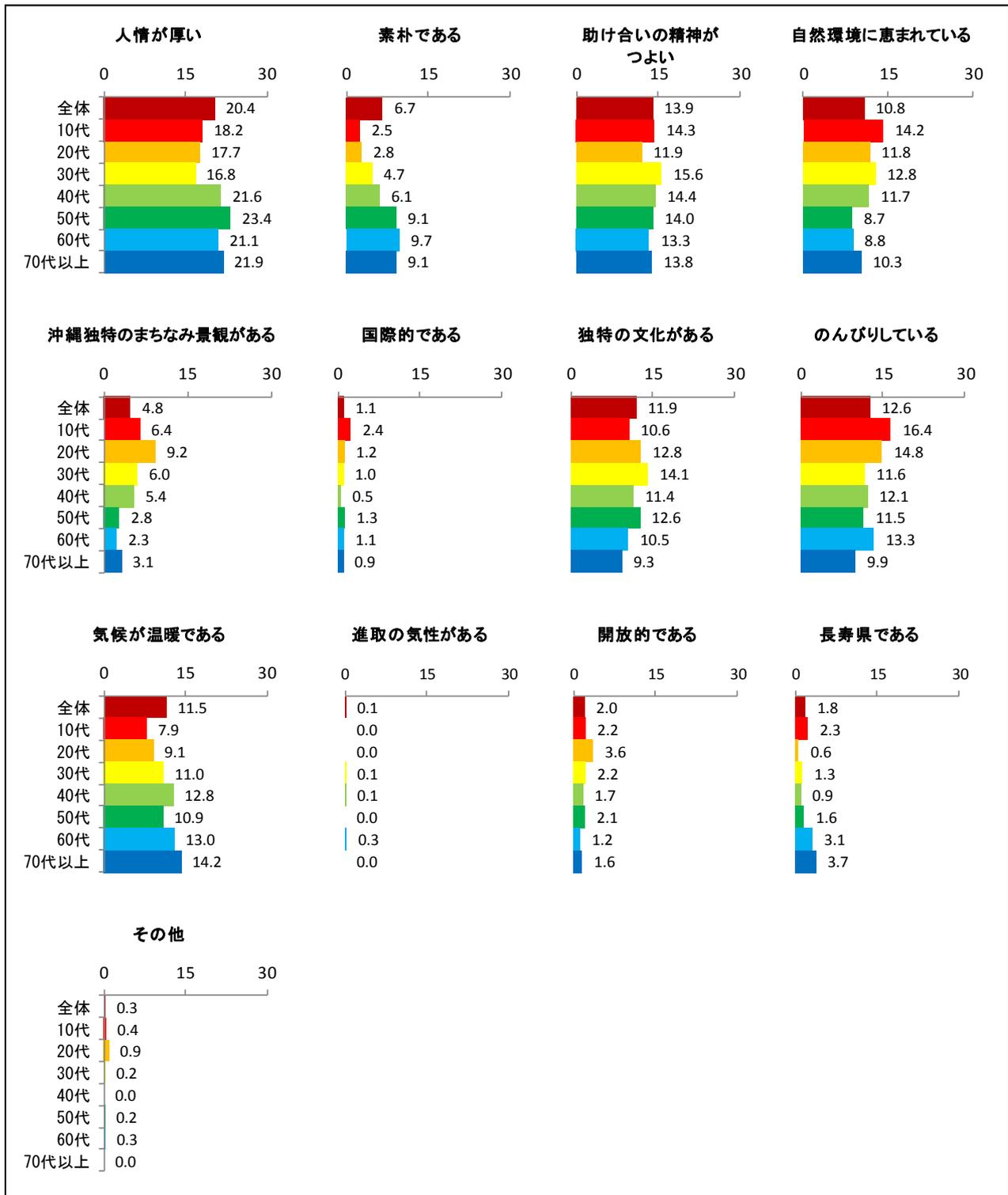
県（民）の長所をどう認識しているかを地域別で見たのが図 4-2-3 である。最も特徴的なのは「自然環境に恵まれている」で八重山が 19.0 と他の地域より高い値となっていることである。全体で最も高い「人情が厚い」は八重山を除く地域では、20 前後と他の項目を上回り最も高い値となっている。その他の項目では「助け合いの精神がつよい」は北部（16.2）と南部（16.0）で、「独特の文化がある」は那覇市（15.1）で、「のんびりしている」は宮古（17.4）でそれぞれ他の地域より高くなっている。

図 4-2-3 地域別 県（民）の長所（加重平均）



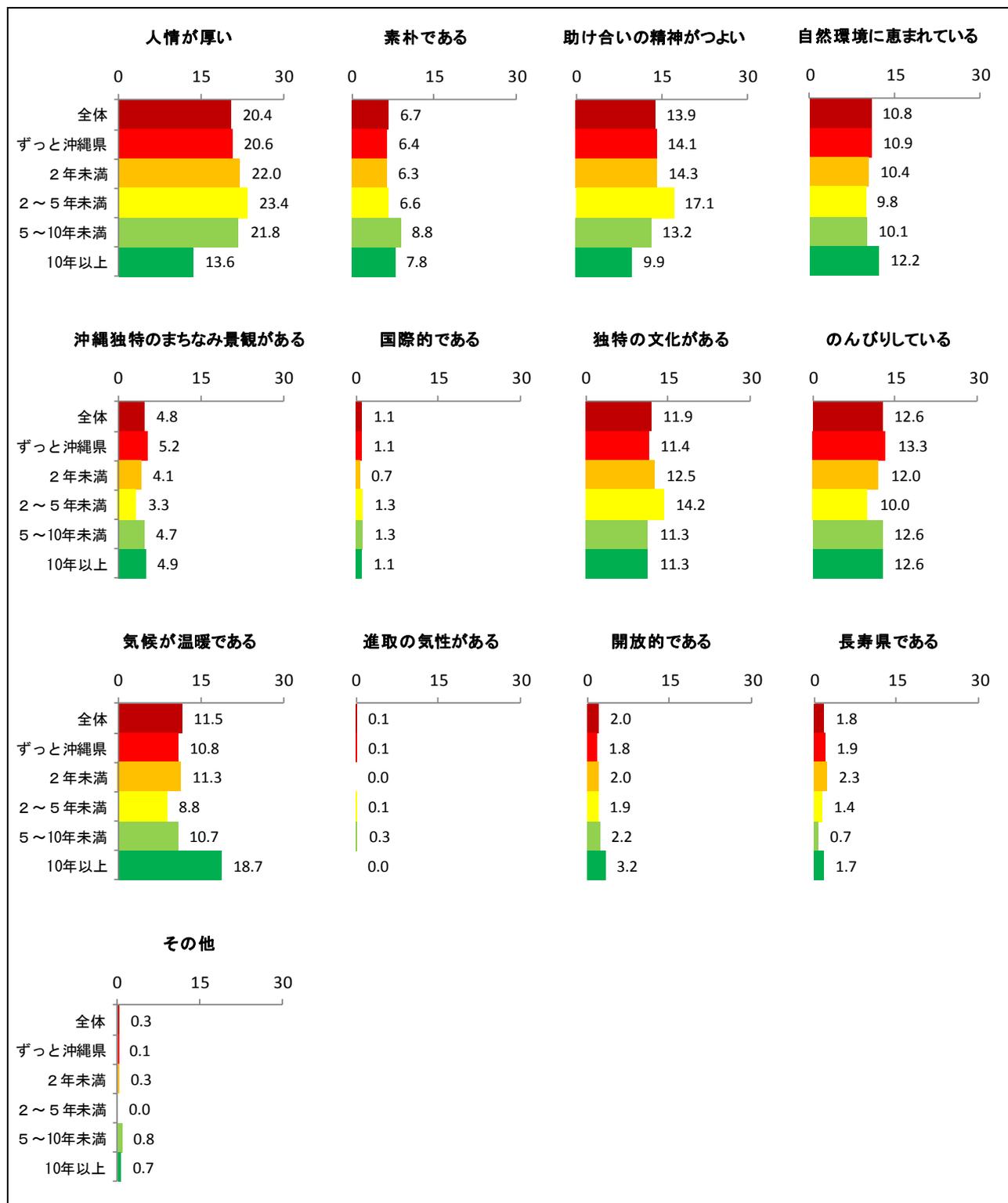
県（民）の長所の認識を年代別で見たのが図 4-2-4 である。「人情が厚い」はどの年代においても長所として高い値となっている。40 代以上では 20 台の値となっているのに対し、30 代以下の年代では 10 台の値となり、年代差が見られる。「素朴である」は 40 代以下に比べ 50 代以上で高くなっている。「自然環境に恵まれている」「のんびりしている」は若年層で高くなっている。その他は、「沖縄独特のまちなみ景観がある」は 20 代で高くなっている。

図 4-2-4 年代別 県（民）の長所（加重平均）



県外居住経験の年数によって県（民）の長所の認識に差が出てくるかどうかを見たのが図4-2-5である。県外居住経験が10年以上の人では「人情が厚い」の値が13.6と他の層に比べ低くなり、「気候が温暖である」が18.7と最も高くなっている。

図4-2-5 県外居住経験 県（民）の長所（加重平均）

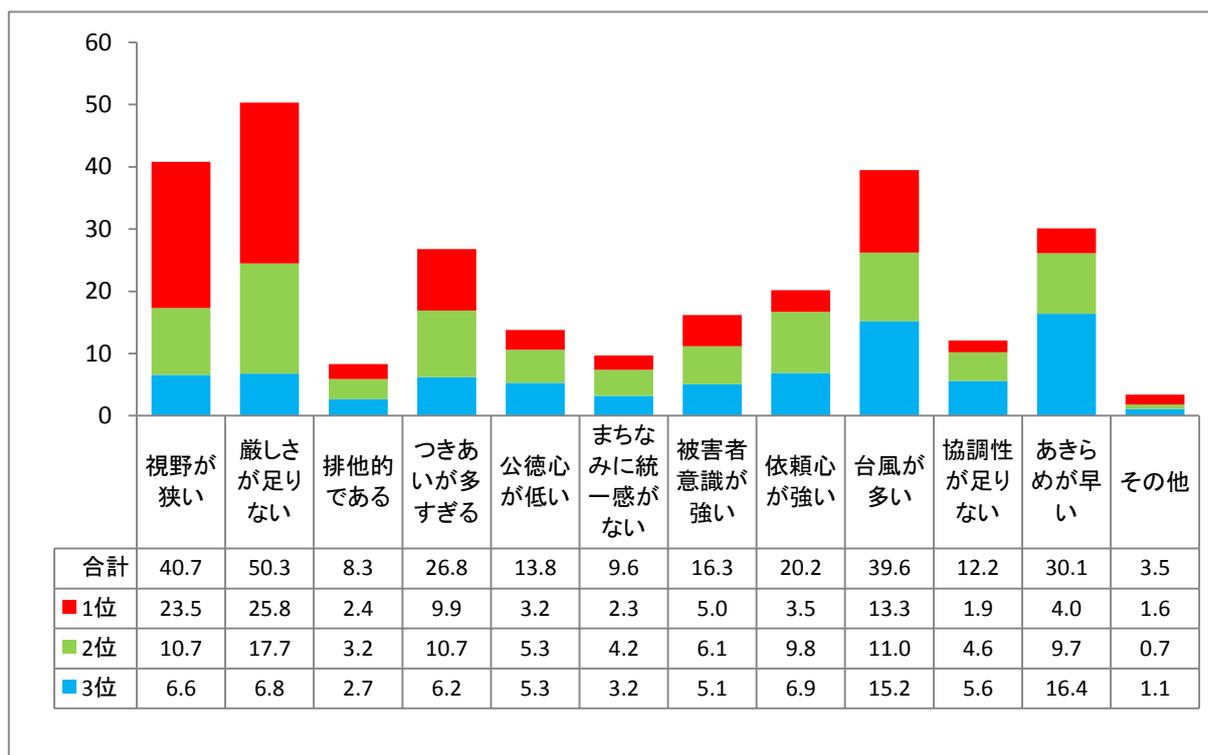


(2) 県（民）の短所（問8-2）

長所と同様に、本県あるいは県民の「短所」について、12の選択肢から順位をつけて3つを選択してもらったのが図4-2-6である。

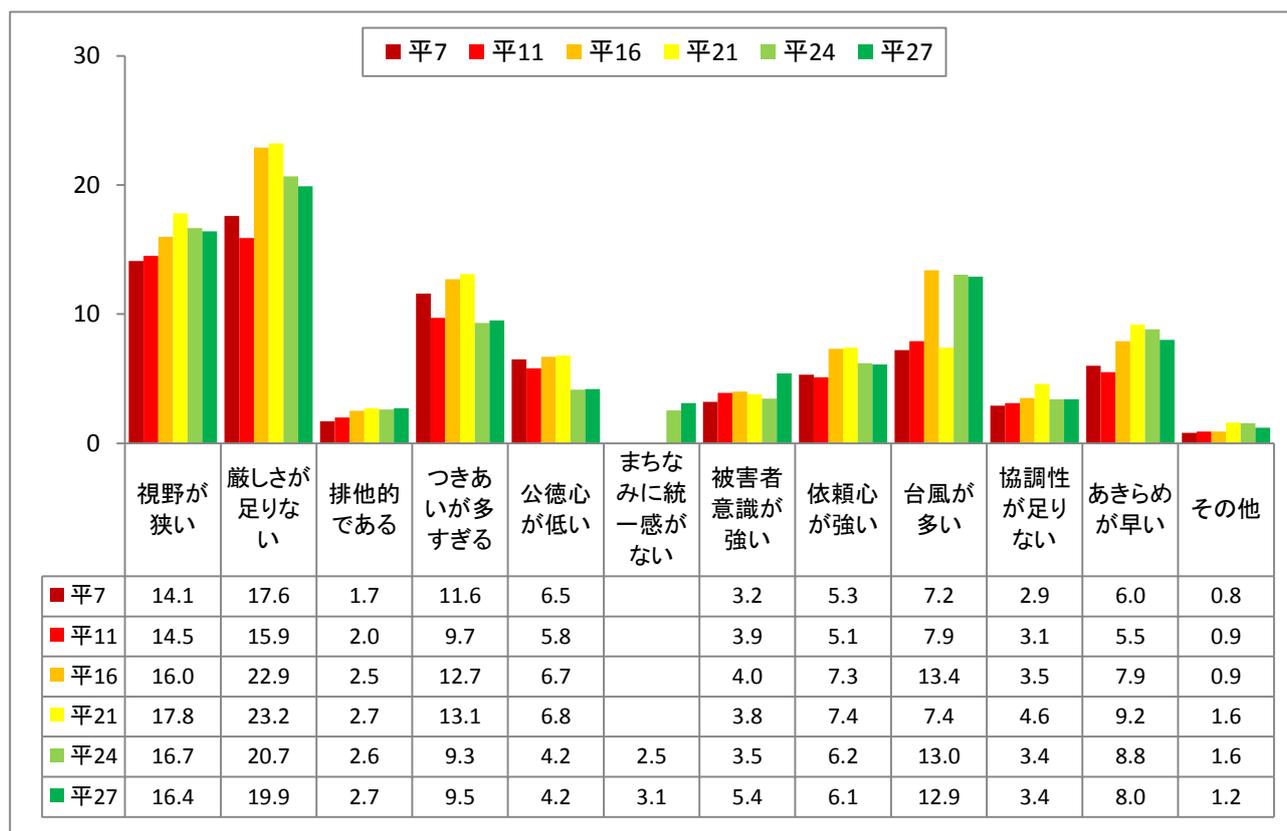
「厳しさが足りない」が短所として最も高い比率（50.3%）となっている。次いで「視野が狭い」（40.7%）、「台風が多い」（39.6%）が続く。ここまでの3項目は、1位として挙げられた比率が高い項目が合計値でも順になって並んでいる。「あきらめが早い」（30.1%）は合計値では4番目に高いが、1位として挙げた人は4.0%と少ない。

図4-2-6 県（民）の短所（%）



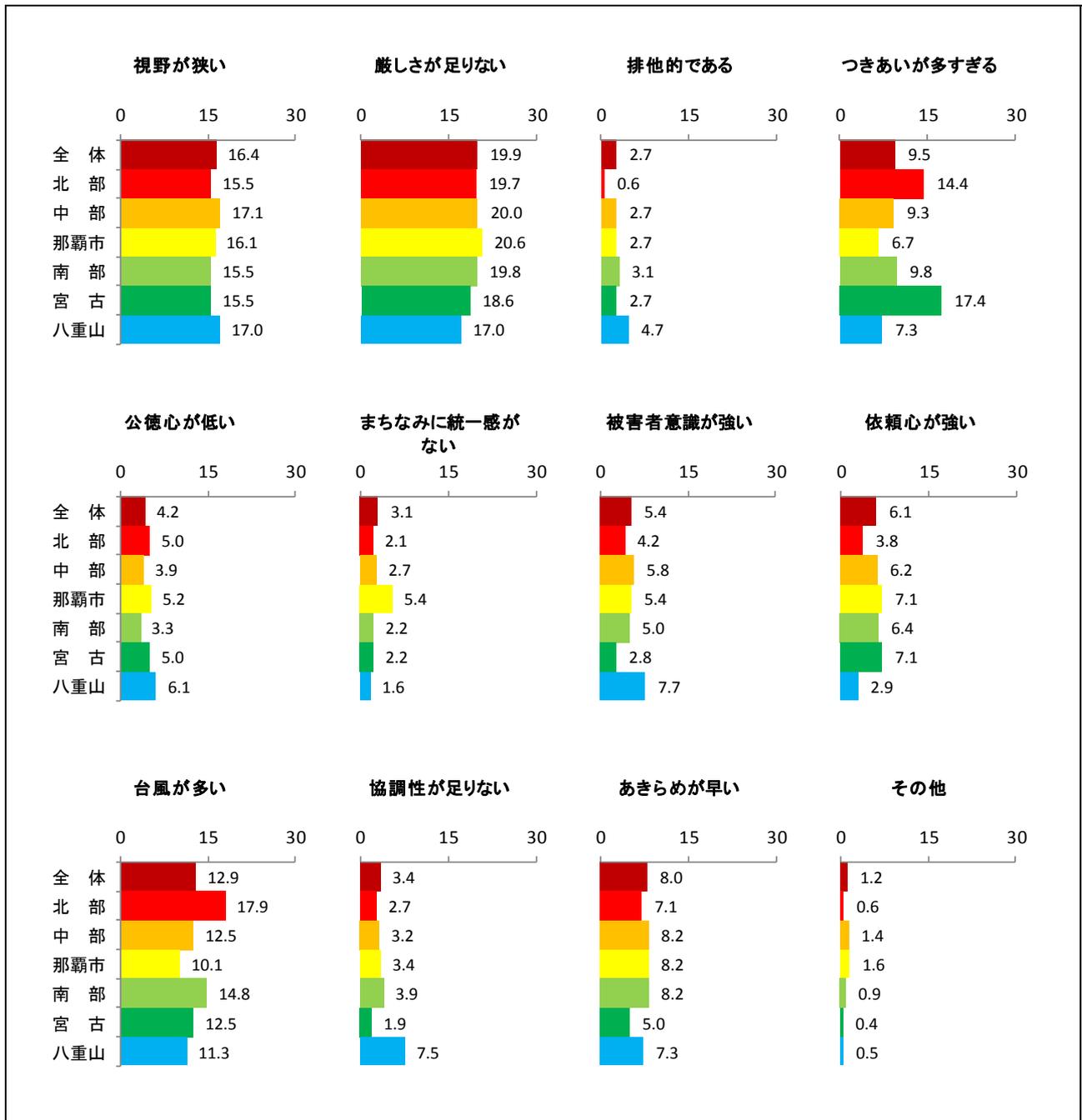
選択された短所を総合的に見るため、1位に3点、2位に2点、3位に1点のウェイトづけをして各短所の加重平均を求めた。加重平均で見た時系列の県（民）の短所が図4-2-7である。短所として最も高い数値を示しているのは前回と同じく「厳しさが足りない」（19.9）であるが、平成21年度をピークに減少している。次いで「視野が狭い」（16.4）、「台風が多い」（12.9）となっている。前回調査から最も大きく変化した「被害者意識が強い」でも3.5から5.4への1.9の増加であり、前回調査と大きな変化は見られない。

図4-2-7 県（民）の短所（加重平均）



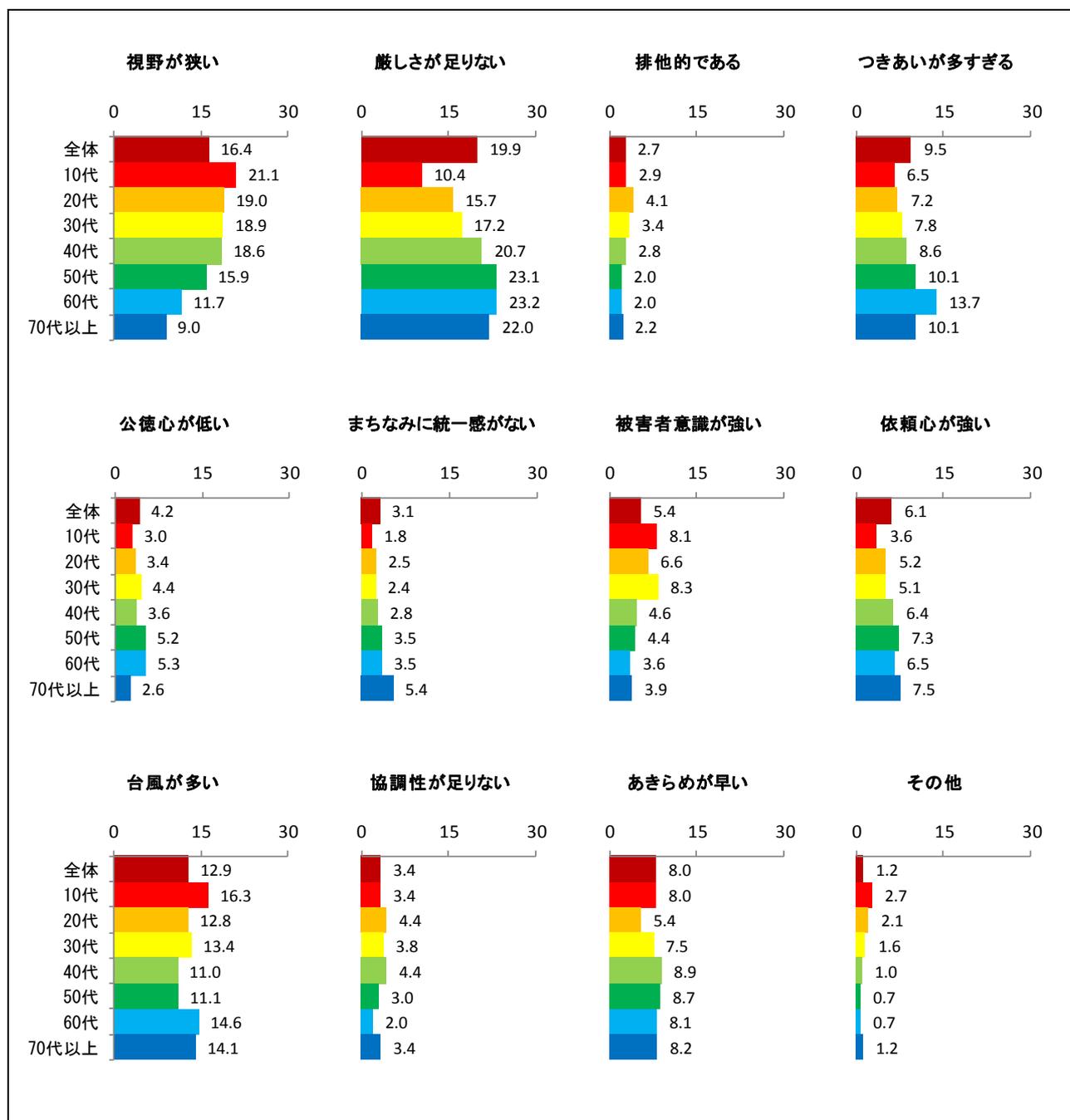
県民が短所をどう見ているか地域別で見たのが図 4-2-8 である。地域差が出ているのは「つきあいが多すぎる」で宮古は 17.4、北部は 14.4 と他の地域より高い。また、「台風が多い」は、北部 (17.9) と南部 (14.8) で高い値となっている。全体で最も高い値を示した「厳しさが足りない」は、八重山で 17.0 と最も低く、八重山では「被害者意識が強い」(7.7) と「協調性が足りない」(7.5) が他の地域より高くなっている。

図 4-2-8 地域別 県(民)の短所(加重平均)



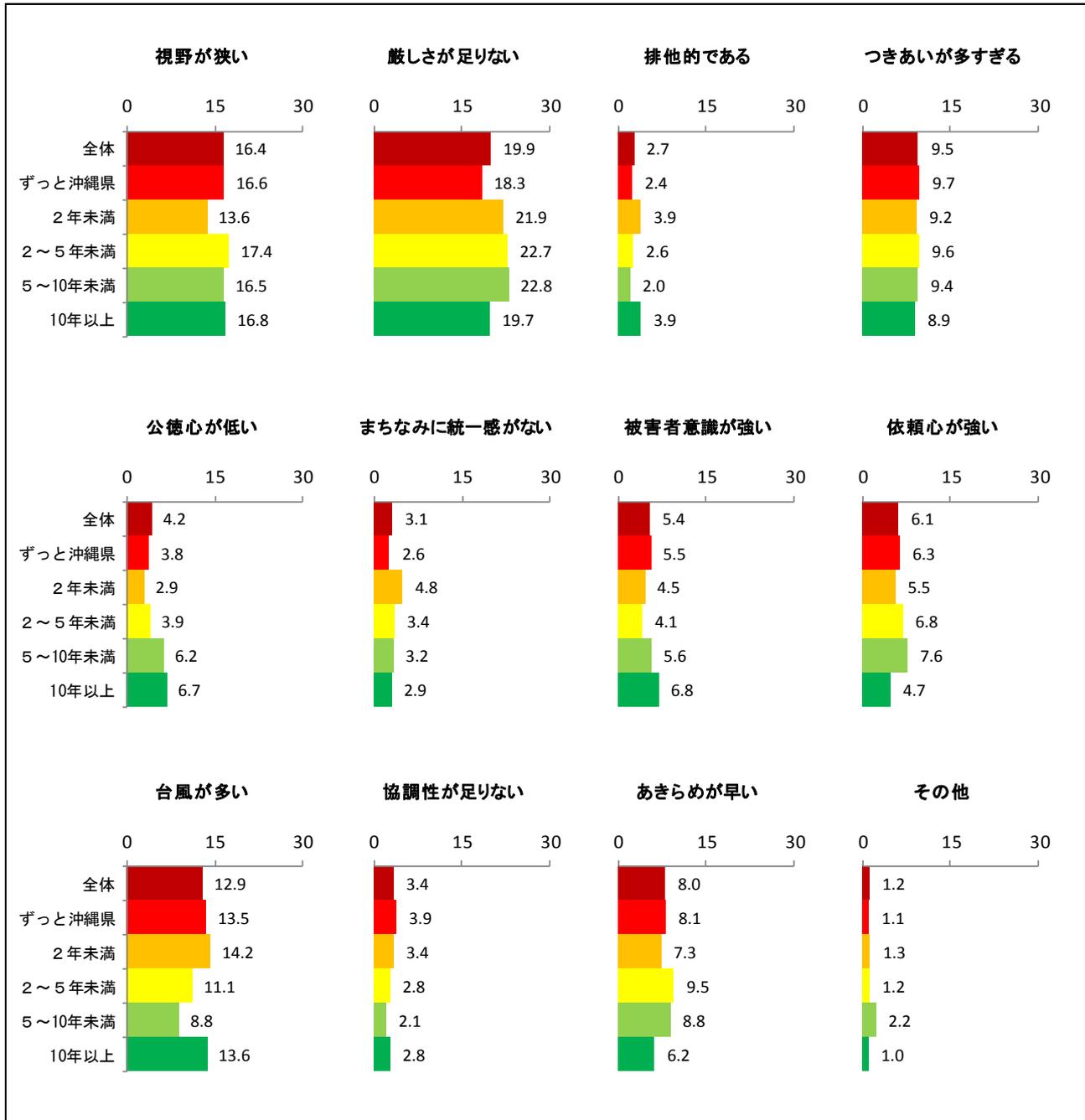
年代別に見ると、短所として県平均で1位の「厳しさが足りない」という項目は、概ね年代が高くなるにつれて短所として認識される比率が高くなる。「つきあいが多すぎる」も同様の傾向がある。これに対し、「視野が狭い」「被害者意識が強い」は年代が低いほど値が高くなる傾向が見られる。

図 4-2-9 年代別 県（民）の短所（加重平均）



県外居住経験によって、県（民）の短所の見方に違いがあるのかどうかを見たのが図4-2-10である。「公德心が低い」は県外居住経験年数が長いほど値が高くなる傾向がある。

図 4-2-10 県外居住経験 本県（民）の短所（加重平均）



その結果、力を入れてほしい対策の第1位としては「基地を返還させること」(33.2%)が最も高く、次いで「日米地位協定を改定すること」(17.3%)、「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」(14.8%)の順となっている。この順位は前回調査と比べて変化は見られない。

第2位については、「日米地位協定を改定すること」(18.1%)が最も高く、次いで、「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」(17.1%)、「騒音や低空飛行訓練をなくすこと」(14.5%)、「事件事故被害は日米両政府で補償」(11.5%)といった順に要望が高い。

第3位については、「返還された軍用地を早めに利用できるようにすること」(12.0%)が最も高く、次いで「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」(11.7%)、「事件事故被害は日米両政府で補償」(10.7%)、「騒音や低空飛行訓練をなくすこと」(10.2%)の順となっている。

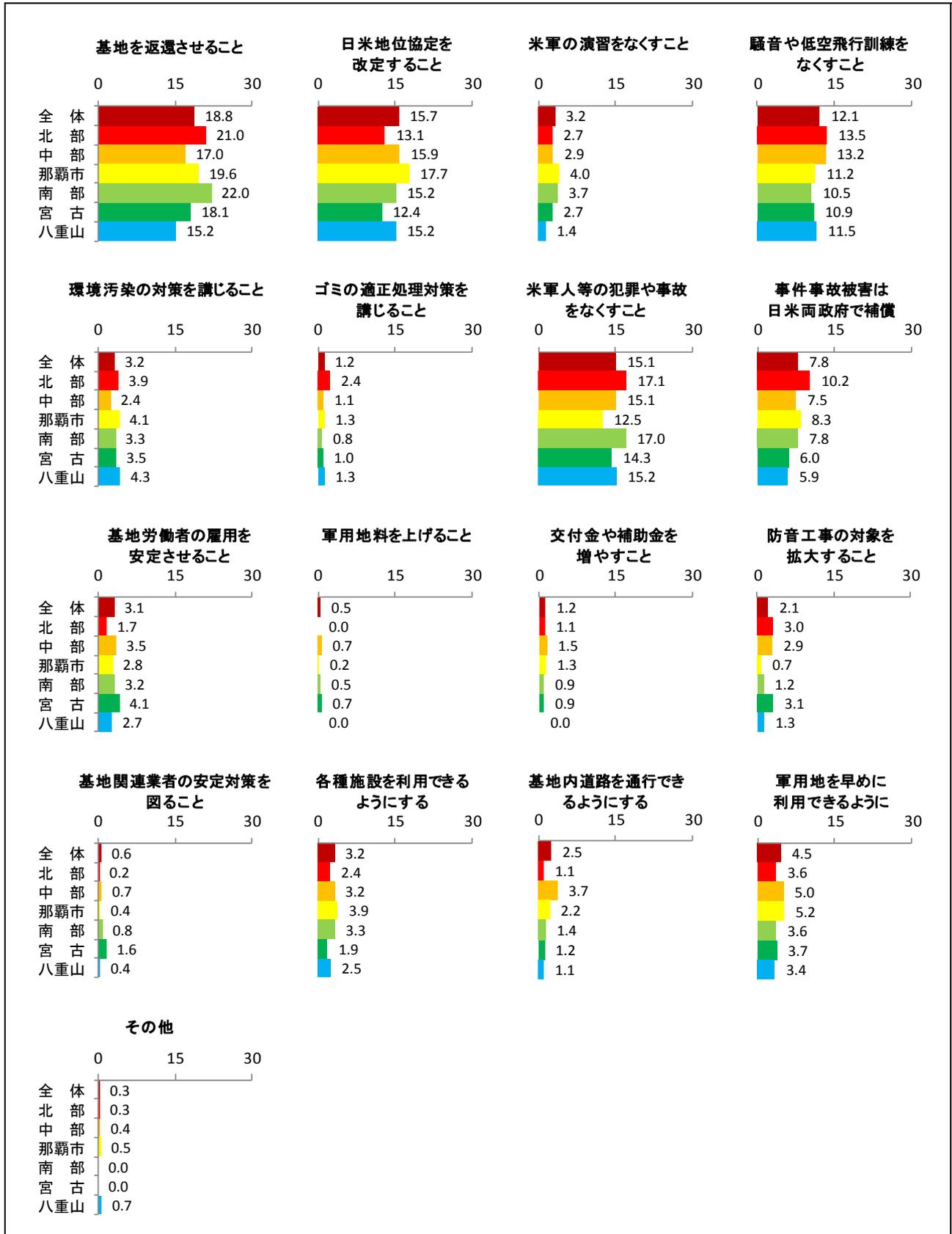
これら1～3位の合計では、前回調査が「日米地位協定を改定すること」(48.9%)が最も高く、次いで「基地を返還させること」(46.0%)、「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」(45.2%)の順で高かったのに対して、今回の調査では「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」(43.6%)が最も高く、次いで「基地を返還させること」(42.3%)、「日米地位協定を改定すること」(41.6%)の順となっている。

(2) 地域別で見た米軍基地に関する行政への要望

沖縄県を6地域(北部、中部、那覇市、南部、宮古島、八重山)に分けて、米軍基地に対する要望を加重平均で比較したのが図4-3-2である。この図より、上位項目は図4-3-1で見たように、「基地を返還させること」「日米地位協定を改定すること」「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」「騒音や低空飛行訓練をなくすこと」への要望がすべての地域で高く見られる。

「基地を返還させること」「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」は共に北部と南部で20を超え、他の地域より高い値となっている。「日米地位協定を改定すること」は那覇市で17.7とやや高くなっている。「事件事故被害は日米両政府で補償」は北部で10.2と他の地域より高くなっている。

図4-3-2 地域別 米軍基地に関する行政への要望（加重平均）

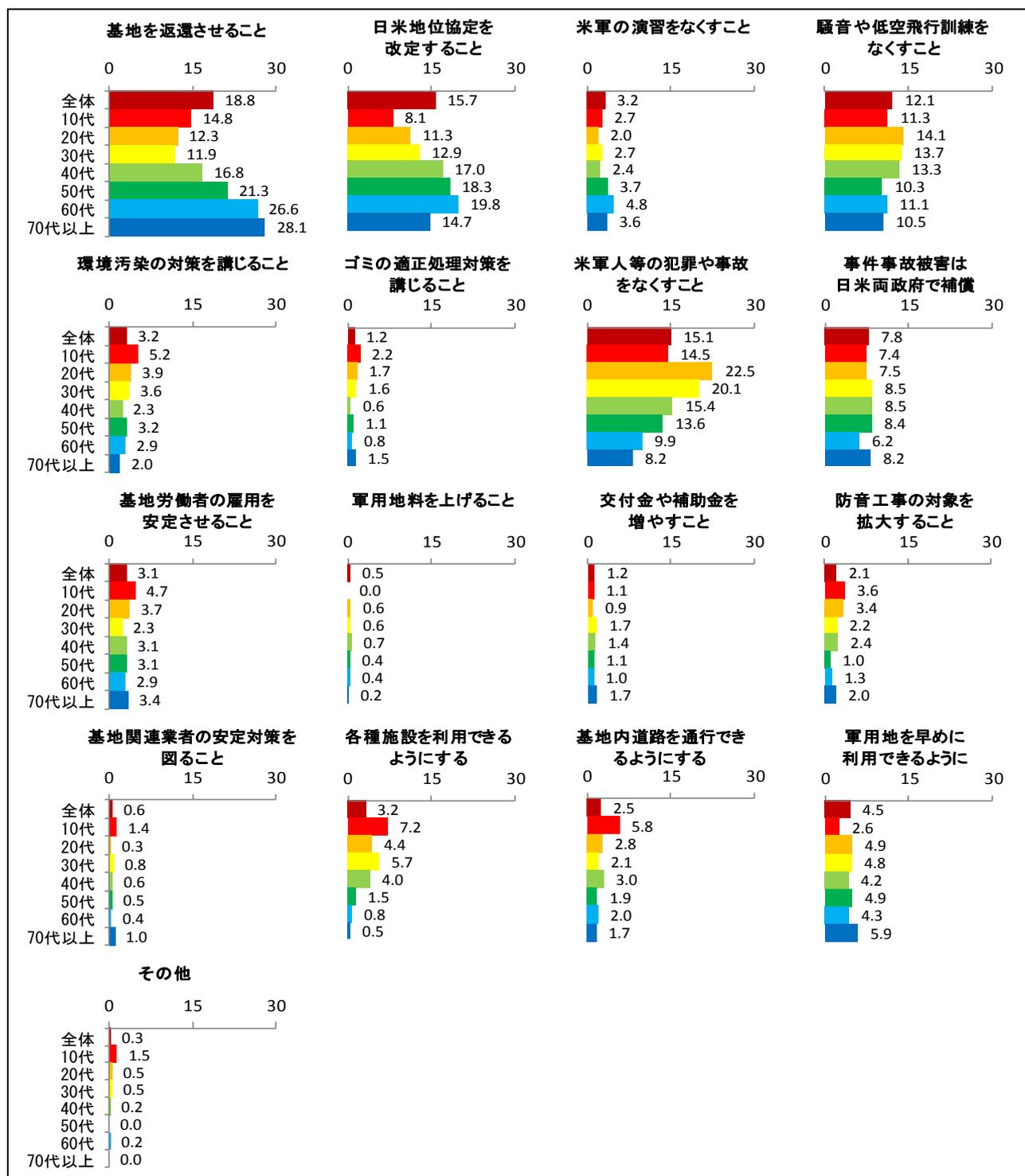


(3) 年代別で見た米軍基地に関する行政への要望

年代別による米軍基地に対する要望を加重平均で比較したのが図 4-3-3 である。

この年代別をさらに本土復帰以降に生まれた 30 代以下の年代と、40 代以上とに分けて比較すると、30 代以下では「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」で 40 代以上よりも相対的に高い要望が見られる。これに対し 40 代以上は「基地を返還させること」や「日米地位協定を改定すること」で 30 代以下よりも高い結果となっている。

図 4-3-3 年代別 米軍基地に関する行政への要望（加重平均）

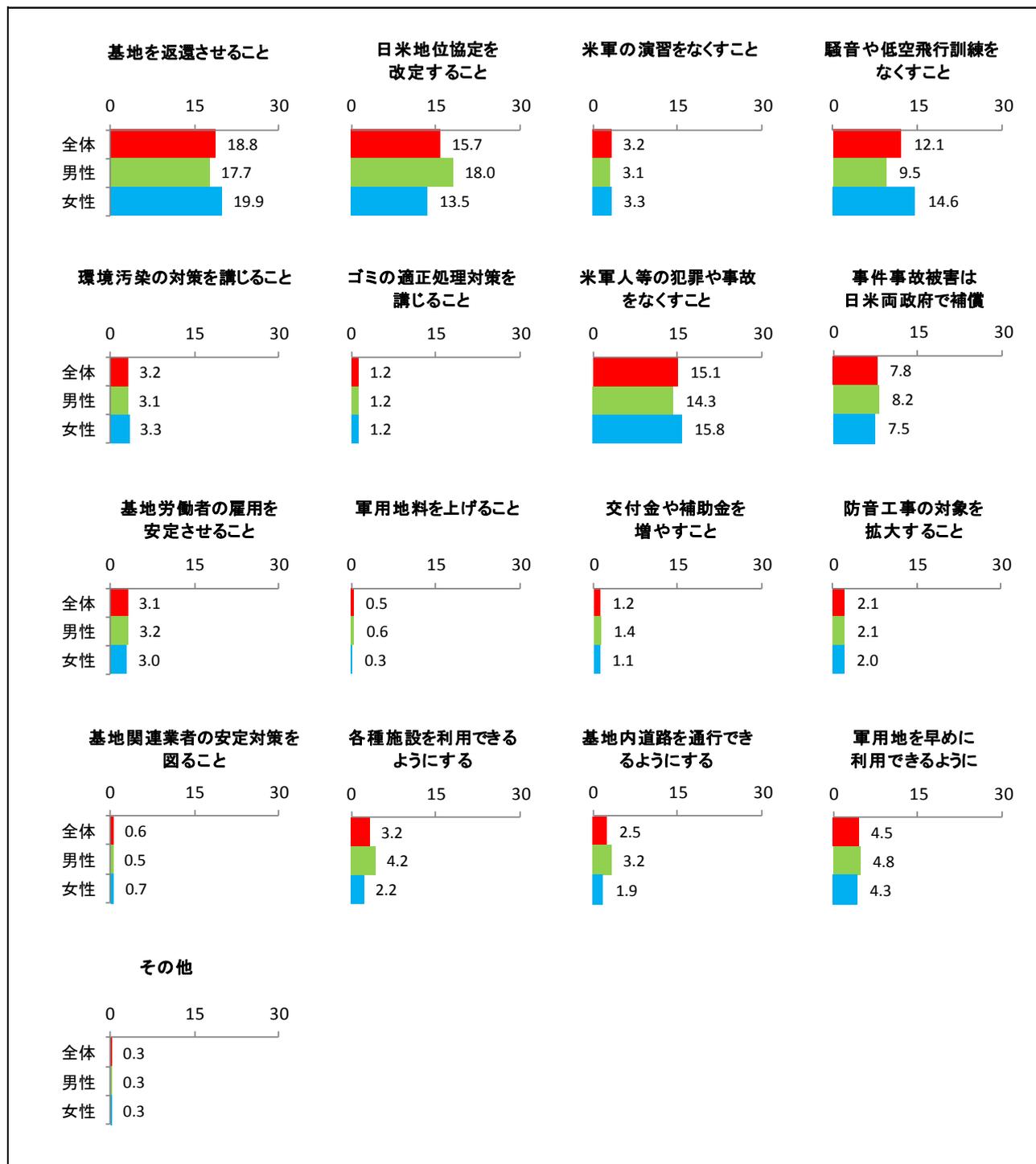


(4) 性別で見た米軍基地に関する行政への要望

性別による米軍基地に対する要望を加重平均で比較したのが図 4-3-4 である。

「日米地位協定を改定すること」では男性が女性よりも高く、「騒音や低空飛行訓練をなくすこと」では女性が男性よりも高い結果となっている。

図 4-3-4 性別 米軍基地に関する行政への要望（加重平均）



第5章 地域経済の認識

第5章 地域経済の認識

本章では、沖縄県の振興のために各産業分野にどれくらい力を入れるべきかを見る産業振興の優先度のほか、「離島・過疎地域等の振興」「米軍基地問題の解決促進」及び「行財政改革の推進」など、沖縄21世紀ビジョン実現に向けて特に重点を置いて取り組むべき施策の優先順位について、県民の意識を見ていく。

1. 産業振興の優先度（問11）

今回調査では一部質問項目の文言に変更がある。

問11の変更一覧

質問項目の文言追加
(15) 商業（卸売・小売りなど）⇒ (15) 商業・貿易（卸売・小売り・輸出入など）

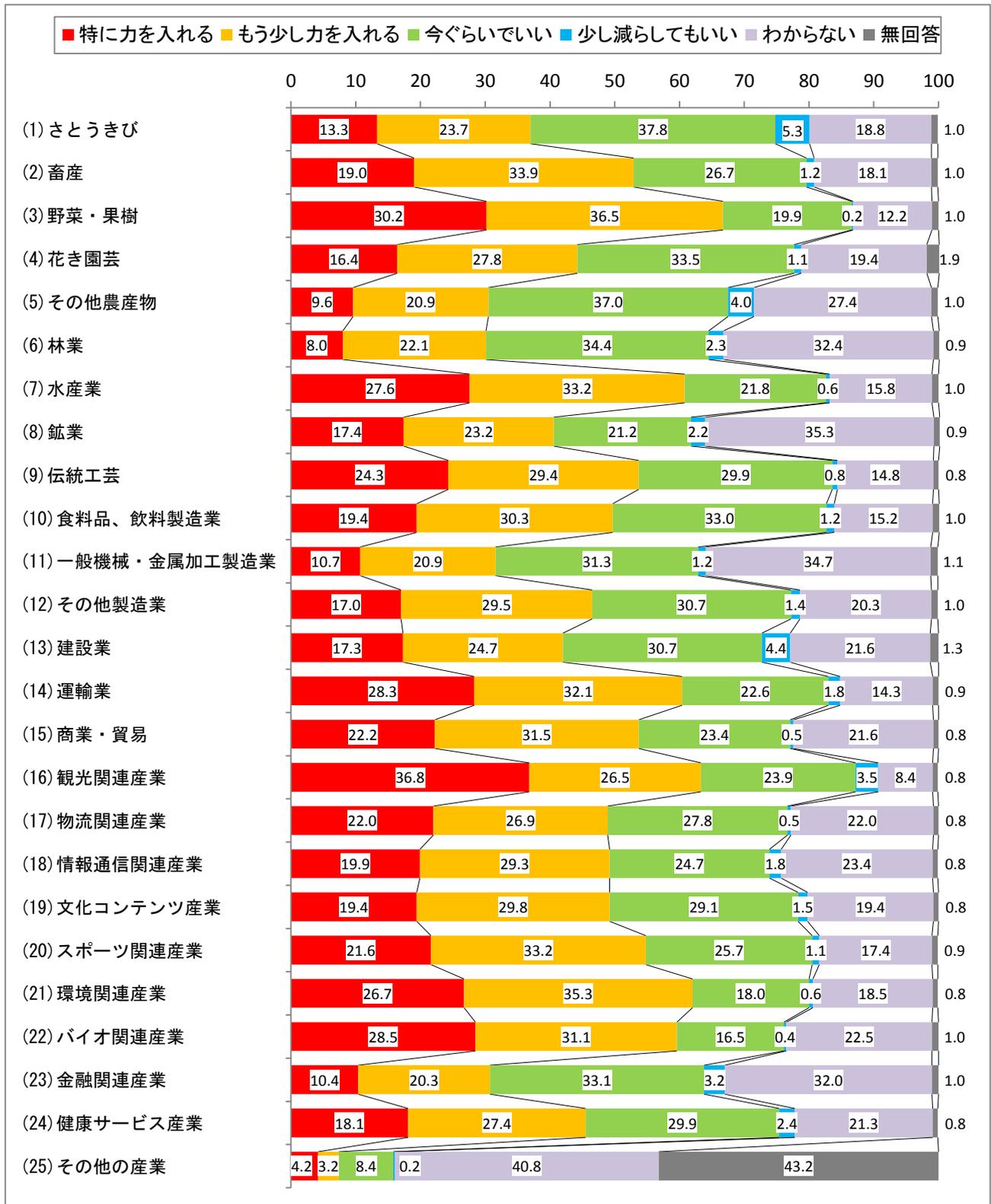
(1) 各産業の優先度

「特に力を入れる」「もう少し力を入れる」「今ぐらいでいい」「少し減らしてもいい」「わからない」の選択肢から回答してもらい、その集計結果をまとめたのが図5-1-1である。「特に力を入れる」べきだとする割合の高い順に上位10項目は、1位が(16)観光関連産業36.8%、2位が(3)野菜・果樹30.2%、3位以下は(22)バイオ関連産業28.5%、(14)運輸業28.3%、(7)水産業27.6%、(21)環境関連産業26.7%、(9)伝統工芸24.3%、(15)商業・貿易22.2%、(17)物流関連産業22.0% (20)スポーツ関連産業21.6%となっている。

逆に「特に力を入れる」べきだとする割合の低い産業は(25)その他の産業4.2%、(6)林業8.0%、(5)その他農産物9.6%、(23)金融関連産業10.4%、(11)一般機械・金属加工製造業10.7%、(1)さとうきび13.3%、(4)花き園芸16.4%、(12)その他製造業17.0%、(13)建設業17.3%、(8)鉱業17.4%となっている。下位3項目は10%を下回るが、それ以外は10%を上回っていて、上位項目との差はそれほど大きくない。

「少し減らしてもいい」とする割合の高いのは、(1)さとうきび5.3%、(13)建設業4.4%、(5)その他農産物4.0%、(16)観光関連産業3.5%、(23)金融関連産業3.2%であるがさとうきび以外の項目はいずれも前回より数値が下がっている。

図 5-1-1 産業振興の優先度 (%)



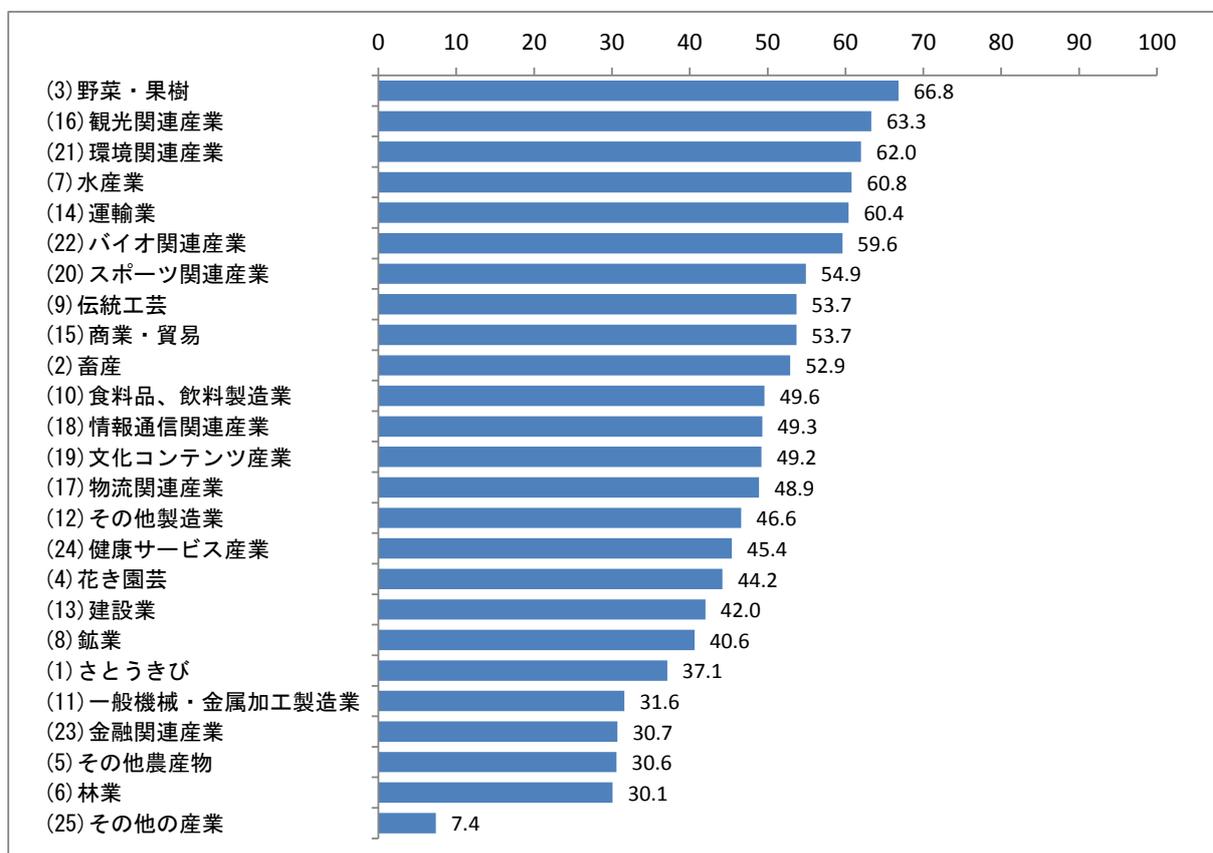
続いて、「特に力をいれる」と「もう少し力をいれる」を合計した結果をまとめたのが図5-1-2である。合計数値が高いほど産業振興の優先順位が高いと解釈される。

優先順位が高い上位10項目は、(3)野菜・果樹66.8%、(16)観光関連産業63.3%、(21)環境関連産業62.0%、(7)水産業60.8%、(14)運輸業60.4%、(22)バイオ関連産業59.6%、(20)スポーツ関連産業54.9%、(9)伝統工芸53.7%、(15)商業・貿易53.7%、(2)畜産52.9%である。

これらを前回調査と比較する。1位の(3)野菜・果樹は、前回も1位で合計比率が66.2%から今回66.8%と0.6ポイント増加した。2位の(16)観光関連産業（前回3位→2位）は合計比率が61.1%から63.3%と2.2ポイント増、3位(21)環境関連産業（前回2位→3位）は合計比率が62.4%から62.0%と0.4ポイント減、4位(7)水産業（前回3位→4位）は合計比率が61.1%から60.8%と0.3ポイント減、5位(14)運輸業（前回5位→5位）は合計比率が58.2%から60.4%と2.2ポイント増、6位(22)バイオ関連産業（前回6位→6位）は合計比率が57.4%から59.6%と2.2ポイント増、7位(20)スポーツ関連産業(前回8位→7位)は合計比率が52.9%から54.9%と2.0ポイント増、8位(9)伝統工芸（前回7位→8位）は合計比率が57.1%から53.7%と3.4ポイント減、同じく8位(15)商業・貿易（※ただし、前回調査では「商業」）(前回12位→8位)は合計比率が51.2%から53.7%と2.5ポイント増、10位(2)畜産（前回9位→10位）は合計比率が52.1%から52.9%と0.8ポイント増加した。

このほか「(19)文化コンテンツ産業」が順位は10位から13位に、合計比率は51.4%から49.2%に低下した。

図5-1-2 産業の優先度（特に力をいれる+もう少し力をいれるの合計）（%）



(2) 地域別に見た産業振興の優先度

それぞれの産業について「特に力をいれる」「もう少し力をいれる」の2つについて合計した結果を地域別に集計したのが図 5-1-3 である。

北部地域の1位は(3)野菜・果樹、2位は(16)観光関連産業、3位は(21)環境関連産業、4位は(7)水産業、5位は(14)運輸業、6位は(22)バイオ関連産業で6位まで県全体と同じ項目が同順位で並んでいる。7位以下も順位の上下はあるが、県全体と同じ項目があげられている。

中部地域は北部地域と同じく、1位は(3)野菜・果樹、2位は(16)観光関連産業、3位は(21)環境関連産業、4位は(7)水産業、5位は(14)運輸業、6位は(22)バイオ関連産業で6位まで県全体と同じ項目が同順位で並んでいる。7位以下も順位の上下はあるが、県全体と同じ項目があげられている。

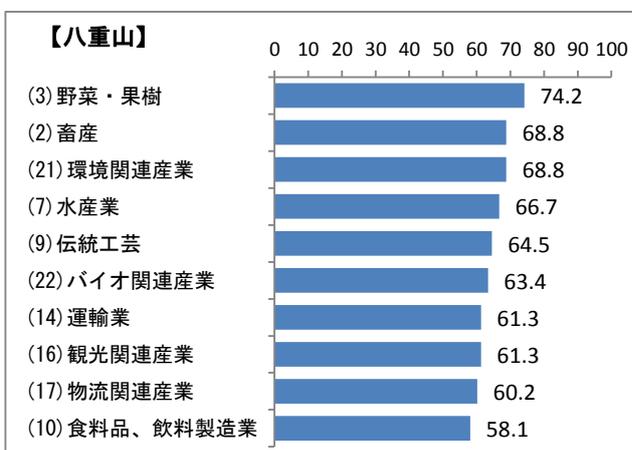
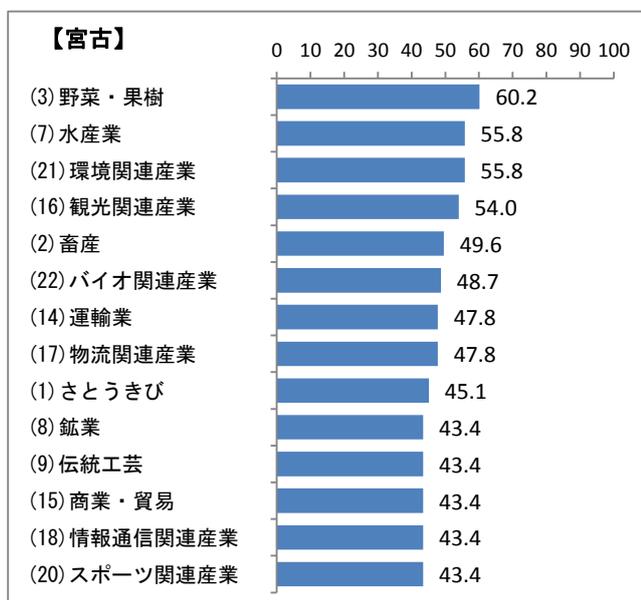
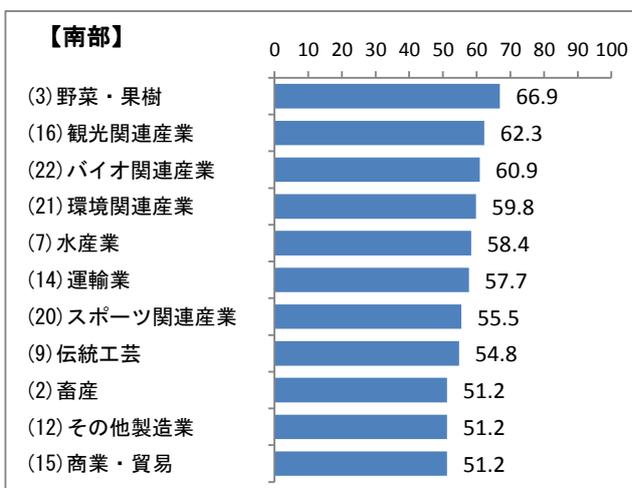
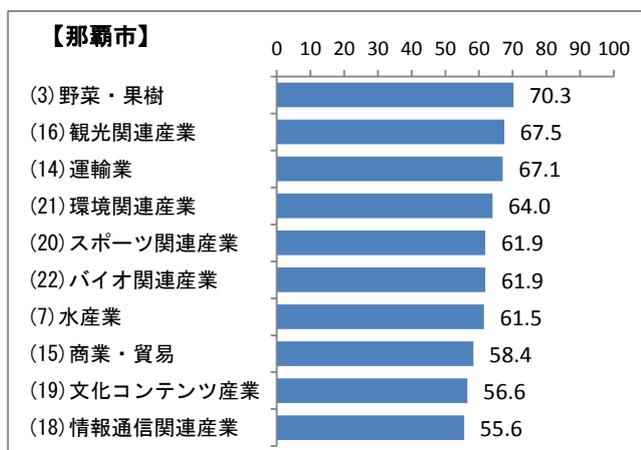
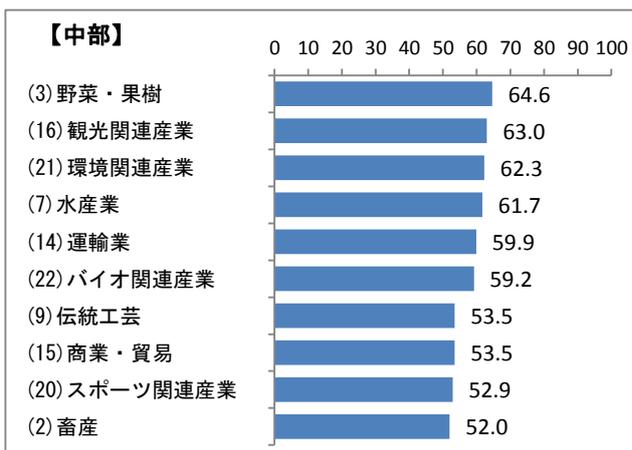
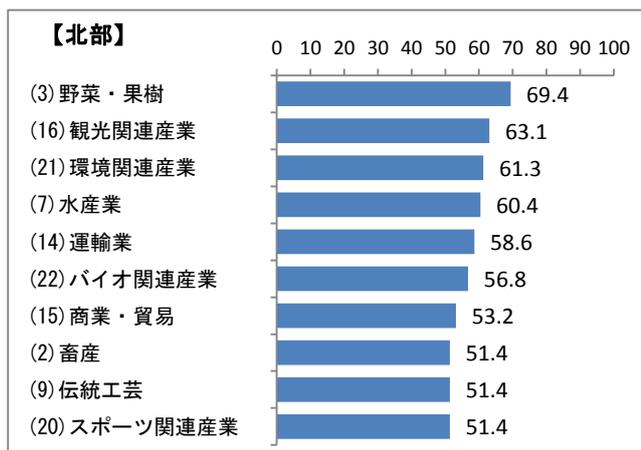
那覇市の1位は(3)野菜・果樹、2位は(16)観光関連産業、3位は(14)運輸業、4位は(21)環境関連産業、5位は(20)スポーツ関連産業及び(22)バイオ関連産業、7位は(7)水産業、8位は(15)商業・貿易で、県全体の傾向よりも運輸業とスポーツ関連産業、バイオ関連産業の優先度が高い。また、県全体では13位の(19)文化コンテンツ産業が9位、12位の(18)情報通信関連産業が10位に入り優先度が高くなっている。

南部地域の1位は(3)野菜・果樹、2位は(16)観光関連産業、3位は(22)バイオ関連産業、4位は(21)環境関連産業、5位は(7)水産業で、県全体の傾向よりバイオ関連産業の優先度が高い。また、県全体では15位の(12)その他製造業が9位に入り優先度が高くなっている。

宮古地域の1位は(3)野菜・果樹、2位は(7)水産業、3位は(21)環境関連産業、4位は(16)観光関連産業、5位は(2)畜産で、県全体の傾向より水産業と畜産の優先度が高い。また、県全体では20位の(1)さとうきびが9位に入り優先度が高くなっている。

八重山地域の1位は(3)野菜・果樹、2位は(2)畜産及び(21)環境関連産業、4位は(7)水産業、5位は(9)伝統工芸、6位は(22)バイオ関連産業、7位は(14)運輸業及び(16)観光関連産業で、県全体の傾向より畜産の優先度が高い。また、県全体では14位の(17)物流関連産業が9位に、11位の(10)食料品、飲料製造業が10位に入り優先度が高くなっている。

図 5-1-3 地域別 産業振興の優先度 (%) 上位 10 項目



(3) 産業の優先度の推移

産業ごとに「特に力をいれる」に4点、「もう少し力をいれる」に3点、「今ぐらいでいい」に2点、「少し減らしてもいい」に1点のウェイトを与えて加重平均を求め、さらにこれらの産業を4つのカテゴリーに分けて時系列比較を行ったのが図5-1-4である。加重平均を求めるにあたっては、「わからない」と回答する割合が大きい産業が一部にあるため無回答とともに母数から除いた。

力を入れるべき産業の推移を見ると、どの産業も若干の増減はあるものの変化は小さい。

図5-1-4 力を入れるべき産業の加重平均の推移

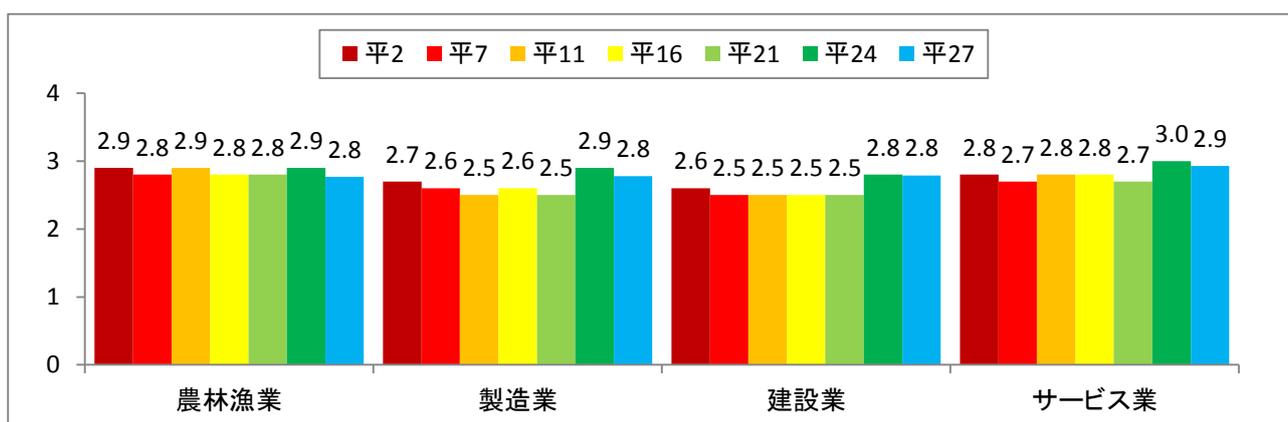


表5-1-1 産業別 加重平均の推移

	平7	平11	平16	平21	平24	平27
農林漁業	2.8	2.9	2.8	2.8	2.9	2.8
さとうきび	2.6	2.7	2.7	2.8	2.7	2.6
畜産	2.7	2.8	2.8	2.9	2.9	2.9
野菜・果樹	*	*	*	*	3.2	3.1
花き園芸	3.0	3.0	2.8	2.8	2.8	2.8
その他農産物	2.5	2.5	2.4	2.4	2.6	2.5
林業	2.7	2.6	2.6	2.7	2.6	2.5
水産業	3.0	3.0	3.1	2.9	3.1	3.1
製造業	2.6	2.5	2.6	2.5	2.9	2.8
伝統工芸	2.9	3.0	3.0	2.9	3.0	2.9
食料品、飲料製造業	2.8	2.8	2.8	2.7	2.9	2.8
一般機械・金属加工製造業	2.4	2.3	2.3	2.4	2.8	2.6
その他製造業	2.5	2.4	2.5	2.5	2.9	2.8
建設業	2.5	2.5	2.5	2.5	2.8	2.8
鉱業	2.5	2.4	2.5	2.5	3.0	2.9
建設業	2.6	2.6	2.5	2.6	2.7	2.7
サービス産業	2.7	2.8	2.8	2.7	3.0	2.9
運輸業	2.6	2.6	2.8	2.8	3.0	3.0
商業・貿易	2.6	2.7	2.6	2.6	2.9	3.0
観光関連産業	2.7	2.8	2.8	2.6	3.1	3.1
物流関連産業	*	*	*	*	3.0	2.9
情報通信関連産業	2.9	3.2	2.9	2.9	3.0	2.9
文化コンテンツ産業	2.9	3.0	2.9	2.8	2.9	2.8
スポーツ関連産業	*	*	*	*	2.9	2.9
環境関連産業	*	*	3.2	3.0	3.2	3.1
バイオ関連産業	*	*	*	*	3.2	3.2
金融関連産業	*	*	*	*	2.6	2.6
健康サービス産業	*	*	*	*	2.8	2.8
その他の産業	*	*	3.4	3.5	2.8	2.7

2. 重点施策の優先度（問 12）

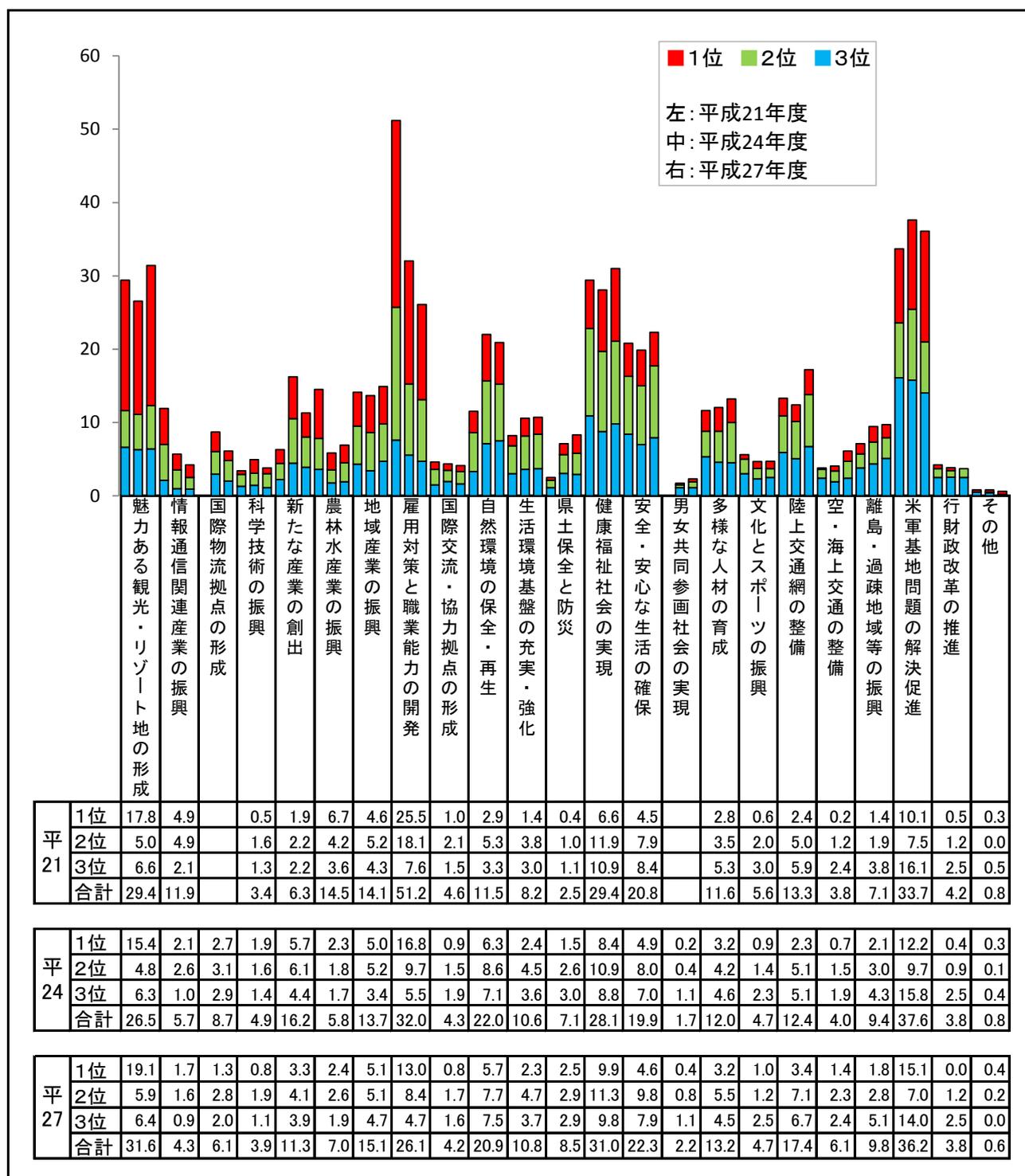
(1) 順位別に見た重点施策

県の施策として行政が重点を置いて取り組むべきことは何かについて、23 の選択肢の中から順位をつけて3つを選んでもらった。

選択された3つの施策の1位、2位、3位にそれぞれの比率の合計を棒グラフにし、過去の調査（平成21年度、平成24年度）の結果と比較したのが図5-2-1である。

優先度が高いほうから「米軍基地問題の解決促進」（36.2%）、「魅力ある観光・リゾート地の形成」（31.6%）、「健康福祉社会の実現」（31.0%）、「雇用対策と職業能力の開発」（26.1%）、「安全・安心な生活の確保」（22.3%）、「自然環境の保全・再生」（20.9%）、「陸上交通の整備」（17.4%）、「地域産業の振興」（15.1%）、「多様な人材の育成」（13.2%）、「新たな産業の創出」（11.3%）、「生活環境基盤の充実・強化」（10.8%）の順となっている。

図 5-2-1 重点施策の優先度 (%)



前回との比較では、今回1位の「米軍基地問題の解決促進」は 37.6%から 36.2%へ若干の減少、2位の「魅力ある観光・リゾート地の形成」は 26.5%から 31.6%へ、3位の「健康福祉社会の実現」は 28.1%から 31.0%へそれぞれ増加している。4位の「雇用対策と職業能力の開発」は 32.0%から 26.1%へ、10位の「新たな産業の創出」は 16.2%から 11.3%へそれぞれ減少している。

また1番目に力を入れてほしい施策として最も高かったのは「魅力ある観光・リゾート地の形成」(19.1%)で、次いで「米軍基地問題の解決促進」(15.1%)、「雇用対

策と職業能力の開発」(13.0%)が続いている。

2番目については、「健康福祉社会の実現」(11.3%)、「安全・安心な生活の確保」(9.8%)、「雇用対策と職業能力の開発」(8.4%)の順となっている。

また、3番目については「米軍基地問題の解決促進」(14.0%)、「健康福祉社会の実現」(9.8%)、「安全・安心な生活の確保」(7.9%)、「自然環境保全・再生」(7.5%)と続いている。

(2) 地域別に見た重点施策

重点施策を地域別に加重平均で比較したのが図5-2-2である。

県全体1位の「魅力ある観光・リゾート地の形成」(全体12.6)では全地域で10～15の高い数値となっており、全県共通の重点施策であるといえる。

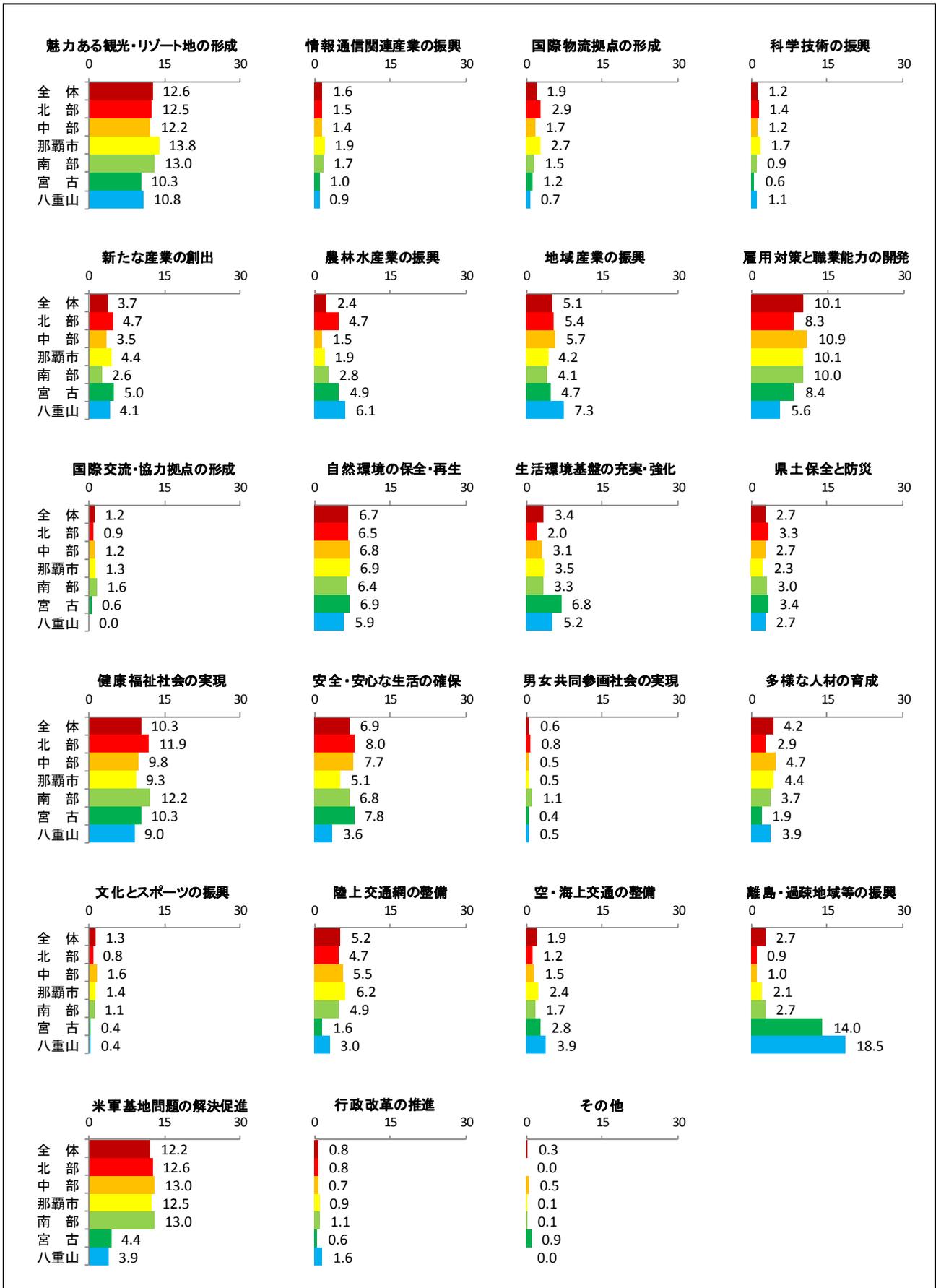
2位の「米軍基地問題の解決促進」(全体12.2)では、宮古(4.4)、八重山(3.9)が1ケタ台にとどまっている。

3位の「健康福祉社会の実現」(全体10.3)では全地域で10前後の数値となっており、地域差が少なく全県共通の重点施策であるといえる。

4位の「雇用対策と職業能力の開発」(全体10.1)では八重山(5.6)が他の地域より低い。5位の「安全・安心な生活の確保」(全体6.9)では八重山(3.6)が他の地域より低い。6位以下の項目では地域間の差は小さい。

ただ13位の「離島・過疎地域等の振興」(2.7)は宮古、八重山が他地域より際立って高く、本島と離島地域の住民意識の違いがはっきり現れている。

図 5-2-2 地域別 重点施策の優先度（加重平均）



(3) 年代別に見た重点施策

重点施策を年代別に加重平均で比較したのが図 5-2-3 である。

県全体 1 位の「魅力ある観光・リゾート地の形成」(全体 12.6) では 10 代 (17.9) を始め 30 代以下の若年層で高くなっている。

2 位の「米軍基地問題の解決促進」(全体 12.2) では 40 代以上の年代で数値が高く、30 代以下で低くなり、世代の差が見てとれる。

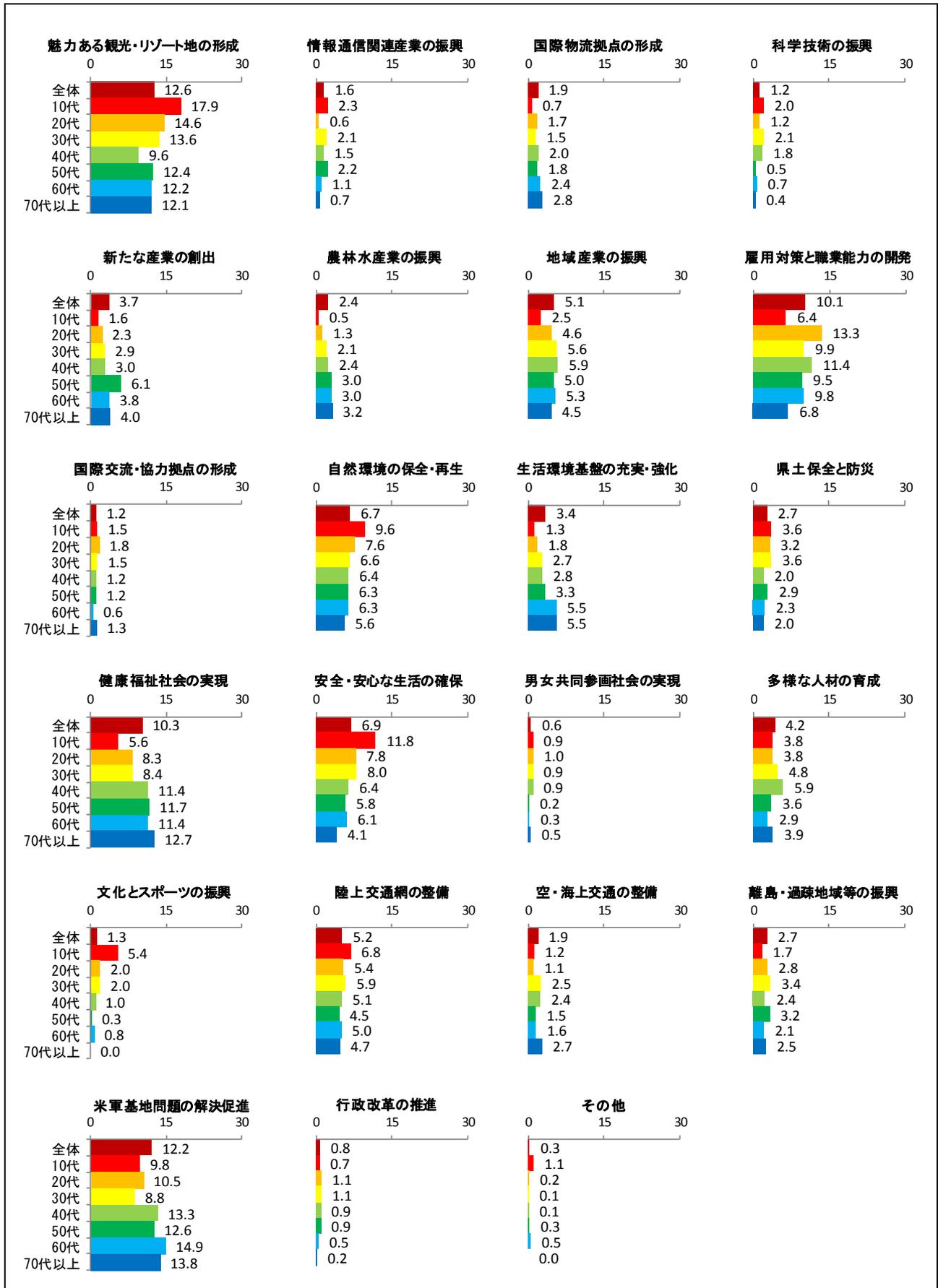
3 位の「健康福祉社会の実現」(全体 10.3) では 30 代以下の年代に比べ、40 代以上の年代で高く 10 を超える数値となっている。

4 位の「雇用対策と職業能力の開発」(全体 10.1) では 20 代で高い数値となっている。

5 位の「安全・安心な生活の確保」(全体 6.9) は 10 代で高い数値となっている。

このほか「自然環境の保全・再生」(全体 6.7) は年代が低いほど高くなっている。

図 5-2-3 年代別 重点施策の優先度（加重平均）

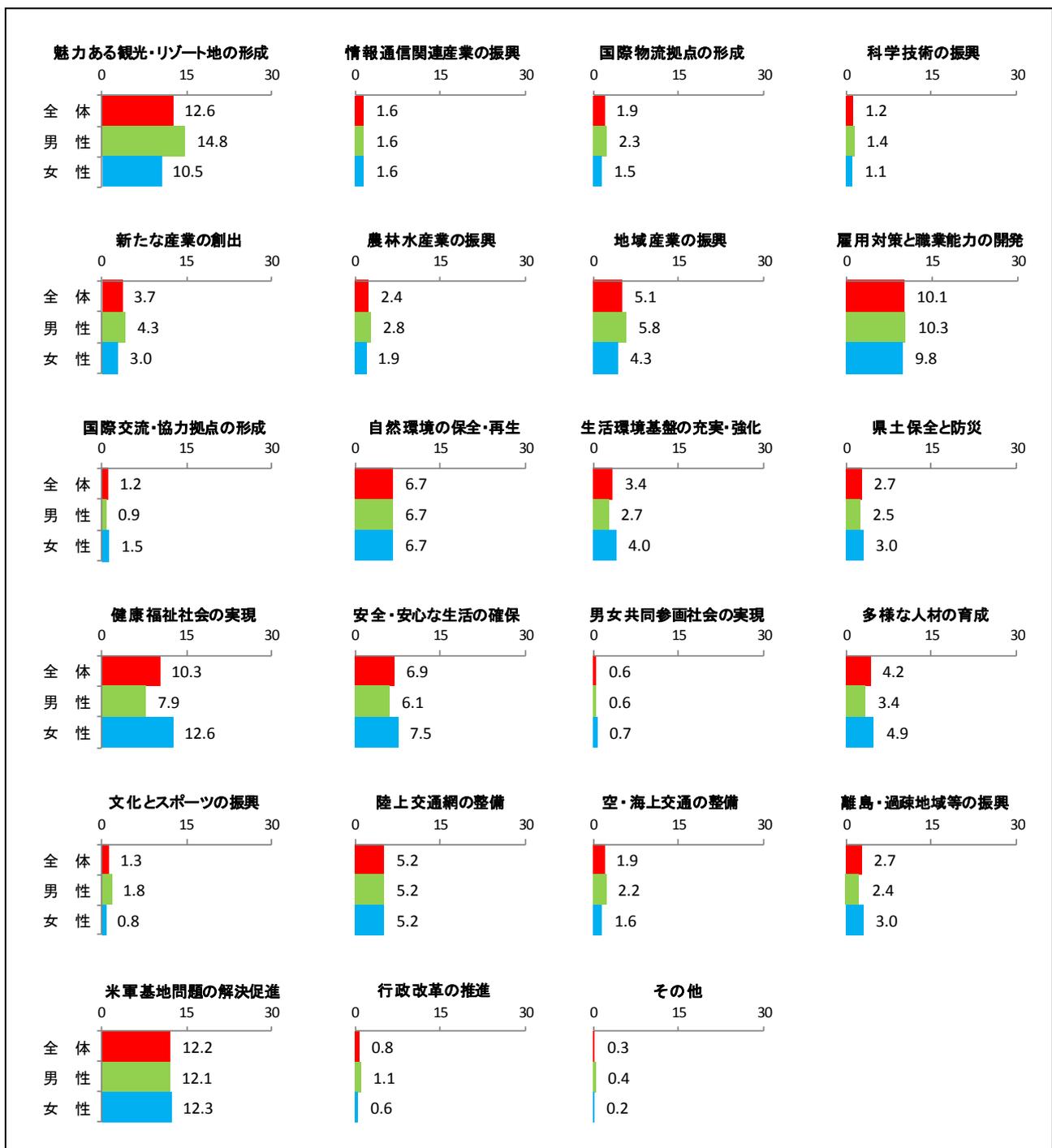


(4) 性別に見た重点施策

重点施策を性別に加重平均で比較したのが図 5-2-4 である。

県全体 1 位の「魅力ある観光・リゾート地の形成」は男性のほうが高い。2 位の「米軍基地問題の解決促進」は男女差がほとんど見られない。3 位の「健康福祉社会の実現」は女性のほうが高くなっている。他の施策では、性別の差がほとんど見られないが、「新たな産業の創出」「地域産業の振興」では男性の方がやや高く、「生活環境基盤の充実・強化」「安全・安心な生活の確保」「多様な人材の育成」では女性の方がやや高い。

図 5-2-4 性別 重点施策の優先度（加重平均）



第6章 県民の「幸せ」感等

第6章 県民の「幸せ」感等

本章では、どのようなことが県民に「幸せ」感をもたらしているのか、地域とのつながりや生活状態（くらしむき）、生活価値観などについて「幸せ」感との関連を見ていく。

1. 回答者の属性と「幸せ」感（回答者の属性×問1-4）

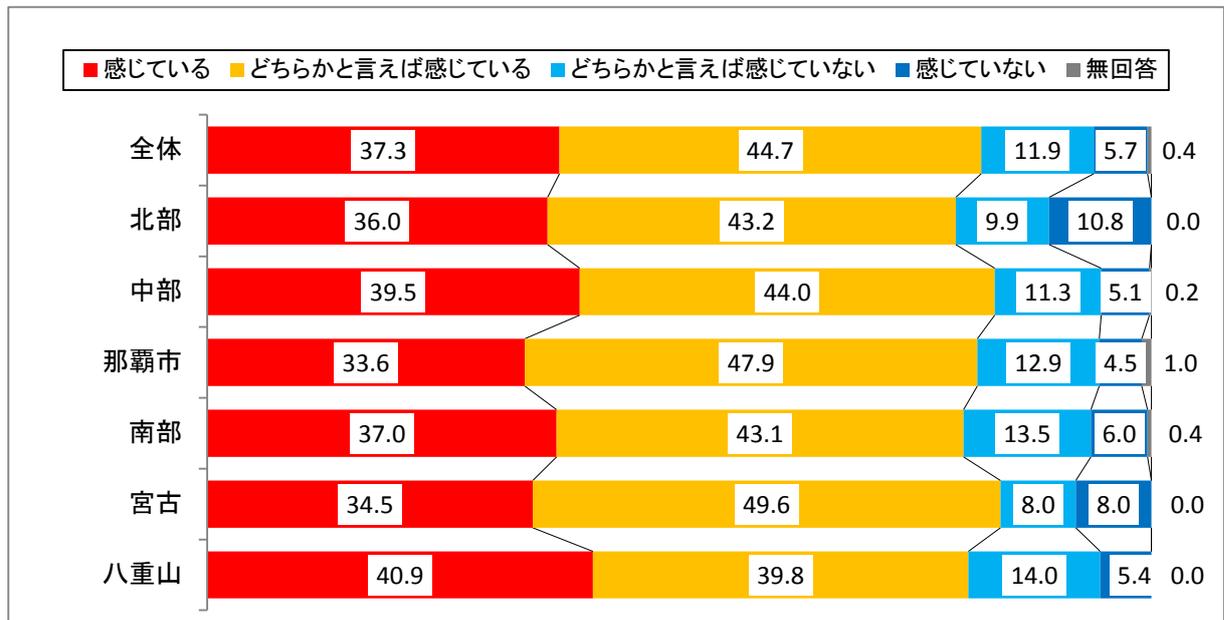
(1) 地域別に見る「幸せ」感

「幸せを感じている」及び「どちらかと言えば感じている」と回答した比率の合計は82.0%になり、沖縄県全体の「幸せ」感是非常に高い。

「幸せ」感を地域別に見ると、最も「幸せを感じている」比率が高い地域は八重山（40.9%）で、中部（39.5%）、南部（37.0%）と続く。

一方、「幸せを感じていない」及び「どちらかといえば感じていない」と回答した比率の合計は、北部（20.7%）において最も高い。

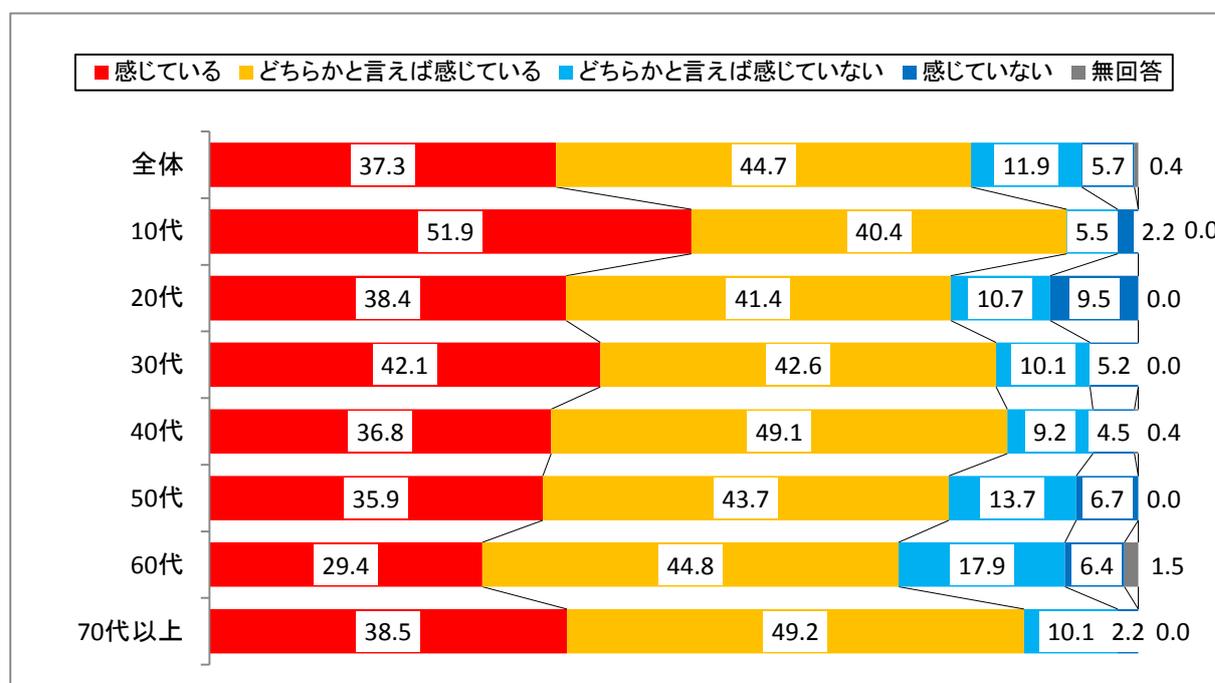
図6-1-1 地域 × 問1-4 あなたは「幸せ」だと感じていますか



(2) 年代別に見る「幸せ」感

「幸せ」感を年代別に見ると、「幸せ」を感じている比率は10代（51.9%）が最も高く、次いで30代（42.1%）、70代以上（38.5%）と続く。一方、最も比率が低いのは60代（29.4%）となっている。

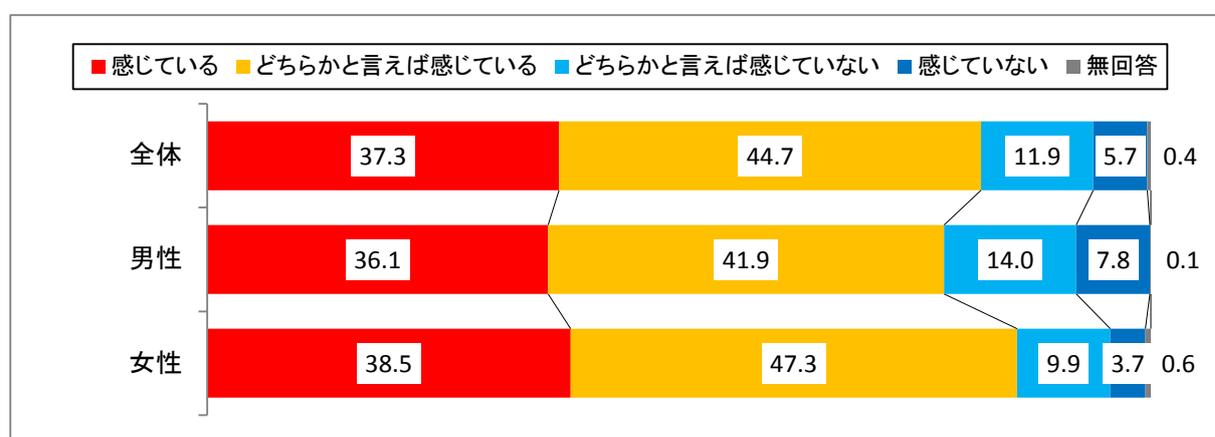
問 6-1-2 年代 × 問 1-4 あなたは「幸せ」だと感じていますか



(3) 性別に見る「幸せ」感

「幸せ」感を性別で見ると、女性の方が「幸せ」を感じている比率が高く、また「どちらかと言えば感じている」という回答まで含めると女性の方が男性より約8ポイント「幸せ」を感じる比率が高い。

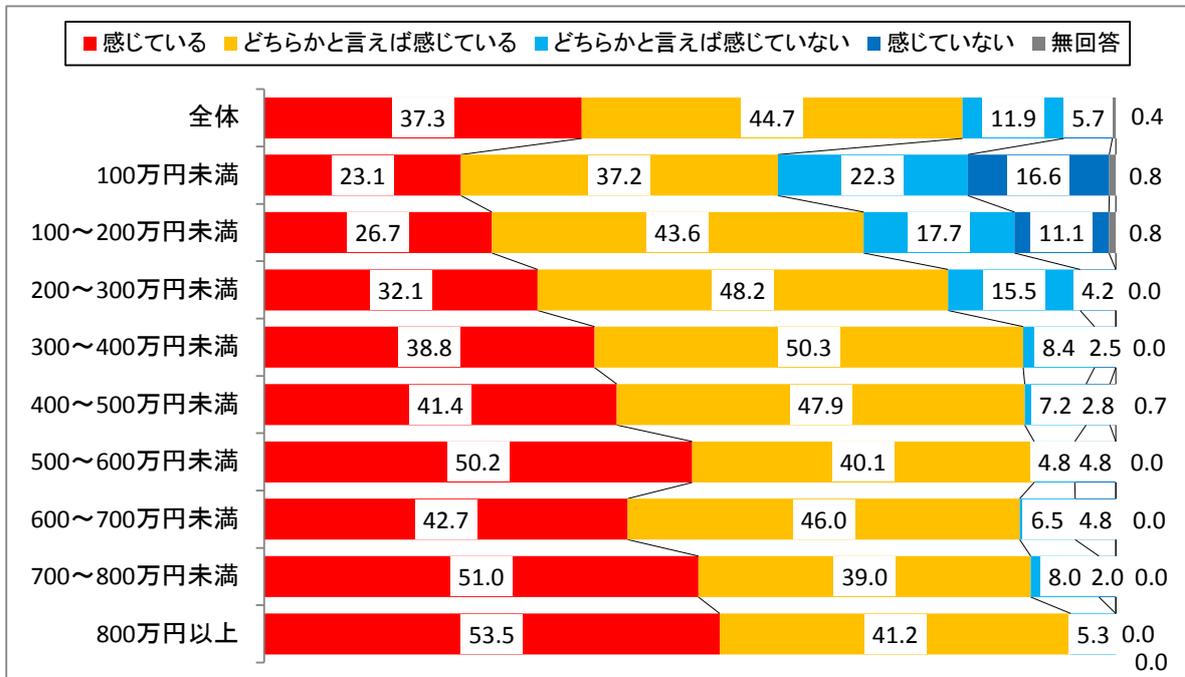
図 6-1-3 男女 × 問 1-4 あなたは「幸せ」だと感じていますか



(4) 世帯年収別に見る「幸せ」感

世帯年収別に見ると、「幸せ」と感じている比率は、100万円未満から600万円未満の区分において、世帯収入の区分が100万円増加するごとに「幸せ」感が高くなる傾向が見られる。

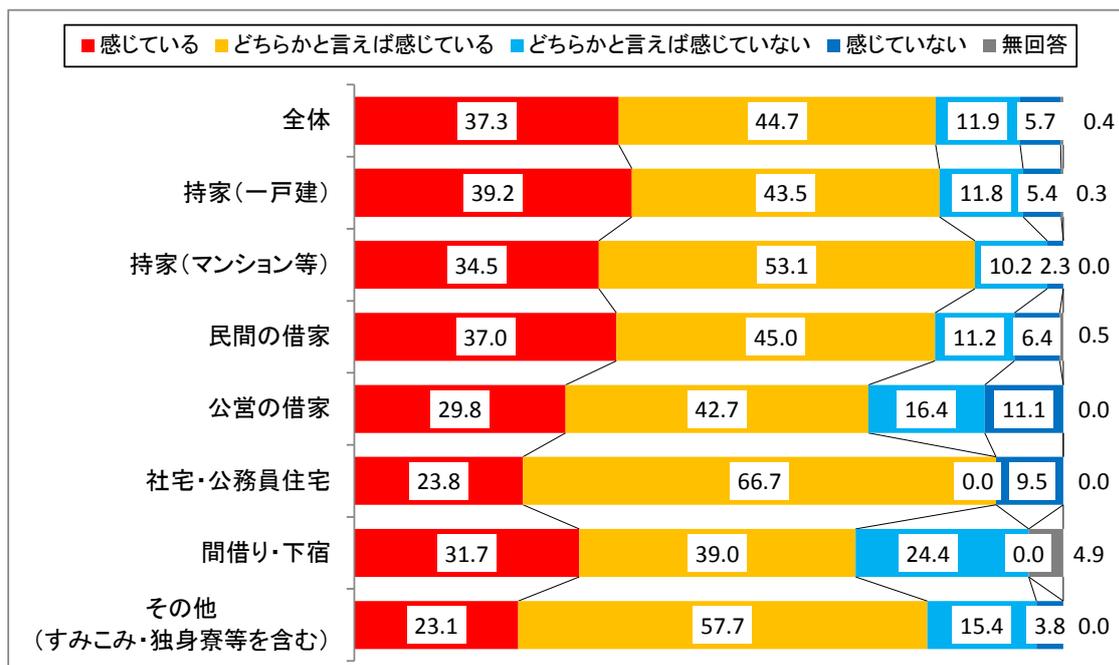
図 6-1-4 世帯年収 × 問 1-4 あなたは「幸せ」だと感じていますか



(5) 居住形態別に見る「幸せ」感

居住形態別に見ると、「幸せ」と感じている比率は「持家（一戸建）」（39.2%）が最も高く、続いて「民間の借家」（37.0%）、「持家（マンション等）」（34.5%）が高い。一方、最も比率が低いのは「その他（すみこみ・独身寮等を含む）」（23.1%）となっており、続いて「社宅・公務員住宅」（23.8%）、「公営の借家」（29.8%）、「間借り・下宿」（31.7%）が低い。

図 6-1-5 居住形態 × 問 1-4 あなたは「幸せ」だと感じていますか



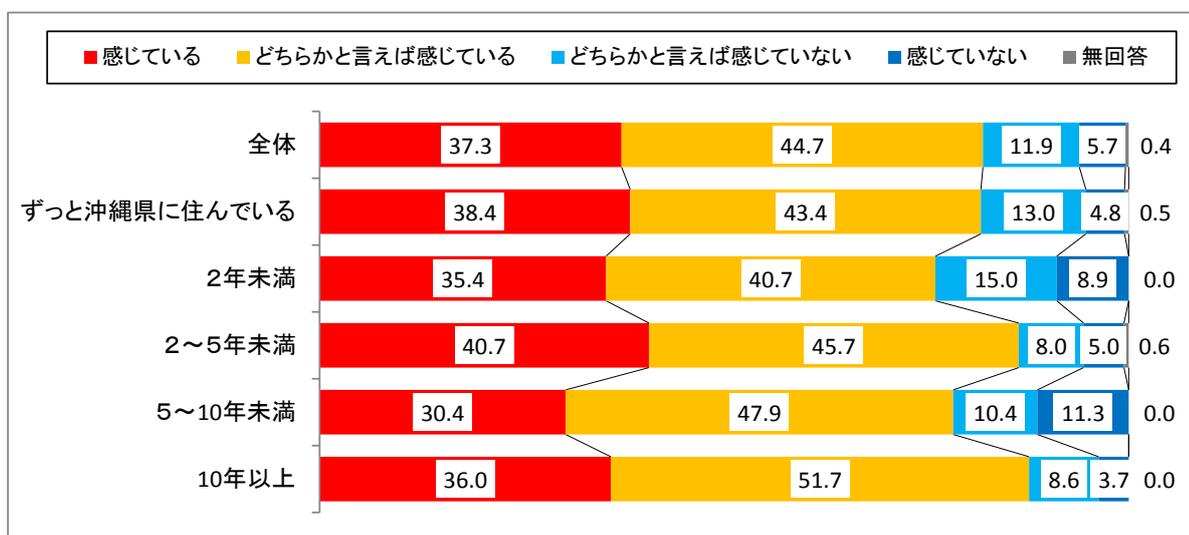
(6) 県外居住の経験と「幸せ」感

県外に居住した経験と「幸せ」感の関連を見ると、「幸せ」を感じている比率が最も高いのは「県外居住2年以上～5年未満」(40.7%)であり、「どちらかといえば感じている」を含めると、「県外居住10年以上」(87.7%)が最も高くなる。逆に最も低いのは「県外居住5年以上～10年未満」(30.4%)である。

ずっと沖縄県に住んでいる人の「幸せ」感は、「どちらかといえば感じている」を含めれば81.8%となっている。

県外居住2年未満の人は「幸せを感じていない」及び「どちらかといえば感じていない」の比率の合計が最も高く、23.9%である。

図 6-1-6 県外居住経験 × 問 1-4 あなたは「幸せ」だと感じていますか

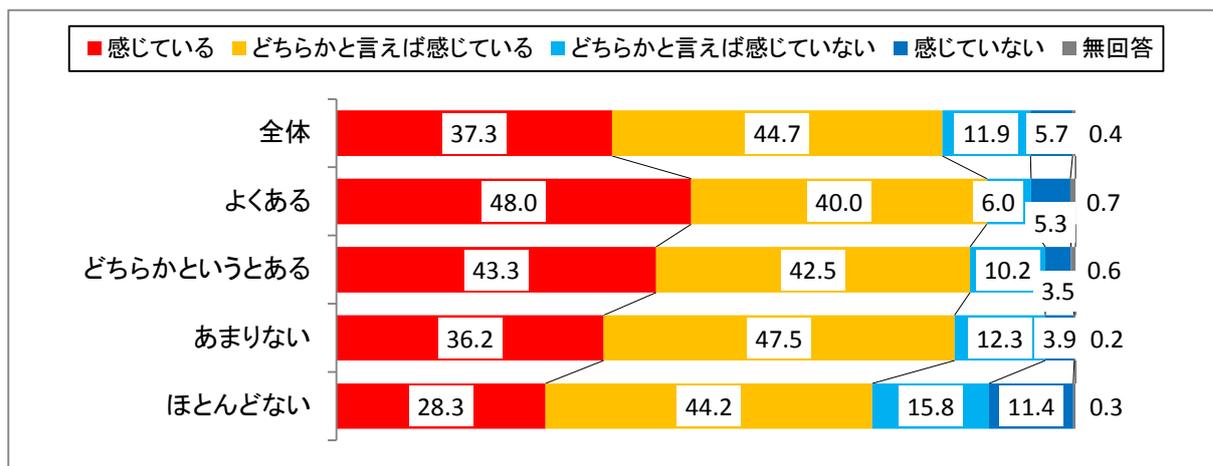


2. 地域のつながりと「幸せ」感（問2×問1-4）

(1) 近隣に住んでいる方との交流の程度と「幸せ」感

近隣に住んでいる方との交流の程度と「幸せ」感との関連を見ると、交流が「よくある」と回答した人が「幸せ」を感じる比率は最も高く、48.0%となっている。一方、「幸せ」を感じる比率が最も低いのは、交流が「ほとんどない」と回答した人で28.3%となっている。交流の機会がある人ほど「幸せ」を感じる比率が高くなっている。

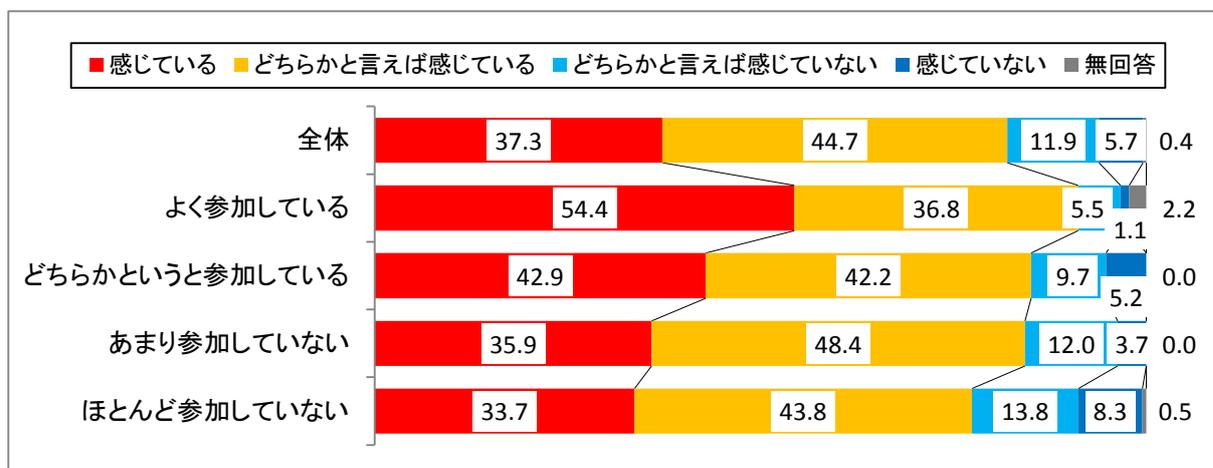
図 6-2-1 問 2-1-1 近隣に住んでいる方との交流の程度 × 問 1-4 「幸せ」感



(2) 地域活動への参加の程度と「幸せ」感

地域活動への参加の程度と「幸せ」感との関連を見ると、地域活動へ「よく参加している」と回答した人が「幸せ」を感じる比率は最も高く、54.4%となっている。一方、「幸せ」を感じる比率が最も低いのは、「ほとんど参加していない」と回答した人で33.7%となっている。地域活動への参加が多い人ほど「幸せ」を感じる比率が高くなっている。

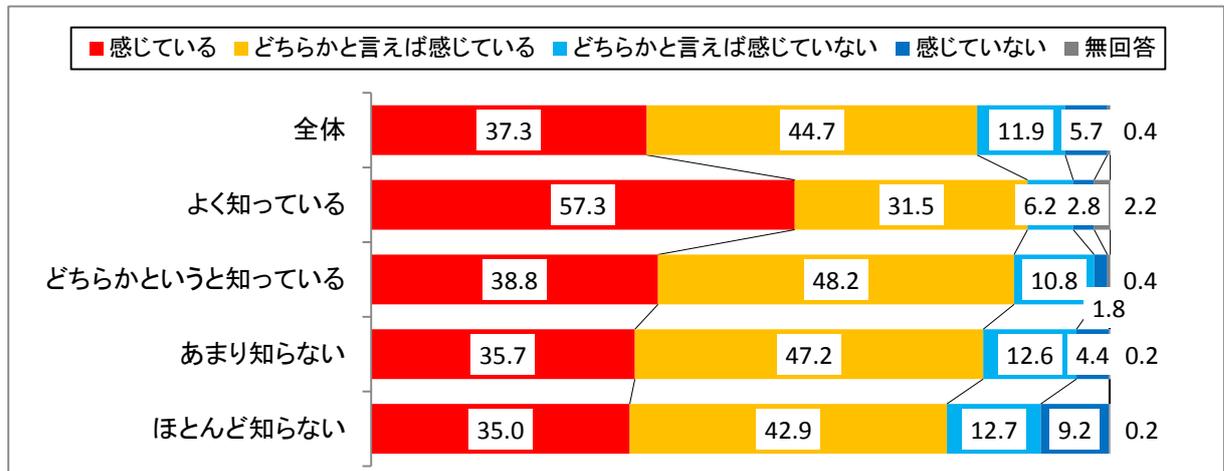
図 6-2-2 問 2-1-2 地域活動への参加の程度 × 問 1-4 「幸せ」感



(3) 困ったときの相談先を知っている程度と「幸せ」感

自分が困っている時に相談できる機関や人をどれくらい知っているか。それらを知っている程度と「幸せ」感との関連を見ると、「よく知っている」という回答をした人ほど「幸せ」であると感じている比率が高い。

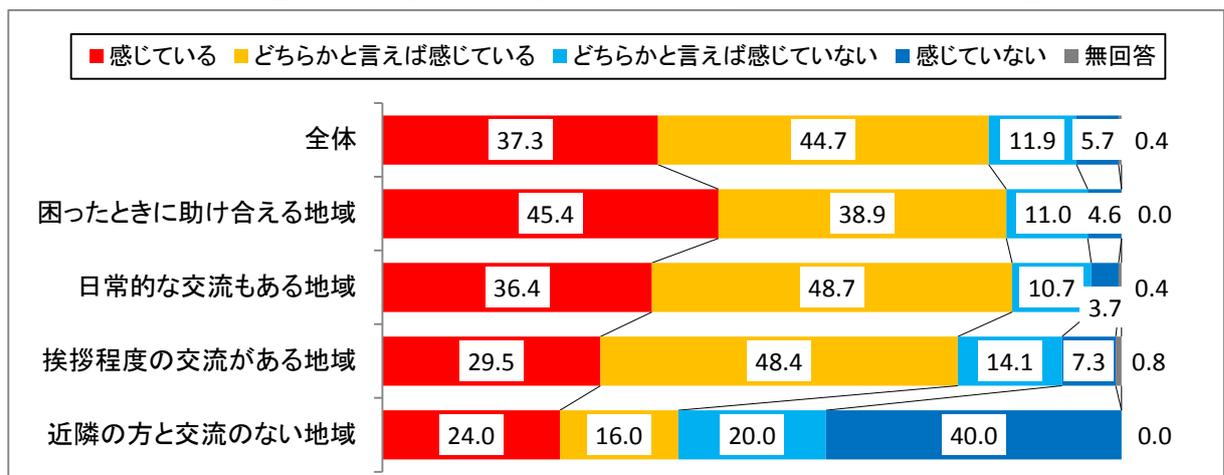
図 6-2-3 問 2-1-3 困ったときの相談先を知っているか × 問 1-4 「幸せ」感



(4) 地域の交流のあり方に対する希望と「幸せ」感

地域の方たちとどのように交流することを希望しているかということと「幸せ」感との関連を見ると、近隣の方々と「困ったときに助け合えるような地域」を希望している人が「幸せ」を感じている比率が最も高く、45.4%となっている。一方、「幸せ」を感じる比率が最も低いのは「近隣の方と交流のない地域」と回答した人で、24.0%となっている。困ったときに助け合う地域を望む人ほど、「幸せ」を感じる比率が高くなっている。

図 6-2-4 問 2-2 地域の交流のあり方に対する希望 × 問 1-4 「幸せ」感

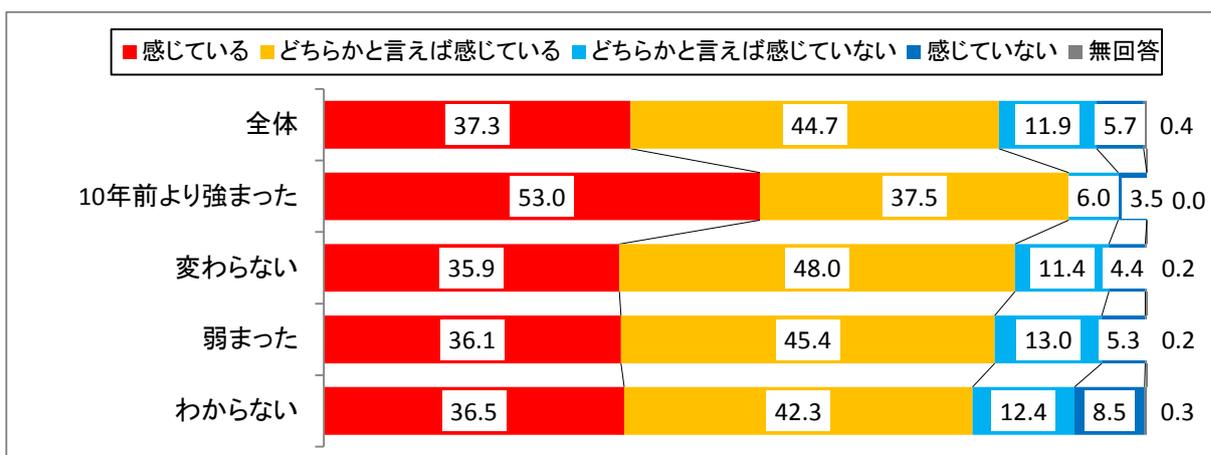


3. 県民の自己像と「幸せ」感（問 1-1～17×問 1-4）

(1) 人と人のつながりと「幸せ」感

人と人のつながりが 10 年前と比べて強まったと思うかどうかと「幸せ」感との関連を見てみると、「10 年前より強まった」と思う人が「幸せ」を感じている比率は 53.0% と最も高い。一方、「幸せ」を感じる比率が最も低いのは、「変わらない」と回答した人で 35.9% となっている。しかし、「変わらない」と「弱まった」に差はほとんどない。

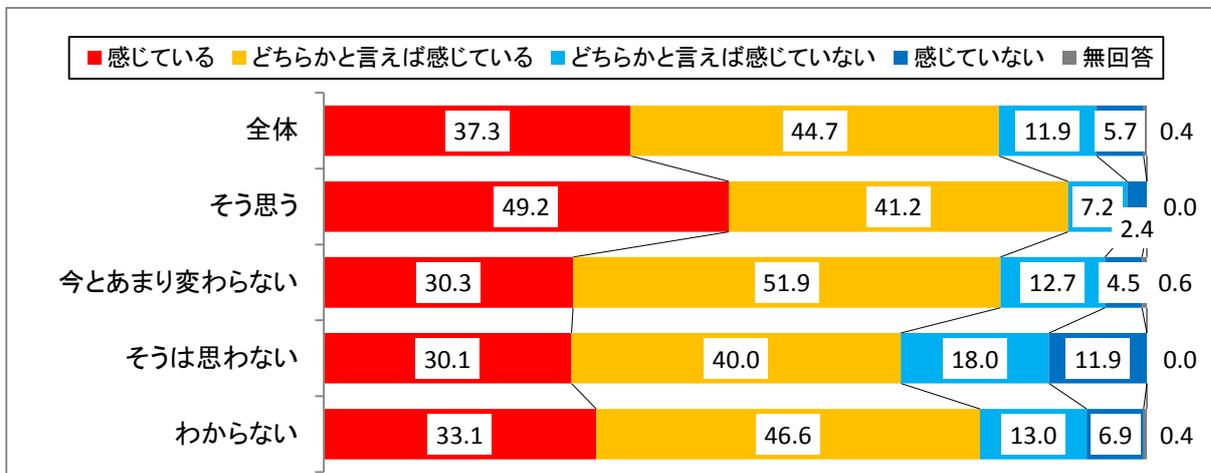
図 6-3-1 問 1-1 人と人のつながり × 問 1-4 「幸せ」感



(2) 20 年先の沖縄に対する見通しと「幸せ」感

20 年先の沖縄は現在よりも発展し、輝いていると思うかどうかと「幸せ」感との関連を見ると、「今より発展し、輝いている」と思う人が「幸せ」を感じている比率は 49.2% と最も高い。一方、「幸せ」を感じる比率が最も低いのは、「そうは思わない」と回答した人で 30.1% となっている。しかし、「今とあまり変わらない」と「そうは思わない」に差がほとんどない。

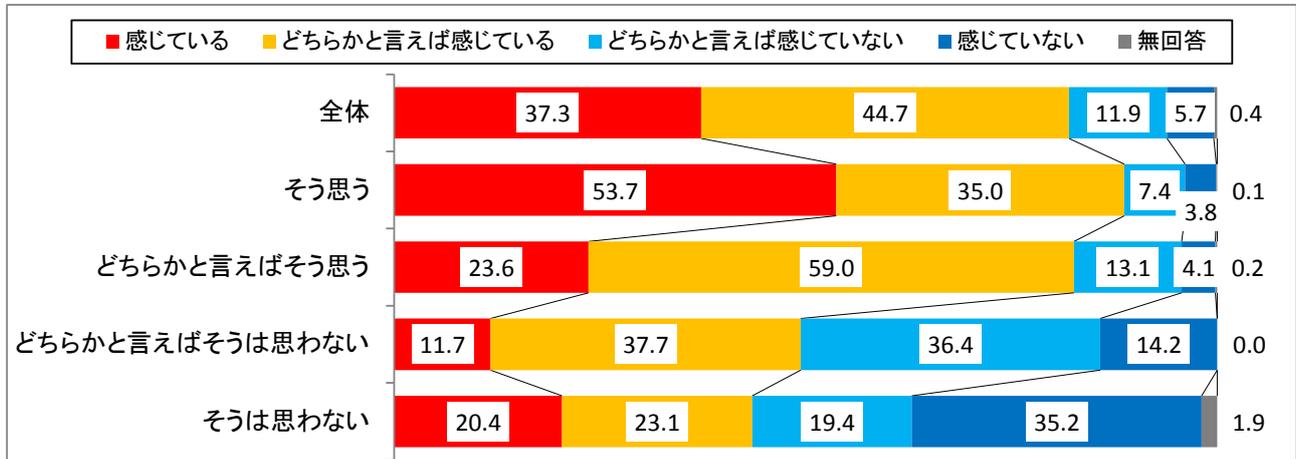
図 6-3-2 問 1-2 20 年先の沖縄に対する見通し × 問 1-4 「幸せ」感



(3) 努力すれば人生は変わるという考えと「幸せ」感

努力すれば人生は変わると思う人と、そうは思わないと考える人がいる。それらの考えと「幸せ」感との関連を見ると、「努力すれば人生は変わる」と考える人は、そう考えない人よりも30ポイント以上「幸せ」に感じている比率が高い。

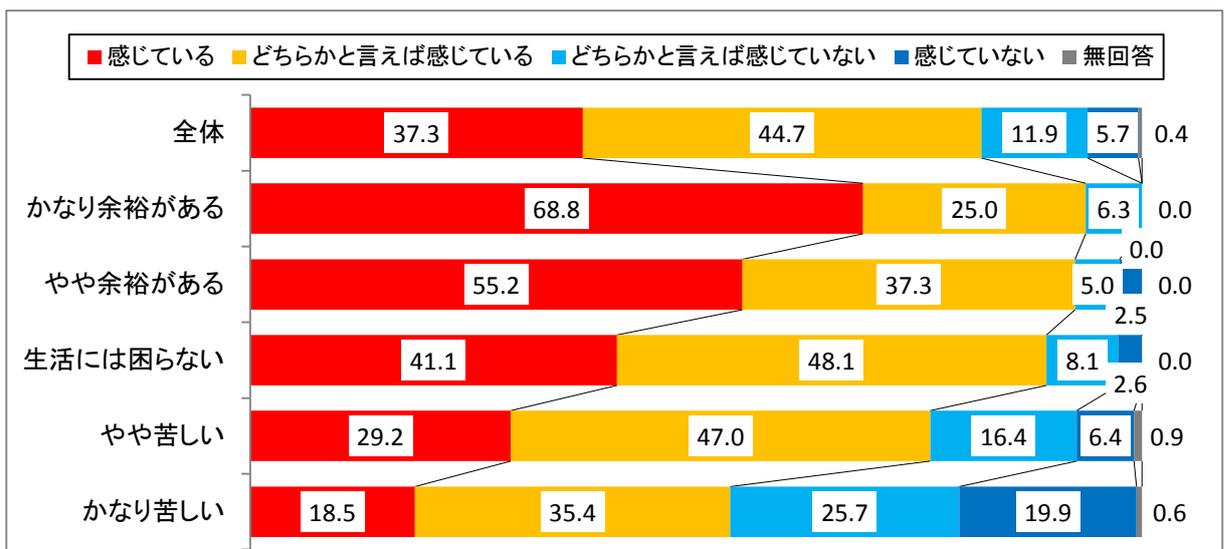
図 6-3-3 問 1-3 努力すれば人生は変わる × 問 1-4 「幸せ」感



(4) 世帯の経済状況と「幸せ」感

世帯の経済状況と「幸せ」感との関連を見ると、世帯の経済状況に「かなり余裕がある」と回答した人が「幸せ」を感じる比率が最も高く、68.8%となっている。一方、「幸せ」を感じる比率が最も低いのは、世帯の経済状況が「かなり苦しい」と回答した人で18.5%となっている。世帯の経済状況と「幸せ」には一定の相関が見られる。

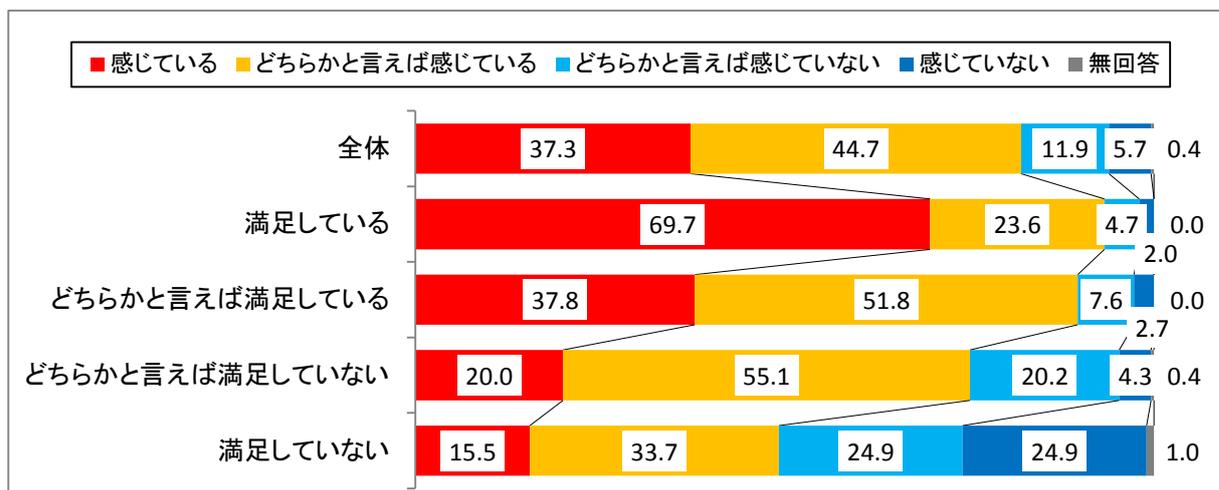
図 6-3-4 問 1-6 世帯の経済状況 × 問 1-4 「幸せ」感



(5) 仕事への満足感と「幸せ」感

現在の仕事への満足感と「幸せ」感との関連を見ると、仕事に「満足している」と回答した人が「幸せ」を感じる比率が最も高く、69.7%となっている。一方、「幸せ」を感じる比率が最も低いのは、仕事に「満足していない」と回答した人で15.5%となっている。仕事への満足感と「幸せ」感には一定の相関が見られる。

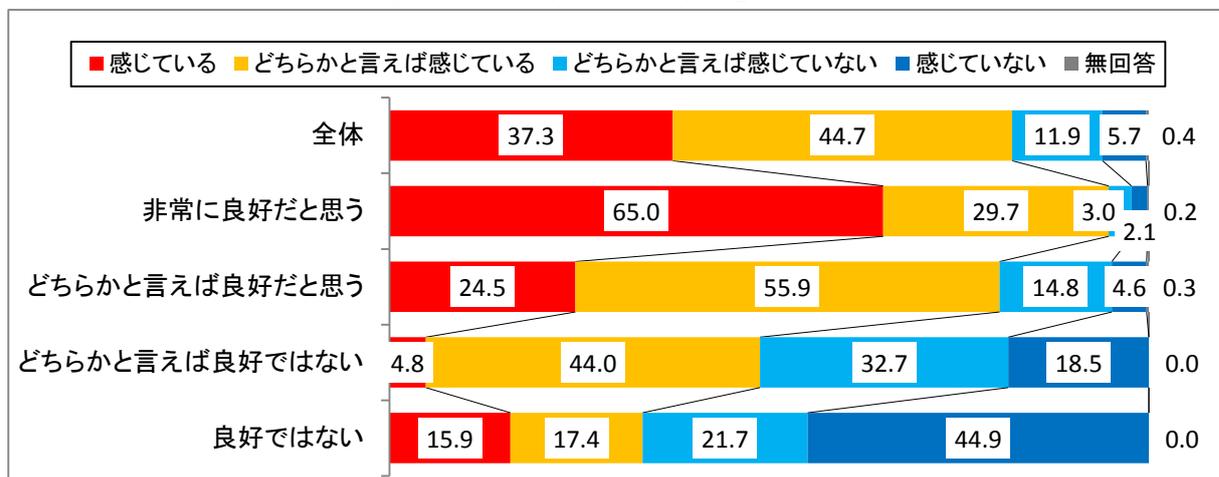
図 6-3-5 問 1-7 仕事への満足感 × 問 1-4 「幸せ」感



(6) 家族との関係と「幸せ」感

家族との関係が良好かどうかと「幸せ」感との関連を見ると、家族との関係が「非常に良好だと思う」人は、65%が「幸せ」を感じており、他の回答よりも高い数値となっている。

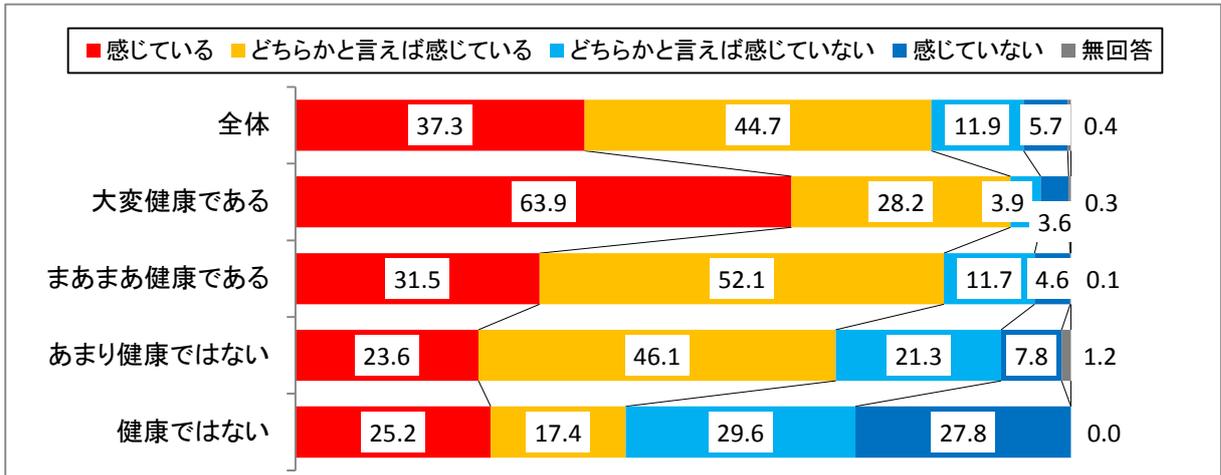
図 6-3-6 問 1-8 家族との関係 × 問 1-4 「幸せ」感



(7) 健康状態と「幸せ」感

健康であるかどうかと「幸せ」感との関連を見ると、「大変健康である」と回答した人が「幸せ」を感じる比率が最も高く 63.9%となっている。そして「まあまあ健康である」(31.5%)、「健康ではない」(25.2%)、「あまり健康ではない」(23.6%)と続く。

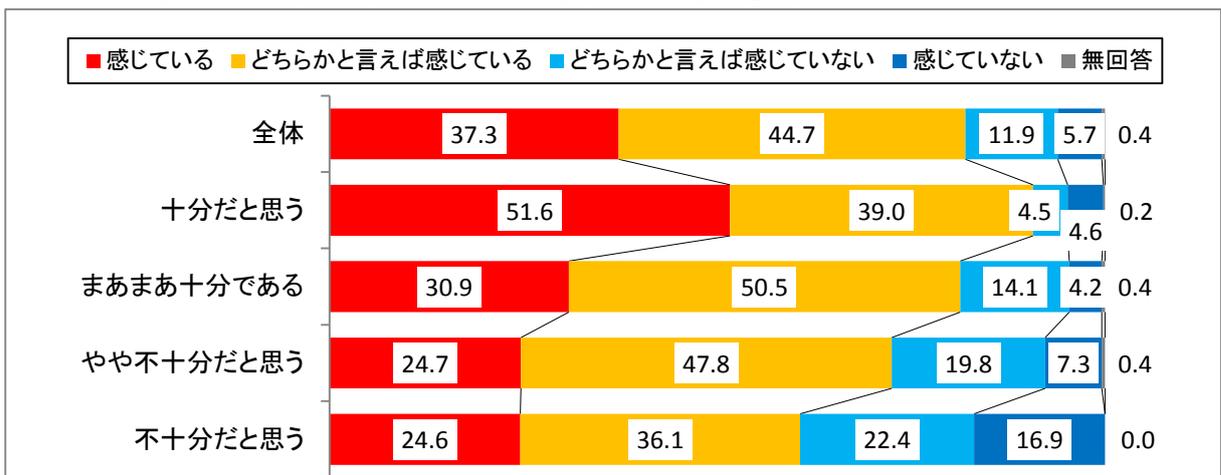
図 6-3-7 問 1-9 健康状態 × 問 1-4 「幸せ」感



(8) 現在の住まいと「幸せ」感

現在の住まいは生活していく上で十分と思うかどうかと「幸せ」感との関連を見ると、「十分だと思う」と回答した人が「幸せ」を感じる比率が最も高く、51.6%となっている。一方、「幸せ」を感じる比率が最も低いのは、「不十分だと思う」と回答した人で 24.6%となっている。現在の住まいと「幸せ」感には一定の相関が認められる。

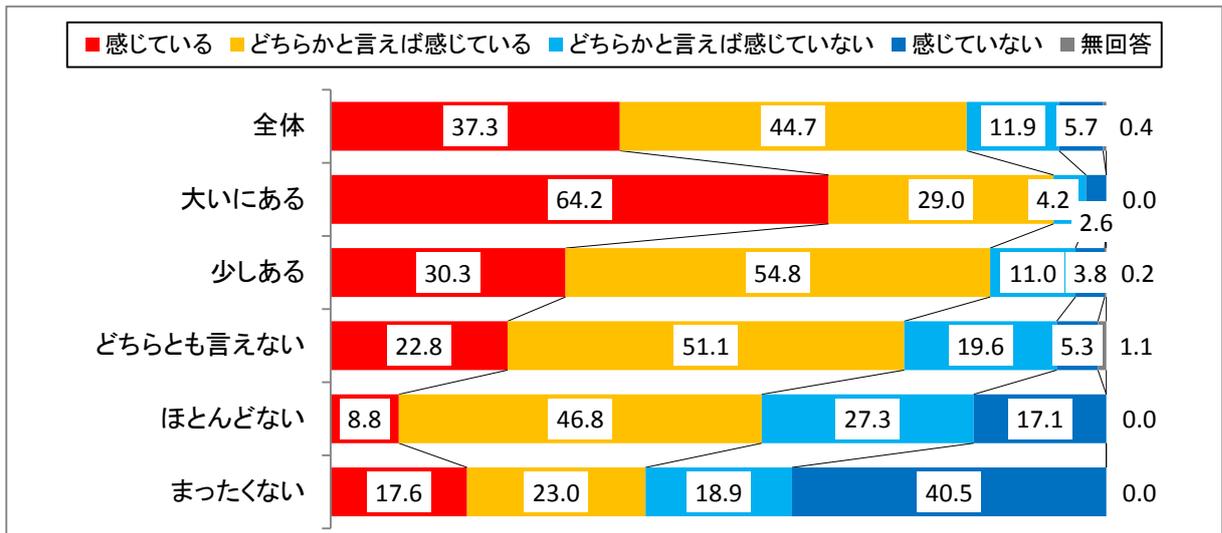
図 6-3-8 問 1-10 現在の住まい × 問 1-4 「幸せ」感



(9) 「生きがい」と「幸せ」感

生きがいにしていることがあるかどうかと「幸せ」感との関連を見ると、「大いにある」と回答した人が「幸せ」を感じる比率が最も高く、64.2%となっている。そして「少しある」(30.3%)、「どちらとも言えない」(22.8%)、「まったくない」(17.6%)、「ほとんどない」(8.8%)と続く。

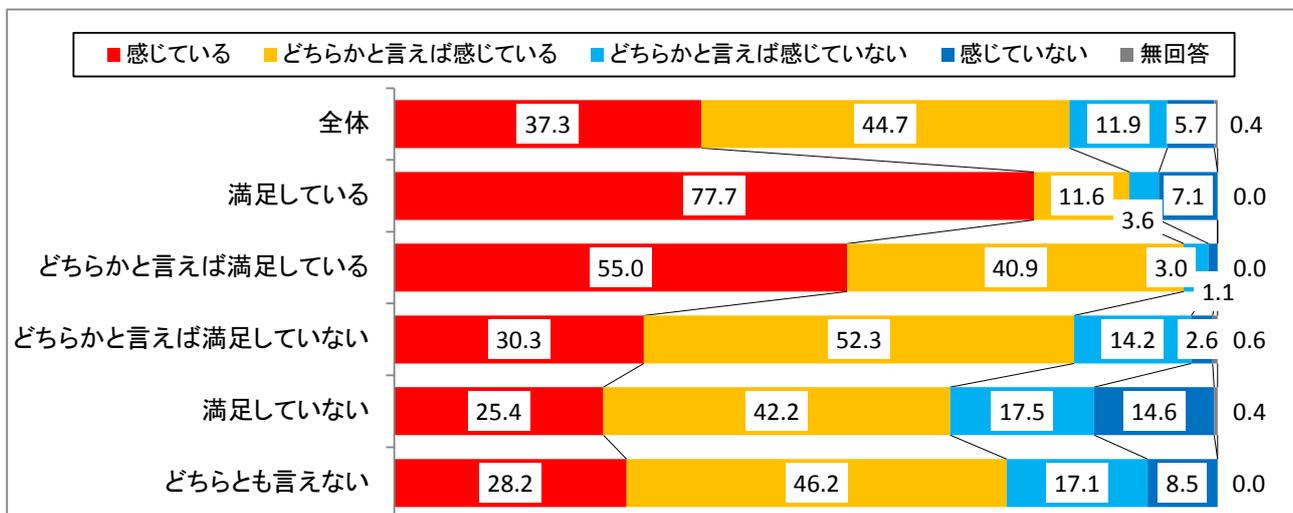
図 6-3-9 問 1-11 「生きがい」 × 問 1-4 「幸せ」感



(10) 社会に対する満足感と「幸せ」感

現在の社会に全体として満足しているかと「幸せ」感との関連を見ると、「満足している」と回答した人が「幸せ」を感じる比率が最も高く、77.7%となっている。そして「どちらかと言えば満足している」(55.0%)、「どちらかと言えば満足していない」(30.3%)、「どちらとも言えない」(28.2%)、「満足していない」(25.4%)と続く。

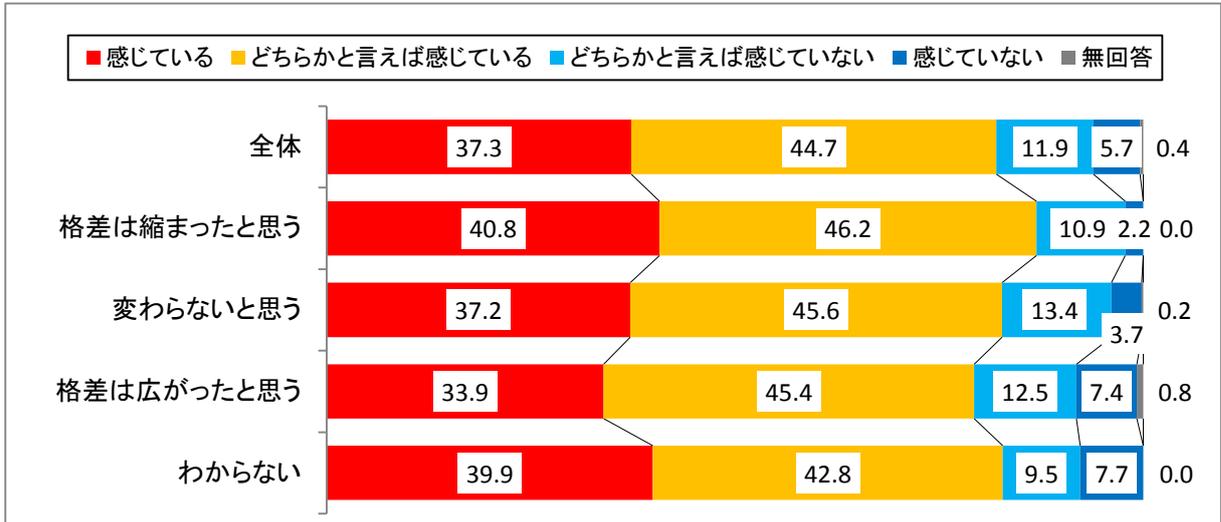
図 6-3-10 問 1-12 社会に対する満足感 × 問 1-4 「幸せ」感



(11) 県民間の経済格差と「幸せ」感

10年前の沖縄と比べて、県民間の経済格差は縮まったと思うかどうかと「幸せ」感との関連を見ると、経済格差が縮まったと思うかどうかに関わらず、「幸せ」を感じる人の比率に大きな差はみられないことから、両者に特別な相関はないと思われる。

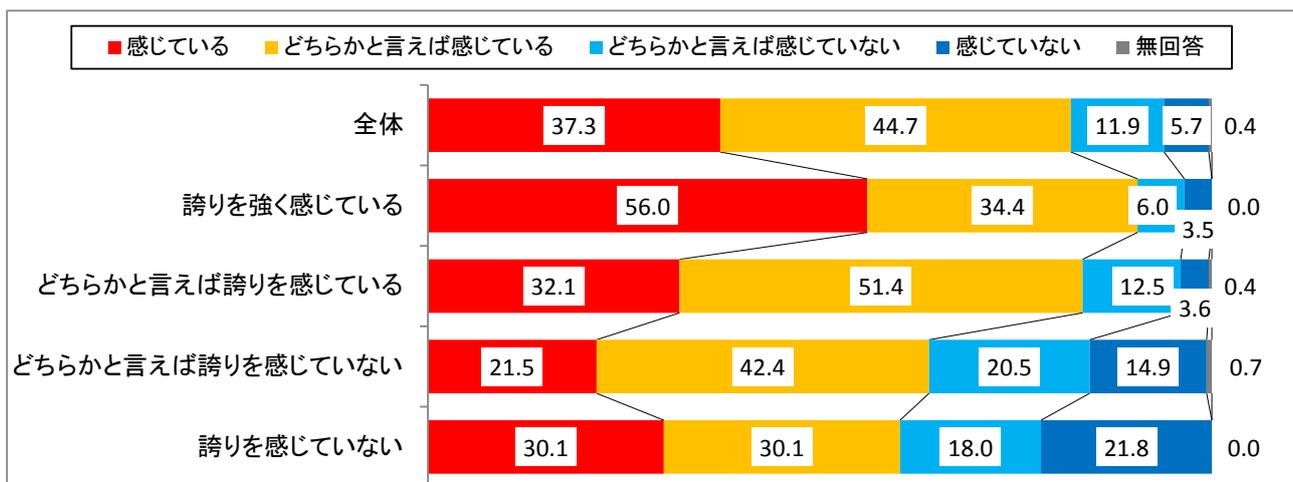
図 6-3-11 問 1-13 県民間の経済格差 × 問 1-4 「幸せ」感



(12) 沖縄県に対する誇りと「幸せ」感

沖縄県に誇りを感じているかどうかと「幸せ」感との関連を見ると、沖縄県に「誇りを強く感じている」と回答した人が「幸せ」を感じる比率が最も高く、56.0%となっている。そして「どちらかと言えば誇りを感じている」(32.1%)、「誇りを感じていない」(30.1%)、「どちらかと言えば感じていない」(21.5%)と続く。

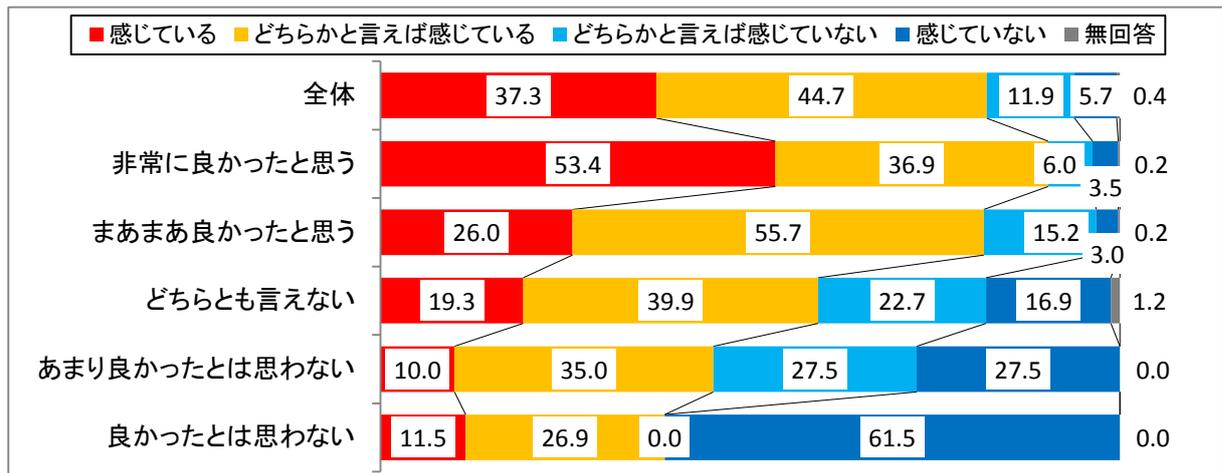
図 6-3-12 問 1-14 沖縄県に対する誇り × 問 1-4 「幸せ」感



(13) 「沖縄県に生まれてよかった」との思いと「幸せ」感

沖縄県に生まれ、あるいは沖縄県で生活していて良かったと思うかどうかと「幸せ」感との関連を見ると、「非常に良かったと思う」人が「幸せ」を感じる比率が最も高く、53.4%となっている。そして「まあまあ良かったと思う」(26.0%)、「どちらとも言えない」(19.3%)、「良かったとは思わない」(11.5%)、「あまり良かったとは思わない」(10.0%)と続く。

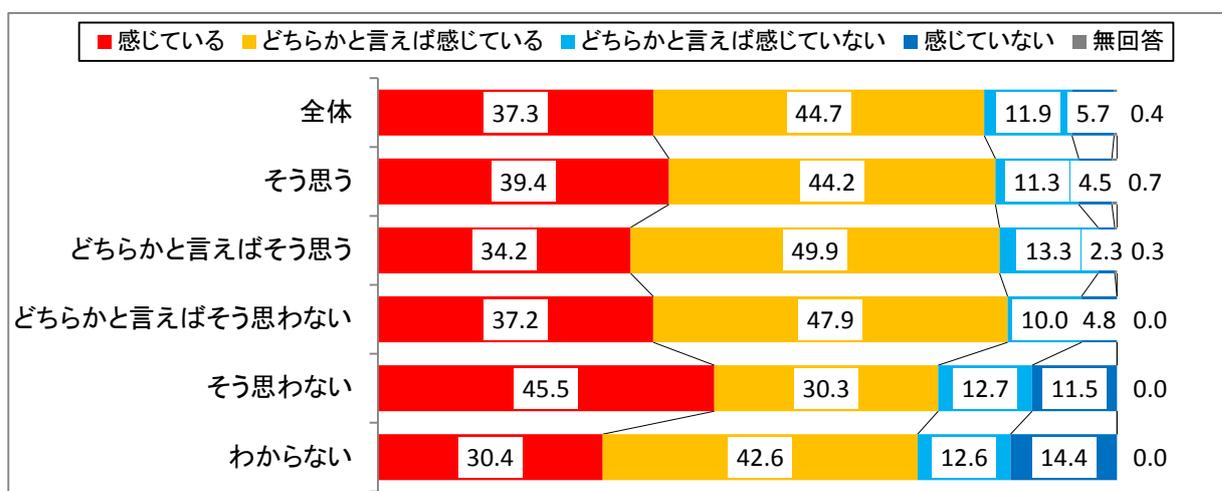
図 6-3-13 問 1-15 「沖縄県に生まれてよかった」との思い × 問 1-4 「幸せ」感



(14) 米軍専用施設の集中に対する意識と「幸せ」感

沖縄県に全国の米軍専用施設の約74%が存在している。それを差別的な状況だと思うかどうかと「幸せ」感との関連を見ると、「そうは思わない」人が最も高い比率で「幸せ」を感じており、「そう思う」人がそれに次ぐ比率で「幸せ」を感じている。差別的な状況であると思うかどうかと「幸せ」感の間には、特別な相関はないと考えられる。

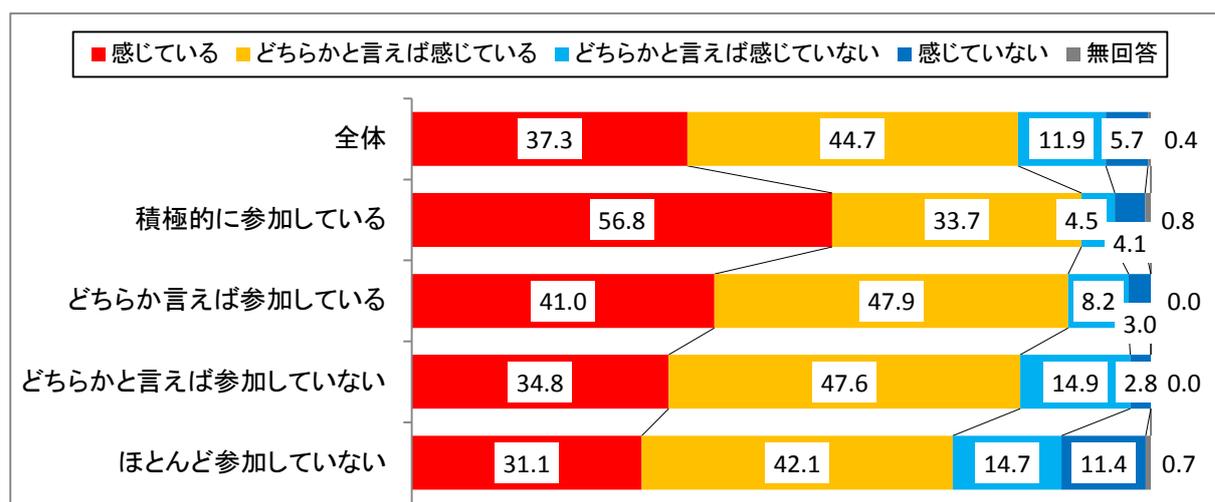
図 6-3-14 問 1-16 米軍専用施設の集中に対する意識 × 問 1-4 「幸せ」感



(15) イベントや催し物、会合等への参加と「幸せ」感

各種のイベントや催し物に参加しているかどうかと「幸せ」感との関連を見ると、「積極的に参加している方だと思う」と回答した人が「幸せ」を感じる比率が最も高く、56.8%となっている。そして「どちらかと言えば参加している」(41.0%)、「どちらかと言えば参加していない」(34.8%)、「ほとんど参加していない」(31.1%)と続く。イベントや催し物、会合等への参加と「幸せ」感には一定の相関が認められる。

図 6-3-15 問 1-17 イベントや催し物、会合等への参加 × 問 1-4 「幸せ」感

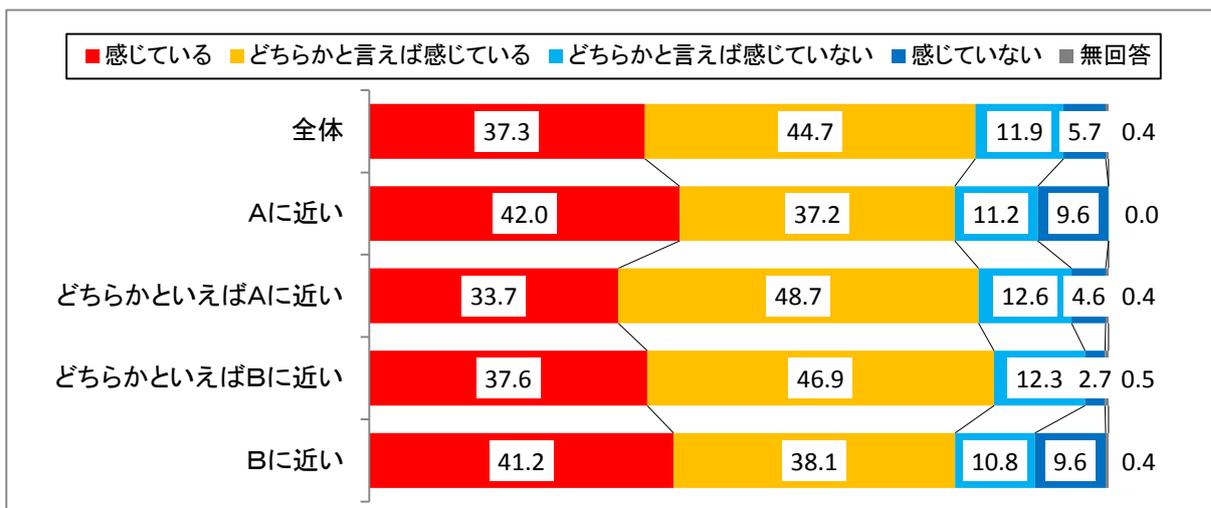


4. 生活価値観の選択と「幸せ」感（問6×問1-4）

(1) “仕事と余暇”と「幸せ」感

A「いつでも仕事を優先させる」と考える人とB「休みをつぶしてまで仕事をしようとは思わない」と考える人との考え方の違いが「幸せ」感とどのように関連しているかを見ると、仕事優先派の「幸せ」感が最も高くなっているが、どちらの考えであっても「幸せ」感に大きな差はない。

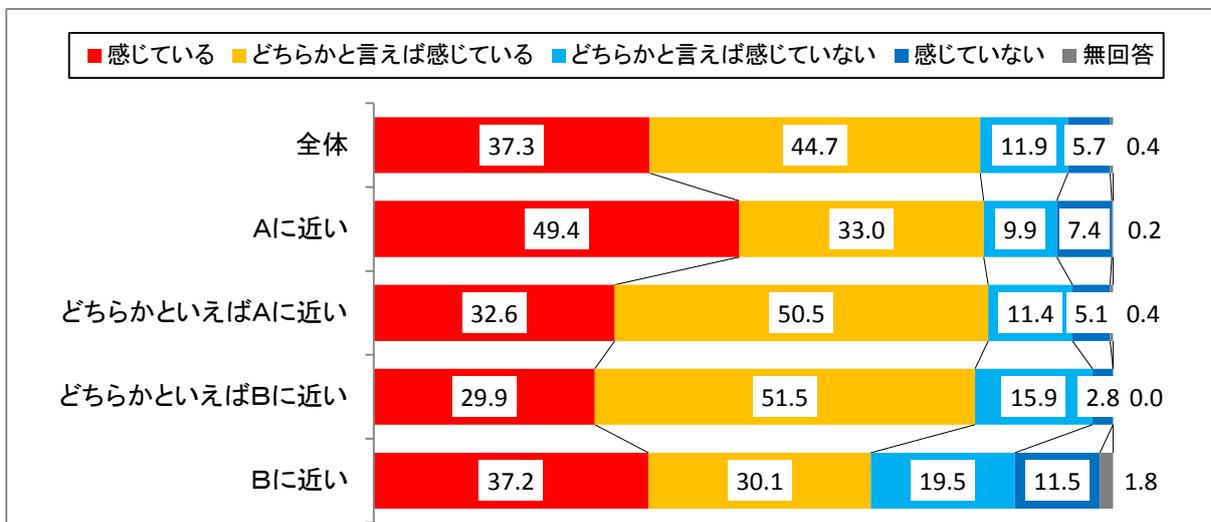
図6-4-1 問6-1 仕事と余暇 × 問1-4「幸せ」感



(2) “精神的豊かさと物質的豊かさ”と「幸せ」感

A「精神的な豊かさが大切」と考えるかB「物質的な豊かさが大切」と考えるかの考え方の違いが「幸せ」感とどのように関連しているのかを見ると、「精神的豊かさ」を大切にする人の「幸せ」感が最も高くなっているが、どちらの考えであっても「幸せ」感に大きな差はない。

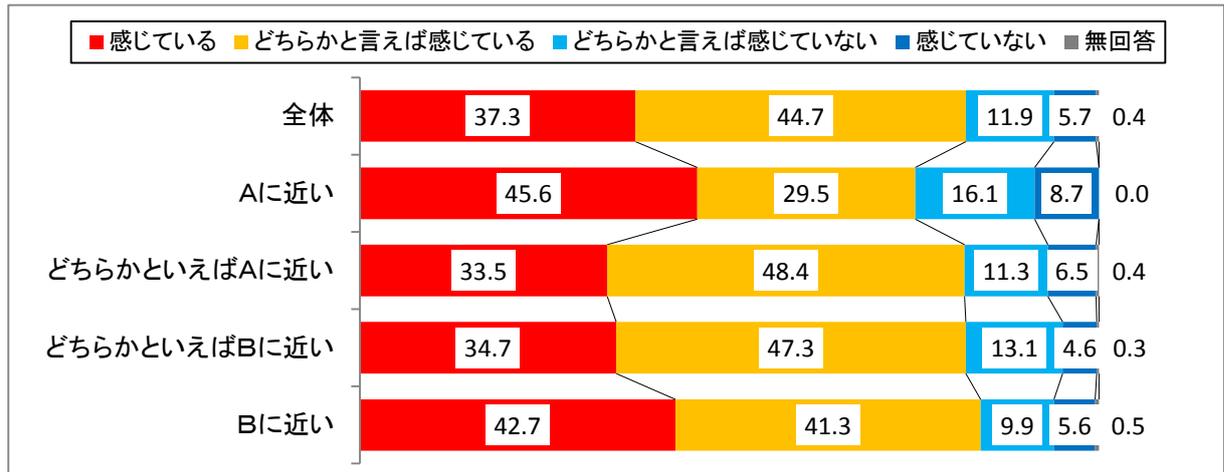
図6-4-2 問6-2 精神的豊かさと物質的豊かさ × 問1-4「幸せ」感



(3) “女性の社会進出と家事専念”と「幸せ」感

A「女性は家事・育児に専念すべき」と考えるかB「女性も外に出て働いた方がいい」と考えるかの考え方の違いが「幸せ」感とどのように関連するかを見ると、「女性は家事・育児に専念すべき」と考える人が「幸せ」を感じる比率と「女性も外に出てどんどん働いた方がいい」と考える人のそれとは、それぞれ「どちらかといえば」という中間的な考えの人の比率よりともに高い傾向が見られる。AかBかによる「幸せ」感との相関はないと考えられる。

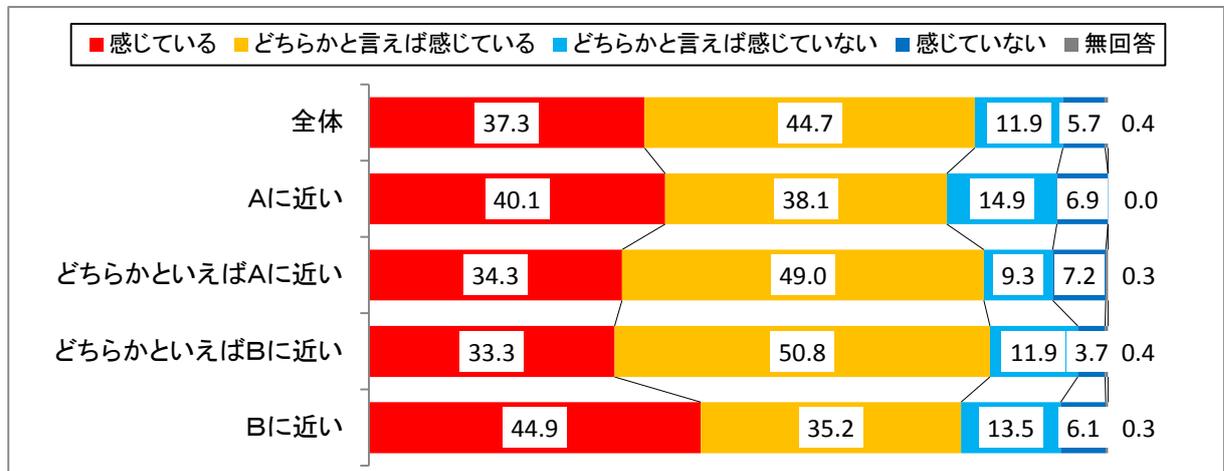
図 6-4-3 問 6-3 女性の社会進出と家事専念 × 問 1-4 「幸せ」感



(4) “男性の家事専念と社会活動”と「幸せ」感

A「男性が家にいて家事や育児に専念してもいい」と考えるかB「外で働いて、社会的責任を果たすべき」と考えるかの考え方の違いが「幸せ」感とどのように関連するかを見ると、B「外で働いて、社会的責任を果たすべき」と考える人が「幸せ」と感じる比率が最も高い。また、A「男性が家にいて家事や育児に専念してもいい」という考えの人が「幸せ」と感じる比率がそれに次いでいる。AかBかによる「幸せ」感との相関はないと考えられる。

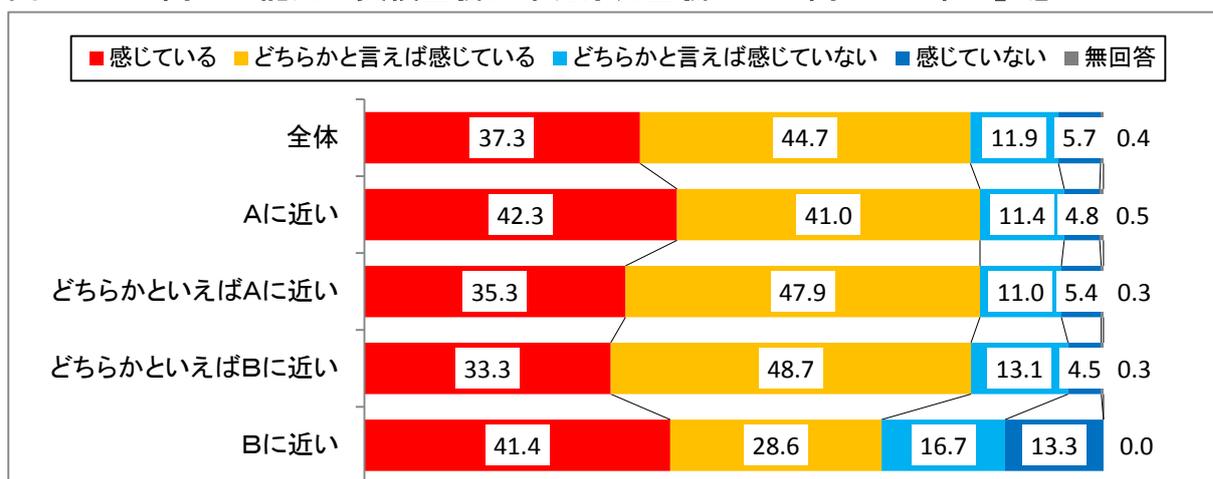
図 6-4-4 問 6-4 男性の家事専念と社会活動 × 問 1-4 「幸せ」感



(5) “能力・実績主義と年功序列主義” と「幸せ」感

A「年齢や勤務年数にかかわらず、能力と実績を重視して賃金と地位が決めることが望ましい」と考えるかB「年齢や勤務年数に応じて、賃金や地位を決める年功序列を大切にされた方がよい」と考えるかの考え方の違いが「幸せ」感とどのように関連するかを見ると、能力や実績を重視する考えの人が「幸せ」を感じる比率が最も高いが、年功序列を重視する考えの人が「幸せ」を感じる比率も高い。

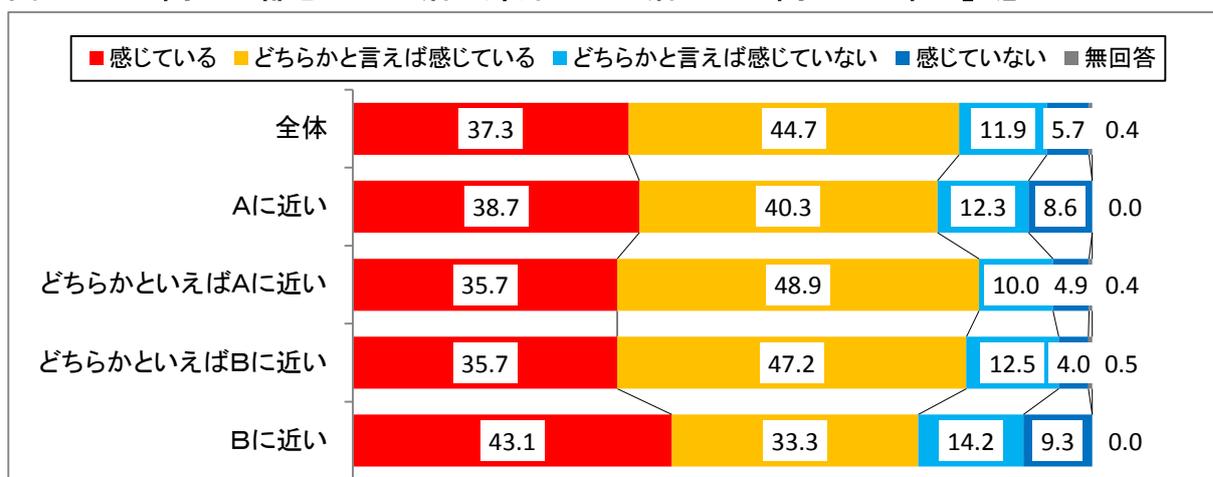
図 6-4-5 問 6-5 能力・実績主義と年功序列主義 × 問 1-4 「幸せ」感



(6) “都心での生活と郊外での生活” と「幸せ」感

A「多少土地が高価でも利便性のよい都心（街の中）で暮らす方がいい」と考える人とB「多少不便でも、土地の安価な郊外で暮らす方がいい」と考える人の考え方の違いが「幸せ」感とどのように関連するかを見ると、2つの考えと「幸せ」感の比率には、差異はないと言える。

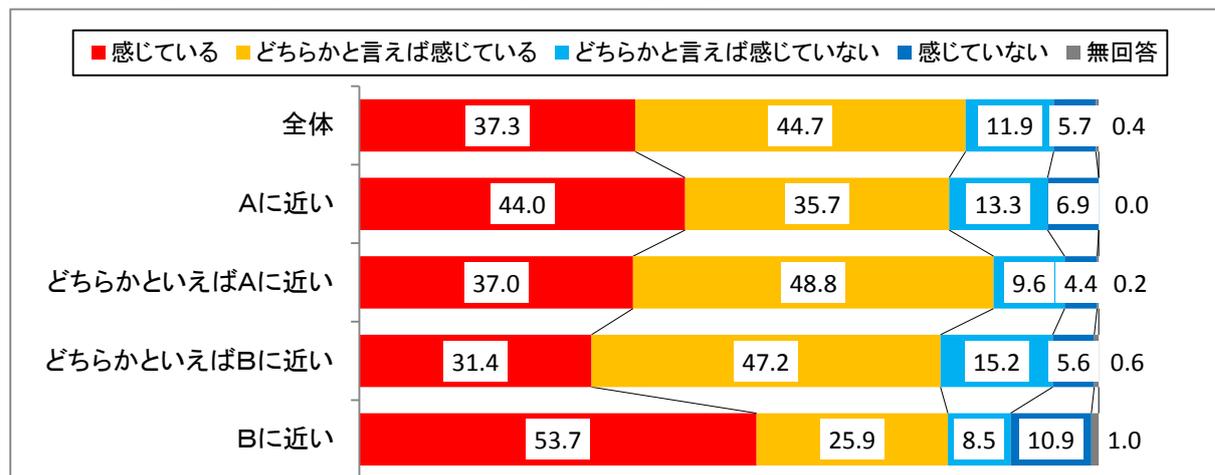
図 6-4-6 問 6-6 都心での生活と郊外での生活 × 問 1-4 「幸せ」感



(7) “改革と保守” と「幸せ」感

A「新しいものは大いに取り入れて改革して欲しい」と考える人とB「いたずらに改革するより古いものの価値を大切にするのがよい」と考える人の考え方の違いが「幸せ」感とどのように関連するかを見ると、2つの考えと「幸せ」感の比率には、差異はないと言える。

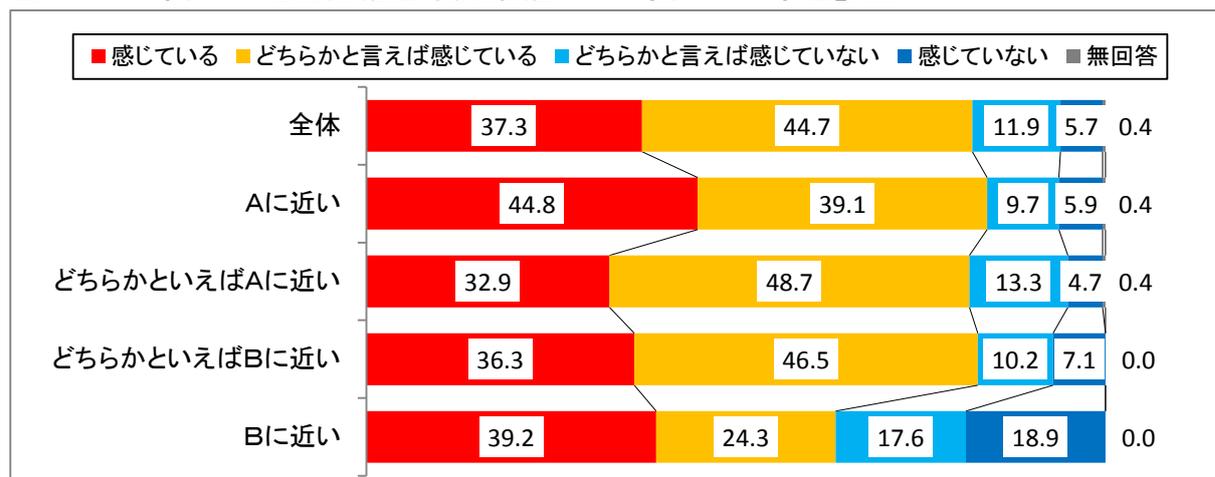
図 6-4-7 問 6-7 改革と保守 × 問 1-4 「幸せ」感



(8) “地方分権と中央集権” と「幸せ」感

A「地方分権を進め、県や市町村にもっと権限を移した方がいい」と考える人とB「政府が権限の多くを管理している方がいい」と考える人の考え方の違いが「幸せ」感とどのように関連するかを見ると、2つの考えと「幸せ」感の比率には、差異はないと言える。

図 6-4-8 問 6-8 地方分権と中央集権 × 問 1-4 「幸せ」感

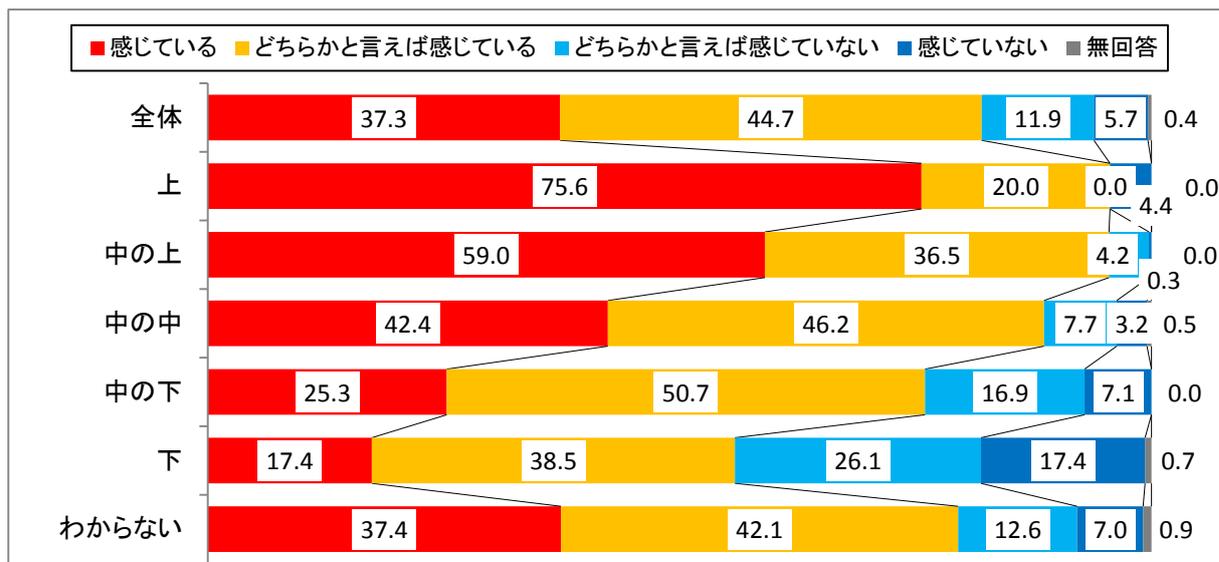


5. 生活状態（くらしむき）と「幸せ」感（問9×問1-4）

(1) 生活状態の意識と「幸せ」感

家族の生活状態と「幸せ」感との関連を見ると、生活状態がよそに比べて「上」と回答した人が「幸せ」を感じる比率が最も高く、75.6%となっている。一方、「幸せ」を感じる比率が最も低いのは、生活状態がよそに比べて「下」と回答した人で17.4%となっている。生活状態の意識と「幸せ」感の間には、一定の相関があると考えられる。

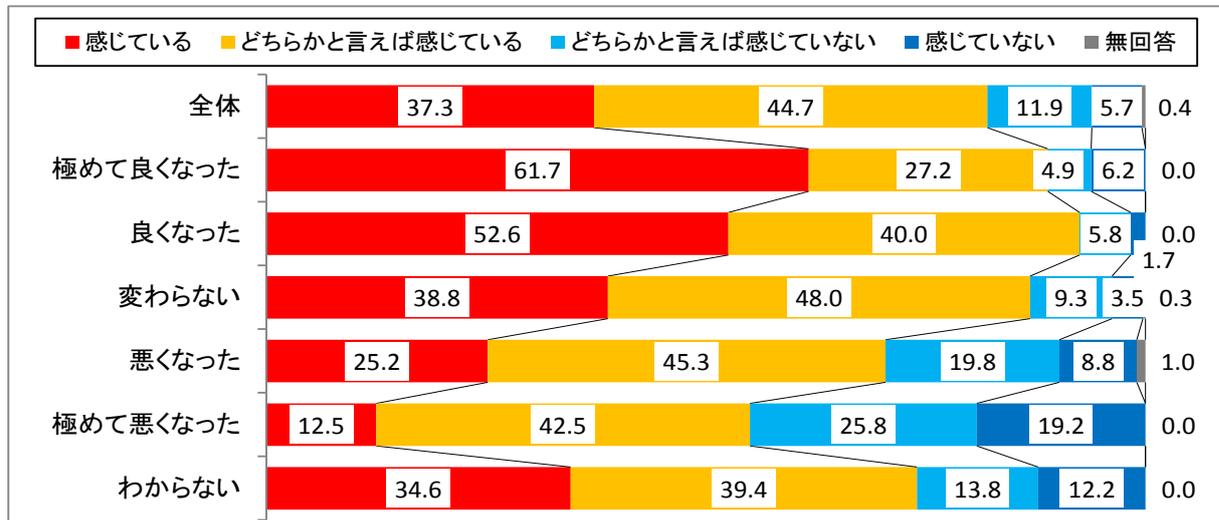
図 6-5-1 問 9-1 生活状態の意識 × 問 1-4 「幸せ」感



(2) 生活状態の変化と「幸せ」感

生活状態が4、5年間前に比べて向上したと感じているかどうかと「幸せ」感の関連を見ると、「極めてよくなった」と回答した人が「幸せ」を感じる比率が最も高く、61.7%となっている。一方、「幸せ」を感じる比率が最も低いのは、「極めて悪くなった」と回答した人で12.5%となっている。生活状態の意識と「幸せ」感の間には、一定の相関があると考えられる。

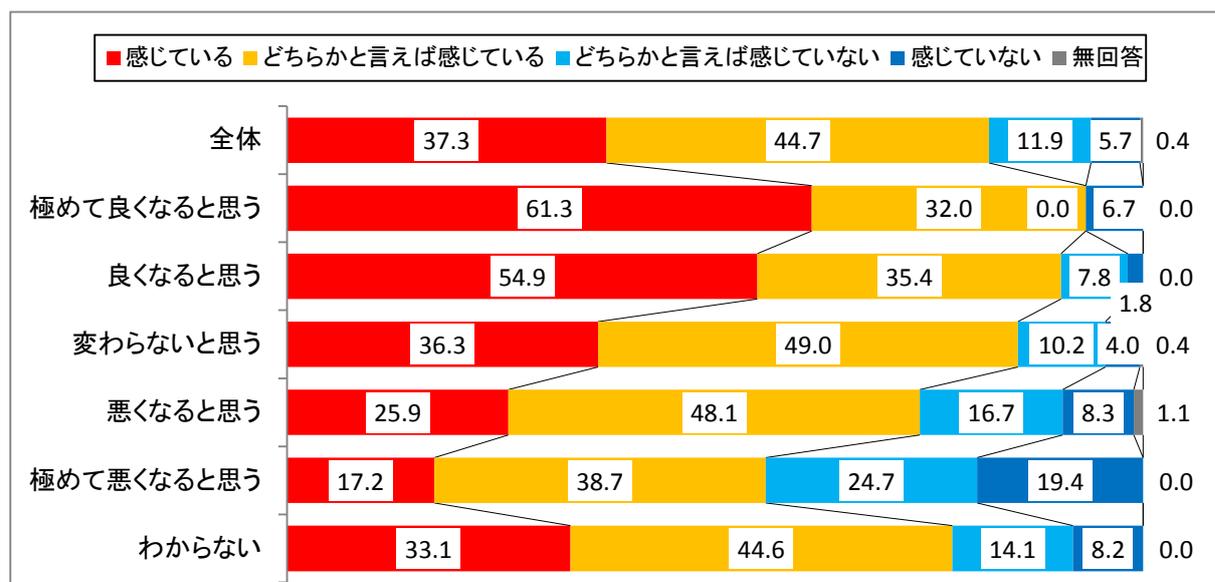
図 6-5-2 問 9-2 生活状態の変化 × 問 1-4 「幸せ」感



(3) 生活状態の見通しと「幸せ」感

今後の生活が今の生活に比べて良くなると思うかどうかという見通しと、「幸せ」感との関連を見ると、「極めて良くなると思う」と回答した人が「幸せ」を感じる比率が最も高く、61.3%となっている。そして「良くなると思う」(54.9%)、「変わらないと思う」(36.3%)、「わからない」(33.1%)、「悪くなると思う」(25.9%)、「極めて悪くなると思う」(17.2%)と続く。生活状態の見通しと「幸せ」感の間には、一定の相関があると考えられる。

図 6-6-3 問 9-3 生活状態の見通し × 問 1-4 「幸せ」感



6. 県民の自己像と「社会に対する満足」感（問 1-1～16×問 1-12）

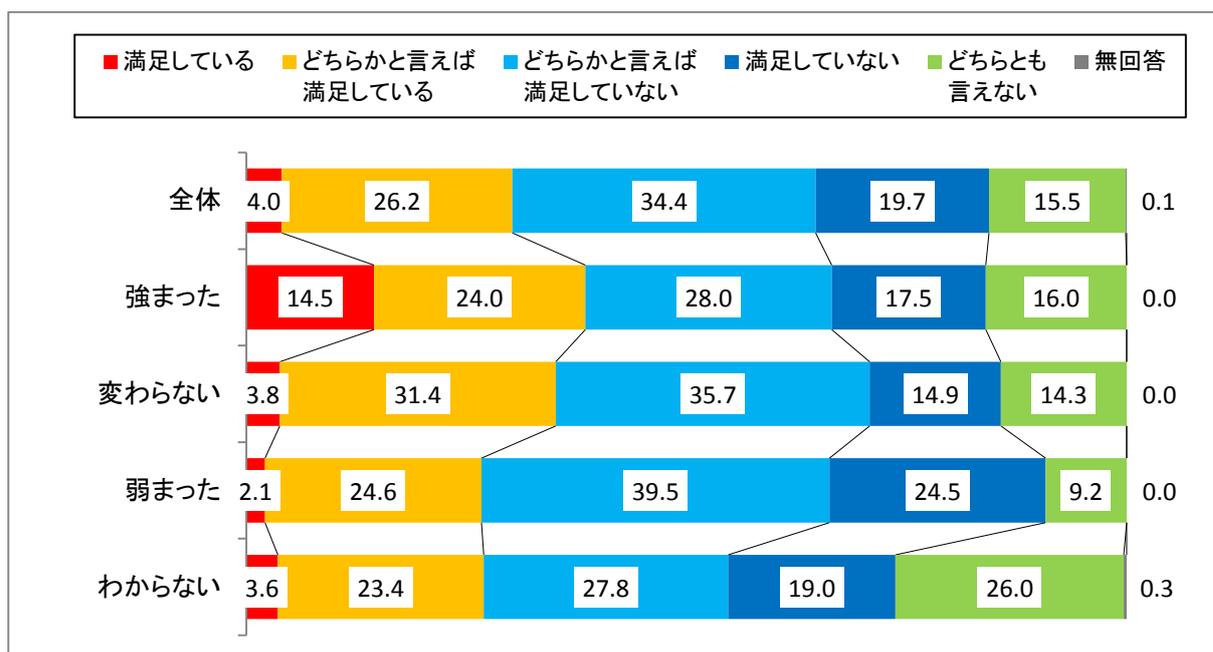
問 1 の (12) 「あなたは、現在の社会に全体として満足していますか」という設問に対して、「満足している」が 4.0%、「どちらかといえば満足している」が 26.2%、「どちらかといえば満足していない」が 34.4%、「満足していない」が 19.7%、そして、「どちらとも言えない」が 15.5%であった。54.1%の人が社会に対して満足していない状況といえる。

ここでは、これら「社会に対する満足」感と沖縄県民の自己像との関連を見ていく。

(1) 人と人のつながりと「社会に対する満足」感

10 年前の沖縄に比べて、人と人のつながりが強まったと思うかどうかと「社会に対する満足」感との関連を見ると、「10 年前より強まった」と回答した人が、「社会に対する満足」感を感じる比率が高く、「満足している」「どちらかといえば満足している」の比率の合計は 38.5%となっている。そして「変わらない」(35.2%)、「わからない」(27.0%)、「弱まった」(26.7%) と続く。

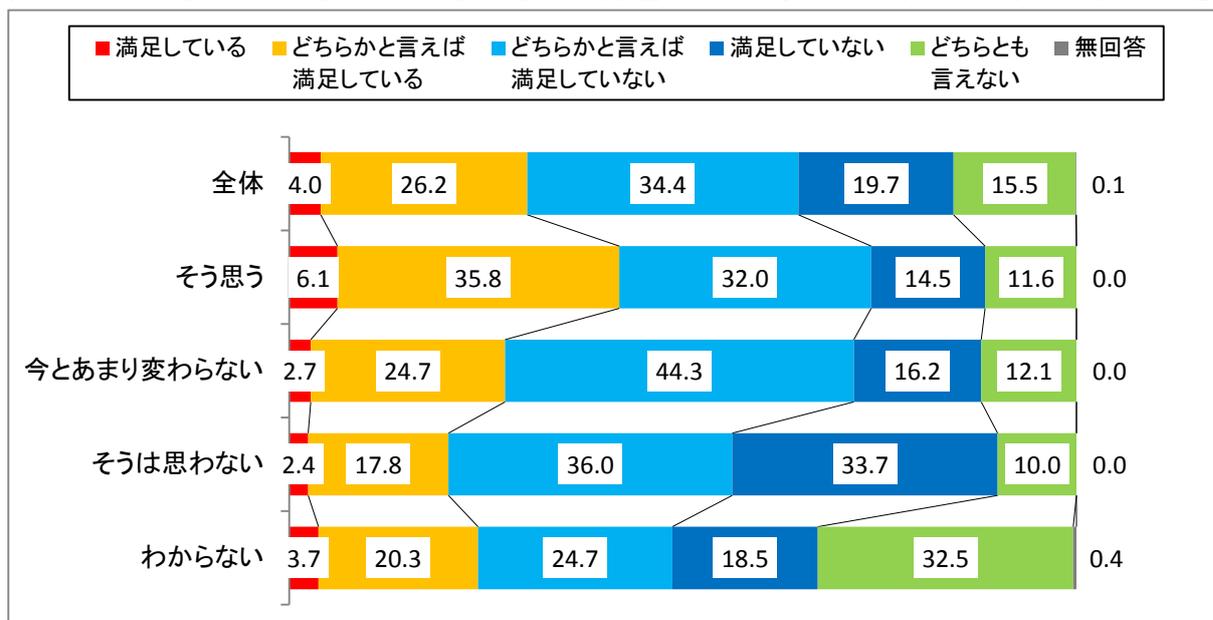
図 6-6-1 問 1-1 人と人のつながり × 問 1-12 「社会に対する満足」感



(2) 20年先の沖縄に対する見通しと「社会に対する満足」感

20年先の沖縄は現在よりも発展し、輝いていると思うかどうかと「社会に対する満足」感との関連を見ると、「そう思う」と回答した人が、「社会に対する満足」感を感じる比率が高く、「満足している」「どちらかと言えば満足している」の比率の合計は41.9%となっている。そして「今とあまり変わらない」(27.4%)、「わからない」(24.0%)、「そうは思わない」(20.2%)と続く。

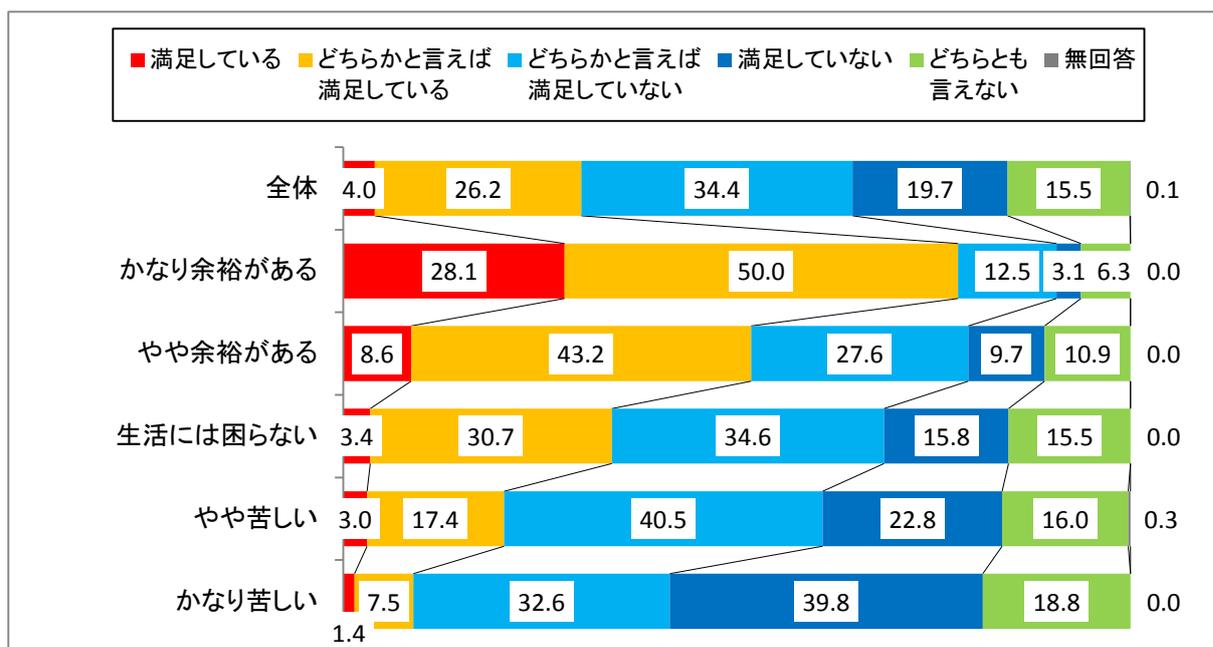
図 6-6-2 問 1-2 20年先の沖縄に対する見通し × 問 1-12 「社会に対する満足」感



(3) 世帯の経済状況と「社会に対する満足」感

世帯の経済状況に余裕があるかどうかと「社会に対する満足」感との関連を見ると、「かなり余裕がある」と回答した人が、「社会に対する満足」感を感じる比率が高く、「満足している」「どちらかと言えば満足している」の比率の合計は78.1%となっている。そして「やや余裕がある」(51.8%)、「生活には困らない」(34.1%)、「やや苦しい」(20.4%)、「かなり苦しい」(8.9%)と続く。世帯の経済状況と「社会に対する満足」感に一定の相関があることが考えられる。

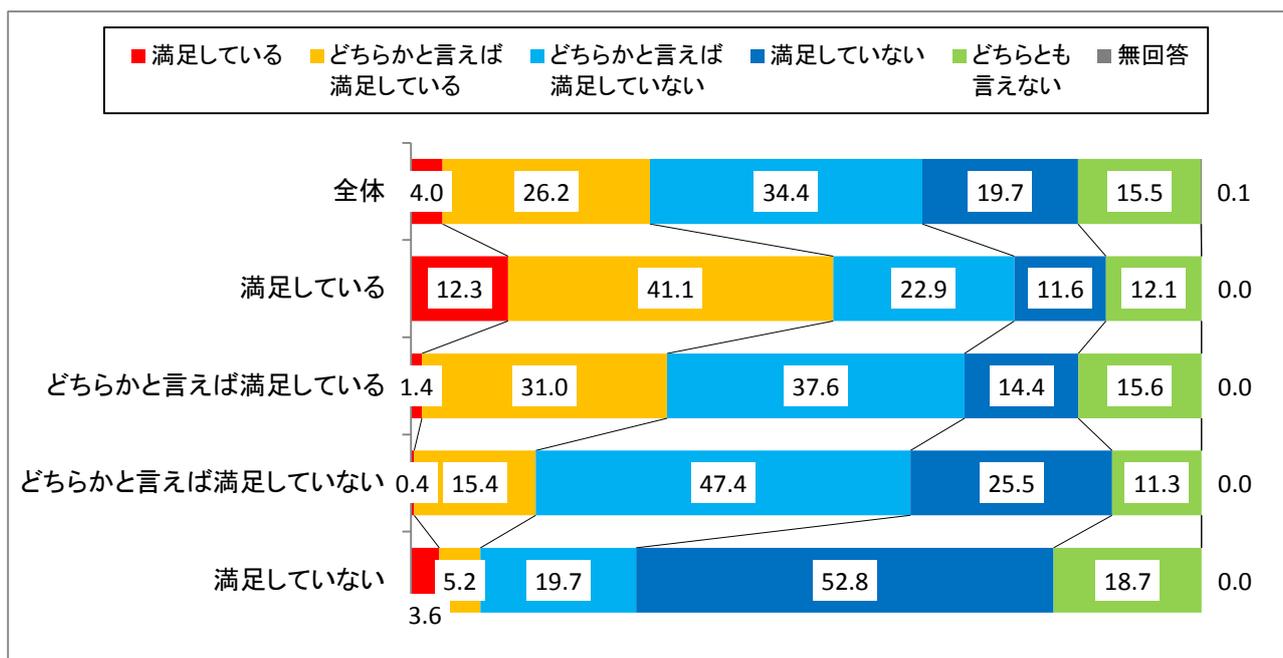
図 6-6-3 問 1-6 世帯の経済状況 × 問 1-12 「社会に対する満足」感



(4) 仕事に対する満足感と「社会に対する満足」感

現在の仕事に満足しているかどうかと「社会に対する満足」感との関連を見ると、「満足している」と回答した人が、「社会に対する満足」感を感じる比率が高く、「満足している」「どちらかと言えば満足している」の比率の合計は 53.4%となっている。そして「どちらかと言えば満足している」(32.4%)、「どちらかと言えば満足していない」(15.8%)、「満足していない」(8.8%)と続く。仕事に対する満足感と「社会に対する満足」感に一定の相関があることが考えられる。

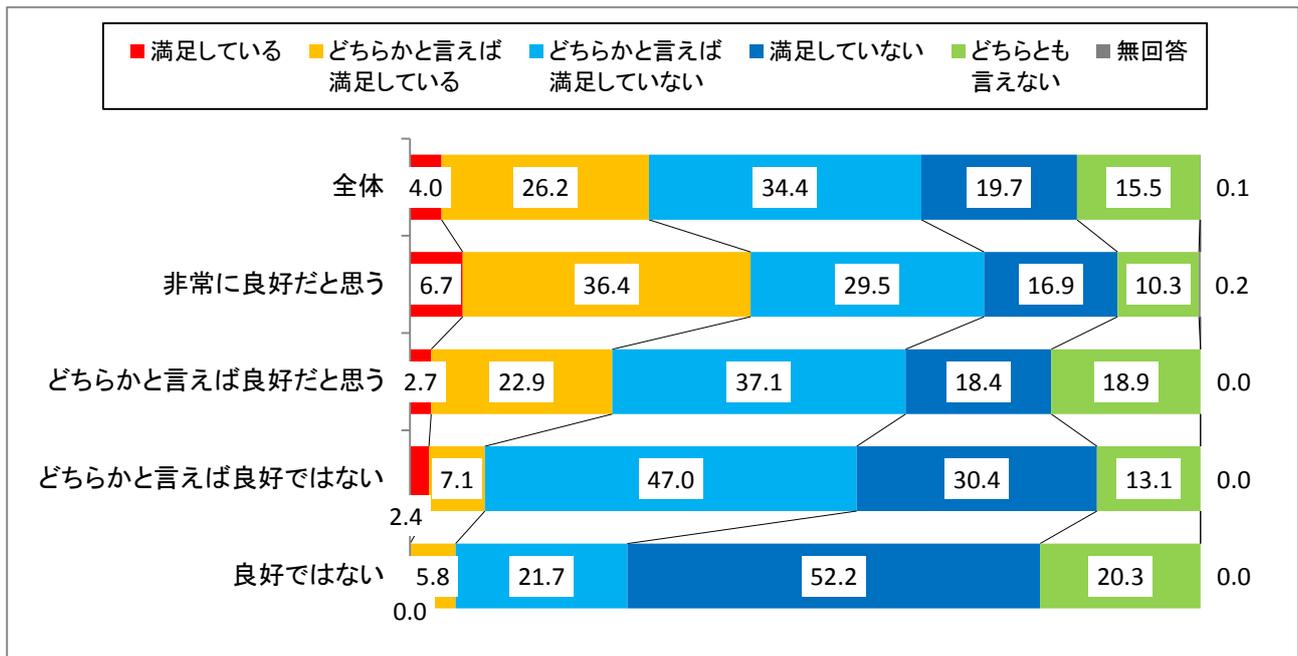
図 6-6-4 問 1-7 仕事に対する満足感 × 問 1-12 「社会に対する満足」感



(5) 家族との関係と「社会に対する満足」感

家族との関係が良好だと思うかどうかと「社会に対する満足」感との関連を見ると、「非常に良好だと思う」と回答した人が、「社会に対する満足」感を感じる比率が高く、「満足している」「どちらかと言えば満足している」の比率の合計は43.1%となっている。そして「どちらかと言えば良好だと思う」(25.6%)、「どちらかと言えば良好ではない」(9.5%)、「良好ではない」(5.8%)と続く。家族との関係と「社会に対する満足」感に一定の相関があることが考えられる。

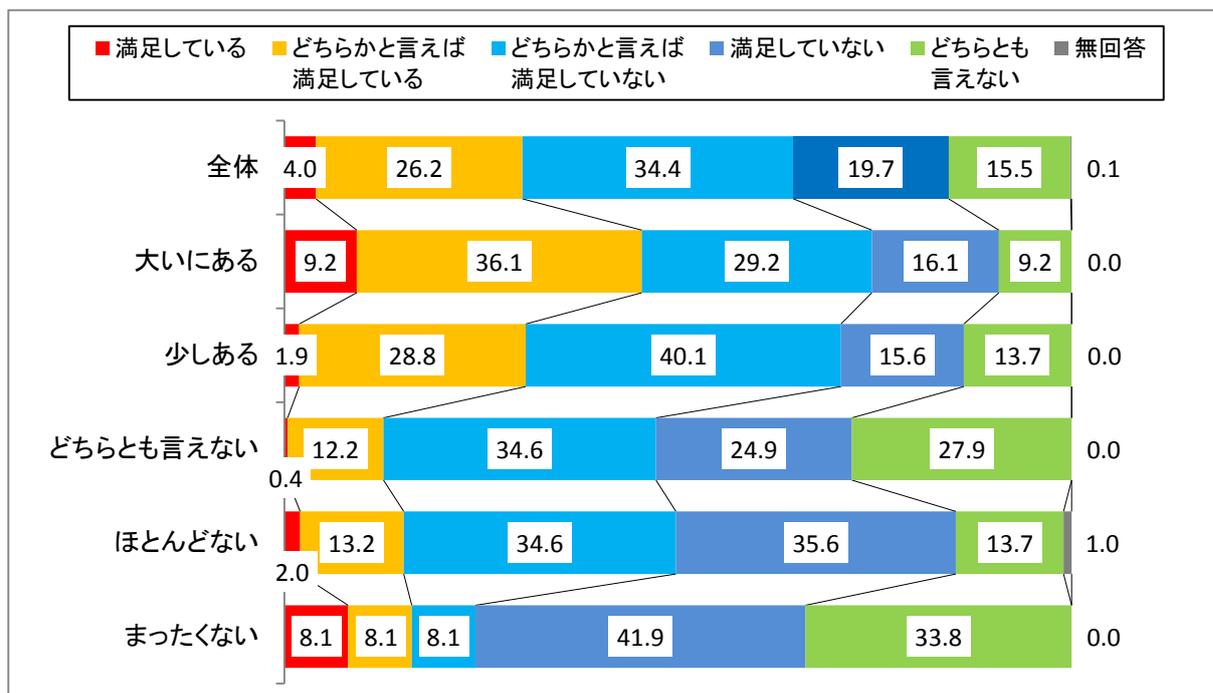
図 6-6-5 問 1-8 家族との関係 × 問 1-12 「社会に対する満足」感



(6) 「生きがい」と「社会に対する満足」感

生きがいにしていることがあるかどうかと「社会に対する満足」感との関連を見ると、「大いにある」と回答した人が、「社会に対する満足」感を感じる比率が高く、「満足している」「どちらかと言えば満足している」の比率の合計は45.3%となっている。そして「少しある」(30.7%)、「まったくない」(16.2%)、「ほとんどない」(15.2%)、「どちらとも言えない」(12.6%)と続く。「生きがい」と「社会に対する満足」感に一定の相関があるかどうかは、どちらとも言えない。

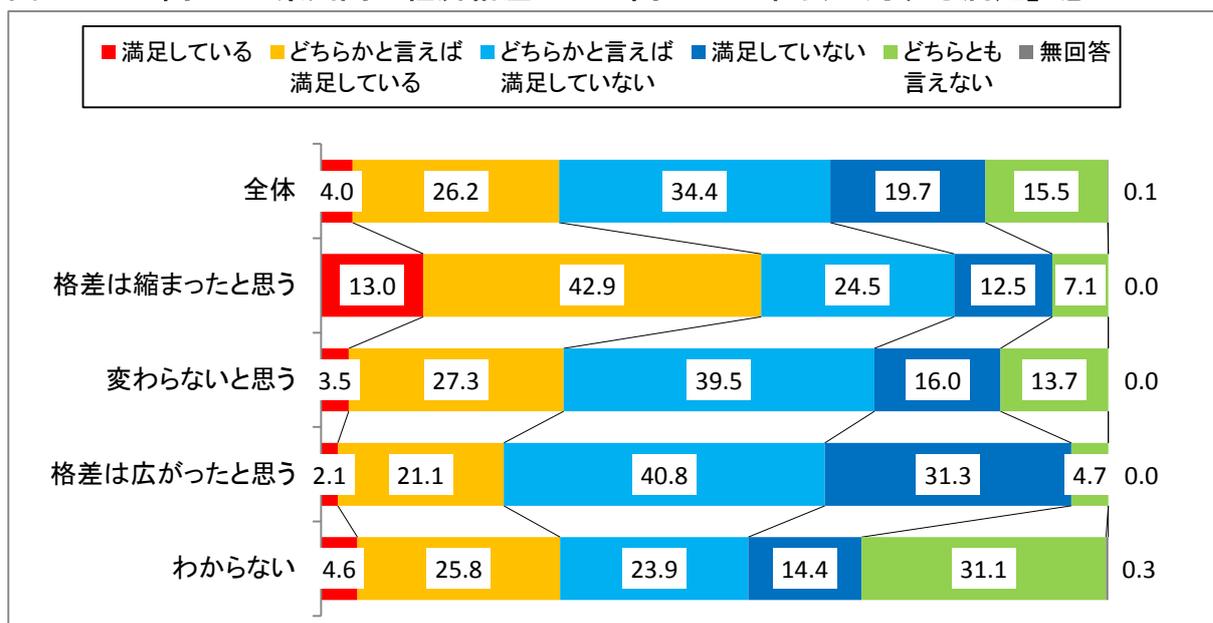
図 6-6-6 問 1-11 「生きがい」 × 問 1-12 「社会に対する満足」感



(7) 県民間の経済格差と「社会に対する満足」感

10年前の沖縄に比べて、県民間の経済格差は縮まったと思うかどうかと「社会に対する満足」感との関連を見ると、「格差は縮まったと思う」と回答した人が、「社会に対する満足」感を感じる比率が高く、「満足している」「どちらかと言えば満足している」の比率の合計は55.9%となっている。そして「変わらないと思う」(30.8%)、「わからない」(30.4%)、「格差は広がったと思う」(23.2%)と続く。県民間の経済格差と「社会に対する満足」感に一定の相関があることが考えられる。

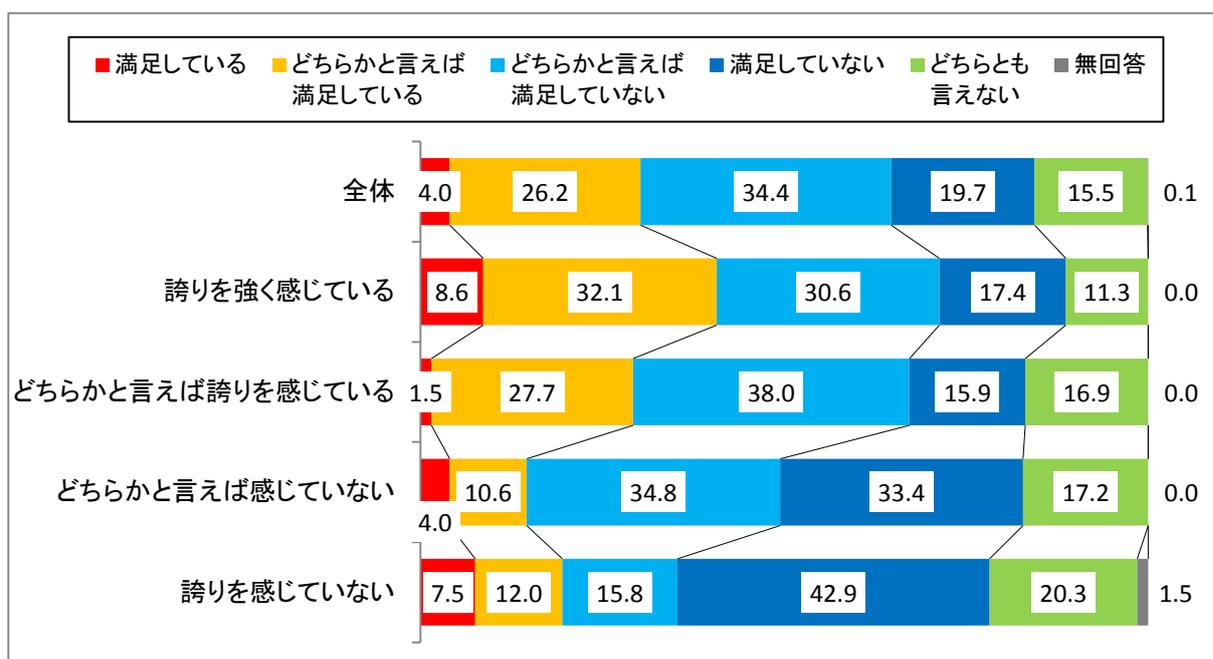
図 6-6-7 問 1-13 県民間の経済格差 × 問 1-12 「社会に対する満足」感



(8) 沖縄県に対する誇りと「社会に対する満足」感

沖縄県に誇りを感じるかどうかと「社会に対する満足」感との関連を見ると、「誇りを強く感じている」と回答した人が、「社会に対する満足」感を感じる比率が高く、「満足している」「どちらかと言えば満足している」の比率の合計は 40.7%となっている。そして「どちらかと言えば誇りを感じている」(29.2%)、「誇りを感じていない」(19.5%)、「どちらかと言えば感じていない」(14.6%)と続く。沖縄県に対する誇りの有無と「社会に対する満足」感に一定の相関があることが考えられる。

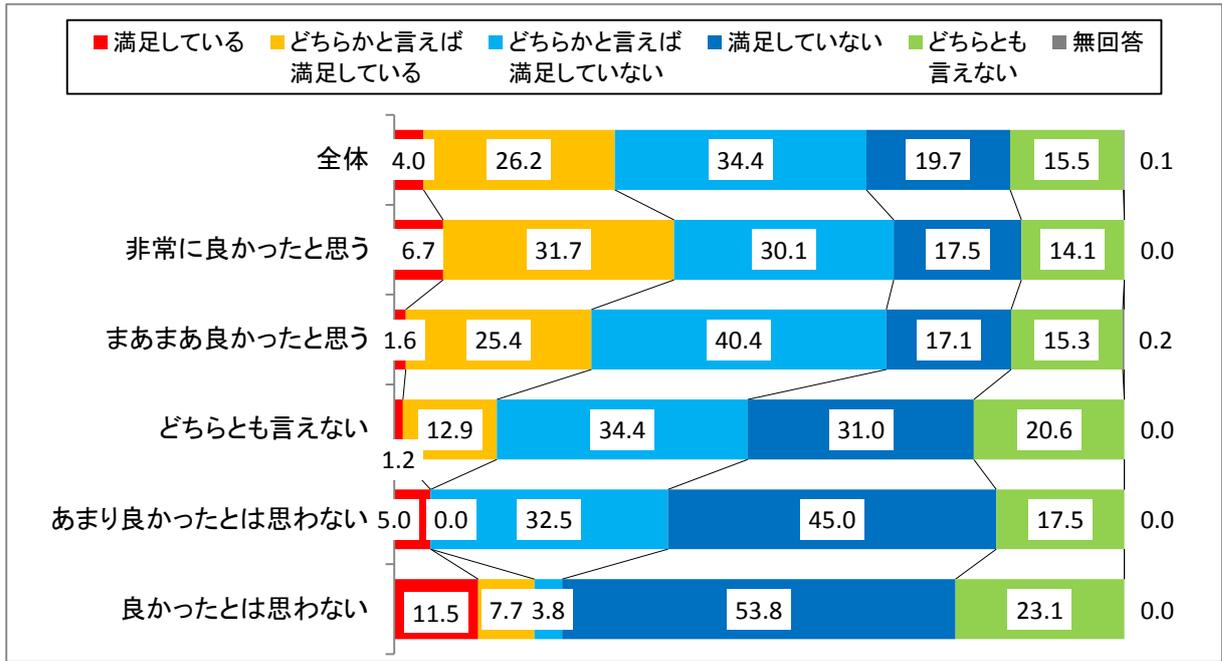
図 6-6-8 問 1-14 沖縄県に対する誇り × 問 1-12 「社会に対する満足」感



(9) 「沖縄県に生まれて良かった」との思いと「社会に対する満足」感

沖縄県に生まれ、あるいは沖縄県で生活していて良かったと思うかどうかと「社会に対する満足」感との関連を見ると、「非常に良かったと思う」と回答した人が、「社会に対する満足」感を感じる比率が高く、「満足している」「どちらかと言えば満足している」の比率の合計は 38.4%となっている。そして「まあまあ良かったと思う」(27.0%)、「良かったとは思わない」(19.2%)、「どちらとも言えない」(14.1%)、「あまり良かったとは思わない」(5.0%)、と続く。沖縄県に生まれて良かったとの思いと「社会に対する満足」感に一定の相関があることが考えられる。

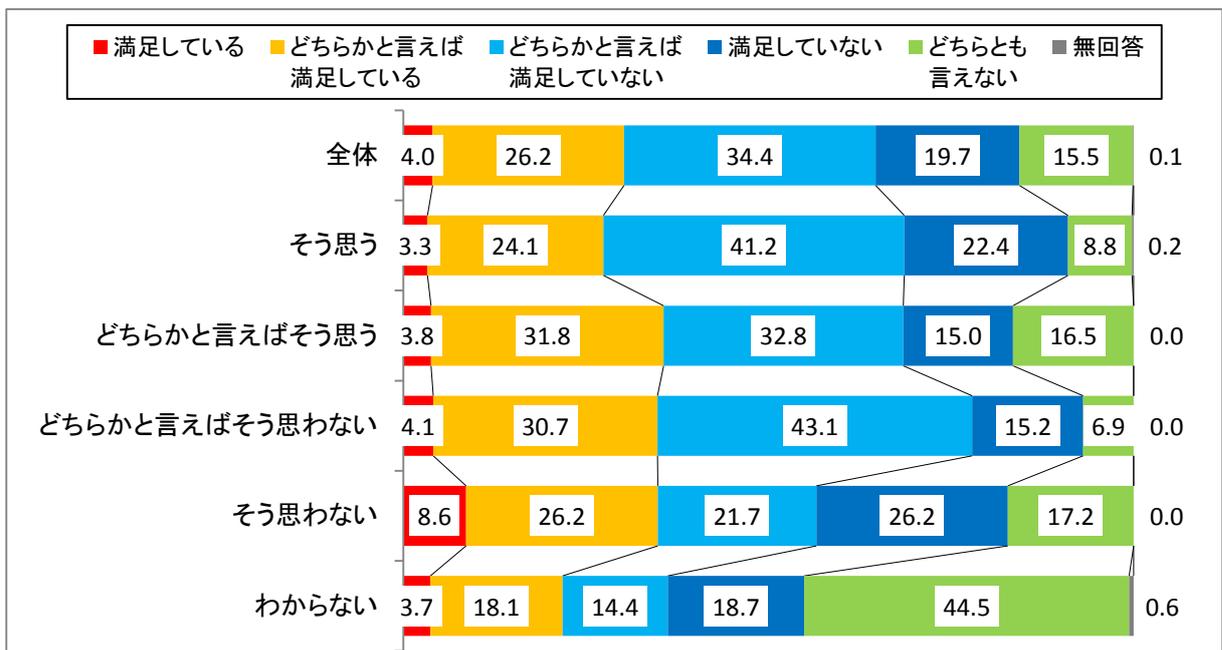
図 6-6-9 問 1-15「沖縄に生まれて良かった」 × 問 1-12「社会に対する満足」感



(10) 米軍専用施設の集中に対する意識と「社会に対する満足」感

沖縄県に全国の米軍専用施設の約 74%が存在していることについて、差別的な状況だと思うかどうかと「社会に対する満足」感との関連を見ると、「どちらかと言えばそう思う」と回答した人が、「社会に対する満足」感を感じる比率が高く、「満足している」「どちらかと言えば満足している」の比率の合計は 35.6%となっている。そして「どちらかと言えばそうは思わない」(34.8%)、「そう思わない」(34.8%)、「そう思う」(27.4%)、「わからない」(21.8%)と続く。米軍専用施設の集中に対する意識と「社会に対する満足」感には、相互の関連はないように思われる。

図 6-6-10 問 1-16 米軍専用施設の集中に対する意識 × 問 1-12「社会に対する満足」感



第7章 自然災害に対する取組

第7章 自然災害に対する取組

近年、国内で地震や津波等の大規模な自然災害が起きている。本県でも行政として様々な対策をすることはもとより、県民の注意喚起などにも力を入れていかなければならない。本章では、地震・津波等の大規模な自然災害に対する取組や考え方について県民の意識や実態を明らかにする。

1. 自然災害に対する取組（問 14）

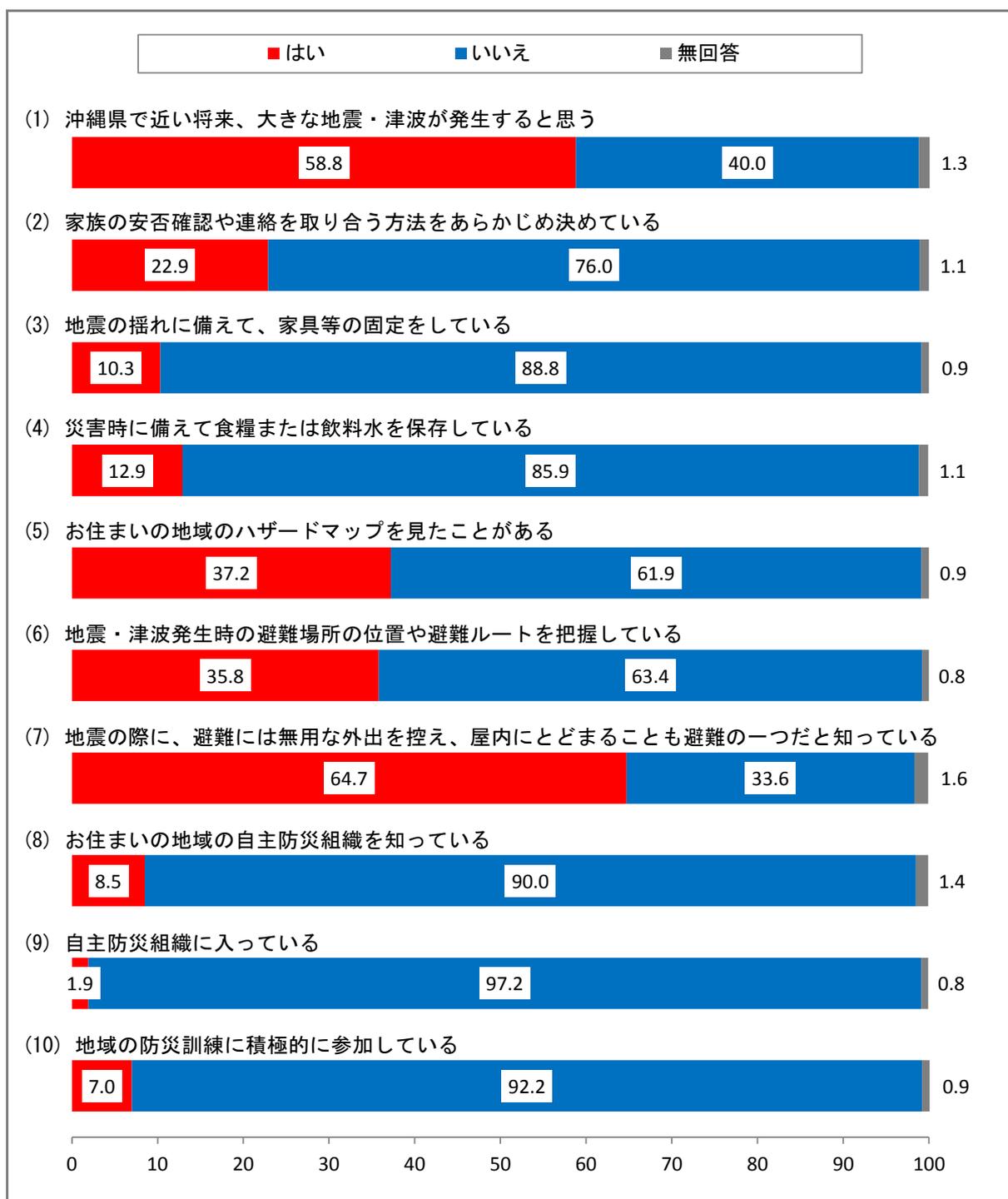
本設問では、地震・津波等の大規模な自然災害に対する取組や考え方について 10 項目を挙げ、「はい」「いいえ」で答えてもらった。

質問した 10 項目は、「沖縄県で近い将来、大きな地震・津波が発生すると思うか」「家族の安否確認や連絡を取り合う方法をあらかじめ決めている」「地震の揺れに備えて、家具等の固定をしている」「災害時に備えて食糧または飲料水を保存している」「お住まいの地域のハザードマップを見たことがある」「地震・津波発生時の避難場所の位置や避難ルートを把握している」「地震の際に、避難には無用な外出を控え、屋内にとどまることも避難の一つだと知っている」「お住まいの地域の自主防災組織を知っている」「自主防災組織に入っている」「地域の防災訓練に積極的に参加している」の 10 項目である。

(1) 大規模な自然災害についての取組や考え方

「はい」と答えた人が多かった順に列記すると、「地震の際に、避難には無用な外出を控え、屋内にとどまることも避難の一つだと知っている」(64.7%) が最も高く、次いで、「沖縄県では近い将来、大きな地震・津波が発生すると思う」(58.8%) となっていて、この 2 項目が 5 割を超えている。次いで、「お住まいの地域のハザードマップを見たことがある」(37.2%)、「地震・津波発生時の避難場所の位置や避難ルートを把握している」(35.8%)、「家族の安否確認や連絡を取り合う方法をあらかじめ決めている」(22.9%)、「災害時に備えて食糧または飲料水を保存している」(12.9%)、「地震の揺れに備えて、家具等の固定をしている」(10.3%)、「お住まいの地域の自主防災知識を知っている」(8.5%)、「地域の防災訓練に積極的に参加している」(7.0%)、「自主防災組織に入っている」(1.9%) の順となっている。

図 7-1-1 大規模な自然災害についての取組や考え方 (%)

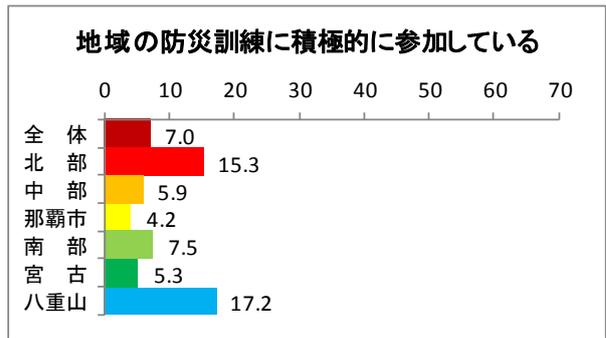
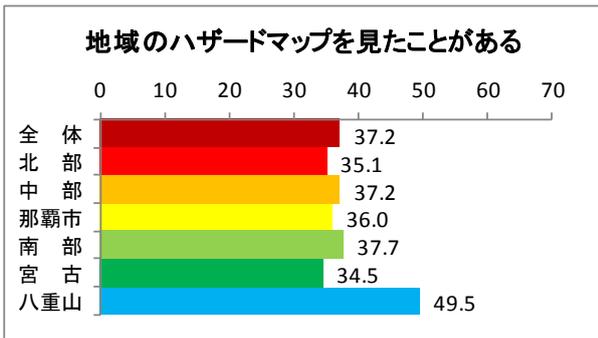
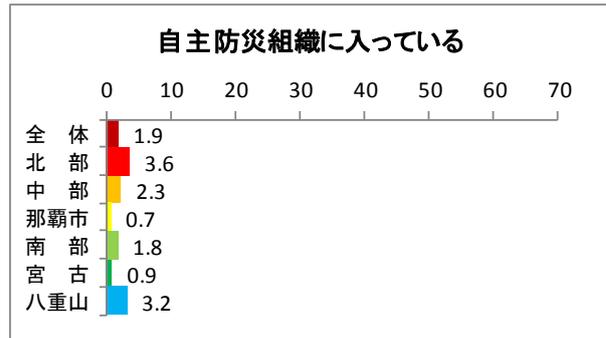
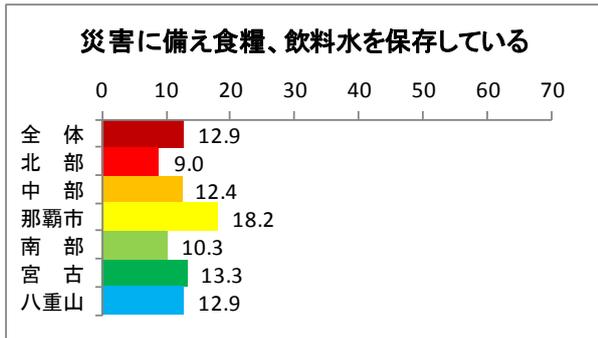
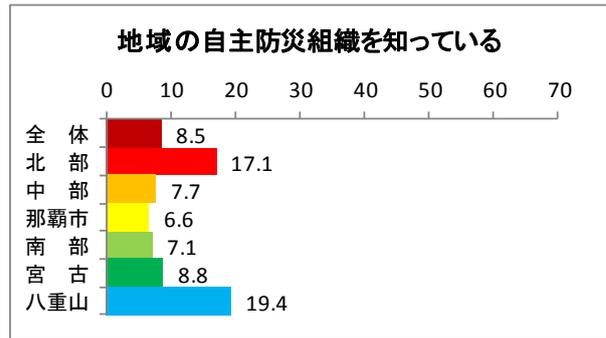
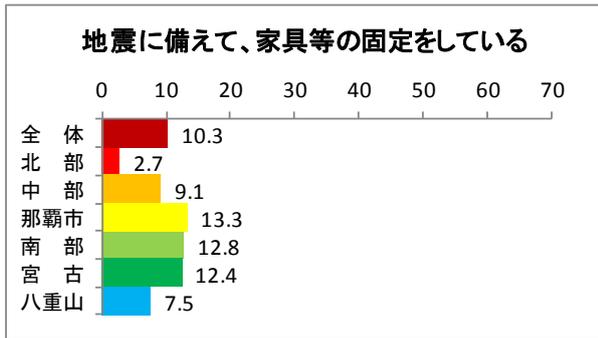
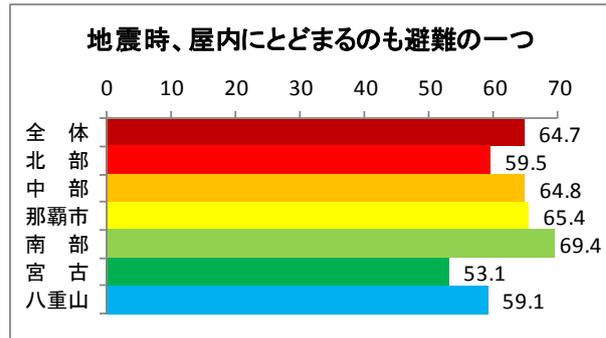
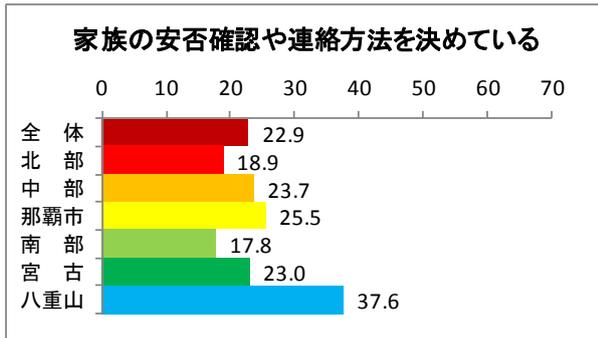
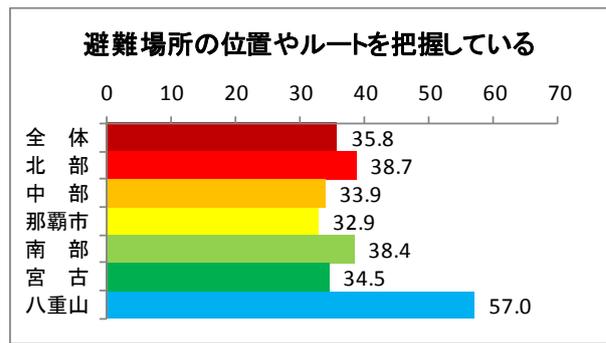
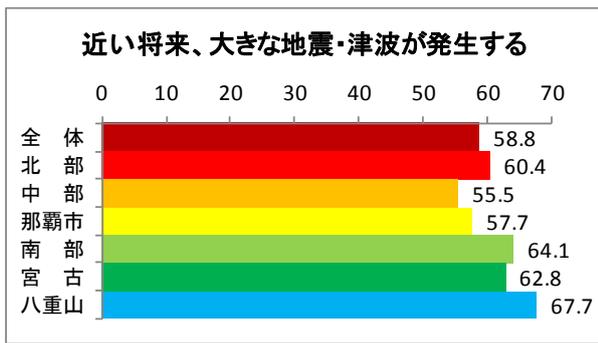


(2) 地域別で見た大規模な自然災害についての取組や考え方

地域別に見ると、「近い将来、大きな地震・津波が発生する」「家族の安否確認や連絡方法を決めている」「地域のハザードマップを見たことがある」「避難場所の位置やルートを把握している」の4項目は、八重山の比率が特に高くなっている。また、「地域の自主防災組織を知っている」「地域の防災訓練に積極的に参加している」の2項目は、八重山と北部の比率が特に高くなっている。

このほか、「災害に備え食糧、飲料水を保存している」は那覇市が他の地域よりも高くなっている。

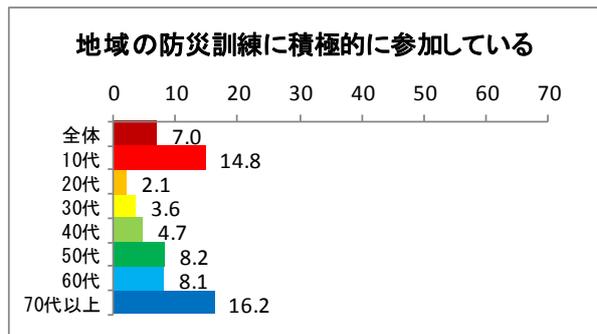
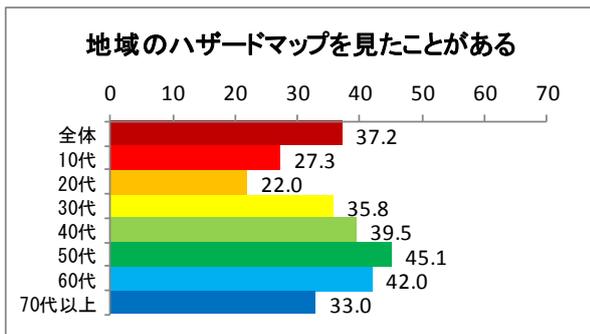
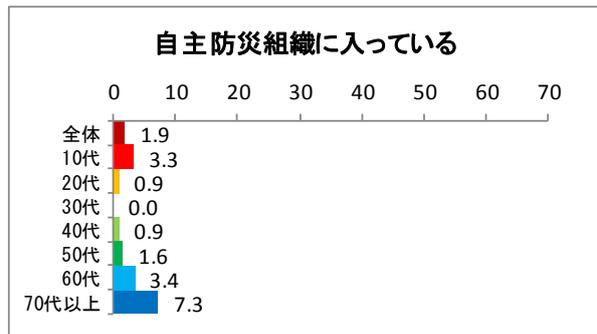
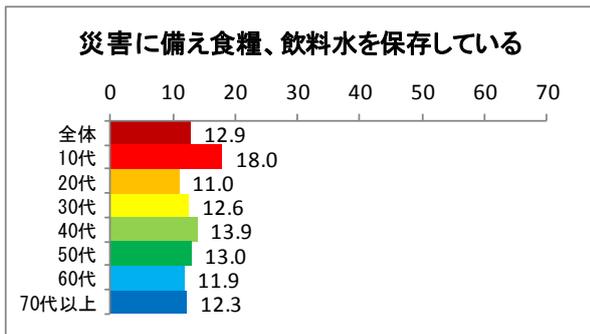
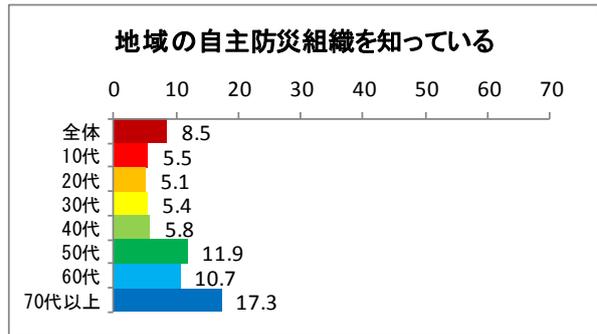
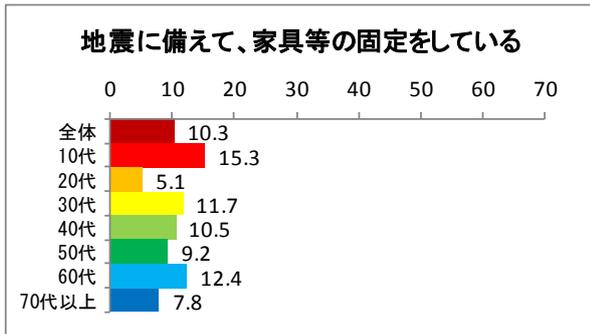
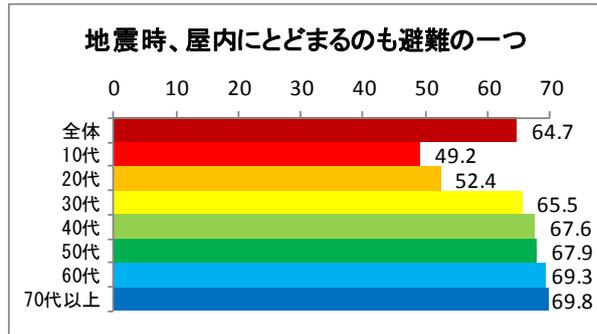
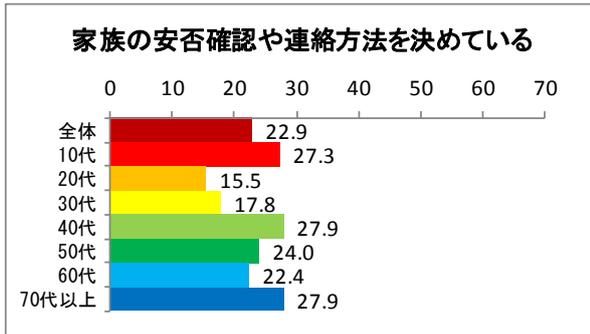
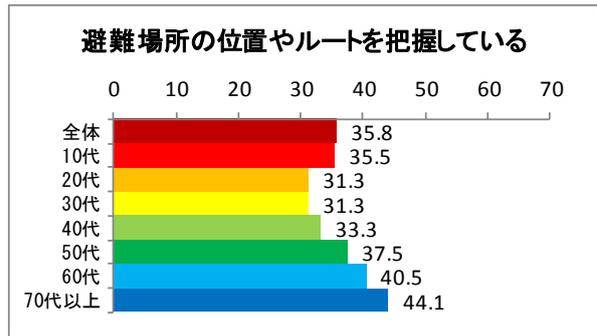
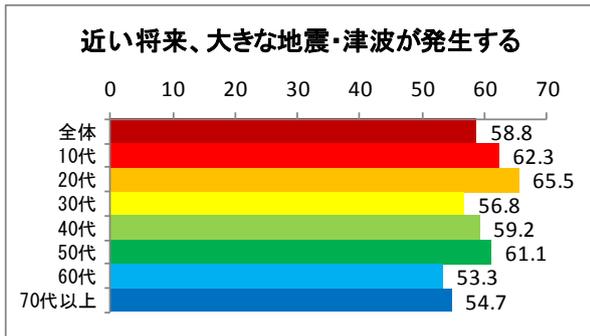
図 7-1-2 地域別 大規模な自然災害についての取組や考え方 (%)



(3) 年代別で見た大規模な自然災害についての取組や考え方

年代別に見ると、「家族の安否確認や連絡方法を決めている」は、10代、40代、70代以上が3割弱と他の年代より高くなっている。「地震に備えて、家具等の固定をしている」「災害時に備え食糧、飲料水を保存している」は、10代が最も高くなっている。「避難場所の位置やルートを把握している」は、70代以上が4割強と最も高く、10代を除くと、年代が上がるほど増加する傾向にある。「地震時、屋内にとどまるのも避難の一つ」は20代以下では5割前後になっているのに対し、30代以上で6割台後半と高くなっている。「地域の自主防災組織を知っている」は、70代以上が2割弱と最も高く、50代、60代でも1割を超える。「自主防災組織に入っている」「地域の防災訓練に積極的に参加している」も70代以上が最も高く、次に10代が他の年代より高くなっている。

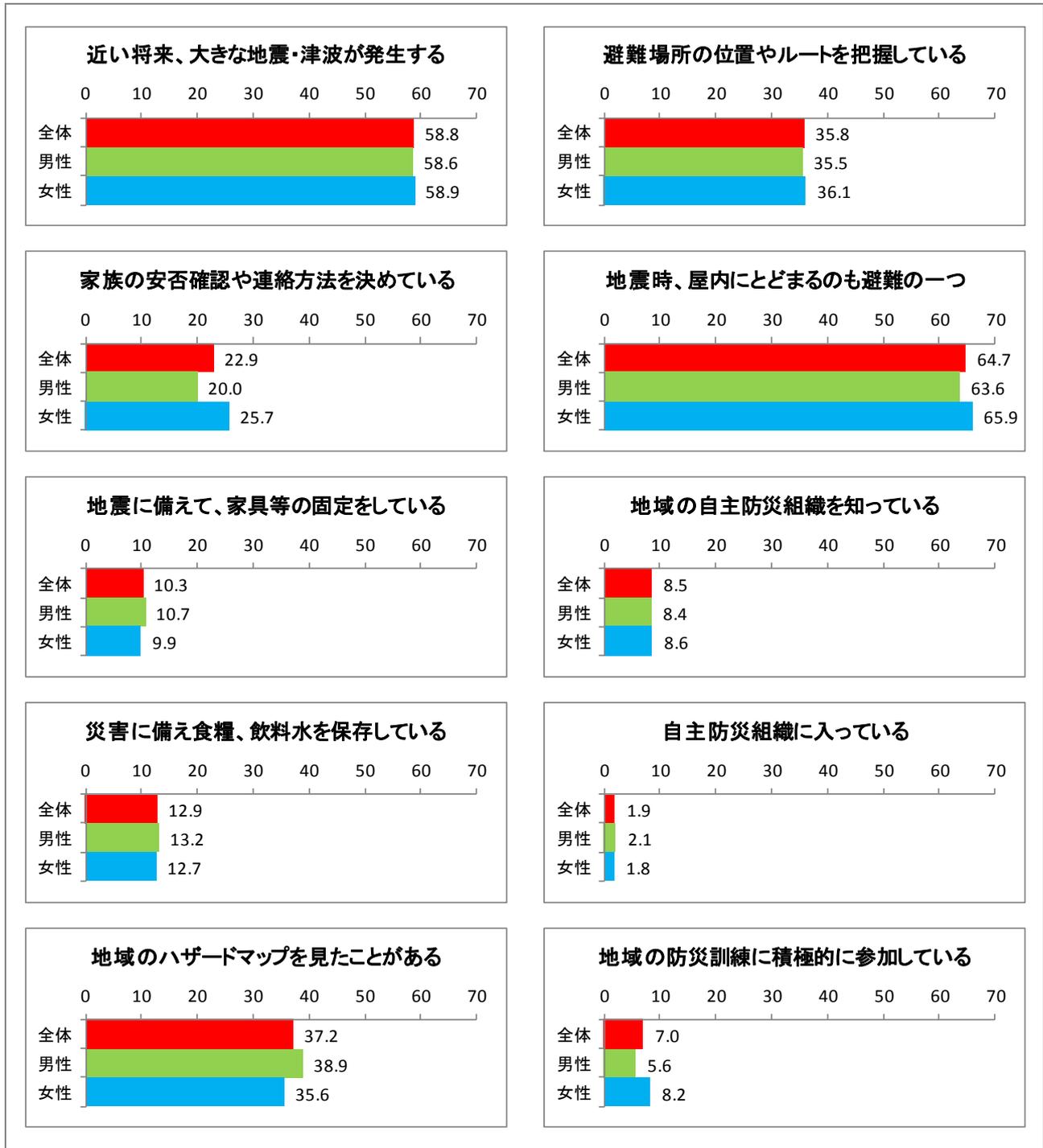
図 7-1-3 年代別 大規模な自然災害についての取組や考え方 (%)



(4) 性別で見た大規模な自然災害についての取組や考え方

性別に見ると、「家族の安否確認や連絡方法を決めている」は、女性（25.7%）のほうが男性（20.0%）よりも高くなっている。一方、「地域のハザードマップを見たことがある」は、男性（38.9%）のほうが女性（35.6%）よりも高くなっている。その他の項目では、男女の差はあまり見られない。

図 7-1-4 性別 大規模な自然災害についての取組や考え方（%）



第8章 施策達成度と施策改善度の計測と相関

第8章 施策達成度と施策改善度の計測と相関

本章では、県の施策が、平成24年度の前回調査から平成27年度の今回調査までの3年間で、どこまで「達成」され、どこまで「改善」されたと考えられているのか県民意識を計測した。

「重要度－充足度」の意味については、「I 概要3 第9回県民意識調査の留意事項と用語の解説」を参照されたい。

計測の手順としてまず、問3における74の調査項目のうち重要度（「非常に重要である」と「ある程度重要である」の合計）が80%以上となる56項目を抽出した。

ヨコ軸に施策達成度（重要度－充足度）、タテ軸に施策改善度（施策達成度の前回調査との差）を各々計測し、プロットした。各項目の単純算術平均値（Average）の53.5%をヨコ軸のほぼ中央に、前回調査との差をタテ軸のほぼ中央に線を引くことによって4つの象限を設定した。各象限にどのような質問項目がプロットされたかを以下で見てみる。今回の新規設問である6項目は図の枠外に提示した。

第1象限：施策達成度が高く、施策改善度が上昇している項目 15

第2象限：施策達成度が低く、施策改善度が上昇している項目 27

第3象限：施策達成度が低く、施策改善度が下降している項目 8

第4象限：施策達成度が高く、施策改善度が下降している項目 4

第1象限にプロットされるのは、次の15項目である。

- (1) 豊かな自然が保全されている
- (4) 廃棄物の適正処理、減量化等が活発
- (35) 犯罪がない安心なくらしの確保
- (66) 平和を願う心が継承、発信されている
- (10) 公園や親しめる自然などがまわりにある
- (29) 良質な医療が受けられる
- (42) 住環境が良好
- (39) 商品等の品質等が確保されている
- (45) 下水道が整備されている
- (53) 県産食材を購入(消費)する機会が増える
- (9) 自分の住む町の景観、町並みが美しい
- (44) 安心して家庭で水が使える
- (34) 食の安全・安心が確保されている
- (6) 沖縄文化が保全・継承されている
- (31) 健康診断、健康の相談が受けやすい

第2象限にプロットされるのは27項目あり、そのうち特に施策達成度が低い(70%以上)項目は、次の6項目である。

- (25) 老後に不安のない年金が得られる
- (59) 収入が着実に増える
- (61) 物価が安定している
- (23) 少年の非行や犯罪が少なくなる
- (26) 障害者の社会参加が拡大している
- (58) 失業の不安がなく働ける

第2象限に位置するその他の項目を施策改善度の低い項目順にあげると、次の21項目である。

- (57) 職業紹介、訓練が充実している
- (51) 行政情報が住人に広報されている
- (54) 元気な中小企業等が増えている
- (18) 子供の育成環境が整っている
- (37) 暴力の防止と支援環境が充実
- (70) 必要な資質を身に付けられる教育環境
- (50) 住民の要望や意見等を十分に取り入れる
- (68) 公平な教育機会が確保されている
- (28) イライラやストレスなど精神的緊張が少ない
- (69) 生涯学習する機会が得られている
- (60) 近くで希望する仕事につける
- (40) 商品等の苦情を処理するところがある
- (62) 軍用跡地が有効に利用されている
- (24) 高齢者が住み慣れた地域でくらせる
- (67) 健全育成、教育環境がつけられている
- (32) 費用の心配なく、医療を受けられる
- (56) 適職、やりがいのある仕事ができる
- (30) 救急患者が適切な治療を受けられる
- (3) 赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる
- (38) 交通の安全が確保されている
- (36) 防災対策が充実している

第3象限に位置する項目を施策改善度の下降が大きい順にあげると、次の8項目である。

- (12) 目的地まで円滑に移動できる
- (20) 仕事と生活が両立しやすい環境
- (74) 地域づくりに取り組む人材育成
- (73) 沖縄の産業発展を担う人材育成
- (72) 優れた能力や感性を育む教育環境の充実
- (27) 介護サービスが充実し利用しやすい
- (19) 学童保育所等が利用しやすい
- (21) 夫婦が家事や育児にとりくむ

第4象限に位置する項目を施策改善度の下降が大きい順にあげると、次の4項目である。

- (16) 健康の維持や増進に努める
- (11) 公共交通機関が利用しやすい
- (47) 女性の社会活動参加、能力発揮
- (14) 生活に必要な施設がある

沖縄21世紀ビジョン基本計画及び同実施計画の推進にあたっては、可能な限り定量的に成果指標や活動指標を設定してその進捗管理に資するものとなるようにしているところである。

重要施策に対して、県民がどの程度充足していると考えているかを示す施策達成度と、その前回調査との比較である施策改善度は、行政の施策・取組とその改善状況を県民意識の観点から推し量るものである。

表 7-3-1 H24「重要度」－「充足度」, H21「重要度」－「充足度」

	H27重要度	H27充足度	X ₁	H24重要度	H24充足度	X ₂	Y
(25)老後に不安のない年金が得られる	95.4	15.6	79.8	94.7	13.6	81.1	1.3
(59)収入が着実に増える	91.9	14.3	77.6	90.1	10.0	80.1	2.5
(61)物価が安定している	91.9	18.1	73.8	91.3	16.5	74.8	1.0
(23)少年の非行や犯罪が少なくなる	94.8	22.7	72.1	94.7	18.2	76.5	4.4
(26)障害者の社会参加が拡大している	88.9	17.7	71.2	89.2	14.2	75.0	3.8
(58)失業の不安がなく働ける	90.7	19.5	71.2	90.2	13.0	77.2	6.0
(20)仕事と生活が両立しやすい環境	91.5	22.0	69.5	85.1	18.9	66.2	▲ 3.3
(27)介護サービスが充実し利用しやすい	91.9	22.9	69.0	90.5	22.3	68.2	▲ 0.8
(73)沖縄の産業発展を担う人材育成	84.4	15.6	68.8	80.1	12.8	67.3	▲ 1.5
(72)優れた能力や感性を育む教育環境の充実	84.5	16.2	68.3	80.3	13.3	67.0	▲ 1.3
(74)地域づくりに取り組む人材育成	82.1	15.4	66.7	77.4	14.0	63.4	▲ 3.3
(32)費用の心配なく、医療を受けられる	94.9	28.3	66.6	93.8	23.7	70.1	3.5
(68)公平な教育機会が確保されている	88.7	23.1	65.6	85.3	18.0	67.3	1.7
(70)必要な資質を身に付けられる教育環境	88.2	23.4	64.8	84.5	18.7	65.8	1.0
(67)健全育成、教育環境がつけられている	92.9	29.2	63.7	89.8	23.0	66.8	3.1
(28)イライラやストレスなど精神的緊張が少ない	89.4	25.8	63.6	88.1	22.5	65.6	2.0
(57)職業紹介、訓練が充実している	82.7	19.5	63.2	81.2	18.0	63.2	0.0
(37)暴力の防止と支援環境が充実	86.9	23.8	63.1	84.0	19.9	64.1	1.0
(24)高齢者が住み慣れた地域でくらす	94.2	31.2	63.0	93.9	28.1	65.8	2.8
(54)元気な中小企業等が増えている	80.2	17.5	62.7	77.7	14.7	63.0	0.3
(50)住民の要望や意見等を十分に取り入れる	82.2	20.3	61.9	80.8	17.6	63.2	1.3
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる	91.2	30.1	61.1	89.5	24.2	65.3	4.2
(60)近くで希望する仕事につける	83.6	22.6	61.0	81.2	17.9	63.3	2.3
(38)交通の安全が確保されている	93.7	33.0	60.7	91.7	26.6	65.1	4.4
(40)商品等の苦情を処理するところがある	82.0	21.3	60.7	83.7	20.3	63.4	2.7
(51)行政情報が住人に広報されている	81.6	22.5	59.1	77.7	18.4	59.3	0.2
(62)軍用跡地が有効に利用されている	80.1	21.0	59.1	75.2	13.3	61.9	2.8
(36)防災対策が充実している	94.0	35.1	58.9	92.1	26.7	65.4	6.5
(19)学童保育所等が利用しやすい	87.3	29.7	57.6	84.4	27.0	57.4	▲ 0.2
(69)生涯学習する機会が得られている	83.4	26.9	56.5	80.3	21.5	58.8	2.3
(12)目的地まで円滑に移動できる	86.3	29.9	56.4	84.8	48.4	36.4	▲ 20.0
(18)子供の育成環境が整っている	89.8	33.5	56.3	86.8	29.9	56.9	0.6
(15)地域の商店街に活力がある	80.7	24.7	56.0	*	*	*	*
(56)適職、やりがいのある仕事ができる	88.1	32.1	56.0	85.9	25.8	60.1	4.1
(30)救急患者が適切な治療を受けられる	96.3	41.1	55.2	95.5	36.1	59.4	4.2
(21)夫婦が家事や育児にとりくむ	87.7	33.9	53.8	84.3	30.7	53.6	▲ 0.2
(47)女性の社会活動参加、能力発揮	81.3	27.8	53.5	76.0	23.2	52.8	▲ 0.7
(16)健康の維持や増進に努める	88.3	34.9	53.4	86.2	37.2	49.0	▲ 4.4
(29)良質な医療が受けられる	96.2	43.4	52.8	94.3	37.2	57.1	4.3
(31)健康診断、健康の相談が受けやすい	93.3	41.2	52.1	91.2	38.6	52.6	0.5
(66)平和を願う心が継承、発信されている	87.7	36.6	51.1	82.6	26.2	56.4	5.3
(35)犯罪がない安心な暮らしの確保	96.5	45.9	50.6	95.0	38.6	56.4	5.8
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しい	85.3	35.4	49.9	82.7	30.8	51.9	2.0
(4)廃棄物の適正処理、減量化等が活発	87.9	38.1	49.8	84.9	28.2	56.7	6.9
(11)公共交通機関が利用しやすい	88.3	38.6	49.7	85.6	38.7	46.9	▲ 2.8
(34)食の安全・安心が確保されている	93.8	45.6	48.2	91.4	41.9	49.5	1.3
(39)商品等の品質等が確保されている	91.6	44.3	47.3	89.2	39.1	50.1	2.8
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れる	83.4	37.7	45.7	*	*	*	*
(6)沖縄文化が保全・継承されている	85.2	40.9	44.3	82.7	37.8	44.9	0.6
(10)公園や親しめる自然などがまわりにある	89.1	46.3	42.8	87.5	39.6	47.9	5.1
(42)住環境が良好	92.9	50.5	42.4	91.5	45.3	46.2	3.8
(1)豊かな自然が保全されている	86.4	47.6	38.8	85.1	39.0	46.1	7.3
(53)県産食材を購入(消費)する機会が増える	81.2	43.8	37.4	77.1	37.2	39.9	2.5
(14)生活に必要な施設がある	92.0	58.1	33.9	90.4	56.6	33.8	▲ 0.1
(45)下水道が整備されている	92.4	68.2	24.2	92.0	65.3	26.7	2.5
(44)安心して家庭で水が使える	96.3	80.3	16.0	96.5	78.8	17.7	1.7

X₁ : H27 重要度－H27 充足度＝H27 施策達成度

X₂ : H24 重要度－H24 充足度＝H24 施策達成度

Y : X₂－X₁＝施策改善度

Ⅲ 資料編

第9回県民意識調査票及び単純集計結果

県民意識の調査票

平成27年8月
沖縄県

くらしについての アンケート

日ごろより県政の推進にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
沖縄県では、2030年を目途とする基本構想である「沖縄21世紀ビジョン」で描いた県民の皆さまが望む5つの将来像の実現を図るため、平成24年5月15日に「沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定しました。

今後は、本計画で示した「沖縄らしい優しい社会の構築」と「強くしなやかな自立型経済の構築」を施策展開の基軸として、社会と経済の好循環により本県の自立的・持続的発展につながる取組を推進することが重要です。

さて、この調査は、皆さまのくらし向きの現状や考え方をお聞きし、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の着実な推進等に役立てるためのものですので、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、ご回答いただいた本調査票は、無記名の上、統計上の処理のみに使用しますので、個々の方の回答内容や個人情報特定されることはありません。

※回収日時

いったんお預けしてまいります。____月____日____時頃に調査員がいただきにまいりますので、それまでにご記入下さいますようお願いいたします。

(整理番号)

9	9				
---	---	--	--	--	--

〔点検者名：

〕
(0391)

(5) あなたは結婚していますか。

30.6 未婚

58.8 既婚、配偶者有り（現在、夫または妻がいる）

10.1 既婚、配偶者と離死別（現在、夫または妻と離死別している）

0.5 無回答

(6) お子さんがいらっしゃる方にお聞きします。

あなたのお子さんは下のどの段階になっていきますか。お子さん全員についてそれぞれあてはまる番号を○で囲み、カッコ内にお子さんの人数を書いて下さい。

16.0 小学校入学前（ 人） 8.2 大学、短大、専門学校生等（ 人）

14.6 小学生（ 人） 34.4 社会人（ 人）

9.7 中学生（ 人） 34.6 無回答

9.8 高校生（ 人）

(7) あなたのお住まいはどれになりますか。あてはまる番号を○で囲んで下さい。

54.3 持 家（一戸建）

0.8 社宅・公務員住宅

6.3 持 家（マンション、共同住宅など）

1.5 間借り、下宿

29.9 民間の借家（民営のアパートなど）

0.2 すみこみ、寄宿舍、独身寮

6.1 公営の借家（県営・市町村営団地など）

0.7 その他（ ）

0.2 無回答

(8) あなたは沖縄県以外のところで住んでいたことがありますか。住んでいたことがあればその年数をお答え下さい。

54.2 ずっと沖縄県に住んでいる

12.9 2年未満

12.2 2～5年未満

8.6 5～10年未満

11.7 10年以上

0.5 無回答

(9) 家族全員の年間収入は、およそどのくらいになりますか。当てはまる番号を1つだけ○で囲んで下さい。

- | | | | |
|------|----------------|-----|------------------|
| 8.9 | 100万円未満 | 4.4 | 600万円以上700万円未満 |
| 17.4 | 100万円以上200万円未満 | 3.6 | 700万円以上800万円未満 |
| 19.9 | 200万円以上300万円未満 | 2.4 | 800万円以上900万円未満 |
| 10.4 | 300万円以上400万円未満 | 2.3 | 900万円以上1,000万円未満 |
| 10.4 | 400万円以上500万円未満 | 3.4 | 1,000万円以上 |
| 7.4 | 500万円以上600万円未満 | 4.0 | 無回答 |

(10) 現在、あなたやあなたの家族で基地に関連した収入がありますか。当てはまる番号を○で囲んで下さい。

- | | | |
|------|------|-----|
| 7.7 | 91.5 | 0.8 |
| 収入あり | 収入なし | 無回答 |
-

問1 次にあげる(1)～(17)について、あてはまるものを1つだけ選び、番号を○で囲んで下さい。

(1) 10年前の沖縄に比べて、人と人のつながりは強まったと思いますか。

7.2 強まった	37.0 弱まった	0.5 無回答
29.2 変わらない	26.2 わからない	

(2) 20年先の沖縄は現在よりも発展し、輝いていると思いますか。

34.7 そう思う	20.5 そうは思わない	0.3 無回答
24.9 今とあまり変わらない	19.6 わからない	

(3) 努力すれば人生は変わると思いますか。

48.5 そう思う		
41.7 どちらかと言えばそう思う		
5.8 どちらかと言えばそうは思わない		
3.9 そうは思わない	0.1 無回答	

(4) あなたは今、「幸せ」だと感じていますか。

37.3 感じている		
44.7 どちらかと言えば感じている		
11.9 どちらかと言えば感じていない		
5.7 感じていない	0.4 無回答	

(5) 人とのつながりの中で、あなたが「幸せ感」をもっとも感じると思うときは次のどれでしょうか。(2つまで選んで下さい)

80.3 家族と一緒にいるとき	
57.3 仲間(友人、知人を含む)と一緒にいるとき	
3.9 職場の人と一緒にいるとき	
9.7 自分一人になったとき	
2.8 その他()	
1.8 人とのつながりで幸せを感じない	
0.3 無回答	

(6) あなたの世帯の経済状況について、余裕はありますか。

1.1 かなり余裕がある	23.6 やや苦しい
12.9 やや余裕がある	13.0 かなり苦しい
48.9 余裕はないが、生活には困らない	0.5 無回答

(7) 現在就労している方のみお答えください。あなたは、現在の仕事に満足していますか。

14.6 満足している	
30.2 どちらかと言えば満足している	
17.7 どちらかと言えば満足していない	
6.9 満足していない	30.6 無回答

(8) あなたとご家族との関係は良好だと思えますか。

35.7 非常に良好だと思う	
54.9 どちらかと言えば良好だと思う	
6.0 どちらかと言えば良好ではない	
2.5 良好ではない	0.9 無回答

(9) あなたは健康ですか。

22.0 大変健康である	
61.3 まあまあ健康である	
12.4 あまり健康ではない	
4.1 健康ではない	0.1 無回答

(10) あなたの現在の住まいは生活していくうえで十分ですか。

38.1 十分だと思う	
38.8 まあまあ十分である	
16.3 やや不十分だと思う	
6.6 不十分だと思う	0.3 無回答

(11) あなたは「生きがい」にしていることはありますか。

30.7 大いにある	7.4 ほとんどない
40.3 少しある	2.7 まったくない
18.9 どちらとも言えない	0.2 無回答

(12) あなたは、現在の社会に全体として満足していますか。

4.0 満足している	
26.2 どちらかと言えば満足している	
34.4 どちらかと言えば満足していない	
19.7 満足していない	
15.5 どちらとも言えない	0.1 無回答

(13) あなたは10年前の沖縄と比べて、県民間の経済格差は縮まったと思いますか。

6.6 格差は縮まったと思う	27.9 格差は広がったと思う	
37.6 変わらないと思う	27.5 わからない	0.4 無回答

(14) あなたは、沖縄県に誇りを感じますか。

27.4 誇りを強く感じている	
56.7 どちらかと言えば誇りを感じている	
10.8 どちらかと言えば誇りを感じていない	
4.8 誇りを感じていない	0.3 無回答

(15) あなたは、沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったと思いますか。

45.8 非常に良かったと思う	
40.0 まあまあ良かったと思う	
11.7 どちらとも言えない	
1.4 あまり良かったとは思わない	
0.9 良かったとは思わない	0.2 無回答

(16) あなたは、沖縄県に全国の米軍専用施設の約74%が存在していることについて、差別的な状況だと思いますか。

43.7 そう思う

25.4 どちらかと言えばそう思う

10.4 どちらかと言えばそう思わない

8.8 そう思わない

11.7 わからない

0.1 無回答

(17) あなたは各種のイベントや催し物（エイサー、盆踊り等）、会合（親睦モアイ等）等に参加している方ですか。

8.7 積極的に参加している方だと思う

30.2 どちらか言えば参加している方だと思う

28.6 どちらかと言えば参加していない方だと思う

32.4 ほとんど参加していない方だと思う

0.1 無回答

問2-1 あなたがお住まいの地域に関する次の(1)～(3)について、あてはまると思うものを1つずつ選び、番号を○で囲んで下さい。

(1) 近所に住んでいる方との交流は、どの程度ありますか。

10.8 よくある	38.9 あまりない	
25.9 どちらかというところ	24.2 ほとんどない	0.1 無回答

(2) 地域活動にどの程度参加していますか。

6.5 よく参加している	32.9 あまり参加していない	
17.3 どちらかというところ参加している	43.0 ほとんど参加していない	0.1 無回答

(3) 自分が困っている時に、自治会や公的相談所、民生委員等、相談できる機関や人をどの程度知っていますか。

6.4 よく知っている	36.1 あまり知らない	
17.6 どちらかというところ知っている	39.9 ほとんど知らない	- 無回答

問2-2 あなたが希望する地域の交流のあり方について、あなたの考えに最も近いものの番号を1つだけ選び○で囲んでください。

34.1 近隣の方との間で困ったときに助け合えるような地域
36.5 困ったときに助け合うまではしなくても、近隣の方の名前や顔がわかり、日常的な交流もある地域
27.5 困ったときに助け合うまではしなくても、近隣の方とあいさつ程度の交流がある地域
1.8 近隣の方と交流のない地域
0.1 無回答

問3 次にあげる事柄は、あなたの今の暮らしにとってどのくらい重要ですか。(1)～(74)の1つ1つについて、あなたの気持ちに最も近いものの番号を回答の1～6の中から1つだけ選び○で囲んで下さい。

	(回答)						
	非常に重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されていること	42.1	44.3	7.4	2.0	0.6	3.4	0.2
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れていること	41.3	42.0	9.4	2.2	0.2	4.6	0.3
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなること	61.9	29.3	4.7	1.0	0.2	2.5	0.4
(4)廃棄物の適正処理、減量化・リサイクルが活発に行われていること	53.7	34.2	7.5	1.2	0.4	2.8	0.2
(5)クリーンエネルギーが普及していること	39.2	37.8	12.9	2.7	0.6	6.3	0.4
(6)しまくとぅば、郷土芸能、伝統工芸、歴史遺産などの魅力ある沖縄文化が保全・継承されていること	45.8	39.3	8.4	2.5	0.7	3.0	0.2
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加していること	30.4	44.2	17.4	2.6	0.8	4.3	0.3
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること	30.7	44.1	16.8	2.9	0.6	4.6	0.4
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しいこと	42.9	42.4	9.8	2.2	0.1	2.3	0.3
(10)公園や親しめる自然などがまわりにあること	48.9	40.2	7.1	1.4	0.2	2.0	0.2
(11)公共交通機関が利用しやすいこと	52.6	35.7	7.1	1.9	0.3	1.9	0.4
(12)渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	50.6	35.7	8.4	2.7	0.3	2.2	0.1
(13)離島と沖縄本島間など移動が気楽にできること	39.6	38.1	13.7	4.8	0.8	3.0	0.1
(14)身近な場所に生活に必要な施設（商業施設、医療施設など）があること	53.6	38.5	4.9	1.1	0.1	1.6	0.1
(15)地域の商店街に活力があること	38.3	42.4	12.9	2.9	0.3	2.9	0.3
(16)健康の維持や増進に努めること	49.1	39.2	7.4	1.4	0.3	2.2	0.4
(17)身近にスポーツにふれる（親しむ）機会が増えていること	30.8	43.4	18.8	3.3	0.6	2.8	0.3
(18)安心して子供を産み育てられる環境が整っていること	66.8	23.1	5.2	0.9	0.7	3.3	0.1
(19)保育所や学童保育所を利用しやすいこと	61.6	25.7	6.5	1.5	1.2	3.4	0.1

	(回答)						
	非常に重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	わからない	無回答
(20) 仕事と生活（子育て、介護など）が両立しやすい労働条件や職場環境が整っていること	67.4	24.1	4.2	0.9	0.2	3.0	0.1
(21) 夫婦が協力して家事や育児にとりくむこと	55.5	32.2	6.4	1.3	0.5	3.9	0.3
(22) 若いうちに結婚して家庭を持つこと	15.1	23.8	41.8	11.2	3.3	4.5	0.4
(23) 少年の非行や犯罪が少なくなること	73.7	21.1	2.7	0.6	0.2	1.4	0.3
(24) 高齢者が住み慣れた地域で生き生きとくらせること	64.8	29.4	3.6	0.4	0.6	1.2	0.1
(25) 老後に不安のない年金が得られること	80.2	15.2	2.3	0.6	0.3	1.3	0.1
(26) 障害のある人の社会参加が拡大していること	5.8	35.1	6.6	0.7	0.4	3.1	0.3
(27) 介護サービスが充実し、利用しやすいこと	62.7	29.2	5.0	0.8	0.2	1.8	0.3
(28) イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	56.7	32.7	7.4	0.9	0.1	2.0	0.1
(29) 良質な医療が受けられること	72.3	23.9	2.0	0.2	0.1	1.3	0.1
(30) 救急患者が適切な治療を受けられること	74.4	21.9	1.8	0.4	-	1.3	0.2
(31) 病気の予防のために、健康診断、健康の相談が受けやすいこと	58.4	34.9	4.3	0.5	0.1	1.6	0.2
(32) 費用の心配をあまりせずに病院で医療を受けられること	73.7	21.2	2.7	0.8	0.0	1.4	0.1
(33) 自分の悩みなどを相談できる自治会や公的相談所、民生委員等、相談できる機関や人があること	35.2	41.7	16.1	3.4	0.8	2.6	0.3
(34) 食の安全・安心が確保されていること	66.0	27.8	3.8	0.5	0.1	1.7	0.1
(35) 犯罪におびやかされることなく安心な暮らしが確保されていること	79.1	17.4	2.0	0.1	0.3	1.0	0.1
(36) 地震・台風などへの防災対策が充実していること	66.9	27.0	3.9	0.3	0.1	1.6	0.1
(37) 配偶者等からの暴力の防止と被害者の支援環境が充実していること	56.3	30.6	7.5	0.7	0.6	4.0	0.3
(38) 交通ルールが遵守され、マナーが向上し、交通の安全が確保されていること	65.8	27.8	4.1	0.3	0.1	1.7	0.1
(39) 商品やサービスの品質や安全性が確保されていること	60.9	30.7	5.2	1.0	0.1	2.0	0.1

	(回答)						
	非常に重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	わからない	無回答
(40) 商品やサービス、不当な勧誘等についての苦情や不満をすばやくきちんと処理するところがあること	41.7	40.2	10.9	3.0	0.2	3.7	0.3
(41) 米軍基地から派生する諸問題への対策が適切に講じられていること	47.4	31.3	12.0	1.9	0.6	6.3	0.5
(42) 住環境が良好なこと	59.9	32.9	3.7	0.8	0.2	1.8	0.6
(43) どこでも快適にインターネットにつながること	26.8	36.9	19.4	8.0	1.9	6.3	0.6
(44) いつでも安心して家庭で水が使えること	79.2	17.1	1.5	0.4	0.2	1.1	0.5
(45) 下水道が整備されていること	67.4	24.9	4.4	0.6	0.3	1.8	0.5
(46) 住んでいる地域や社会をよくする活動ができる機会が増えていること	33.4	44.4	15.2	2.1	0.1	4.2	0.4
(47) 女性が社会活動に積極的に参加し、能力を発揮できること	38.5	42.8	12.4	1.7	0.5	3.7	0.4
(48) 自治会等が充実し、盆踊りや運動会などの地域行事が盛んなこと	21.8	41.2	26.4	5.9	1.3	3.0	0.4
(49) 集会場や公民館が近くにあって利用しやすいこと	23.2	40.5	25.1	6.1	1.5	3.3	0.3
(50) 市や町村が住民の要望や意見を、十分に取り入れること	39.5	42.7	12.8	1.9	0.2	2.4	0.4
(51) 県の施策や予算等に関する情報が住人に対して分かりやすく広報されていること	40.1	41.5	12.1	2.0	0.5	3.6	0.3
(52) 沖縄の魅力や優位性を生かした新事業・新産業が生み出されていること	40.5	38.4	13.2	2.3	0.5	4.7	0.5
(53) 県産食材を購入（消費）する機会が増えていること	38.1	43.2	12.7	2.2	0.3	3.2	0.4
(54) 元気な中小企業等が増えていること	42.4	37.7	12.5	1.2	0.2	5.5	0.4
(55) 県外の友人、知人等に自信を持ってすすめることができる地域の特産品があること	39.1	40.6	12.4	3.3	0.3	4.0	0.4
(56) 自分に適した仕事や、やりがいのある仕事ができること	57.8	30.3	7.1	1.1	0.3	3.0	0.4
(57) 職業紹介や職業訓練のための施設や内容が充実していること	46.3	36.4	10.1	1.8	0.5	4.5	0.4
(58) 失業の不安がなく働けること	68.0	22.8	4.8	0.9	0.5	2.8	0.3

	(回答)						
	非常に重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	わからない	無回答
(59)収入が着実に増えること	68.0	23.9	4.9	1.0	0.4	1.7	0.4
(60)住んでいるところの近くで、希望する仕事につけること	50.7	32.9	9.7	3.1	0.5	2.5	0.5
(61)物価が安定していること	65.5	26.4	4.3	0.7	0.1	2.3	0.6
(62)駐留軍用跡地が沖縄の発展のために有効に利用されていること	48.3	31.8	10.6	2.4	1.0	5.5	0.4
(63)世界のウチナーネットワークなどを生かした国際交流が盛んなこと	27.5	40.0	19.4	5.2	0.9	6.7	0.3
(64)多くの外国人が沖縄を訪れ、県民との交流が活発に行われていること	26.1	40.7	21.4	5.4	1.1	4.9	0.4
(65)沖縄の特性や技術等を生かした国際協力・貢献活動が盛んなこと	31.7	40.4	17.0	3.8	0.9	5.8	0.5
(66)平和を願う沖縄の心が次世代に継承され、世界に発信されていること	61.4	26.3	7.1	1.0	0.8	3.0	0.4
(67)子どもたちの健全育成が図られる教育環境が つくられていること	67.4	25.5	3.3	0.8	0.4	2.6	0.4
(68)地理的、経済的要因等に左右されない公平な教育機会が 確保されていること	60.1	28.6	5.8	0.9	0.5	3.8	0.3
(69)生涯を通して学習する機会が得られていること	45.1	38.3	10.4	1.5	0.3	4.0	0.5
(70)社会に出る上で必要な資質を身に付けられる教育環境が 整っていること	53.5	34.6	6.9	0.9	0.4	3.3	0.4
(71)外国語教育が充実していること	38.0	39.0	14.7	2.8	0.5	4.6	0.4
(72)個々の優れた能力や感性を育む教育環境が 充実していること	46.5	38.0	9.5	0.6	0.7	4.3	0.4
(73)沖縄の産業発展を担う人材の育成が図られていること	45.9	38.5	9.2	1.2	0.3	4.4	0.4
(74)地域づくりに取り組む人材の育成が図られていること	41.6	40.5	10.8	1.5	0.4	4.8	0.4

問4 問3でお答えいただいた事柄について、今それぞれがどのくらい満たされていますか。

(1)～(74)の1つ1つの事柄について、あなたの気持ちに最も近いものの番号を1～6の中から1つだけ選び○で囲んで下さい。

	(回答)						
	非常に満たされている	ある程度満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	全く満たされていない	わからない	無回答
(1)豊かな自然が保全されていること	12.0	35.6	29.3	16.6	1.9	4.1	0.5
(2)自然環境の保全と利用のバランスが取れていること	9.8	27.9	36.4	16.5	2.7	6.1	0.7
(3)赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなること	10.0	20.1	32.5	23.6	6.3	6.8	0.8
(4)廃棄物の適正処理、減量化・リサイクルが活発に行われていること	10.7	27.4	33.4	17.3	2.4	8.1	0.8
(5)クリーンエネルギーが普及していること	6.5	17.5	36.5	20.8	5.0	12.9	0.8
(6)しまくとぅば、郷土芸能、伝統工芸、歴史遺産などの魅力ある沖縄文化が保全・継承されていること	9.2	31.7	33.6	14.4	2.0	8.2	0.8
(7)県民が文化芸術にふれる機会が増加していること	6.7	27.1	38.6	14.0	2.0	11.0	0.6
(8)地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること	7.1	22.2	40.9	14.4	2.9	11.5	1.0
(9)自分の住む町の景観、町並みが美しいこと	7.5	27.9	40.2	16.1	4.0	3.6	0.7
(10)公園や親しめる自然などがまわりにあること	11.0	35.3	28.4	18.0	3.7	2.7	0.9
(11)公共交通機関が利用しやすいこと	9.2	29.3	28.0	21.0	8.0	3.7	0.8
(12)渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	9.3	20.7	29.4	25.0	11.9	3.0	0.8
(13)離島と沖縄本島間など移動が気楽にできること	7.0	20.7	34.0	20.2	8.8	8.6	0.7
(14)身近な場所に生活に必要な施設（商業施設、医療施設など）があること	13.9	44.3	22.6	12.5	3.6	2.4	0.7
(15)地域の商店街に活力があること	6.5	18.2	33.5	22.9	11.0	7.0	0.8
(16)健康の維持や増進に努めること	8.5	26.5	39.6	15.2	3.8	5.3	1.2
(17)身近にスポーツにふれる（親しむ）機会が増えていること	6.9	19.9	40.1	18.8	5.5	7.9	1.0
(18)安心して子供を産み育てられる環境が整っていること	8.2	25.3	36.6	15.0	3.8	10.3	0.9
(19)保育所や学童保育所を利用しやすいこと	8.9	20.7	31.6	15.9	6.9	15.2	0.7

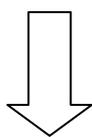
	(回答)						無回答
	非常に満たされている	ある程度満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	全く満たされていない	わからない	
(20) 仕事と生活（子育て、介護など）が両立しやすい労働条件や職場環境が整っていること	7.6	14.4	33.6	22.2	7.7	14.2	0.5
(21) 夫婦が協力して家事や育児にとりくむこと	9.0	24.9	31.9	14.0	3.3	16.3	0.7
(22) 若いうちに結婚して家庭を持つこと	6.2	14.5	44.2	10.4	2.3	21.6	0.7
(23) 少年の非行や犯罪が少なくなること	7.7	14.9	36.4	23.1	5.9	10.9	1.0
(24) 高齢者が住み慣れた地域で生き生きとくらせること	8.4	22.7	34.2	19.7	3.4	10.6	0.8
(25) 老後に不安のない年金が得られること	7.3	8.3	22.5	28.1	22.1	11.2	0.6
(26) 障害のある人の社会参加が拡大していること	6.2	11.5	32.6	22.9	6.7	19.5	0.7
(27) 介護サービスが充実し、利用しやすいこと	7.5	15.5	30.7	19.2	5.4	20.9	0.9
(28) イライラやストレスなど精神的緊張が少ないこと	6.7	19.1	37.4	19.8	8.5	7.7	0.8
(29) 良質な医療が受けられること	9.5	33.9	32.2	13.6	3.3	6.8	0.7
(30) 救急患者が適切な治療を受けられること	9.6	31.5	30.1	10.7	2.9	14.6	0.6
(31) 病気の予防のために、健康診断、健康の相談が受けやすいこと	9.8	31.4	33.2	12.1	2.2	10.8	0.5
(32) 費用の心配をあまりせずに病院で医療を受けられること	8.8	19.5	32.6	23.0	8.4	7.2	0.5
(33) 自分の悩みなどを相談できる自治会や公的相談所、民生委員等、相談できる機関や人があること	6.2	15.7	36.9	15.0	5.5	19.9	0.7
(34) 食の安全・安心が確保されていること	9.6	36.0	35.1	9.8	1.7	7.7	0.7
(35) 犯罪におびやかされることなく安心な暮らしが確保されていること	9.4	36.5	32.0	12.4	3.0	6.1	0.5
(36) 地震・台風などへの防災対策が充実していること	7.8	27.3	38.3	14.7	2.6	8.6	0.8
(37) 配偶者等からの暴力の防止と被害者の支援環境が充実していること	7.6	16.2	35.7	7.0	1.9	30.8	0.8
(38) 交通ルールが遵守され、マナーが向上し、交通の安全が確保されていること	7.7	25.3	35.2	18.3	6.2	6.7	0.6
(39) 商品やサービスの品質や安全性が確保されていること	8.5	35.8	36.0	7.2	1.7	10.3	0.5

	(回答)						無回答
	非常に満たされている	ある程度満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	全く満たされていない	わからない	
(40) 商品やサービス、不当な勧誘等についての苦情や不満をすばやくきちんと処理するところがあること	4.8	16.5	35.6	13.5	3.6	25.2	0.8
(41) 米軍基地から派生する諸問題への対策が適切に講じられていること	3.7	9.0	30.1	20.7	15.8	19.9	0.9
(42) 住環境が良好なこと	8.9	41.7	31.6	10.1	1.9	4.8	1.0
(43) どこでも快適にインターネットにつながること	6.9	31.2	29.0	11.2	4.1	16.4	1.3
(44) いつでも安心して家庭で水が使えること	34.8	45.5	11.3	3.6	1.1	2.6	1.1
(45) 下水道が整備されていること	27.0	41.2	16.0	4.9	2.8	6.7	1.3
(46) 住んでいる地域や社会をよくする活動ができる機会が増えていること	6.7	20.7	44.9	6.3	1.4	19.1	1.0
(47) 女性が社会活動に積極的に参加し、能力を発揮できること	6.5	21.3	40.5	9.8	1.7	19.4	0.7
(48) 自治会等が充実し、盆踊りや運動会などの地域行事が盛んなこと	7.8	34.9	35.9	6.5	2.0	12.0	1.0
(49) 集会場や公民館が近くにあること	9.4	33.5	35.8	7.7	2.7	10.1	0.9
(50) 市や町村が住民の要望や意見を、十分に取り入れること	5.1	15.2	42.1	13.9	4.9	17.7	1.0
(51) 県の施策や予算等に関する情報が住人に対して分かりやすく広報されていること	5.1	17.4	37.3	14.1	6.2	19.2	0.8
(52) 沖縄の魅力や優位性を生かした新事業・新産業が生み出されていること	4.8	18.1	36.3	11.8	3.3	24.6	0.9
(53) 県産食材を購入（消費）する機会が増えていること	7.3	36.4	33.6	7.4	1.1	13.1	1.0
(54) 元気な中小企業等が増えていること	4.8	12.7	39.0	12.6	3.5	26.4	1.0
(55) 県外の友人、知人等に自信を持ってすすめることができる地域の特産品があること	9.4	34.8	31.3	10.0	0.9	11.5	1.0
(56) 自分に適した仕事や、やりがいのある仕事ができること	8.4	23.8	35.8	13.1	6.1	12.0	0.9
(57) 職業紹介や職業訓練のための施設や内容が充実していること	5.5	14.1	38.1	15.0	4.9	21.8	0.7

	(回答)						無回答
	非常に満たされている	ある程度満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	全く満たされていない	わからない	
(58)失業の不安がなく働けること	6.8	12.7	30.1	25.0	13.2	11.5	0.8
(59)収入が着実に増えること	4.7	9.5	25.7	29.3	21.1	8.5	1.1
(60)住んでいるところの近くで、希望する仕事につけること	6.3	16.3	29.9	23.0	11.9	11.6	1.0
(61)物価が安定していること	5.2	13.0	34.0	27.2	12.6	7.0	1.1
(62)駐留軍用跡地が沖縄の発展のために有効に利用されていること	4.8	16.2	31.3	16.0	7.1	23.8	0.8
(63)世界のウチナーネットワークなどを生かした国際交流が盛んなこと	4.6	18.4	36.6	7.7	1.5	30.5	0.8
(64)多くの外国人が沖縄を訪れ、県民との交流が活発に行われていること	5.1	21.1	35.9	7.8	1.6	27.4	0.9
(65)沖縄の特性や技術等を生かした国際協力・貢献活動が盛んなこと	4.9	16.6	37.7	7.7	1.7	30.6	0.8
(66)平和を願う沖縄の心が次世代に継承され、世界に発信されていること	8.7	27.9	34.5	10.5	2.5	15.0	0.9
(67)子どもたちの健全育成が図られる教育環境が つくられていること	6.6	22.7	39.4	11.9	2.5	16.0	0.9
(68)地理的、経済的要因等に左右されない公平な教育機会が 確保されていること	5.3	17.8	36.6	15.6	4.6	19.3	0.8
(69)生涯を通して学習する機会が得られていること	5.4	21.5	37.7	13.2	3.5	17.6	1.1
(70)社会に出る上で必要な資質を身に付けられる教育環境が 整っていること	5.3	18.1	37.0	18.1	4.2	16.5	0.8
(71)外国語教育が充実していること	4.6	10.3	34.5	22.5	8.5	18.9	0.7
(72)個々の優れた能力や感性を育む教育環境が 充実していること	5.1	11.2	37.3	20.3	5.9	19.4	0.9
(73)沖縄の産業発展を担う人材の育成が図られていること	5.0	10.6	39.4	16.0	4.4	23.9	0.8
(74)地域づくりに取り組む人材の育成が図られていること	4.9	10.4	38.5	15.8	4.4	25.1	0.9

問5 次のうち、あなたのいまの暮らしの中で、県や国、市町村に力を入れてほしいものを順位をつけて3つ選び下の回答欄にその番号を記入して下さい。

	1 番 目	2 番 目	3 番 目
1. 医 療 と 保 健 (医療の確保や健康増進などを図ること) ……	27.8	15.1	15.2
2. 教 育 ・ 文 化 ・ 国 際 交 流 (教育文化施設の整備、教育内容の充実 …… 文化遺産の保護、文化・国際交流の振興)	6.9	8.2	6.1
3. 労 働 ・ 雇 用 (安定した雇用ややりがいのある職場などを確保・ すること)	20.8	19.1	11.0
4. 生 活 環 境 (住宅の確保と質的向上、ゴミ、下水処理、緑化・ など居住環境の向上、公害・災害の減少を図ること)	3.8	8.0	8.8
5. 男 女 共 同 参 画 (男女が性別にかかわらず互いに尊重しあい、… ともに社会的利益を享受し、責任を分担すること)	0.4	1.7	2.6
6. 安 全 と 個 人 の 保 護 (犯罪、交通事故、災害などのない安全な暮らし・ をめざすこと)	4.7	10.9	9.0
7. 収 入 と 消 費 生 活 (収入の着実な増加、物価の安定、商品の …… 安全性の確保を図ること)	23.7	18.9	14.0
8. 休 暇 と 余 暇 (休暇制度の充実、余暇施設 (公園、運動施設 …… などやサービスの整備・充実を図ること)	1.7	4.0	6.0
9. 社 会 福 祉 (高齢者や子供、体の不自由な人などが安心 …… してらせること)	9.1	12.2	22.9
10. 地 域 活 動 (地域の人々のつながりを強めること) ……	0.3	0.9	3.2



(回答)

1 番 目	2 番 目	3 番 目

問6 以下の(1)～(8)にそれぞれA、B2つの対立する考え方があります。あなたの考えはどちらに近いですか。

それぞれの対について、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号を○で囲んで下さい。

A	Aに近い	どA ち に 近 か い と い え ば	どB ち に 近 か い と い え ば	Bに近い	B	無回答
	(1) いつでも仕事を優先させる	13.4	36.6	30.3	18.7	
(2) 物質的豊かさより精神的豊かさがより大切である	29.0	50.3	15.6	4.1	精神的豊かさより物質的豊かさがより大切である	1.0
(3) 女性は家において家事や育児に専念した方がいい	5.3	20.4	42.6	30.3	女性も外に出てどんどん働いた方がいい	1.4
(4) 男性が家において家事や育児に専念してもいい	10.4	26.0	36.3	26.3	男性は外で働いて、社会的責任を果たすべきである	1.1
(5) 年齢や勤務年数にかかわらず、能力と実績を重視して賃金と地位が決められることが望ましい	27.0	43.0	21.3	7.5	年齢や勤務年数に応じて、賃金や地位を決める年功序列を大切にしたいほうがよい	1.2
(6) 多少、土地が高価でも、利便性のよい都心（街の中）で暮らす方がいい	8.7	34.1	39.3	16.9	多少不便でも、土地の安価な郊外で暮らす方がいい	1.0
(7) 新しいものは大いに取り入れて改革してほしい	13.5	42.8	35.3	7.2	いたずらに改革するより古いものの価値を大切にすることがよい	1.3
(8) 地方分権を進め、県や市町村にもっと権限を移したほうがいい	32.7	55.1	8.1	2.7	政府が権限の多くを管理しているほうがいい	1.4

問7 あなたは、今住んでいるところに今後も住みたいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを1つ選び、番号を○で囲んで下さい。

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| <p>33.4
いつまでも今
住んでいると
ころに住みた
い</p> | <p>37.7
特に住み続け
たいというほ
どではないが、
よそに移る気
もない</p> | <p>5.2
できれば今す
ぐにでもよそ
へ移りたい</p> | <p>17.9
いつかはよそ
へ移りたい</p> | <p>5.5
わからない

無回答 0.3</p> |
|---|---|---|---|---|

1、2に○をつけた方は
(7-1)へ

3、4に○をつけた方は(7-2、3)へ

(7-1) なぜ今のところに住みたいのですか。
次のうちから3つまで選び、番号を
○で囲んで下さい。

N=991

- 61.9 自分の家がある
- 6.8 地域の将来に希望がもてる
- 35.0 通勤・通学に便利である
- 5.9 今住んでいるところに希望する仕事がある
- 10.1 移ると親戚、近所づき合いができない
- 24.9 日当たり、静けさが十分など住環境が良好である
- 18.5 事件・事故が無く安全で安心して暮らせる
- 48.0 生活するのに便利である
- 37.4 今住んでいるところに愛着を感じている
- 8.5 家を継ぐ
- 11.4 なんとなく
- 1.8 その他 ()
- 無回答

(7-2) なぜよそへ、移りたいのですか。
次のうちから3つまで選び、番号を
○で囲んで下さい。

N=322

- 47.0 自分の家を持ちたい
- 13.4 今住んでいる地域は将来の見通しが暗い
- 18.8 通勤・通学に不便である
- 11.5 今住んでいるところではやりたい仕事がない
- 11.6 親戚、近所づきあいがわずらわしい
- 18.8 日当たりが悪く、騒音が多いなど住環境が悪い
- 5.9 事件・事故の危険があり、安心して暮らせない
- 20.2 生活するのに不便である
- 13.8 生まれ育ったところで住みたい
- 5.0 結婚などのため
- 9.5 教育・文化施設が少ない
- 20.3 なんとなく
- 12.6 その他 ()
- 無回答

(7-3) では、どこへ移りたいのか、次のうちから1つを選び、番号を○で囲んで下さい。

N=322

- 31.1 今住んでいる市町村内
- 36.5 県内のよその市町村
- 14.9 他の都道府県
- 2.5 外国
- 11.0 どこでもよい
- 4.0 無回答

問8-1 本県（民）の良さは何だと思えますか。次の中から順位をつけて3つ選び、下の回答欄にその番号を記入して下さい。

	1 番目	2 番目	3 番目
1. 人情が厚い	34.1	7.5	5.2
2. 素朴である	7.3	6.9	4.8
3. 助け合いの精神がつよい	12.5	19.7	6.9
4. 自然環境に恵まれている	11.0	11.7	8.5
5. 沖縄独特のまちなみ景観がある	3.3	0.7	5.1
6. 国際的である	0.4	1.5	2.2
7. 独特の文化がある	9.5	14.8	13.0
8. のんびりしている	9.0	15.0	18.4
9. 気候が温暖である	10.0	9.9	19.0
10. 進取 <small>しんしゅ</small> の気性がある	-	0.1	0.3
11. 開放的である	0.4	2.5	6.0
12. 長寿県である	0.8	1.6	4.9
13. その他（ ）	0.4	0.2	0.1
14. わからない	0.7	0.4	2.5
無回答	0.5	1.6	2.9

(回答)

1 番目	2 番目	3 番目

問8-2 本県（民）の欠点は何だと思えますか。次の中から順位をつけて3つ選び、下の回答欄にその番号を記入して下さい。

	1 番目	2 番目	3 番目
1. 視野が狭い	23.5	10.7	6.6
2. 厳しさが足りない	25.8	17.7	6.8
3. 排他的である	2.4	3.2	2.7
4. つきあいが多すぎる	9.9	10.7	6.2
5. 公德心が低い	3.2	5.3	5.3
6. まちなみに統一感がない	2.3	4.2	3.2
7. 被害者意識が強い	5.0	6.1	5.1
8. 依頼心が強い	3.4	9.8	6.9
9. 台風が多い	13.3	11.0	15.2
10. 協調性が足りない	1.9	4.6	5.6
11. あきらめが早い	4.0	9.7	16.4
12. その他（ ）	1.6	0.7	1.1
13. わからない	2.7	1.3	9.5
無回答	1.1	5.0	9.5

(回答)

1 番目	2 番目	3 番目

問9-1 現在のあなた、またはあなたの家族の生活状態（くらしむき）は、一般的にみて次のどれにあたると思いますか。あてはまると思うものを1つだけ選び、番号を○で囲んで下さい。

生活状態はよそにくらべ……

1.6 上	25.8 中の下	0.4 無回答
12.0 中の上	10.7 下	
41.8 中の中	7.7 わからない	

問9-2 あなた、またはあなたの家族の生活状態（くらしむき）は、4、5年前に比べてどうですか。また、今後は、どうなると思いますか。次の中からあてはまると思うものを1つずつ選び、番号を○で囲んで下さい。

(1) 4、5年前の生活に比べ今の生活は……

2.9 極めて良くなった	22.0 悪くなった	0.4 無回答
16.8 良くなった	4.3 極めて悪くなった	
46.9 変わらない	6.7 わからない	

(2) 今後の生活は今の生活に比べ……

2.7 極めて良くなると思う	20.4 悪くなると思う	0.4 無回答
19.7 良くなると思う	3.3 極めて悪くなると思う	
37.3 変わらないと思う	16.2 わからない	

問10 次にあげる(1)～(18)について、このぐらいの暮らしはしたいと希望していますか。あるいは「特に必要がない」と思いますか。希望している場合は、現在「だいたいかなえられている」と思いますか。それとも「かなえられていない」と思いますか。当てはまる番号を○で囲んで下さい。

	回答				
	希望している だいたい かなえられて いる	かなえられて いない	特に必要がない	わからない	無回答
(1) 食べるのに困らない暮らし	79.8	10.7	5.0	3.7	0.8
(2) 安定した仕事ができる暮らし	50.6	31.2	7.5	9.6	1.1
(3) ある程度お金が貯められるような暮らし	26.1	63.0	3.1	6.8	1.0
(4) 老後に安心してくらせるだけの貯えのある暮らし	15.6	71.1	2.5	10.3	0.5
(5) 老後にも自分にあった仕事が続けられる暮らし	16.6	50.5	10.4	21.6	0.8
(6) 子供に十分な高等教育を受けさせられる暮らし	29.4	35.3	10.9	23.1	1.3
(7) 自分や子供が、習いごとやけいごとなどを十分に受けることができる暮らし	27.0	39.5	12.8	19.9	0.8
(8) 家に乗用車がある暮らし	79.7	10.1	4.6	4.7	0.9
(9) 常時インターネットで外部の情報が手軽に入手できる暮らし	55.5	16.5	16.6	10.7	0.8
(10) 持家に住める暮らし	50.6	32.7	8.6	7.3	0.8
(11) 家族一人一人に一部屋はある暮らし	41.7	37.6	13.7	6.3	0.7
(12) 敷地が広くて、環境がよい住宅地に住める暮らし	34.9	42.1	14.8	7.6	0.6
(13) 通勤や通学、買物などに便利なところに住める暮らし	63.8	21.3	7.5	6.8	0.5
(14) 犯罪や事故に巻き込まれる心配がない安全・安心な暮らし	60.4	19.9	3.1	16.0	0.6
(15) 連続した休みがとれる暮らし	35.7	40.6	12.1	11.0	0.6
(16) 家族旅行ができる暮らし	24.2	55.5	11.0	8.6	0.7
(17) 海外旅行ができる暮らし	11.1	57.6	20.6	10.1	0.6
(18) 自然に親しめる機会のある暮らし	43.8	33.4	9.6	12.8	0.5

問11 今後、沖縄県の振興のためには次の産業にどのくらい力を入れるべきだと思いますか。

(1)～(25)のそれぞれについて、回答の1～5から1つ選び、番号を○で囲んで下さい。

	回答					
	特に力を入れる	もう少し力を入れる	今ぐらいでいい	少し減らしてもいい	わからない	無回答
(1)さとうきび	13.3	23.7	37.8	5.3	18.8	1.0
(2)畜産	19.0	33.9	26.7	1.2	18.1	1.0
(3)野菜・果樹	30.2	36.5	19.9	0.2	12.2	1.0
(4)花き園芸	16.4	27.8	33.5	1.1	19.4	1.9
(5)その他農産物 (水稲、葉たばこ、かんしょ、薬用植物など)	9.6	20.9	37.0	4.0	27.4	1.0
(6)林業 (木材、きのこ類など)	8.0	22.1	34.4	2.3	32.4	0.9
(7)水産業 (漁業、モズク養殖、クルマエビ養殖など)	27.6	33.2	21.8	0.6	15.8	1.0
(8)鉱業 (天然ガス、海洋鉱物資源など)	17.4	23.2	21.2	2.2	35.3	0.9
(9)伝統工芸 (織物、陶器、漆器、びんがた、琉球ガラスなど)	24.3	29.4	29.9	0.8	14.8	0.8
(10)食料品、飲料製造業 (健康食品、砂糖精製、酒類など)	19.4	30.3	33.0	1.2	15.2	1.0
(11)一般機械・金属加工製造業 (金型産業など)	10.7	20.9	31.3	1.2	34.7	1.1
(12)その他製造業 (繊維、かりゆしウェア、印刷・製本、木材など)	17.0	29.5	30.7	1.4	20.3	1.0
(13)建設業	17.3	24.7	30.7	4.4	21.6	1.3
(14)運輸業 (モノレール、バス、タクシー、船舶など)	28.3	32.1	22.6	1.8	14.3	0.9
(15)商業・貿易 (卸売り・小売り・輸出入など)	22.2	31.5	23.4	0.5	21.6	0.8

	回答					
	特に力を入れる	もう少し力を入れる	今ぐらいでいい	少し減らしてもいい	わからない	無回答
(16) 観光関連産業 (ホテル、民宿、おみやげ品店、娯楽業、飲食店、レンタカー、観光バス、通訳・ガイド、など)	36.8	26.5	23.9	3.5	8.4	0.8
(17) 物流関連産業 (倉庫業、こん包業、航空・海上・陸上における貨物輸送など)	22.0	26.9	27.8	0.5	22.0	0.8
(18) 情報通信関連産業 (ソフトウェア開発、インターネット付随サービス、コールセンターなど)	19.9	29.3	24.7	1.8	23.4	0.8
(19) 文化コンテンツ産業 (演劇・創作芸能、映画、ドラマ、音楽、ファッションなど)	19.4	29.8	29.1	1.5	19.4	0.8
(20) スポーツ関連産業 (スポーツ観光、スポーツイベント、フィットネス、スポーツリハビリなど)	21.6	33.2	25.7	1.1	17.4	0.9
(21) 環境関連産業 (エコロジー製品、クリーンエネルギー、廃棄物処理、リサイクルなど)	26.7	35.3	18.0	0.6	18.5	0.8
(22) バイオ関連産業 (治療薬、医療技術、遺伝子解析、機能性食品など)	28.5	31.1	16.5	0.4	22.5	1.0
(23) 金融関連産業 (金融系コールセンター、証券業など)	10.4	20.3	33.1	3.2	32.0	1.0
(24) 健康サービス産業 (エステ・スパ、健康・医療ツーリズムなど)	18.1	27.4	29.9	2.4	21.3	0.8
(25) その他の産業 ()	4.2	3.2	8.4	0.2	40.8	43.2

問12 沖縄県の施策として、とくに重点を置いて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。次の中から順位をつけて3つ選び、下の回答欄にその番号を記入して下さい。

	1 番 目	2 番 目	3 番 目
1. 魅力ある観光・リゾート地の形成……………	19.1	5.9	6.4
2. 情報通信関連産業の振興…………… (情報通信産業の企業支援や誘致、 人材の育成・確保など)	1.7	1.6	0.9
3. 国際物流拠点の形成…………… (貿易及び臨空・臨港型産業の集積、 県内事業者の海外展開など)	1.3	2.8	2.0
4. 科学技術の振興…………… (沖縄科学技術大学院大学との共同研究、 民間研究機関等の誘致、先端医療技術の 産業化など)	0.8	1.9	1.1
5. 新たな産業の創出…………… (健康・バイオ関連産業、文化産業、 スポーツ関連産業、環境関連産業、 金融関連産業、海洋資源開発など)	3.3	4.1	3.9
6. 地域特性を生かした農林水産業の振興……………	2.4	8.4	1.9
7. 地域産業の振興…………… (中小企業の活性化、ものづくり産業、 建設業、商業・サービス業など)	5.1	5.1	4.7
8. 雇用対策と職業能力の開発……………	13.0	8.4	4.7
9. 国際交流・協力拠点の形成…………… (ウチナーネットワークの拡充、海外との 文化・経済交流、各種技術協力の展開、 国際機関の誘致など)	0.8	1.7	1.6
10. 豊かな自然環境の保全・再生及び持続可能な 循環型社会の構築 (野生生物やサンゴの保全、 赤土等流出防止対策、廃棄物の減量化、 リサイクルの推進、クリーンエネルギーの活用など)	5.7	7.7	7.5
11. 生活環境基盤の充実・強化…………… (水資源の安定確保、上・下水道整備、住宅、 都市整備、電力の安定供給、情報通信基盤 の整備など)	2.3	4.7	3.7

	1 番目	2 番目	3 番目
12. 県土保全と防災…………… (防災対策、災害に強い県土づくりなど)	2.5	2.9	2.9
13. 健康福祉社会の実現…………… (健康長寿の推進、児童の健全育成、 児童虐待の防止及び対応、 障害者の自立と社会参加など)	9.9	11.3	9.8
14. 安全・安心な生活の確保…………… (犯罪防止策の強化、事件・事故への 迅速対応など)	4.6	9.8	7.9
15. 男女共同参画社会の実現……………	0.4	0.8	9.8
16. 多様な人材の育成…………… (学校教育の充実、青少年の健全育成と 生涯教育の推進、国外留学の推進など)	3.2	5.5	4.5
17. 文化とスポーツの振興……………	1.0	1.2	2.5
18. 陸上交通網の整備…………… (生活道路等の整備、バス・モノレールなど 公共交通機関の利便性向上、 鉄軌道を含む新たな公共交通の導入など)	3.4	7.1	6.7
19. 空・海上交通の整備…………… (空港・港湾の整備、路線の拡充など)	1.4	2.3	2.4
20. 離島・過疎地域等の振興…………… (交通・生活に係るコスト負担の軽減、 生活環境の整備、地域産業の振興など)	1.8	2.8	5.1
21. 米軍基地問題の解決促進…………… (基地の整理縮小、跡地利用の促進と 基地周辺等の環境保全、日米地位協定の 見直しの実現など)	15.1	7.0	14.0
22. 行政改革の推進…………… (情報公開の推進、事務事業の見直しなど)	0.0	1.2	2.5
23. その他 () ……	0.4	0.2	-
無回答……………	0.9	1.2	2.2

(回答)

1 番目	2 番目	3 番目

問13 米軍基地から派生する様々な課題について、県や国にとくに力を入れてほしいものは何ですか。

次の中から順位をつけて3つ選び、下の回答欄にその番号を記入して下さい。

	1 番 目	2 番 目	3 番 目
1. 基地を返還させること……………	33.2	4.3	4.7
2. 日米地位協定を改定すること……………	17.3	18.1	6.2
3. 米軍の演習をなくすこと……………	2.2	3.4	5.9
4. 米軍機の騒音や住宅地上空の低空飛行訓練をなくすこと	11.2	14.5	10.2
5. 環境汚染の対策を講じること……………	2.7	3.8	3.4
6. 米軍基地内のゴミが適正に処理されるよう… 対策を講じること	0.7	1.7	1.6
7. 米軍人等の犯罪や事故をなくすこと……………	14.8	17.1	11.7
8. 米軍人等の事件・事故による被害について… は、日米両政府の責任で補償すること	4.4	11.5	10.7
9. 基地で働いている人の雇用を安定させること	2.6	3.8	3.6
10. 軍用地料を上げること……………	0.3	0.6	0.8
11. 基地に関連する国からの交付金や補助金を… 増やすこと	0.6	1.7	2.4
12. 防音工事の対象を拡大すること……………	1.2	2.4	4.1
13. 基地に関連した業者の安定対策を図ること…	0.3	0.7	1.4
14. 基地内の各種施設を気軽に利用できるように すること	2.0	3.6	5.8
15. 基地内道路を通行できるようにすること……	0.9	3.4	5.7
16. 返還された軍用地を早めに利用できる…… ようにすること	1.8	4.8	12.0
17. その他 () ……………	0.4	0.2	0.3
18. わからない……………	2.4	0.4	4.1
無回答……………	4.1	4.1	5.7

(回答)

1 番 目	2 番 目	3 番 目

問14 地震・津波等の大規模な自然災害に対する次の取組や考え方について、「はい」もしくは「いいえ」でお答えください。

はい いいえ 無回答

(1) 沖縄県で近い将来、大きな地震・津波が発生すると思う…………… 58.8 40.0 1.3

(2) 家族の安否確認や連絡を取り合う方法をあらかじめ決めている… 22.9 76.0 1.1

集合場所を家族で決めておいたり、安否情報を家族などに伝えるための災害用伝言ダイヤルの活用などを含む

(3) 地震の揺れに備えて、家具等の固定をしている…………… 10.3 88.8 0.9

(4) 災害時に備えて食糧または飲料水を保存している…………… 12.9 85.9 1.1

(5) お住まいの地域のハザードマップを見たことがある…………… 37.2 61.9 0.9

各市町村が地震や洪水などの災害時、被害が及ぶと想定される区域や避難情報を地図にまとめた防災マップ

(6) 地震・津波発生時の避難場所の位置や避難ルートを把握している 35.8 63.4 0.8

(7) 地震の際に、避難には無用な外出を控え、屋内にとどまることも避難の一つだと知っている 64.7 33.6 1.6

(8) お住まいの地域の自主防災組織を知っている…………… 8.5 90.0 1.4

災害時などにおいて地域の住民同士が救出・救助、初期消火、避難所の運営などを行うために自主的に結成される組織

(9) 自主防災組織に入っている…………… 1.9 97.2 0.8

(10) 地域の防災訓練に積極的に参加している…………… 7.0 92.2 0.9

この調査は、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の
着実な推進等に役立ててまいります。
調査にご協力いただきありがとうございました。

第9回県民意識調査報告書 暮らしについてのアンケート結果（平成27年8月調査）

発行 平成28年6月

発行者 沖縄県

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

企画部企画調整課

TEL：(098)866-2026

FAX：(098)866-2351

E-mail：aa010006@pref.okinawa.lg.jp

沖縄県 企画部 企画調整課 ホームページ

<http://www.pref.okinawa.jp/site/kikaku/chosei/index.html>
